

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事

契 約 参 考 図 書 (率計上項目及び概算数量、図面)

令和 7 年 6 月

東日本高速道路株式会社
関東支社 長野工事事務所

- ・ 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を提示する資料であり、設計書第 1 条にいう設計図書ではない。（請負契約上拘束しない）
- ・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 契約参考図書 図面目録（1／1）

図 番	図 面 名 称
1 ～ 2	数量総括表 (その1) ～ (その2)
	犀川橋
3 ～ 6	犀川橋 上部工検査路詳細図 (その1) ～ (その4)
7 ～ 21	犀川橋 下部工検査路詳細図 (その1) ～ (その15)
22	犀川橋 立入防止柵撤去設置工図
23	犀川橋 側道舗装撤去復旧図
24 ～ 34	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その11)
35 ～ 46	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その12)
47 ～ 49	犀川橋上下線 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その3)
50 ～ 68	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図 (その1) ～ (その19)
69	犀川橋上下線 撤去・設置工 プレキャストU型排水溝図
70	犀川橋 撤去・設置工 透水コンクリート管平面図
71	犀川橋 撤去・設置工 透水コンクリート管詳細図
72	犀川橋 なじみ水路 流水変更図
73 ～ 74	犀川橋 撤去工 検査路A詳細図 (その1) ～ (その2)
75 ～ 82	犀川橋 撤去工 検査路B詳細図 (その1) ～ (その8)
83 ～ 84	犀川橋 撤去工 落橋防止装置詳細図 (その1) ～ (その2)
85	犀川橋 試掘工A 詳細図
	御麓橋
86	御麓橋(下り線)防護柵撤去設置工・立入防止柵撤去設置工 平面図
87 ～ 93	御麓橋(下り線)撤去設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その7)
94	御麓橋(下り線)撤去設置工 遮水シート詳細図
	羽尾橋
95	羽尾橋(下り線)防護柵撤去設置工・立入防止柵撤去設置工 平面図
96 ～ 109	羽尾橋(下り線)撤去設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その14)
110 ～ 111	羽尾橋(下り線)撤去設置工 検査路B詳細図 (その1) ～ (その2)
112	羽尾橋(下り線)撤去設置工 プレキャストU型排水溝A詳細図
	更埴Cランプ橋
113 ～ 115	更埴Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B詳細図 (その1) ～ (その3)

図 番	図 面 名 称
116 ～ 119	更埴Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B(夜2)詳細図 (その1) ～ (その4)
	更埴Eランプ橋
120	更埴Eランプ橋 立入防止柵撤去設置図
121 ～ 127	更埴Eランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その7)
128	更埴Eランプ橋 落橋防止装置撤去工
	窪河原橋
129	窪河原橋(上下線) 立入防止柵・舗装撤去復旧図
130 ～ 135	窪河原橋(上り線) 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その6)
136 ～ 141	窪河原橋(下り線) 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その6)
142 ～ 156	窪河原橋(上り線) 撤去・設置工 検査路B詳細図 (その1) ～ (その15)
157 ～ 171	窪河原橋(下り線) 撤去・設置工 検査路B詳細図 (その1) ～ (その15)
172	窪河原橋(下り線) 撤去・設置工 プレキャストU型排水溝B・縁石詳細図
173	窪河原橋(下り線) 撤去・設置工 電源ケーブル詳細図
174	窪河原橋(下り線) 試掘工B 詳細図
175	窪河原橋(上下線) 支給材置き場位置図
176 ～ 177	窪河原橋(上下線) 仮設防護柵設置撤去図 (その1) ～ (その2)
	更埴JCT-Cランプ橋
178	更埴JCT-Cランプ橋 防護柵撤去設置図
179 ～ 180	更埴JCT-Cランプ橋 立入防止柵撤去設置図 (その1) ～ (その2)
181 ～ 182	更埴JCT-Cランプ橋 立入防止柵撤去設置・舗装撤去復旧図 (その1) ～ (その2)
183 ～ 201	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その1) ～ (その19)
202 ～ 203	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路A詳細図 (その1) ～ (その2)
204 ～ 210	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B詳細図 (その1) ～ (その7)
211	更埴JCT-Cランプ橋 P4橋脚 撤去・設置工 プレキャストU型排水溝B・縁石詳細図
212	更埴JCT-Cランプ橋 P8橋脚 撤去・設置工 プレキャストU型排水溝A詳細図
213 ～ 214	更埴JCT-Cランプ橋 撤去工 落橋防止装置 (その1) ～ (その2)
215	更埴JCT-Cランプ橋 支給材置き場位置図
216 ～ 218	更埴JCT-Cランプ橋 仮設防護柵設置撤去図 (その1) ～ (その3)

数量総括表(1)

項目番号		特- (1 7)																			
項目名称	排水装置	検査路		防護柵撤去設置工		立入防止柵撤去設置工	立入防止柵の出入口撤去設置工	簡易舗装工					構造物取壊し工		撤去・設置工						
区分	排水管 A	A	B	ガードレール A	ガードレール B	一般型非積雪地用	一般型非積雪地用	粒状弱層路盤工 (t = 1 0 c m)	切込砕石路盤工 (t = 1 5 c m)	切込砕石路盤工 (t = 2 0 c m)	加熱アスファルト表層工 (t = 3 c m)	加熱アスファルト表層工 (t = 4 c m)	アスファルト舗装版取壊し (T y p e A)	アスファルト舗装版取壊し (T y p e B)	排水管 A	検査路 A	検査路 B	検査路 B (夜 2)			
単位	m	t	kg	m	m	m	箇所	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m	t	kg	kg			
犀川橋	上り線	A A 1	5.3				1.0								7.5		835.0				
		A P 2	3.0	1,101.0				13.2		13.2		13.2		13.2	8.1		830.0				
		A P 4																			
		A P 5	7.1												7.1						
		A P 6																			
		A P 8	4.2												8.1		134.0				
		A P 9	4.0			171.0									7.9		76.0				
		A P 1 0	3.9												7.8						
		A P 1 1	4.1												7.9						
		A P 1 2	4.2												8.1		79.0				
		A P 1 3 起点側																			
		A P 1 3 終点側	3.2	0.534	1,464.0			0.3		0.3		0.3		0.3	6.9						
		A P 1 4 起点側																			
		A P 1 4 終点側			980.0																
	下り線	小計	39.0	0.534	3,545.0	171.0	1.0	13.5		13.5		13.5		13.5	69.4		1,954.0				
		B A 1	11.5				3.0								17.0		803.0				
		B P 2	7.0		1,178.0			6.0		6.0		6.0		6.0	16.1		895.0				
		B P 4	3.7												7.5						
		B P 5	7.9												15.7						
		B P 7	7.4												15.2		143.0				
		B P 8	3.8			202.0									7.7		68.0				
		B P 9	3.8												7.7						
		B P 1 0	9.4												17.1						
		B P 1 1	4.2												8.0						
		B P 1 3 起点側						2.3		2.3		2.3		2.3							
		B P 1 3 終点側	17.6	0.547	2,123.0										17.6						
		B P 1 4 起点側																			
		B P 1 4 終点側			989.0																
	上下線	小計	76.3	0.547	4,290.0	202.0	3.0	8.3		8.3		8.3		8.3	129.6		1,909.0				
		P 1 5																			
		P 1 6																			
		P 1 7	6.8												6.6		1,465.0				
合計	数量	検測数量	122.1	1.081	7,835.0	373.0	4.0	21.8		21.8		21.8		21.8	205.6		5,328.0				
		数量	122	1.08	7,835	373	4	22		22		22		22	206		5,328				
御臨橋	下り線	P 2 橋脚													23.2						
		P 3 橋脚	1.7												33.7						
		P 4 橋脚													18.8						
		P 5 橋脚			19.6	58.4									54.2						
		A 2 橋台				18.9															
	合計	検測数量	1.7			19.6	77.3								129.9						
合計	数量	数量	2			20	77								130						
羽尾橋	下り線	P 1 橋脚	34.1			14.4									34.1		548.0				
		P 2 橋脚	88.3		14.0										88.3						
		P 3 橋脚	38.6			77.5									38.6						
		P 4 橋脚	49.8												49.8		1,317.0				
		A 2 橋台																			
	合計	検測数量	210.8		14.0	91.9									210.8		1,865.0				
合計	数量	数量	211		14	92									211		1,865				
更埴ジャンプ	上り線	A 1 橋台															388				
		P 1 橋脚 起点側																85.0			
		P 1 橋脚 終点側																85.0			
		A 2 橋台															510.0				
		合計	検測数量														388.0	680.0			
合計	数量	数量															388	680			
更埴ミウ	上り線	A 1 橋台	6.3												19.9						
		P 1 橋脚	18.4												11.7						
		A 2 橋台	5.1			12.0									17.2						
	合計	検測数量	29.8			12.0									48.8						
合計	数量	数量	30			12									49						
窪河原橋	上り線	A 1 橋台	6.0		189.0										4.7		788.0				
		P 1 橋脚			414.0	23.9		15.1	15.1		15.1		15.1		7.3		377.0				
		P 2 橋脚			414.0										6.3		381.0				
		A 2 橋台			181.0												760.0				
	下り線	A 1 橋台	6.1		172.0										2.9		1,120.0				
		P 1 橋脚			414.0	23.9		15.1	15.1		15.1		15.1		6.8		377.0				
		P 2 橋脚			414.0										7.4		381.0				
		A 2 橋台			200.0												716.0				
	合計	検測数量	12.1		2,398.0	47.8		30.2	30.2		30.2		30.2		35.4		4,900.0				
合計	数量	数量	12		2,398.0	48		30	30		30		30		35		4,900				
更埴 JCT - ジャンプ橋	上り線	A 1 橋台		0.18												0.201	441.0				
		P 1 橋脚				25.5	12.0								6.3						
		P 2 橋脚																			
		P 3 橋脚 起点側														14.0					
		P 3 橋脚 終点側	7.7				31.6										13.0				
		P 4 橋脚	1.7				21.9	5.4		5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	9.9						
		P 5 橋脚													9.5						
		P 6 橋脚					12.3								9.4						
		P 7 橋脚	6.0												14.0						
		P 8 橋脚	1.5				34.3	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	8.3						
		P 9 橋脚	1.5												7.6						
	合計	A 2 橋台																			
		検測数量	18.4	0.2	25.5	112.1		11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	79.0	0.201	454.0				
		数量	18	0.18	26	112		11	11	11	11	11	11	11	79	0.20	454				
対象 7 橋梁																					
		検査数量	394.0	1.261	10,233.0	25.5	33.6	714.1	4.0	63.0	30.2	32.8	30.2	32.8	30.2	32.8	709.5	0.201	12,935.0	680.0	
		数量	395	1.26	10,233	26	34	714	4	63	30	33	30	33	30	33	710	0.20	12,935	680	

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表 (1)		
縮 尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

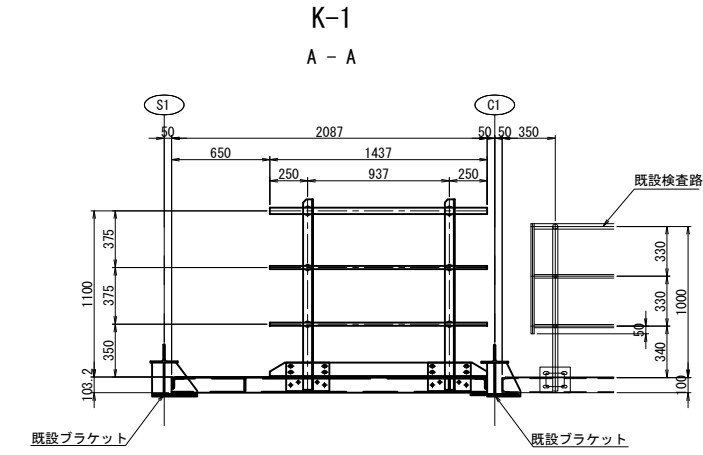
数量総括表(2)

項目番号		特- (1 7)														
項目名称		撤去・設置工					撤去工				試料採取	試験工		仮設防護柵工		
区分		プレキャスト U型排水溝 A	プレキャスト U型排水溝 B	道路照明ケーブル	縁石	透水コンクリート管	遮水シート	排水管 A	検査路 A	検査路 B	落橋防止装置	A	A	B	設置撤去	
上り線	単位	m	m	箇所	m	m	m ²	m	t	kg	kg	箇所	箇所	箇所	m	
	AA 1							4.8								
	AP 2	48.6						2.9		765.0						
	AP 4															
	AP 5							7.1								
	AP 6															
	AP 8							3.9								
	AP 9							4.1								
	AP 10							4.0								
	AP 11							4.1								
	AP 12							4.3								
	AP 13 起点側															
	AP 13 終点側							2.9	0.378	823.0		1.0				
	AP 14 起点側										2,058.5	1.0				
	AP 14 終点側									781.000						
	小計	48.6						38.1	0.378	2,369.0	2,547.8	2.0				
	下り線	BA 1							10.0							
		BP 2	139.3						6.4		747.0					
		BP 4							3.7							
BP 5								7.9								
BP 7								7.7								
BP 8								3.8								
BP 9								3.8								
BP 10								9.3								
BP 11								4.5								
BP 13 起点側		21.7										1.0				
BP 13 終点側								8.7	0.451	1,030.0	562.6					
BP 14 起点側											1,994.4					
BP 14 終点側										769.0						
小計	161.0						65.8	0.451	2,546.0	2,557.0	1.0					
上下線	P 15					30.0							1.0	1.0		
	P 16															
	P 17							6.6				1.0				
	小計					30.0		6.6				1.0	1.0			
合計	検測数量	209.6				30.0		110.5	0.829	4,915.0	5,104.8	4.0	1.0			
	数量	210				30		111	0.83	4,915	5,105	4	1			
御蔵橋	P 2 橋脚						892.0									
	P 3 橋脚							1.7								
	P 4 橋脚															
	P 5 橋脚															
	A 2 橋台															
	合計	検測数量					892.0	1.7								
	数量					892	2									
羽尾橋	P 1 橋脚	5.1						5.4								
	P 2 橋脚							2.7								
	P 3 橋脚							4.1								
	P 4 橋脚							8.2								
	A 2 橋台															
	合計	検測数量	5.1					20.4								
	数量	5					20									
更場Cランプ	A 1 橋台															
	P 1 橋脚 起点側															
	P 1 橋脚 終点側															
	A 2 橋台															
	合計	検測数量														
	数量															
更場Eフ	A 1 橋台							4.4								
	P 1 橋脚							19.3			1,621.0	1.0				
	A 2 橋台							4.2								
	合計	検測数量						27.9			1,621.0	1.0				
		数量						28			1,621	1				
窪河原橋	A 1 橋台							6.0		943.0						
	P 1 橋脚		7.3		23.9					538.0					28.0	
	P 2 橋脚									542.0						
	A 2 橋台									910.0						
	A 1 橋台							6.1		1,292.0						
	P 1 橋脚		7.3	1.0	23.9					538.0			1.0		28.0	
	P 2 橋脚									545.0						
	A 2 橋台									925.0						
	合計	検測数量		14.6	1.0	47.8		12.1		6,233.0				1.0	56.0	
		数量		15	1	48		12		6,233				1	56	
更場JCT-Cランプ橋	A 1 橋台								0.149	247.0	660.0					
	P 1 橋脚														28.0	
	P 2 橋脚									694.0						
	P 3 橋脚 起点側							7.6				1.0				
	P 3 橋脚 終点側										1,076.0					
	P 4 橋脚	6.2	4.4		15.1			1.6							20.0	
	P 5 橋脚							9.5								
	P 6 橋脚							9.4								
	P 7 橋脚							5.8				1.0				
	P 8 橋脚							1.4								
	P 9 橋脚							1.4								
	A 2 橋台											1.0				
	合計	検測数量	6.2	4.4		15.1		36.7	0.1	941.0	1,736.0	3.0			48.0	
		数量	6	4		15		37		941	1,736.0	3			48	
対象 7 橋梁																
検査数量		220.9	19.0	1.0	62.9	30.0	892.0	209.3	0.978	12,089.0	8,461.8	8.0	1.0	1.0	104.0	
数量		221	19	1	63	30	892	210	0.83	12,089	8,462	8	1	1	104	

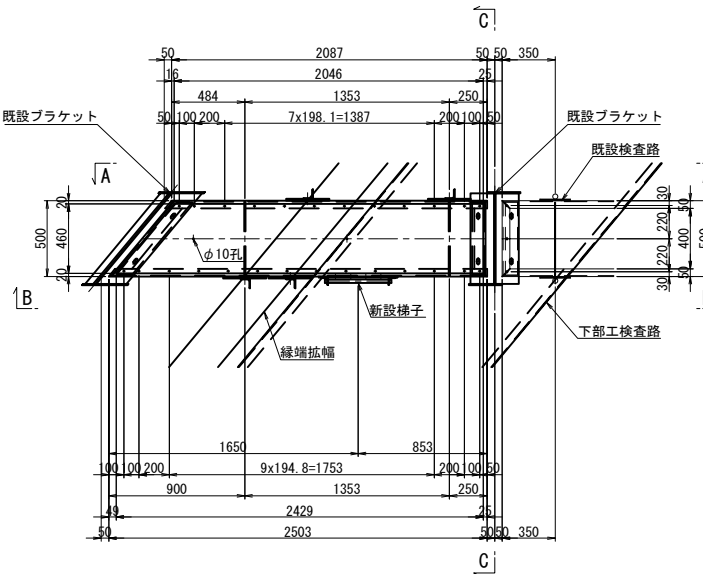
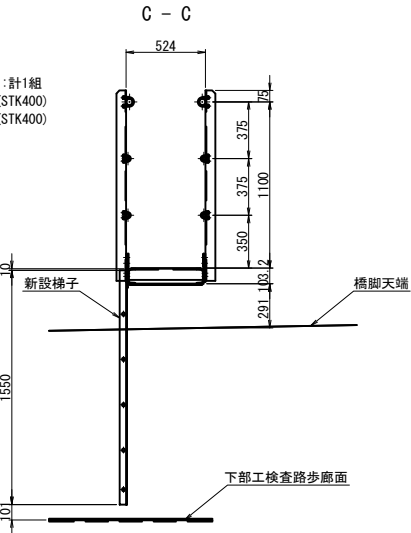
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表 (2)		
縮 尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

犀 川 橋

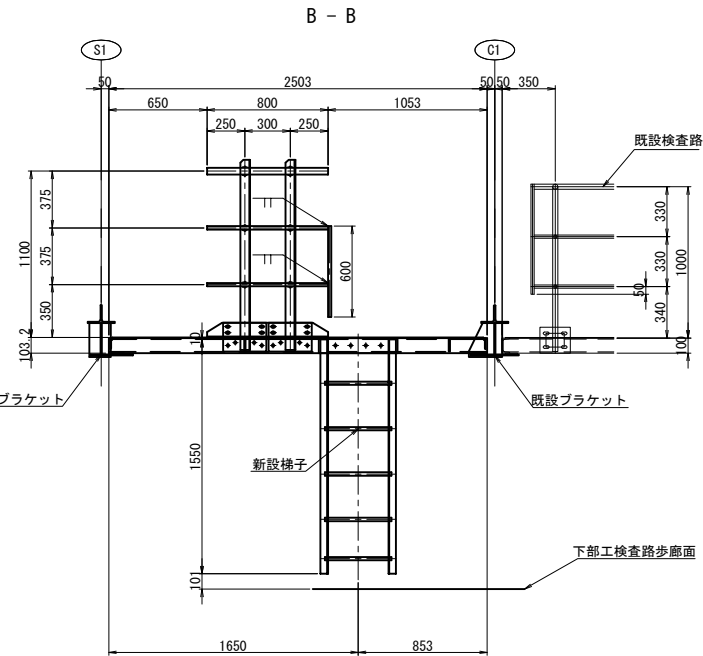
AP13橋脚 (AP14側)



- K-1新規製作材料(1組当り):計1組
- 1-PIPE φ42. 7x2. 3x1437 (STK400)
 - 2-PIPE φ21. 7x1. 9x1437 (STK400)
 - 2-L 65x65x6x1258
 - 2-PL 190x12x285 (SM400A)
 - 1-PL 90x3. 2x1437
 - 2-U. BOLT 呼び 32C
 - 4-U. BOLT 呼び 15C
 - 8-BN M16x45 (2-W付)
 - 8-BN M10x35 (2-W付)



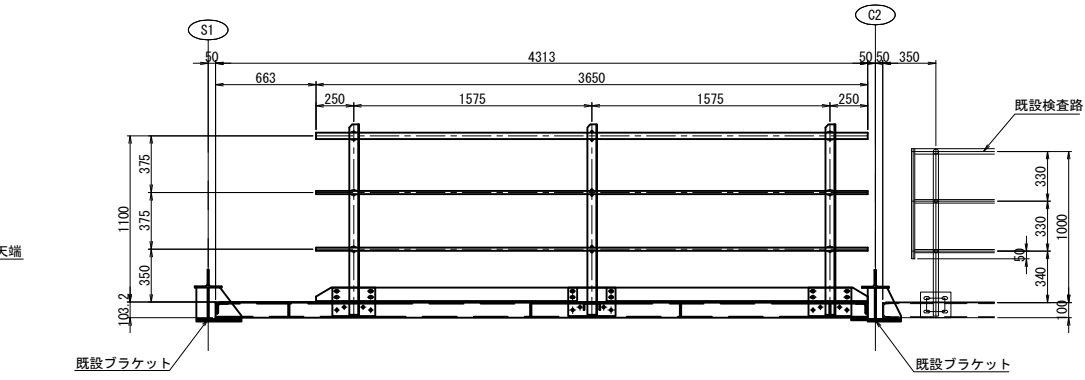
- K-1新規製作材料(1組当り):計1組
- 1-Ch PL 460x3. 2x2429 (SS400相当品)
 - 1-CH 100x50x5x7. 5x2129
 - 1-CH 100x50x5x7. 5x2503
 - 1-L 75x75x6x637
 - 1-L 75x75x6x490
 - 2-FB 90x9x490
 - 26-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
 - 2-PL 80x9x480 (SM400A)



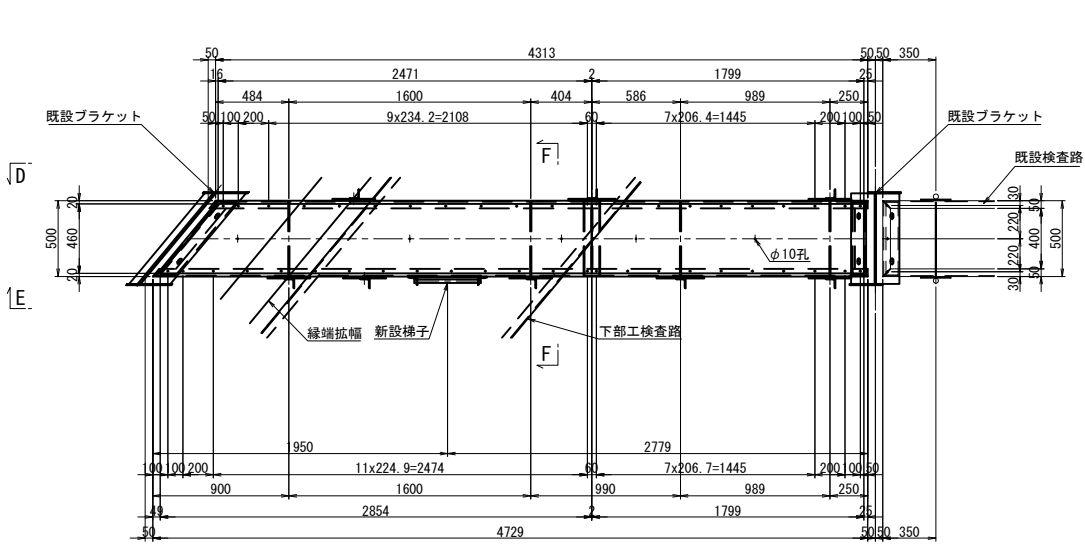
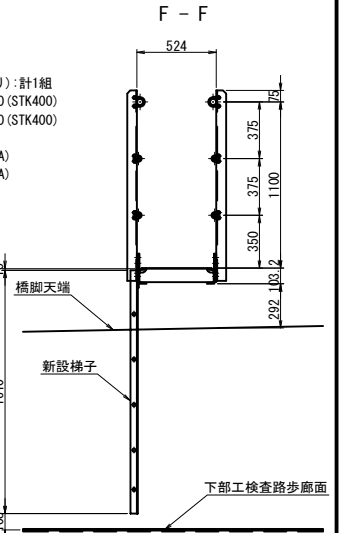
- K-1新規製作材料(1組当り):計1組
- 1-PIPE φ42. 7x2. 3x800 (STK400)
 - 2-PIPE φ21. 7x1. 9x800 (STK400)
 - 1-PIPE φ21. 7x1. 9x600 (STK400)
 - 2-L 65x65x6x1258
 - 2-PL 190x12x285 (SM400A)
 - 1-PL 90x3. 2x800
 - 2-U. BOLT 呼び 32C
 - 4-U. BOLT 呼び 15C
 - 8-BN M16x45 (2-W付)
 - 8-BN M10x35 (2-W付)

K-6

D - D

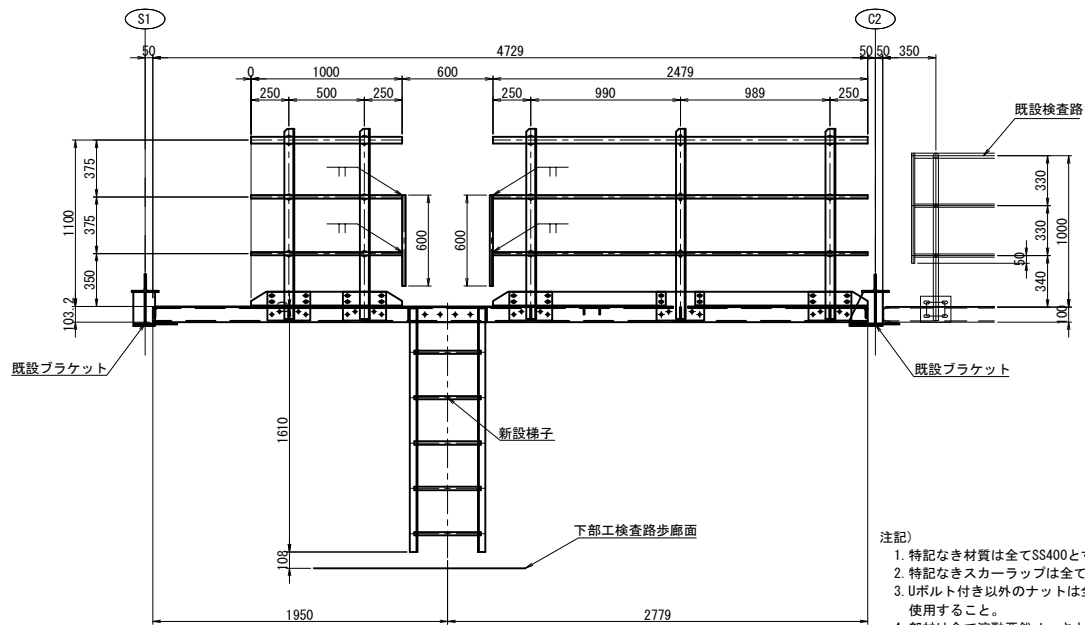


- K-6新規製作材料(1組当り):計1組
- 1-PIPE φ42. 7x2. 3x3650 (STK400)
 - 2-PIPE φ21. 7x1. 9x3650 (STK400)
 - 3-L 65x65x6x1258
 - 2-PL 190x12x285 (SM400A)
 - 1-PL 190x12x315 (SM400A)
 - 2-PL 90x3. 2x1728
 - 3-U. BOLT 呼び 32C
 - 6-U. BOLT 呼び 15C
 - 12-BN M16x45 (2-W付)
 - 12-BN M10x35 (2-W付)



- K-6新規製作材料(1組当り):計1組
- 1-Ch PL 460x3. 2x2854 (SS400相当品)
 - 1-Ch PL 460x3. 2x1799 (SS400相当品)
 - 1-CH 100x50x5x7. 5x4355
 - 1-CH 100x50x5x7. 5x4729
 - 1-L 75x75x6x637
 - 1-L 75x75x6x490
 - 2-L 50x50x6x490
 - 4-FB 90x9x490
 - 46-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
 - 2-PL 80x9x480 (SM400A)

E - E



- K-6新規製作材料(1組当り):計1組
- 1-PIPE φ42. 7x2. 3x1000 (STK400)
 - 2-PIPE φ21. 7x1. 9x1000 (STK400)
 - 1-PIPE φ21. 7x1. 9x600 (STK400)
 - 1-PIPE φ42. 7x2. 3x2479 (STK400)
 - 2-PIPE φ21. 7x1. 9x2479 (STK400)
 - 1-PIPE φ21. 7x1. 9x600 (STK400)
 - 5-L 65x65x6x1258
 - 4-PL 190x12x285 (SM400A)
 - 1-PL 190x12x315 (SM400A)
 - 1-PL 90x3. 2x1000
 - 2-PL 90x3. 2x1142
 - 5-U. BOLT 呼び 32C
 - 10-U. BOLT 呼び 15C
 - 20-BN M16x45 (2-W付)
 - 20-BN M10x35 (2-W付)

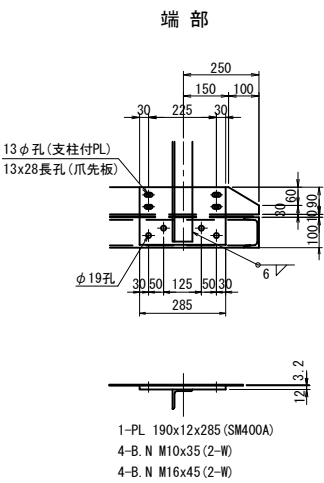
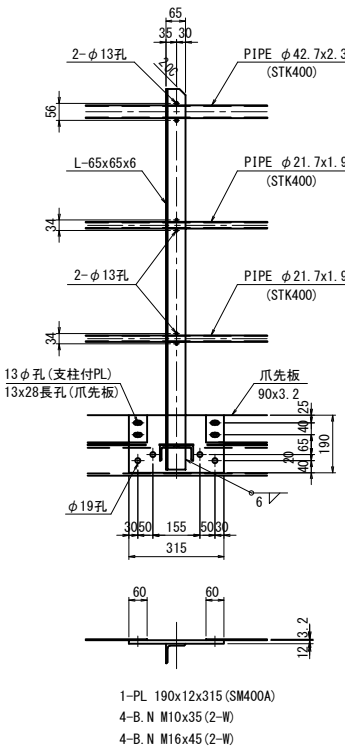
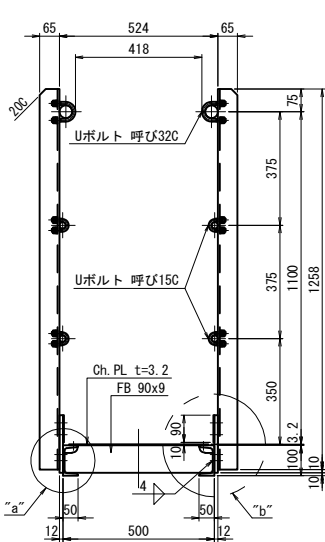
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3. 2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3. 2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3. 2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋	上部工検査路詳細図(その1)(参考図)	
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

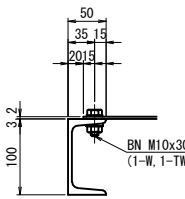
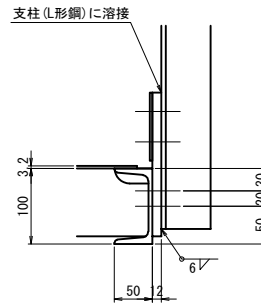
犀川橋 上部工検査路詳細図(その2) (参考図) S=1:25

AP13橋脚 (AP14側)

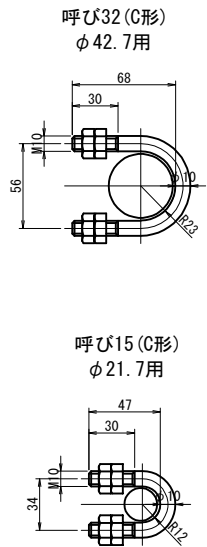
歩廊断面及び構造詳細



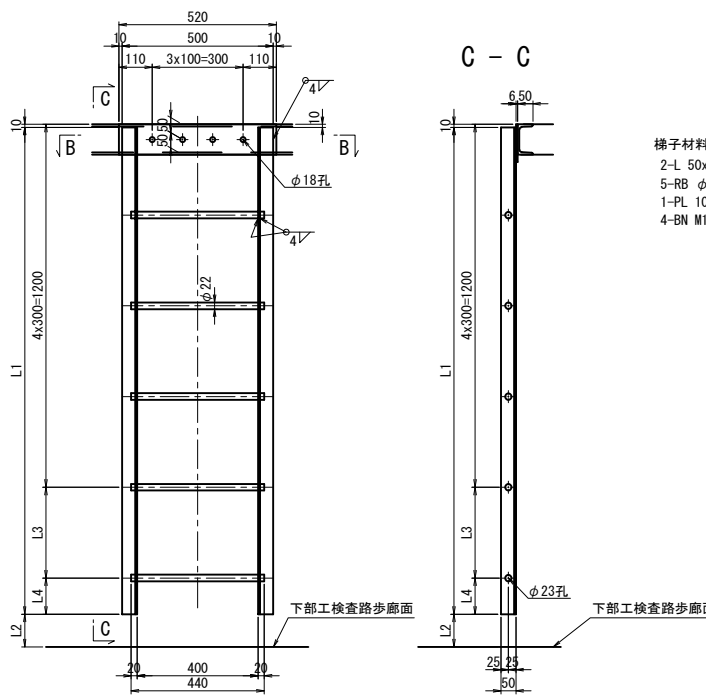
"a"部詳細 S=1:1

**"b"部詳細** S=1:1

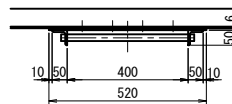
U-ボルト詳細 S=1:5



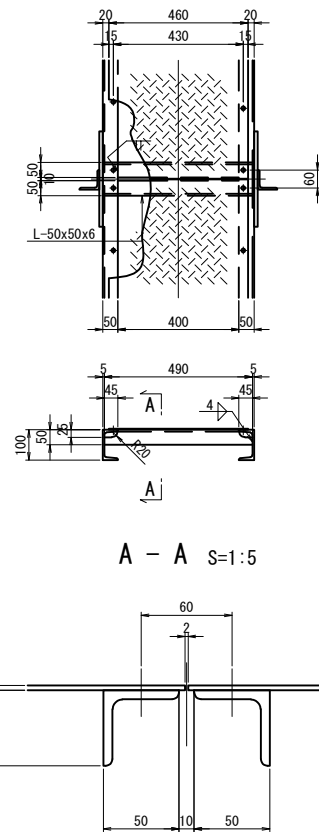
梯子詳細



B - 1



Ch. PL分割部詳細図



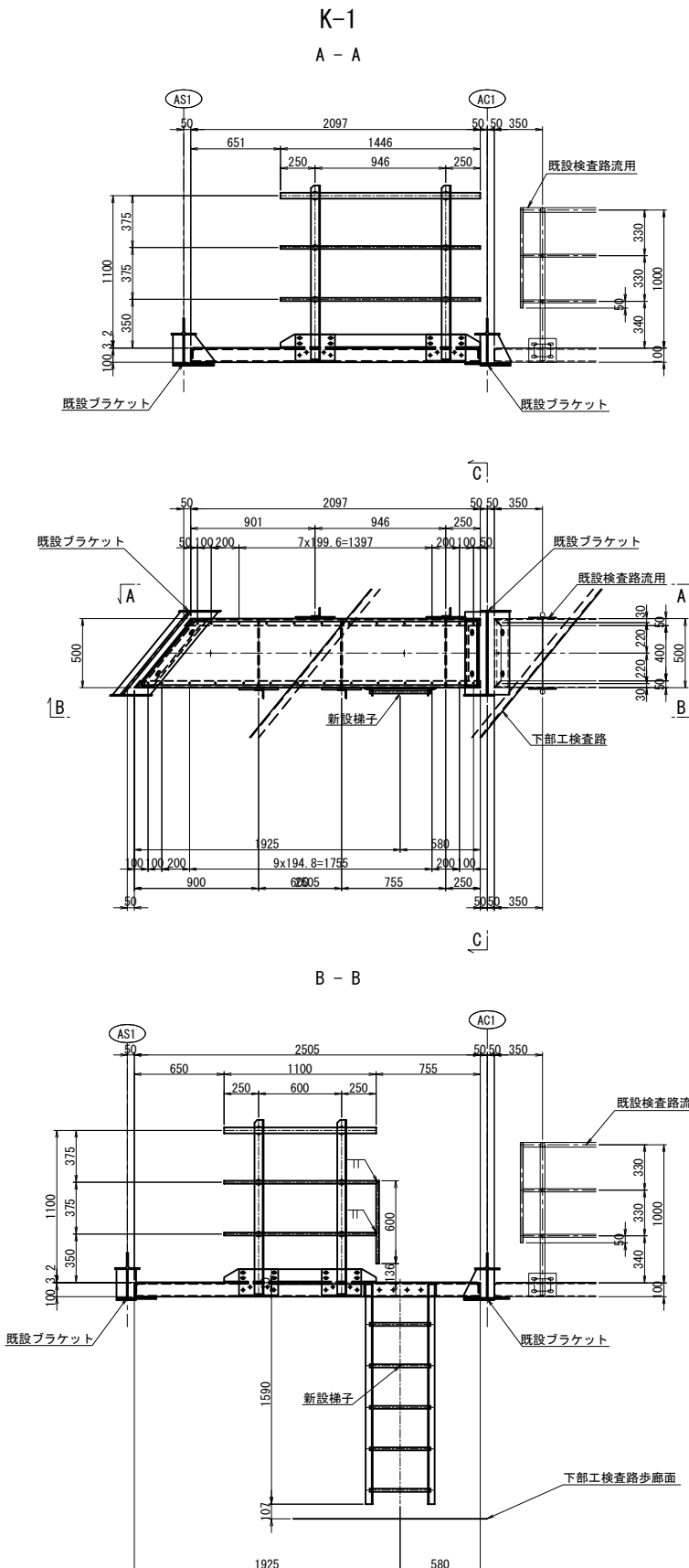
(注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. 使用ルット付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの厚度は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前
ブラスト処理とする。
5. 工事製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
標準とする。

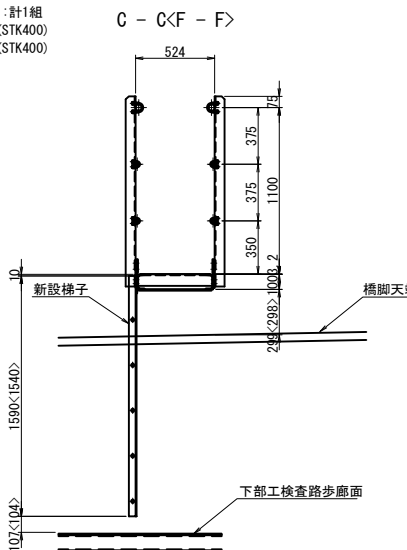
長野自動車道 厚川橋耐震補強工事			
図面の種類	厚川橋 上郷工機道路詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野道路事務所		

犀川橋 上部工検査路詳細図(その3) (参考図) S=1:50

BP13橋脚 (BP14側)

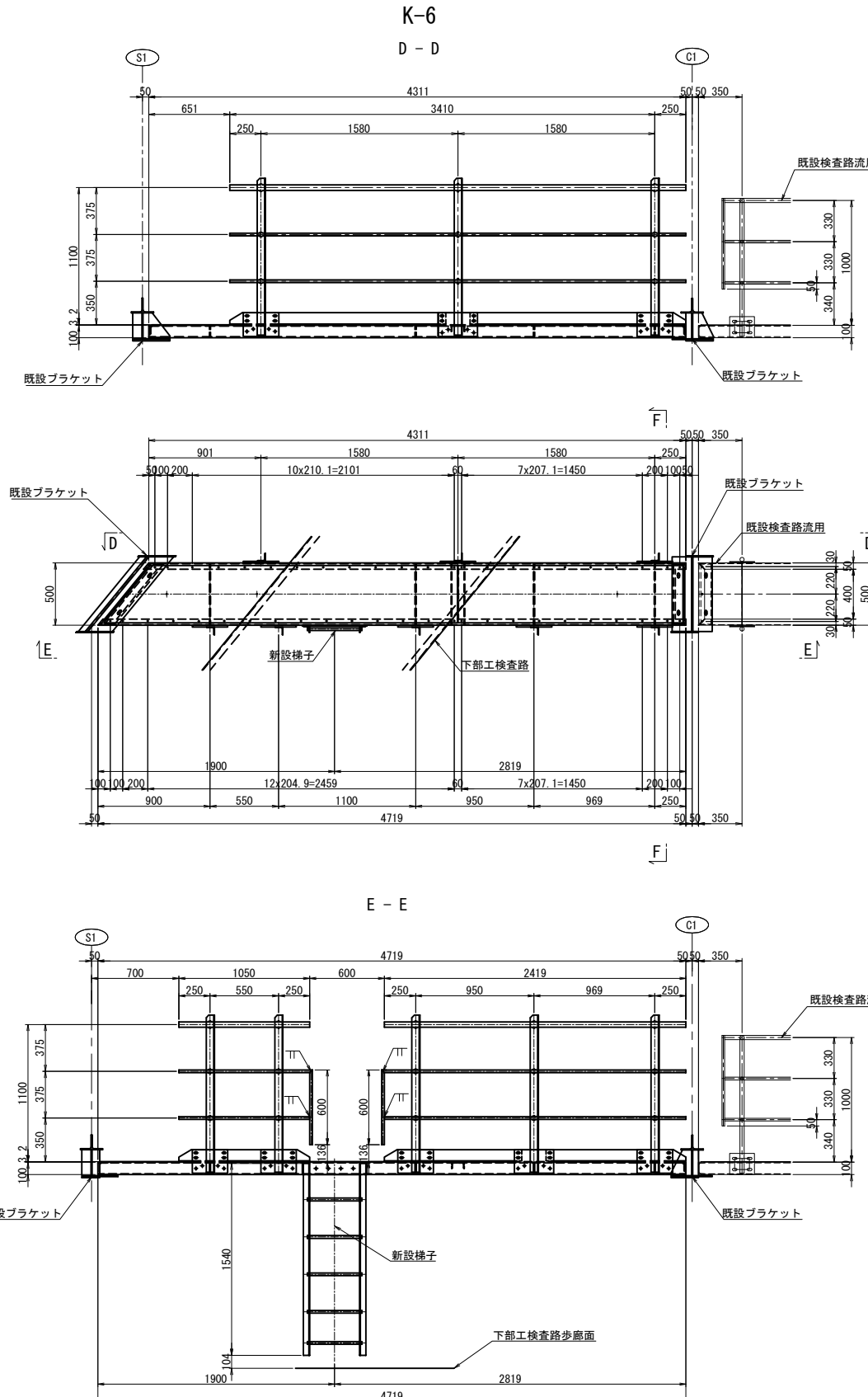


K-1新規製作材料(1組当り):計1組
 1-PIPE φ42. 7x2. 3x1446 (STK400)
 2-PIPE φ21. 7x1. 9x1446 (STK400)
 2-L 65x65x61x1258
 2-PL 190x12x285 (SM400A)
 1-PL 90x3. 2x1446
 2-U. BOLT 呼び 32C
 4-U. BOLT 呼び 15C
 8-BN M16x45 (2-W付)
 8-BN M10x35 (2-W付)



K-1新規製作材料(1組当たり):計1組
 1-CH PL 460x3. 2x2432(SS400相当)
 1-CH 100x50x5x7. 5x2138
 1-CH 100x50x5x7. 5x2505
 1-L 75x75x6x638
 1-L 75x75x6x490
 3-FB 90x9x490
 26-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
 2-PL 80x9x480(SM400A)

K-1新規製作材料(1組当り):計1組
 1-PIPE φ42.7x2.3x1100(STK400)
 2-PIPE φ21.7x1.9x1100(STK400)
 1-PIPE φ21.7x1.9x600(STK400)
 2-L 65x65x6x1258
 2-PL 190x12x285(SM400A)
 1-PL 90x3.2x1100
 2-U. BOLT 呼び 32C
 4-U. BOLT 呼び 15C
 8-BN M16x45 (2-ワ付)
 8-BN M10x35 (2-ワ付)



K-6新規製作材料(1組当り):計1台

- 1-PIPE ϕ 42. 7x2. 3x3410 (STK40)
- 1-PIPE ϕ 21. 7x1. 9x3410 (STK40)
- 3-L 65x65x6x1258
- 2-PL 190x12x285 (SM400A)
- 1-PL 190x12x315 (SM400A)
- 1-PL 90x3. 2x1732
- 1-PL 90x3. 2x1733
- 3-U BOLT 呼び ϕ 32C
- 6-U BOLT 呼び ϕ 15C
- 12-BN M16x45 (2-ワ付)
- 12-BN M10x35 (2-ワ付)

K-6新規製作材料(1組当たり):計11
 1-CH PL 460x3. 2x2840 (SS400材)
 1-CH PL 460x3. 2x1804 (SS400材)
 1-CH 100x50x5x7. 5x4352
 1-CH 100x50x5x7. 5x4719
 1-L 75x75x6x638
 1-L 75x75x6x490
 2-L 50x50x6x490
 4-FB 90x9x490
 48-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
 2-PL 80x9x480 (SM400A)

K-6新規製作材料(1組当たり)計1巻
 1-P1PE φ42. 7x2. 3x1050 (STK40)
 2-P1PE φ21. 7x1. 9x1050 (STK40)
 1-P1PE φ42. 7x2. 3x2419 (STK40)
 2-P1PE φ21. 7x1. 9x2419 (STK40)
 2-P1PE φ21. 7x1. 9x600 (STK400A)
 5-L 65x65x6x1258
 5-PL 190x12x285 (SM400A)
 1-PL 90x3. 2x1050
 1-PL 90x3. 2x1103
 1-PL 90x3. 2x1123
 5-U. BOLT 呼び 32C
 10-U. BOLT 呼び 15C
 20-BN M16x45 (2-ワ付)
 20-BN M10x35 (2-ワ付)

(注記)

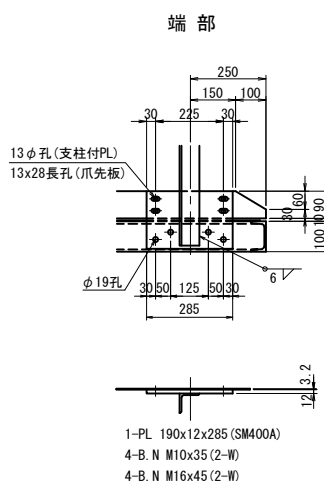
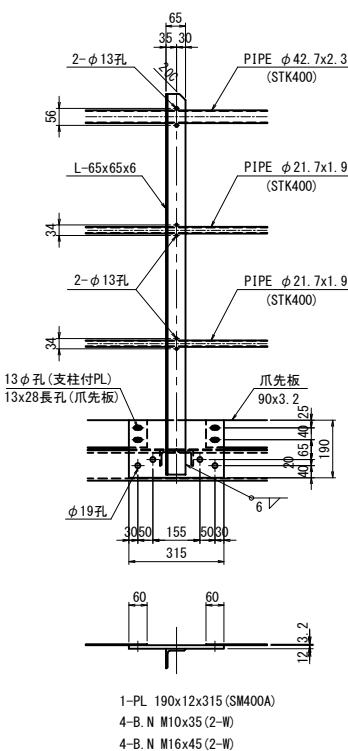
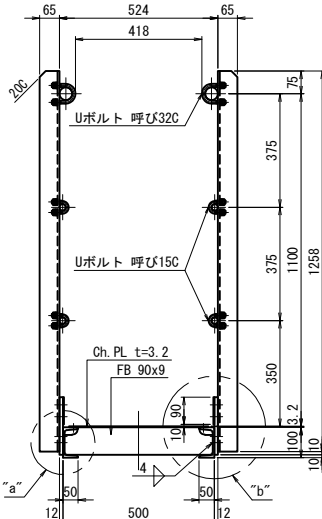
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカラーブは全て50Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは全て縦止めのナットを使用する。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZ77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZ763、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZ740とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラント処理とする。
5. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	上郷工機検査詳細図(その3) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

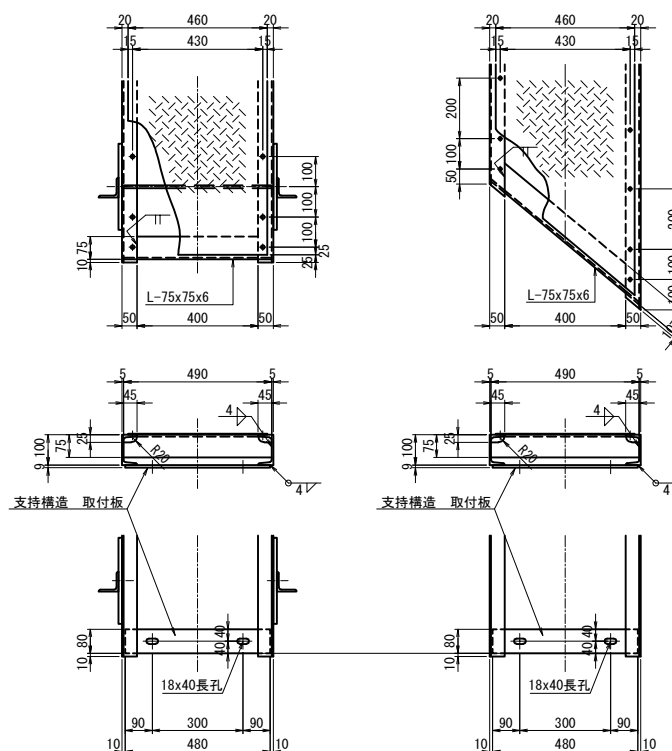
犀川橋 上部工検査路詳細図(その4) (参考図) S=1:25

BP13橋脚 (BP14側)

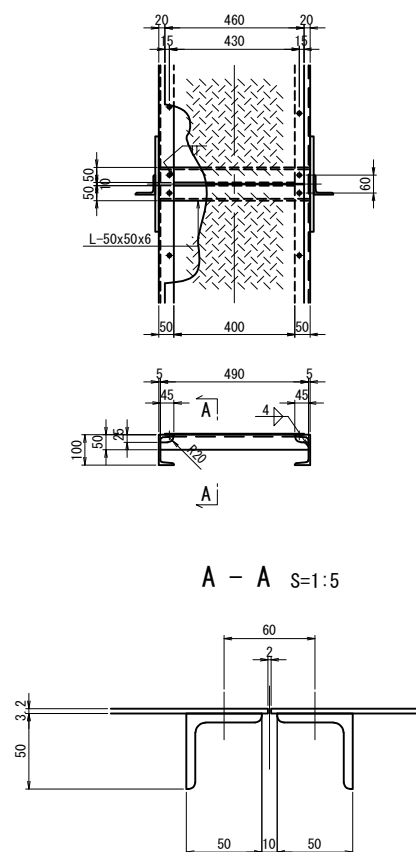
歩廊断面及び構造詳細



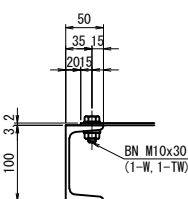
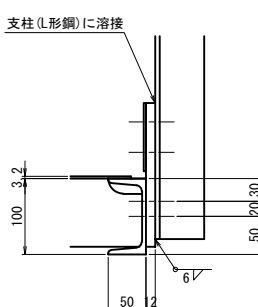
歩廊端部詳細図



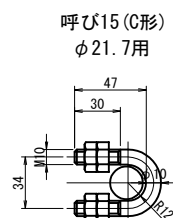
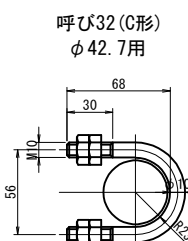
Ch. PL分割部詳細図



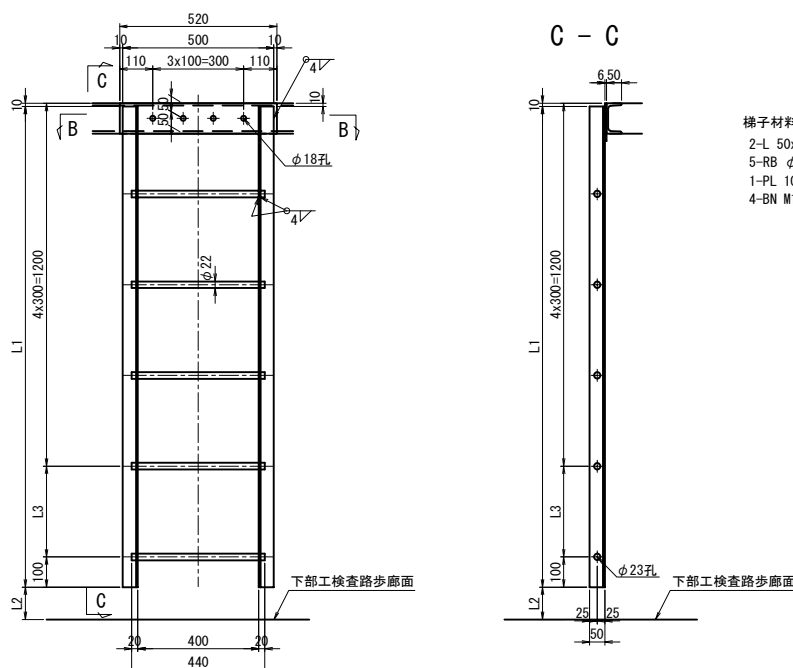
"a"部詳細 S=1:1

**"b"部詳細** S=1:10

U-ボルト詳細 S=1:5



梯子詳細



梯子材料(1組当り):計条
2-L 50x50x6xLL1
5-RB φ22x440
1-PL 100x6x520(SM400A
4-BN M16x40(2-W付)

注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカラーの仕様は全て50Rとする。
3. ボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの厚度は、
板厚6mm以下の部材はJIS H8641 HDZ777、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZ763、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZ749とする。
- また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
5. 工事製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

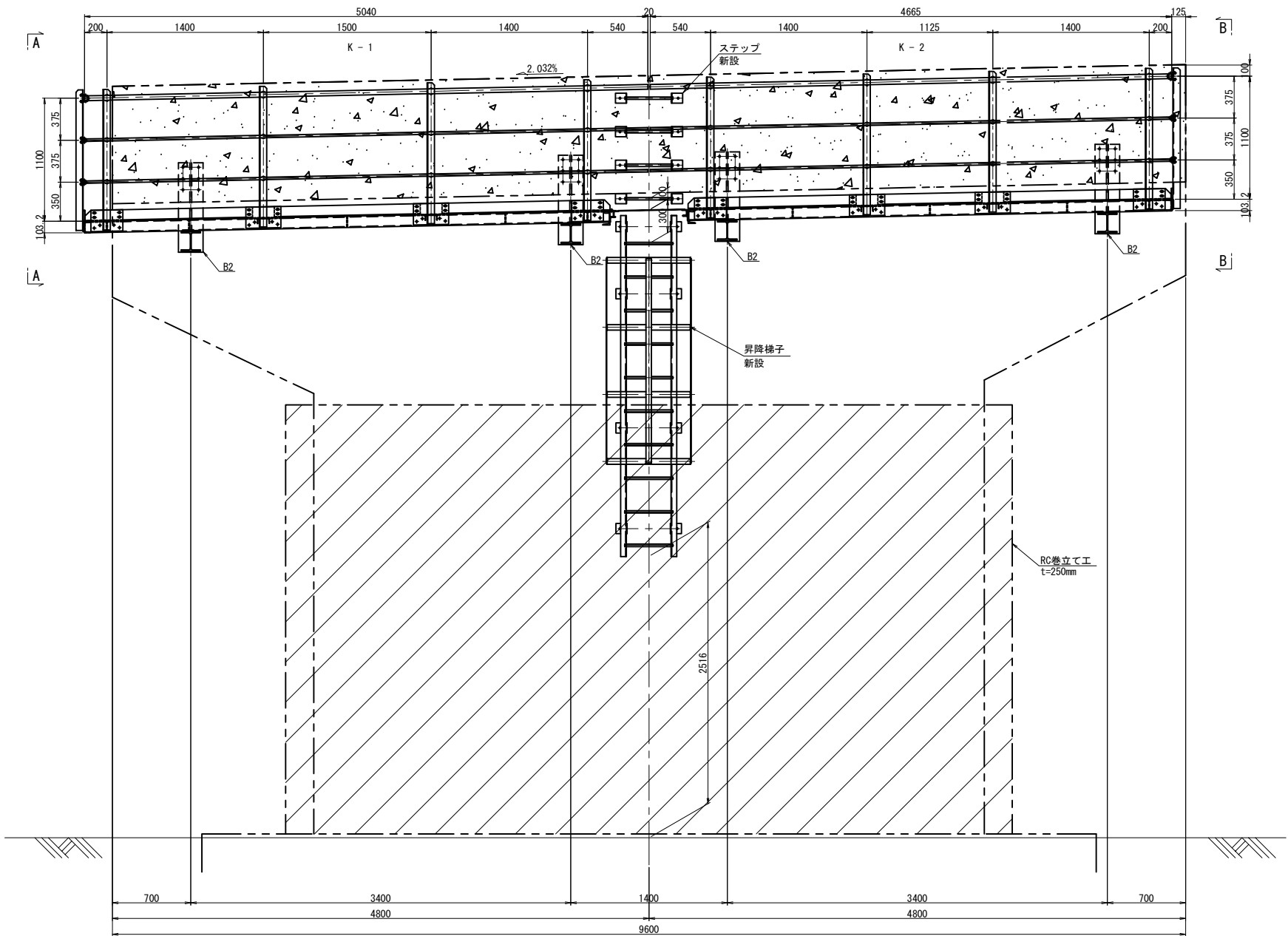
	L1	L2	L3	LL1	n
K-1	1590	107	300	1590	1
K-6	1540	104	250	1540	1

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類		犀川橋	
上工検査詳細図面(その4) (参考図)			
縮 尺	図式	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋 下部工検査路詳細図(その1) (参考図) S=1:50

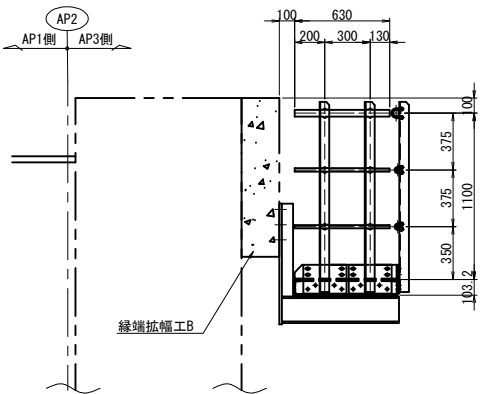
AP2橋脚 (AP3側)

正面図



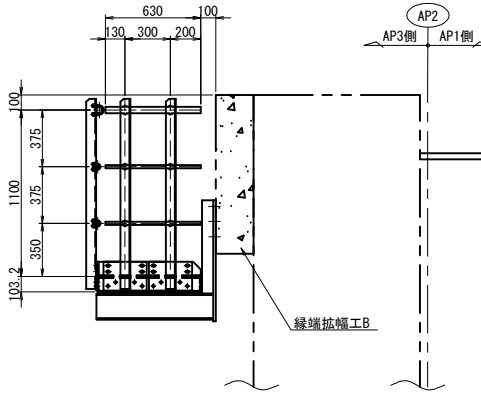
側面図

A - A

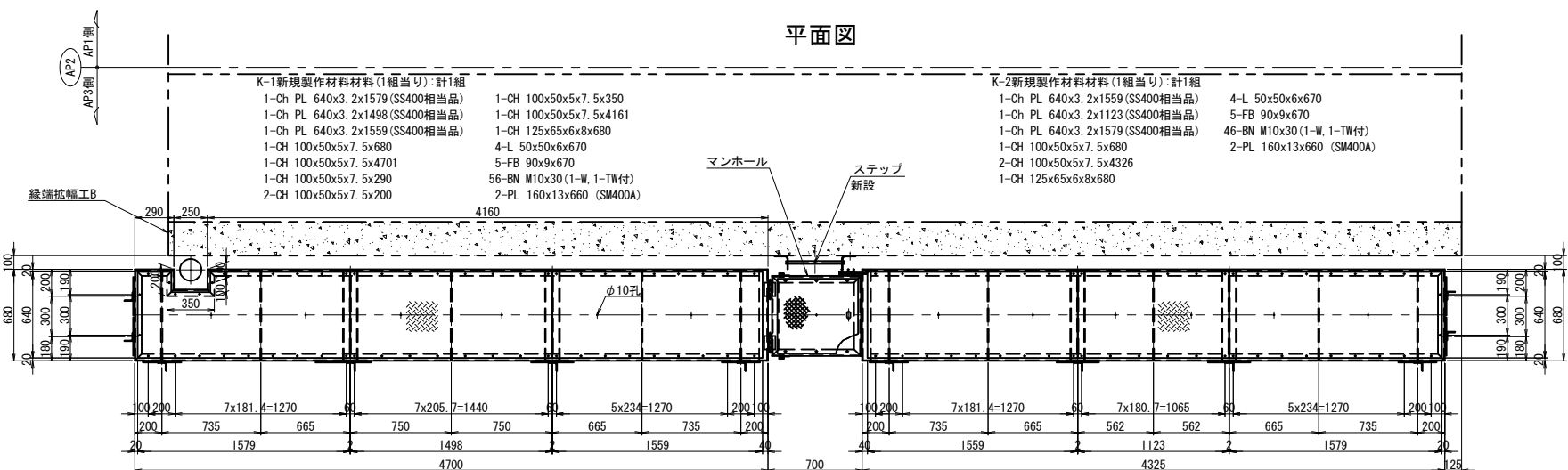


側面図

B - B



平面図

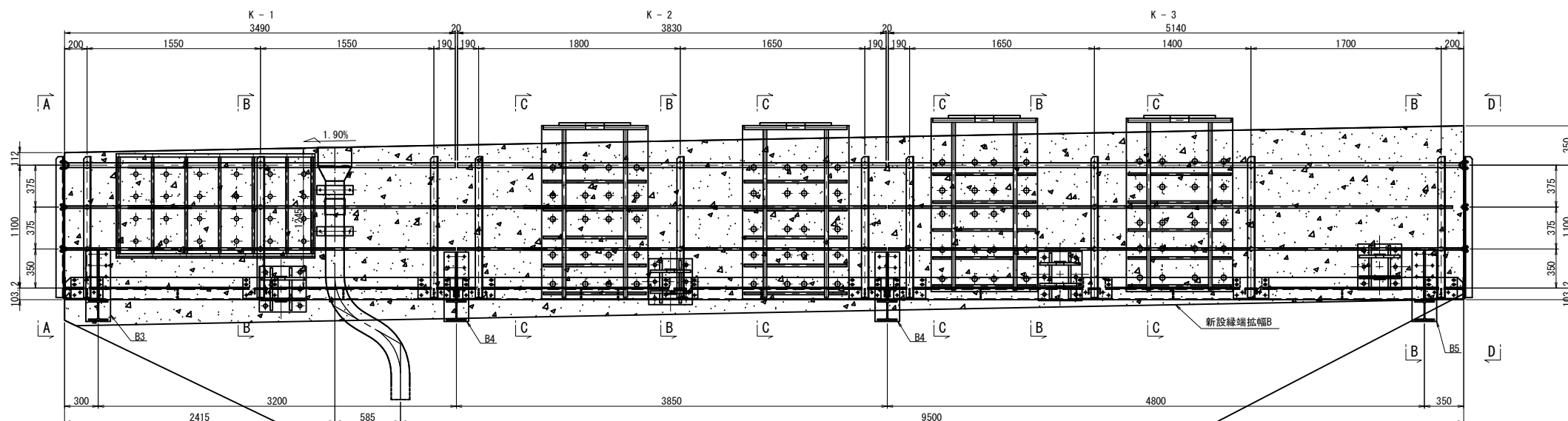


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	下部工検査路詳細図(その1) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

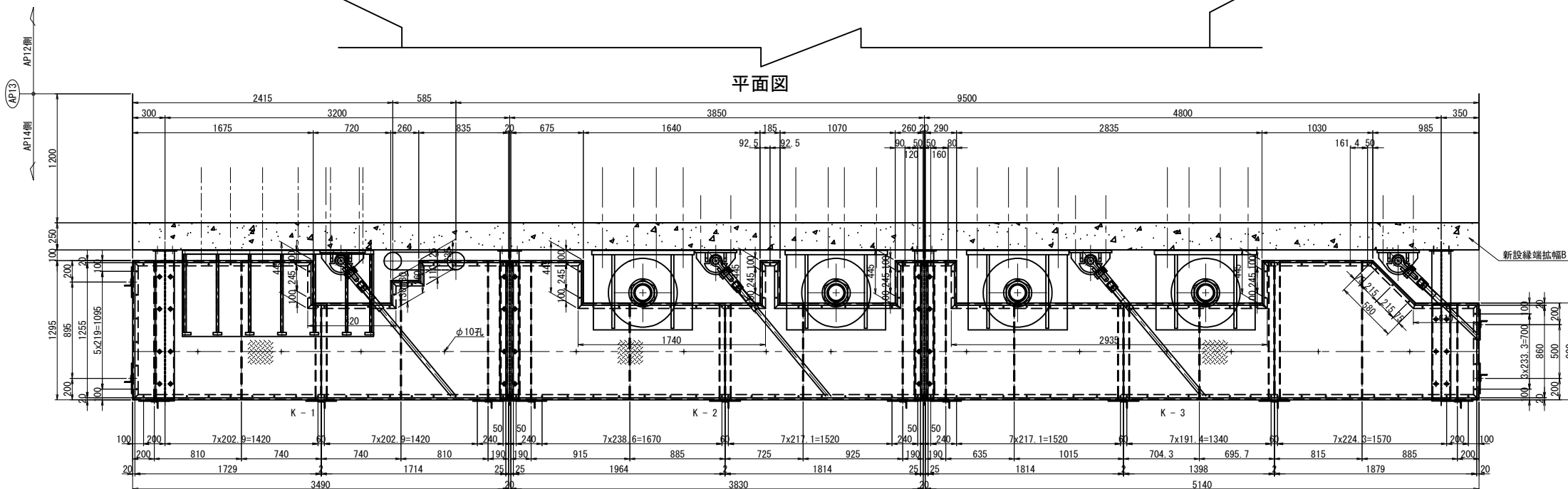
犀川橋 下部工検査路詳細図(その2) (参考図) S=1:50

正面図
AP13橋脚 (AP14側)



- K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x3490 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x3490 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 190x12x315 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1648
1-PL 90x3. 2x1643
3-U. BOLT 呼び 32C
6-U. BOLT 呼び 15C
- K-2新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x3830 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x3830 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 190x12x315 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1893
1-PL 90x3. 2x1743
3-U. BOLT 呼び 32C
6-U. BOLT 呼び 15C
12-BN M16x45 (2-W付)
12-BN M10x35 (2-W付)
- K-3新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x5140 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x5140 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
2-PL 190x12x315 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1743
1-PL 90x3. 2x1205
1-PL 90x3. 2x1798
4-U. BOLT 呼び 32C
8-U. BOLT 呼び 15C
- 20-BN M16x45 (2-W付)
20-BN M10x35 (2-W付)

平面図



- K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 1255x3. 2x1729 (SS400相当品)
1-Ch PL 1255x3. 2x1714 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x1295
1-CH 100x50x5x7. 5x3490
1-CH 100x50x5x7. 5x1675
1-CH 100x50x5x7. 5x445
1-CH 100x50x5x7. 5x820
1-CH 100x50x5x7. 5x260
1-CH 100x50x5x7. 5x260
1-CH 100x50x5x7. 5x835
- K-2新規製作材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 1255x3. 2x1964 (SS400相当品)
1-Ch PL 1255x3. 2x1814 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x3830
1-CH 100x50x5x7. 5x675
4-CH 100x50x5x7. 5x445
1-CH 100x50x5x7. 5x1740
1-CH 100x50x5x7. 5x185
1-CH 100x50x5x7. 5x1170
1-CH 100x50x5x7. 5x260
- K-3新規製作材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 1255x3. 2x1814 (SS400相当品)
1-Ch PL 1255x3. 2x1398 (SS400相当品)
1-Ch PL 1255x3. 2x1879 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x5140
1-CH 100x50x5x7. 5x900
1-CH 100x50x5x7. 5x610
1-CH 100x50x5x7. 5x583
1-CH 100x50x5x7. 5x1030
2-CH 100x50x5x7. 5x445
1-CH 100x50x5x7. 5x2935
1-CH 100x50x5x7. 5x290
- 1-L 75x75x6x1285
2-L 50x50x6x899
3-FB 90x9x1285
1-FB 90x9x1100
49-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 60x9x1275 (SM400A)
1-PL 160x9x1275 (SM400A)
- 2-L 75x75x6x1285
2-L 50x50x6x899
2-FB 90x9x1285
2-FB 90x9x890
47-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
2-PL 60x9x1275 (SM400A)
- 1-L 75x75x6x1285
2-L 50x50x6x899
2-L 50x50x6x1285
2-FB 90x9x1285
3-FB 90x9x890
63-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 60x9x1275 (SM400A)
1-PL 160x9x880 (SM400A)

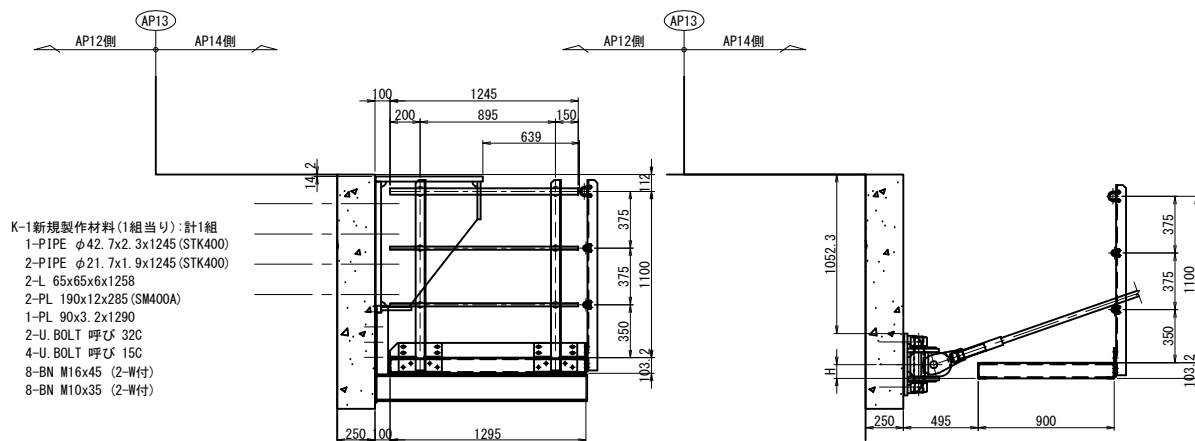
側面図

A - A

B - B

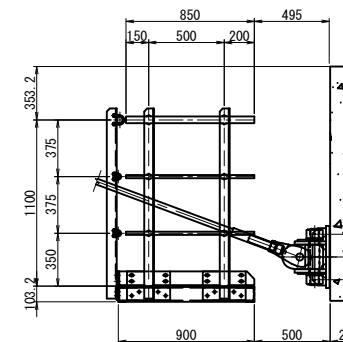
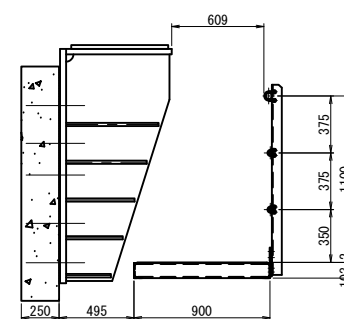
C - C

D - D



- K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1245 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1245 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1290
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
8-BN M16x45 (2-W付)
8-BN M10x35 (2-W付)

	K1	K2	K3
H	94.7	161	227.3



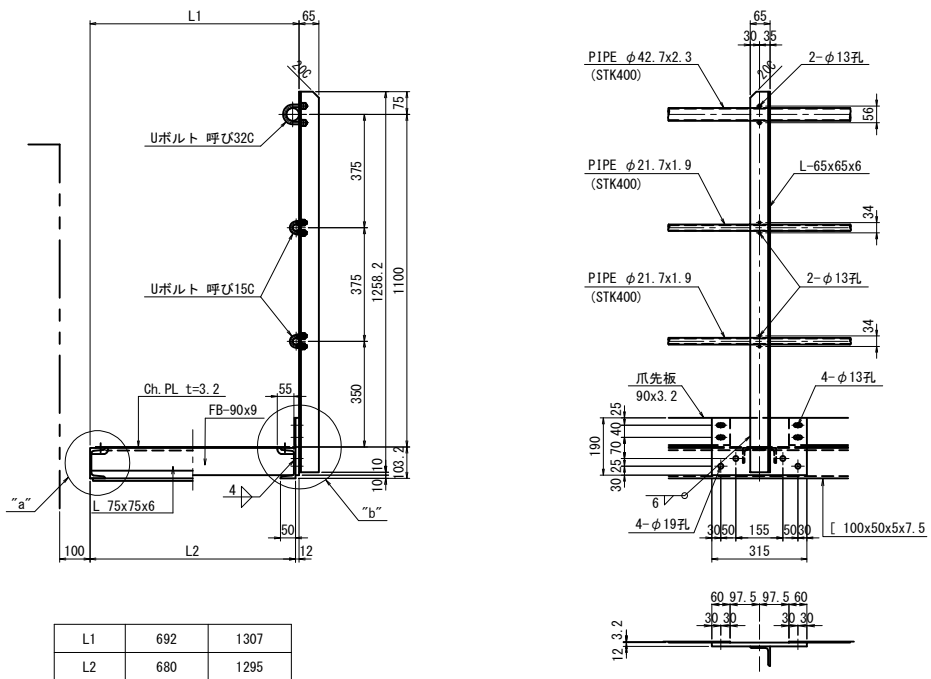
- K-3新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x850 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x850 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x895
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
8-BN M16x45 (2-W付)
8-BN M10x35 (2-W付)

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは全て緩止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
5. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

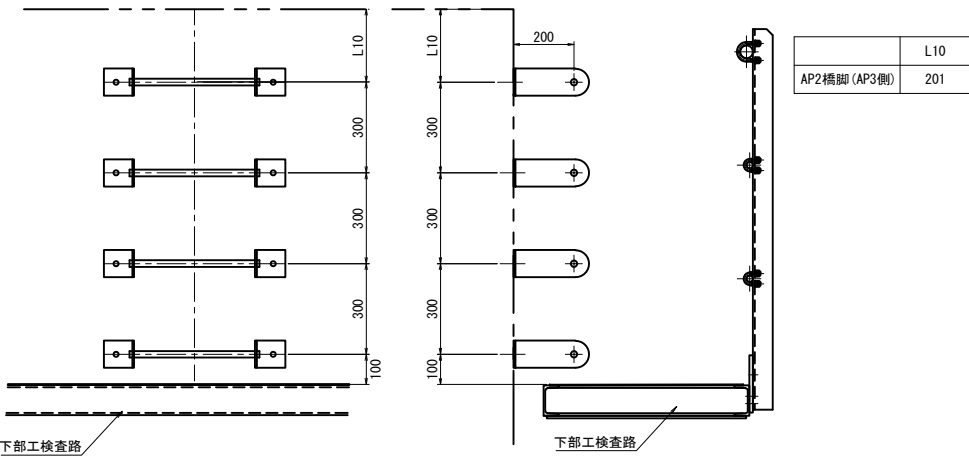
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 下部工検査路詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

＜新規部材詳細＞

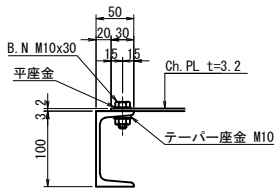
歩廊断面及び構造詳細図



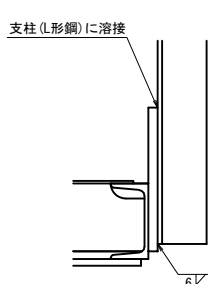
ステップ詳細



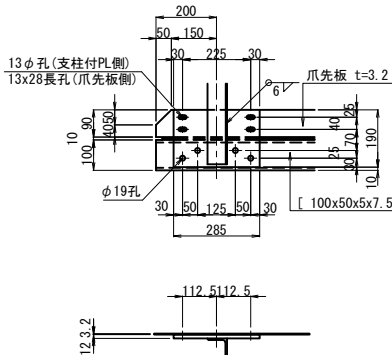
“a”部詳細 S=1:10



“b”部詳細 S=1:10

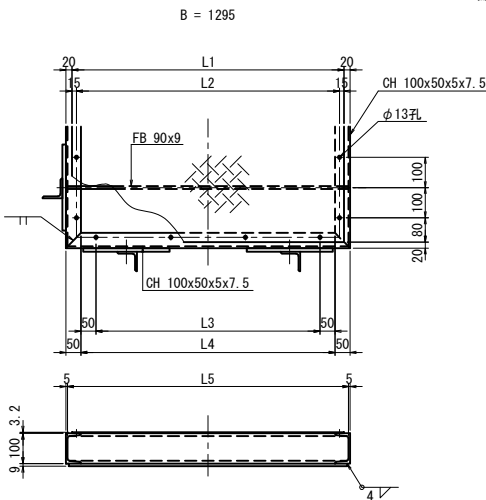


端部

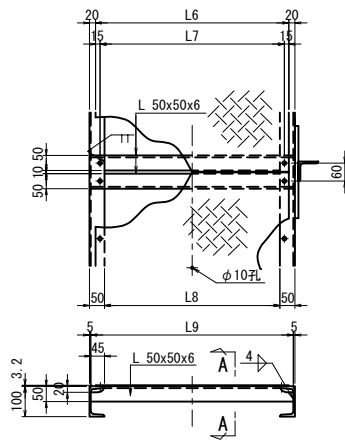


歩廊部詳細図

端部

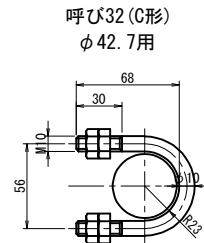


歩廊中間部

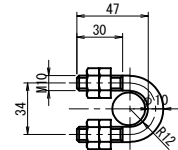


B	680	1295
L6	640	1255
L7	610	1225
L8	580	1195
L9	670	1285

U-ボルト詳細 S=1:5

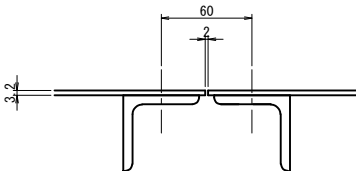


呼び15 (C形)
φ21.7用

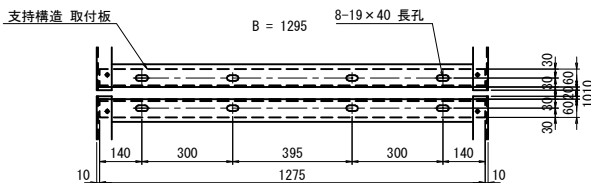
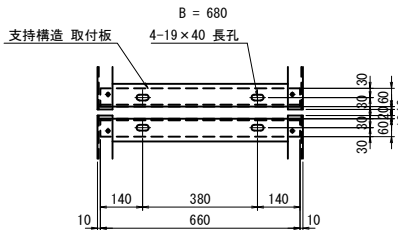
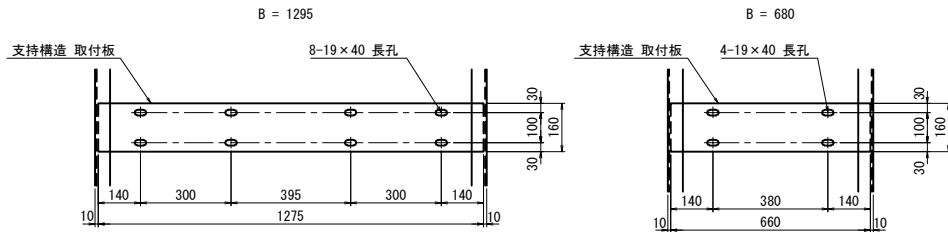


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスチック処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

A - A S=1:5



ブラケット取付部



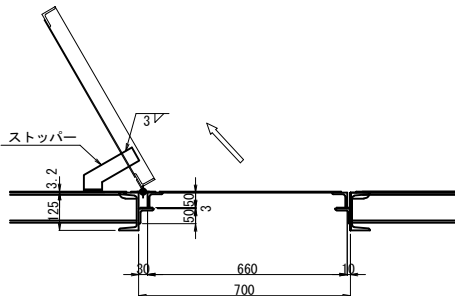
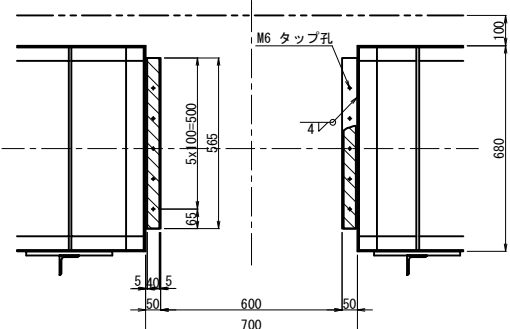
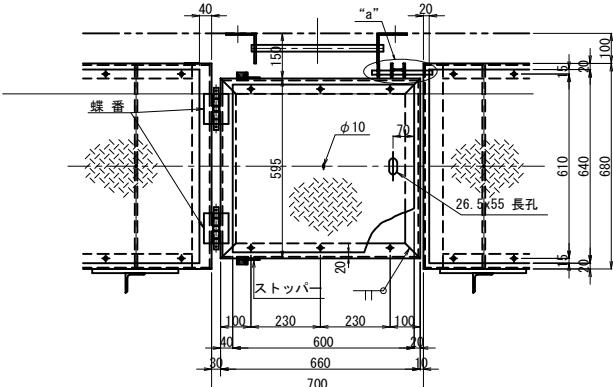
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 下部工検査路詳細図(その3) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋 下部工検査路詳細図(その4) (参考図) S=1:25

＜新規部材詳細＞

マンホール詳細図

AP2 製作数 :

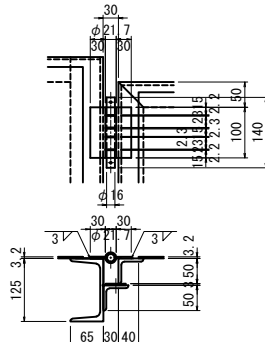


新設材料(1組当り):計1組
2-L 50x50x6x660
2-L 50x50x6x595
1-Ch. PL 555x3.2x600(SS400相当品)
6-BN M10x30(2-W)

新設材料(1組当り): 計1組
1-L 50x50x6x565
※ 1-ゴム 40x3x565 (エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6x8

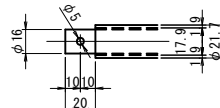
新設材料(1組当り):計1組
1-L 50x50x6x565
※ 1-ゴム 40x3x565(エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6x8
2-FB 50x6x50
1-FB 50x6x50

蝶番詳細図 S=1:15

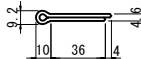


新設材料(1組当り):計2組
2-PL 30x3.2x100(SM400A)
3-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 15$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 23$ (STK400)
1-RB $\phi 16 \times 140$
2-割ピン $\phi 5 \times 36$ (SWRM8)

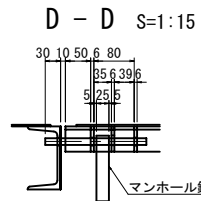
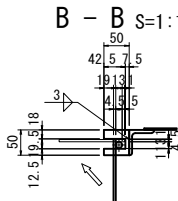
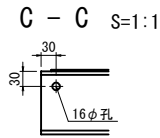
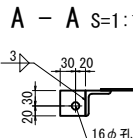
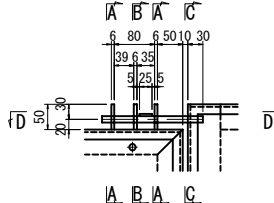
ピン端部詳細図 S=1:5



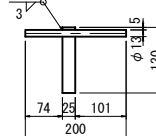
割ピン詳細図 S=1:5



"a"部詳細図 S=1:15

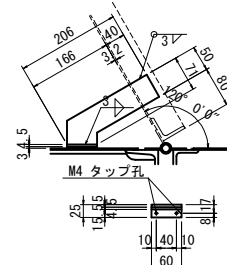


マンホール鍵詳細図 S=1:15



新設材料(1組当り):計1組
1-RB $\phi 13 \times 200$
1-FB 25x4.5x130

ストッパー詳細図 S=1:15



新設材料(1組当り):計2組
1-PL 25x4.5x60(SM400A)
1-PL 206x4.5x71(SM400A)
※ 1-ゴム 25x3x60(エチレンプロピレンゴム)
2-皿ネジ M4x8

(注記)

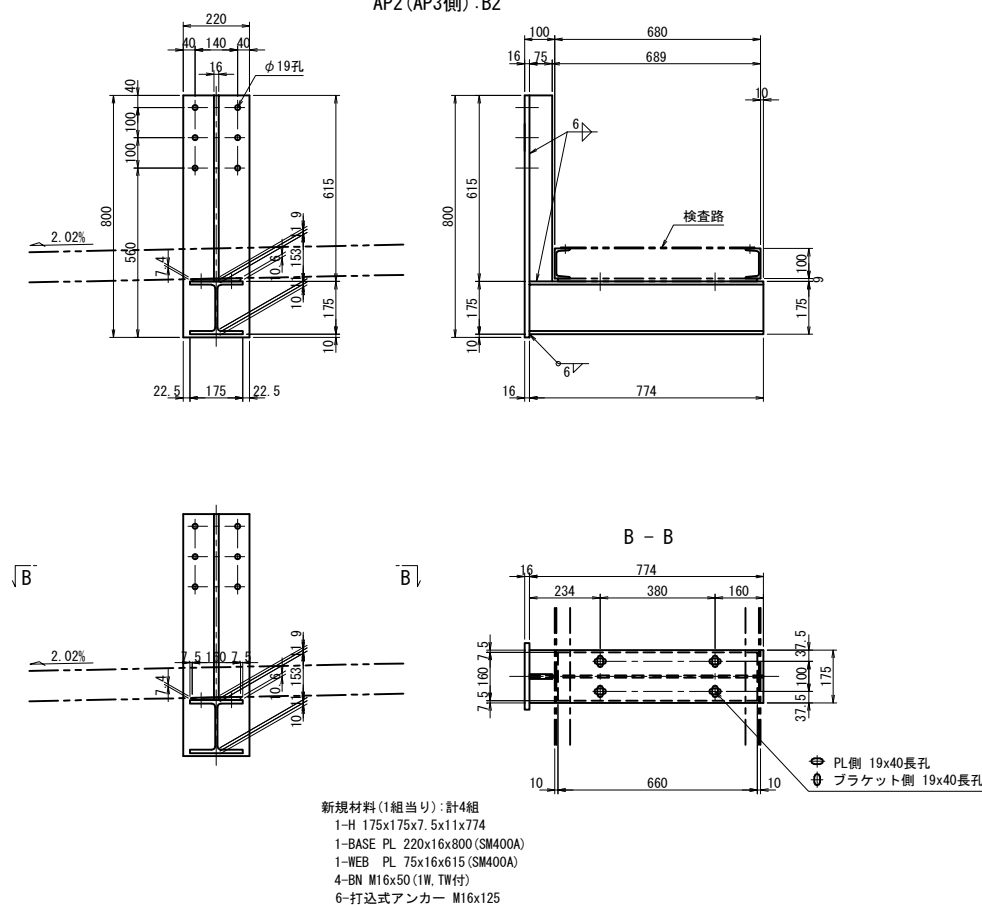
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト付き以外の全ては全て緩み止めナットを
使用すること。
4. ※印以外部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前
にプラスト処理とする。
5. 工機製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類		犀川橋		
下部工検査記録図面(その4) (参考図)				
縮	尺	図示	図面番号	
設計会社名		株式会社 近代設計		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

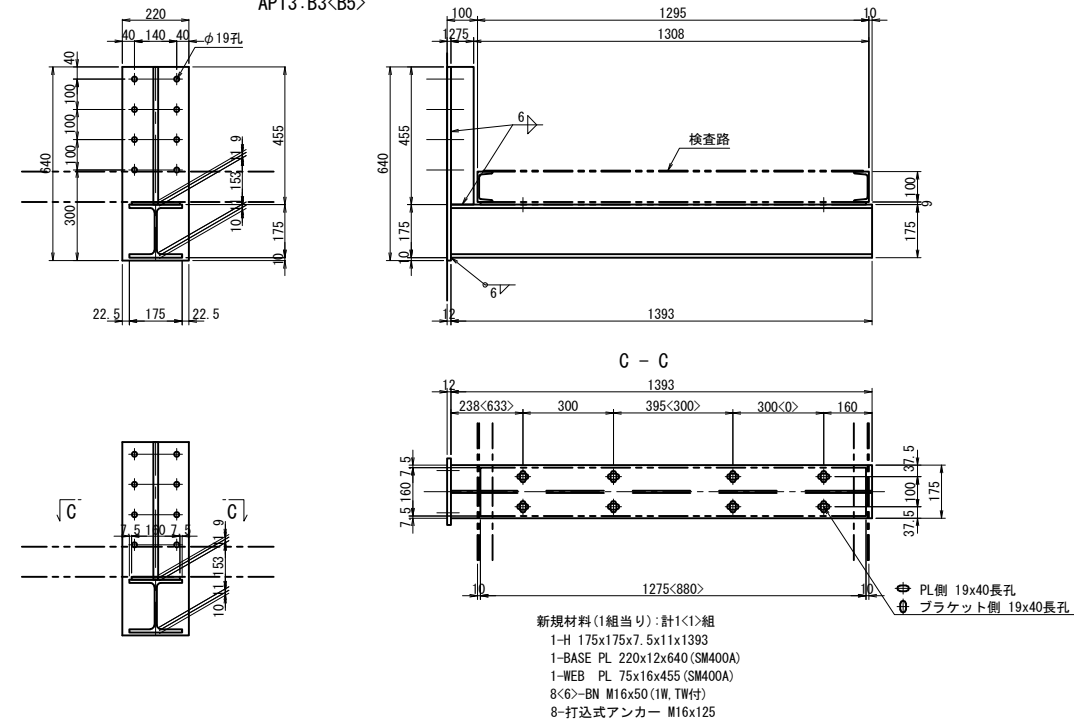
犀川橋 下部工検査路詳細図(その5) (参考図)

＜新規部材詳細＞

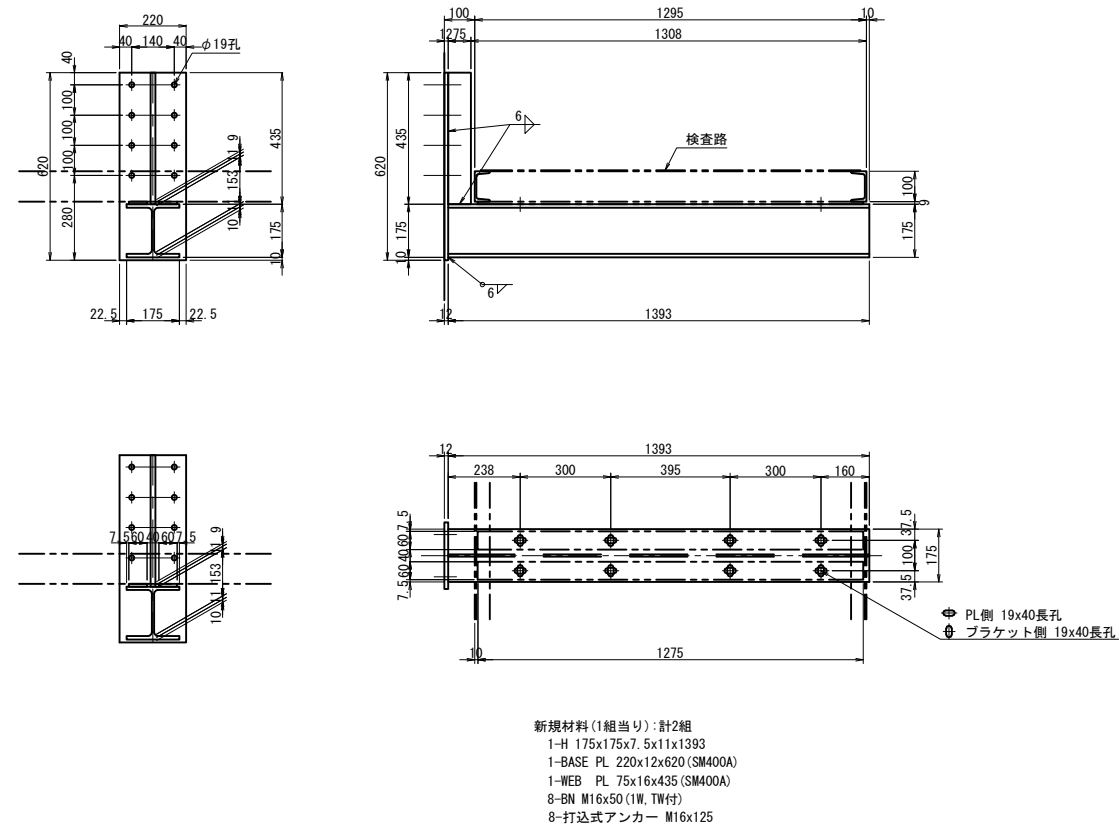
AP2 (AP3側) : B



AP13:B3<B5>



AP13:E

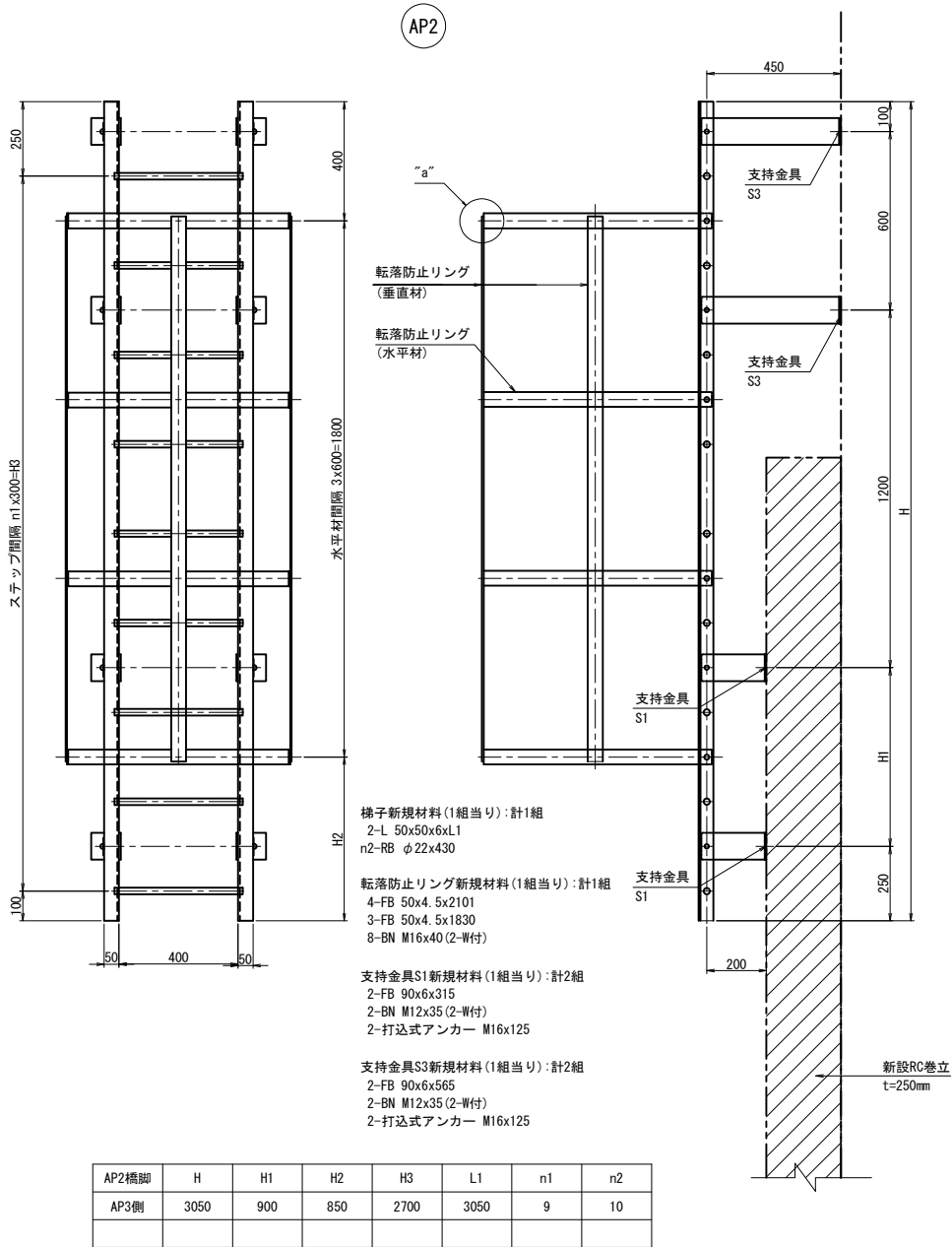


(注記)

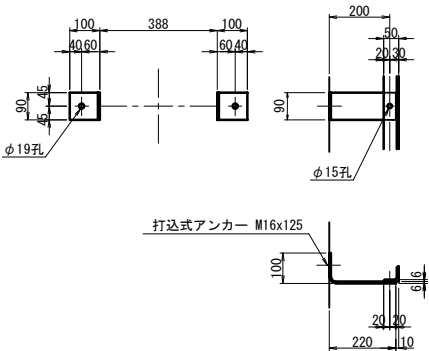
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーップは全て50Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て熔融鋳造メッキとする。
溶融鋳造メッキの厚度は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
工場処理とする。
5. 工場製作は現場実地確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
下部工検査詳細図(その0) (参考図)			
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

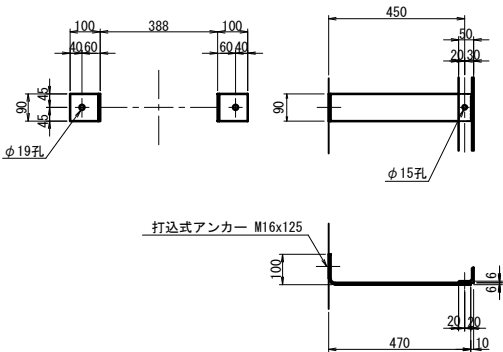
＜昇降梯子新規部材詳細＞



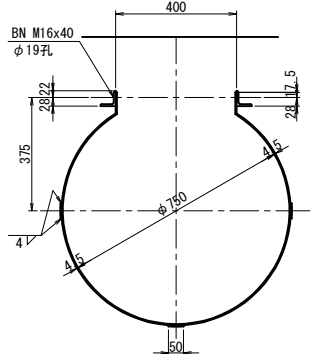
梯子支持金具S1



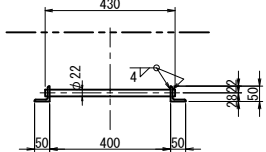
梯子支持金具S2



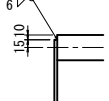
転落防止リング



梯子断面



“a”詳細 S=1:15

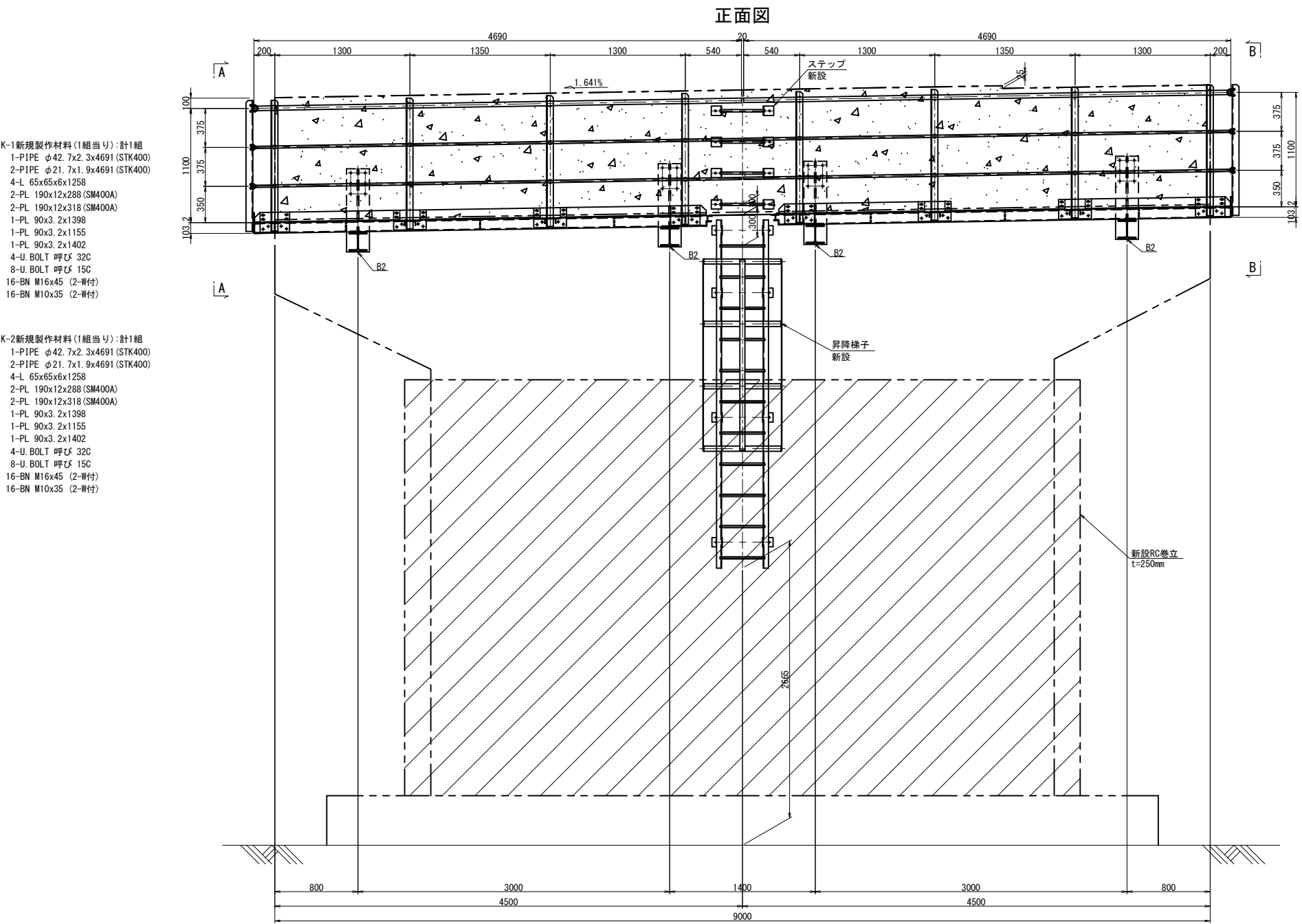


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	下部工検査路詳細図(その6) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長 野 工 事 事 務 所		

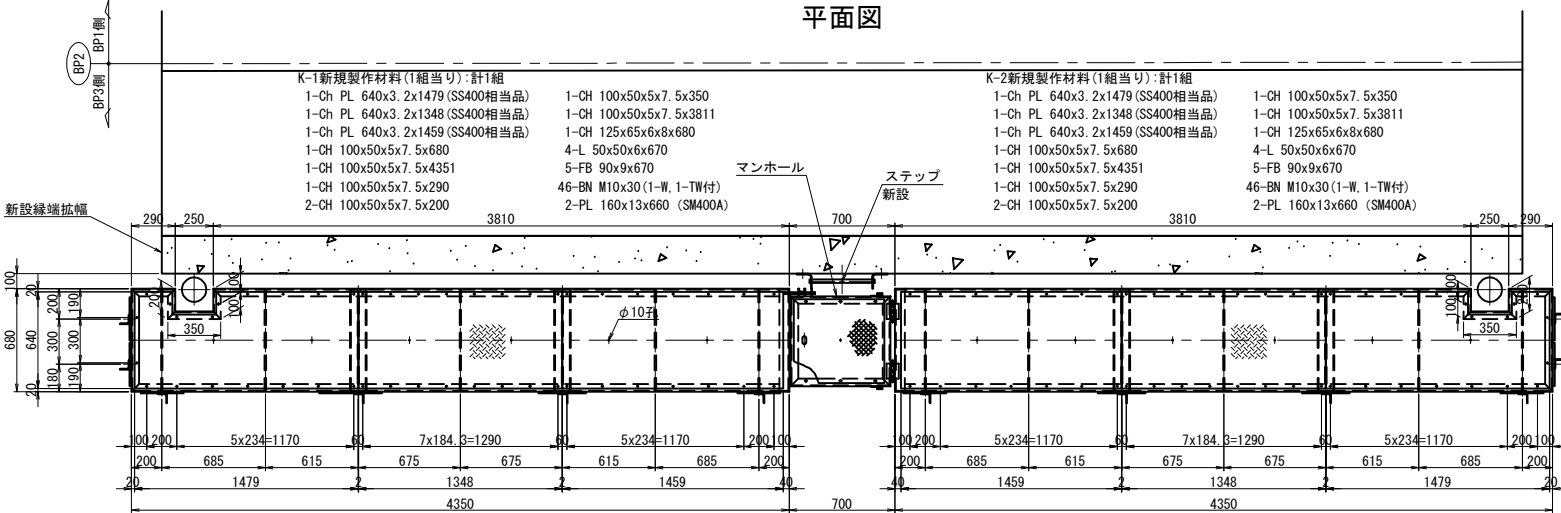
犀川橋 下部工検査路詳細図(その7) (参考図) S=1:50

BP2橋脚 (BP3側)



K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x4691 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x4691 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x288 (SM400A)
2-PL 190x12x318 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1398
1-PL 90x3. 2x1155
1-PL 90x3. 2x1402
4-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
16-BN M16x45 (2-W付)
16-BN M10x35 (2-W付)

K-2新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x4691 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x4691 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x288 (SM400A)
2-PL 190x12x318 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1398
1-PL 90x3. 2x1155
1-PL 90x3. 2x1402
4-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
16-BN M16x45 (2-W付)
16-BN M10x35 (2-W付)

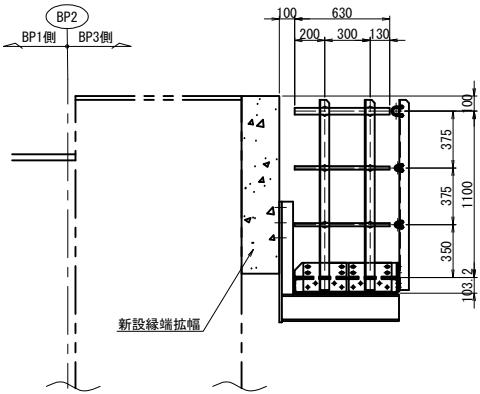


K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-CH PL 640x3. 2x1479 (SS400相当品)
1-CH PL 640x3. 2x1348 (SS400相当品)
1-CH PL 640x3. 2x1459 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x350
1-CH 100x50x5x7. 5x3811
1-CH 125x65x6x8x680
4-L 50x50x6x670
5-FB 90x9x670
46-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
2-PL 160x13x660 (SM400A)

K-2新規製作材料(1組当り):計1組
1-CH PL 640x3. 2x1479 (SS400相当品)
1-CH PL 640x3. 2x1348 (SS400相当品)
1-CH PL 640x3. 2x1459 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x350
1-CH 100x50x5x7. 5x3811
1-CH 125x65x6x8x680
4-L 50x50x6x670
5-FB 90x9x670
46-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
2-PL 160x13x660 (SM400A)

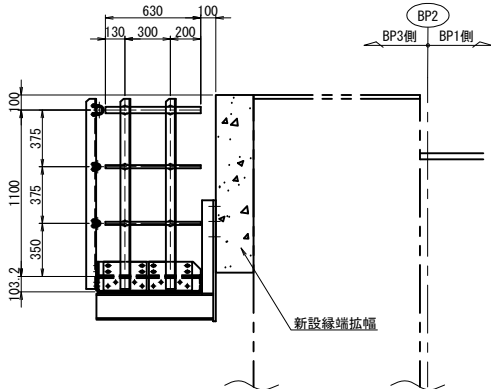
1-CH 100x50x5x7. 5x350
1-CH 100x50x5x7. 5x3811
1-CH 125x65x6x8x680
4-L 50x50x6x670
5-FB 90x9x670
46-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
2-PL 160x13x660 (SM400A)

側面図
A - A



K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x630 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x630 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x675
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
8-BN M16x45 (2-W付)
8-BN M10x35 (2-W付)

B - B



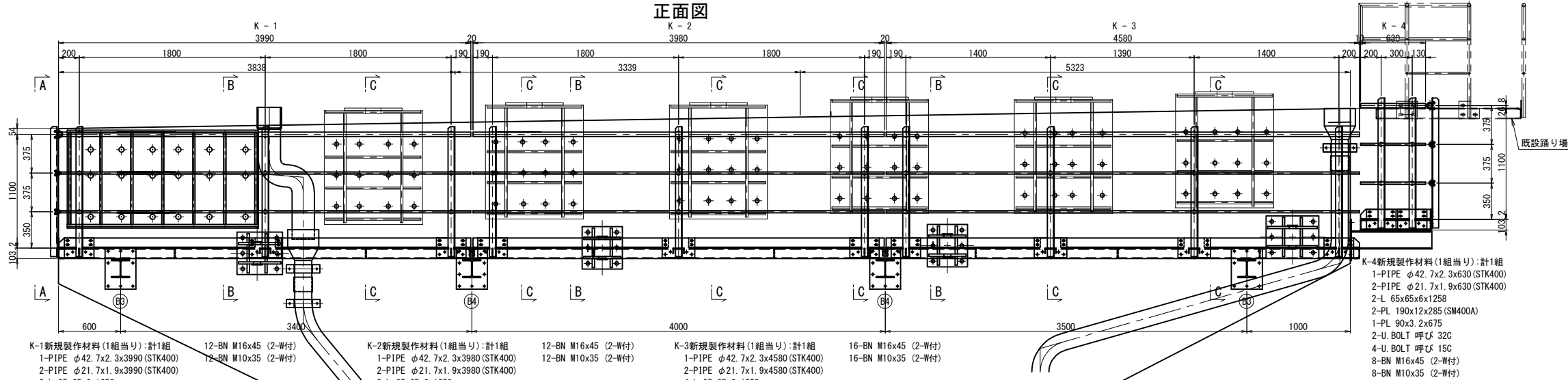
K-2新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x630 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x630 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x675
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
8-BN M16x45 (2-W付)
8-BN M10x35 (2-W付)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

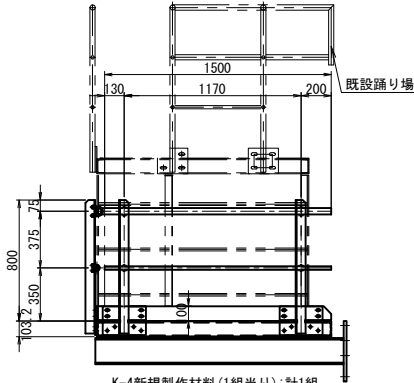
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	下部工検査路詳細図(その7) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

BP13橋脚 (BP14側)

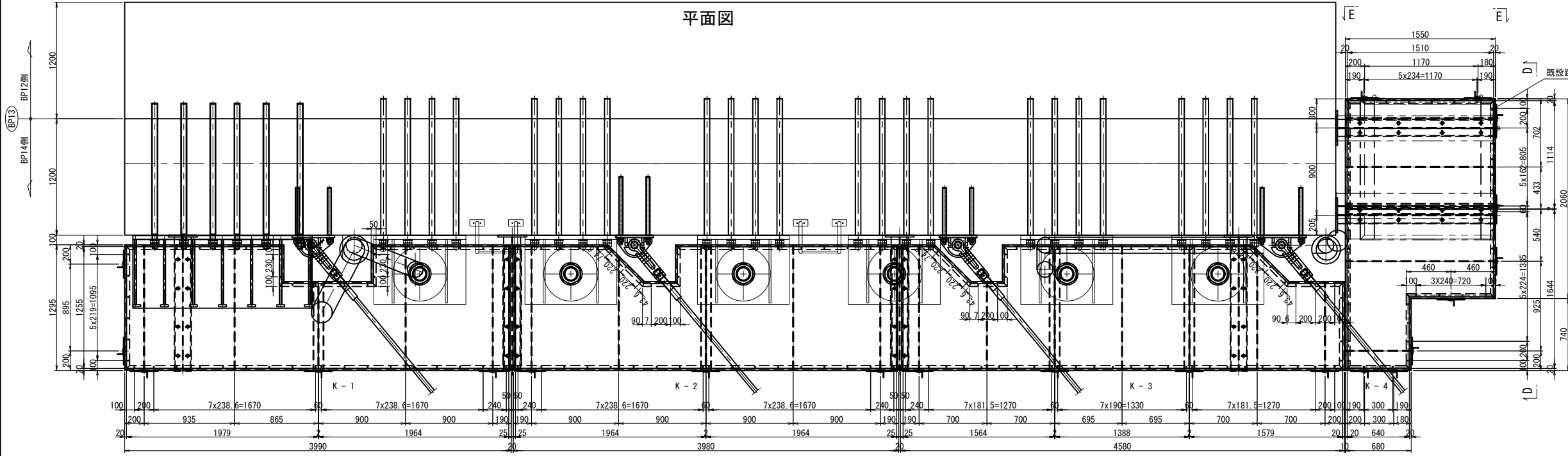
正面図



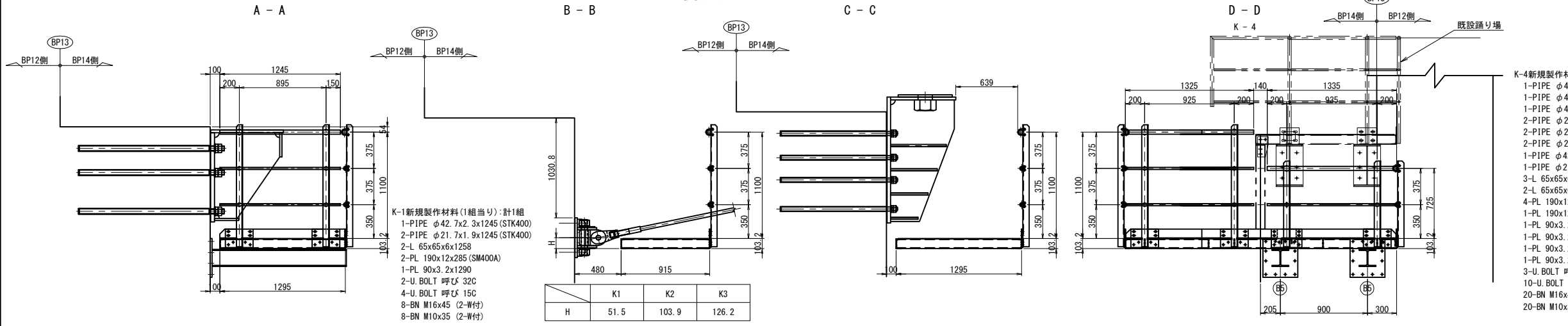
E - E



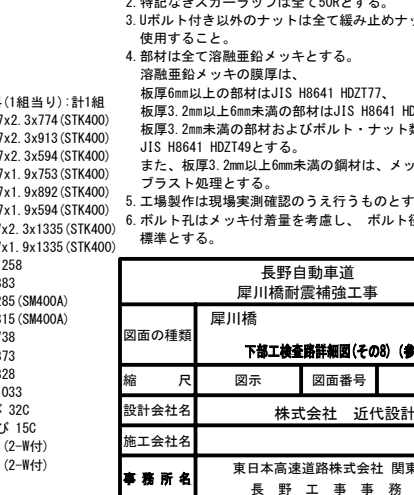
平面図



側面図



D - D

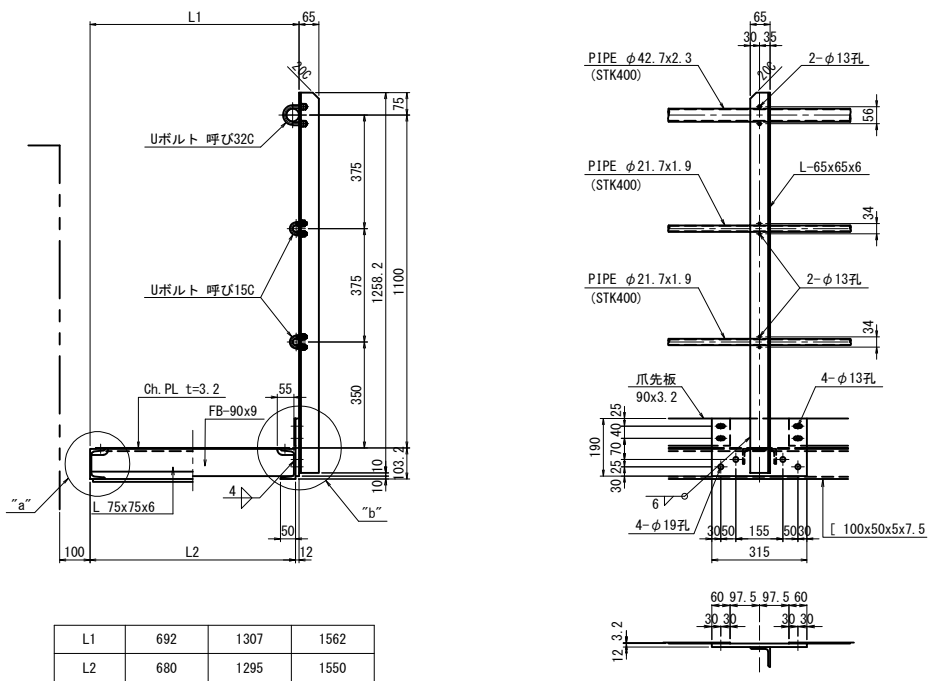


- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融垂鉛メッキとする。
溶融垂鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にブラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道	
犀川橋耐震補強工事	
図面の種類	犀川橋
縮尺	図示
設計会社名	株式会社 近代設計
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工事事務所

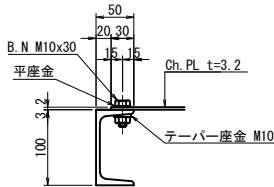
＜新規部材詳細＞

歩廊断面及び構造詳細図

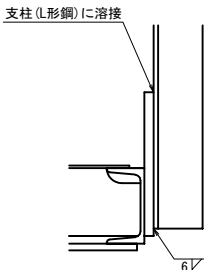


ステップ詳細

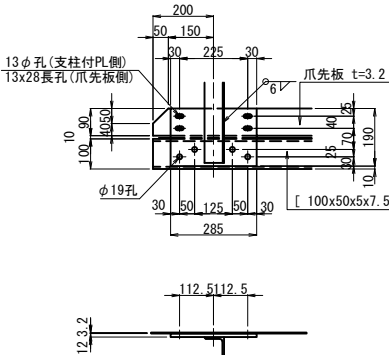
“a”部詳細 S=1:10



“b”部詳細 S=1:10

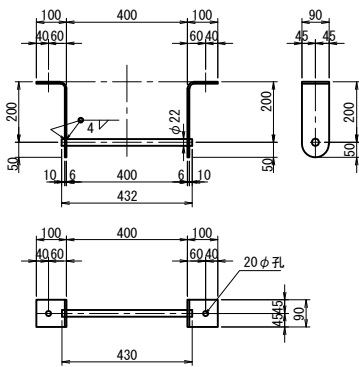


端部

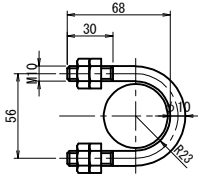


歩廊部詳細図

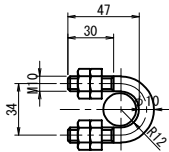
U-ボルト詳細 S=1:5



呼び32 (C形)
φ42.7用

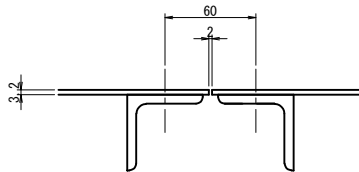


呼び15 (C形)
φ21.7用

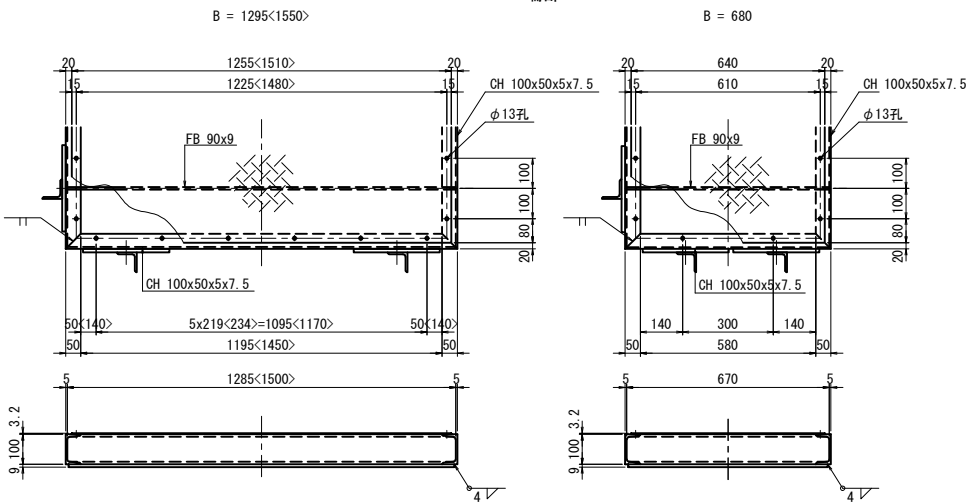


新設材料(1組当り): 計1組
8-FB 90x6x350
4-RB φ22x430
8-打込式アンカー M16x120

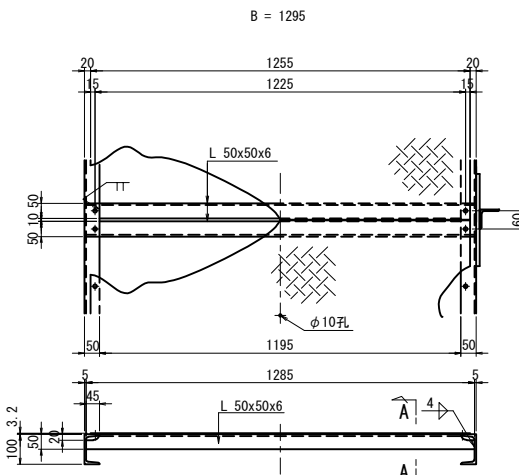
A - A S=1:5



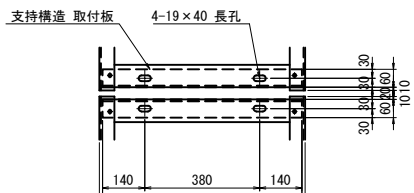
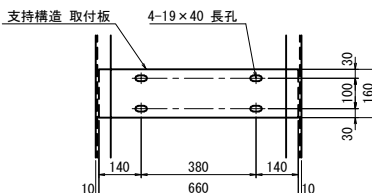
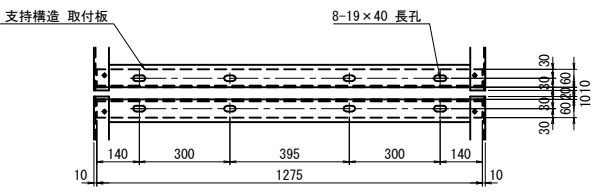
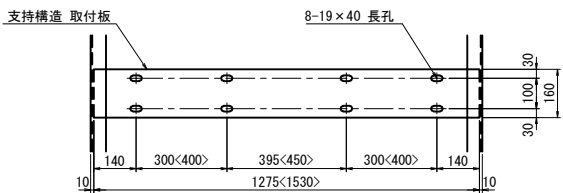
端部



歩廊中間部



ブラケット取付部



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 下部工検査路詳細図(その9) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

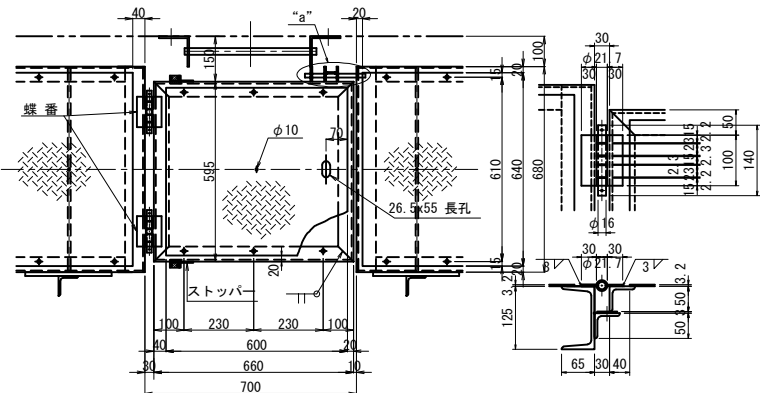
犀川橋 下部工検査路詳細図(その10) (参考図) S=1:25

＜新規部材詳細＞

新設マンホール詳細図

BP2橋脚 (BP3側) 製作数 : 1

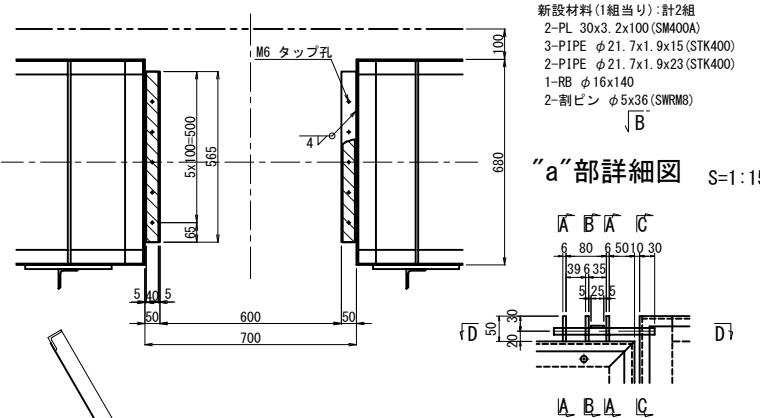
蝶番詳細図 S=1:15



新設材料 (1組当り): 計2組

- 2-PL 30x3. 2x100 (SM400A)
- 3-PIPE φ21. 7x1. 9x15 (STK400)
- 2-PIPE φ21. 7x1. 9x23 (STK400)
- 1-RB φ16x140
- 2-割ピン φ5x36 (SWRMB8)

“a”部詳細図 S=1:15



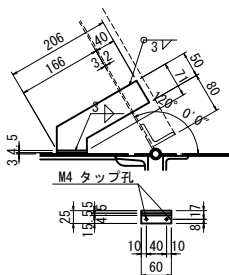
A - A S=1:15

C - C S=1:15

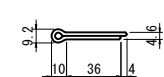
B - B S=1:15

D - D S=1:15

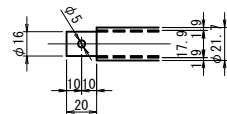
ストッパー詳細図 S=1:15



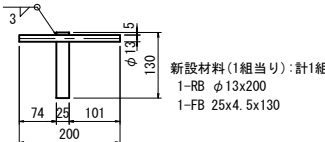
割ピン詳細図 S=1:5



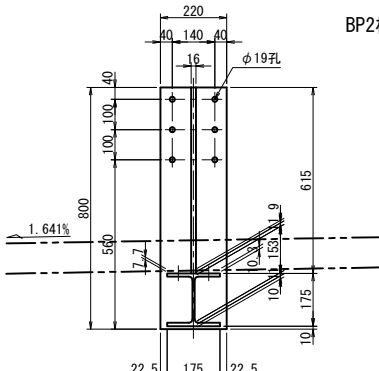
ピン端部詳細図 S=1:5



マンホール鍵詳細図 S=1:15



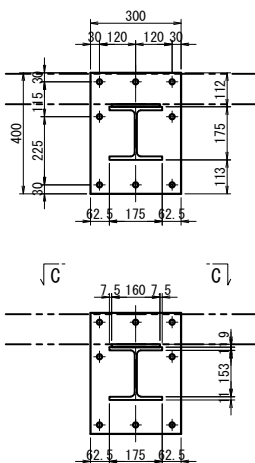
B2
BP2橋脚 (BP3側)



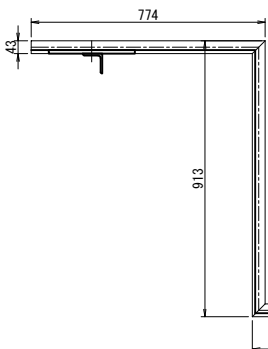
新設材料 (1組当り): 計4組

- 1-H 175x175x7. 5x11x774
- 1-BASE PL 220x16x800 (SM400A)
- 1-WEB PL 75x16x615 (SM400A)
- 4-BN M16x50 (1W, TW付)
- 6-打込式アンカー M16x125

B3
BP13橋脚

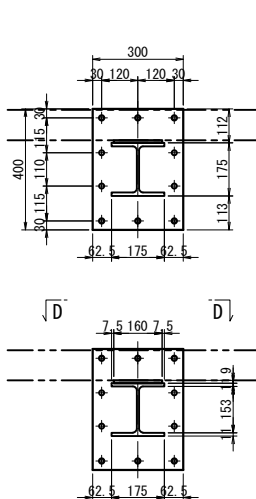


手摺 (φ42. 7の場合)
BP13橋脚K-4

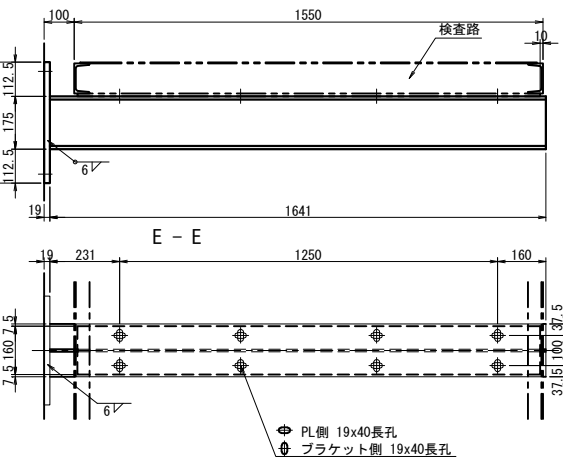


ブラケット詳細図

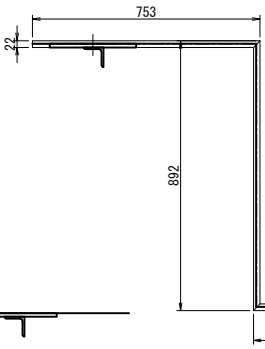
B4
BP13橋脚



B5
BP13橋脚

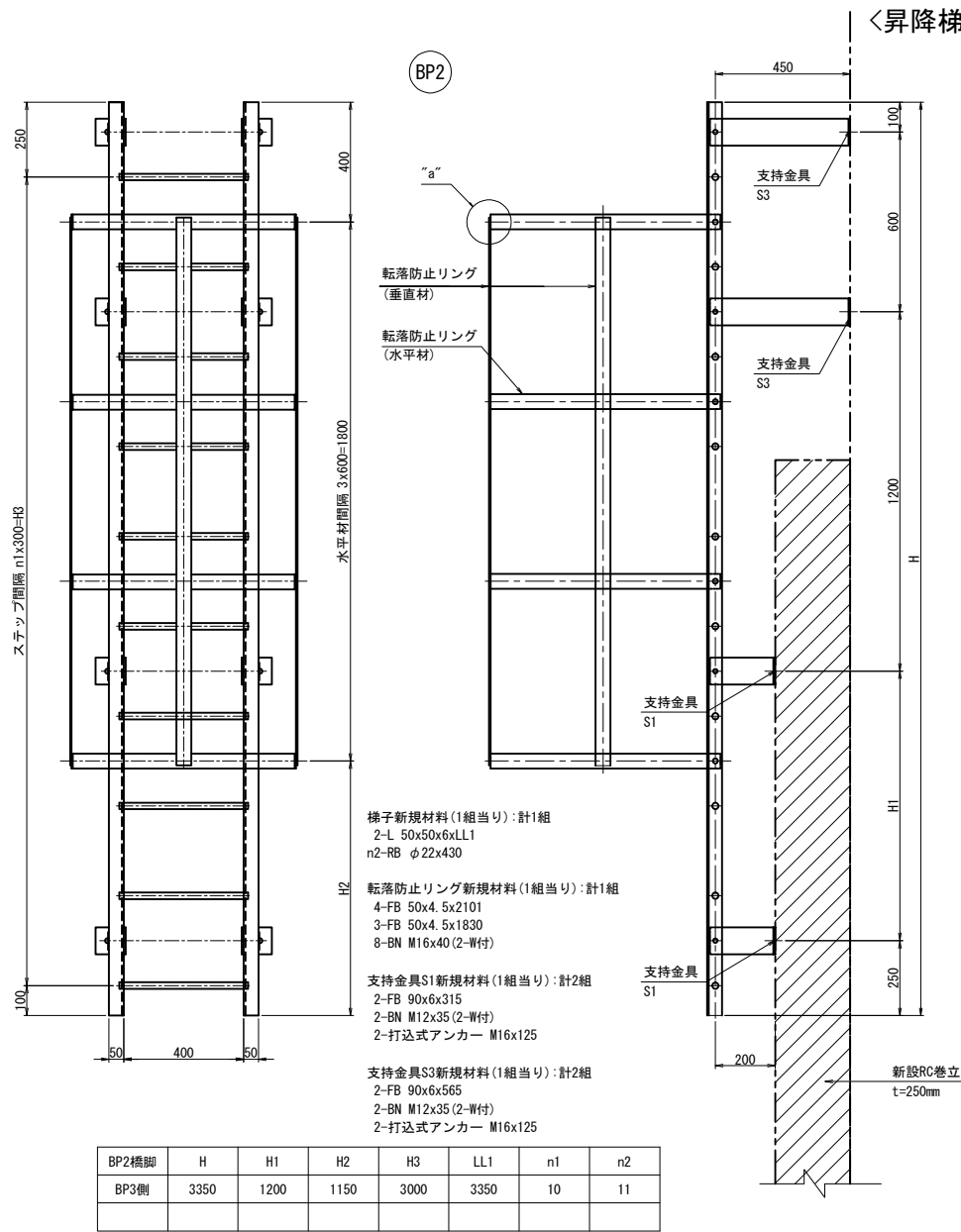


手摺 (φ21. 7の場合)
BP13橋脚K-4

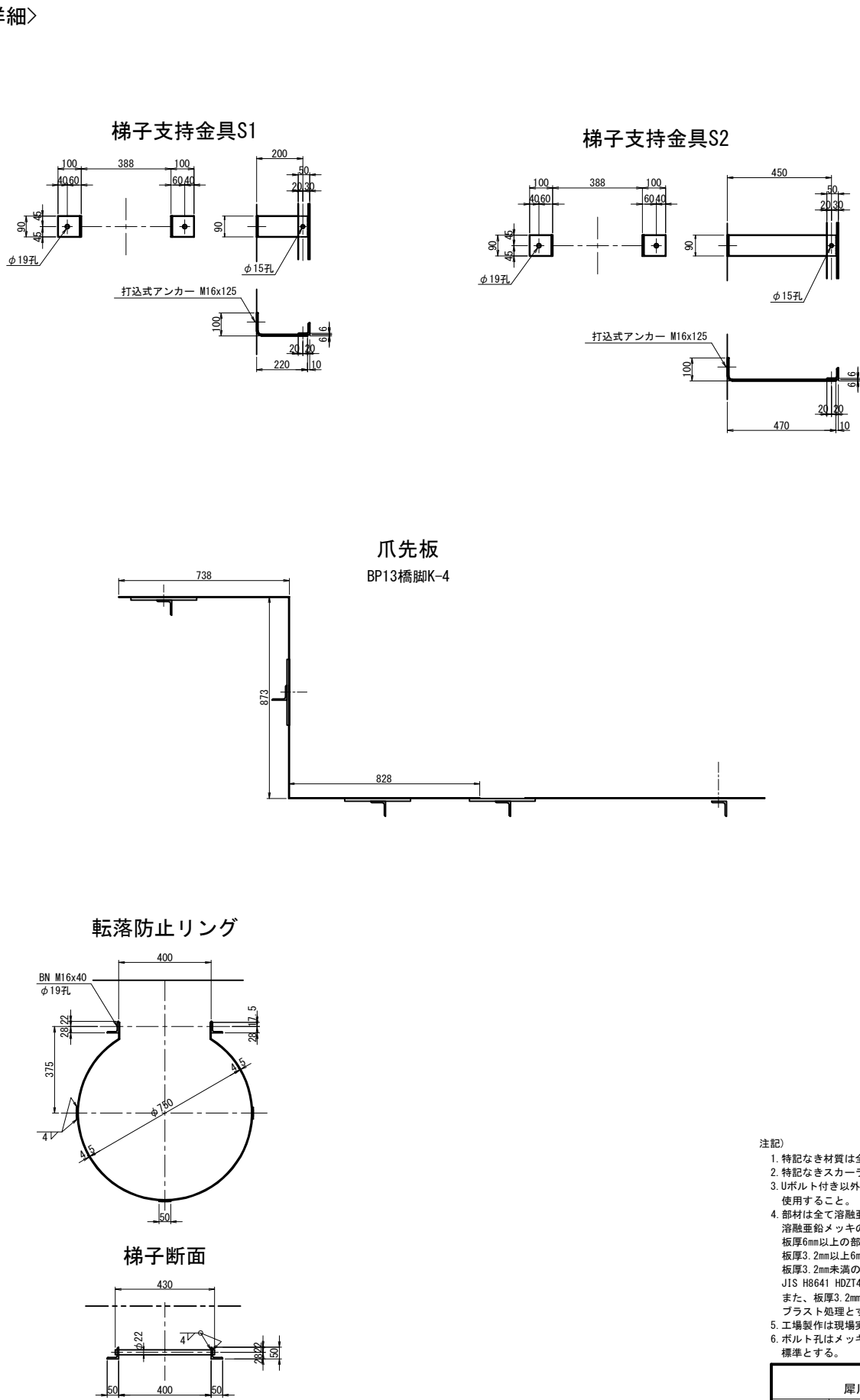
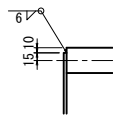


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩止めナットを使用すること。
 - ※印以外部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3. 2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3. 2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3. 2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 下部工検査路詳細図(その10) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



“a”詳細 S=1:15

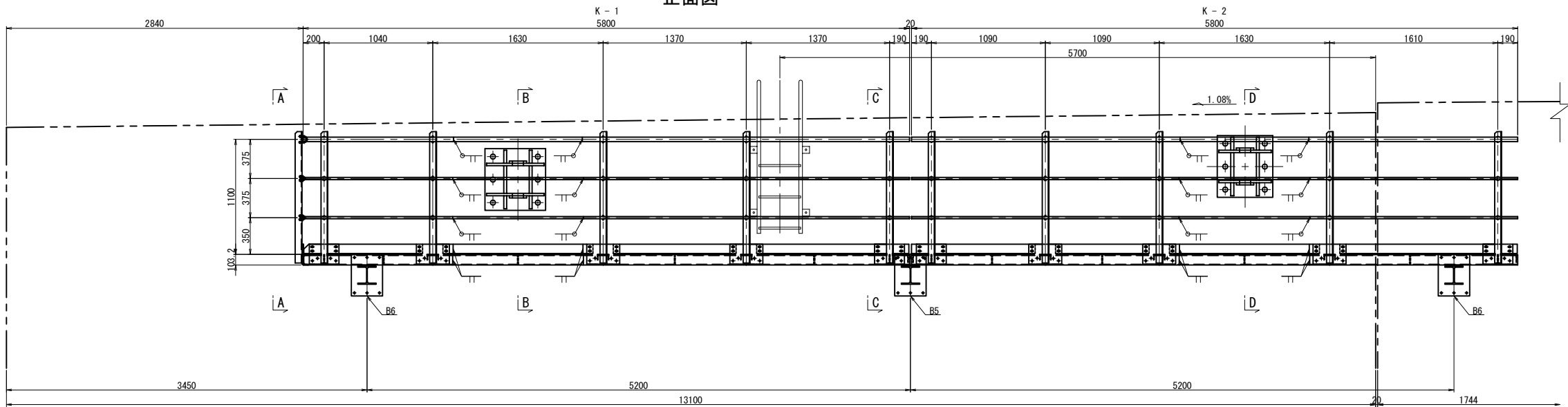


長野自動車道	
犀川橋耐震補強検討業務	
図面の種類	犀川橋 下部工検査路詳細図(その11) (参考図)
縮 尺	1:25 図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

犀川橋 下部工検査路詳細図(その12) (参考図) S=1:50

AP14橋脚 (AP15側)

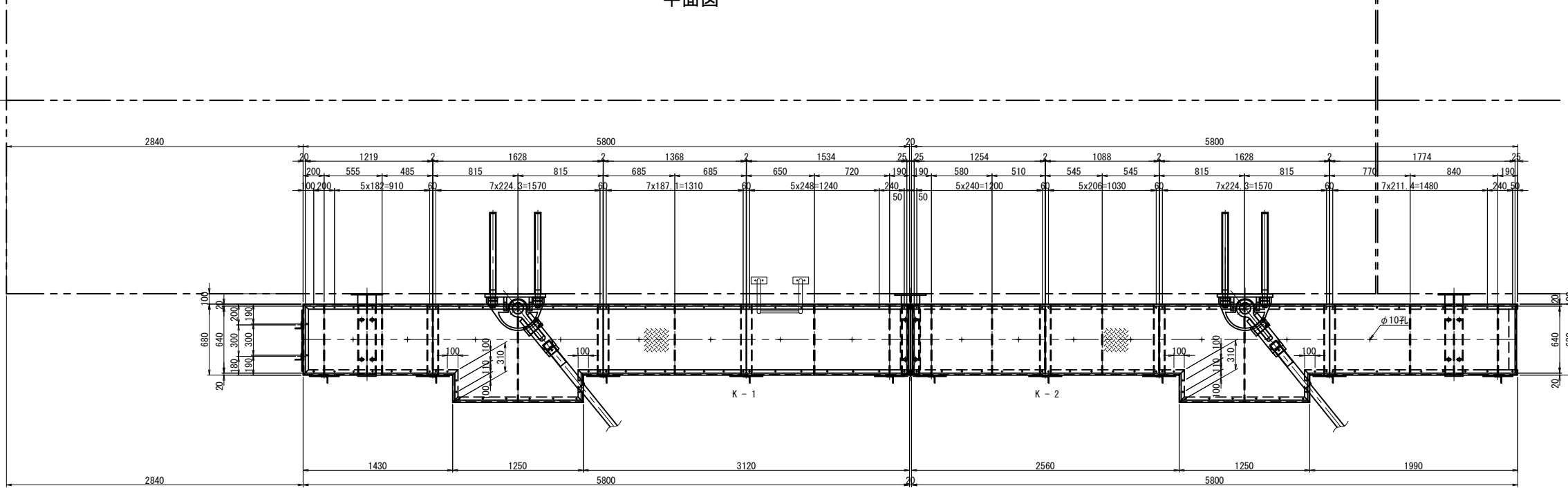
正面図



K-1新規製作材料 (1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1439 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1231 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x3129 (STK400)
2-PIPE φ42. 7x2. 3x260 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1429 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1252 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x3119 (STK400)
4-PIPE φ21. 7x1. 9x260 (STK400)
5-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
3-PL 190x12x315 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1137
1-PL 90x3. 2x1180
2-PL 90x3. 2x96
2-PL 90x3. 2x260
1-PL 90x3. 2x1250
1-PL 90x3. 2x1458
5-U. BOLT 呼び 32C
10-U. BOLT 呼び 15C
20-BN M16x45 (2-W付)
20-BN M10x35 (2-W付)

K-2新規製作材料 (1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x2570 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1231 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1999 (STK400)
2-PIPE φ42. 7x2. 3x260 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x2559 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1252 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1988 (STK400)
4-PIPE φ21. 7x1. 9x260 (STK400)
5-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
3-PL 190x12x315 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1183
1-PL 90x3. 2x896
2-PL 90x3. 2x96
2-PL 90x3. 2x260
1-PL 90x3. 2x1250
1-PL 90x3. 2x1699
5-U. BOLT 呼び 32C
10-U. BOLT 呼び 15C
20-BN M16x45 (2-W付)
20-BN M10x35 (2-W付)

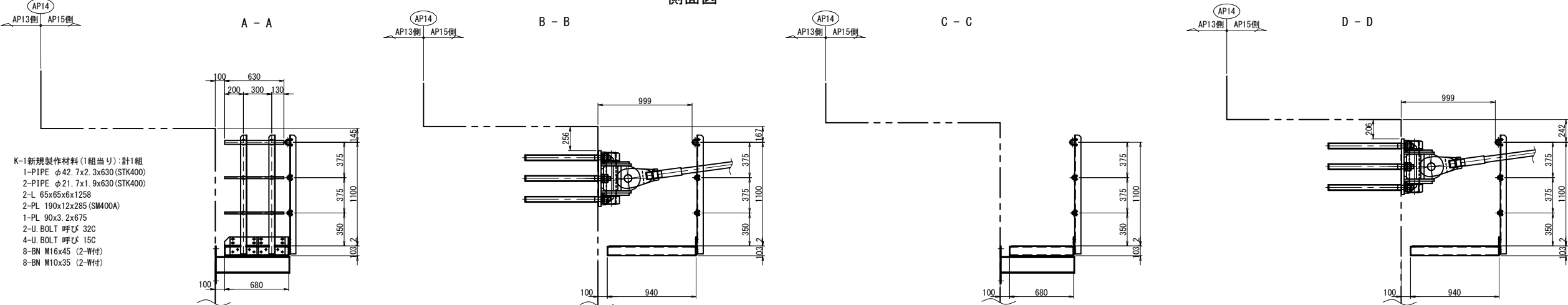
平面図



K-1新規製作材料 (1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3. 2x1219 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x1368 (SS400相当品)
1-Ch PL 900x3. 2x1628 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x1534 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x5800
1-CH 100x50x5x7. 5x680
1-CH 100x50x5x7. 5x1430
2-CH 100x50x5x7. 5x310
1-CH 100x50x5x7. 5x1250
1-CH 100x50x5x7. 5x3120
1-L 75x75x6x670
6-L 50x50x6x670
5-FB 90x9x670
1-FB 90x9x930
69-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 60x9x660 (SM400A)
1-PL 160x9x660 (SM400A)

K-2新規製作材料 (1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3. 2x1254 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x1088 (SS400相当品)
1-Ch PL 900x3. 2x1628 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x1774 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x2560
1-CH 100x50x5x7. 5x1990
2-CH 100x50x5x7. 5x310
1-CH 100x50x5x7. 5x1250
1-CH 100x50x5x7. 5x5800
2-L 75x75x6x670
6-L 50x50x6x670
5-FB 90x9x670
1-FB 90x9x930
66-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 60x9x660 (SM400A)
1-PL 160x9x660 (SM400A)

側面図

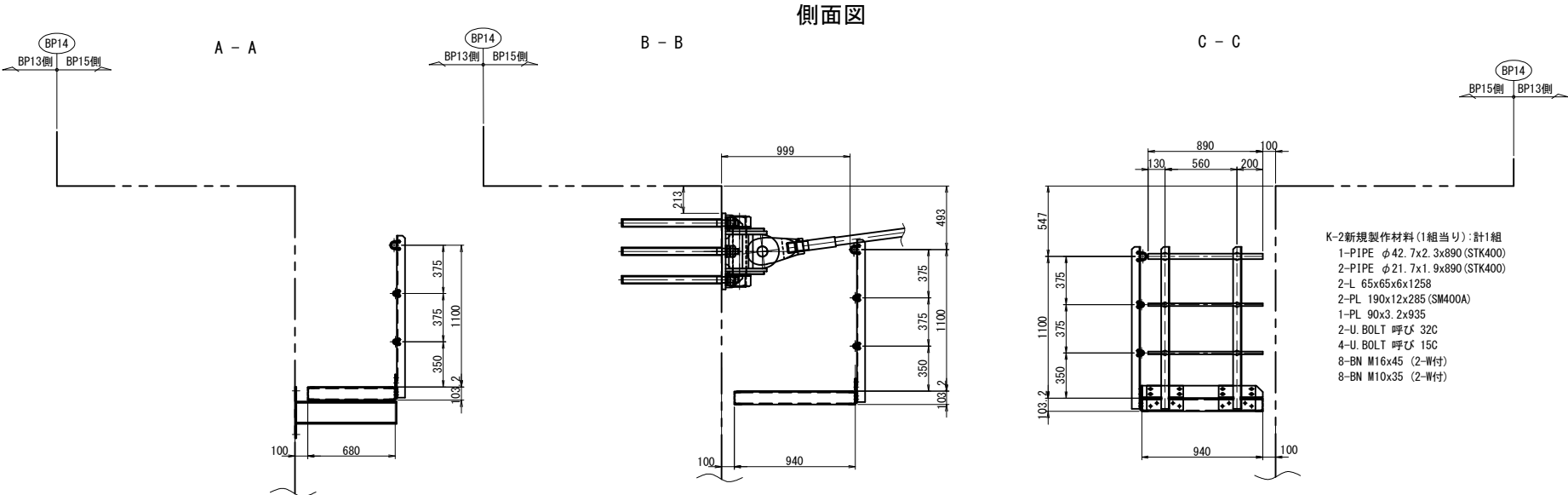
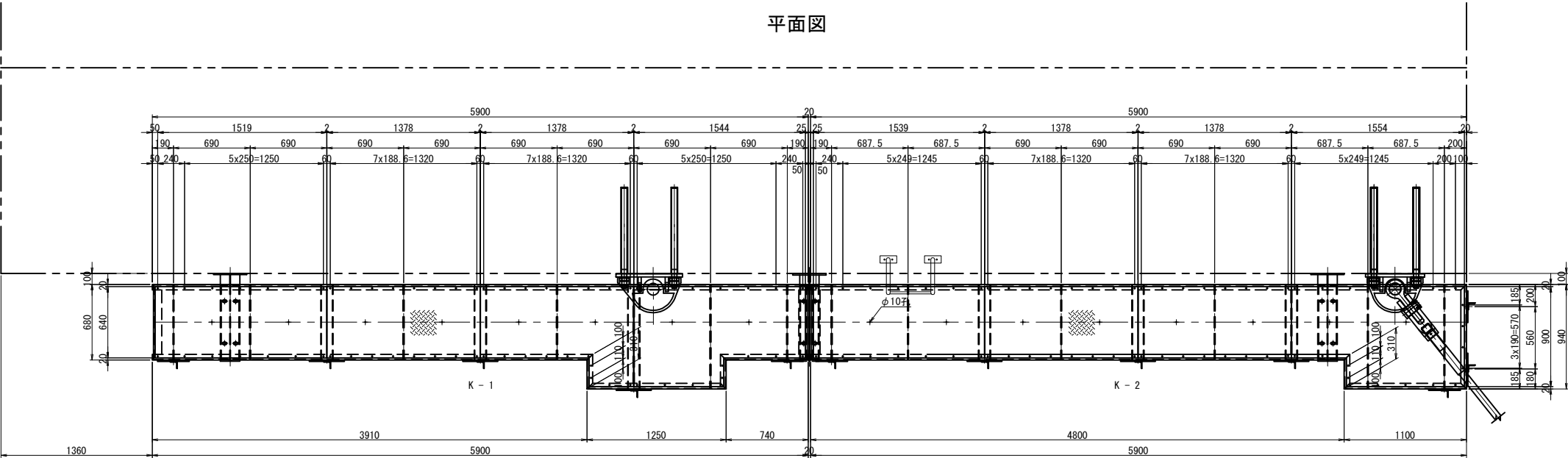
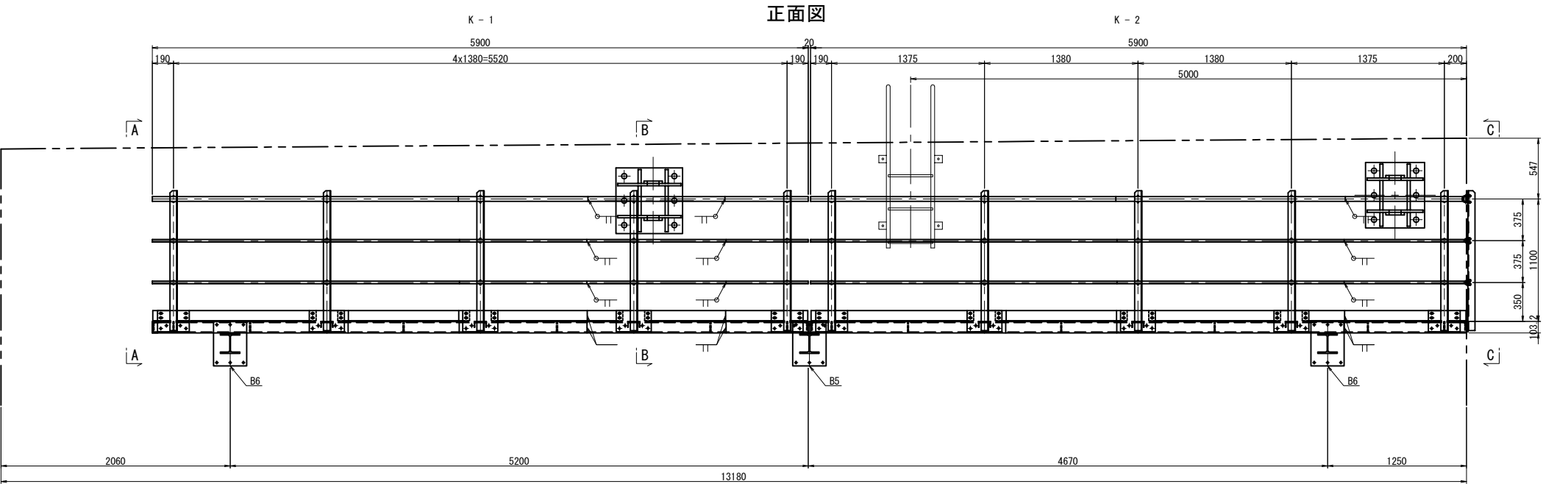


注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3. 2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3. 2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3. 2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
5. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

K-1新規製作材料 (1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x630 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x630 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x675
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
8-BN M16x45 (2-W付)
8-BN M10x35 (2-W付)

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

BP14橋脚 (BP15側)



K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x2807 (STK400)
2-PIPE φ42. 7x2. 3x303 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1250 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x783 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x2786 (STK400)
4-PIPE φ21. 7x1. 9x282 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1250 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x762 (STK400)
5-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)

3-PL 190x12x315 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1468
1-PL 90x3. 2x1125
1-PL 90x3. 2x865
2-PL 90x3. 2x260
1-PL 90x3. 2x320
1-PL 90x3. 2x730
1-PL 90x3. 2x743
5-U. BOLT 呼び 32C
10-U. BOLT 呼び 15C
20-BN M16x45 (2-W付)
20-BN M10x35 (2-W付)

K-2新規製作材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ42. 7x2. 3x3697 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x303 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1100 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x3676 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x282 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1100 (STK400)
5-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)

3-PL 190x12x315 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x1463
1-PL 90x3. 2x1125
1-PL 90x3. 2x1190
1-PL 90x3. 2x382
1-PL 90x3. 2x260
1-PL 90x3. 2x1100
5-U. BOLT 呼び 32C
10-U. BOLT 呼び 15C
20-BN M16x45 (2-W付)
20-BN M10x35 (2-W付)

K-1新規製作材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3. 2x1519 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x1378 (SS400相当品)
1-Ch PL 900x3. 2x1378 (SS400相当品)
1-Ch PL 900x3. 2x1534 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x5900
1-CH 100x50x5x7. 5x3960
1-CH 100x50x5x7. 5x1250
2-CH 100x50x5x7. 5x310
1-CH 100x50x5x7. 5x790

2-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
2-L 50x50x6x930
5-FB 90x9x670
1-FB 90x9x930
64-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 60x9x660 (SM400A)
1-PL 160x9x660 (SM400A)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3. 2x1539 (SS400相当品)
2-Ch PL 640x3. 2x1378 (SS400相当品)
1-Ch PL 900x3. 2x1554 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x5900
1-CH 100x50x5x7. 5x4850
1-CH 100x50x5x7. 5x310
1-CH 100x50x5x7. 5x1100
1-CH 100x50x5x7. 5x940

1-L 75x75x6x670
6-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
2-FB 90x9x930
68-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 60x9x660 (SM400A)
1-PL 160x9x660 (SM400A)

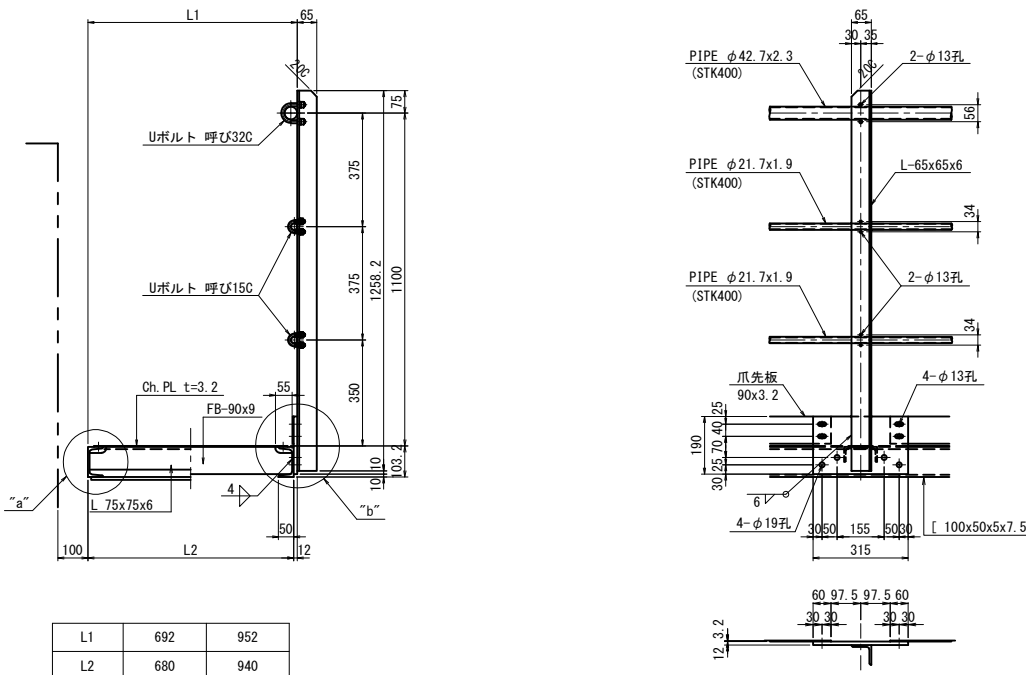
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3. 2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3. 2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT40とする。
また、板厚3. 2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 下部工検査路詳細図(その13) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

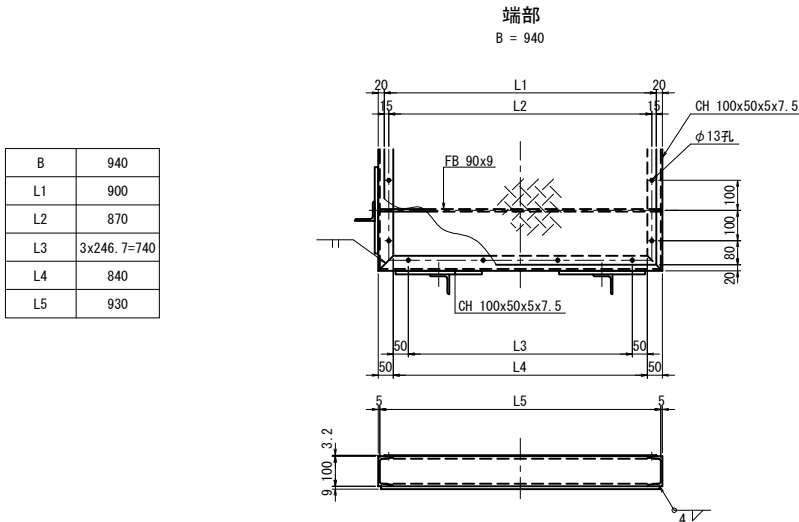
犀川橋 下部工検査路詳細図(その14) (参考図) S=1:25

＜新規部材詳細＞

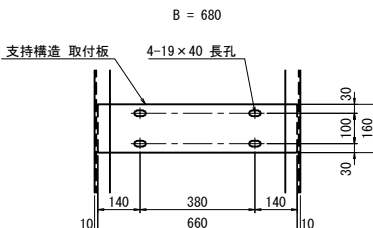
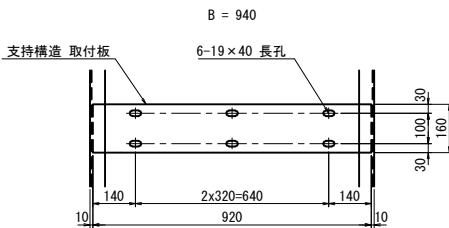
歩廊断面及び構造詳細図



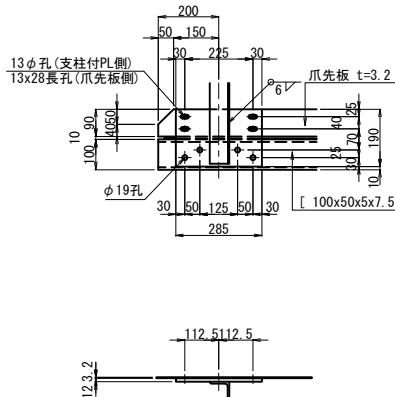
歩廊部詳細図



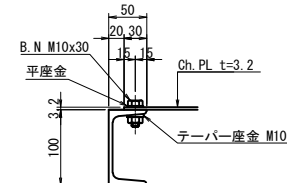
ブラケット取付部



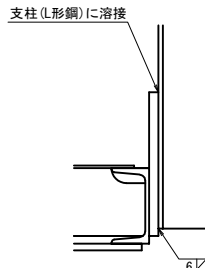
端音



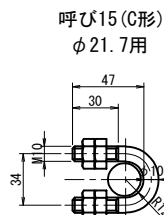
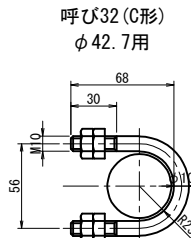
"a"部詳細 S=1:10



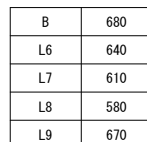
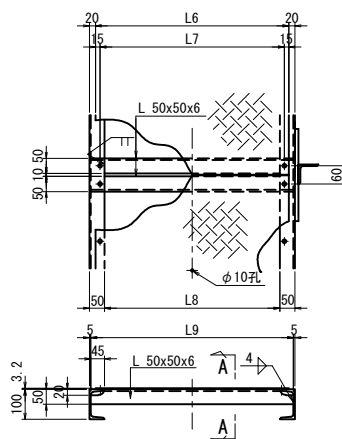
"b"部詳細 S=1:10



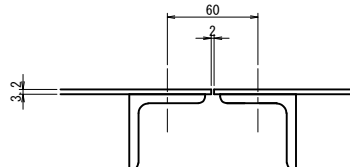
U-ボルト詳細 S=1:5



步廊中間部



A - A S=1:5



注記

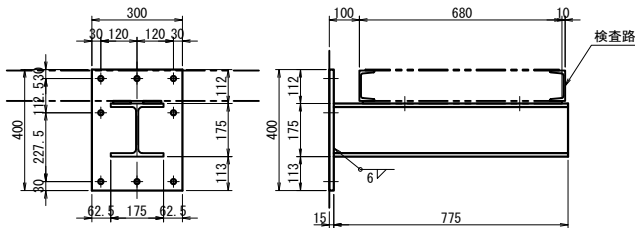
1. 特記なき材質は全てS440とする。
2. 特記なきスカラーシップは全て50Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
5. 工場製作は理化学実験確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付部を考慮し、ボルト径+3mm
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類		犀川橋 下部工検査説明図(その14) (参考図)	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

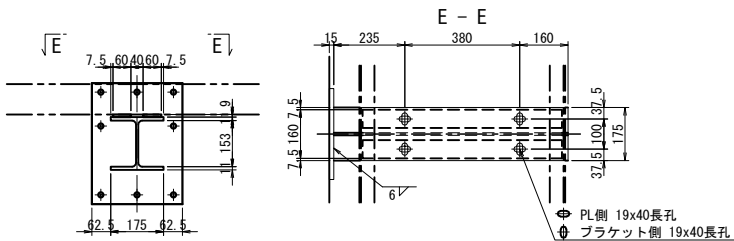
＜新規部材詳細＞

ブラケット新規部材詳細

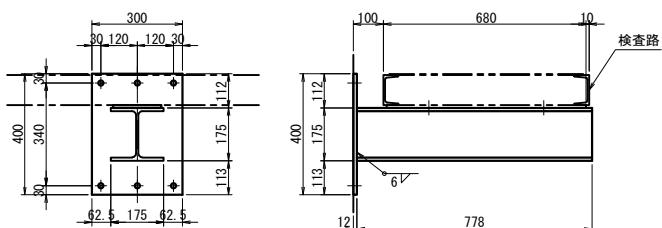
B5
AP14, BP14



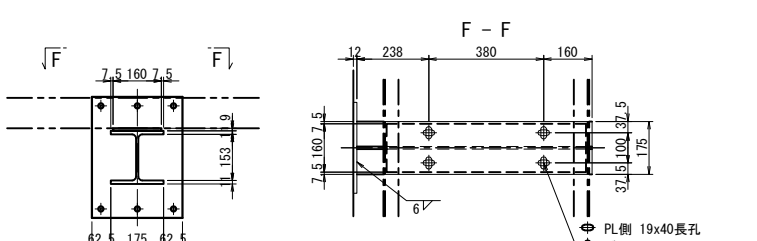
新設材料(1組当り):計4組
1-H 175x175x7.5x11x775
1-PL 400x15x300(SM400A)
4-BN M16x50(2-W付)
8-打込式アンカー M16x125



B6
AP14, BP14



新設材料(1組当り):計7組
1-H 175x175x7.5x11x778
1-PL 400x12x300(SM400A)
4-BN M16x50(2-W付)
6-打込式アンカー M16x125



爪先板

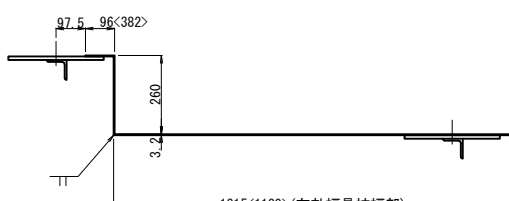
AP14橋脚K-1 K-2



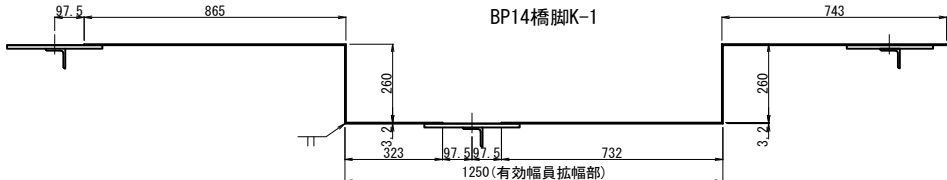
	L11	L12
AP14橋脚K-1	96	96
AP14橋脚K-2	96	96

爪先板

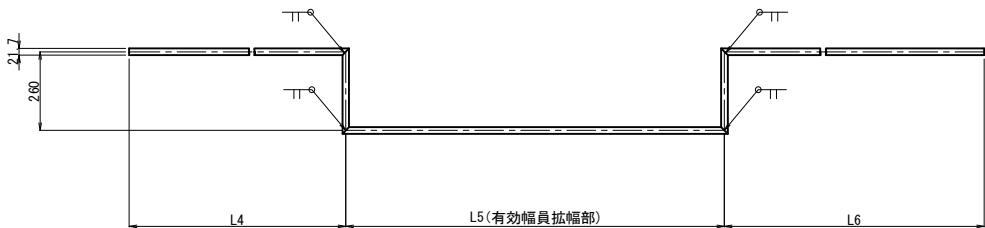
＜BP14橋脚K-2＞



BP14橋脚K-1

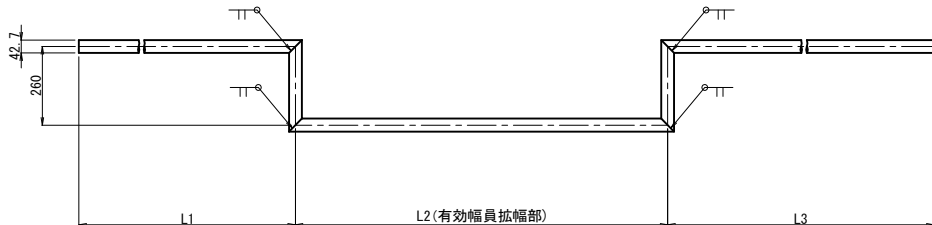


手摺(φ21.7の場合)



	L4	L5	L6
AP14橋脚K-1	1429	1252	3119
AP14橋脚K-2	2559	1252	1988
BP14橋脚K-1	3921	1228	751

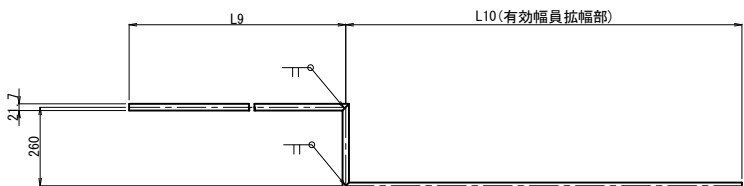
手摺(φ42.7の場合)



	L1	L2	L3
AP14橋脚K-1	1439	1231	3129
AP14橋脚K-2	2570	1231	1999
BP14橋脚K-1	3931	1207	762

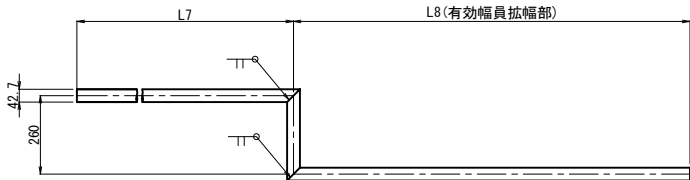
手摺(φ21.7の場合)

AP20橋脚K-2



	L9	L10
BP14橋脚K-2	4811	1089

手摺(φ42.7の場合)

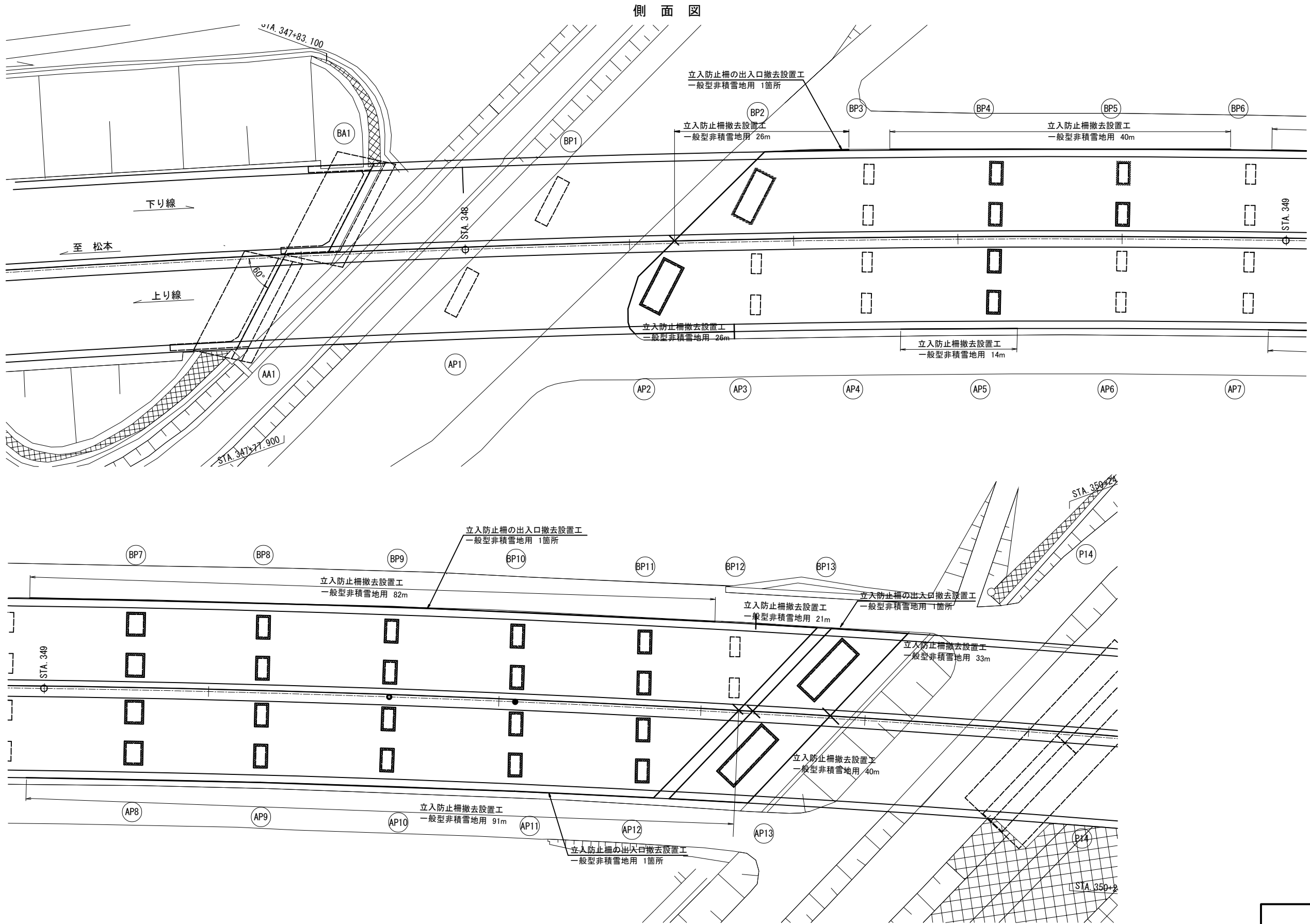


	L7	L8
BP14橋脚K-2	4821	1079

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印以外部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT40とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 下部工検査路詳細図(その15) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

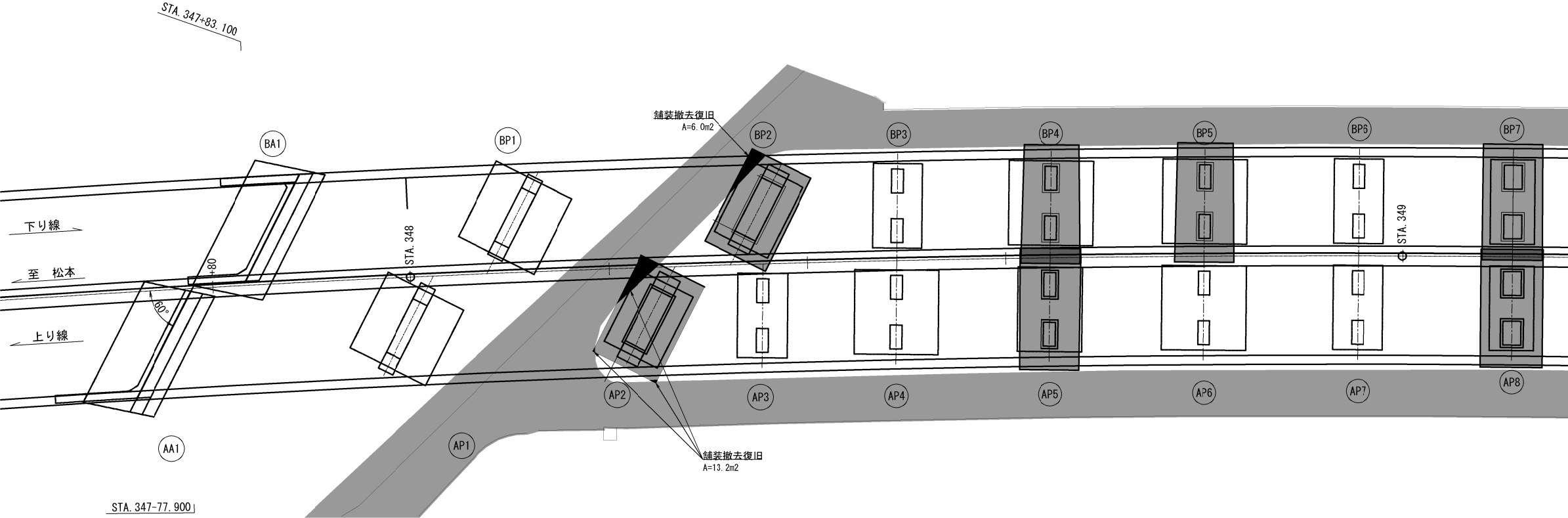
犀川橋 立入防止柵 撤去設置工図（参考図） S=1:500



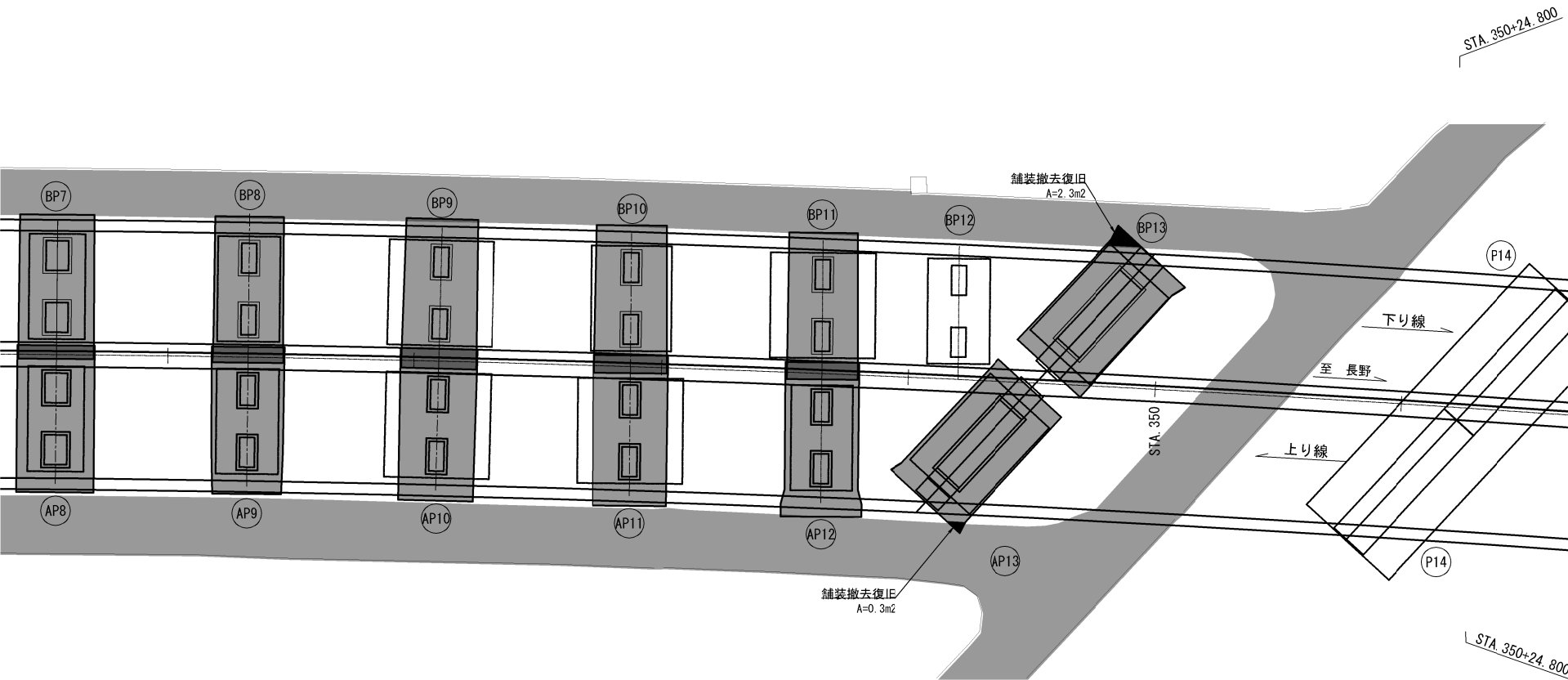
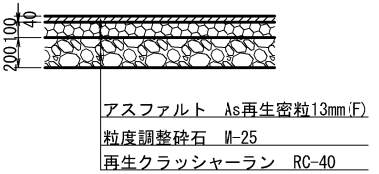
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	立入防止柵撤去設置工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋 側道舗装撤去復旧図（参考図）

平面図 S=1:500



側道舗装構成 撤去復旧 S=1:50



数量表

単価項目	形状・規格	単位	数量	備考
アスファルト舗装版取壊しTypeA	t=4cm	m ²	13.9	カッター 22.6m含む 撤去：人力施工
切込碎石路盤工 (t=20cm)	RC-40	m ²	13.9	
切込碎石路盤工 (t=10cm)	M-25	m ²	13.9	
加熱アスファルト表層工 (t=4cm)	As再生密粒13mm(F)	m ²	13.9	瀝青材含む

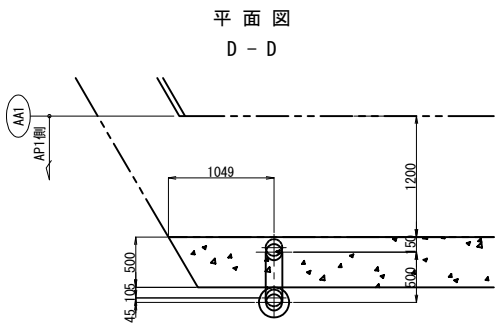
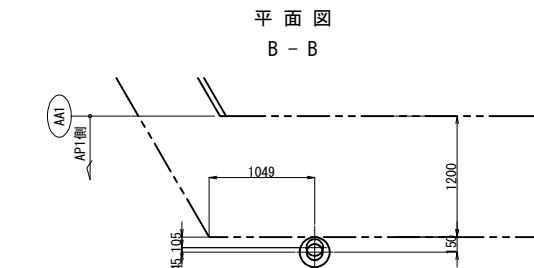
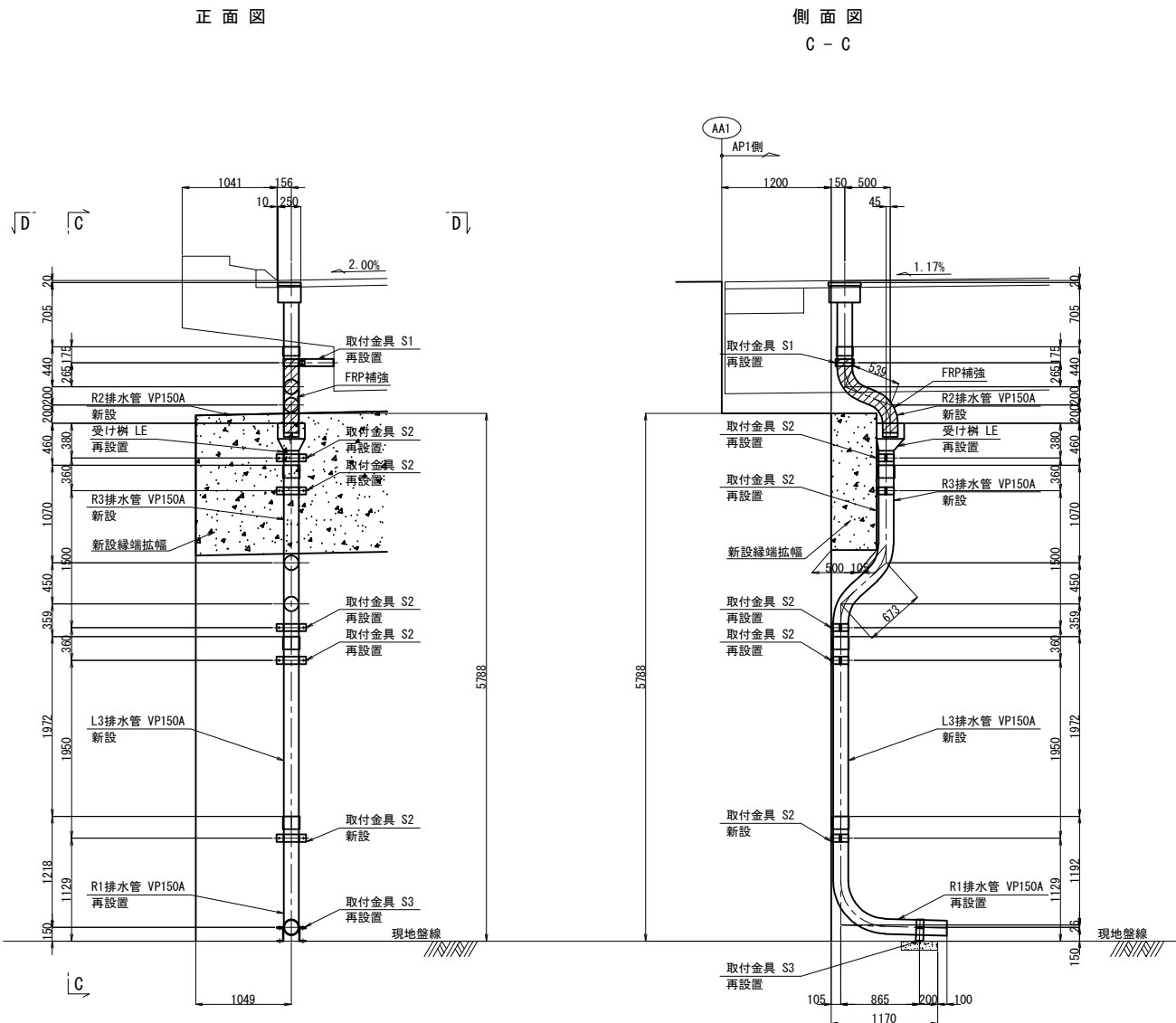
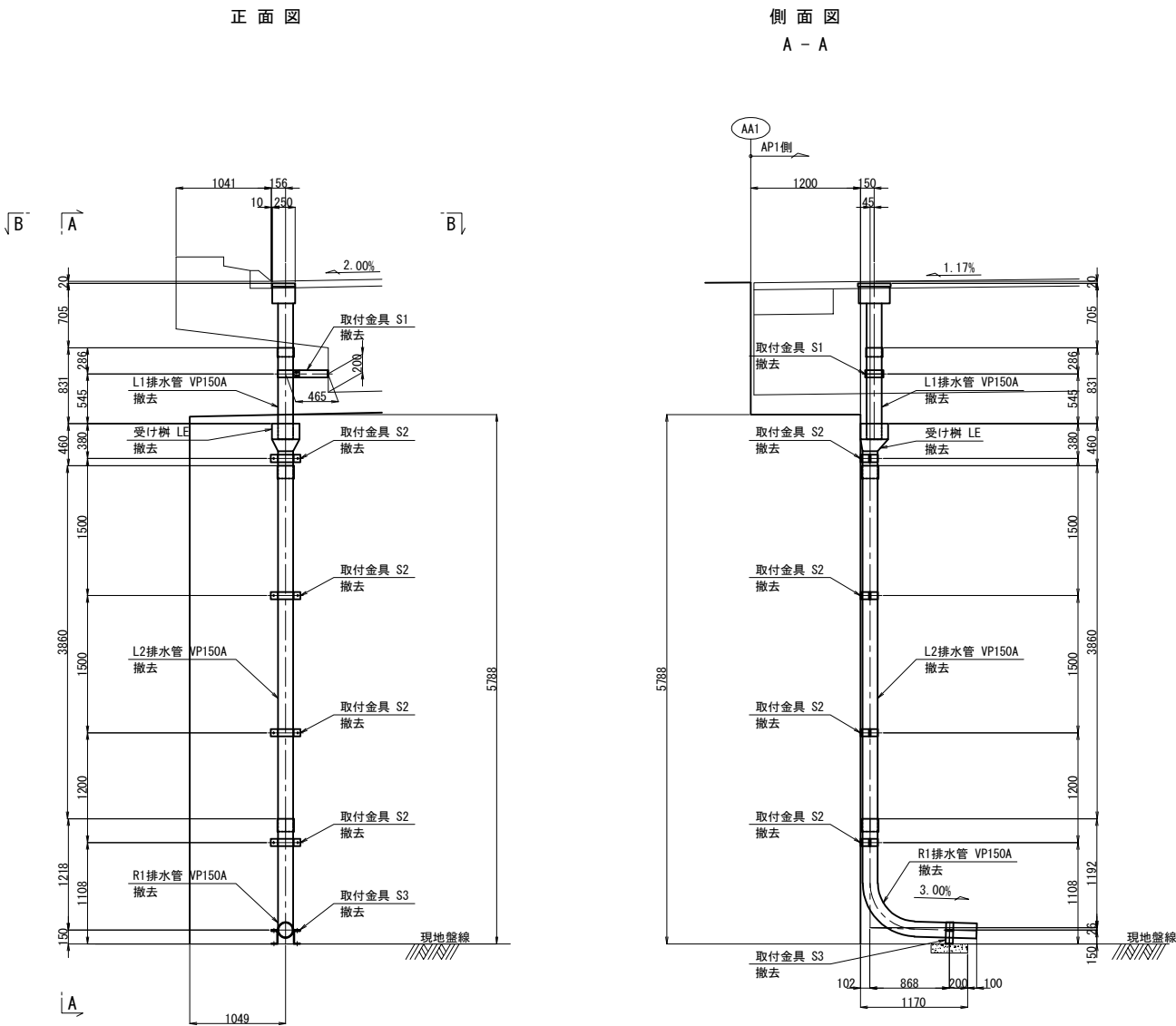
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 側道舗装撤去復旧図（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その1) (参考図) S=1:75

AA1橋台 (AP1側)

撤去図

復旧図



排水管撤去材料

番号	規格	単位	数量	備考
L1	VP150A	個	1	スリーブ付
L2	VP150A	個	1	スリーブ付
R1	VP150A	個	1	スリーブ付
取付金具S1	S (150A)	個	1	
取付金具S2	S (150A)	個	4	
取付金具S3	S (150A)	個	1	
受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料

番号	規格	単位	数量	備考
R1	VP150A	個	1	スリーブ付
取付金具S1	S (150A)	個	1	
取付金具S2	S (150A)	個	4	
取付金具S3	S (150A)	個	1	
受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料

番号	規格	単位	数量	備考
L3	VP150A	個	1	スリーブ付
R2	VP150A	個	1	スリーブ付「FRP補強」
R3	VP150A	個	1	スリーブ付
取付金具S2	S (150A)	個	1	

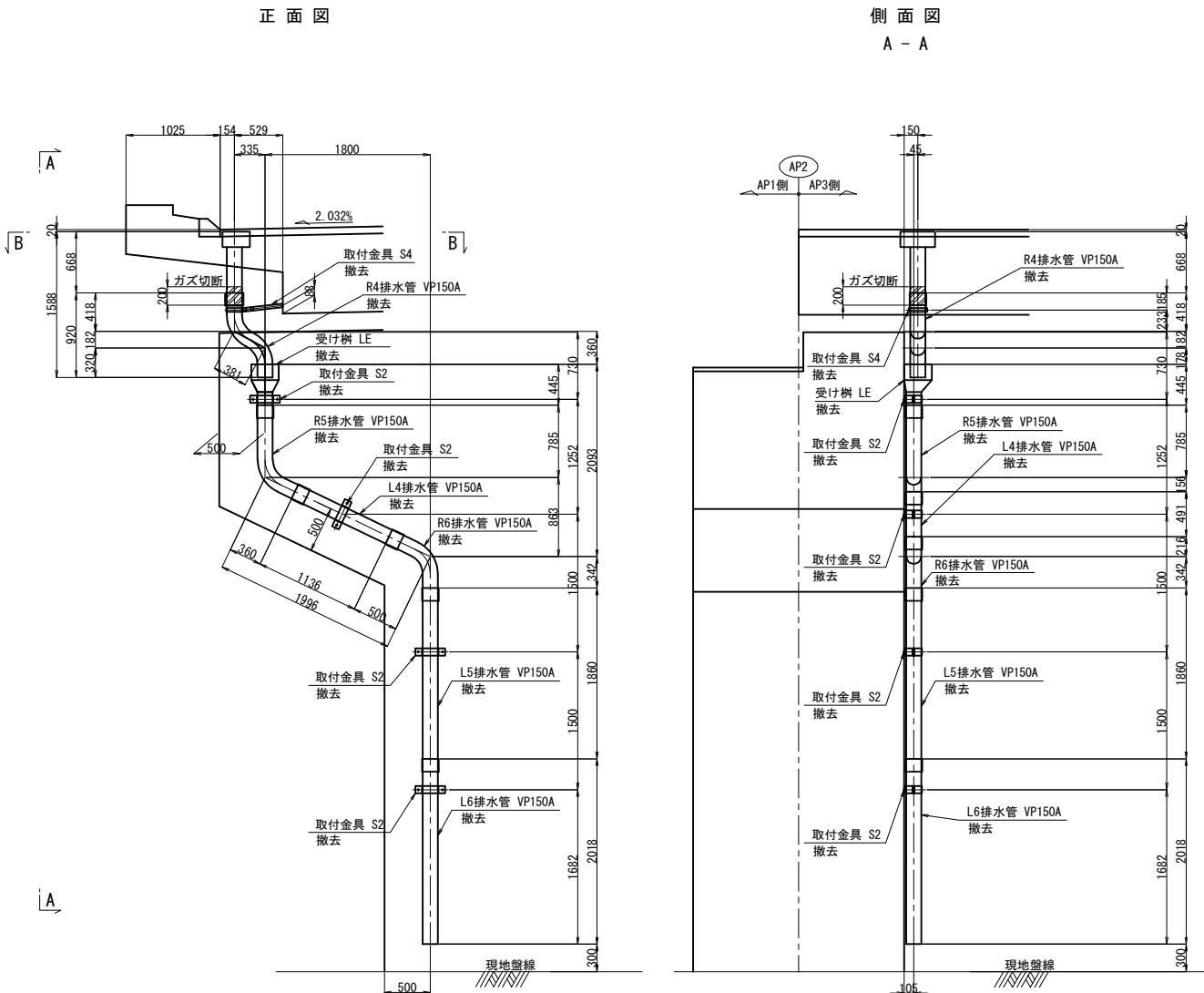
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

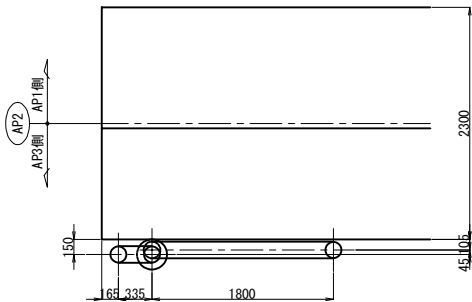
犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その2) (参考図) S=1:75

AP2橋脚 (AP3側)

撤去図



平面図
B - B



排水管撤去材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	L4	VP150A	個	1	スリーブ付
	L5	VP150A	個	1	スリーブ付
	L6	VP150A	個	1	スリーブ付
	R4	VP150A	個	1	スリーブ付
	R5	VP150A	個	1	スリーブ付
	R6	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S4	S (150A)	個	1	
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

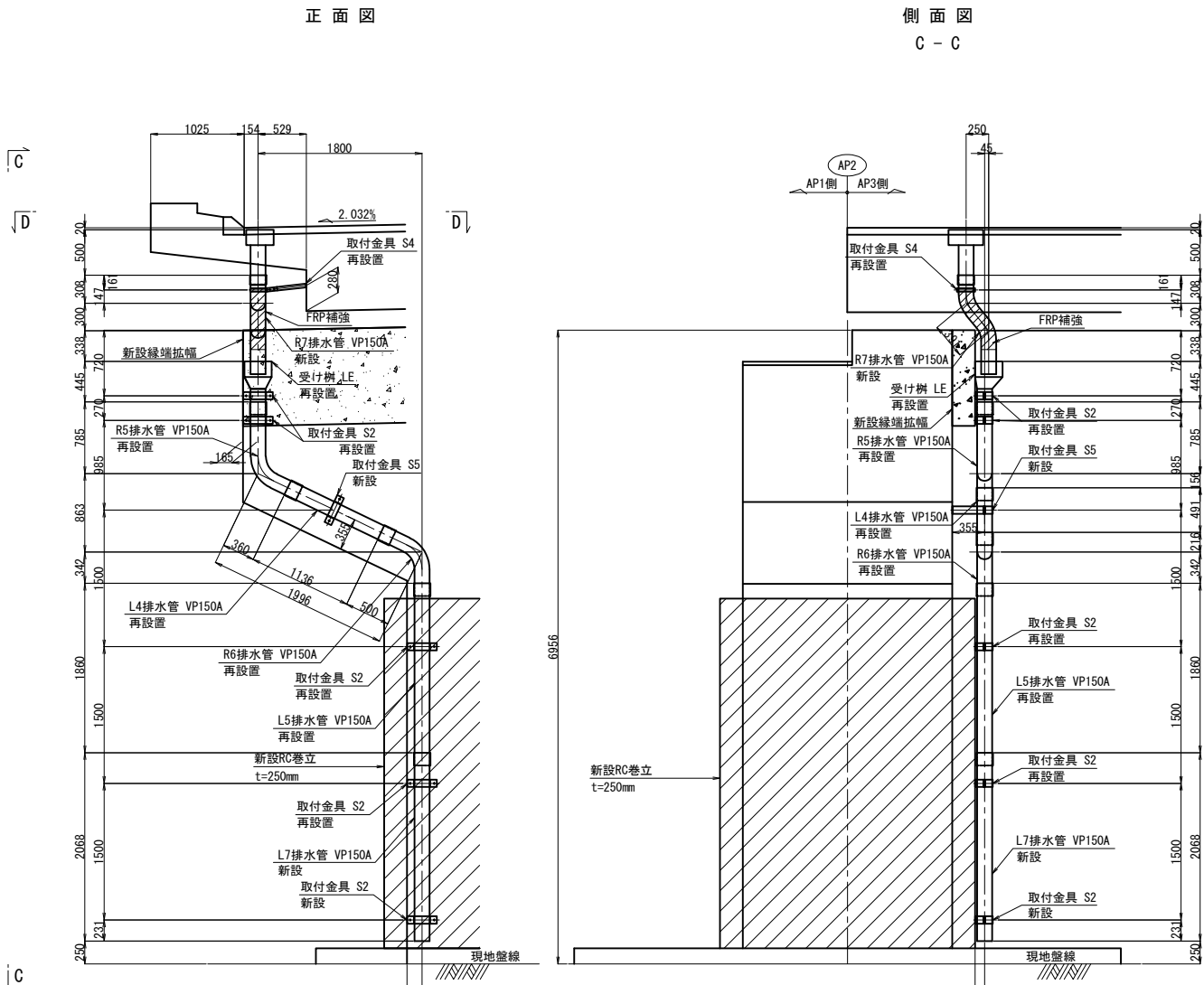
排水管既設撤去・再設置材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	L4	VP150A	個	1	スリーブ付
	L5	VP150A	個	1	スリーブ付
	R5	VP150A	個	1	スリーブ付
	R6	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S4	S (150A)	個	1	
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

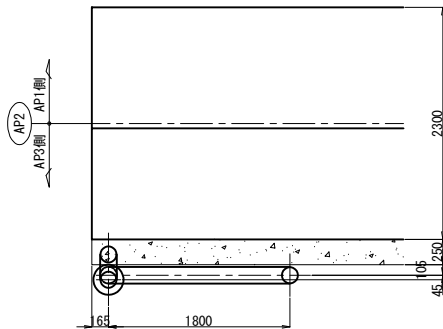
排水管新設材料

	番号	規格	単位	数量	備考
新設	L7	VP150A	個	1	スリーブ付
	R7	VP150A	個	1	スリーブ付「FRP補強」
	取付金具S2	S (150A)	個	1	
	取付金具S5	S (150A)	個	1	

復旧図



平面図
D - D



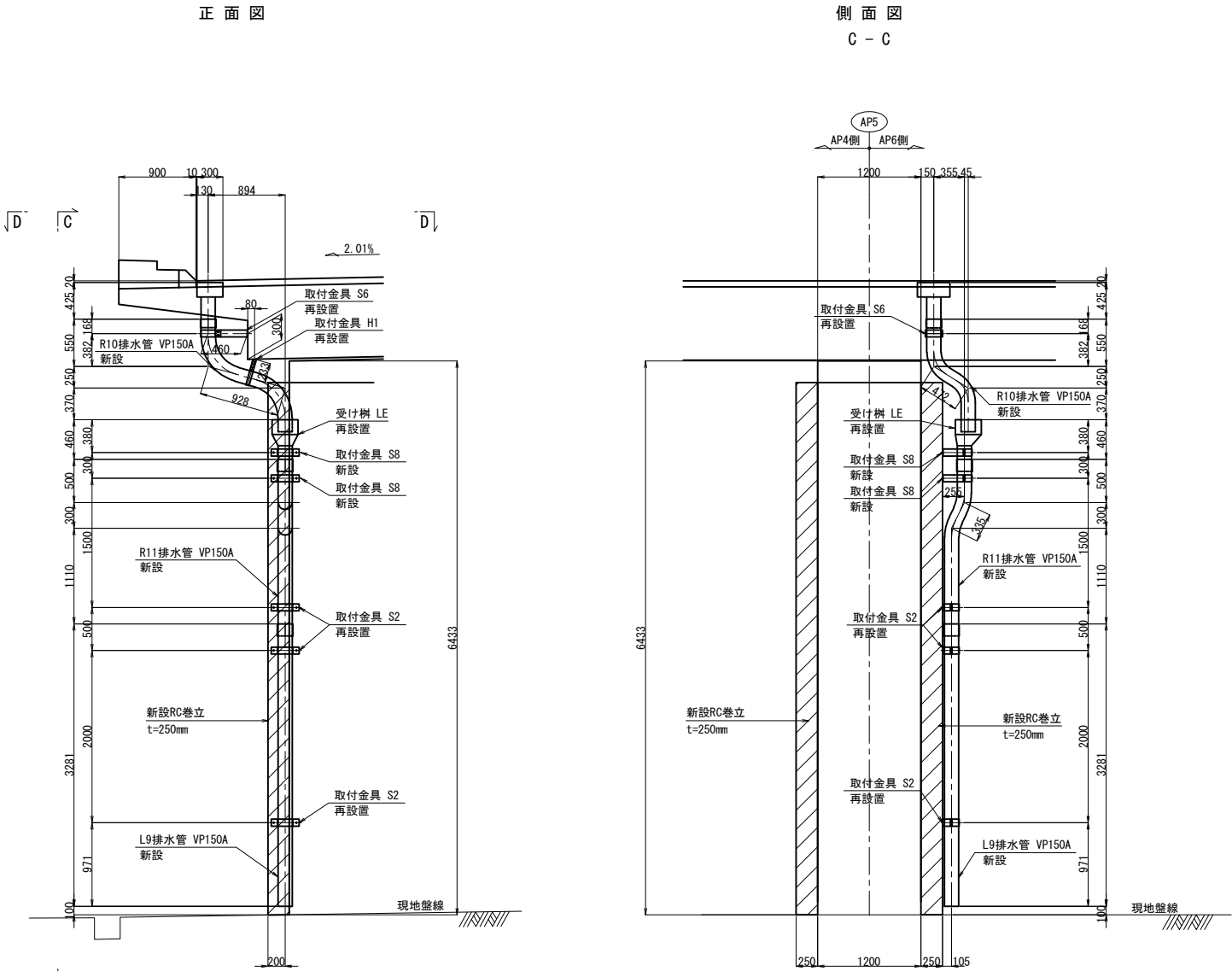
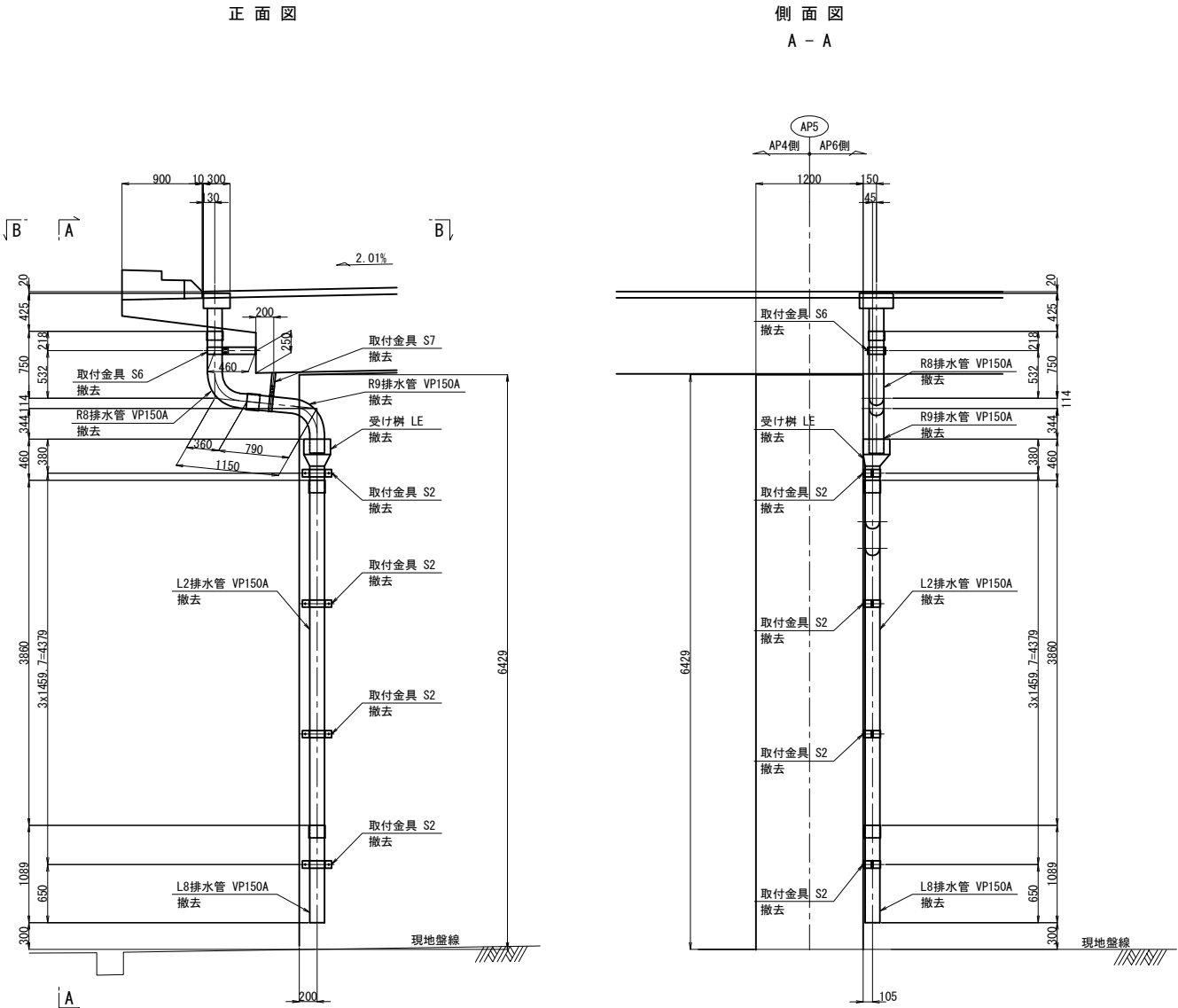
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前
にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

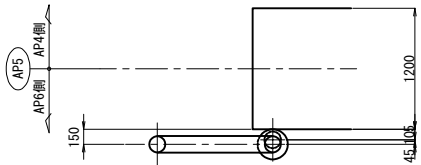
AP5橋脚 (AP6側)

撤去図

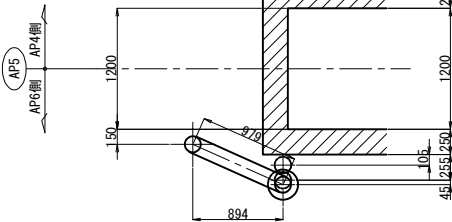
復旧図



平面図 B-B



平面図 D-D



排水管撤去材料

撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R9	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	取付金具S7	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料

撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	取付金具S2	S (150A)	個	3	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料

新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R10	VP150A	個	1	スリーブ付
	R11	VP150A	個	1	スリーブ付
	L9	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具H1	H (150A)	個	1	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	

- 注記)
- 特記なき材質は全てS4400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

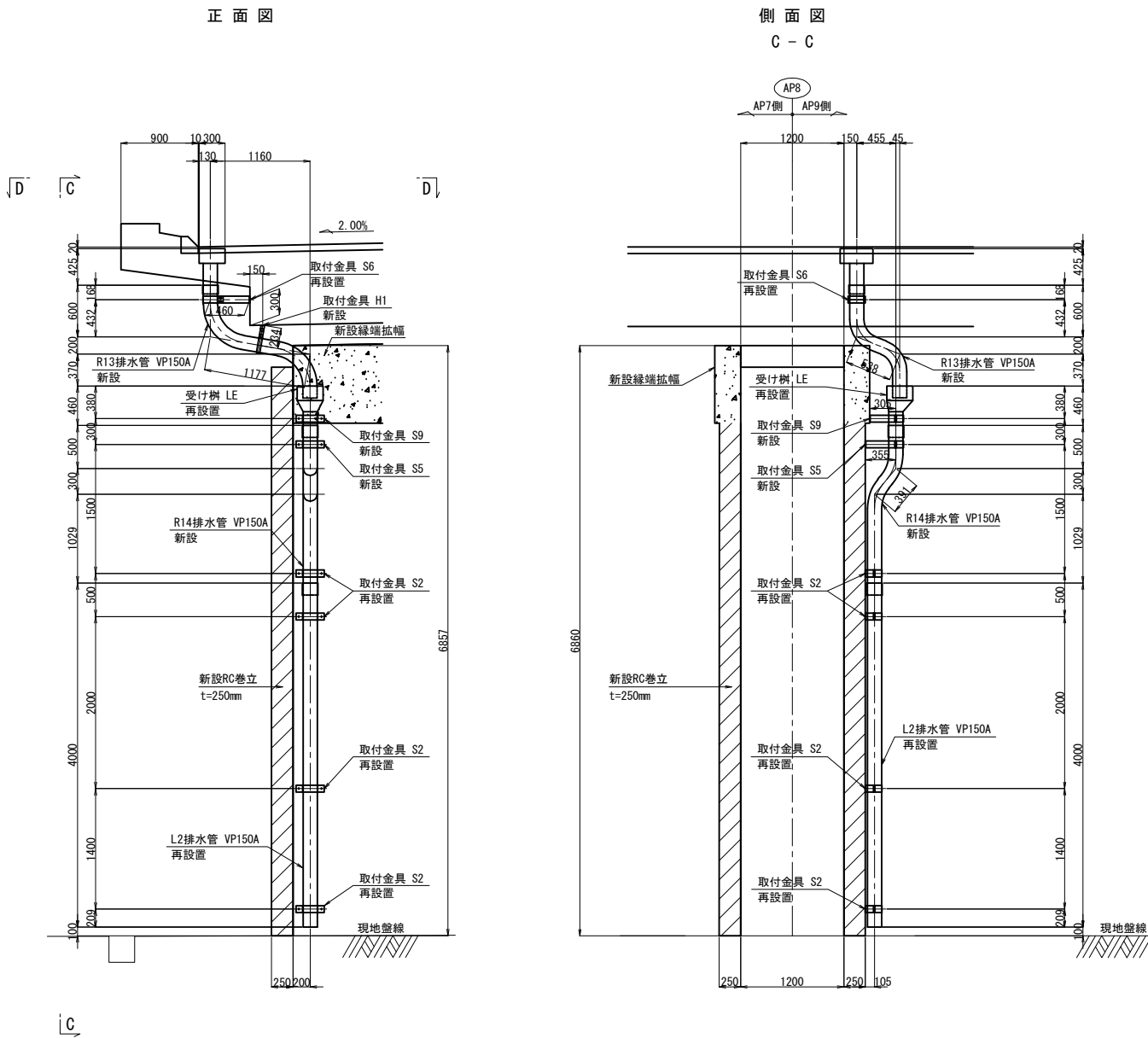
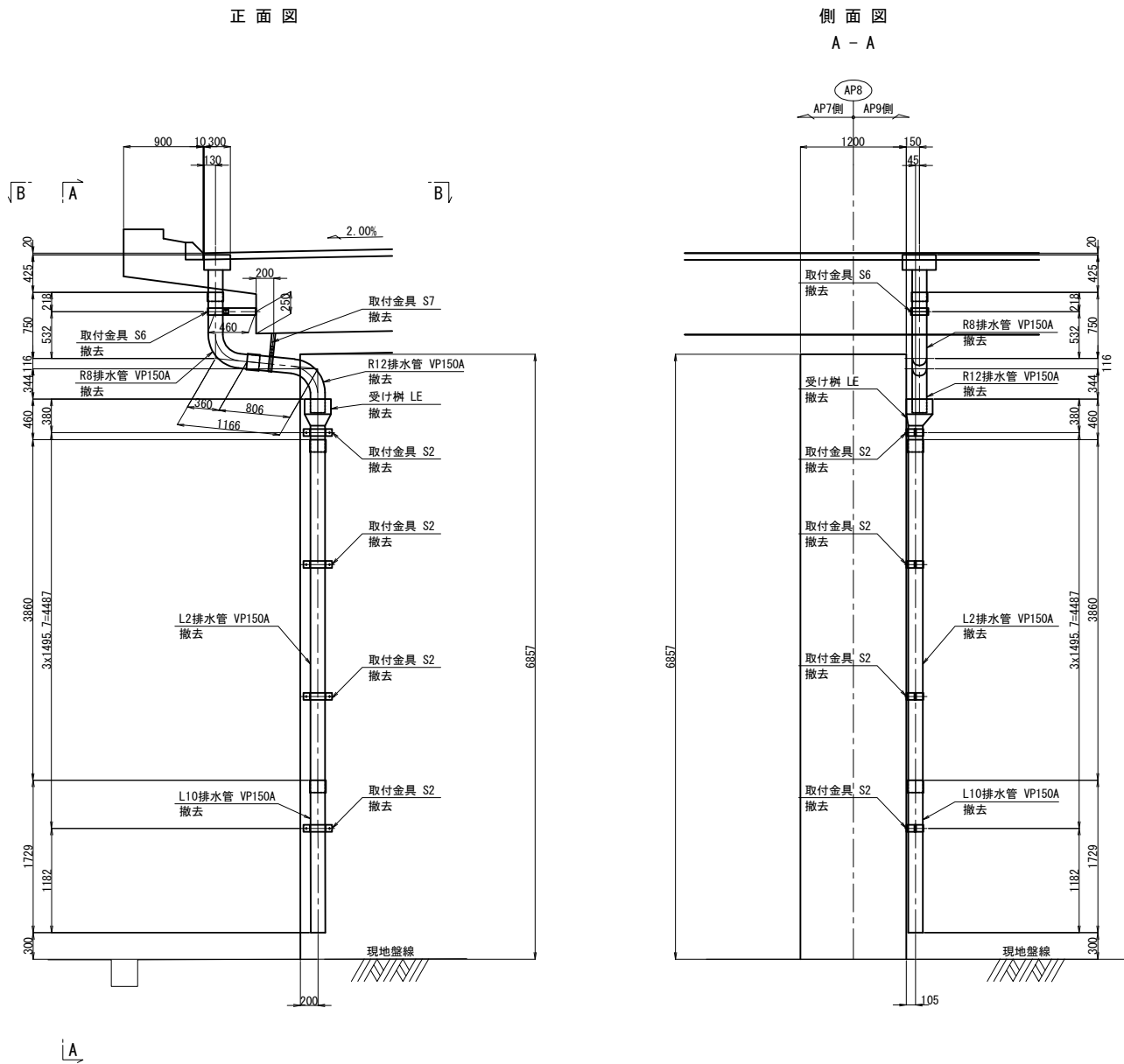
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その3) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その4) (参考図)S=1:75

AP8橋脚 (AP9側)

撤去図

復旧図



排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L10	VP150A	個	1	スリーブ付
	R8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R12	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	取付金具S7	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R13	VP150A	個	1	スリーブ付
	R14	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具H1	H (150A)	個	1	
	取付金具S5	S (150A)	個	1	
	取付金具S9	S (150A)	個	1	

- 注記)
- 特記なき材質は全てS4400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

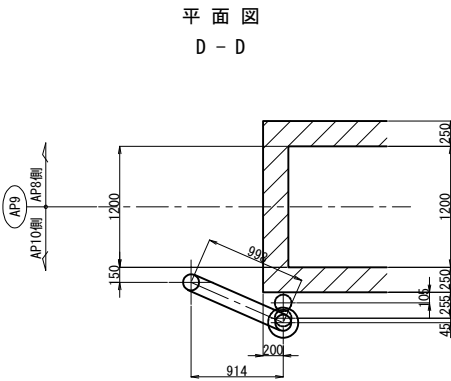
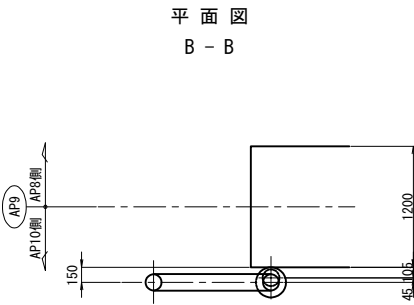
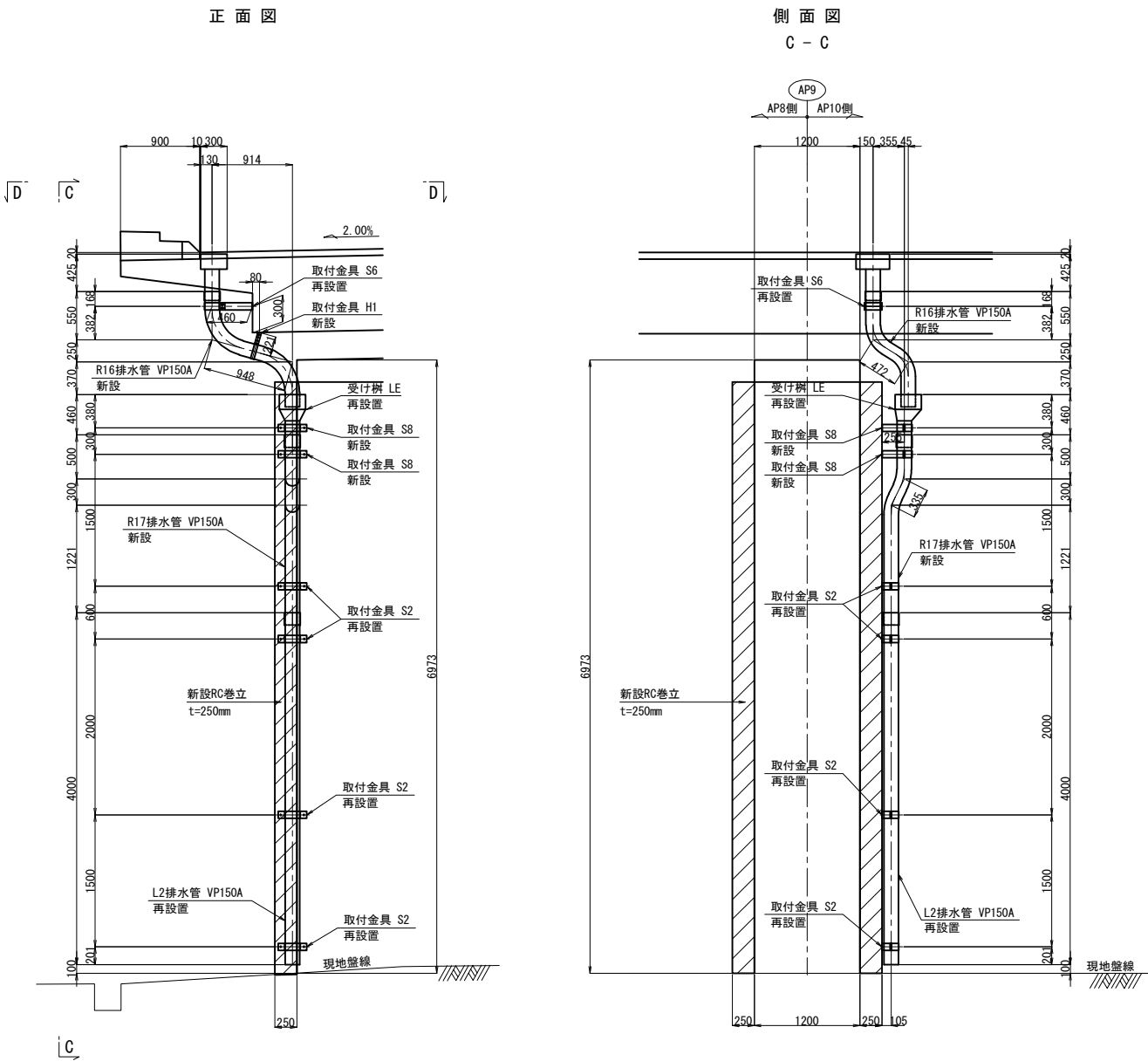
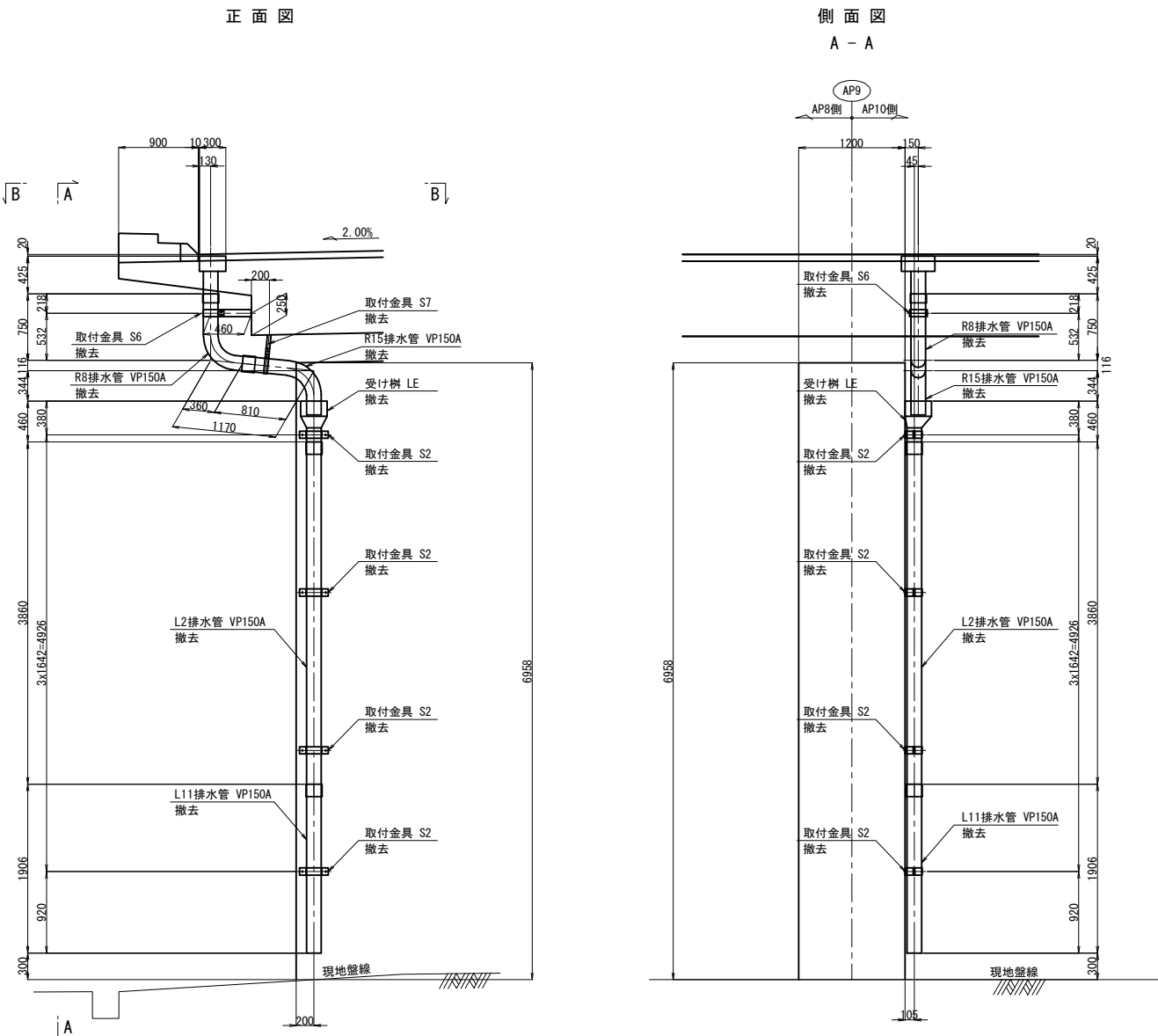
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その4) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その5) (参考図) S=1:75

AP9橋脚 (AP10側)

撤去図

復旧図



排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L11	VP150A	個	1	スリーブ付
	R8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R15	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	取付金具S7	S (150A)	個	1	
	受け桟 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け桟 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R16	VP150A	個	1	スリーブ付
	R17	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具H1	H (150A)	個	1	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT40とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスチック処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

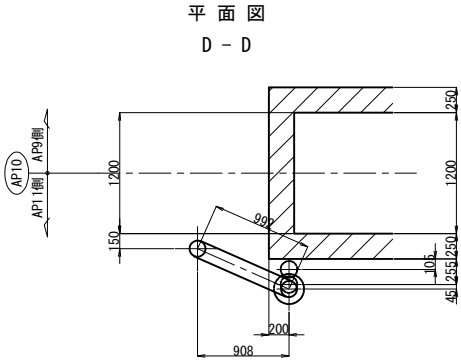
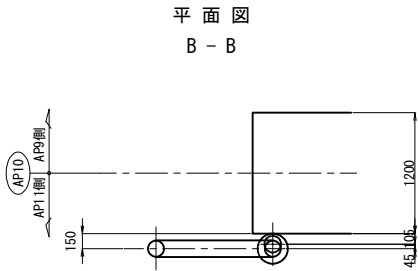
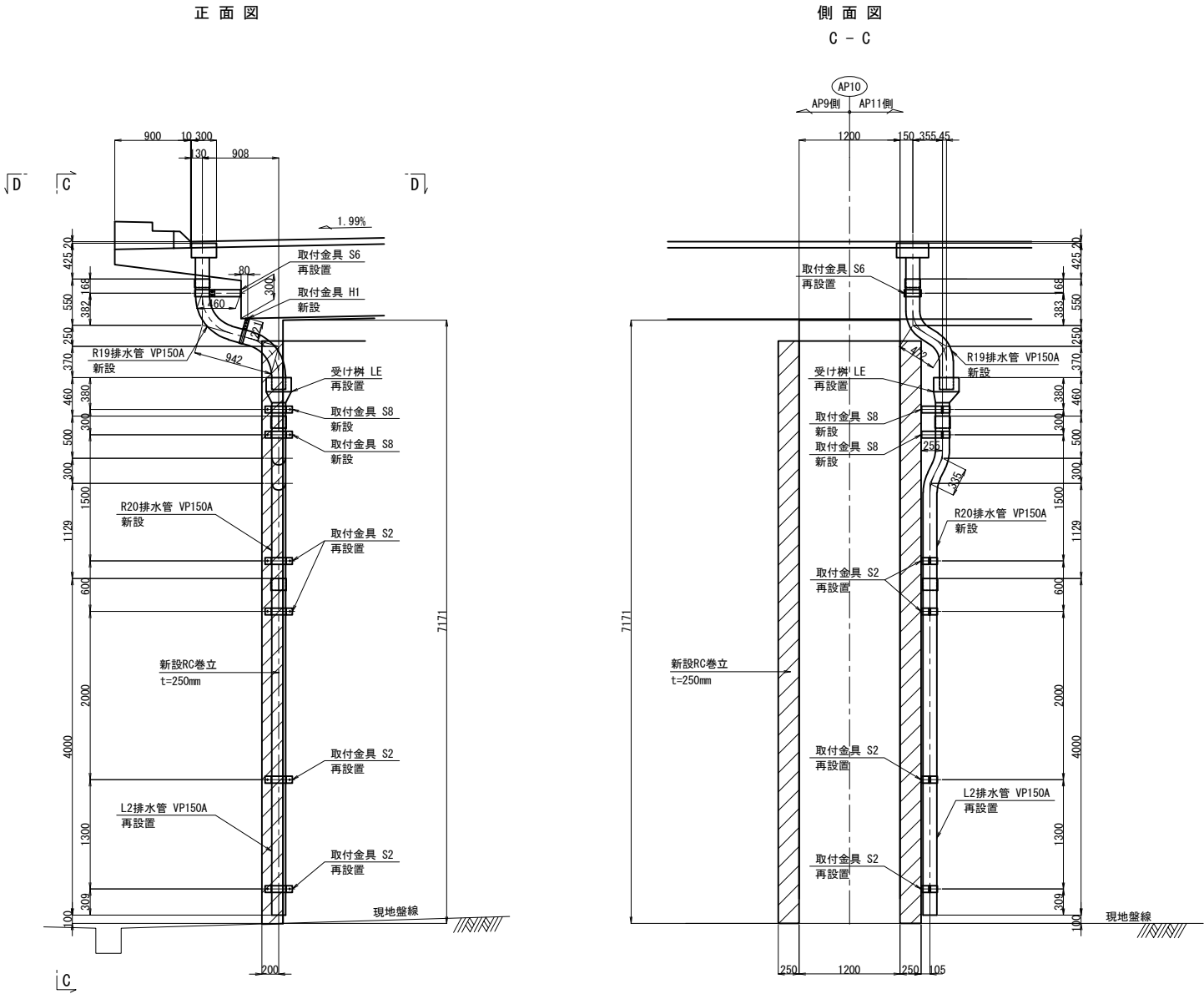
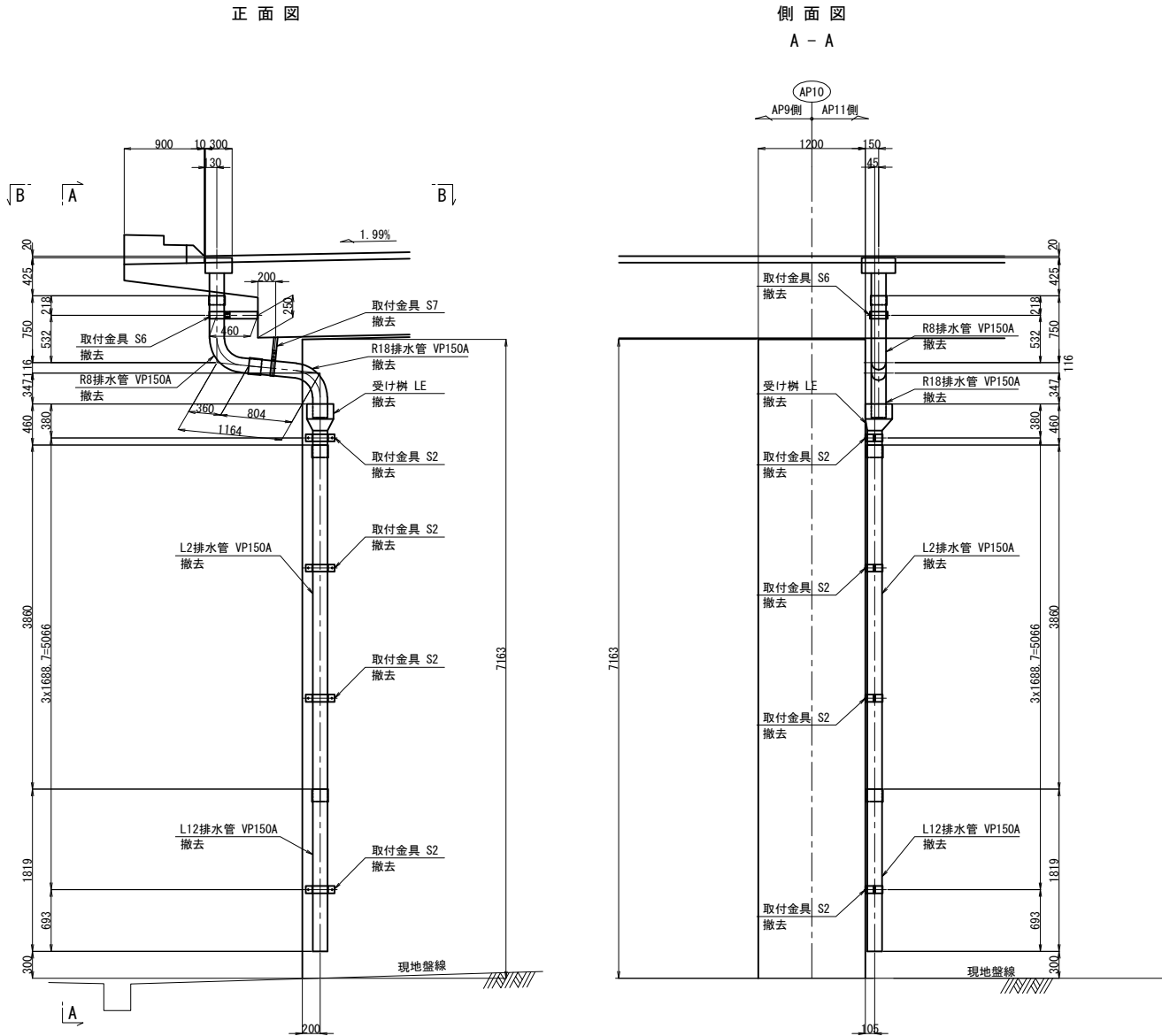
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その5) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その6) (参考図) S=1:75

AP10橋脚 (AP11側)

撤去図

復旧図



排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L12	VP150A	個	1	スリーブ付
	R8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R18	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	取付金具S7	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R19	VP150A	個	1	スリーブ付
	R20	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具H1	H (150A)	個	1	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

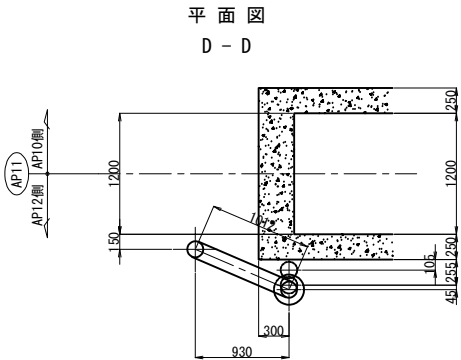
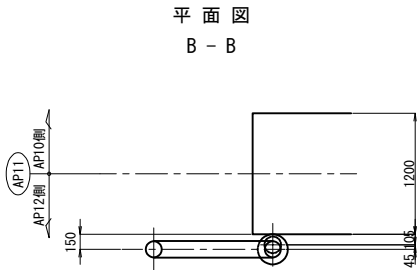
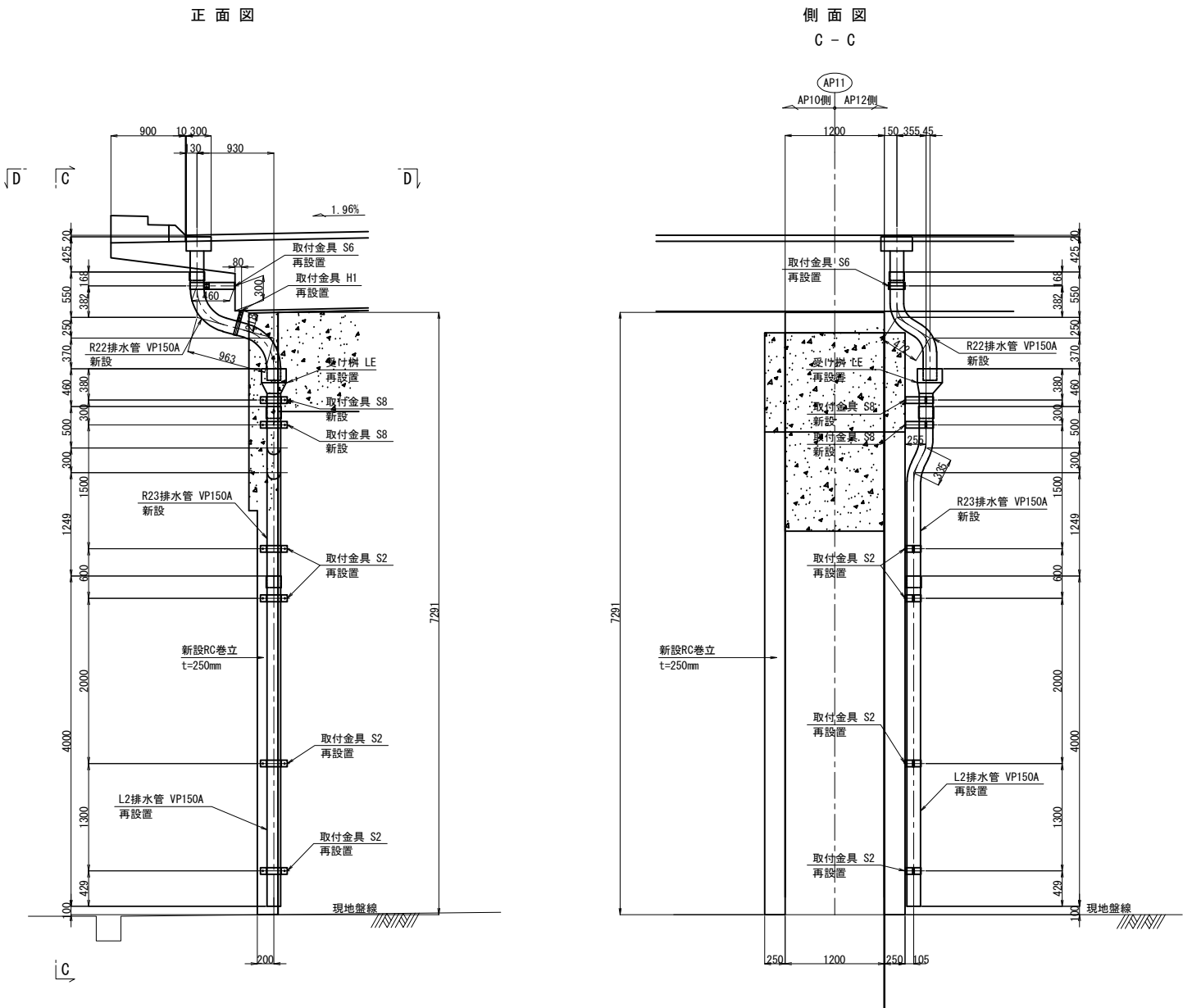
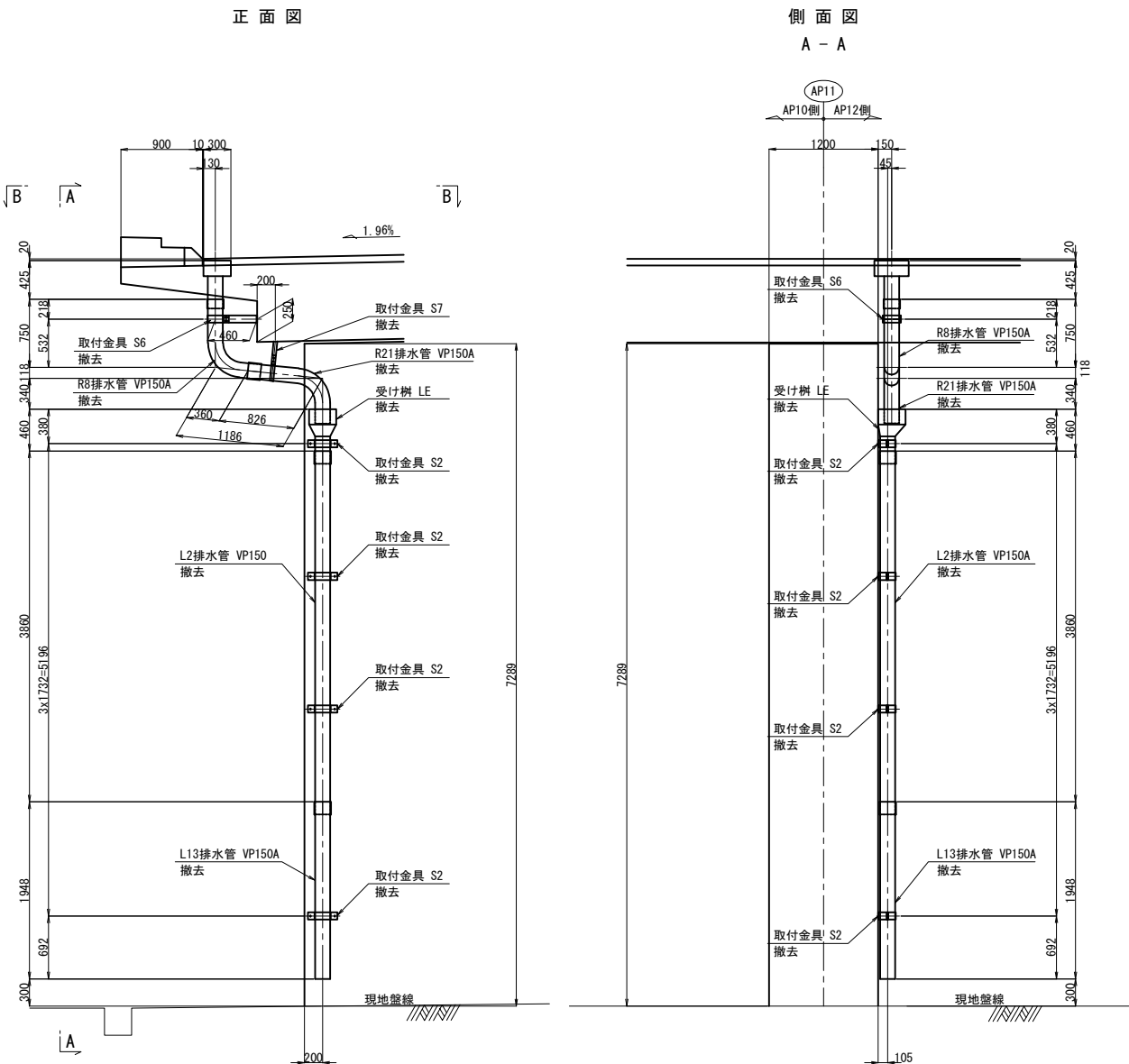
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その6) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その7) (参考図) S=1:75

AP11橋脚 (AP12側)

撤去図

復旧図



排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L13	VP150A	個	1	スリーブ付
	R8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R21	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	取付金具S7	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R22	VP150A	個	1	スリーブ付
	R23	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具H1	H (150A)	個	1	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

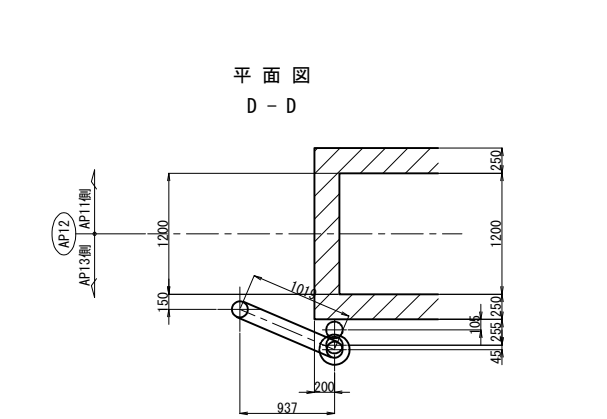
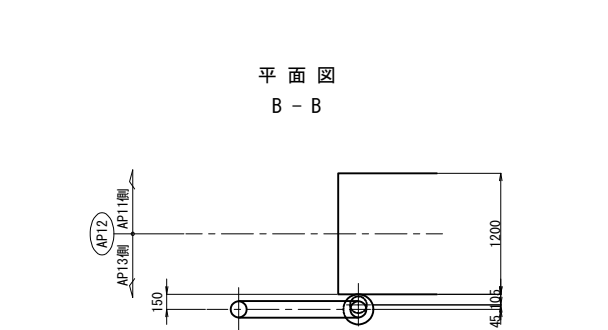
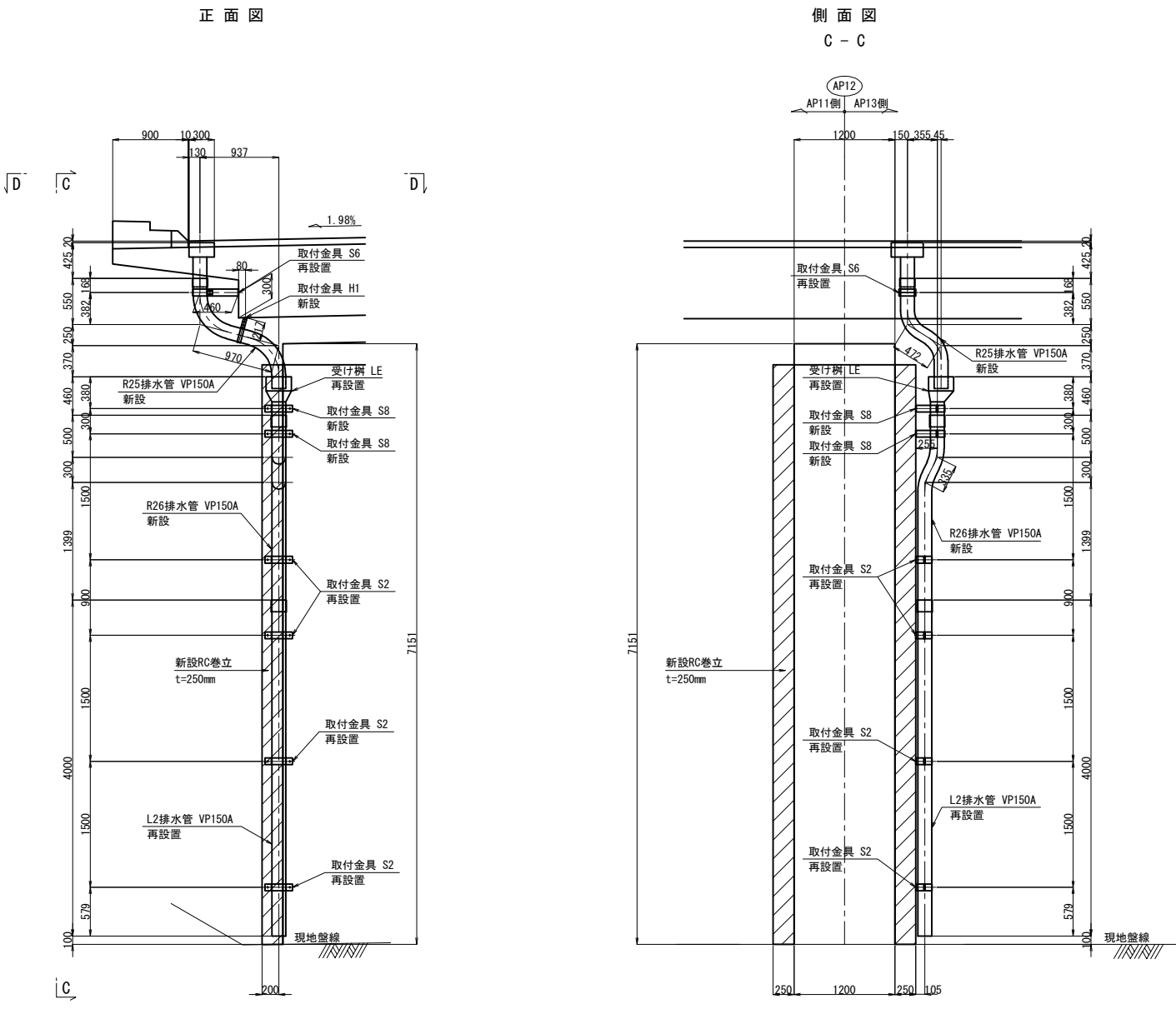
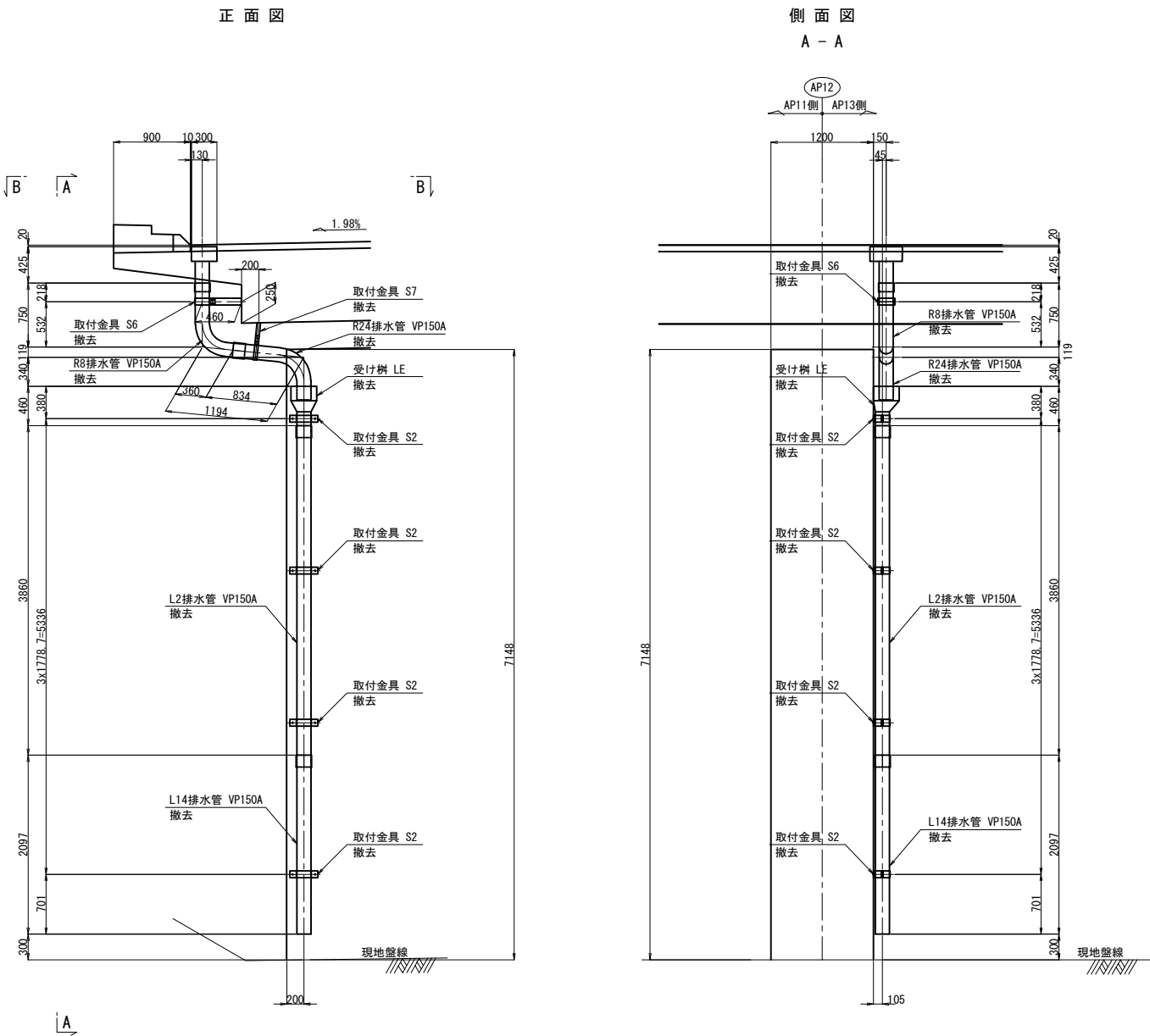
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その7) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その8) (参考図) S=1:75

AP12橋脚 (AP13側)

撤去図

復旧図



排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L14	VP150A	個	1	スリーブ付
	R8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R24	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	取付金具S7	S (150A)	個	1	
	受け桟 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け桟 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R25	VP150A	個	1	スリーブ付
	R26	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具H1	H (150A)	個	1	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その8) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

AP13橋脚 (AP14側)

撤去図

復旧図

正面図

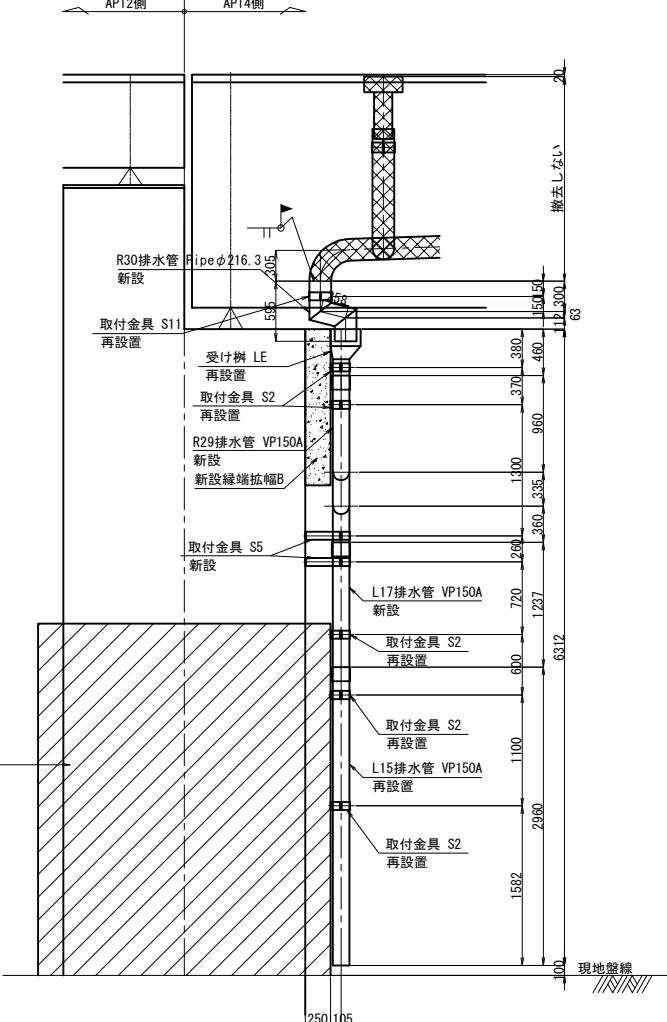
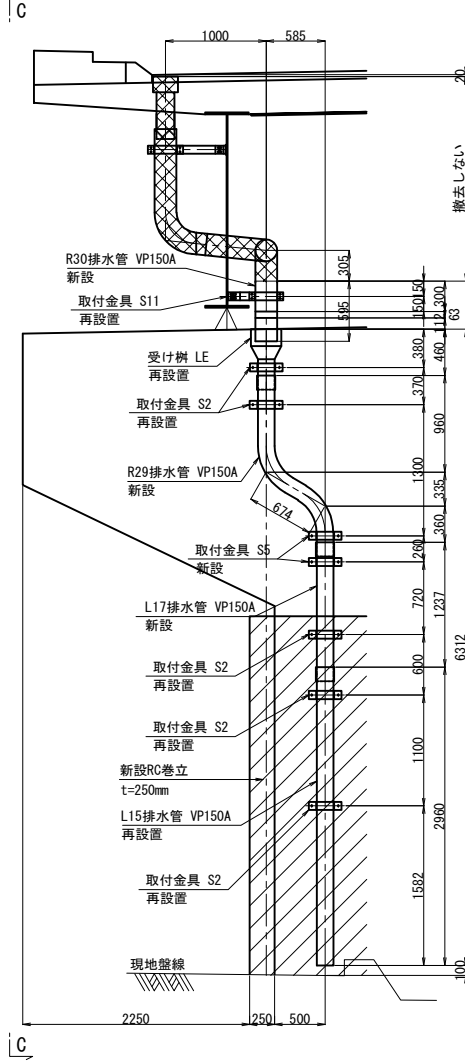
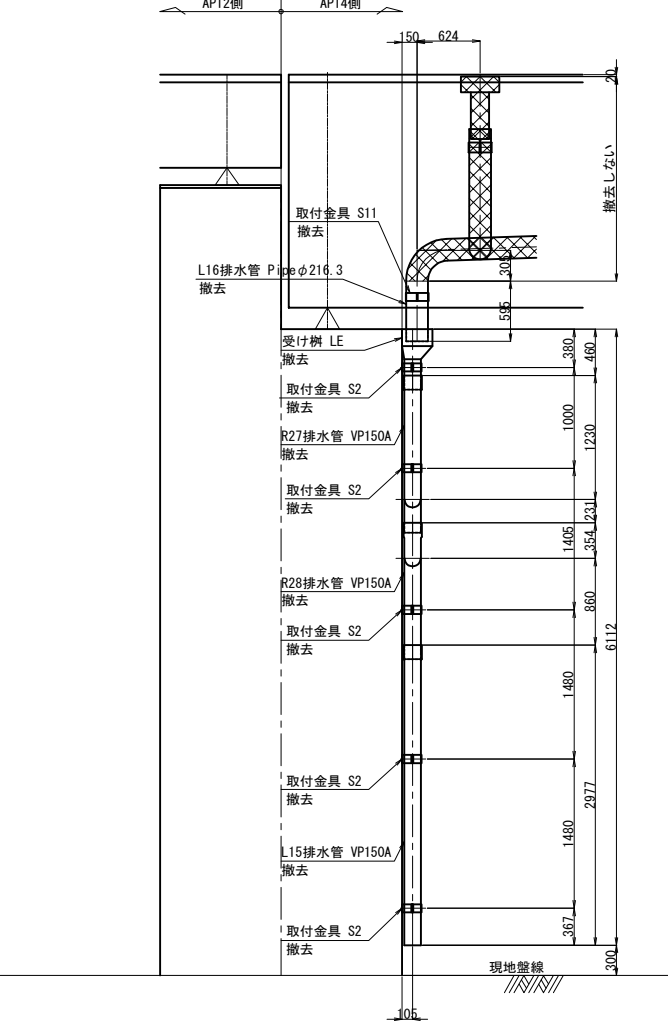
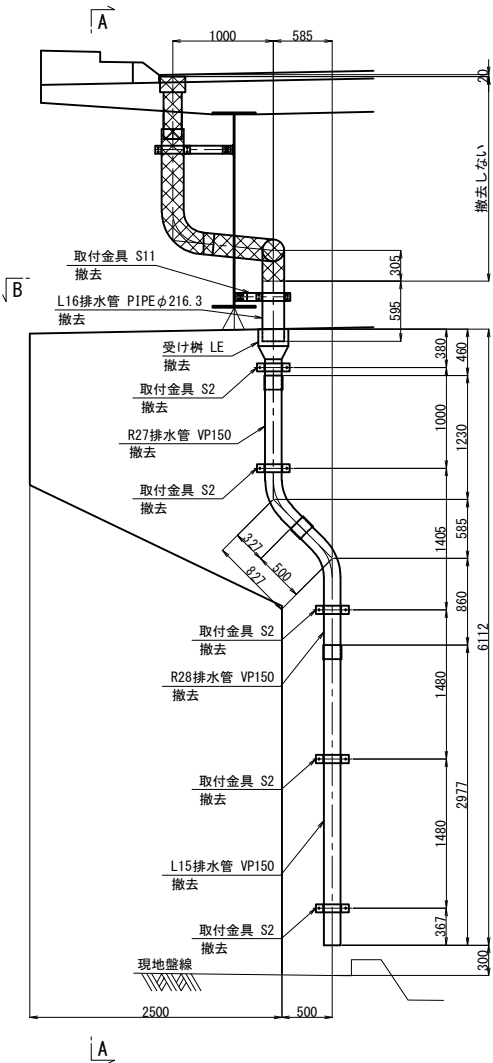
側面図

正面図

側面図

A - A

C - C

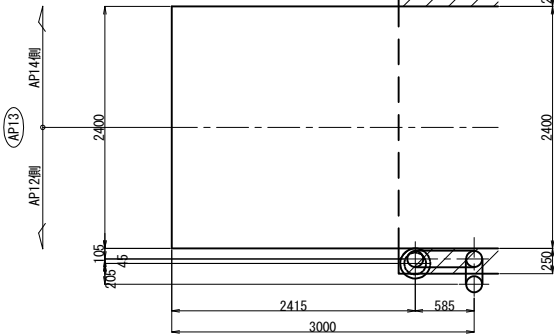
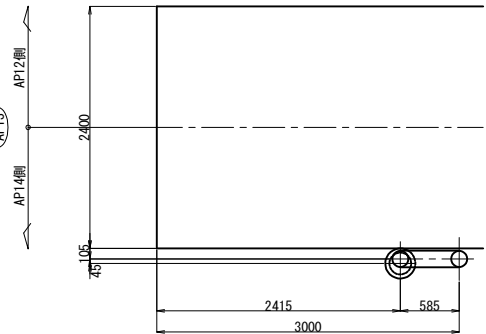


平面図

平面図

B - B

D - D



排水管撤去材料

撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L16	PIPEφ216.3	個	1	
	L15	VP150A	個	1	スリーブ付
	R27	VP150A	個	1	スリーブ付
	R28	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	5	
	取付金具S11	S (200A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料

撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L15	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	5	
	取付金具S11	S (200A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料

新設	番号	規格	単位	数量	備考
	L17	VP150A	個	1	スリーブ付
	R29	VP150A	個	1	スリーブ付
	R30	PIPEφ216.3	個	1	
	取付金具S5	S (150A)	個	2	

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

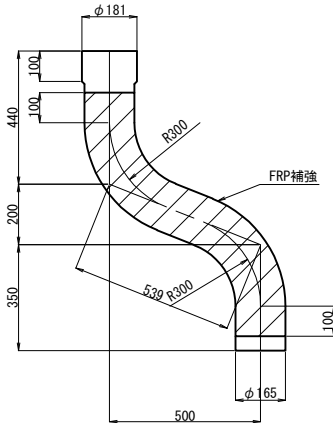
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その9) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設排水管詳細

R2排水管

製作数: 1

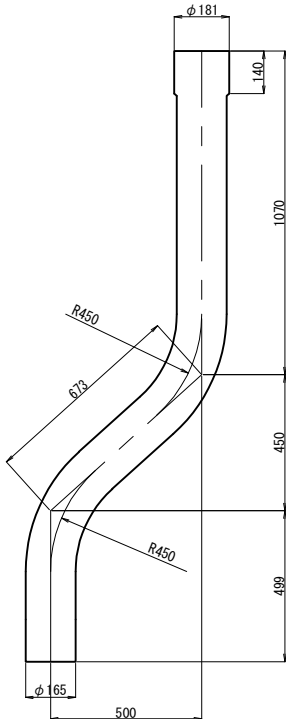
AA1



R3排水管

製作数: 1

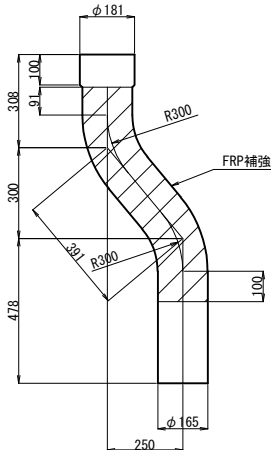
AA1



R7排水管

製作数: 1

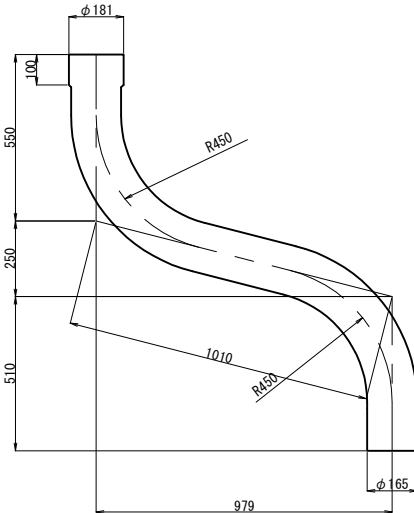
AP2



R10排水管

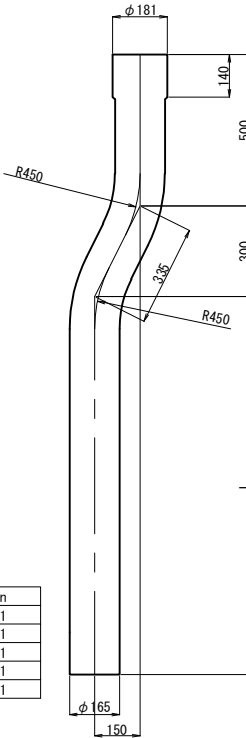
製作数: 1

AP5



RN排水管

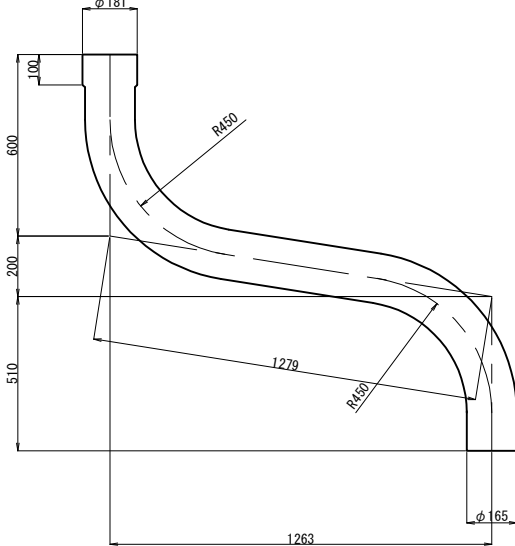
製作数: n



R13排水管

製作数: 1

AP8

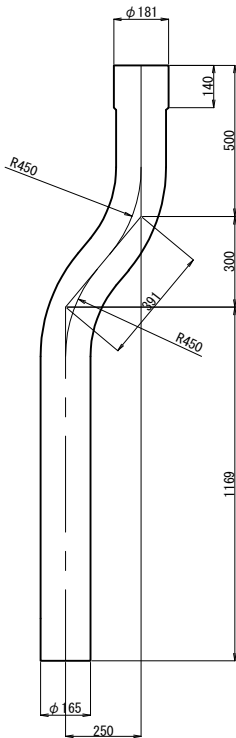


	RN	L	n
AP5	R11	1250	1
AP9	R17	1361	1
AP10	R20	1269	1
AP11	R23	1389	1
AP12	R26	1539	1

R14排水管

製作数: 1

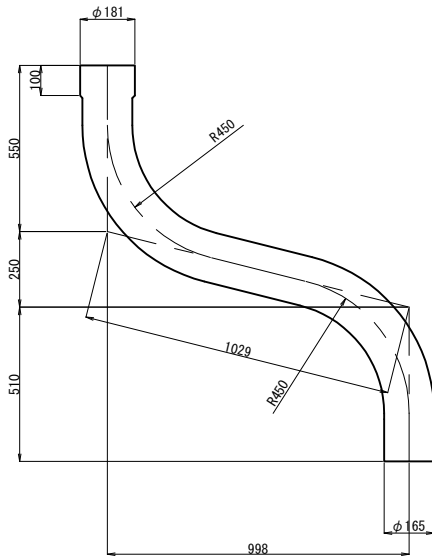
AP8



R16排水管

製作数: 1

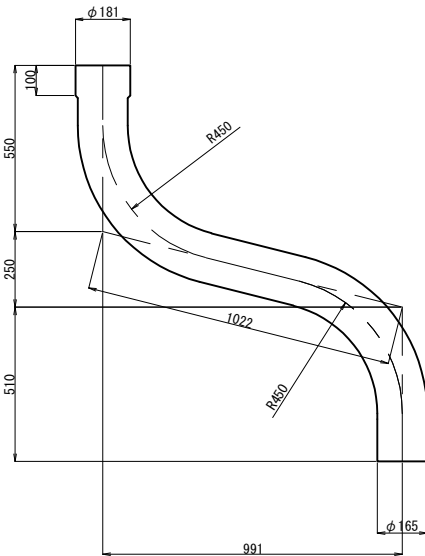
AP9



R19排水管

製作数: 1

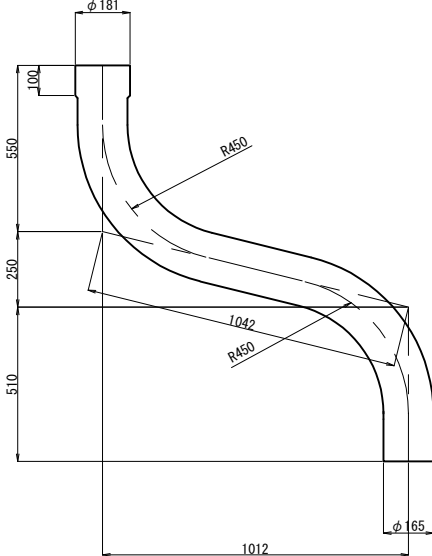
AP10



R22排水管

製作数: 1

AP11



注記)

1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。
3. ※印以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の種類は JIS H8641 HDZT77 (膜厚77 μ m以上) とする。
(ステンレスボルト、ナットは除く)
但し、ボルト・ナット類及び板厚3.2mm未満の部材は、
JIS H8641 HDZT49 (膜厚49 μ m以上) とする。
4. 屈曲部の最小曲げ半径は管径の3倍以上確保することとし、
曲げ半径を3倍以上確保できない場合は、FRP補強することとする。

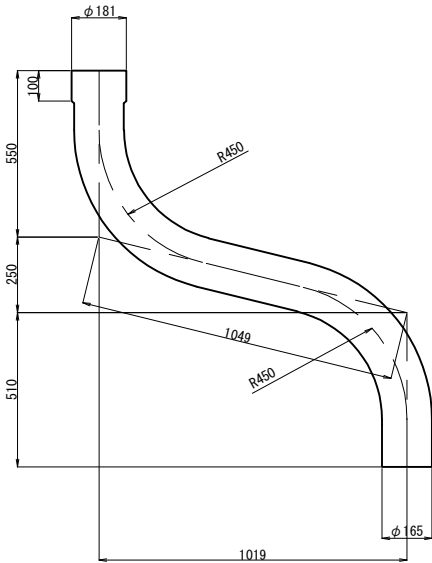
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その10) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

新設排水管詳細

R25排水管

製作数: 1

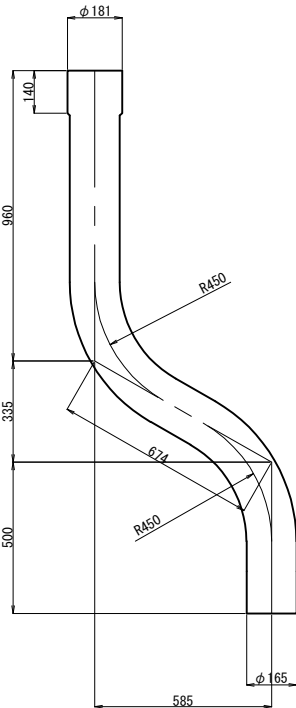
AP12



R29排水管

製作数: 1

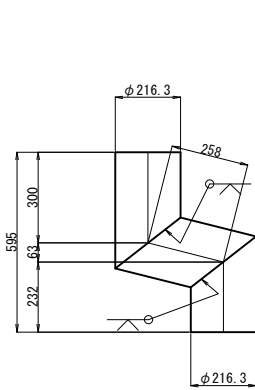
AP13



R30排水管

製作数: 1

AP13

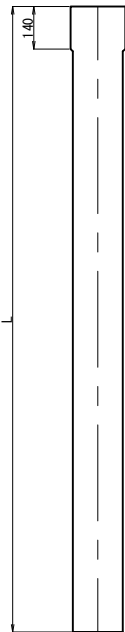


1-PIPE φ216.3x5.8x300 (STK400)
 1-PIPE φ216.3x5.8x258 (STK400)
 1-PIPE φ216.3x5.8x232 (STK400)

新設直管詳細

製作数: n

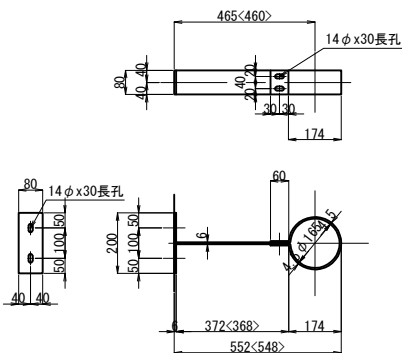
LN



	LN	L	n
AA1	L3	2112	1
AP2	L7	2068	1
AP5	L9	3281	1
AP13	L17	1377	1

支持金具詳細

取付金具 S1<S6>

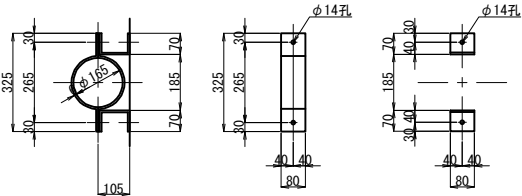


撤去材料(1組当り): 計1<8>組
 2-コンクリートアンカー M12

既設撤去、復旧材料(1組当り): 計1<8>組
 1-PL 80x6x200
 1-PL 80x6x372<368>
 1-PL 80x4.5x647
 2-BN M12x40

新設材料(1組当り): 計1<8>組
 2-打ち込み式アンカー M12

取付金具 S2<S3>

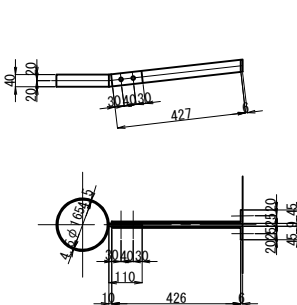


撤去材料(1組当り): 計37<1>組
 2-コンクリートアンカー M12

既設撤去、復旧材料(1組当り): 計37<1>組
 2-PL 80x6x241<286>
 2-PL 80x6x415
 2-BN M12x40

新設材料(1組当り): 計37<1>組
 2-打ち込み式アンカー M12

取付金具 S4

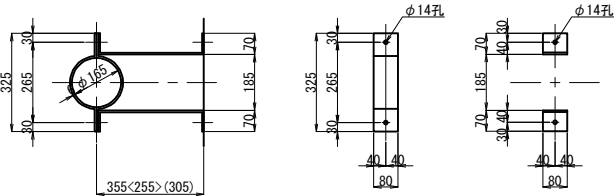


撤去材料(1組当り): 計1組
 2-コンクリートアンカー M12

既設撤去、復旧材料(1組当り): 計1組
 1-PL 40x4.5x687
 2-PL 40x6x466
 2-BN M12x40

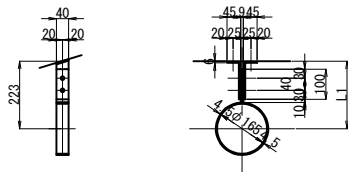
新設材料(1組当り): 計1組
 2-打ち込み式アンカー M12

取付金具 S5<S8>(S9)



新設材料(1組当り): 計4<10>(1)組
 2-PL 80x6x489<389>(439)
 2-PL 80x6x415
 2-BN M12x40
 2-打ち込み式アンカー M12

取付金具 H1



新設材料(1組当り): 計n組
 2-PL 40x4.5x687
 2-PL 40x6xLL1
 2-BN M12x40
 2-打ち込み式アンカー M12

	L1	LL1	n
AP5	233	167	1
AP8	234	168	1
AP9	221	155	1
AP10	221	155	1
AP11	218	152	1
AP12	217	151	1

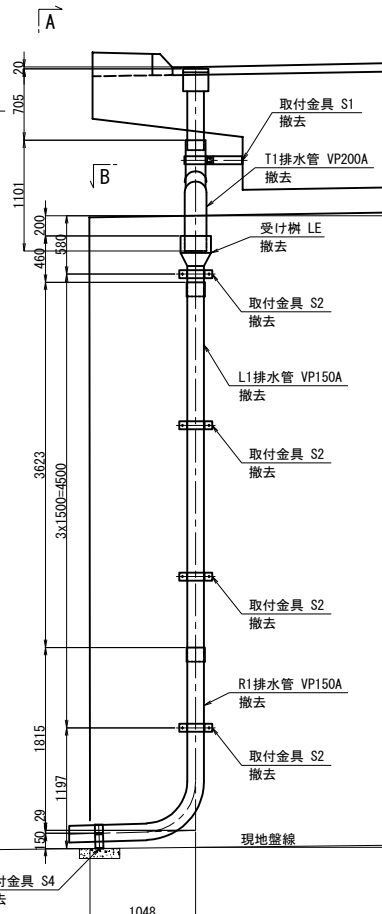
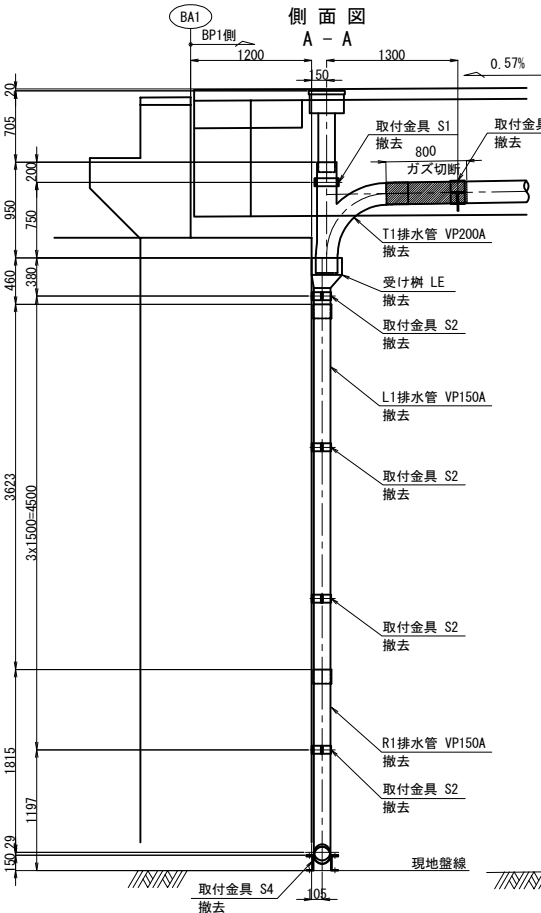
注記)

1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。
3. ※印以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の種類は JIS H8641 HDZT77 (膜厚77μm以上) とする。
(ステンレスボルト、ナットは除く)
但し、ボルト・ナット類及び板厚3.2mm未満の部材は、
JIS H8641 HDZT49 (膜厚49μm以上) とする。
4. 新設部材取付け金具のボルト・ナットはゆるみ止め構造を使用する。

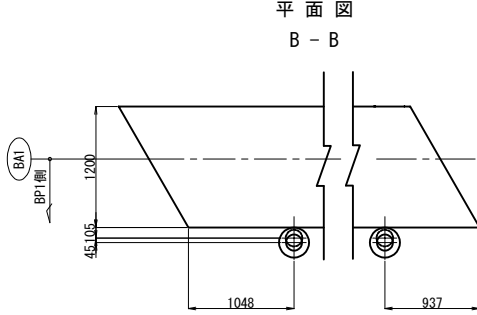
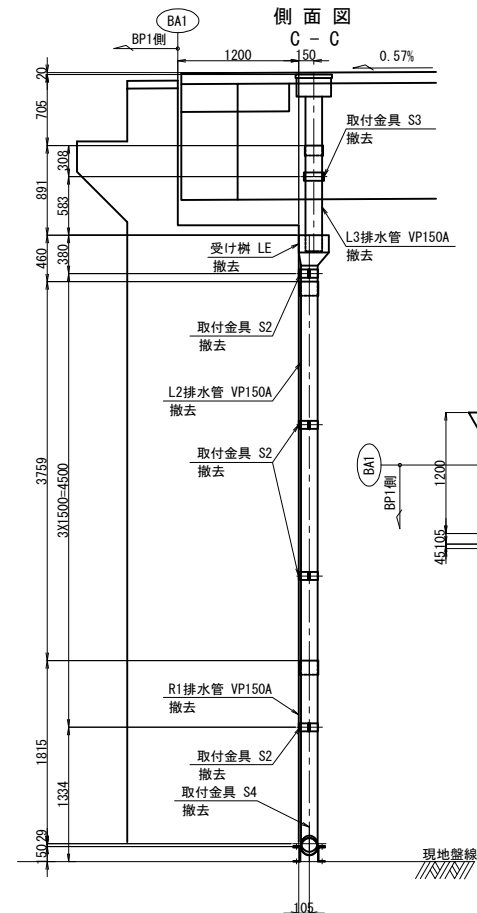
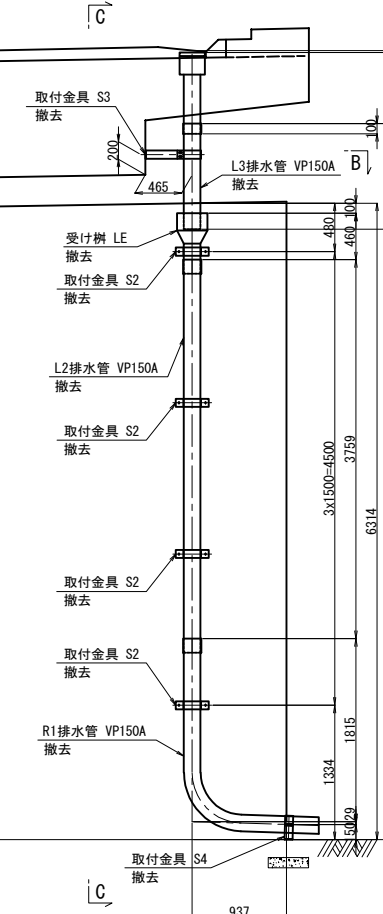
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その11) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その1) (参考図) S=1:75

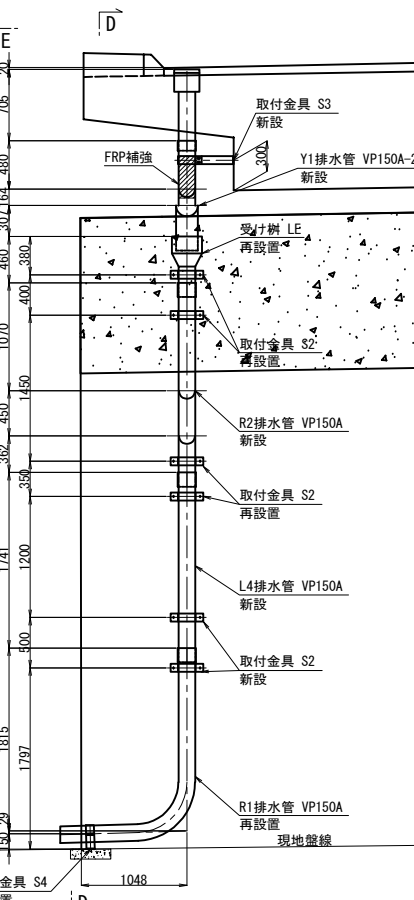
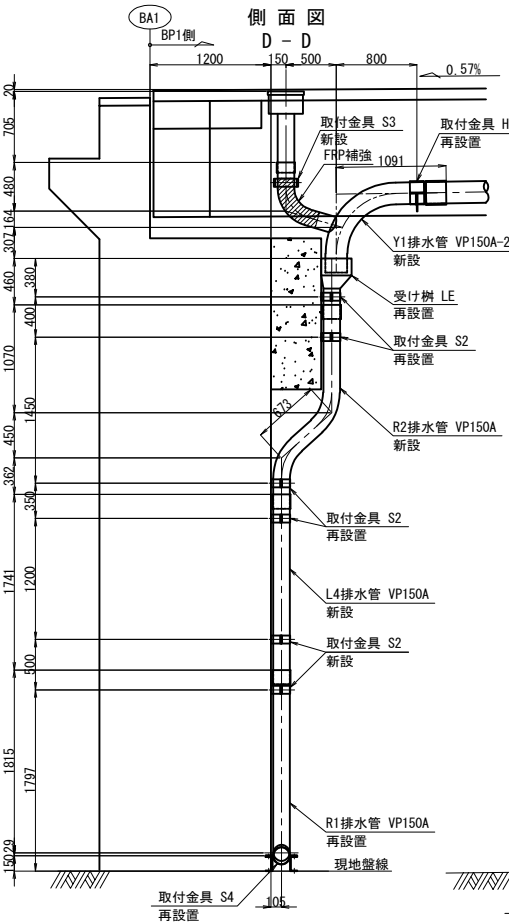
BA1橋台 (BP1側)
撤去図
正面図



排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L1	VP150A	個	1	スリーブ付
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L3	VP150A	個	1	スリーブ付
	T1	VP200A	個	1	スリーブ付
	R1	VP150A	個	2	スリーブ付
	取付金具H1	H (200A)	個	1	
	取付金具S1	S (150A)	個	1	
	取付金具S2	S (150A)	個	8	
	取付金具S3	S (150A)	個	1	
	取付金具S4	S (150A)	個	2	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2	

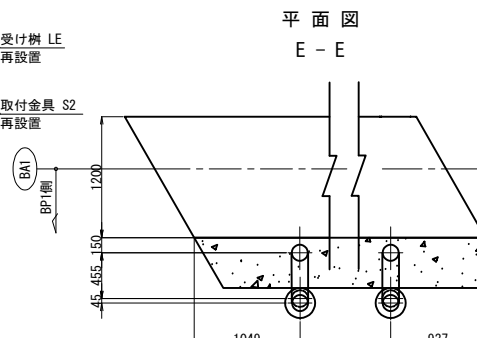
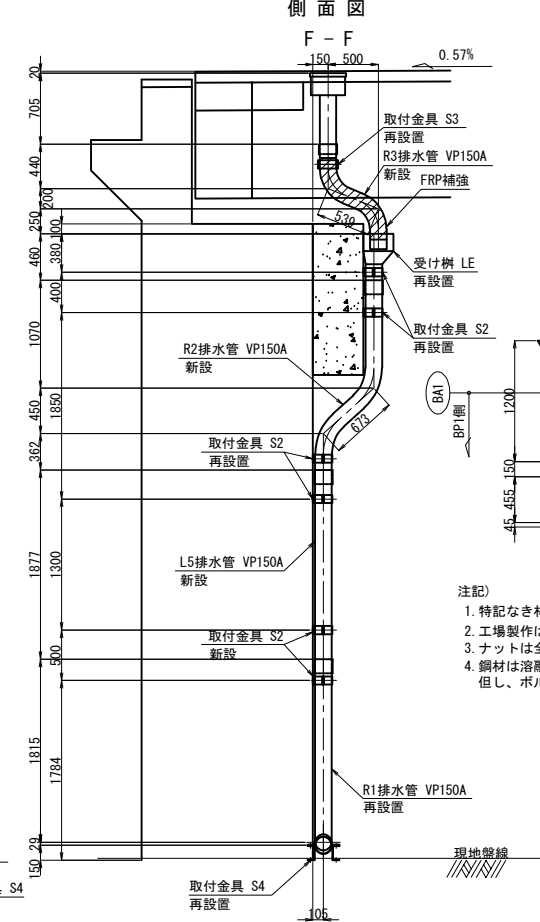
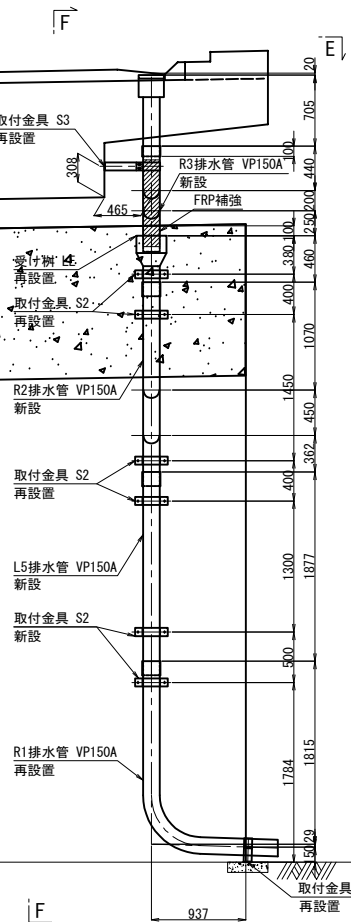


復旧図
正面図



排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	R1	VP150A	個	2	スリーブ付
	取付金具H1	S (150A)	個	1	
	取付金具S2	S (150A)	個	8	
	取付金具S3	S (150A)	個	1	
	取付金具S4	S (150A)	個	2	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2	

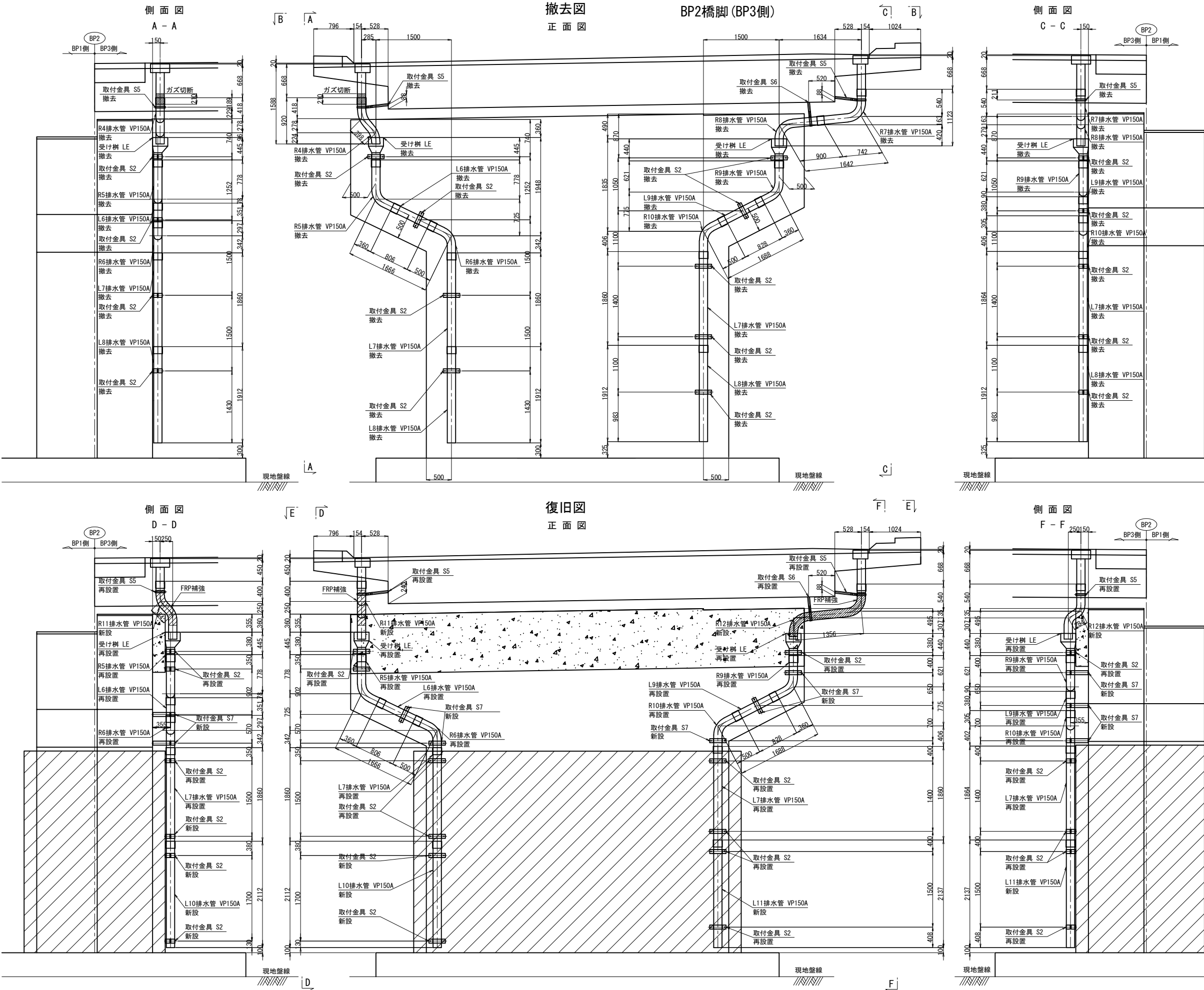
排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	Y1	VP150A-200A	個	1	スリーブ付「FRP補強」
	L4	VP150A	個	1	スリーブ付
	L5	VP150A	個	1	スリーブ付
	R2	VP150A	個	2	スリーブ付
	R3	VP150A	個	1	スリーブ付「FRP補強」
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S3	S (150A)	個	1	



- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上とし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その2) (参考図) S=1:75



排水管撤去材料

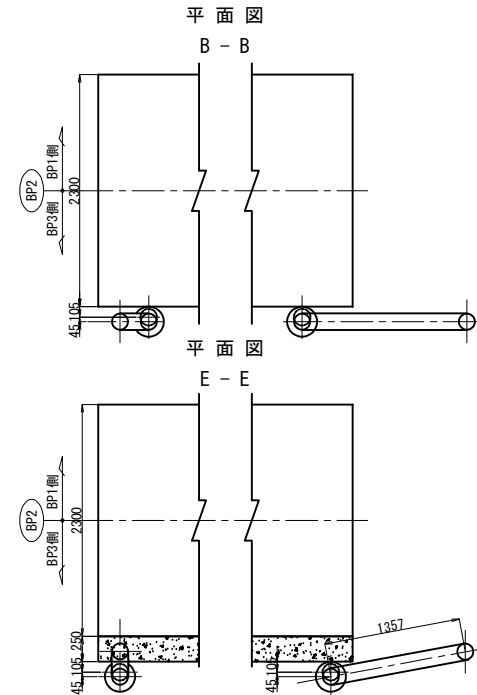
	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	L6	VP150A	個	1	スリーブ付
	L7	VP150A	個	2	スリーブ付
	L8	VP150A	個	2	スリーブ付
	L9	VP150A	個	1	スリーブ付
	R4	VP150A	個	1	スリーブ付
	R5	VP150A	個	1	スリーブ付
	R6	VP150A	個	1	スリーブ付
	R7	VP150A	個	1	スリーブ付
	R8	VP150A	個	1	スリーブ付
	R9	VP150A	個	1	スリーブ付
	R10	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	9	
撤去・再設置	取付金具S5	S (150A)	個	2	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2	

排水管既設撤去・再設置材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	L6	VP150A	個	1	スリーブ付
	L7	VP150A	個	2	スリーブ付
	L9	VP150A	個	1	スリーブ付
	R5	VP150A	個	1	スリーブ付
	R6	VP150A	個	1	スリーブ付
	R9	VP150A	個	1	スリーブ付
	R10	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	9	
	取付金具S5	S (150A)	個	2	
	取付金具S6	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2	
	取付金具S2	S (150A)	個	5	

排水管新設材料

	番号	規格	単位	数量	備考
新設	L10	VP150A	個	1	スリーブ付
	L11	VP150A	個	1	スリーブ付
	R11	VP150A	個	1	「FRP補強」
	R12	VP150A	個	1	「FRP補強」
	取付金具S2	S (150A)	個	2	
	取付金具S7	S (150A)	個	5	
	取付金具S2	S (150A)	個	5	

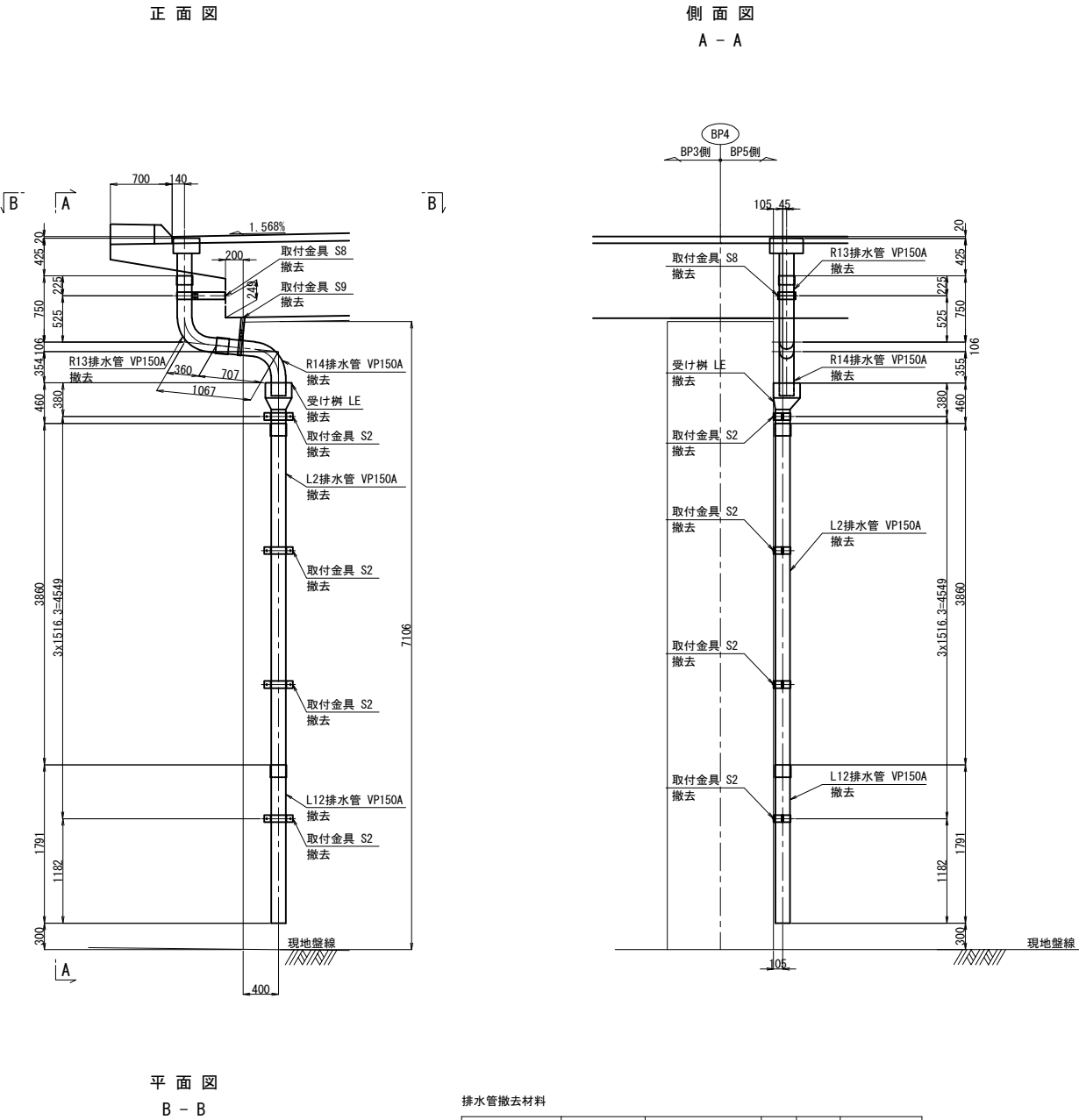


- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

BP4橋脚 (BP5側)

撤去図

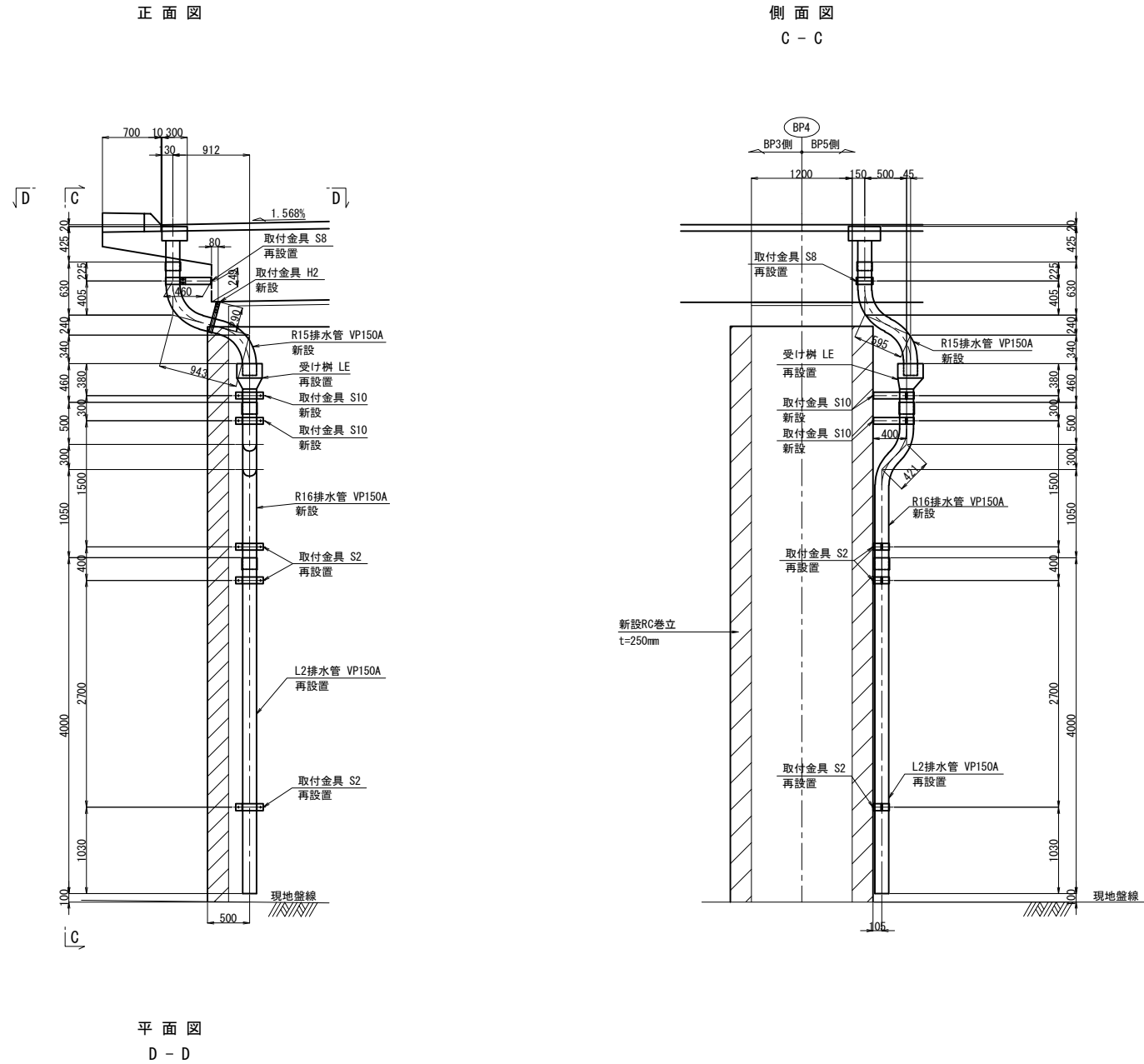


排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L12	VP150A	個	1	スリーブ付
	R13	VP150A	個	1	スリーブ付
	R14	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	取付金具S9	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	3	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

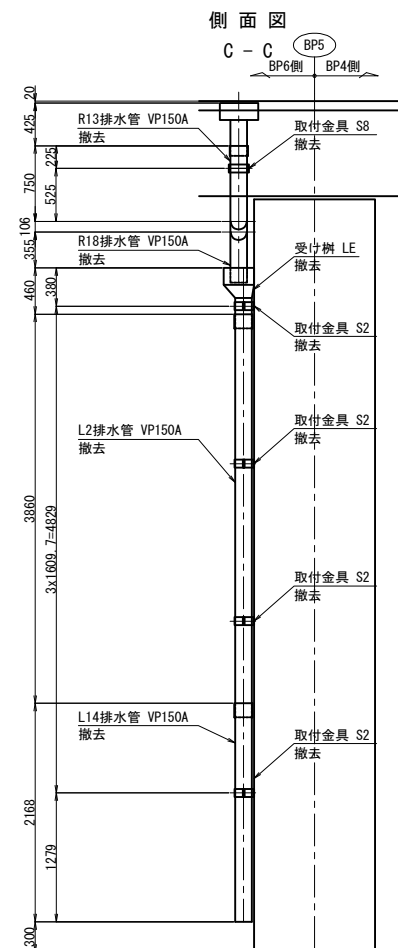
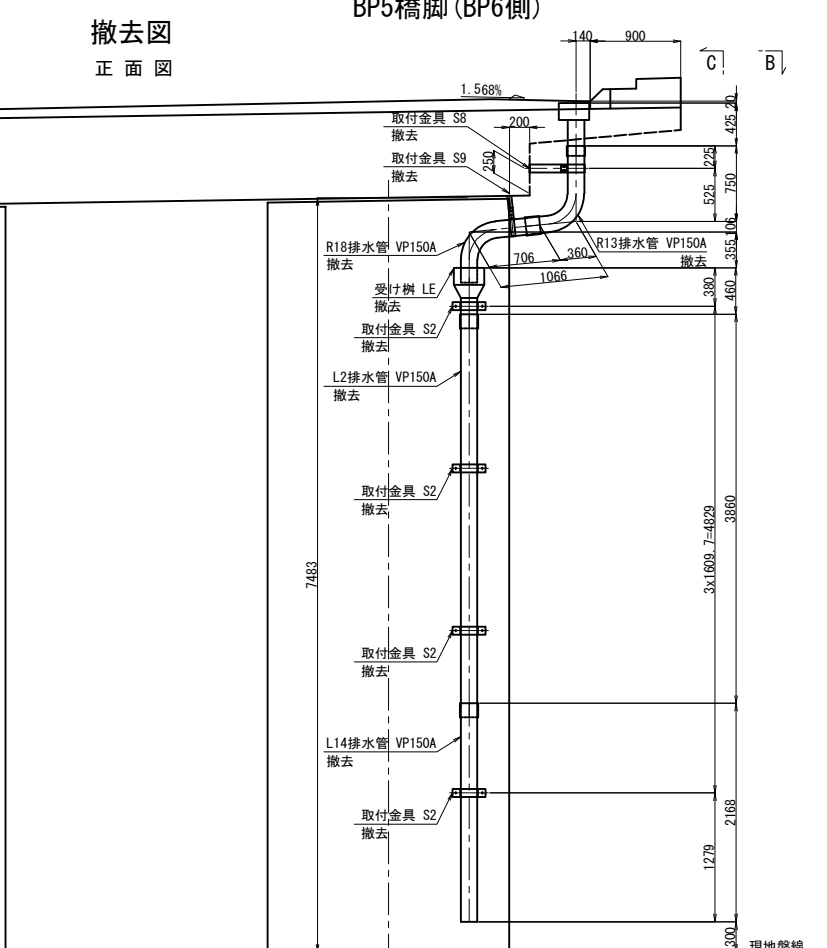
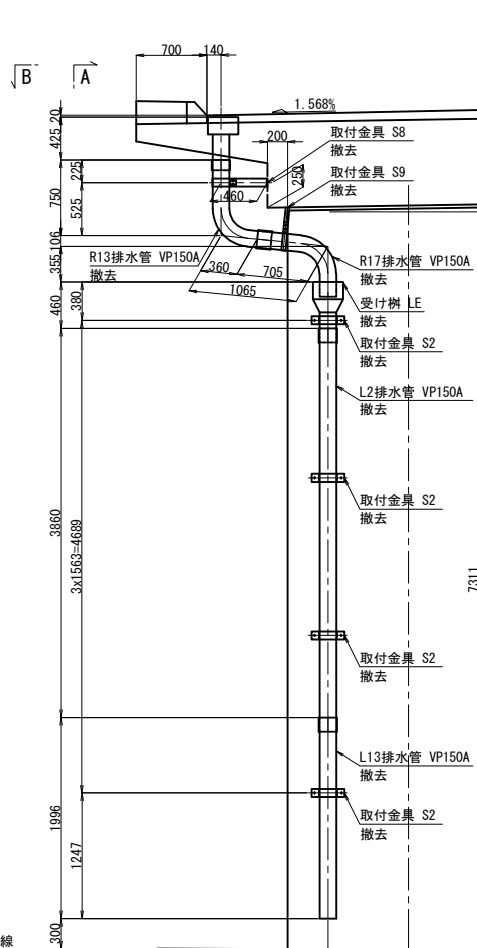
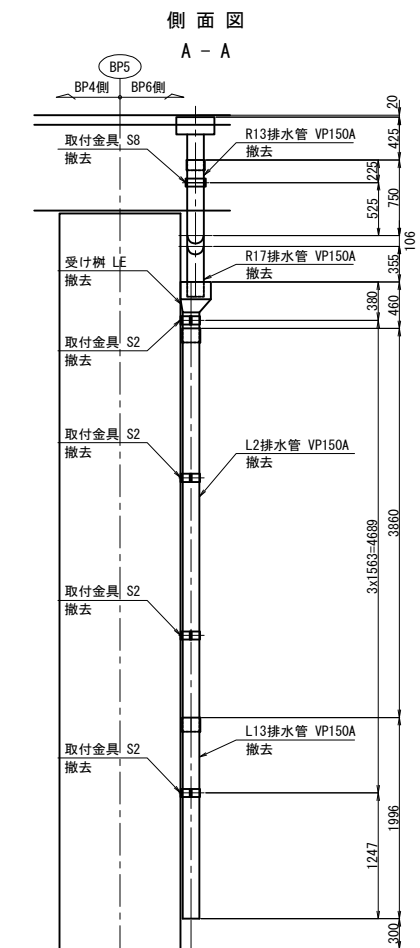
排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R15	VP150A	個	1	スリーブ付
	R16	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S10	S (150A)	個	2	
	取付金具H2	S (150A)	個	1	

復旧図



- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上とし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その3) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



排水管撤去材料

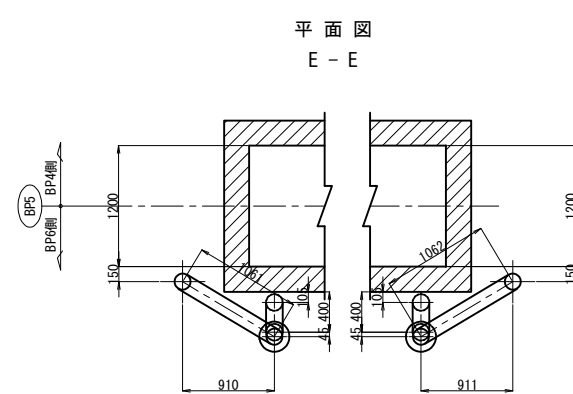
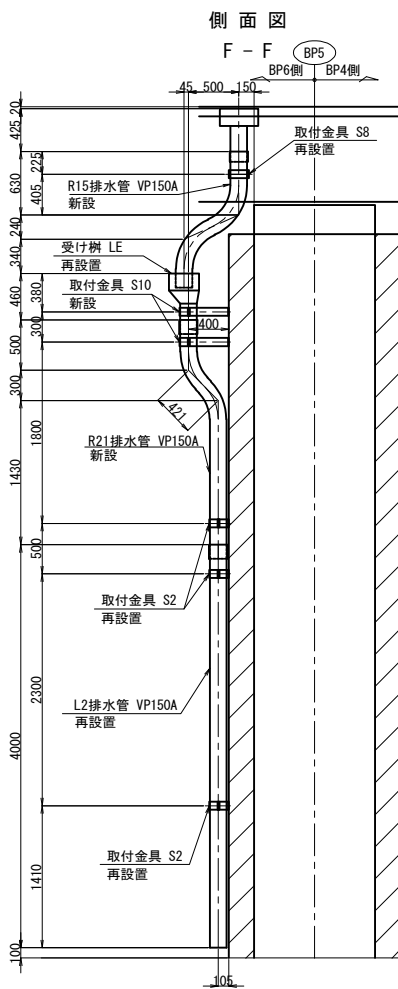
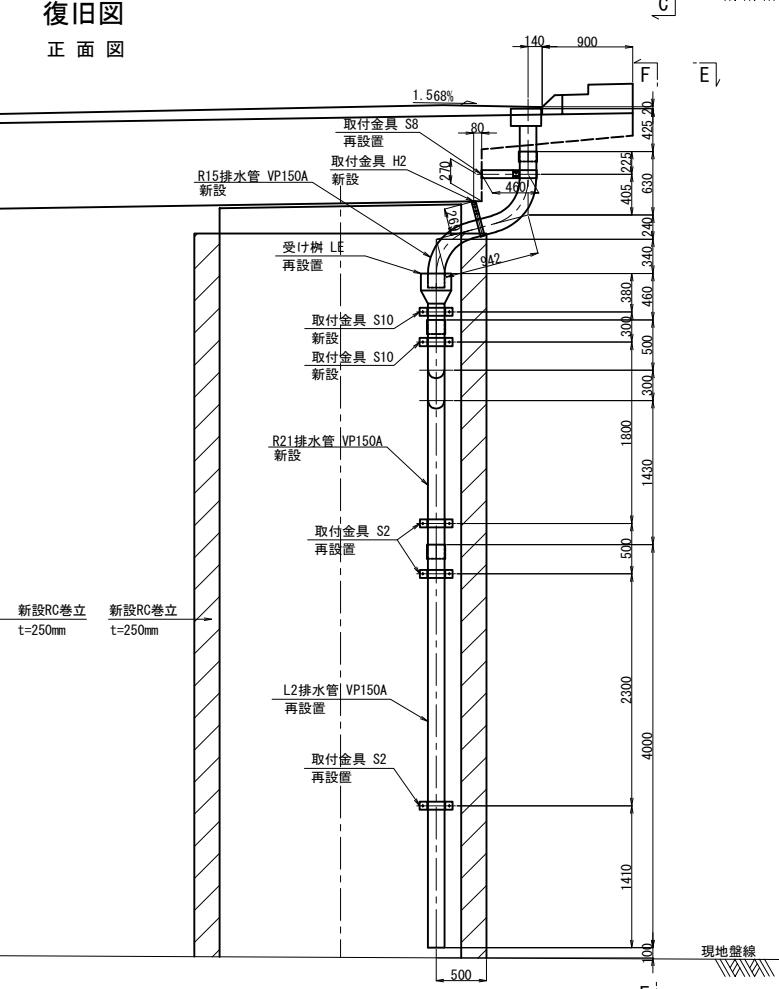
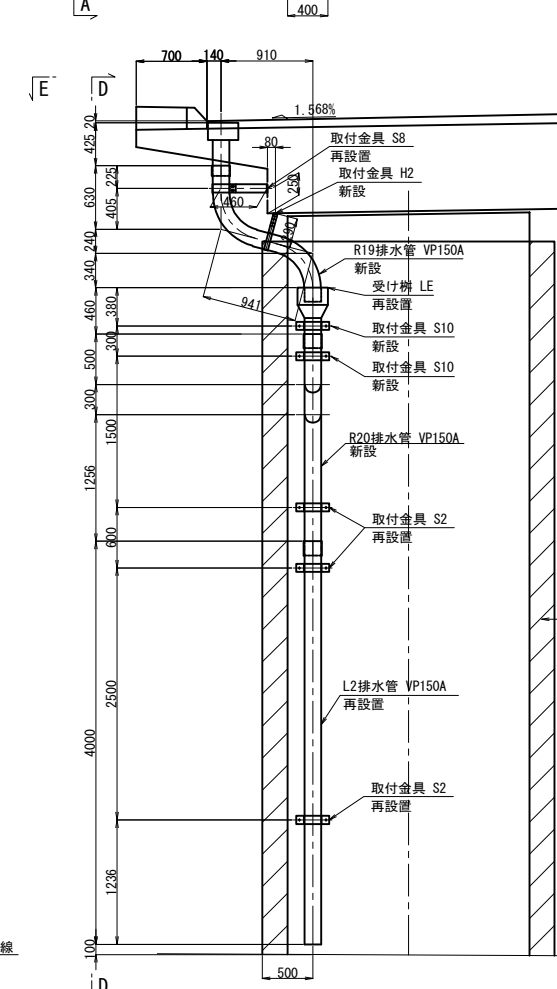
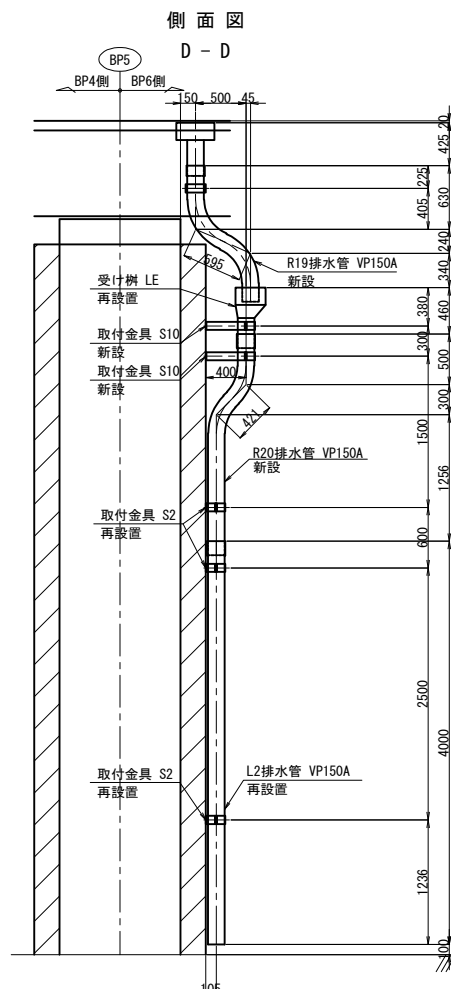
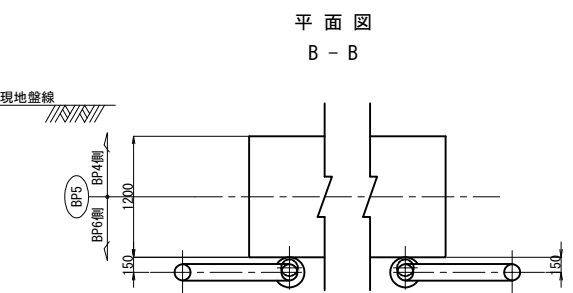
番号	規格	単位	数量	備考
L2	VP150A	個	2	スリーブ付
L13	VP150A	個	1	スリーブ付
L14	VP150A	個	1	スリーブ付
R13	VP150A	個	2	スリーブ付
R17	VP150A	個	1	スリーブ付
R18	VP150A	個	1	スリーブ付
取付金具S2	S (150A)	個	8	
取付金具S8	S (150A)	個	2	
取付金具S9	S (150A)	個	2	
受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2	

排水管既設撤去・再設置材料

番号	規格	単位	数量	備考
L2	VP150A	個	2	スリーブ付
取付金具S2	S (150A)	個	6	
取付金具S8	S (150A)	個	2	
受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2	

排水管新設材料

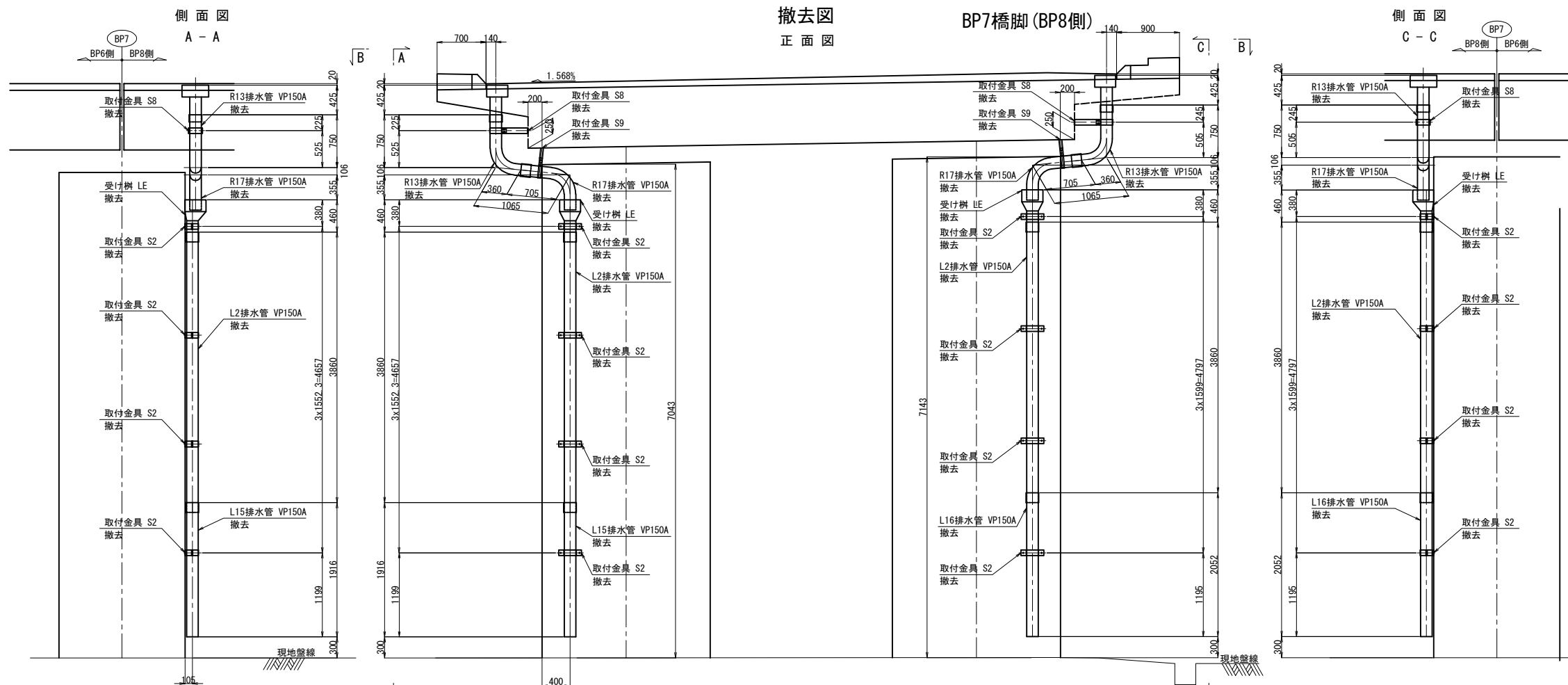
番号	規格	単位	数量	備考
R15	VP150A	個	1	スリーブ付
R19	VP150A	個	1	スリーブ付
R20	VP150A	個	1	スリーブ付
R21	VP150A	個	1	スリーブ付
取付金具S10	S (150A)	個	4	
取付金具H2	S (150A)	個	2	



- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上とし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A 詳細図(その4) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

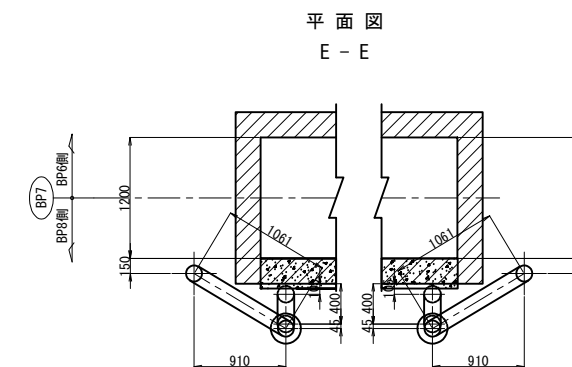
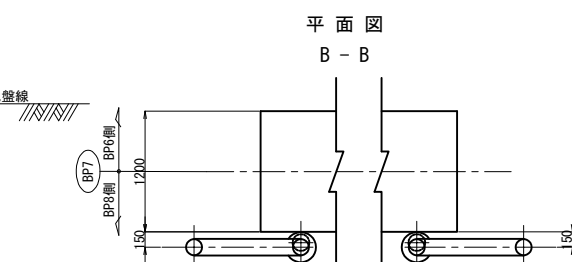
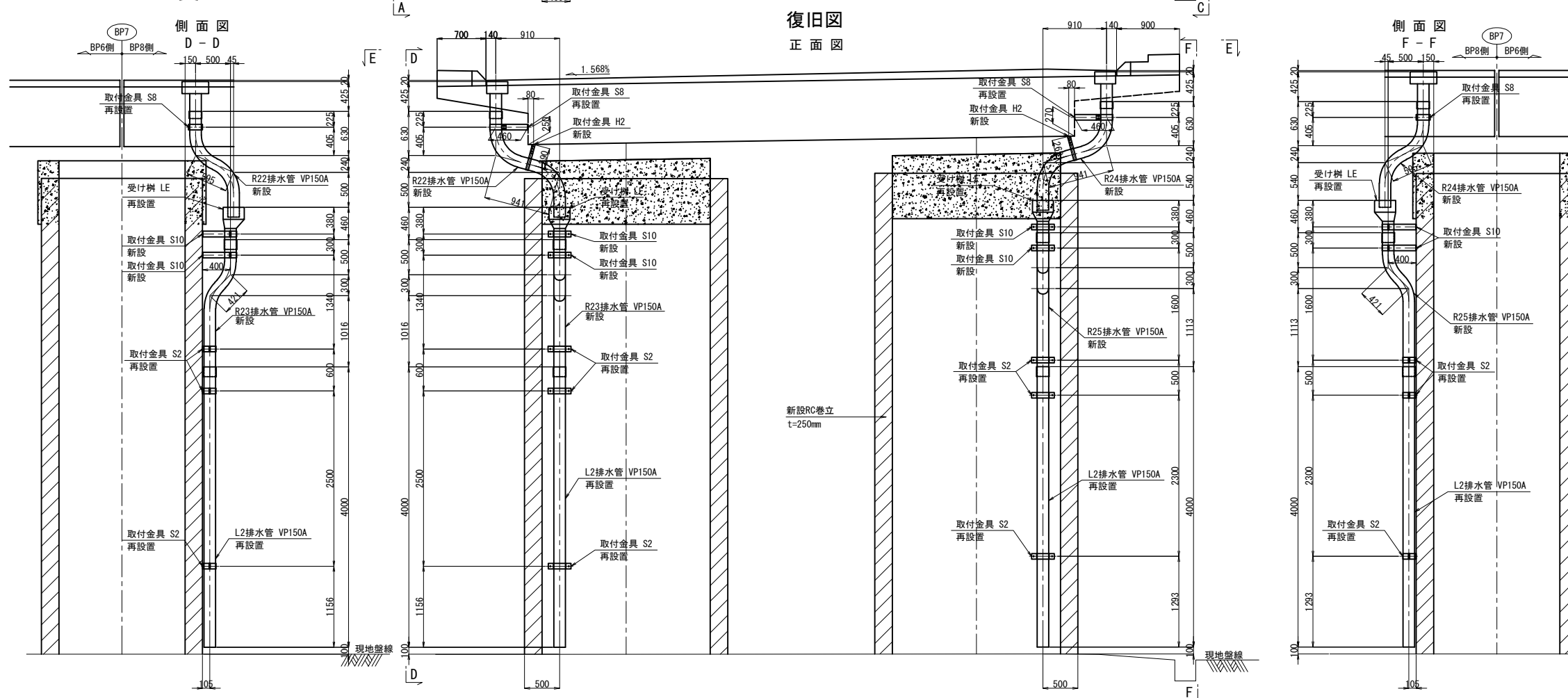
犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その5) (参考図) S=1:75



	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	L2	VP150A	個	2	スリーブ付
	L15	VP150A	個	1	スリーブ付
	L16	VP150A	個	1	スリーブ付
	R13	VP150A	個	2	スリーブ付
	R17	VP150A	個	2	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	8	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	
	取付金具S9	S (150A)	個	2	
受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2		

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	L2	VP150A	個	2	スリーブ付
	取付金具S2	S(150A)	個	6	
	取付金具S8	S(150A)	個	2	
	受け桟 LF	LF(300A-150A用)	個	2	

排水管新設材料					
	番号	規格	単位	数量	備考
新設	R22	VP150A	個	1	スリーブ付
	R23	VP150A	個	1	スリーブ付
	R24	VP150A	個	1	スリーブ付
	R25	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S10	S (150A)	個	4	
	取付金具H2	S (150A)	個	2	

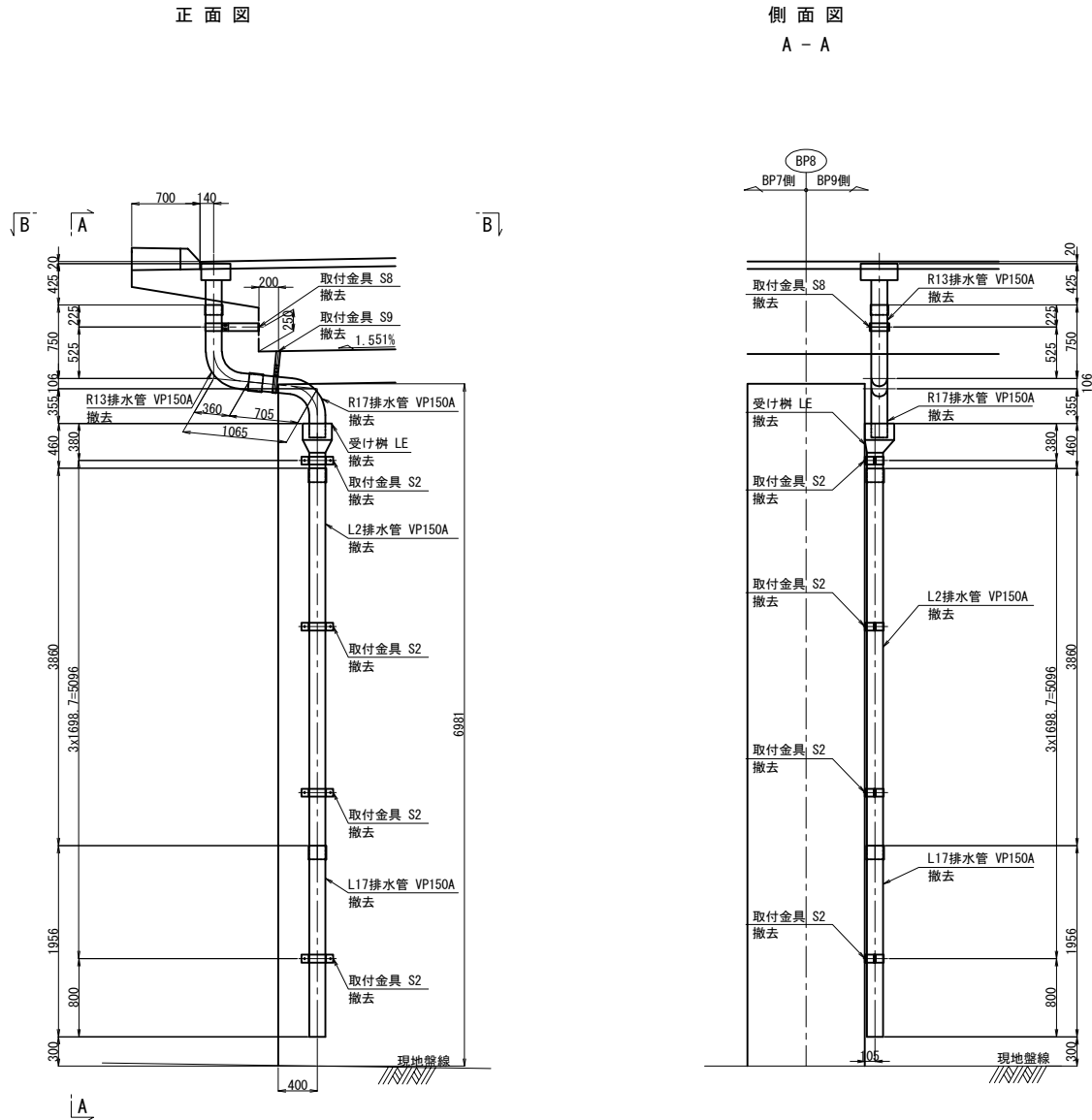


- 注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. 鋼材は溶融垂熔めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

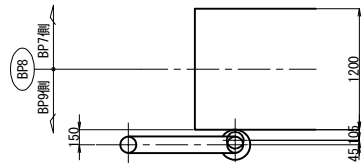
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事		
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管 詳細図 (その5) (参考図)	
縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所	

BP8橋脚 (BP9側)

撤去図



平面図 B-B



排水管撤去材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L17	VP150A	個	1	スリーブ付
	R13	VP150A	個	1	スリーブ付
	R17	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	取付金具S9	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

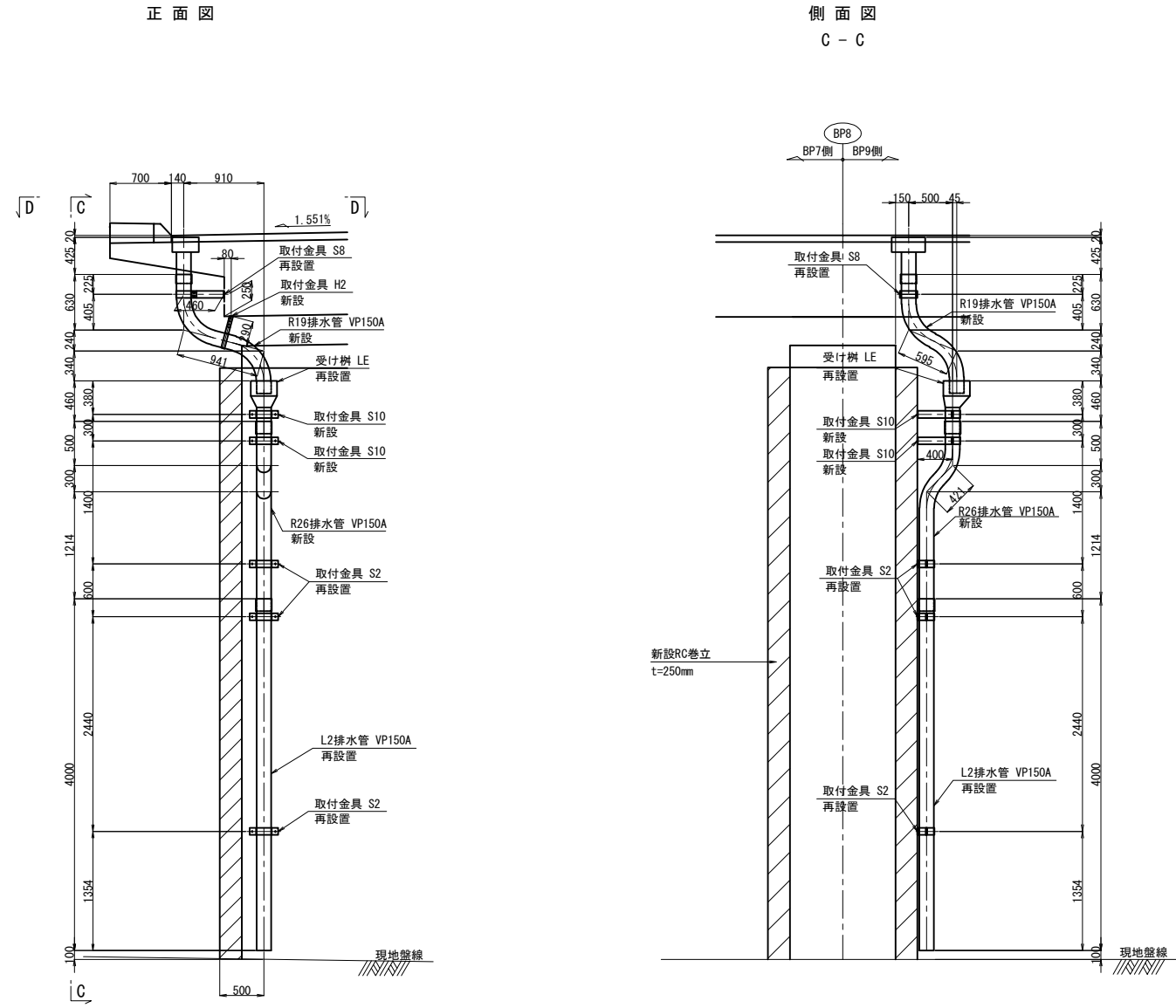
排水管既設撤去・再設置材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	3	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

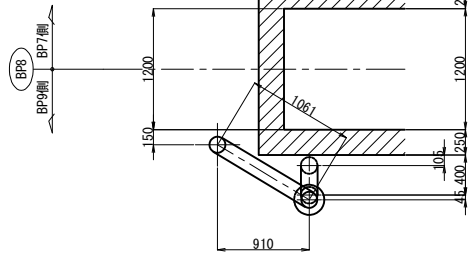
排水管新設材料

	番号	規格	単位	数量	備考
新設	R19	VP150A	個	1	スリーブ付
	R26	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S10	S (150A)	個	2	
	取付金具H2	S (150A)	個	1	

撤去図



平面図 D-D



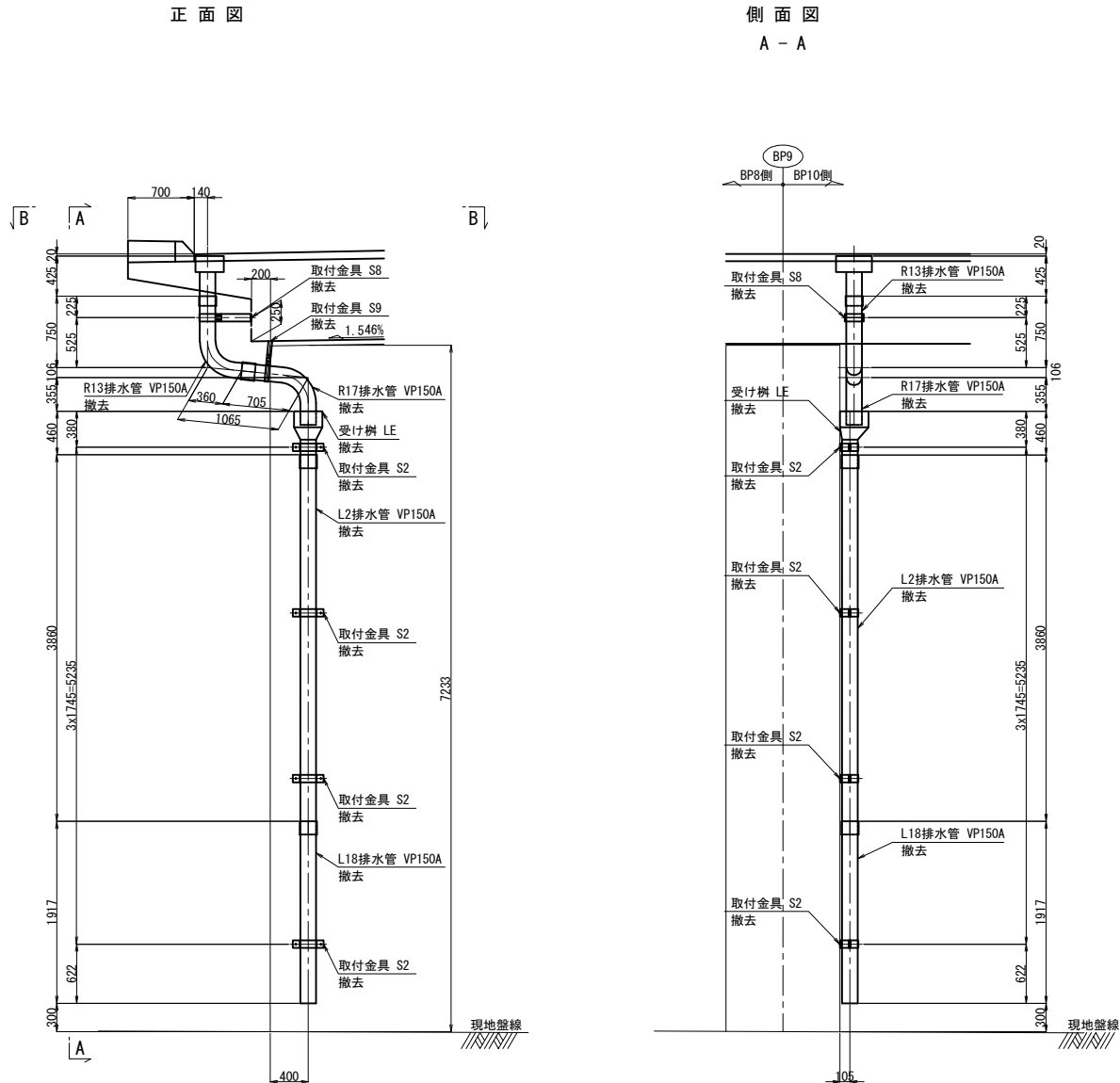
- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上とし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その6) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

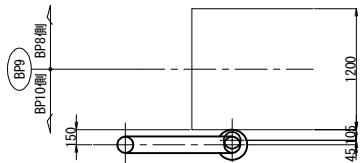
犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その7) (参考図) S=1:75

BP9橋脚 (BP10側)

撤去図



平面図 B-B



排水管撤去材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L18	VP150A	個	1	スリーブ付
	R13	VP150A	個	1	スリーブ付
	R17	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	取付金具S9	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

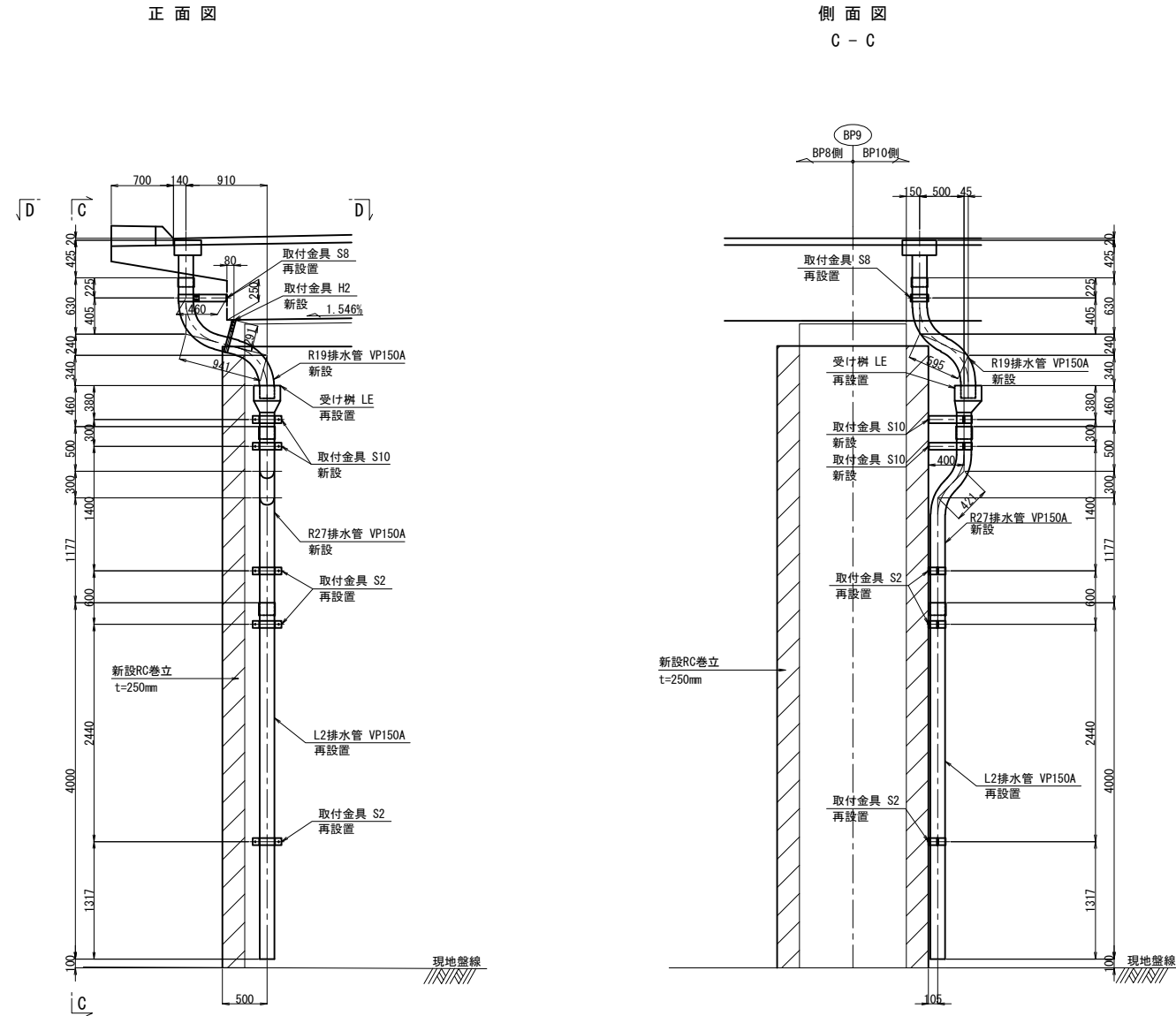
排水管既設撤去・再設置材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	3	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

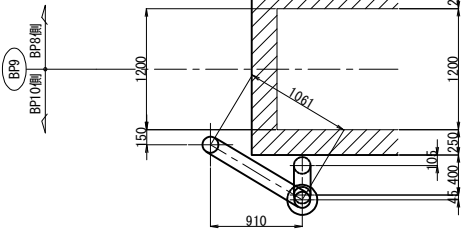
排水管新設材料

	番号	規格	単位	数量	備考
新設	R19	VP150A	個	1	スリーブ付
	R27	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S10	S (150A)	個	2	
	取付金具H2	S (150A)	個	1	

復旧図



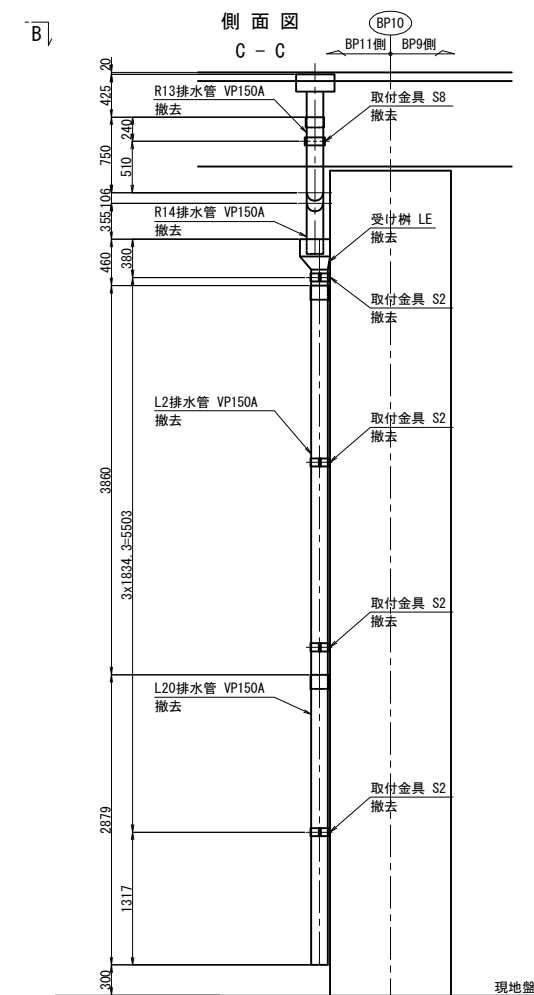
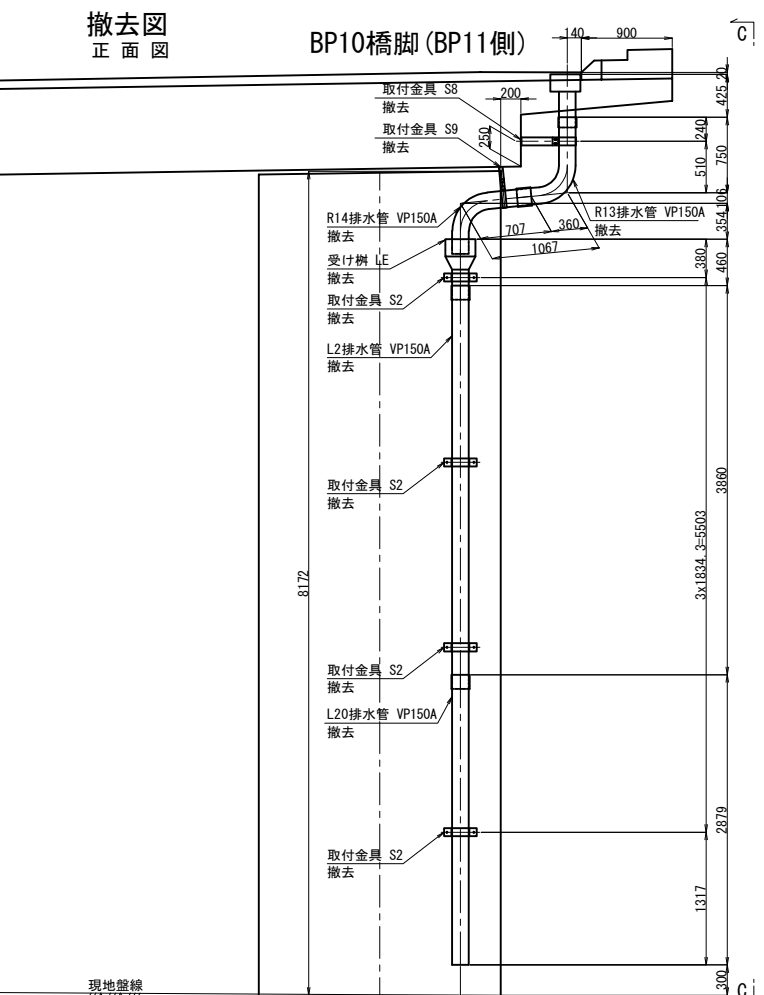
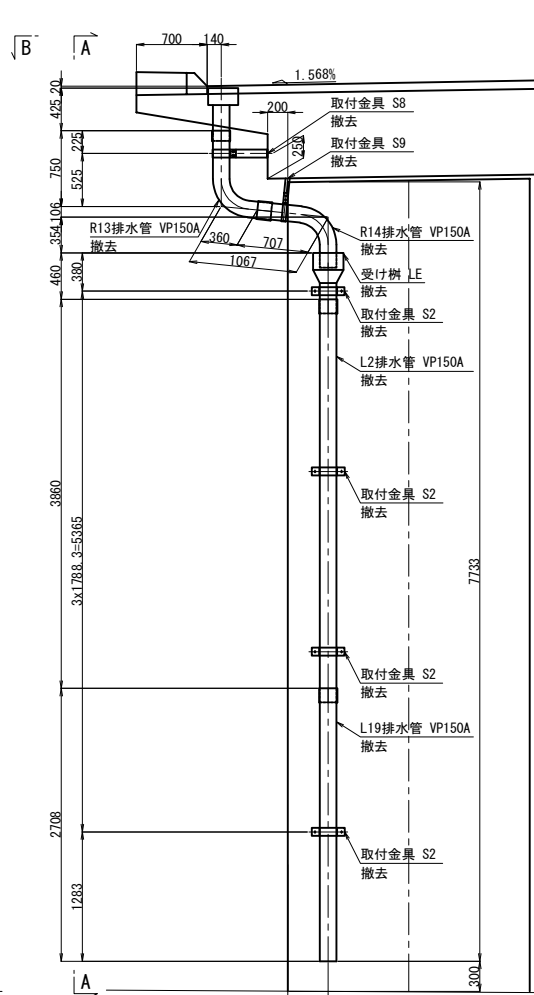
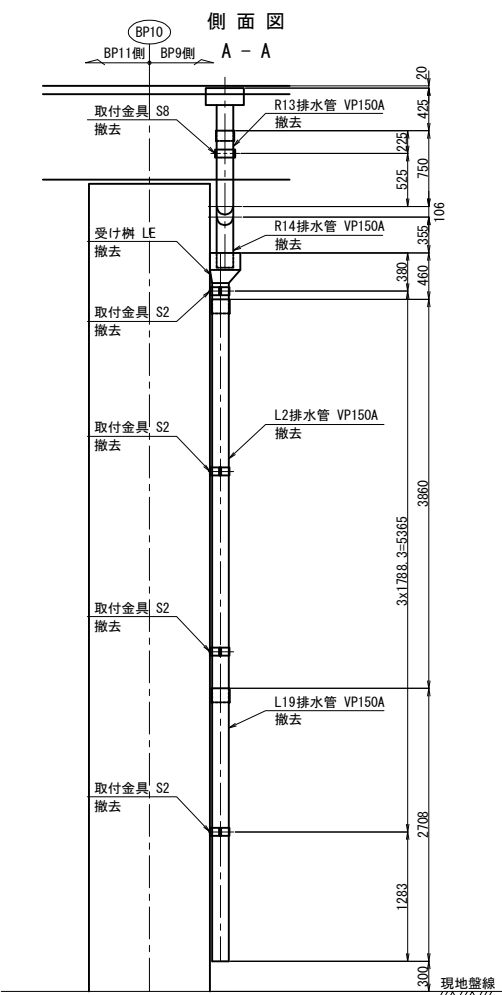
平面図 D-D



- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その7) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その8) (参考図)_{S=1:75}



排水管撤去材料

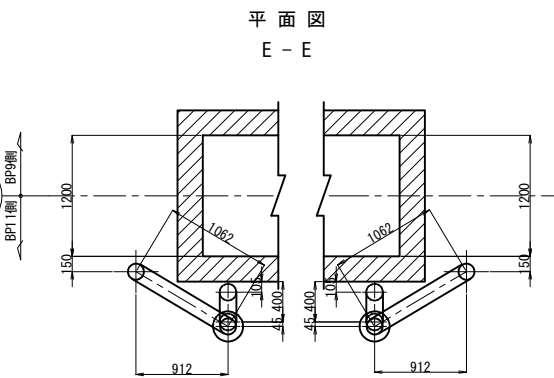
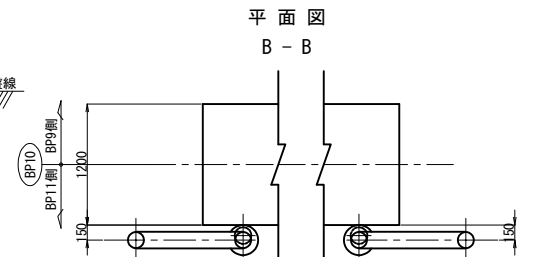
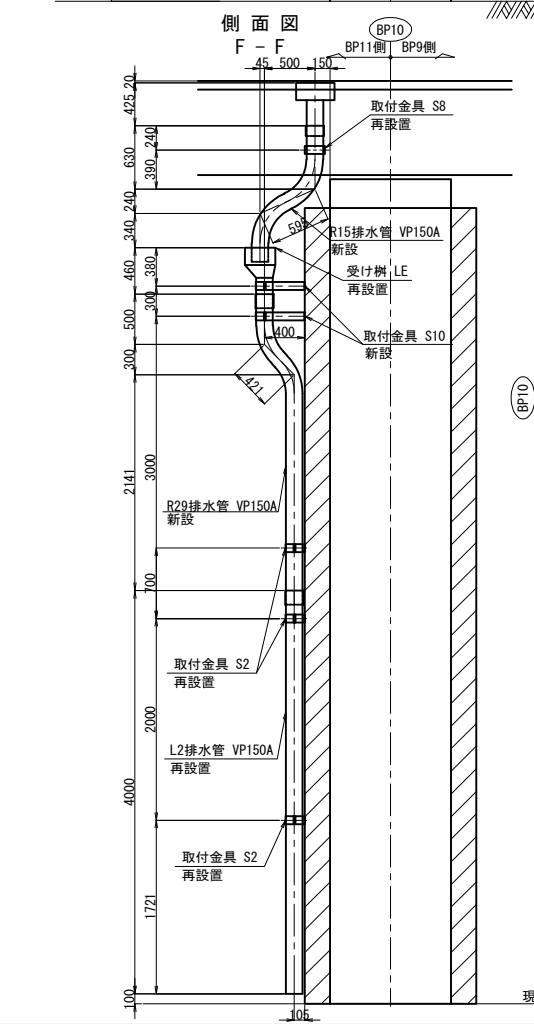
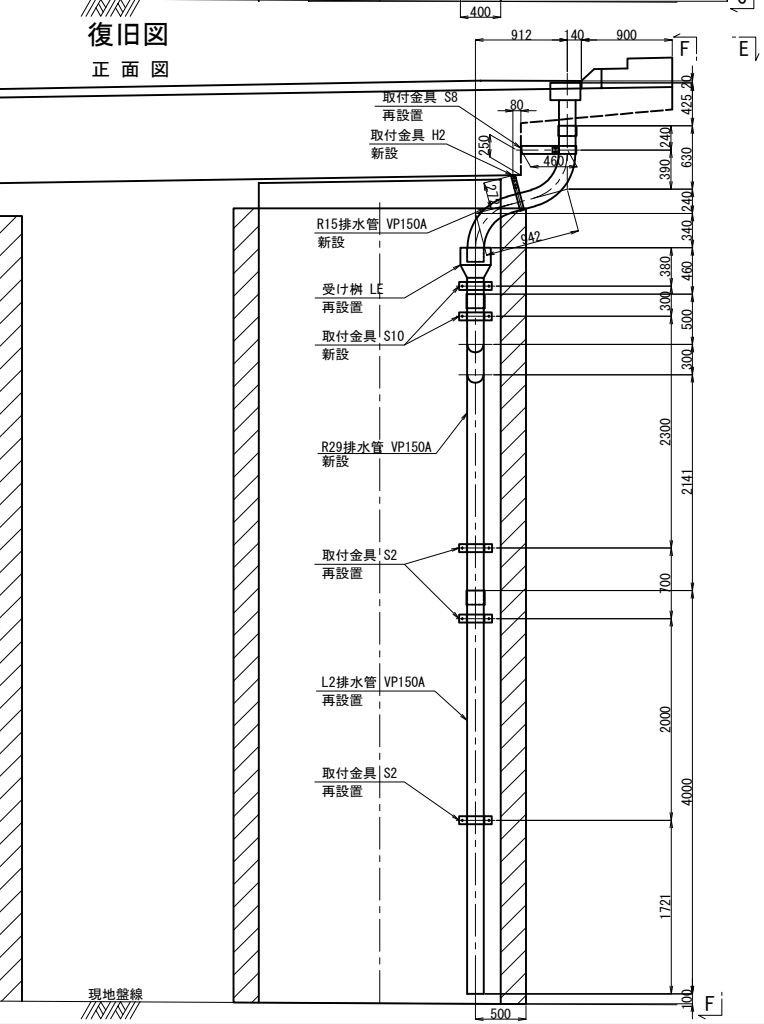
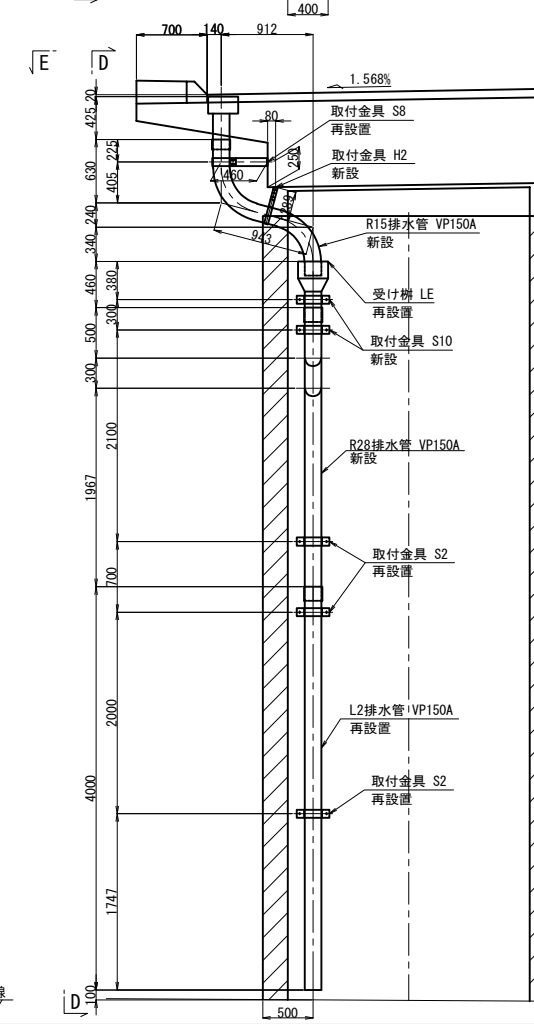
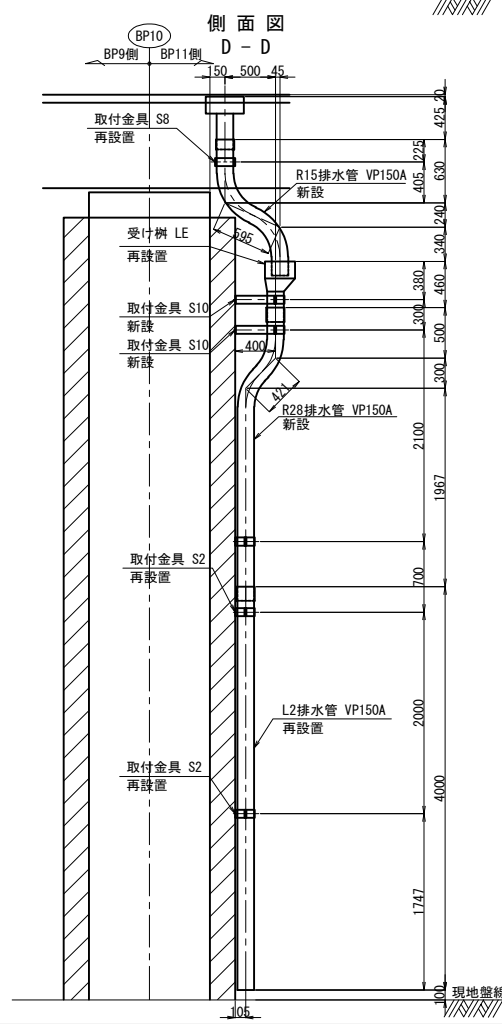
	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	L2	VP150A	個	2	スリーブ付
	L19	VP150A	個	1	スリーブ付
	L20	VP150A	個	1	スリーブ付
	R13	VP150A	個	2	スリーブ付
	R14	VP150A	個	2	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	8	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	
	取付金具S9	S (150A)	個	2	
受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2		

排水管既設撤去・再設置材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	L2	VP150A	個	2	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	6	
	取付金具S8	S (150A)	個	2	
	取付金具S9	S (150A)	個	2	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	2	

排水管新設材料

	番号	規格	単位	数量	備考
新設	R15	VP150A	個	2	スリーブ付
	R28	VP150A	個	1	スリーブ付
	R29	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S10	S (150A)	個	4	
	取付金具H2	S (150A)	個	2	

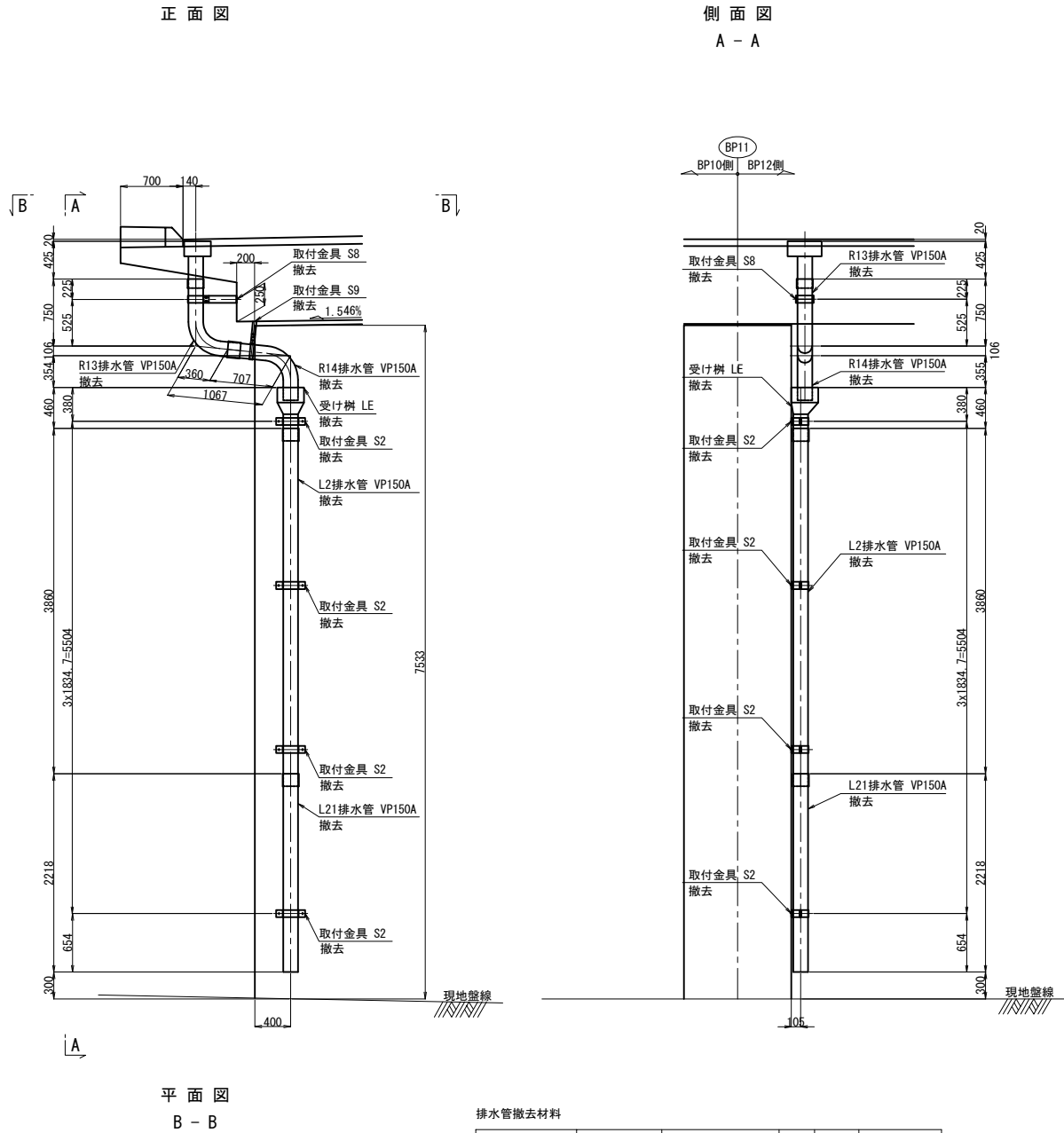


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その8) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

BP11橋脚 (BP12側)

撤去図

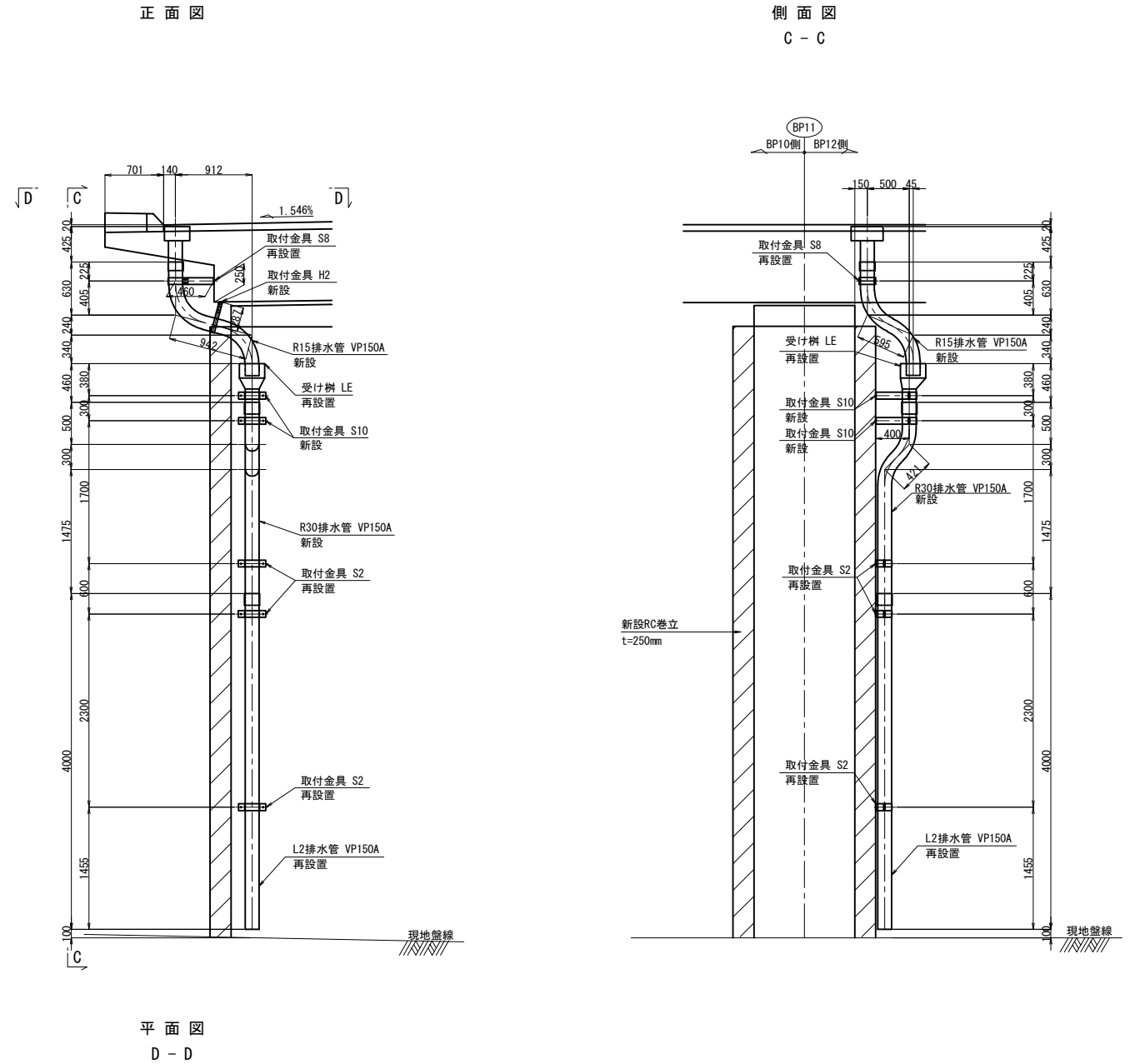


排水管撤去材料					
撤去	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	L21	VP150A	個	1	スリーブ付
	R13	VP150A	個	1	スリーブ付
	R14	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	4	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	取付金具S9	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管既設撤去・再設置材料					
撤去・再設置	番号	規格	単位	数量	備考
	L2	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	3	
	取付金具S8	S (150A)	個	1	
	受け樹 LE	LE (300A-150A用)	個	1	

排水管新設材料					
新設	番号	規格	単位	数量	備考
	R15	VP150A	個	1	スリーブ付
	R30	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S10	S (150A)	個	2	
	取付金具H2	S (150A)	個	1	

復旧図



- 注記)
- 特記なき材質は、全てS3400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上とし、付着量は、JIS H 8641 HDZ177とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ149とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その9) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

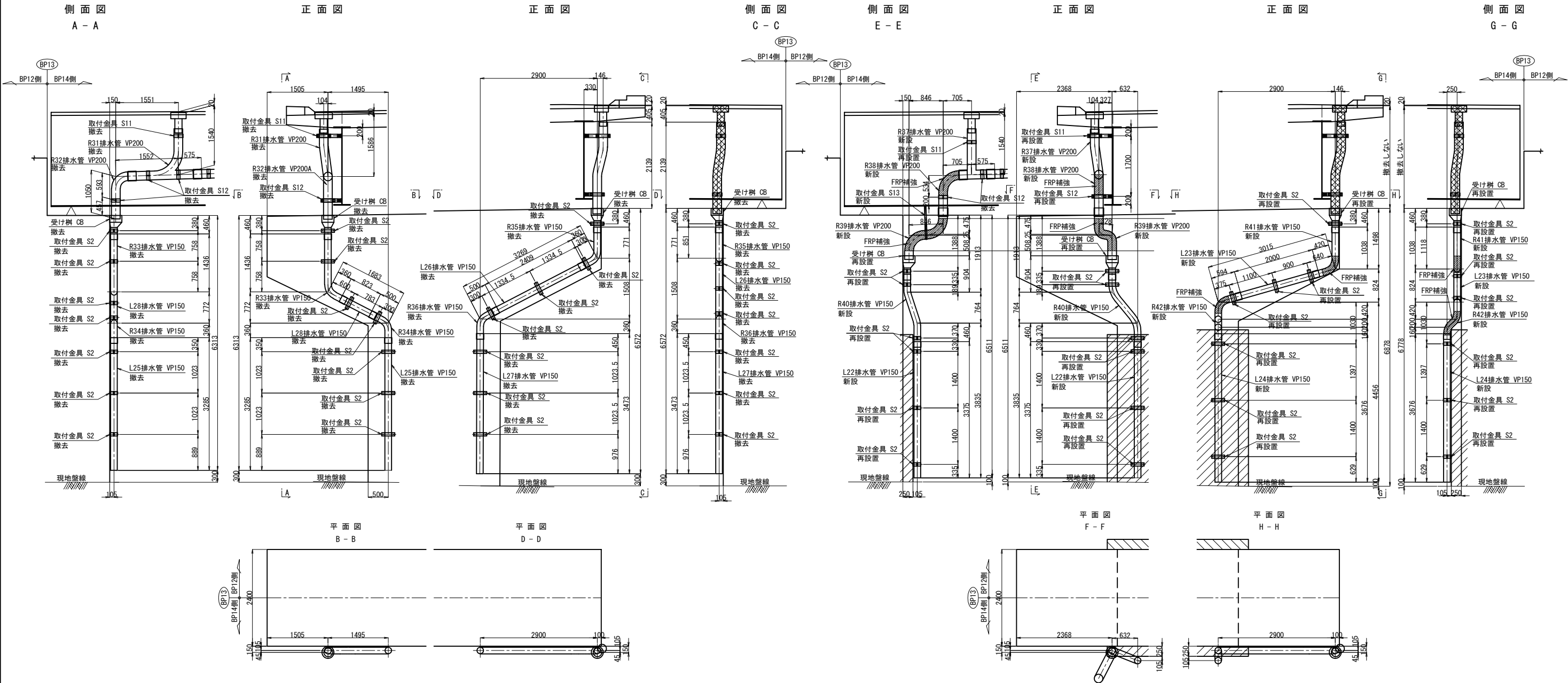
BP13橋脚 (BP14側)

L側 撤去図

R側 撤去図

L側 復旧図

R側 復旧図



排水管撤去材料					
番号	規格	単位	数量	備考	
撤去	L25	VP150A	個	1	スリーブ付
	L26	VP150A	個	1	スリーブ付
	L27	VP150A	個	1	スリーブ付
	L28	VP150A	個	1	スリーブ付
	R31	VP200A	個	1	スリーブ付
	R32	VP200A	個	1	スリーブ付
	R33	VP150A	個	1	スリーブ付
	R34	VP200A	個	1	スリーブ付
	R35	VP150A	個	1	スリーブ付
	R36	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S2	S (150A)	個	14	
	取付金具S11	S (200A)	個	1	
	取付金具S12	S (200A)	個	3	
	受け桟 CB	CB (300A-150A用)	個	2	

排水管既設撤去・再設置材料					
番号	規格	単位	数量	備考	
撤去・再設置	取付金具S2	S (150A)	個	12	
	取付金具S11	S (200A)	個	1	
	取付金具S12	S (200A)	個	2	
	受け桟 LE	CB (300A-150A用)	個	2	

排水管新設材料					
番号	規格	単位	数量	備考	
新設	L22	VP150A	個	1	スリーブ付
	L23	VP150A	個	1	スリーブ付
	L24	VP150A	個	1	スリーブ付
	R37	VP200A	個	1	スリーブ付
	R38	VP200A	個	1	スリーブ付
	R39	VP200A	個	1	スリーブ付
	R40	VP150A	個	1	スリーブ付
	R41	VP150A	個	1	スリーブ付「FRP補強」
	R42	VP150A	個	1	スリーブ付
	取付金具S13	S (200A)	個	1	

- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

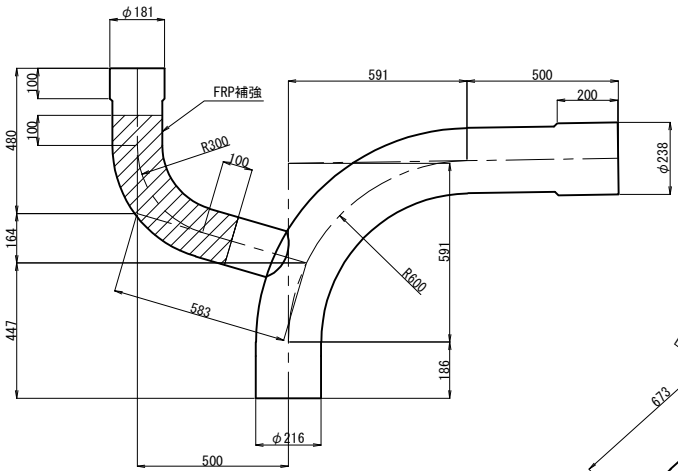
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その10) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設排水管詳細

Y1排水管

製作数: 1

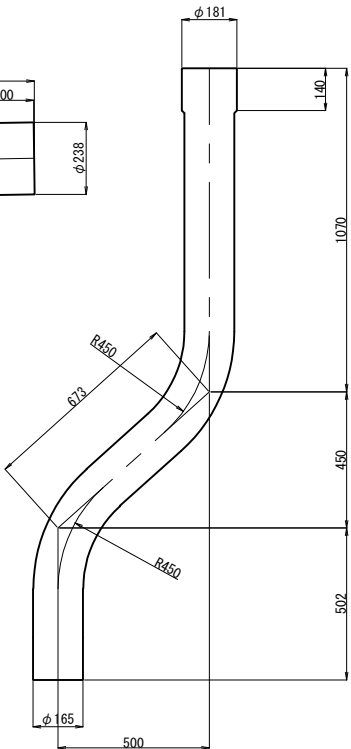
BA1



R2排水管

製作数: 1

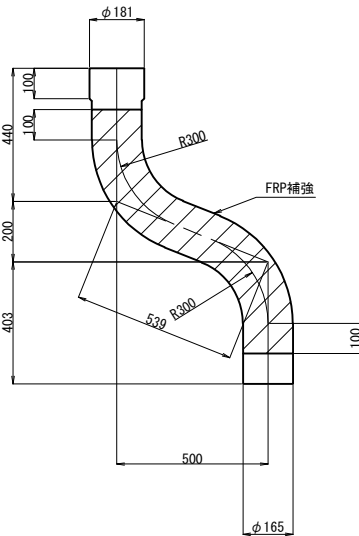
BA1



R3排水管

製作数: 1

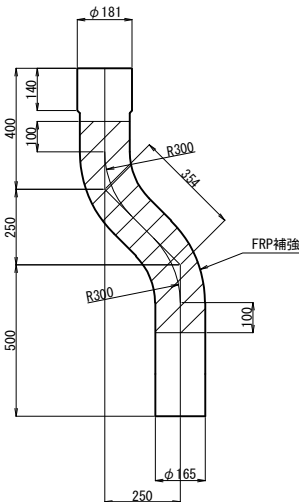
BA1



R11排水管

製作数: 1

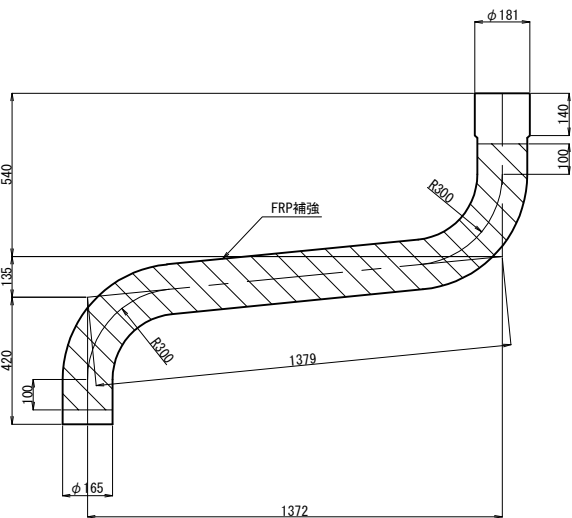
BP2



R12排水管

製作数: 1

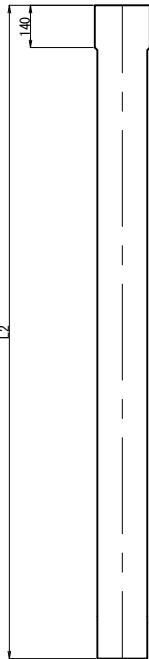
BP2



新設直管詳細

製作数: n2

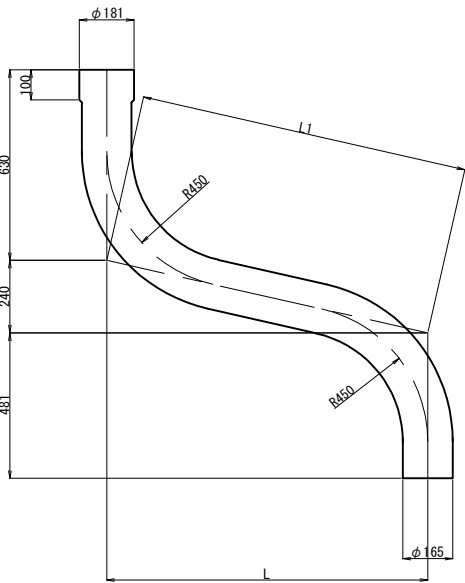
LN2



	LN2	L2	n2
BA1	L4	1881	1
BA1	L5	2017	1
BP2	L10	2112	1
BP2	L11	2137	1
BP13	L22	3375	1
BP13	L23	2140	1
BP13	L24	3676	1

RN排水管

製作数: n

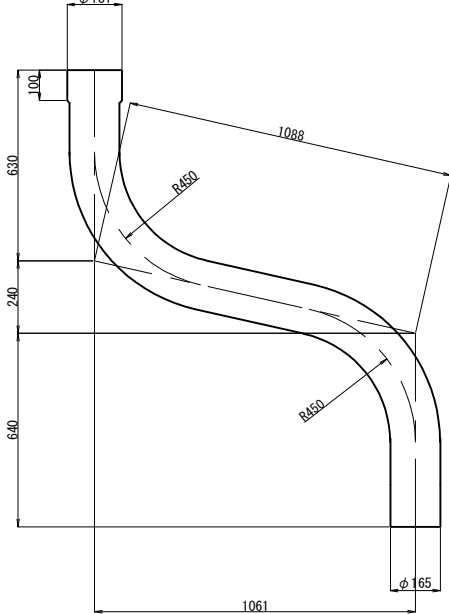


	RN	L	L1	n
BP4	R15	1062	1089	1
BP5	R15	1062	1089	1
BP5	R19	1061	1088	1
BP8	R19	1061	1088	1
BP9	R19	1061	1088	1
BP10	R15	1062	1089	2
BP11	R15	1062	1089	1

R22排水管

製作数: 1

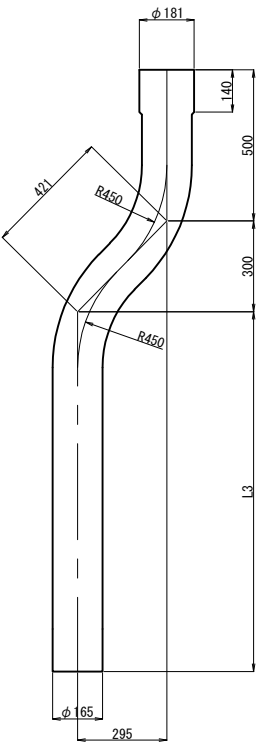
BP7



RN1排水管

製作数: n1

n1

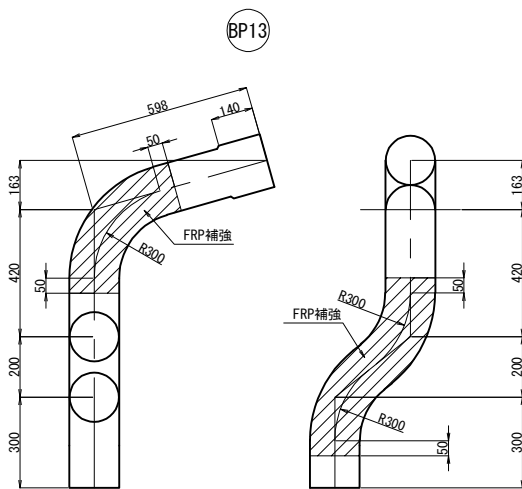


	RN1	L3	n1
BP4	R16	1190	1
BP5	R20	1395	1
BP5	R21	1569	1
BP7	R23	1156	1
BP7	R25	1253	1
BP8	R26	1354	1
BP9	R27	1317	1
BP10	R28	2107	1
BP10	R29	2281	1
BP11	R30	1615	1

R42排水管

製作数: 1

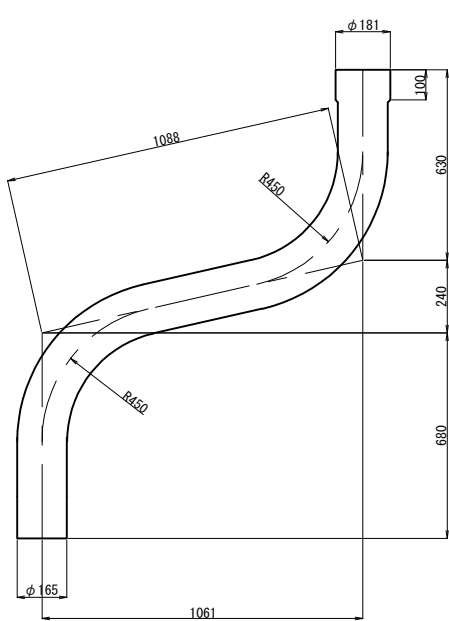
BP13



R24排水管

製作数: 1

BP7



- 注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は全てSS400とする。
 3. ※印以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の種類は JIS H8641 HDZT77 (膜厚77μm以上) とする。
(ステンレスボルト、ナットは除く)
但し、ボルト・ナット類及び板厚3.2mm未満の部材は、
JIS H8641 HDZT49 (膜厚49μm以上) とする。
 4. 屈曲部の最小曲げ半径は管径の3倍以上確保することとし、
曲げ半径を3倍以上確保できない場合は、FRP補強することとする。

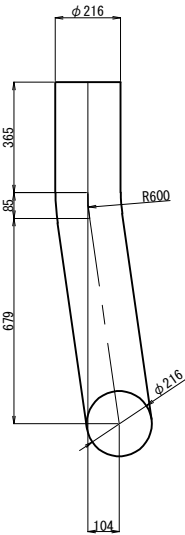
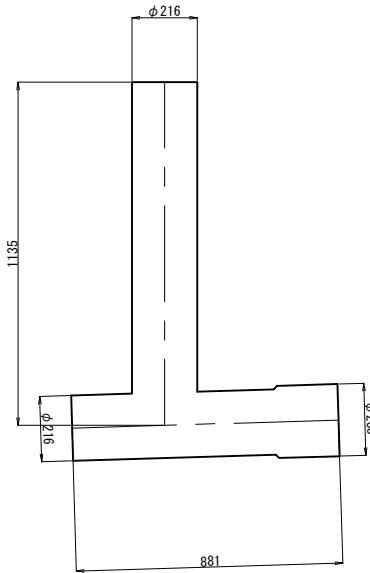
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その11) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

新設排水管詳細

R37排水管

製作数: 1

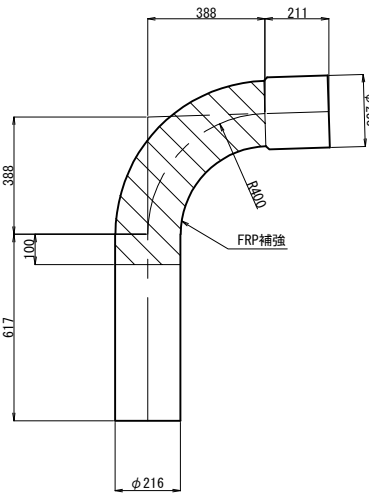
BP13



R38排水管

製作数: 1

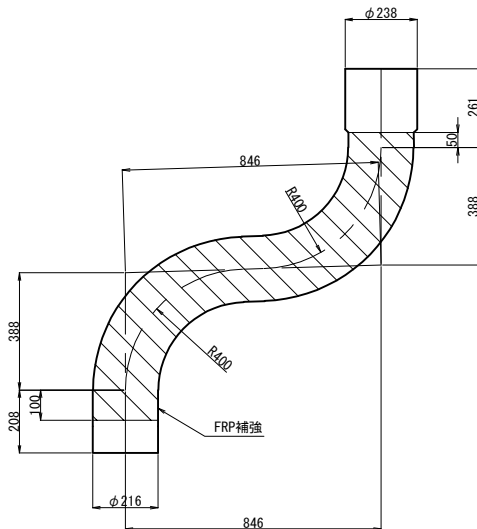
BP13



R39排水管

製作数: 1

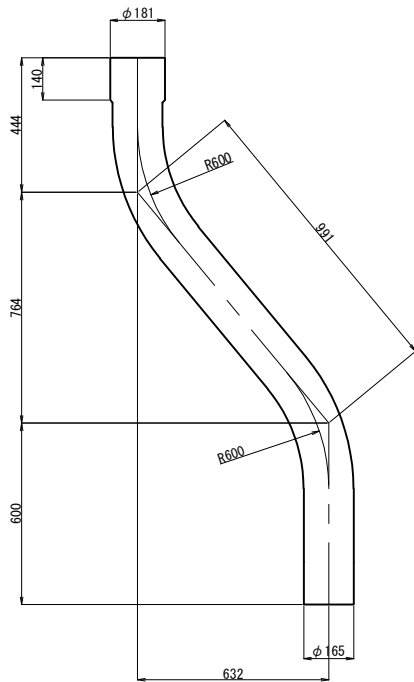
BP13



R40排水管

製作数: 1

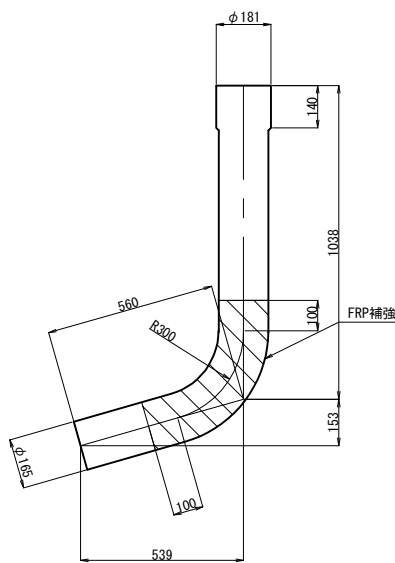
BP13



R41排水管

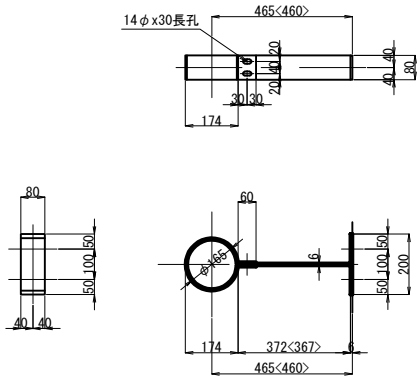
製作数: 1

BP13



支持金具詳細

取付金具 S3<S8>



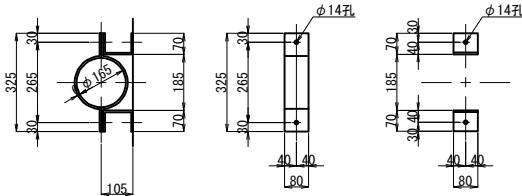
撤去材料(1組当り):計1<10>組
2-コンクリートアンカー M12

既設撤去、復旧材料(1組当り):計1<10>組
1-PL 80x6x200
1-PL 80x6x372<367>
1-PL 80x4.5x647
2-BN M12x40

新設材料(1組当り):計1<10>組
2-打ち込み式アンカー M12

新設材料(1組当り):計1組
2-PL 80x6x372
2-PL 80x6x647
2-BN M12x40
2-打ち込み式アンカー M12

取付金具 S2<S4>



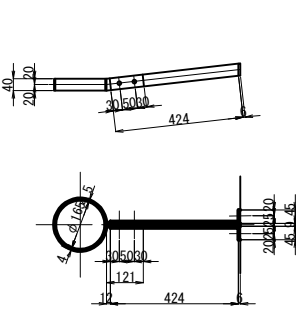
撤去材料(1組当り):計71<2>組
2-コンクリートアンカー M12

既設撤去、復旧材料(1組当り):計59<2>組
2-PL 80x6x241<286>
2-PL 80x6x415
2-BN M12x40

新設材料(1組当り):計59<2>組
2-打ち込み式アンカー M12

新設材料(1組当り):計10組
2-PL 80x6x241
2-PL 80x6x415
2-BN M12x40
2-打ち込み式アンカー M12

取付金具 S5

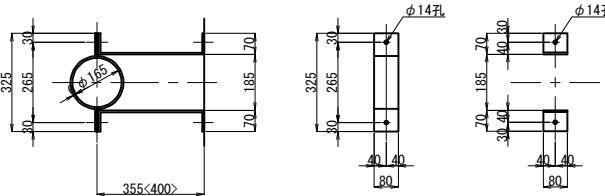


撤去材料(1組当り):計2組
2-コンクリートアンカー M12

既設撤去、復旧材料(1組当り):計2組
1-PL 40x4.5x687
2-PL 40x6x464
2-BN M12x40

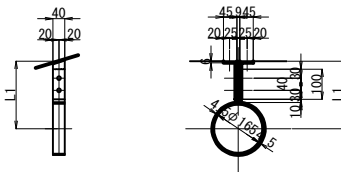
新設材料(1組当り):計2組
2-打ち込み式アンカー M12

取付金具 S7<S10>



新設材料(1組当り):計5<20>組
2-PL 80x6x489<534>
2-PL 80x6x415
2-BN M12x40
2-打ち込み式アンカー M12

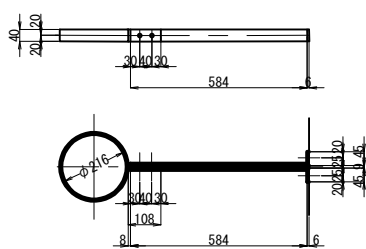
取付金具 H2



新設材料(1組当り):計n組
1-PL 40x4.5x687
2-PL 40x6xLL1
2-BN M12x40
2-打ち込み式アンカー M12

	L1	LL1	n
BP4	290	224	1
BP5	269	203	2
BP7	269	203	2
BP8	290	224	1
BP9	291	225	1
BP10	289	223	1
BP10	272	206	1
BP11	287	221	1

取付金具 S13



新設材料(1組当り):計1組
※2-PL 40x6x623
1-PL 40x4.5x895
2-BN M12x40
2-打ち込み式アンカー M12

注記)

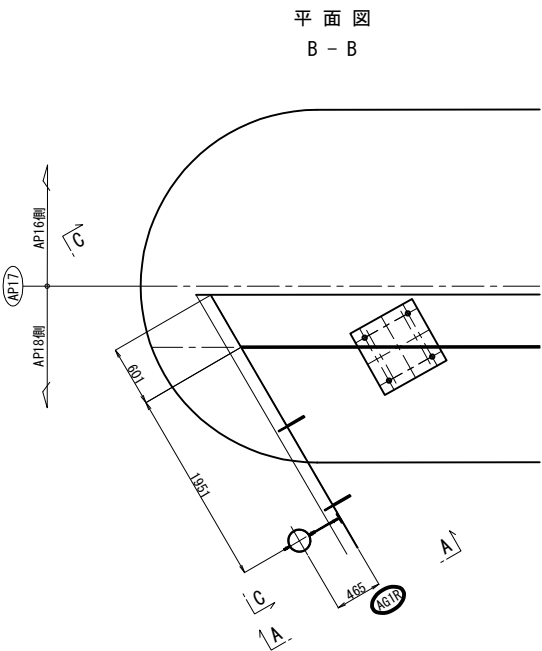
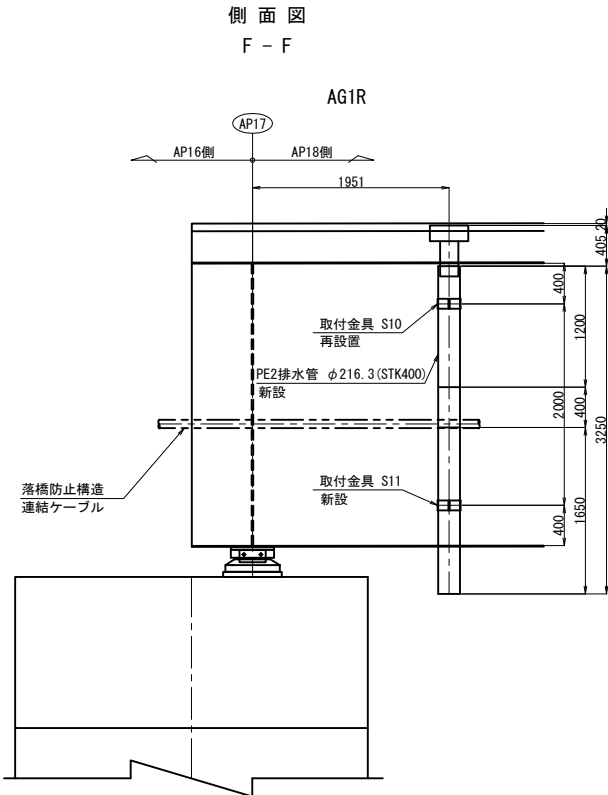
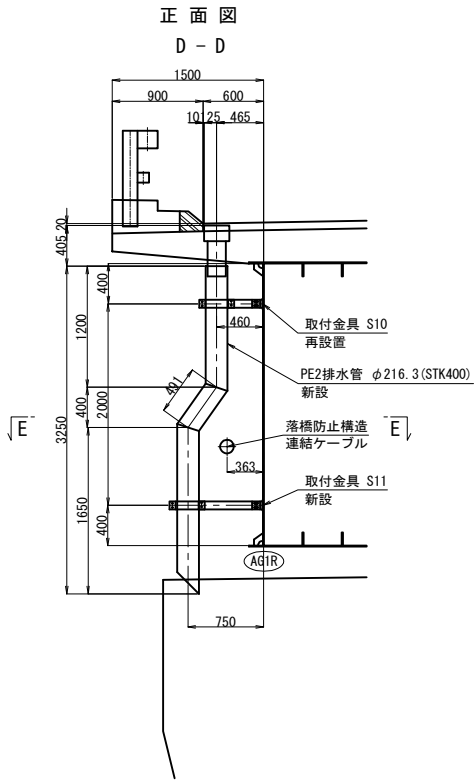
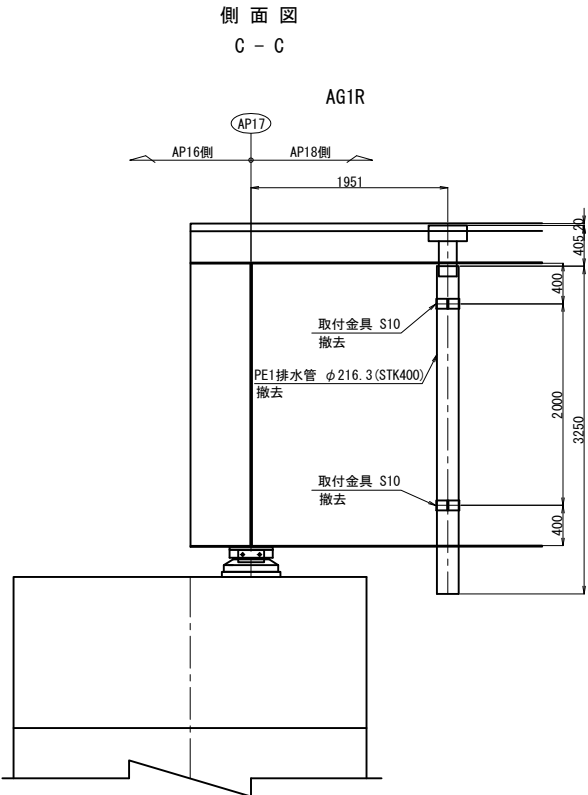
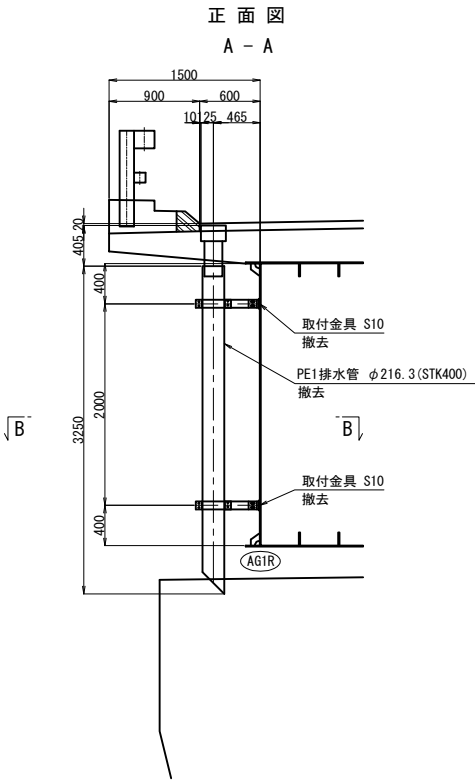
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。
3. ※印以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の種類は JIS H8641 HDZT77 (膜厚77μm以上) とする。
(ステンレスボルト、ナットは除く)
但し、ボルト・ナット類及び板厚3.2mm未満の部材は、
JIS H8641 HDZT49 (膜厚49μm以上) とする。
4. 新設部材取付け金具のボルト・ナットはゆるみ止め構造を使用する。
曲げ半径を3倍以上確保できない場合は、FRP補強することとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋下り線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その12) (参考図)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

AP17橋脚 (AP18側)

撤去図

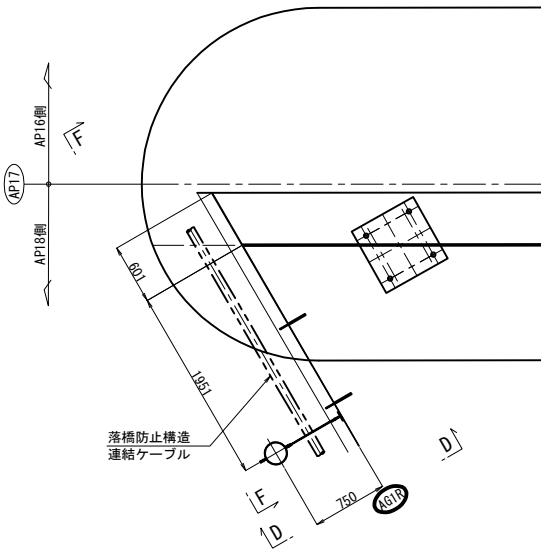
復旧図



排水管撤去材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	PE1	φ216.3 (STK400)	個	1	
	取付金具S10	S (200A)	個	2	

平面図
E - E



排水管既設撤去・再設置材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	取付金具S10	S (200A)	個	1	

排水管新設材料

	番号	規格	単位	数量	備考
新設	PE2	φ216.3 (STK400)	個	1	
	取付金具S11	S (200A)	個	1	

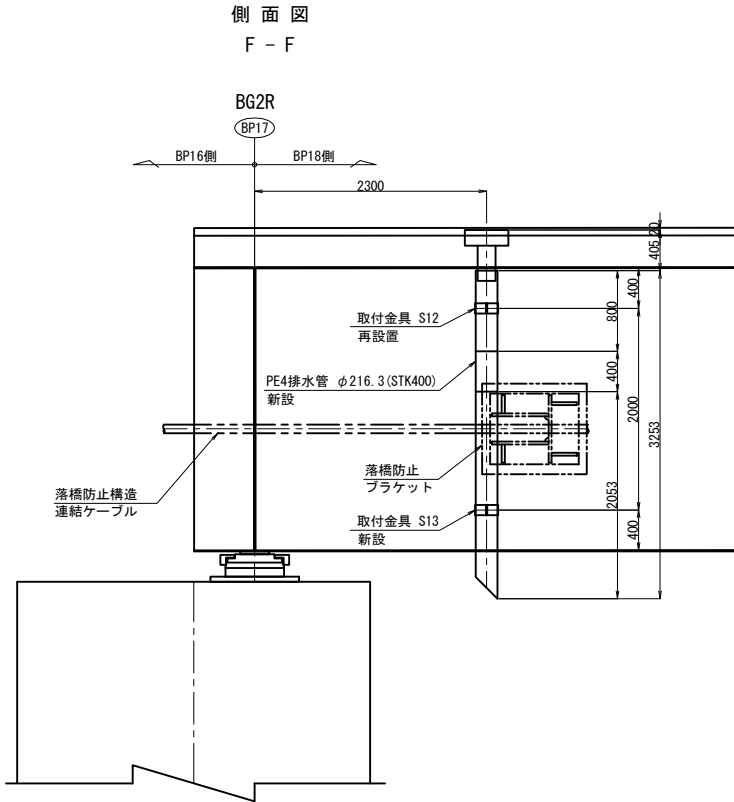
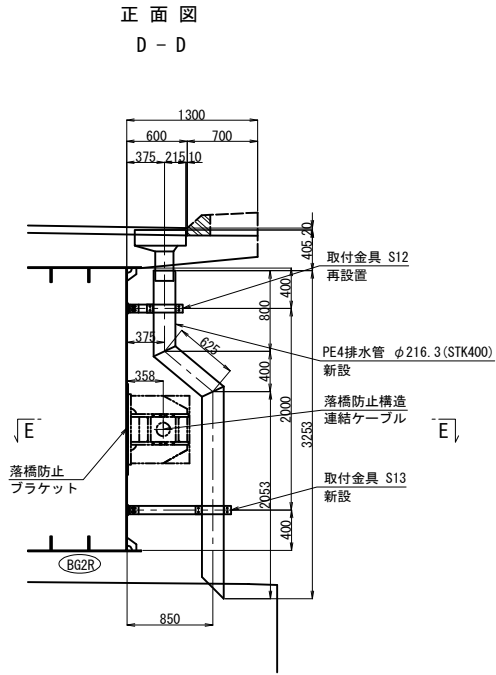
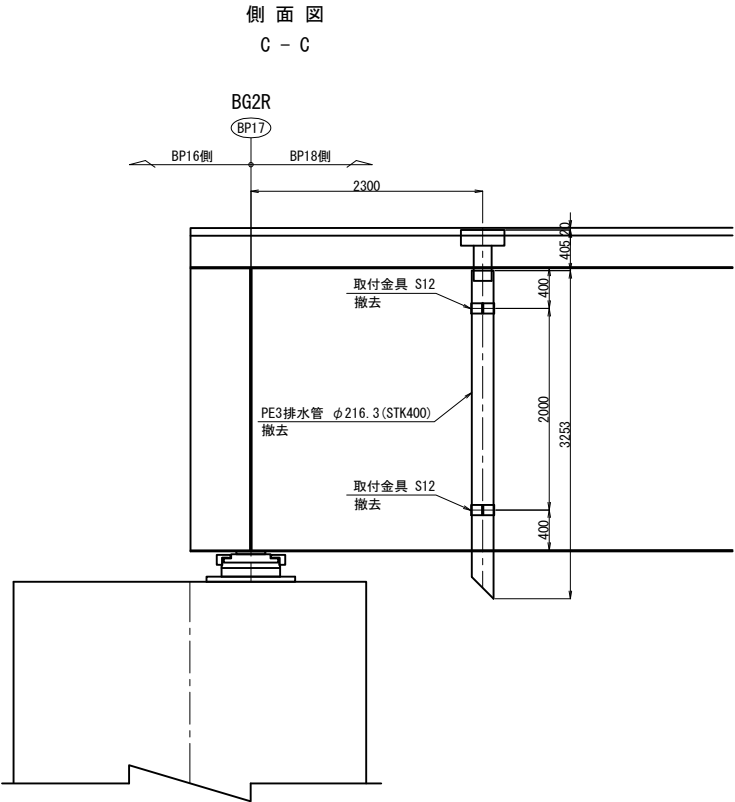
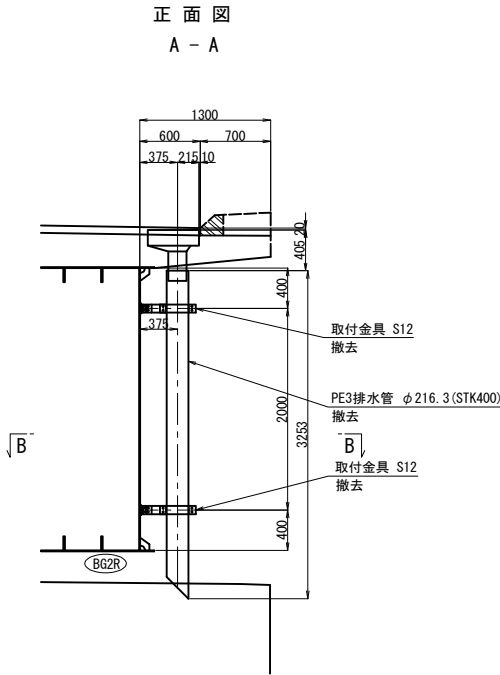
注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上下線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

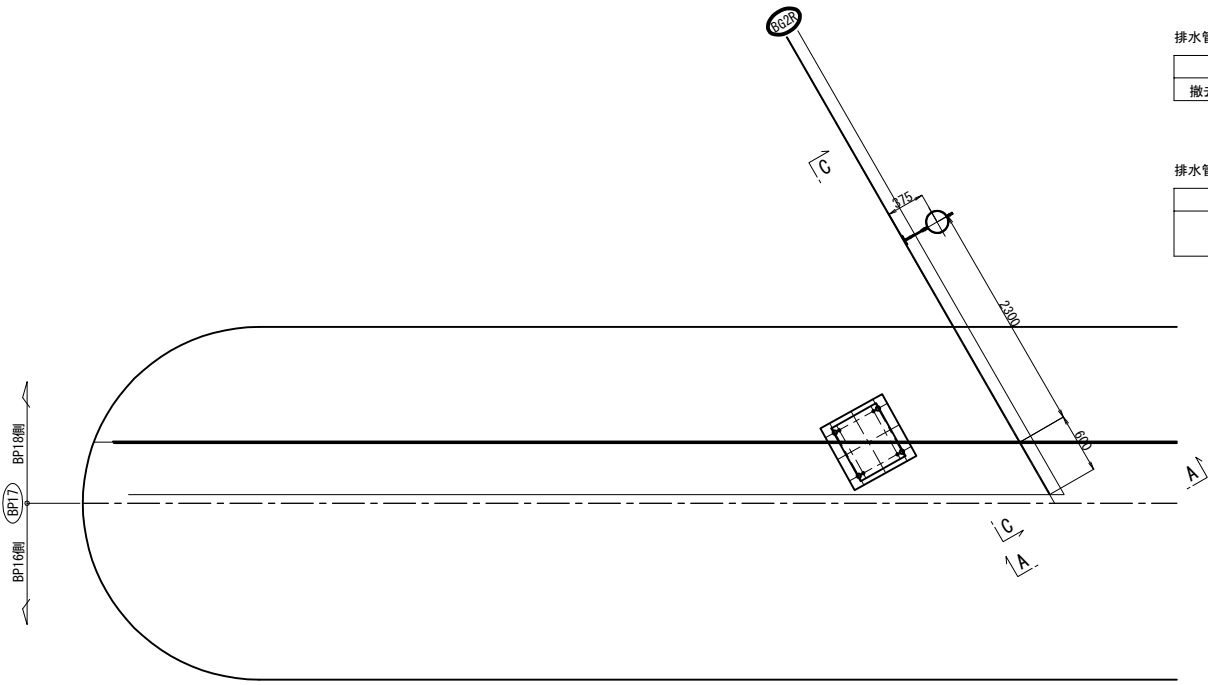
BP17橋脚 (BP18側)

撤去図

復旧図



平面図
B - B



排水管撤去材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去	PE3	φ216.3 (STK400)	個	1	
	取付金具S12	S (200A)	個	2	

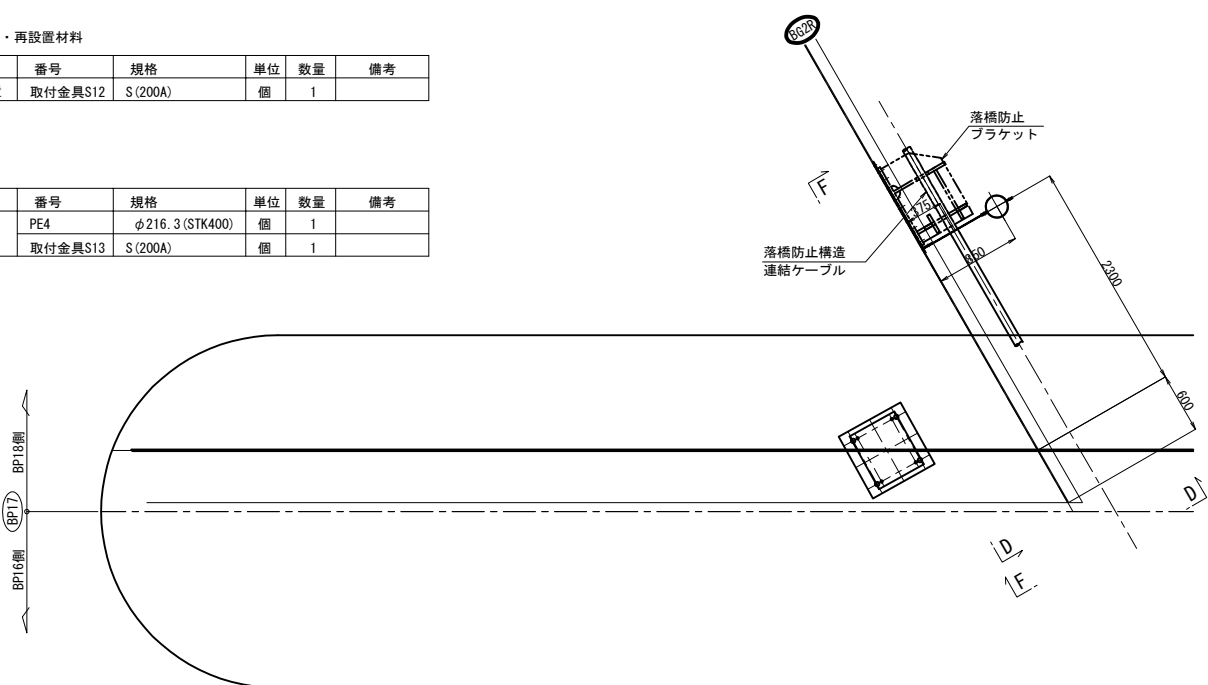
排水管既設撤去・再設置材料

	番号	規格	単位	数量	備考
撤去・再設置	取付金具S12	S (200A)	個	1	

排水管新設材料

	番号	規格	単位	数量	備考
新設	PE4	φ216.3 (STK400)	個	1	
	取付金具S13	S (200A)	個	1	

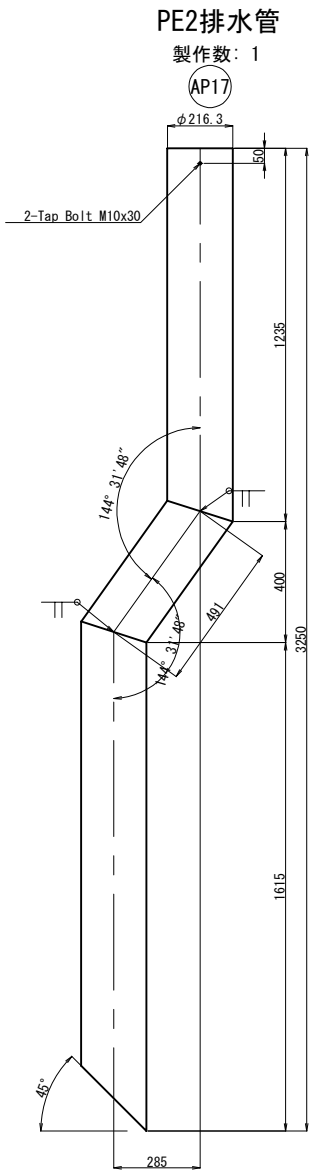
平面図
E - E



注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

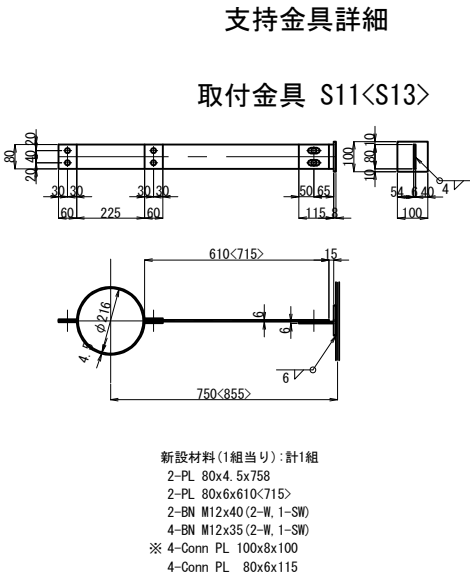
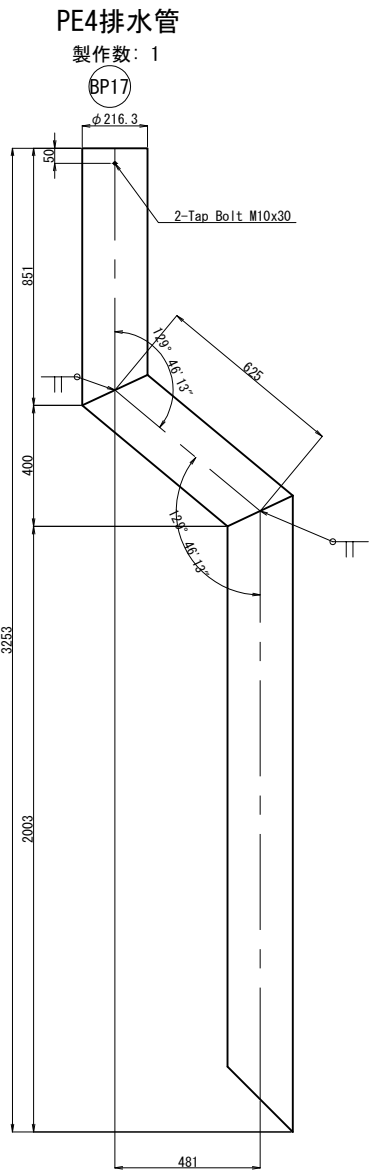
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上下線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設排水管詳細



PE2排水管(1組当り):計1組
1-Pipe φ216.3x5.8x1235(STK400)
1-Pipe φ216.3x5.8x560(STK400)
1-Pipe φ216.3x5.8x1685(STK400)
2-Tap Bolt M10x30

PE4排水管(1組当り):計1組
1-Pipe φ216.3x5.8x854(STK400)
1-Pipe φ216.3x5.8x625(STK400)
1-Pipe φ216.3x5.8x2104(STK400)
2-Tap Bolt M10x30

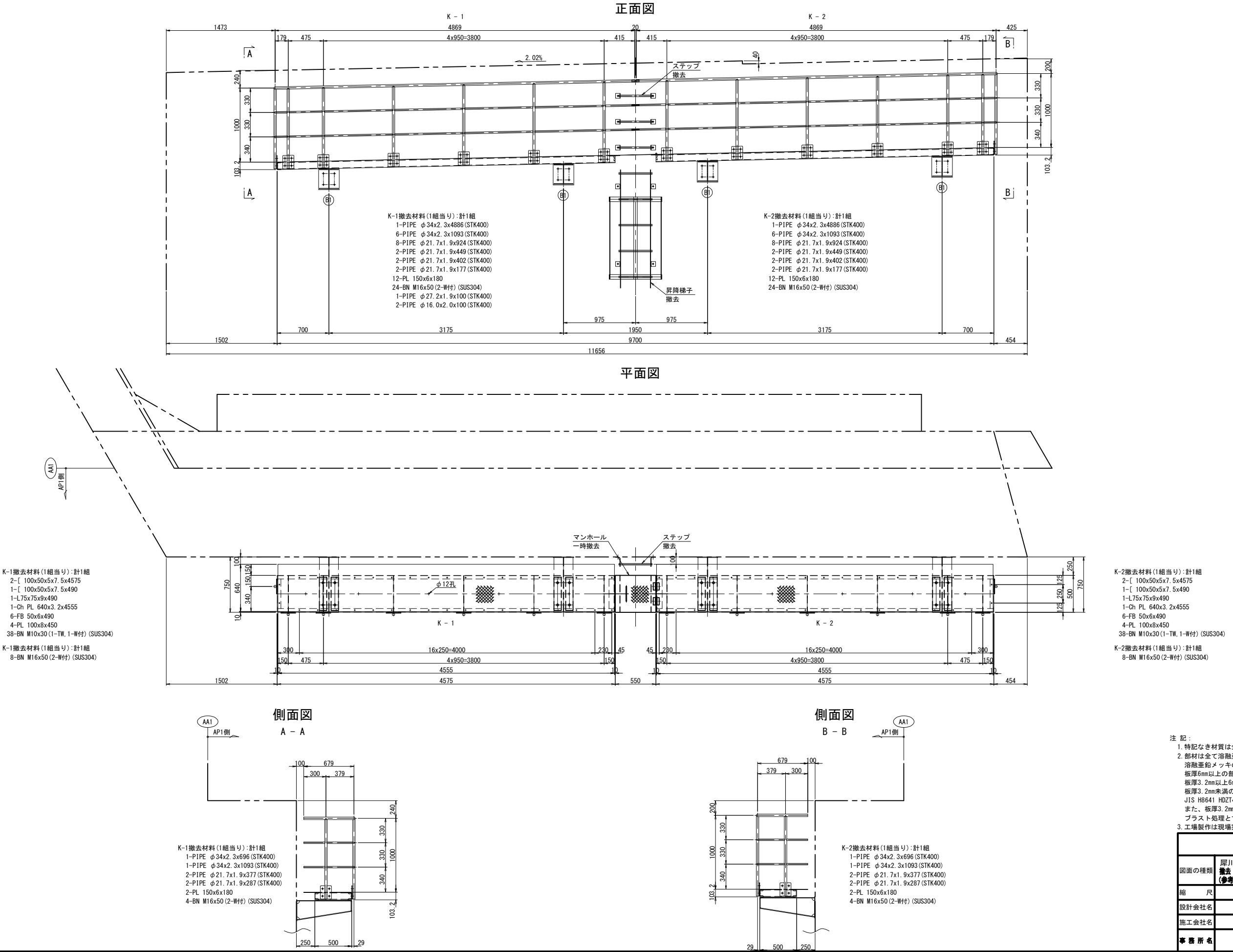


- 注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は全てSS400とする。
 3. ※印以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の種類は JIS H8641 HD2T77 (膜厚77μm以上) とする。
(ステンレスボルト、ナットは除く)
但し、ボルト・ナット類及び板厚3.2mm未満の部材は、
JIS H8641 HD2T49 (膜厚49μm以上) とする。
 4. 新設部材取付け金具のボルト・ナットはゆるみ止め構造を使用する。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋上下線 撤去・設置工 排水管A詳細図(その3) (参考図)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長 野 工 事 事 務 所		

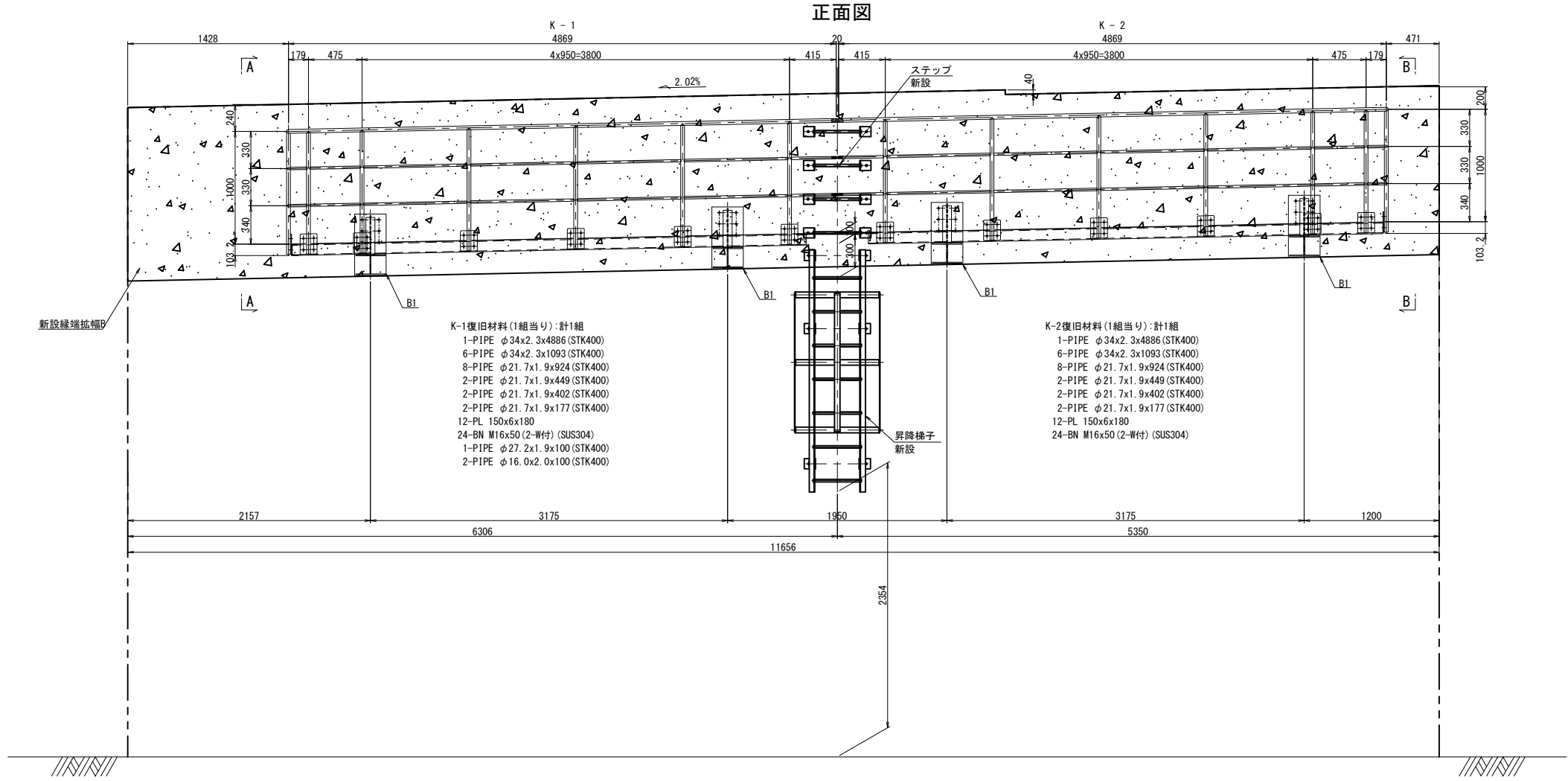
犀川橋 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1) (参考図) S=1:50

撤去 AA1橋台

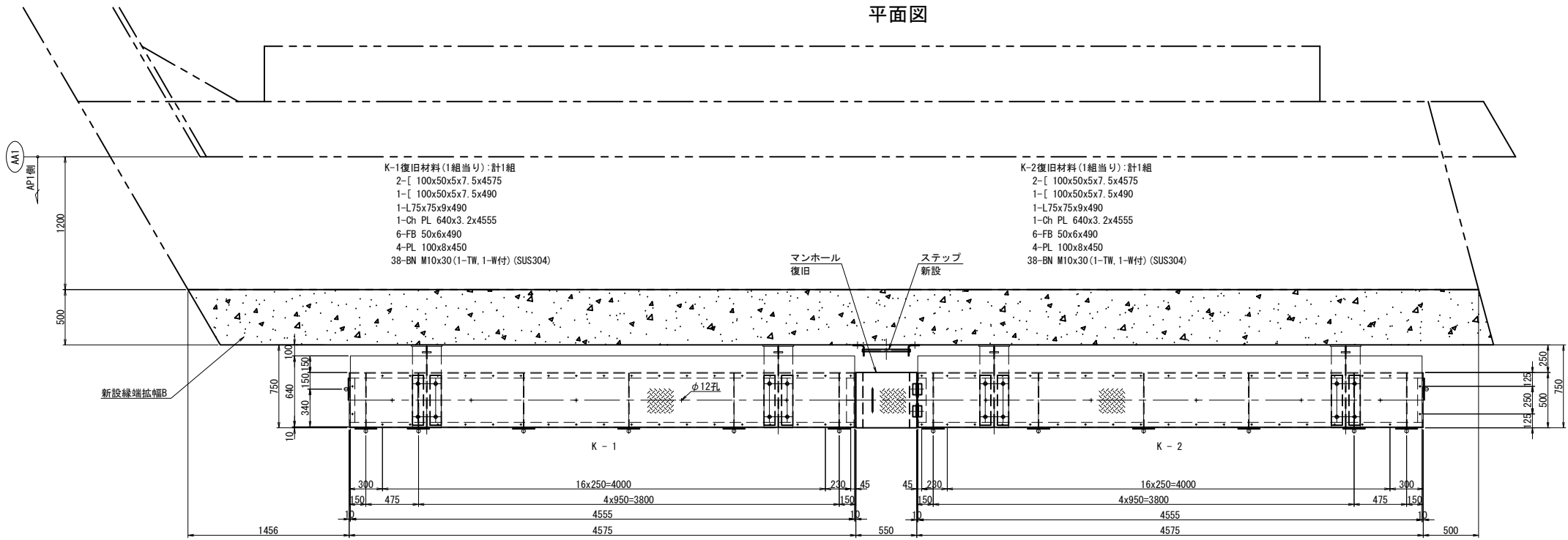


設置 AA1橋台

正面図

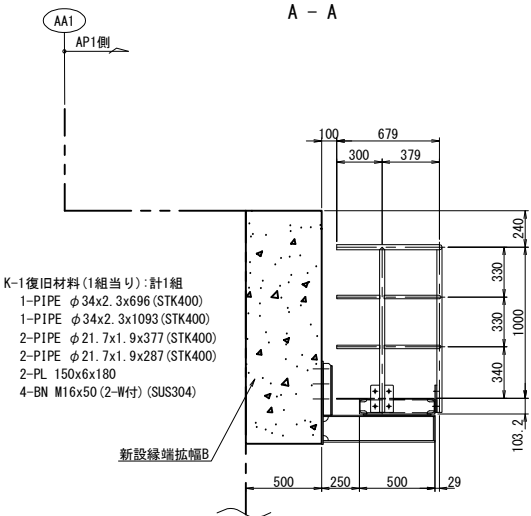


平面図



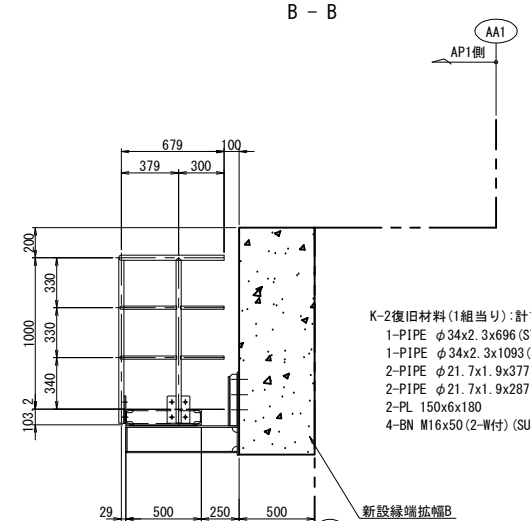
側面図

A-A



側面図

B-B



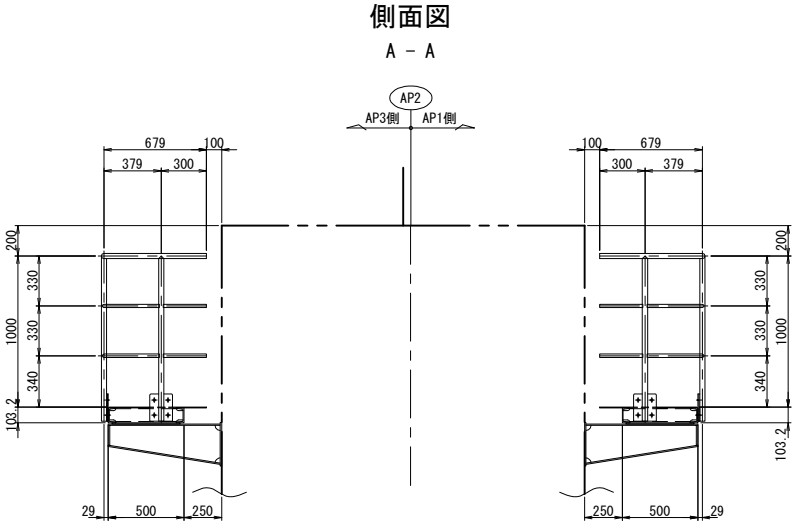
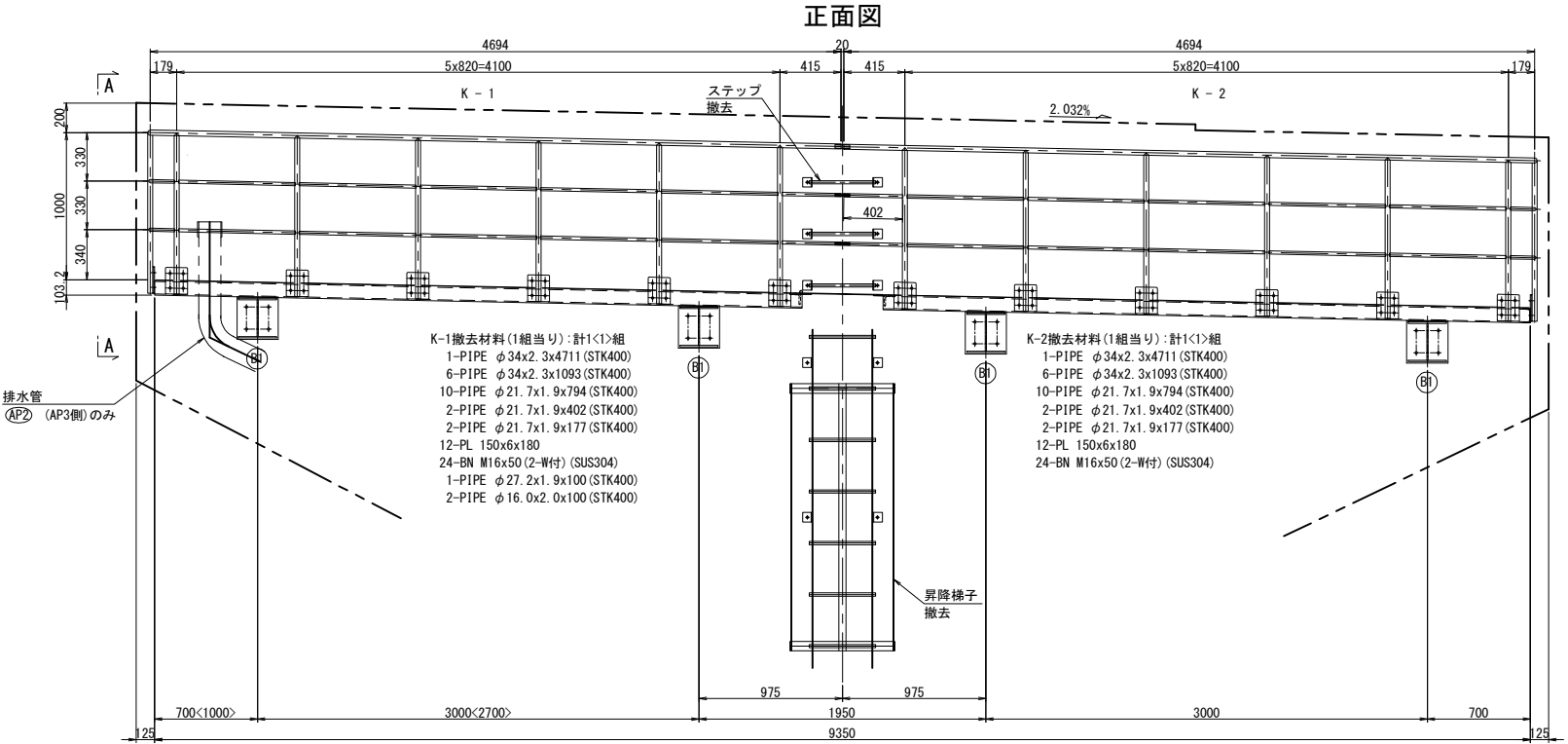
注記

- 特記なき材質は全てS400とする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- Uボルト付き以外のナットは全て緩止めナットを使用すること。
- 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

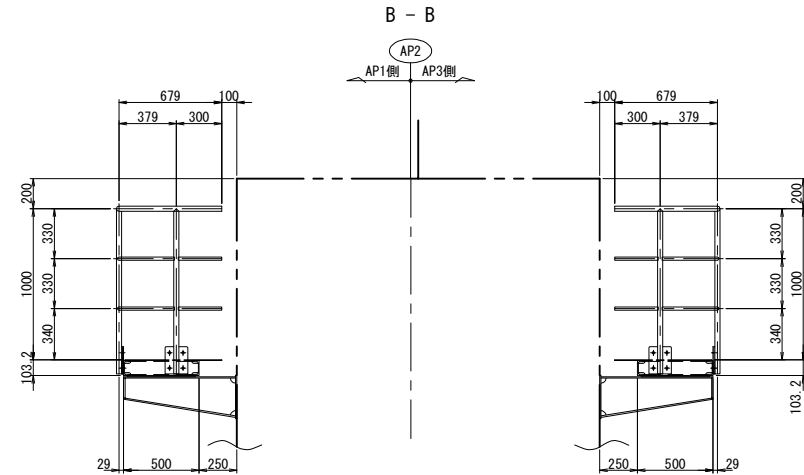
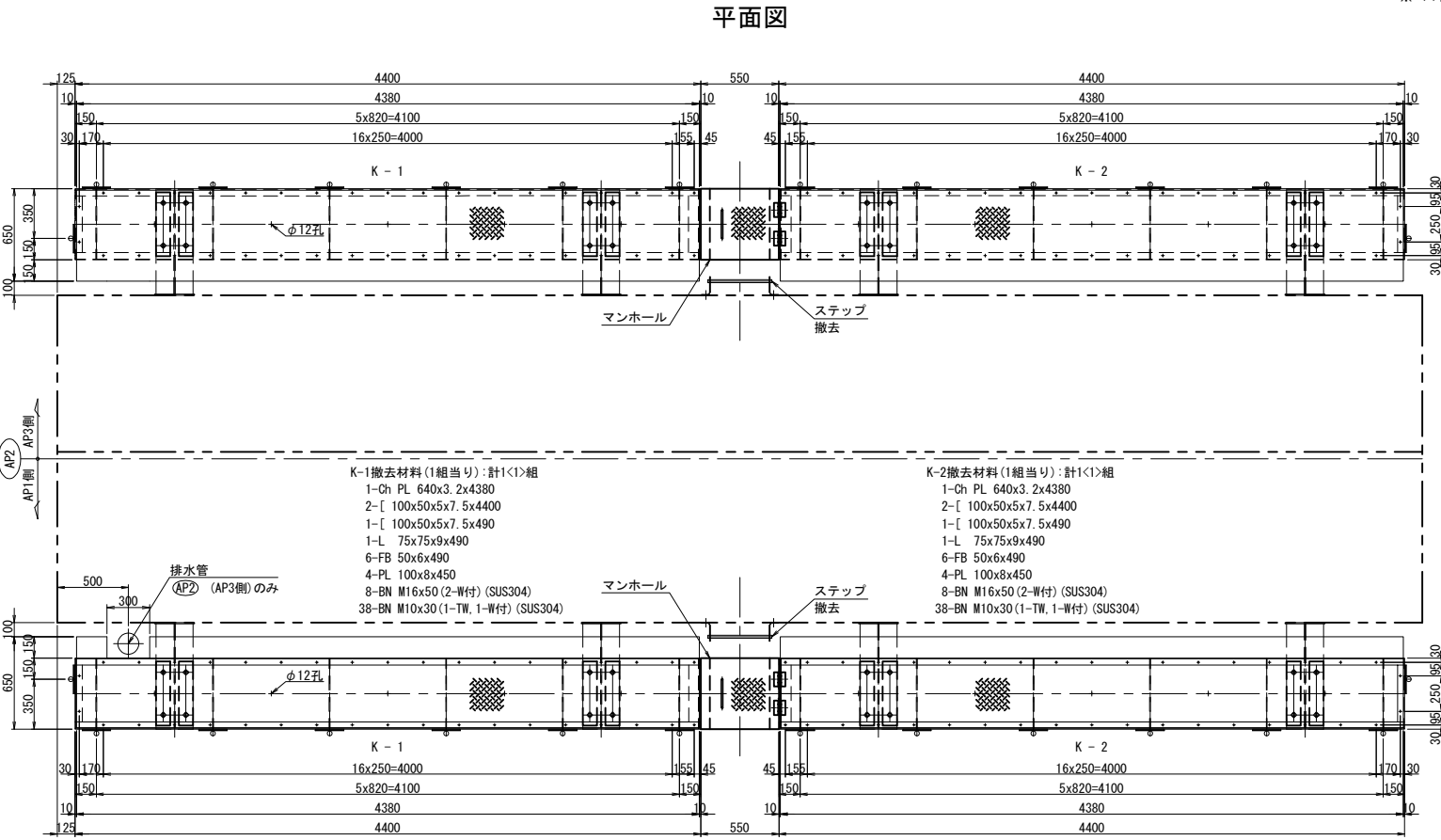
犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その3) (参考図) S=1:50

撤去 AP2橋脚(起点側)



K-1撤去材料(1組当り):計1<1>組
1-PIPE φ34x2.3x696 (STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287 (STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50 (2-W付) (SUS304)

※ <>内寸法は、AP2 (AP3側)のみ



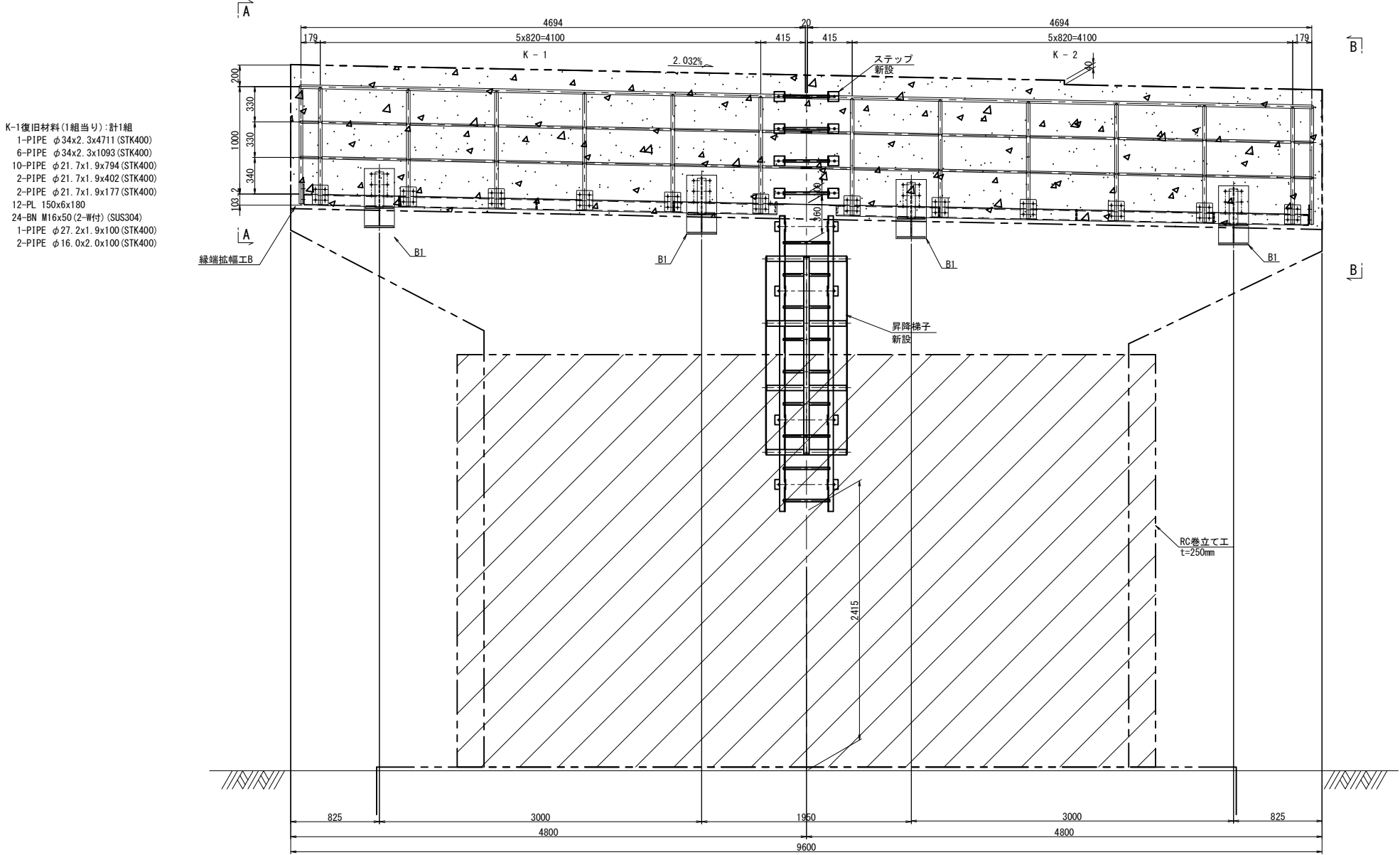
K-2撤去材料(1組当り):計1<1>組
1-PIPE φ34x2.3x696 (STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287 (STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50 (2-W付) (SUS304)

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その3) (参考図)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その4) (参考図) S=1:50
設置 AP2橋脚(起点側)

正面図

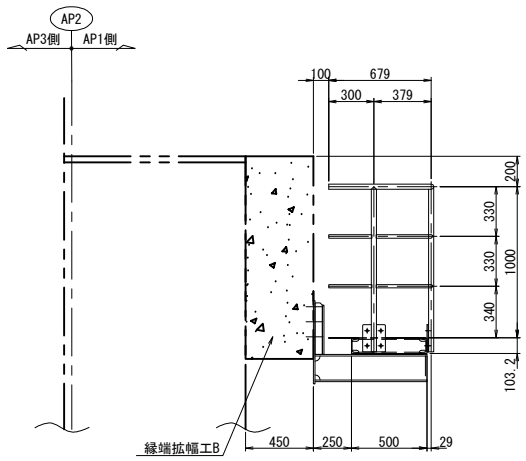


K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x4711(STK400)
6-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
10-PIPE φ21.7x1.9x794(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x402(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x177(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x50(2-W付)(SUS304)
1-PIPE φ27.2x1.9x100(STK400)
2-PIPE φ16.0x2.0x100(STK400)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x4711(STK400)
6-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
10-PIPE φ21.7x1.9x794(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x402(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x177(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

側面図

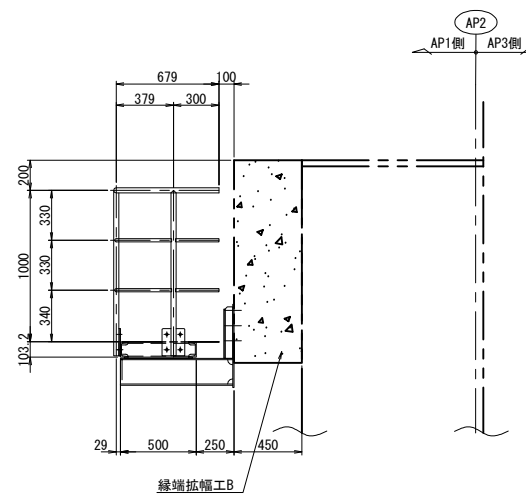
A - A



K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x696(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287(STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

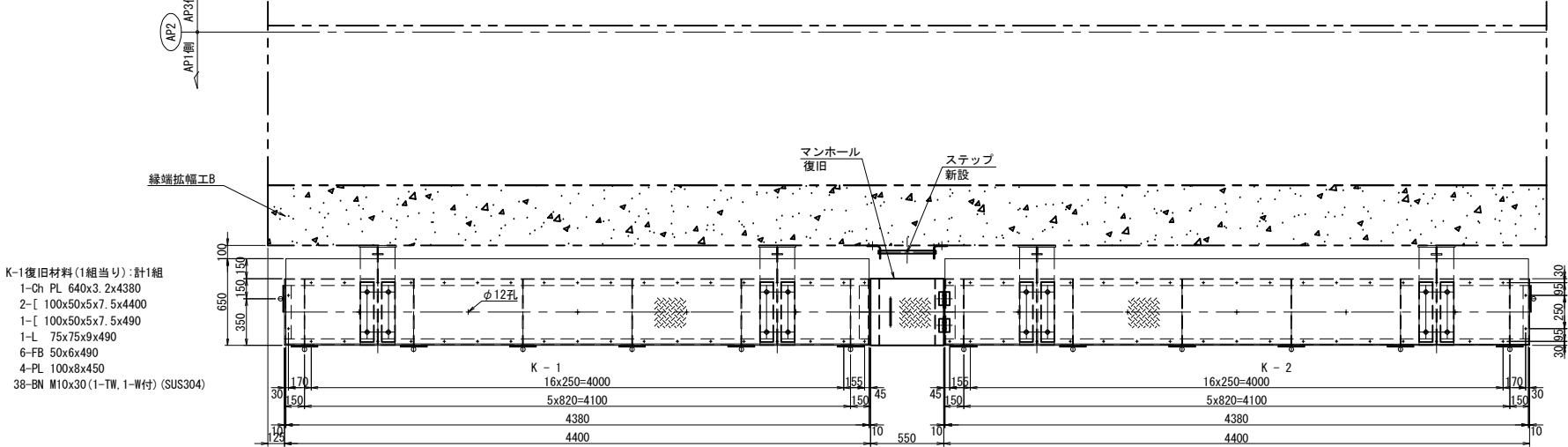
側面図

B - B



K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x696(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287(STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

平面図



K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3.2x4380
2-[100x50x5x7.5x4400
1-[100x50x5x7.5x490
1-L 75x75x9x490
6-FB 50x6x490
4-PL 100x8x450
38-BN M10x30(1-TW, 1-W付)(SUS304)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3.2x4380
2-[100x50x5x7.5x4400
1-[100x50x5x7.5x490
1-L 75x75x9x490
6-FB 50x6x490
4-PL 100x8x450
38-BN M10x30(1-TW, 1-W付)(SUS304)

- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

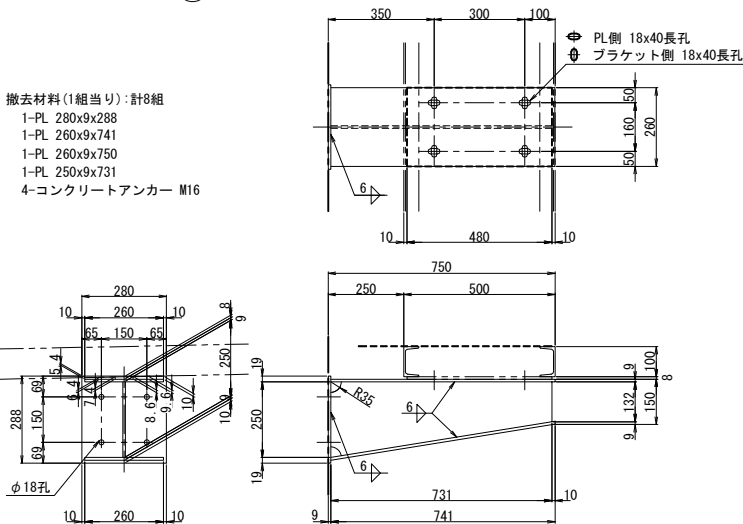
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B設置詳細図(その4) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その5)(参考図)

＜撤去設置部材詳細＞

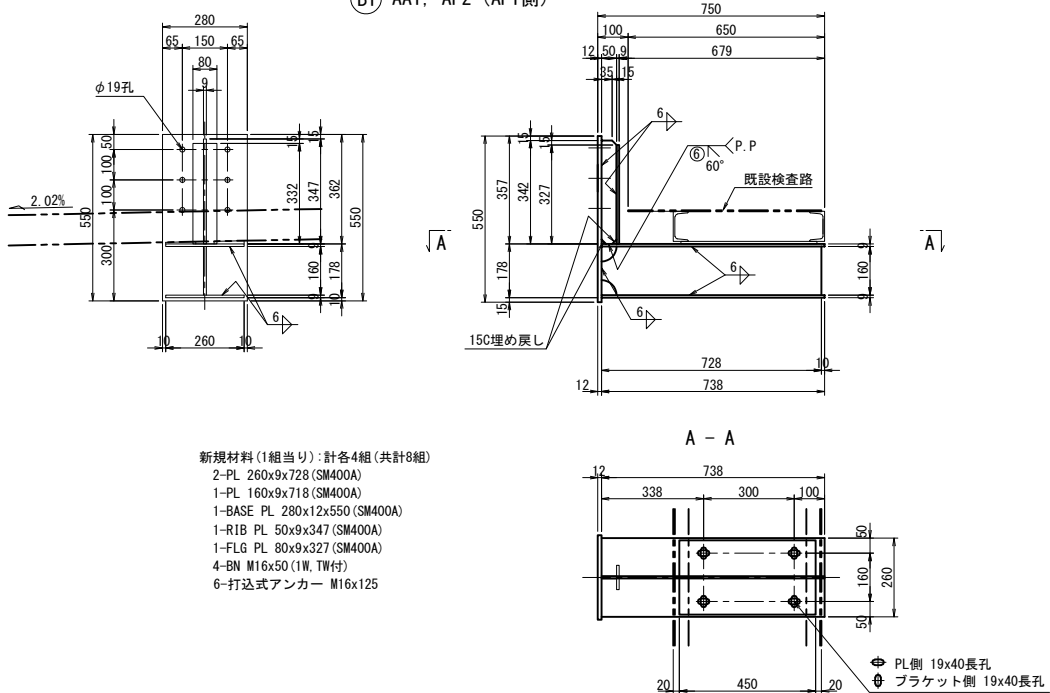
ブラケット撤去詳細図

(B1) AA1, AP2 (AP1側)

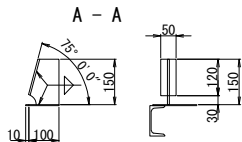
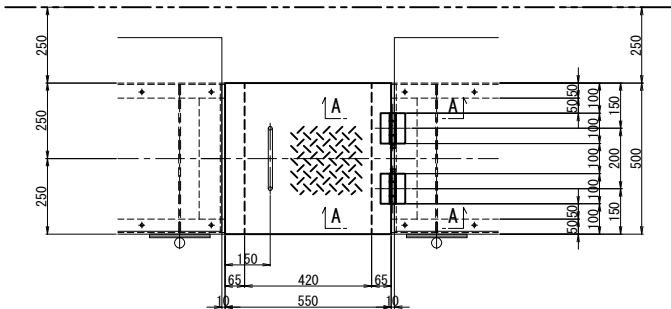


ブラケット設置詳細図

(B1) AA1, AP2 (AP1側)

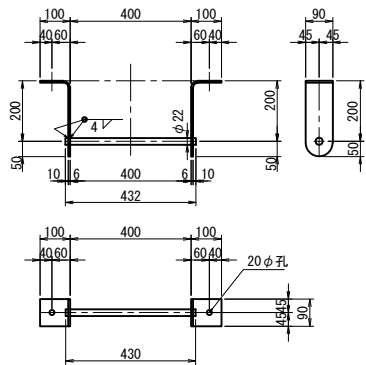
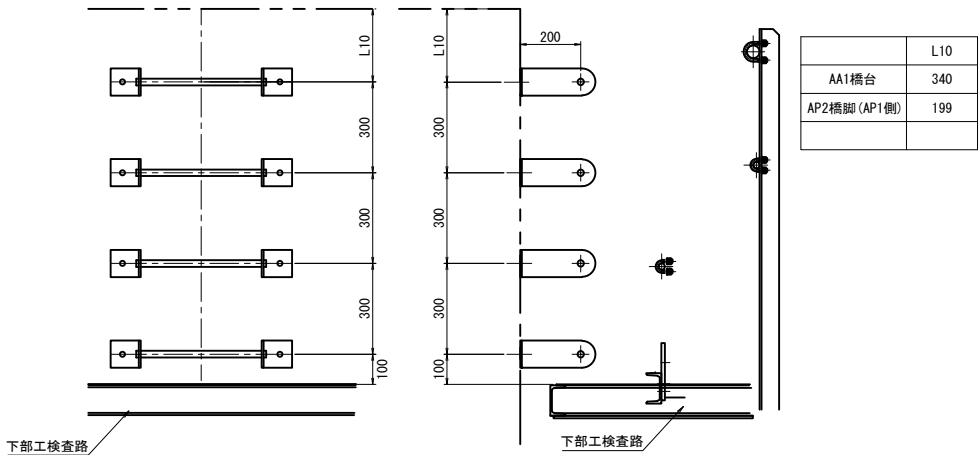


マンホール詳細図



一時撤去材料(1組当り):計4組
1-PL 150x6x110
1-PL 50x6x120

ステップ詳細

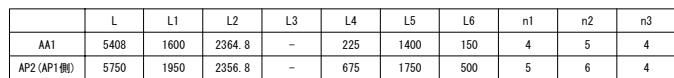


新設材料(1組当り):計2組
8-FB 90x6x350
4-RB φ22x430
8-打込式アンカー M16x120

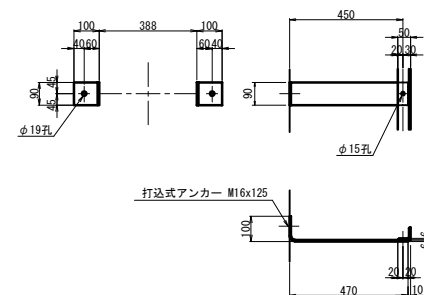
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その5) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

梯子撤去詳細図



梯子支持金具S4



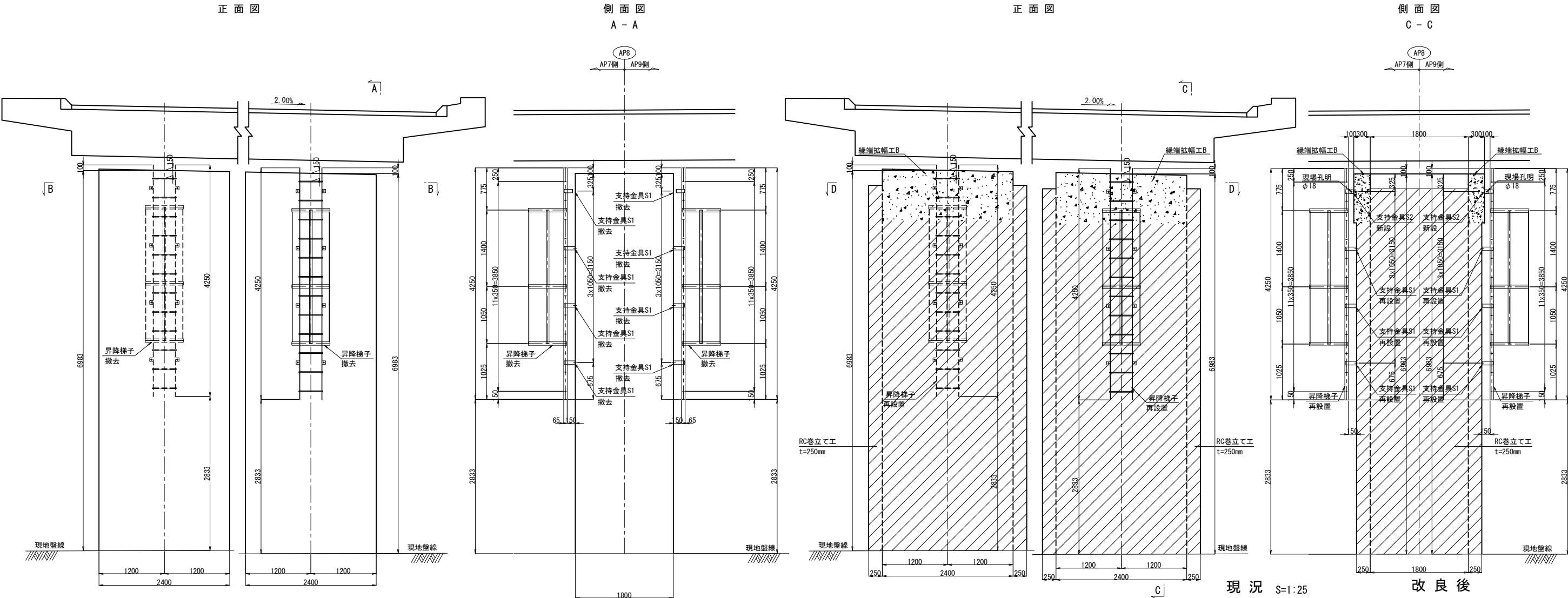
- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 特記なきスカラーップは全て50Rとする。
 3. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
- 溶融亜鉛メッキの膜厚は
- 板厚6mm以下の部材は JIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材は JIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
- また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
5. 工場製作は現場実地確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 橋式・設置工 検査並5群図面(その6) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

撤去図

AP8橋脚

復旧図

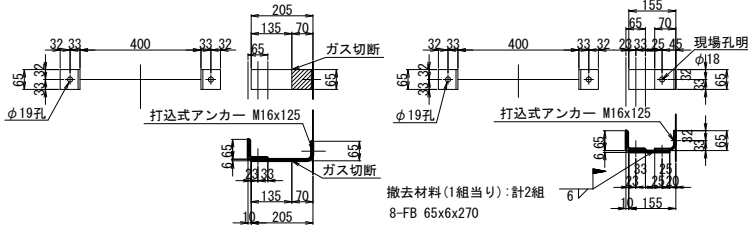


平面図
B - B

平面図
D - D

現況 S=1:25
梯子支持金具S1

改良後
梯子支持金具S2



- 昇降梯子撤去材料(1組当り):計2組
2-FB 65x6x4250
12-RB 22φx452(SR235)
2-FB 65x6x1889
3-FB 50x6x1050
- 昇降梯子復旧材料(1組当り):計2組
2-FB 65x6x4250
12-RB 22φx452(SR235)
2-FB 65x6x1889
3-FB 50x6x1050

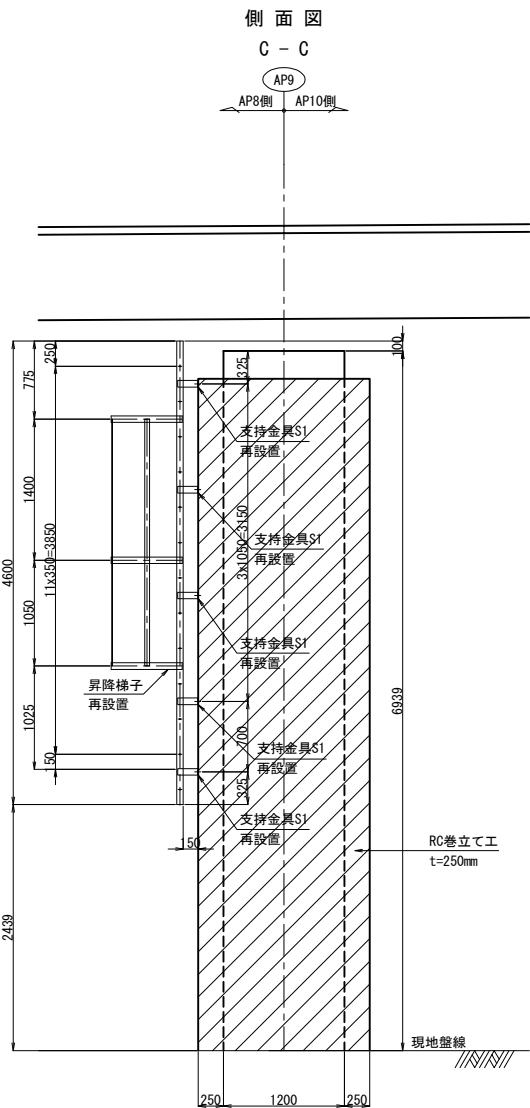
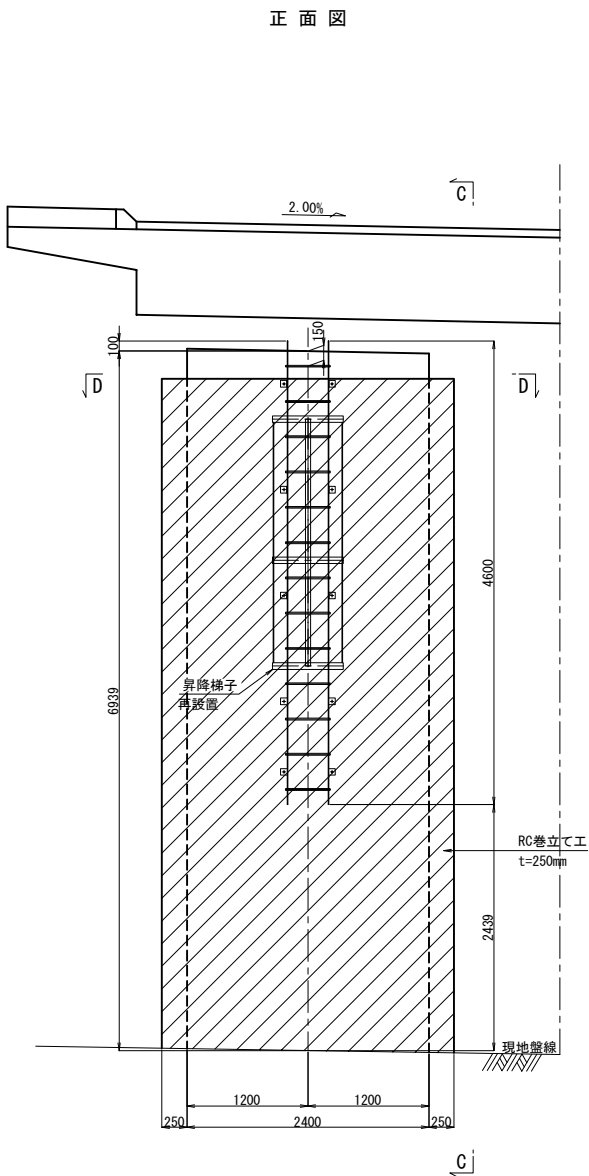
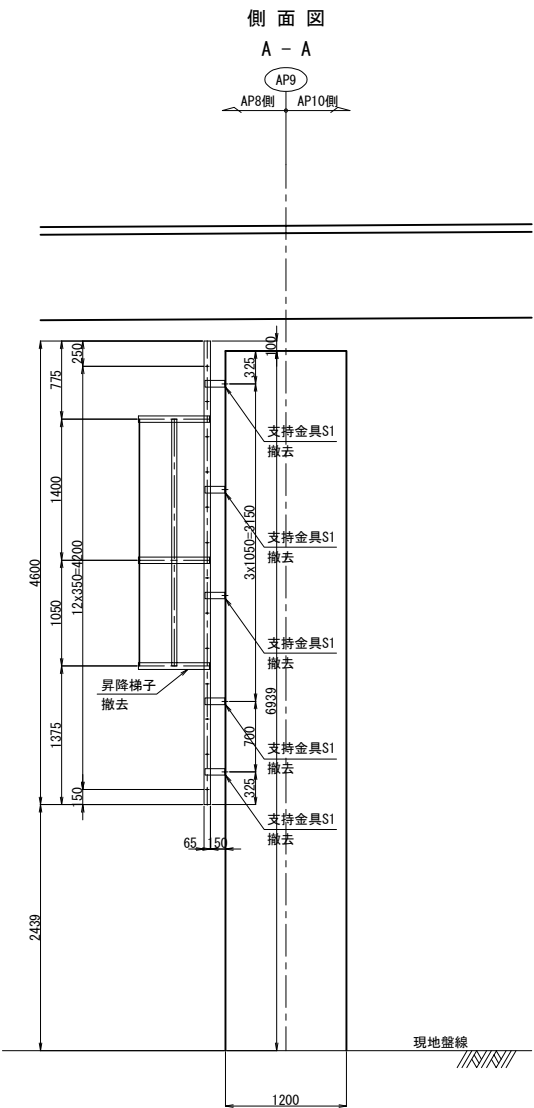
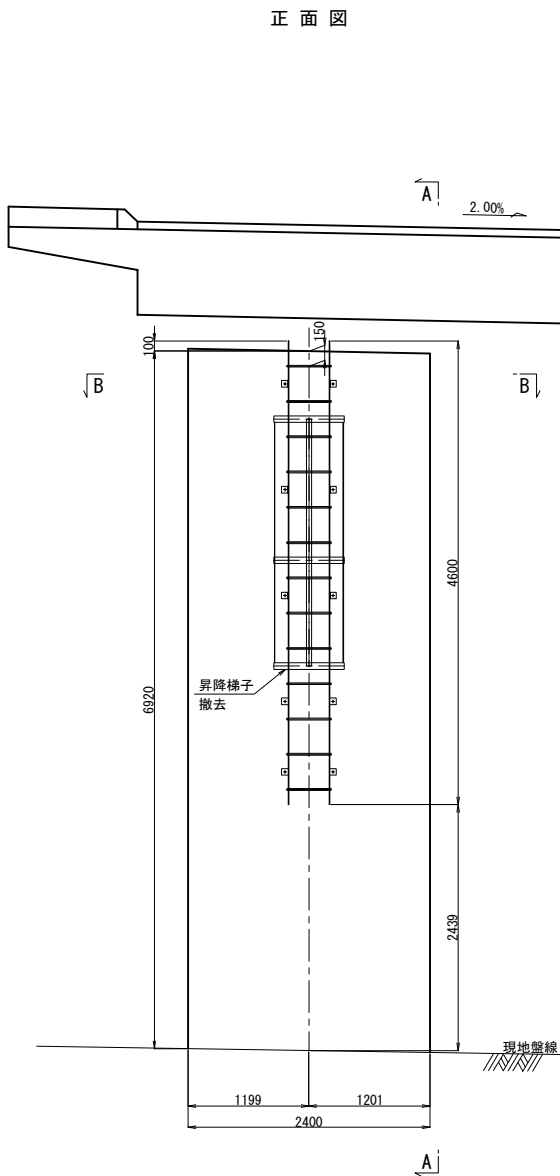
- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その7) (参考図)	縮尺	図示 図面番号
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

撤去図

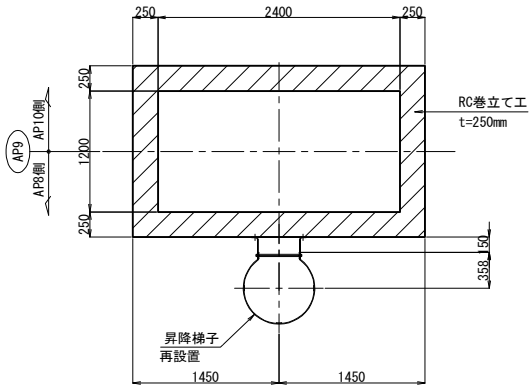
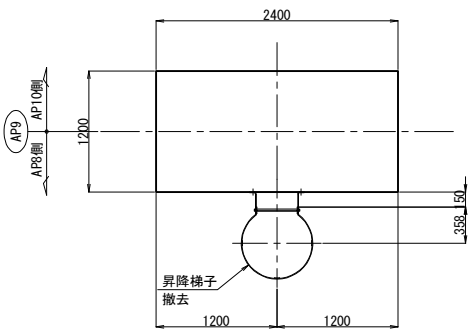
AP9橋脚

復旧図

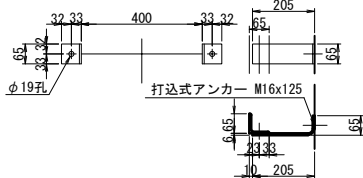


平面図
B - B

平面図
D - D



支持金具S1 S=1:25



撤去材料 (1組当り): 計1組
10-FB 65x6x270
10-ホールインアンカー M16

復旧材料 (1組当り): 計1組
10-FB 65x6x270

新設材料 (1組当り): 計1組
10-打込式アンカー M16x125

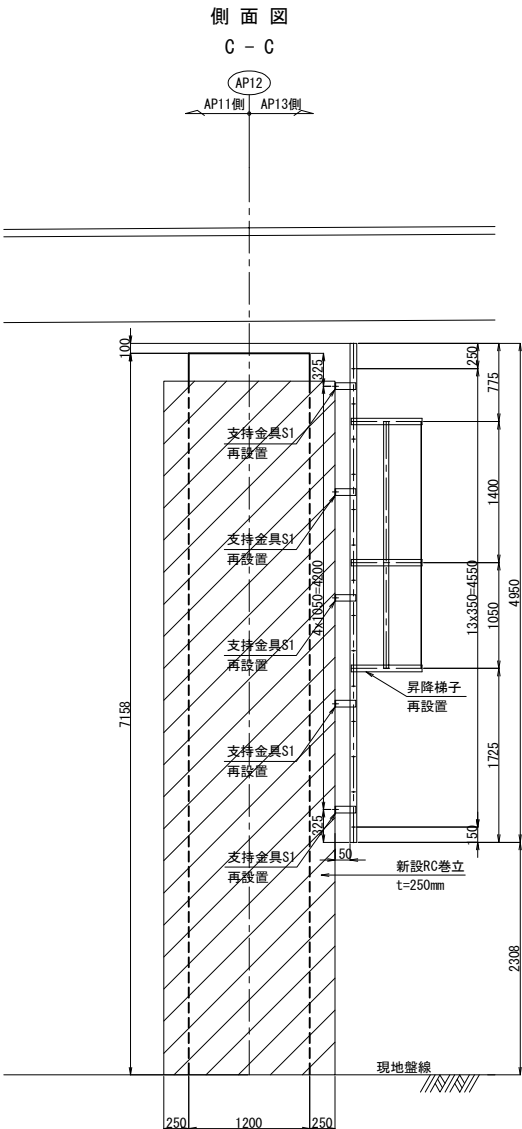
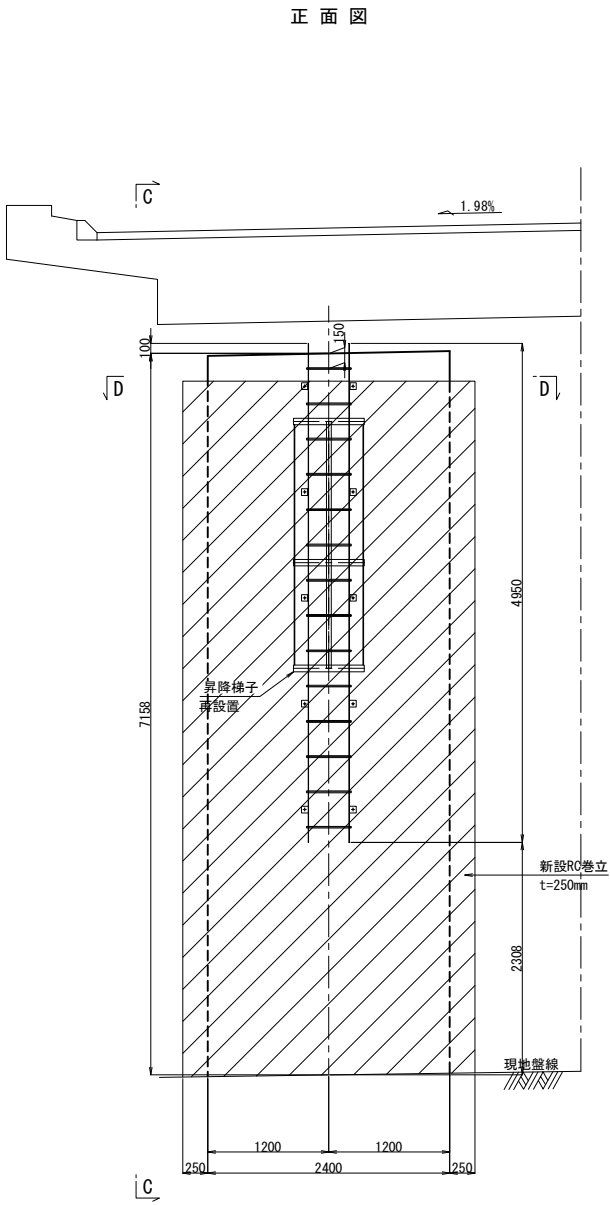
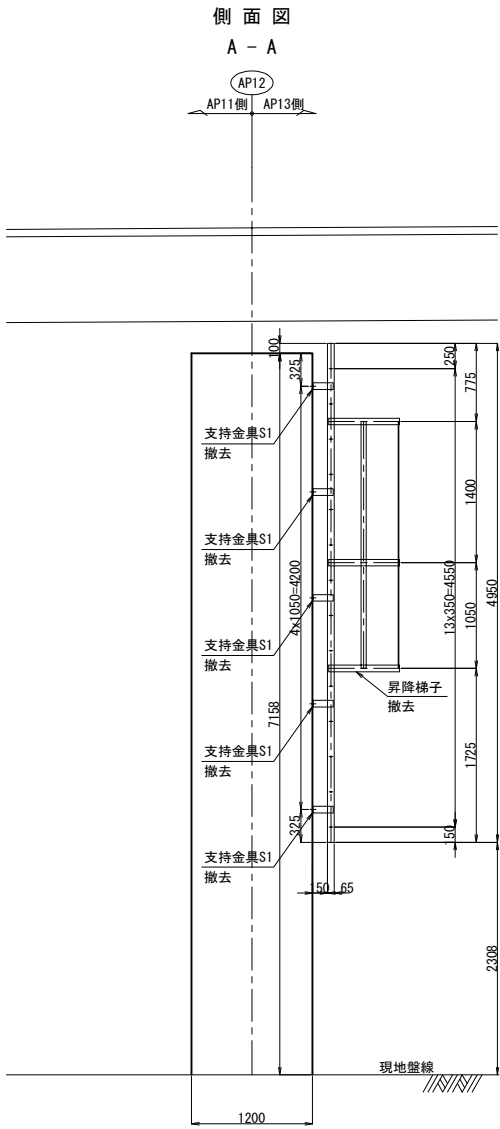
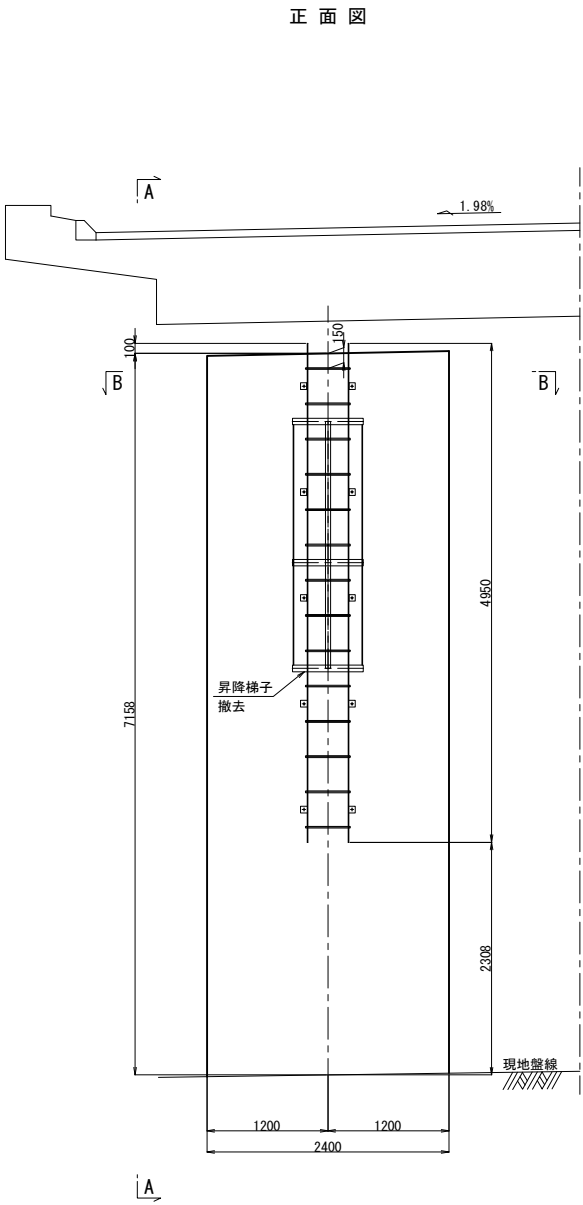
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その8) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去図

AP12橋脚

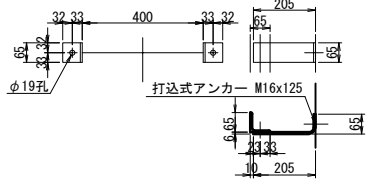
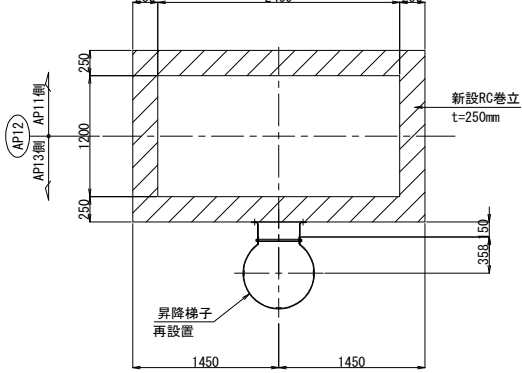
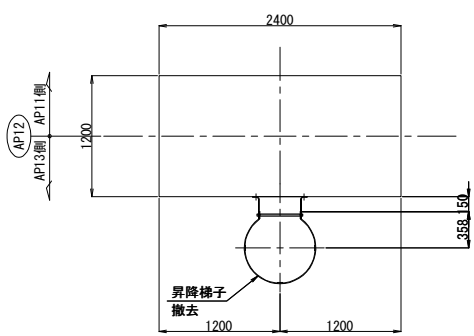
復旧図



平面図
B - B

平面図
D - D

支持金具S1 S=1:25



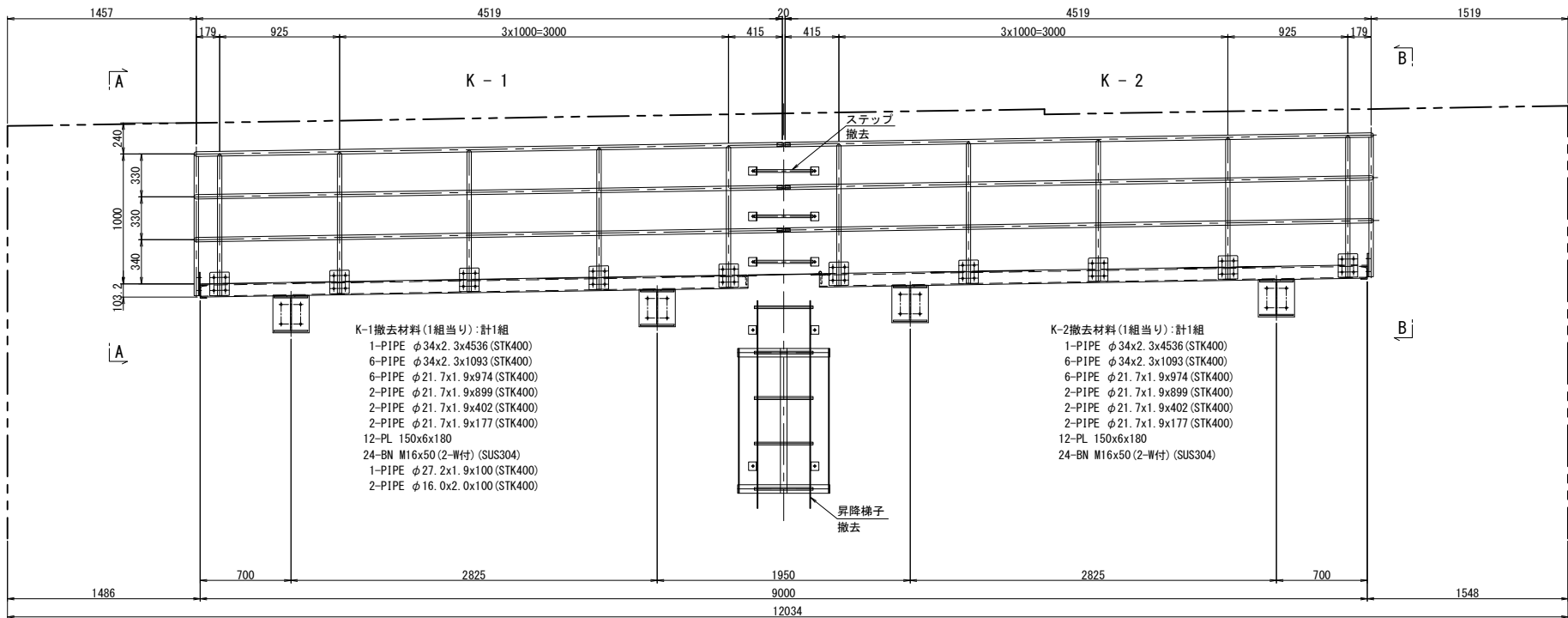
- 撤去材料 (1組当り) : 計1組
10-FB 65x6x270
10-ホールインアンカー M16
- 復旧材料 (1組当り) : 計1組
10-FB 65x6x270
- 新設材料 (1組当り) : 計1組
10-打込式アンカー M16x125

- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

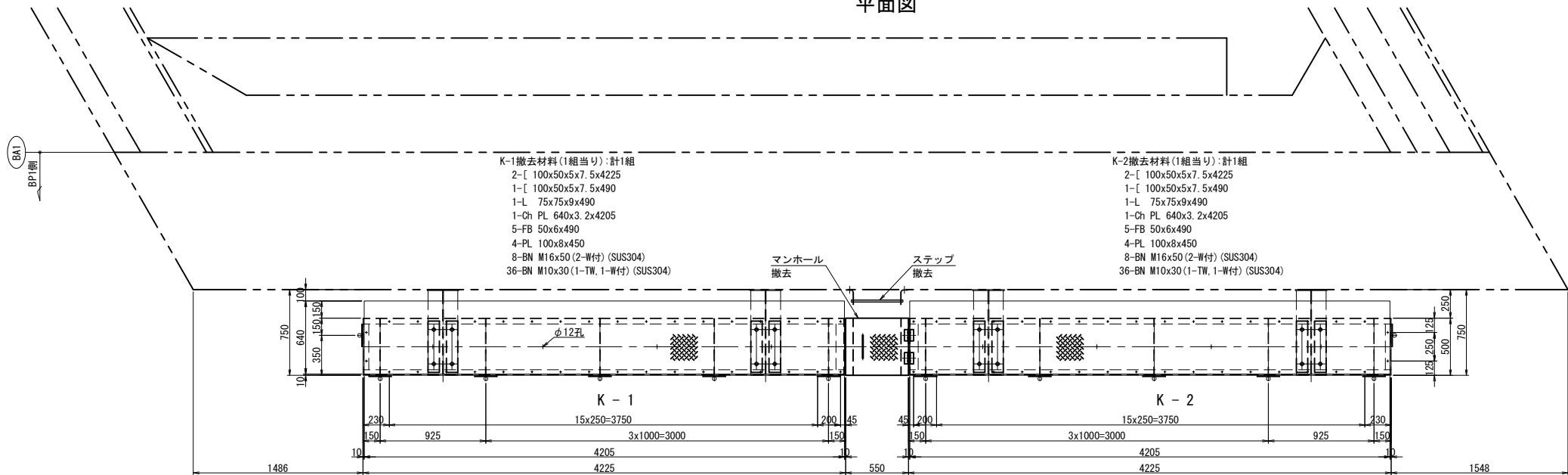
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その9) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

撤去 BA1橋台

正面図

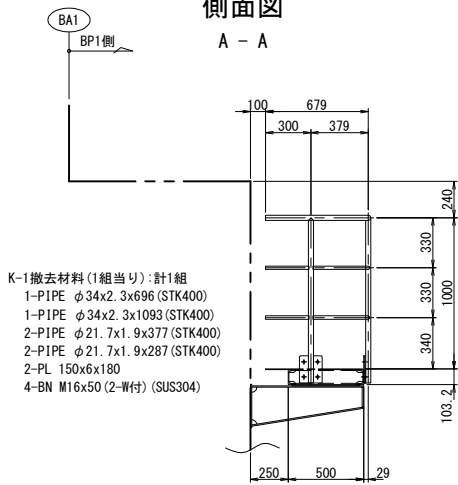


平面図



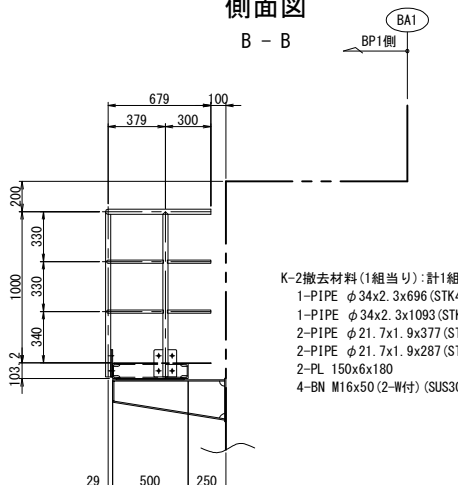
側面図

A - A



側面図

B - B



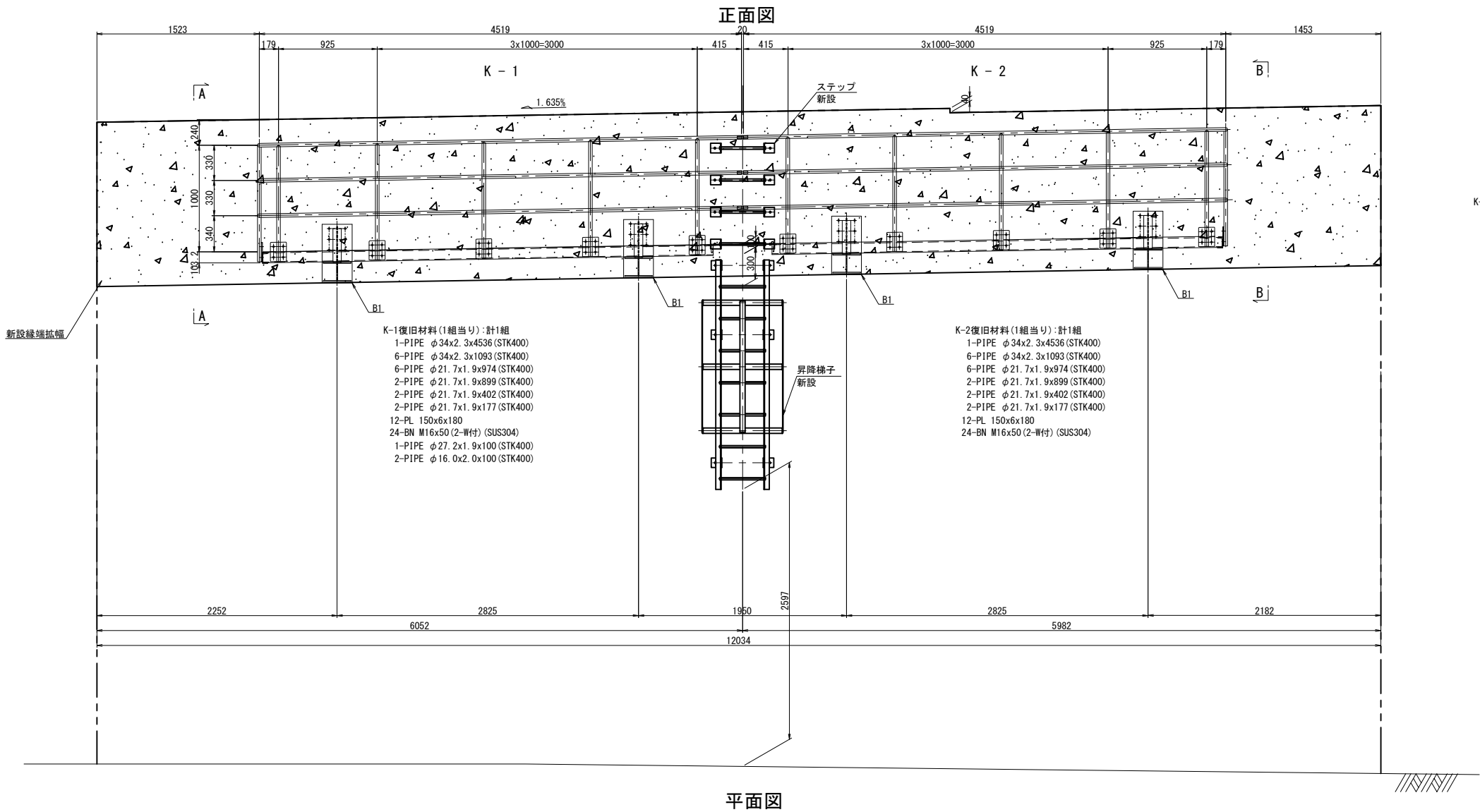
注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その10) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その11) (参考図) S=1:50

設置 BA1橋台



K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x696(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287(STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x4536(STK400)
6-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x899(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x402(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x177(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x4536(STK400)
6-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x899(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x402(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x177(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x50(2-W付)(SUS304)
1-PIPE φ27.2x1.9x100(STK400)
2-PIPE φ16.0x2.0x100(STK400)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x696(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287(STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
2-[100x50x5x7.5x4225
1-[100x50x5x7.5x490
1-L 75x75x9x490
1-Ch PL 640x3.2x4205
5-FB 50x6x490
4-PL 100x8x450
36-BN M10x30(1-TW, 1-W付)(SUS304)

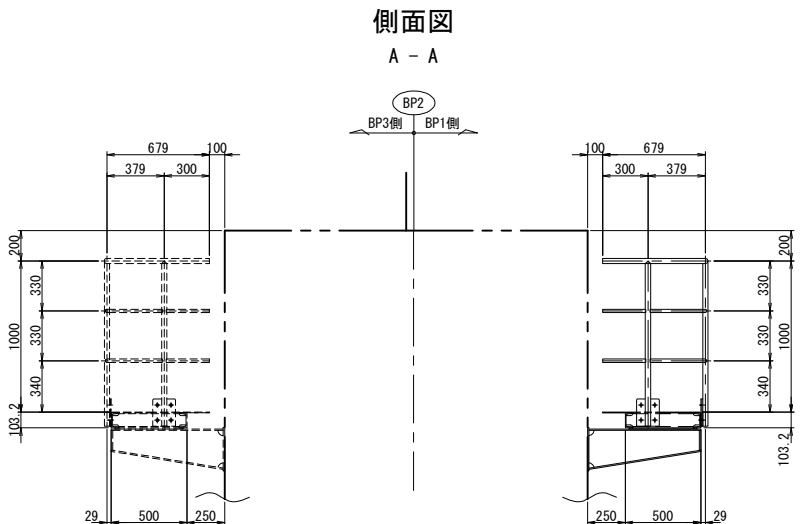
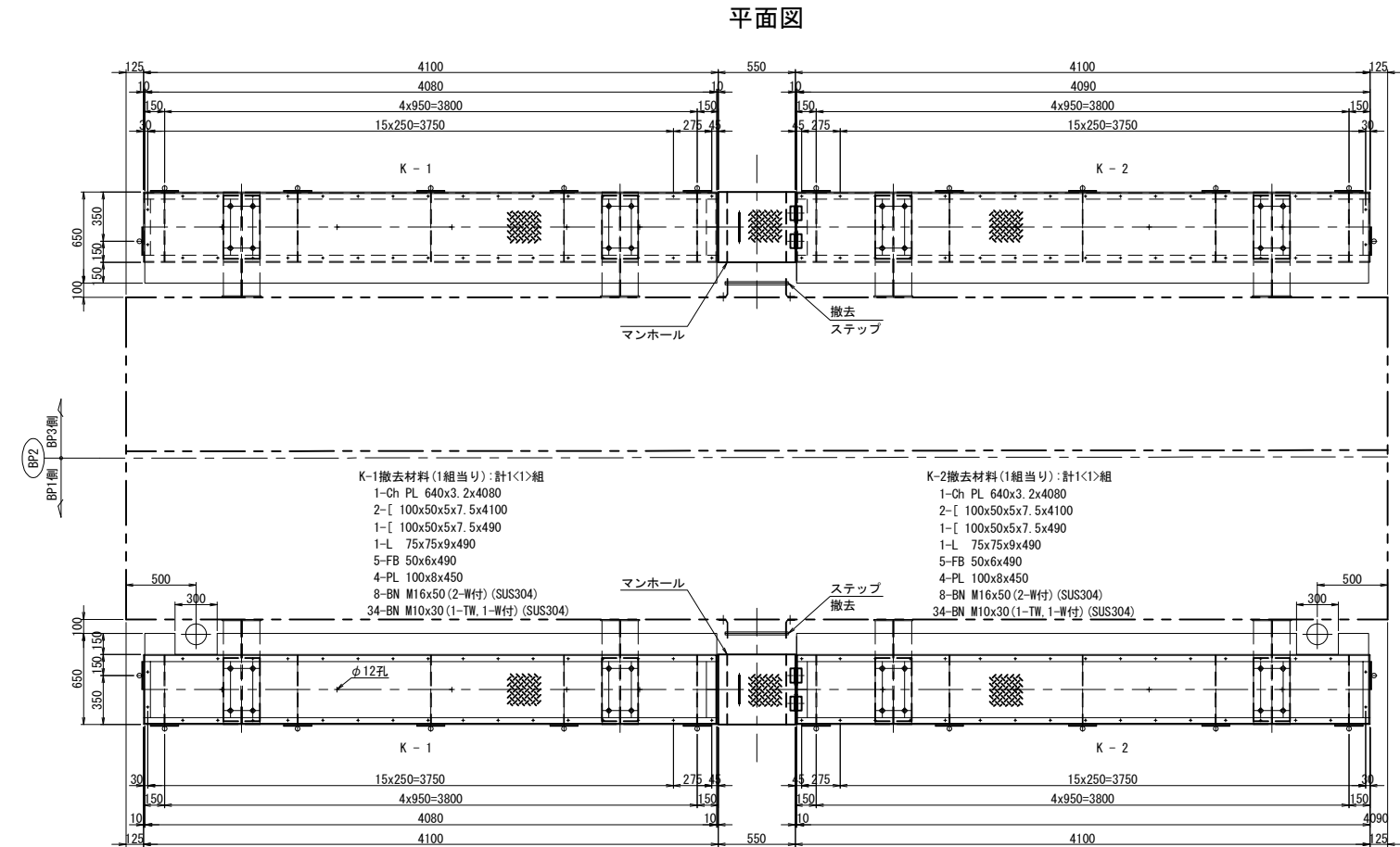
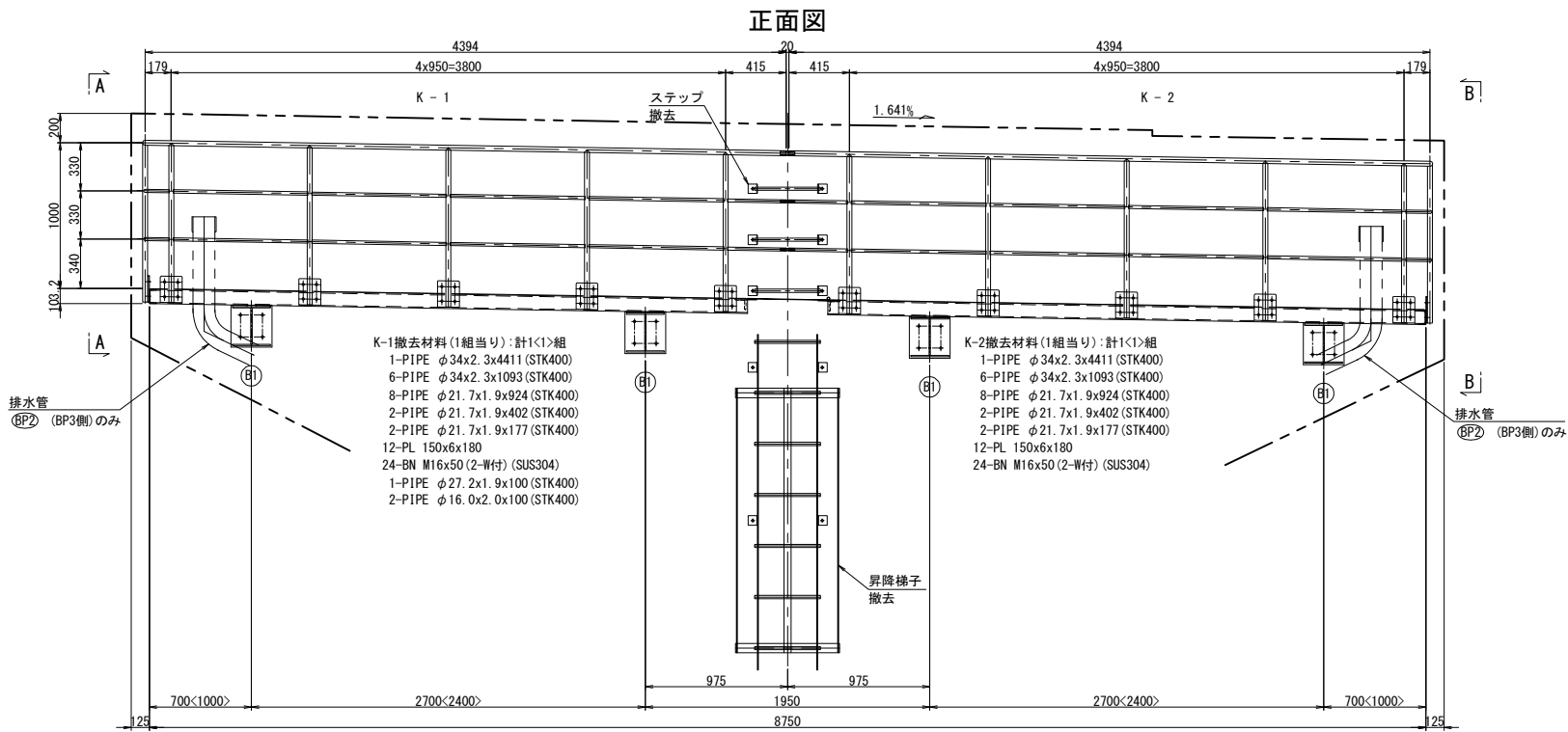
K-1復旧材料(1組当り):計1組
2-[100x50x5x7.5x4225
1-[100x50x5x7.5x490
1-L 75x75x9x490
1-Ch PL 640x3.2x4205
5-FB 50x6x490
4-PL 100x8x450
36-BN M10x30(1-TW, 1-W付)(SUS304)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その11) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

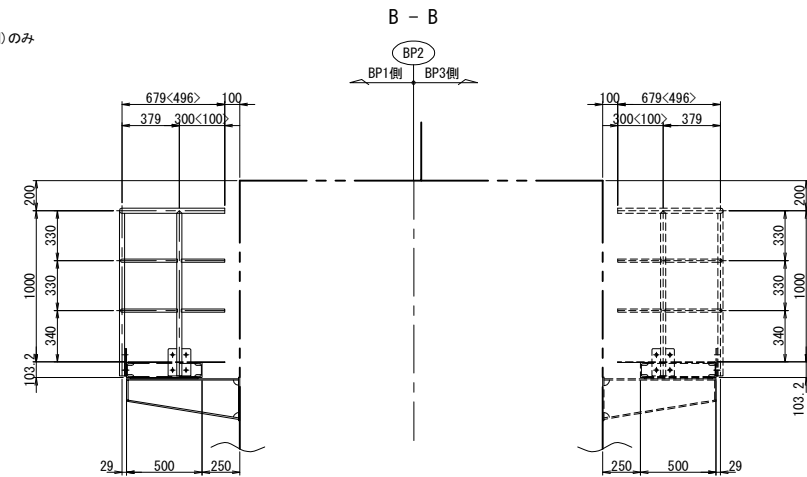
犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その12) (参考図) S=1:50

撤去 BP2橋脚（起点側）



K-1撤去材料(1組当り):計1<1>組
1-PIPE φ34x2.3x696 (STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287 (STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50 (2-W付) (SUS304)

※ < > 内寸法は、BP2 (BP3側) のみ



K-2撤去材料(1組当り):計1<1>組
1-PIPE φ34x2.3x696<496> (STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287 (STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50 (2-W付) (SUS304)

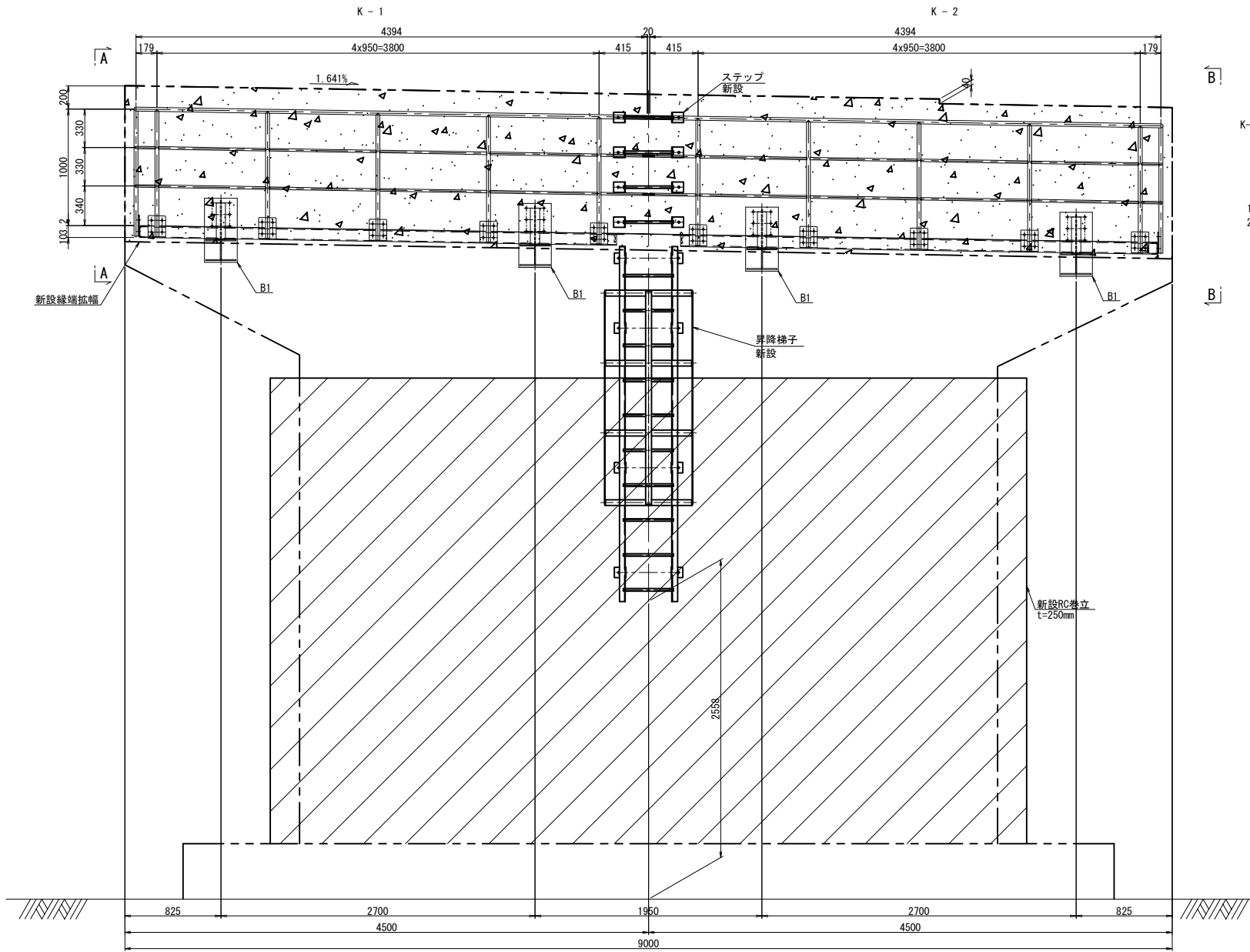
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
ブラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その12) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その13) (参考図) S=1:50

設置 BP2橋脚(起点側)

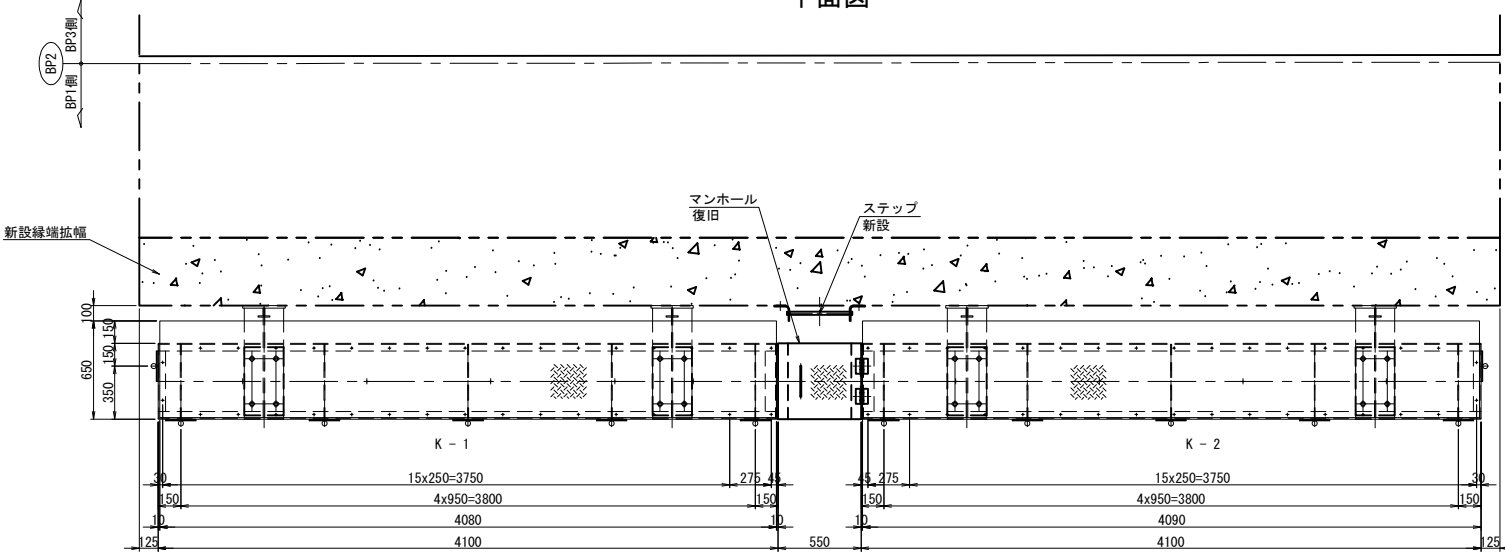
正面図



K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x4411(STK400)
6-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
8-PIPE φ21.7x1.9x924(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x402(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x177(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x50(2-W付)(SUS304)
1-PIPE φ27.2x1.9x100(STK400)
2-PIPE φ16.0x2.0x100(STK400)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x4411(STK400)
6-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
8-PIPE φ21.7x1.9x924(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x402(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x177(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

平面図

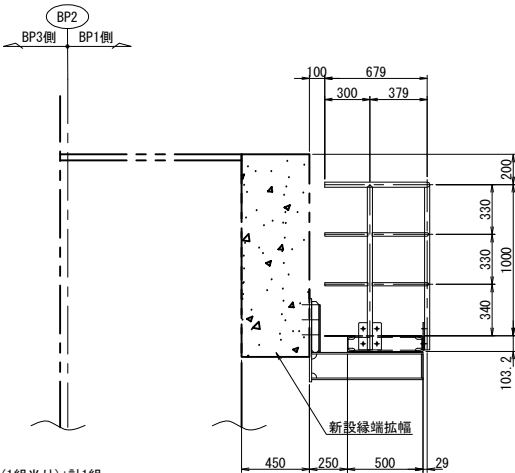


K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3.2x4080
2-[100x50x5x7.5x4100
1-[100x50x5x7.5x490
1-L 75x75x9x490
5-FB 50x6x490
4-PL 100x8x450
34-BN M10x30(1-TW, 1-W付)(SUS304)

K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-Ch PL 640x3.2x4080
2-[100x50x5x7.5x4100
1-[100x50x5x7.5x490
1-L 75x75x9x490
5-FB 50x6x490
4-PL 100x8x450
34-BN M10x30(1-TW, 1-W付)(SUS304)

側面図

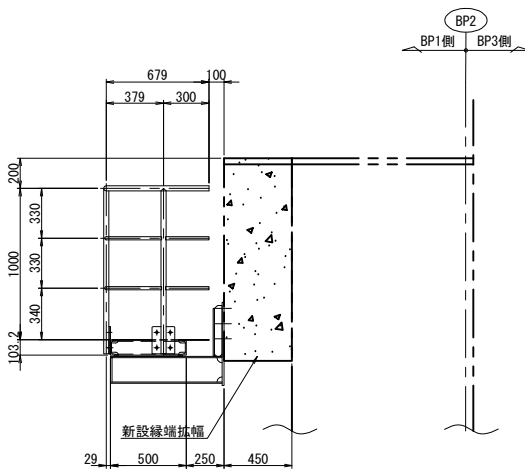
A - A



K-1復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x696(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287(STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

側面図

B - B



K-2復旧材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x696<496>(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287(STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50(2-W付)(SUS304)

注記

- 特記なき材質は全てS400とする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

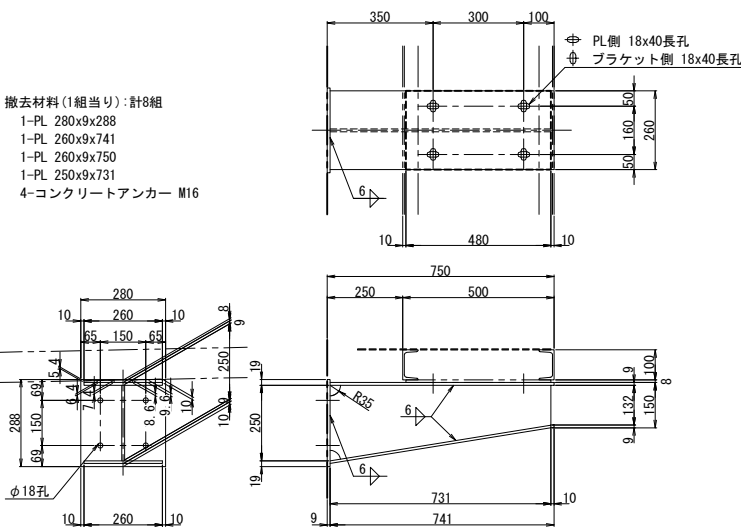
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その13) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋 撤去・設置工 検査路B 撤去詳細図(その14) (参考図)S=1:25

＜撤去設置部材詳細＞

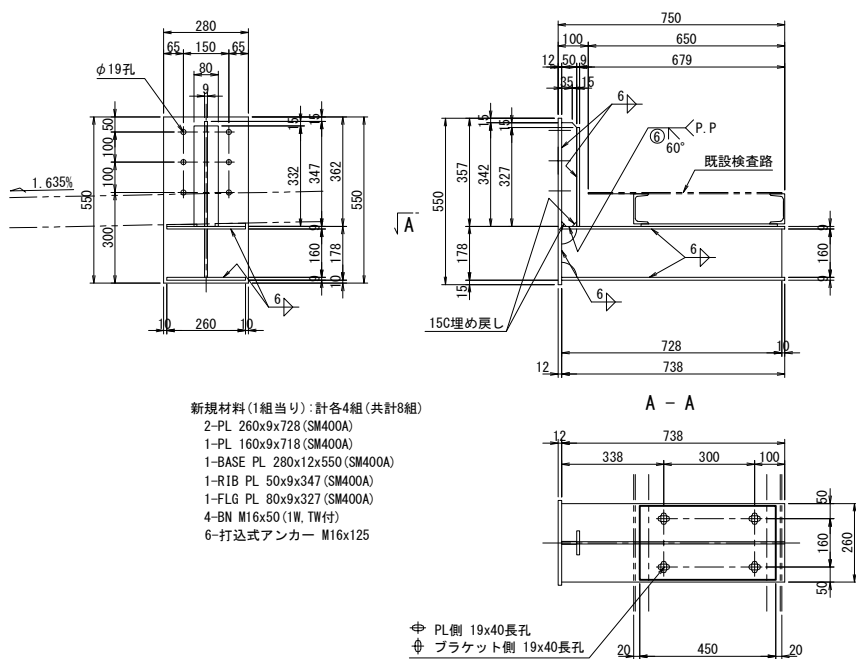
ブラケット撤去詳細図

① BA1, BP2 (BP1側)

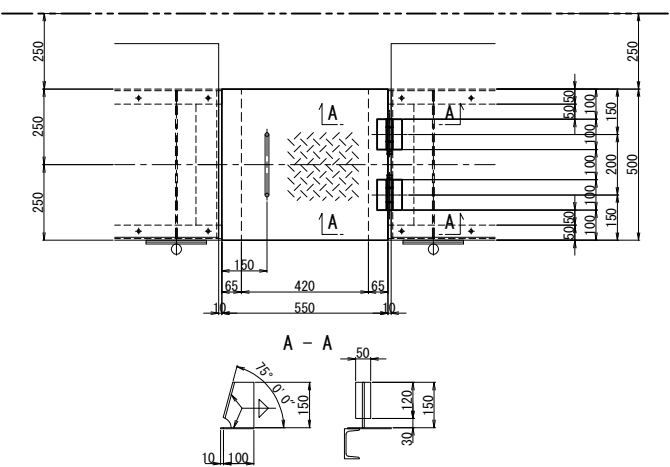


ブラケット設置詳細図

① B1, BA1, BP2 (BP1側)



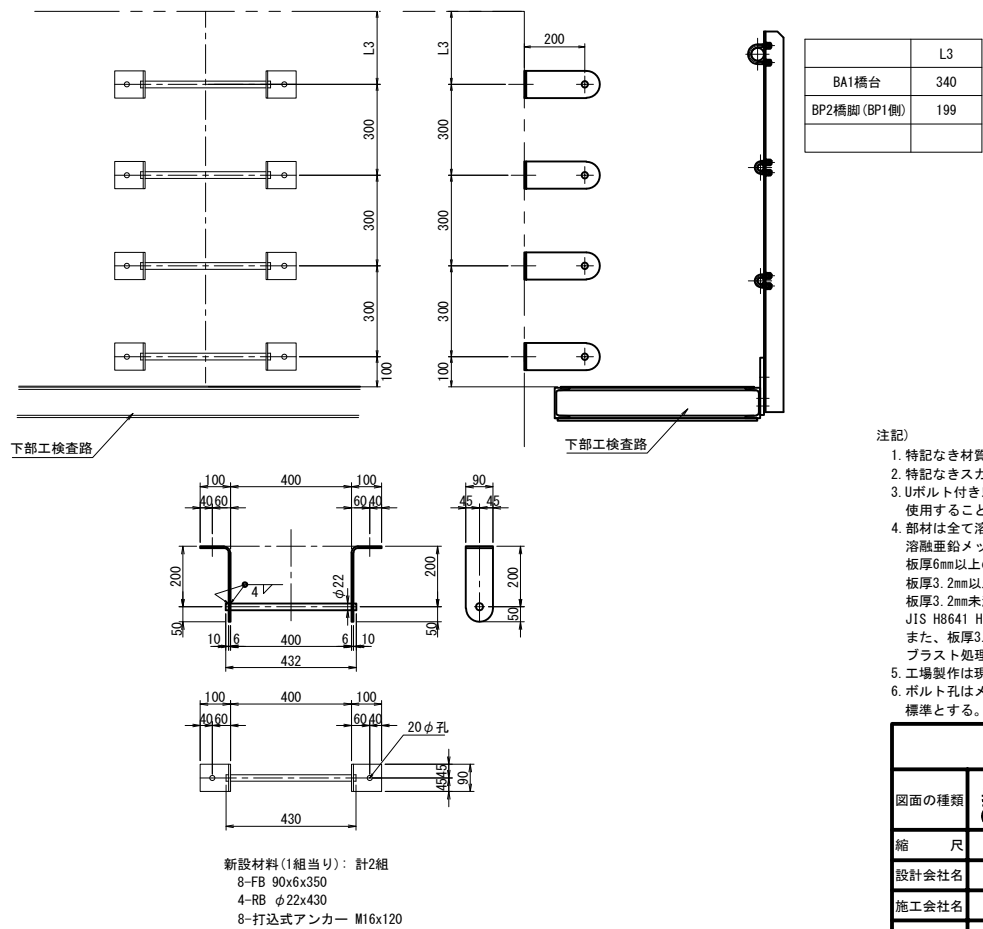
マンホール詳細図



マンホール
撤去設置(1組当り):計2組
1-Ch PL 500x3.2x550
2-FB 65x6x500
2-RB 13φx400(SR235)
2-BN M16x130(2-W付)(SUS304)

撤去設置(1組当り):計4組
 1-PIPE φ21.7x1.9x45 (STK40)
 2-PIPE φ21.7x1.9x25 (STK40)
 1-RB 16φx118
 1-割ピン φ5x40 (SUS304)

ステップ詳細

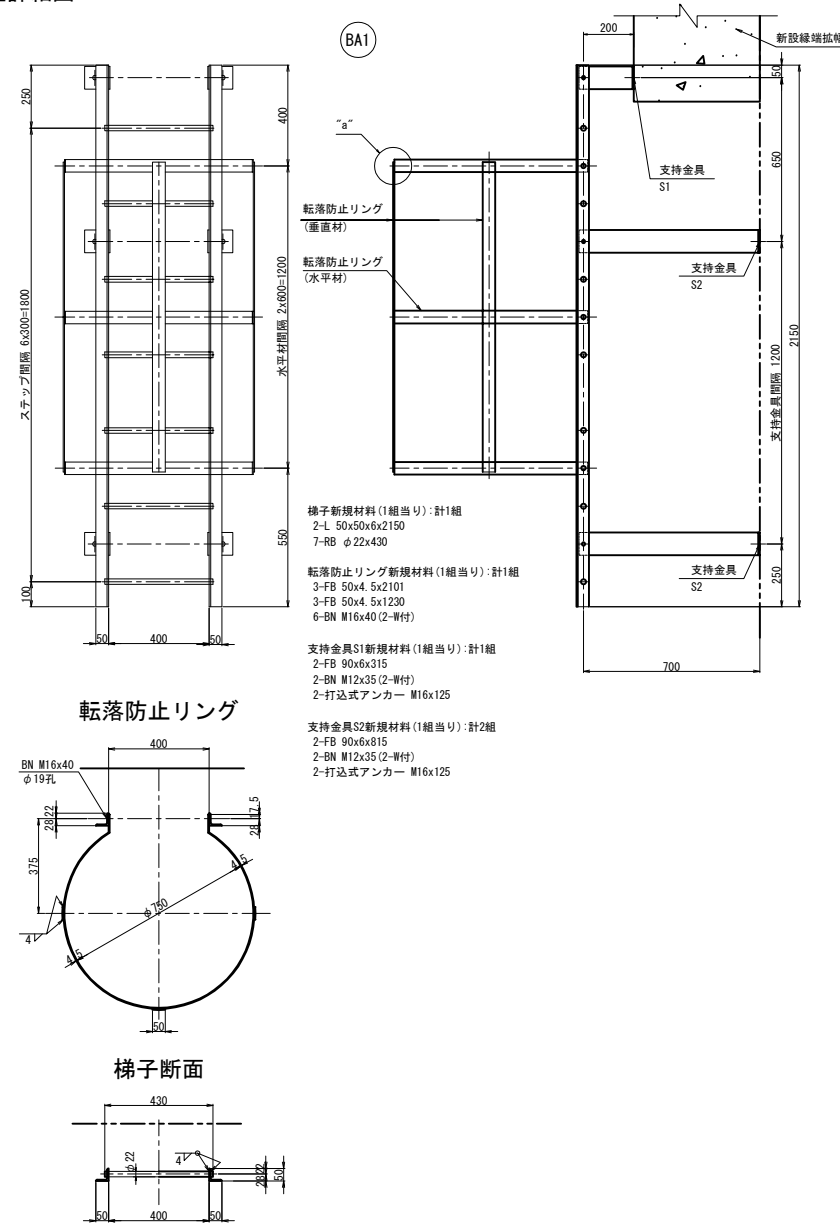


(注記)

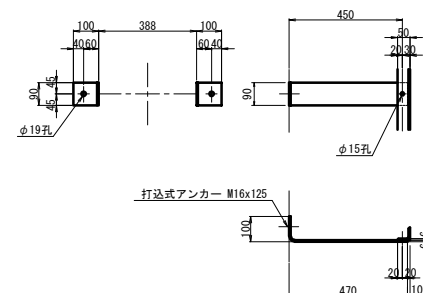
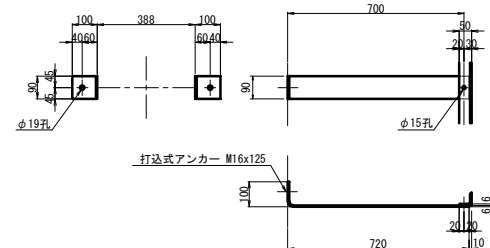
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーリングは全て50Rとする。
3. ボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの厚膜は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 H24777、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 H24763、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 H24749とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前には
プラスト処理とする。
5. 工場製作は現場実測確認のうえ行うこと。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路詳細図(その14) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

梯子設置詳細図



梯子支持金具S2

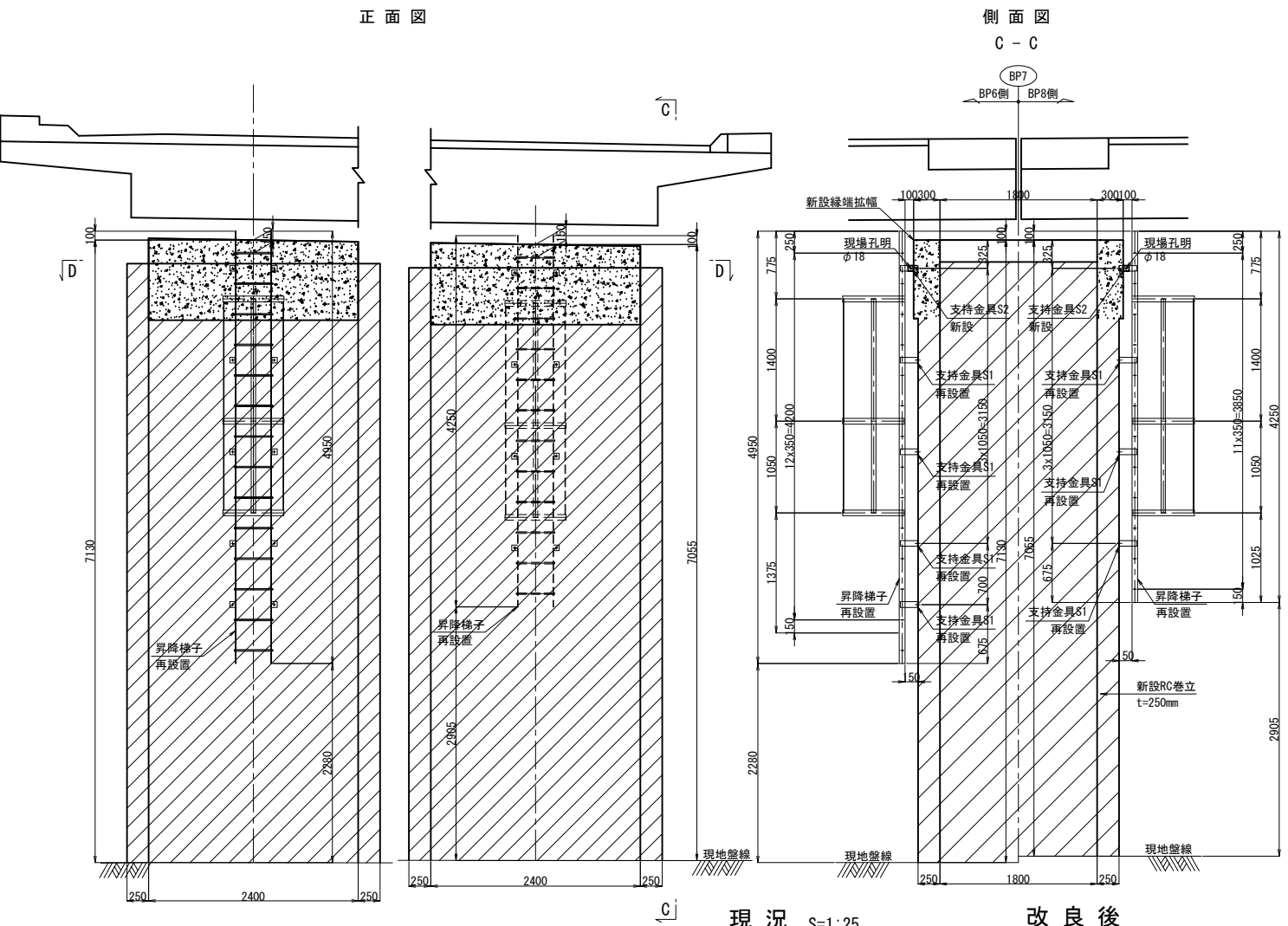
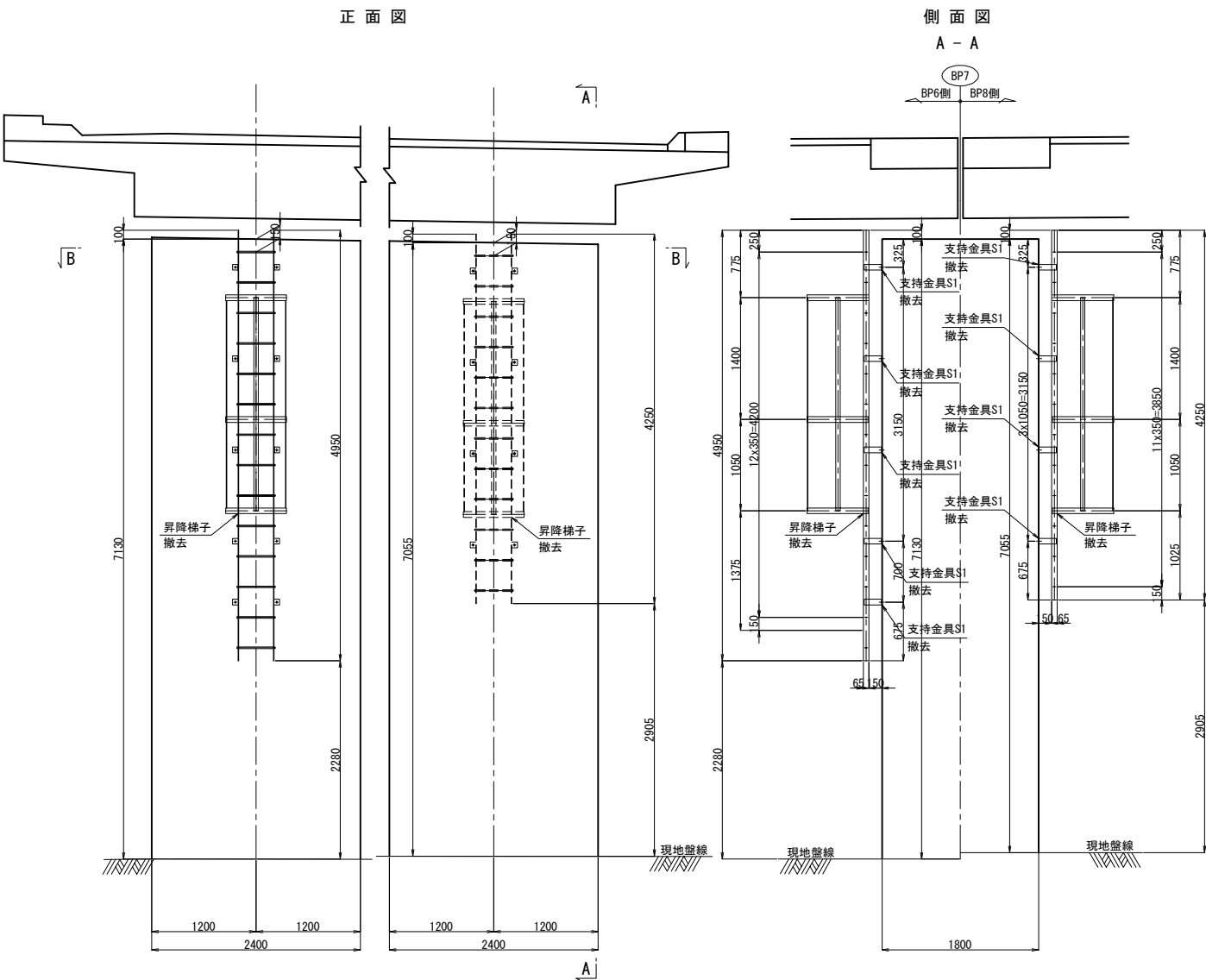


- | | | | |
|---------------------|----------------------------------|------|--|
| 長野自動車道
犀川橋耐震補強工事 | | | |
| 図面の種類 | 犀川橋
第五・第六工 検査図詳細図(その15) (参考図) | | |
| 縮 尺 | 図示 | 図面番号 | |
| 設計会社名 | 株式会社 近代設計 | | |
| 施工会社名 | | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路株式会社 関東支社
長 野 工 事 務 所 | | |

BP7橋脚

撤去図

復旧図

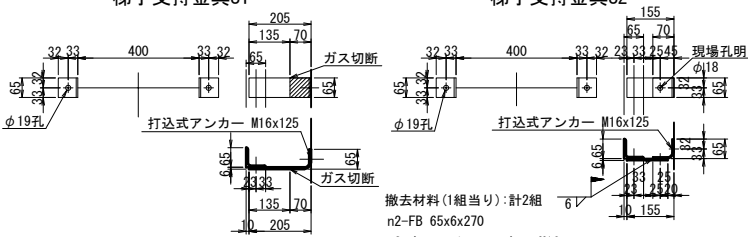


平面図
B - B

平面図
D - D

現況 S=1:25
梯子支持金具S1

改良後
梯子支持金具S2



- 昇降梯子撤去材料(1組当り):計2組
2-FB 65x6xLL1
n1-RB 22φx452 (SR235)
2-FB 65x6x1889
3-FB 50x6x1050
- 昇降梯子復旧材料(1組当り):計2組
2-FB 65x6xLL1
n1-RB 22φx452 (SR235)
2-FB 65x6x1889
3-FB 50x6x1050

	LL1	n1	n2
P7L	4950	14	8
P7R	4250	12	6

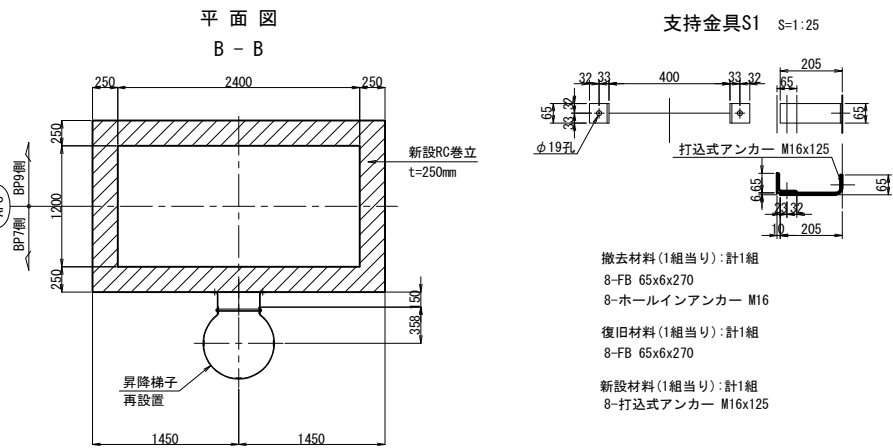
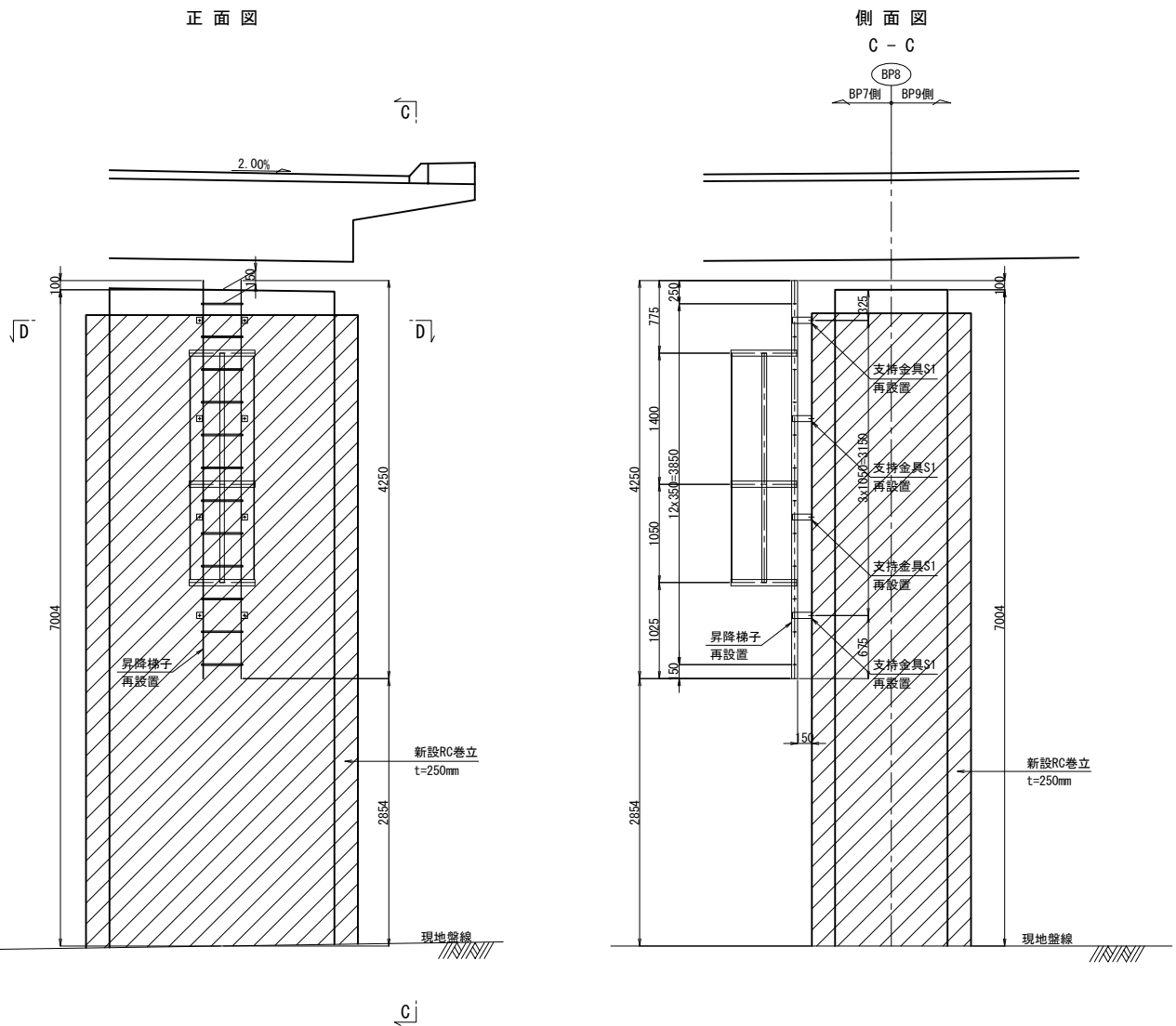
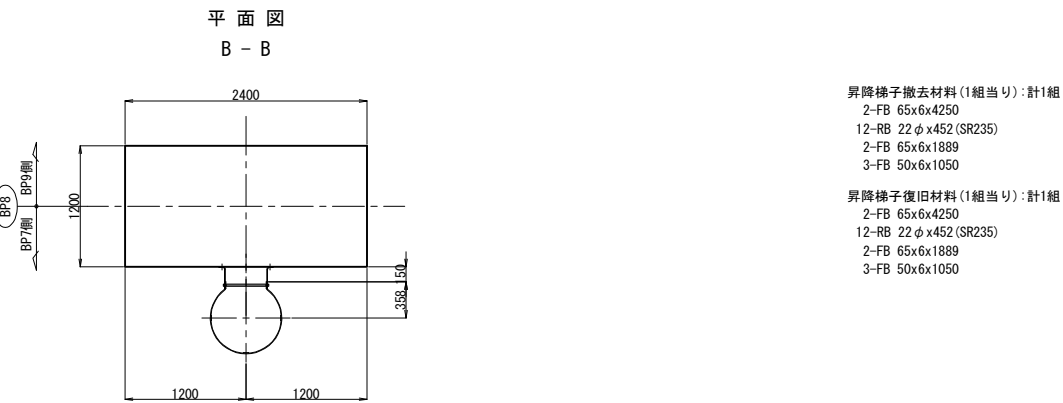
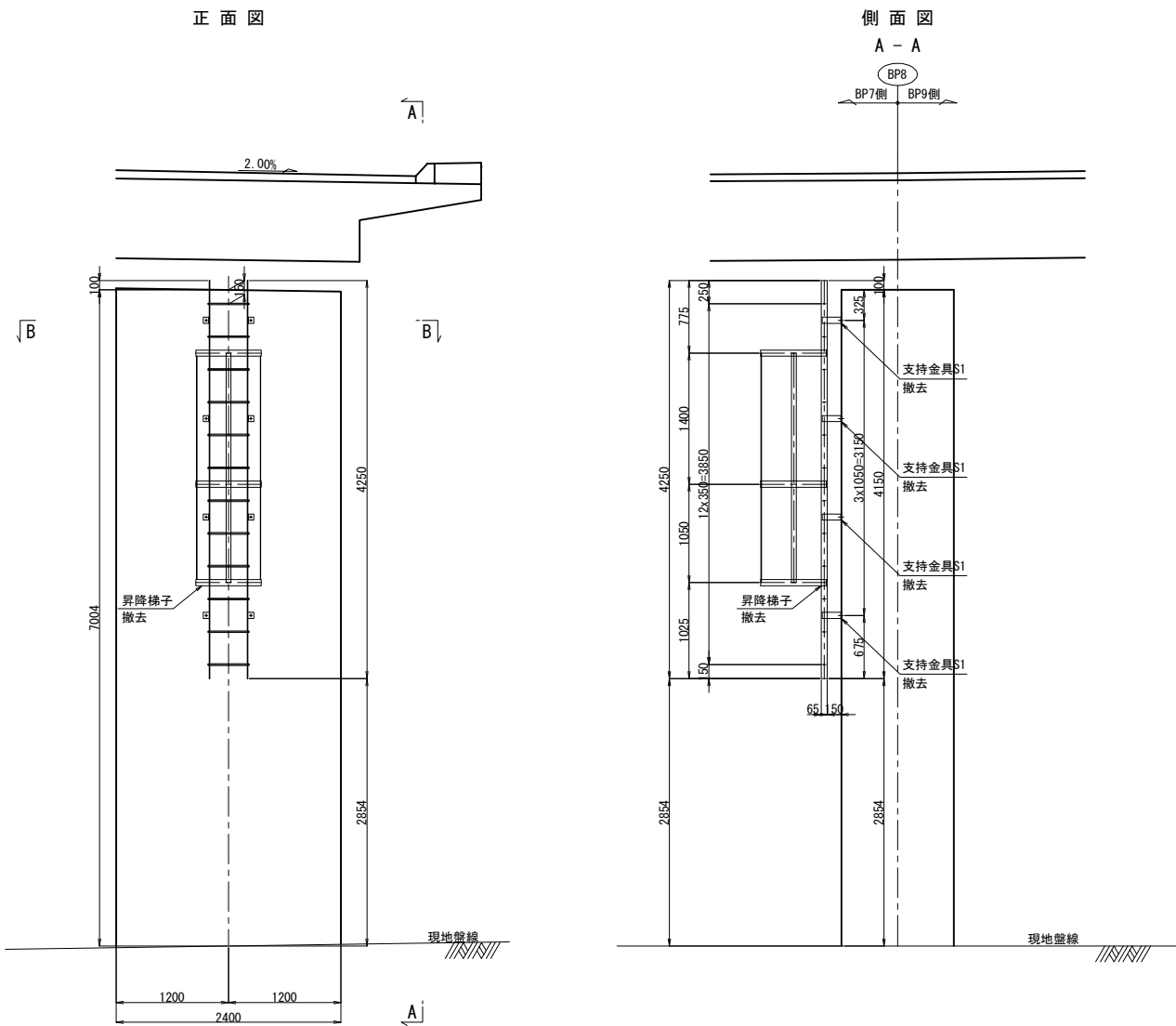
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その16) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

BP8橋脚

撤去図

復旧図



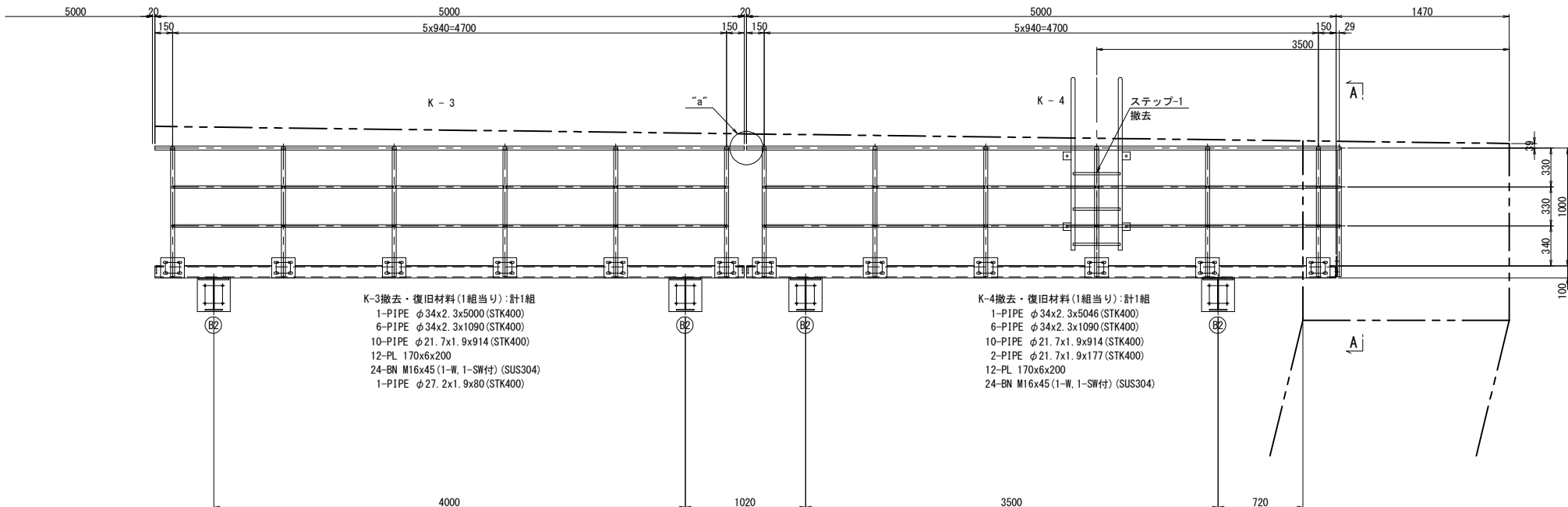
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その17) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

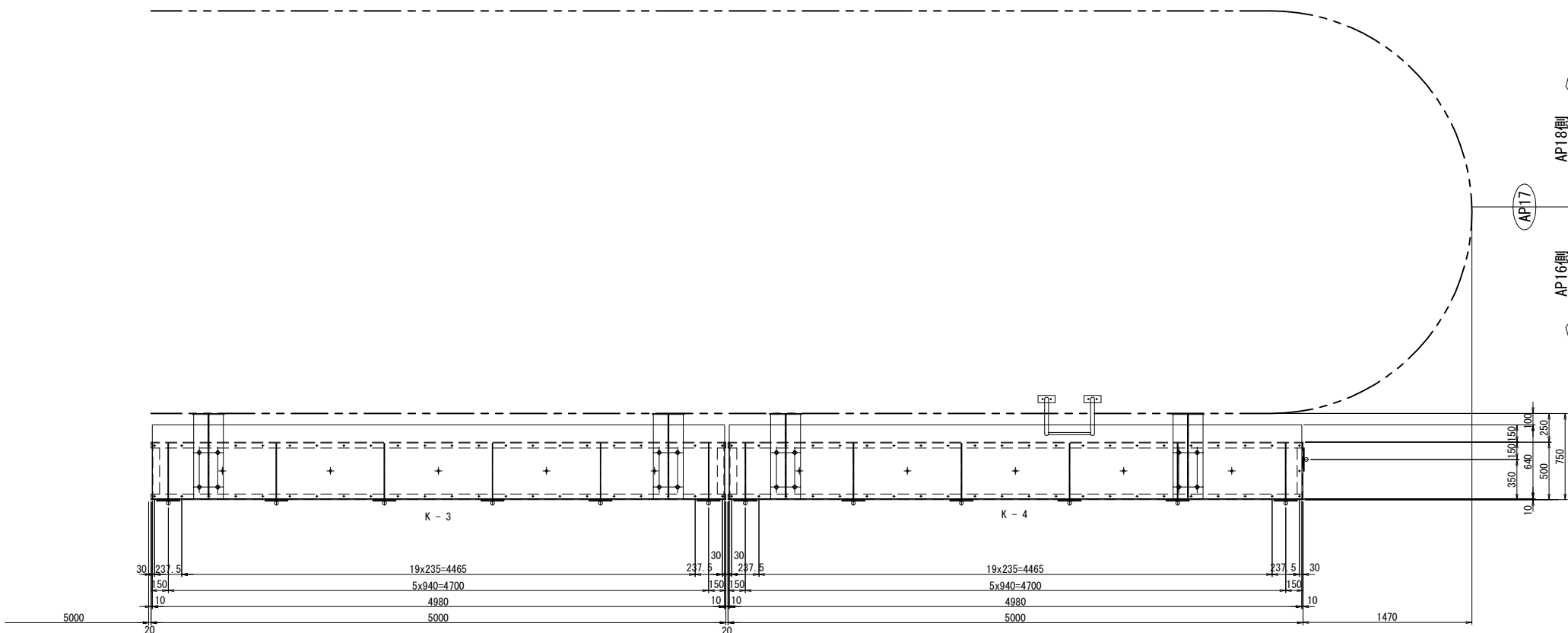
犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その18) (参考図) S=1:50

AP17橋脚 (AP16側)

正面图



平面图

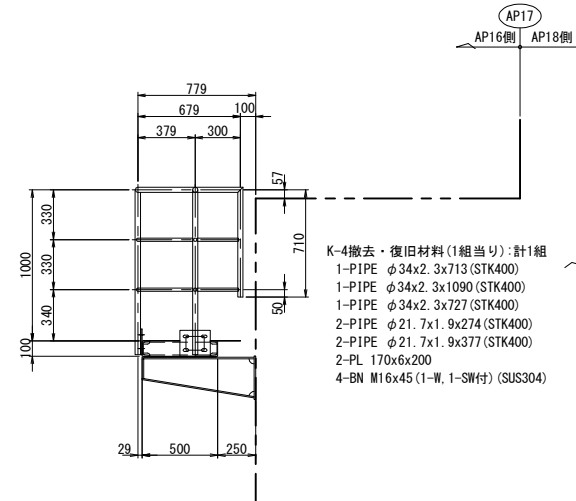


K-3撤去・復旧材料(1組当り):計1組
2-[100x50x5x7.5x5000
2-L 65x65x6x490
1-Ch PL 640x3.2x4980
6-FB 50x6x490
2-PL 260x8x480
8-BN M16x45 (1-W, 1-SW付) (SUS304)
46-BN M10x30 (1-TW付) (SUS304)

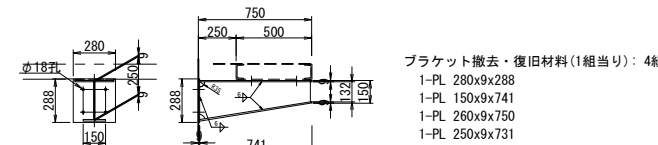
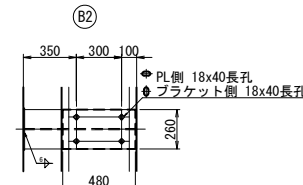
K-4撤去・復旧材料(1組当り):計1組
2-[100x50x5x7.5x5000
1-[100x50x5x7.5x490
1-L 65x65x6x490
1-Ch PL 640x3.2x4980
6-FB 50x6x490
2-PL 260x8x480
8-BN M16x45(1-W, 1-SW付)(SUS304)
46-BN M10x30(1-TW付)(SUS304)

側面図

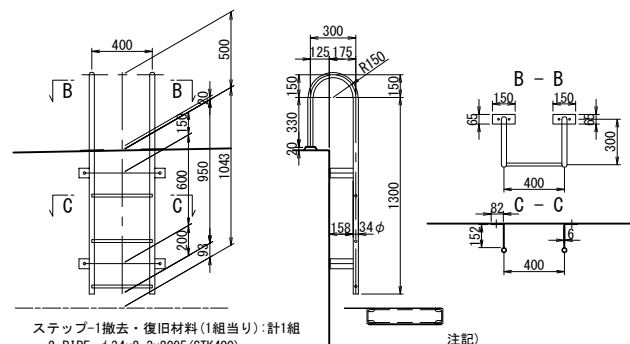
A -



ブラケット詳細図



ステップ詳細



ステップ1撤去・復旧材料(1組当り):計1組

2-PIPE	φ34x2.3x2095(STK400)
3-RB	φ19x400
2-FB	65x6x240
4-FB	65x6x150

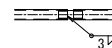
ステップ-1撤去材料(1組当り):計1組
8-コンクリートアンカー M16

ステップ-1新規材料(1組当り):計1組
8-打ち込み式アンカー M16

注意

- 2. 特記なき材質は全てSS400とする。
- 3. 特記なきスカラーピンは全て50Rとする。
- 4. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めのナットを使用する。
- 5. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
- 溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以下の部材はJIS H8641 H2D77Z、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 H2D76Z、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 H2D749とする。
- また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
- 5. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 6. ボルト孔はメッキ付部を考慮し、ボルト径+3mm標準とする。

"a"部詳細 S=1:2

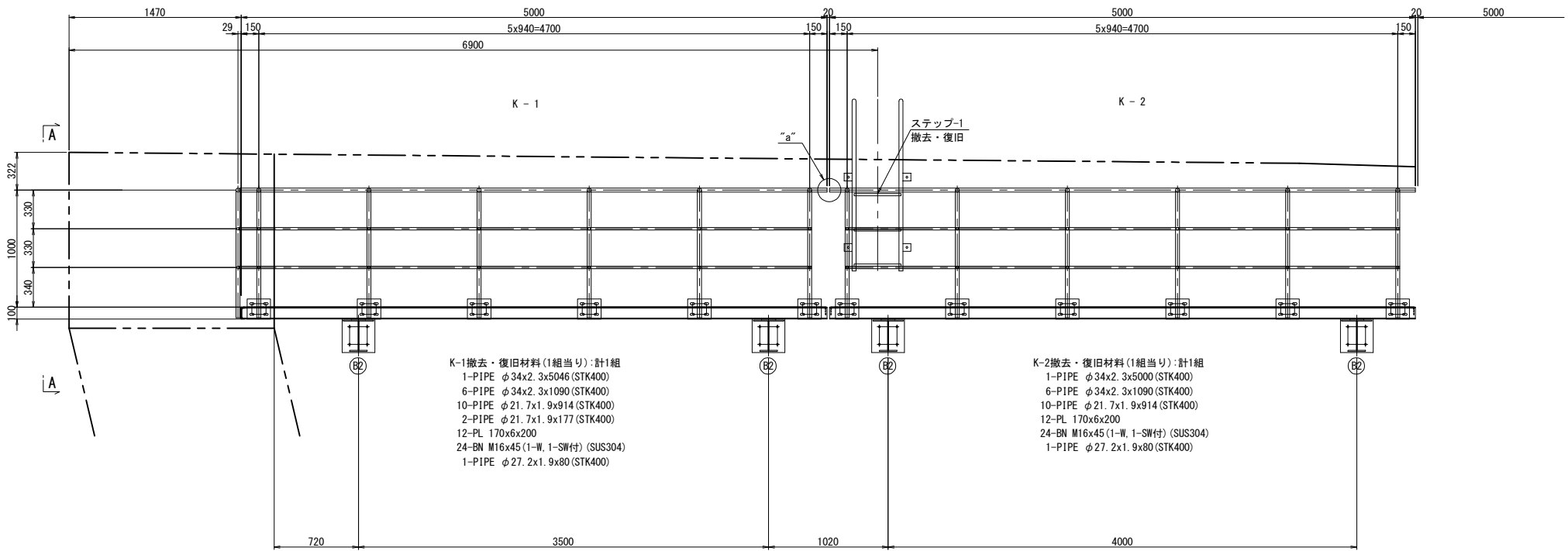


長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路別詳細図(その18) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野道路工事事務所		

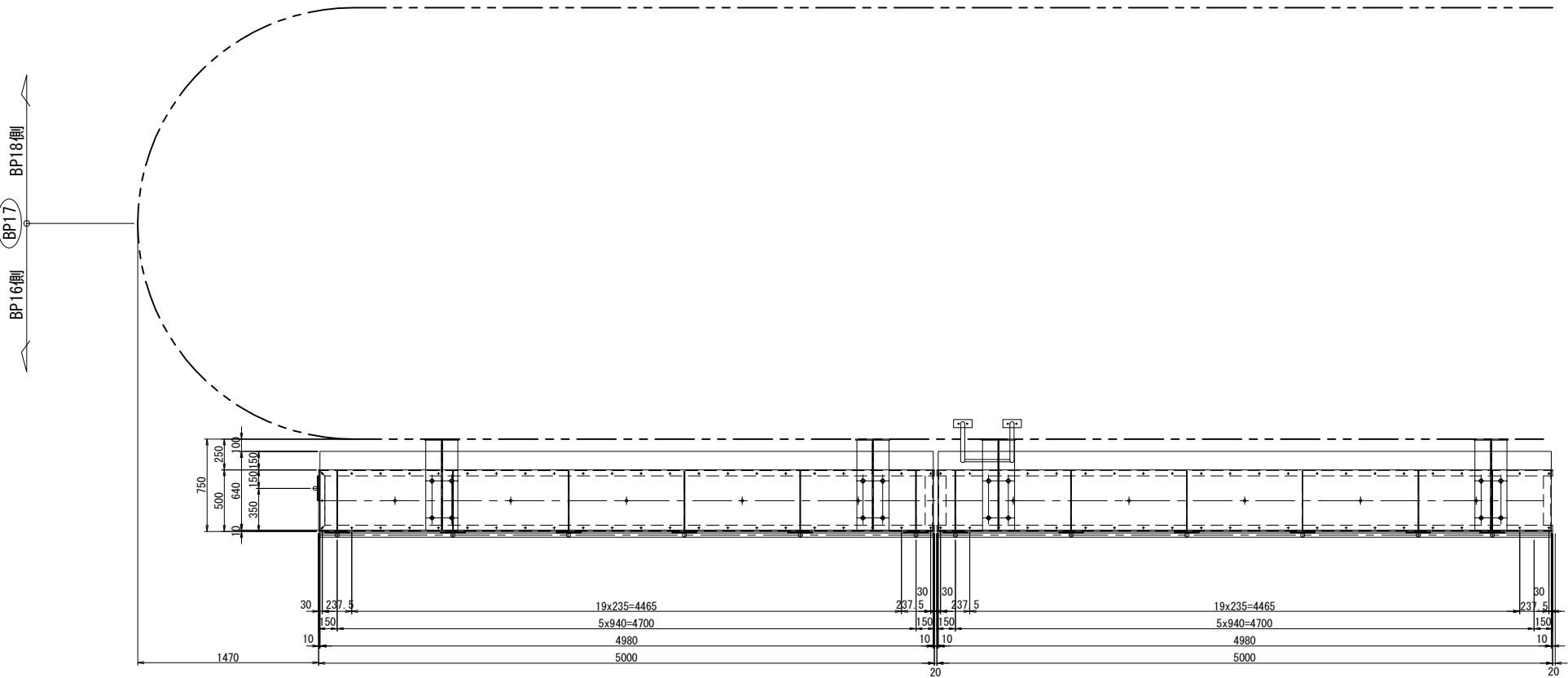
犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その19) (参考図) S=1:50

BP17橋脚 (BP16側)

平面図

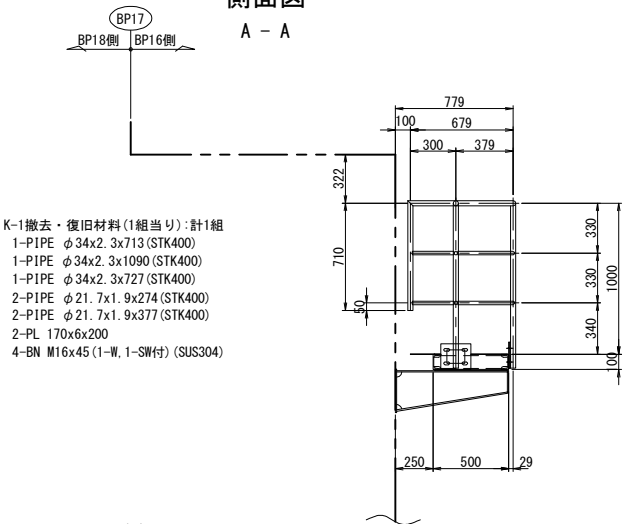


平面図



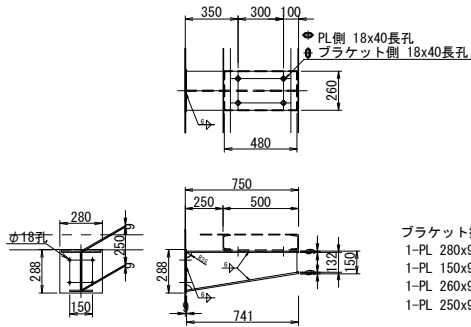
側面図

A - A

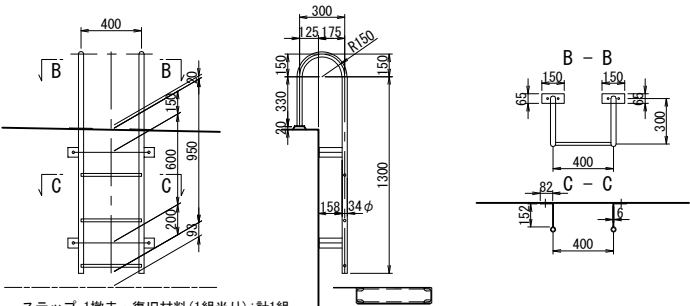


ブラケット詳細図

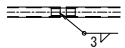
(B2)



ステップ詳細

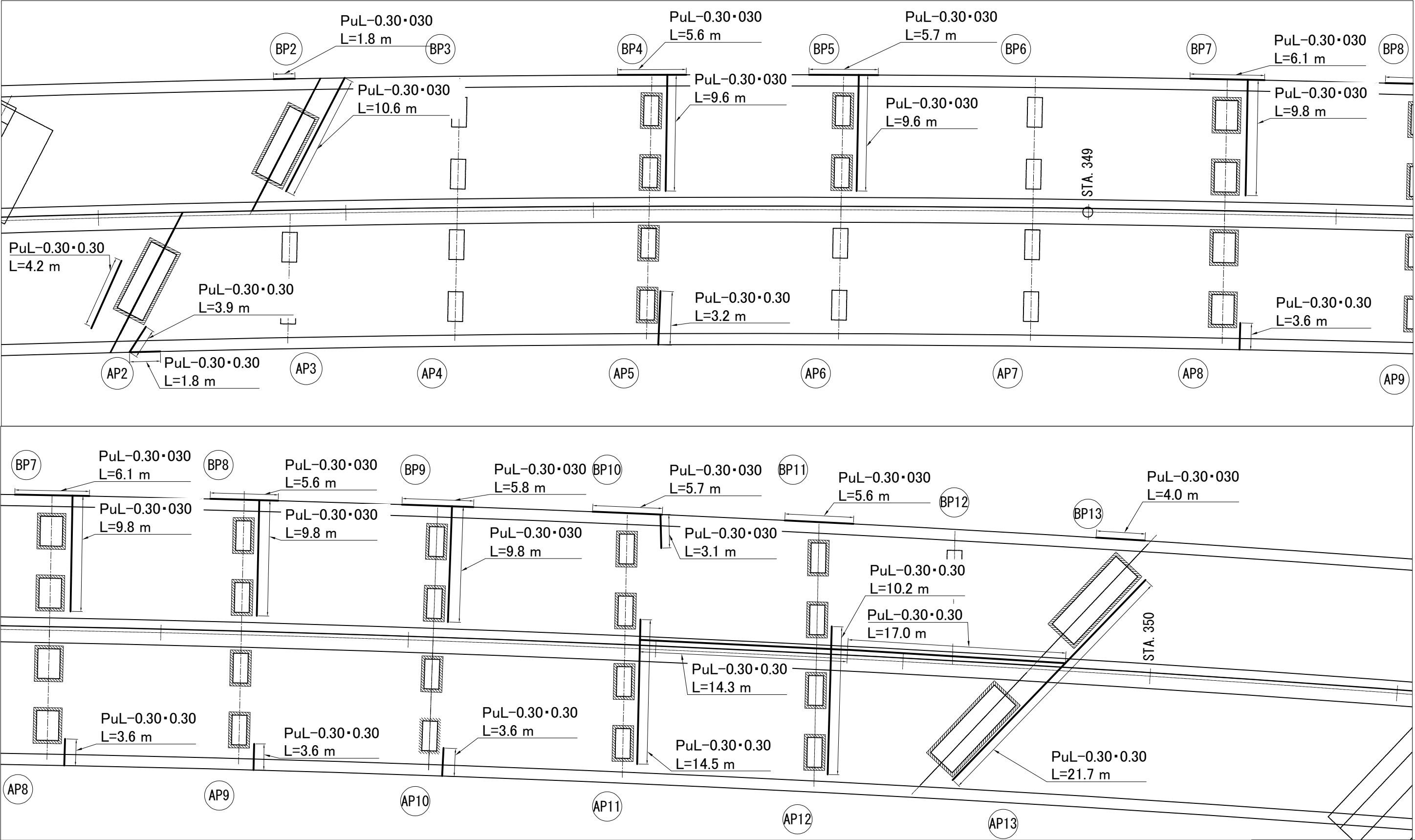


"a"部詳細 S=1:25

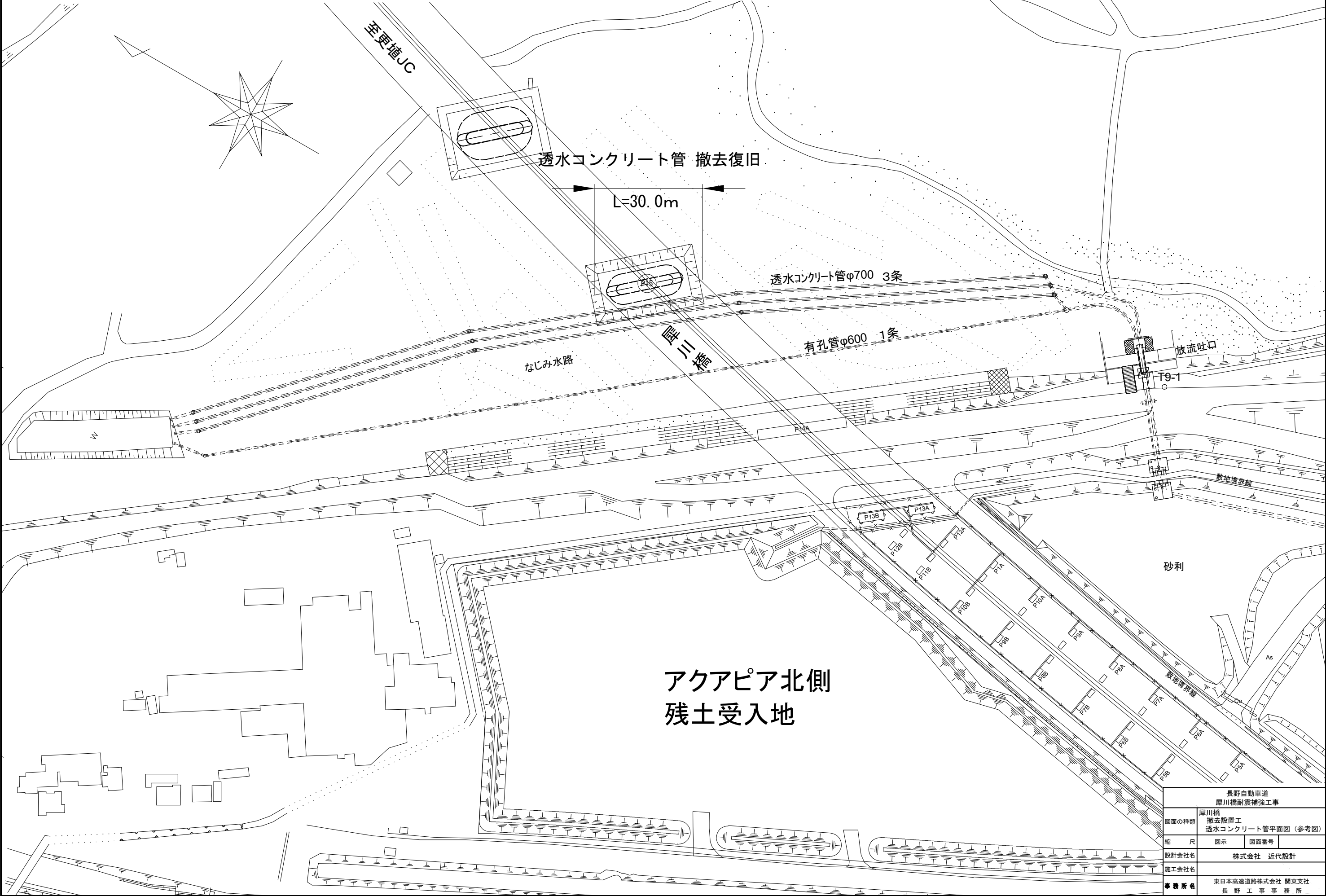


- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. Uボルト付き以外のナットは全て緩止めナットを使用すること。
 4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3. 2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3. 2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3. 2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 5. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 検査路B詳細図(その19) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



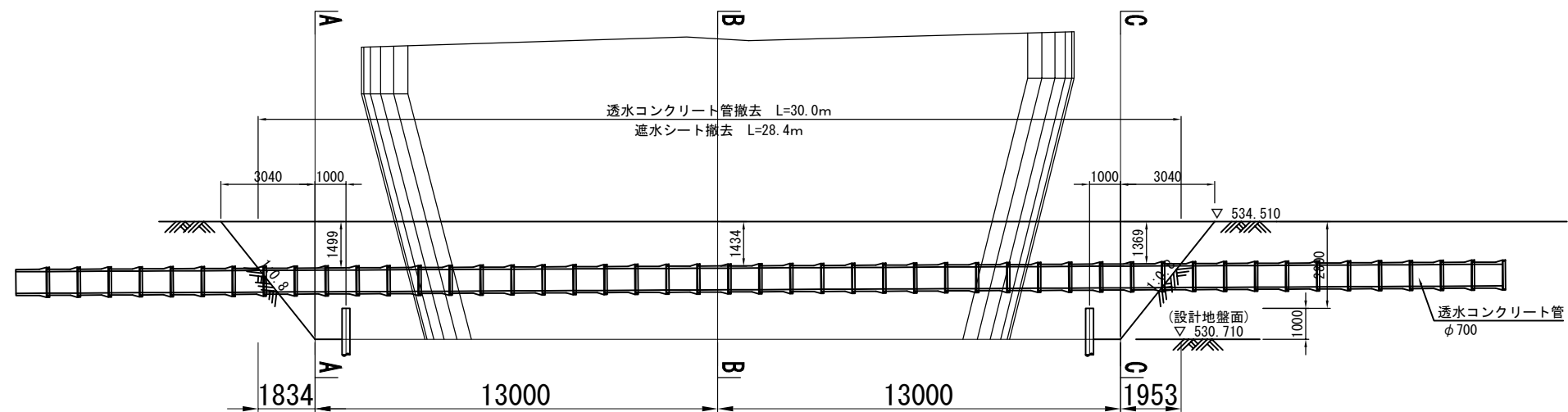
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去・設置工 プレキャストU型排水溝A図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



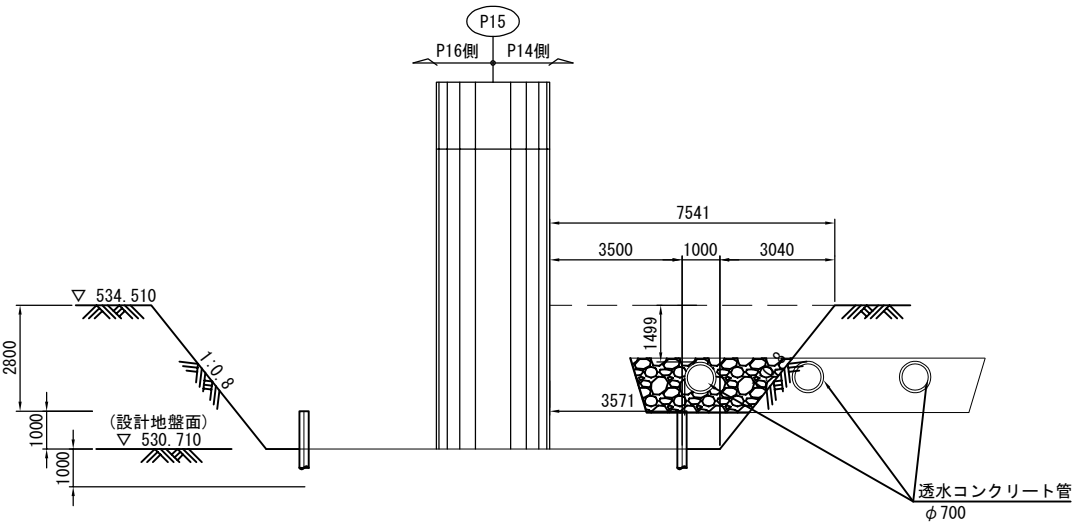
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去設置工 透水コンクリート管平面図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋 撤去・設置工 透水コンクリート管詳細図（参考図）

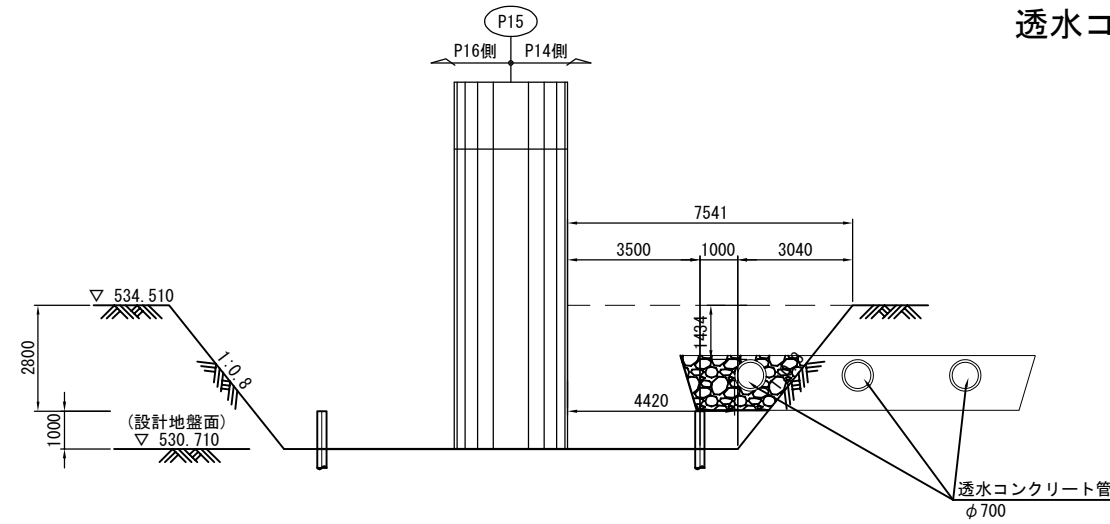
P 1 5 橋脚正面図（起点側）S=1:100



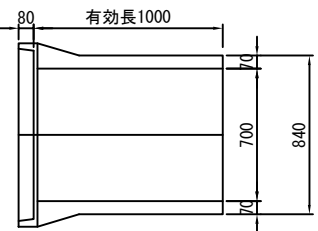
A - A S=1:100



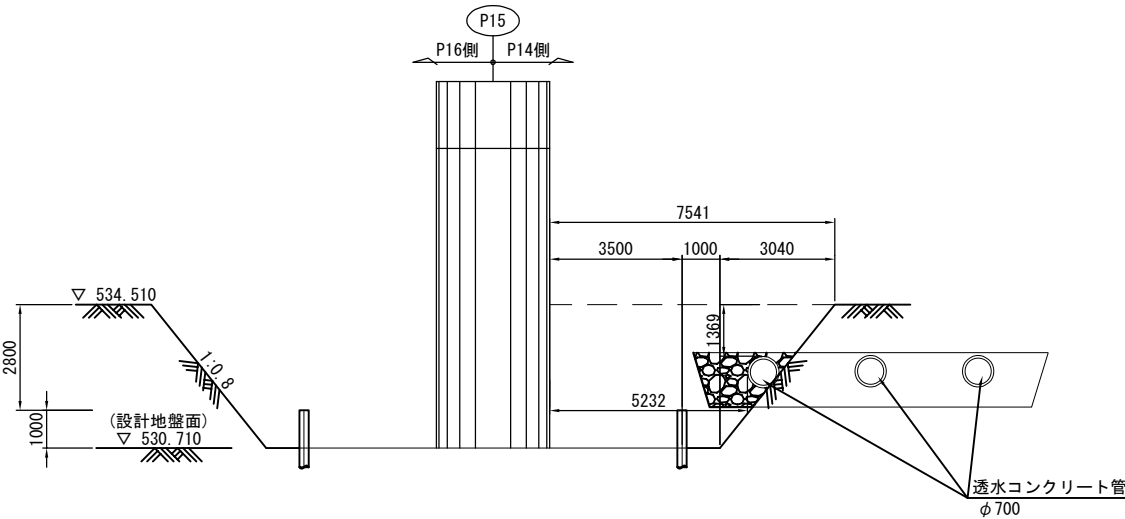
B - B S=1:100



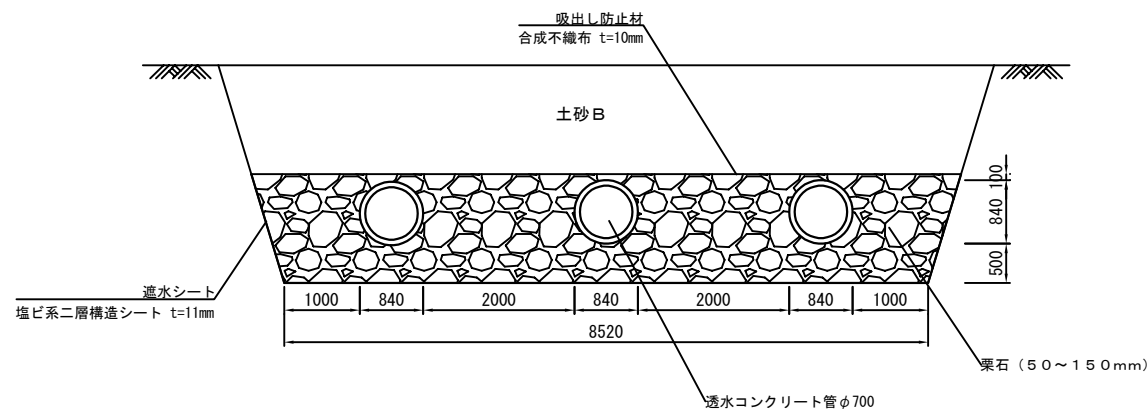
透水コンクリート管構造図 S=1:20



C - C S=1:100



なじみ水路標準横断図 S=1:50



数量表				
種別	規格	単位	数量	備考
透水コンクリート管	φ700	m	30.0	撤去、設置数量
玉石	50~150mm	m3	92.1	撤去、設置数量
遮水シート	塩ビ系二層構造シート t=11mm	m2	94.8	撤去、設置数量
吸出し防止材	合成不織布 t=10mm	m2	97.6	撤去、設置数量

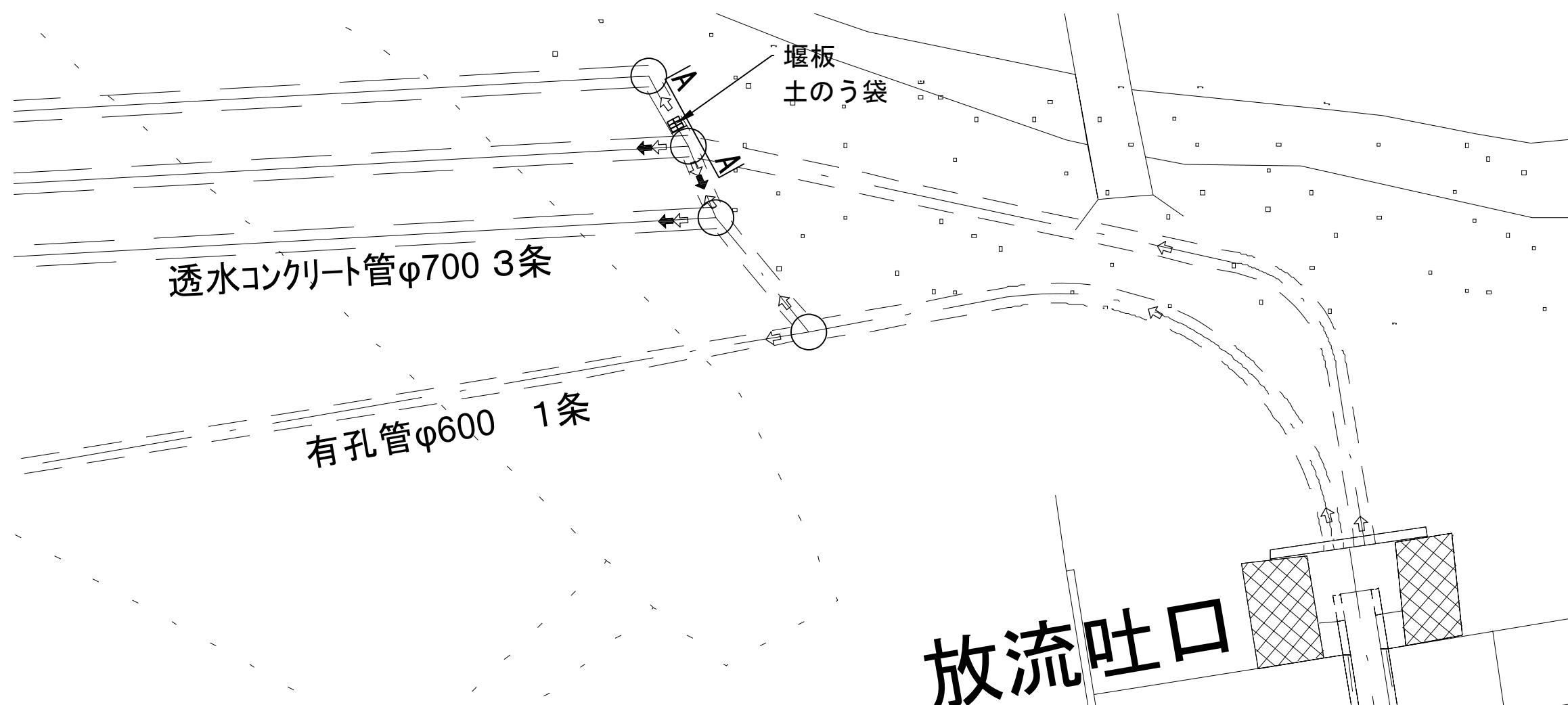
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去設置工 透水コンクリート管詳細図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

犀川橋 なじみ水路流水変更図（参考図）

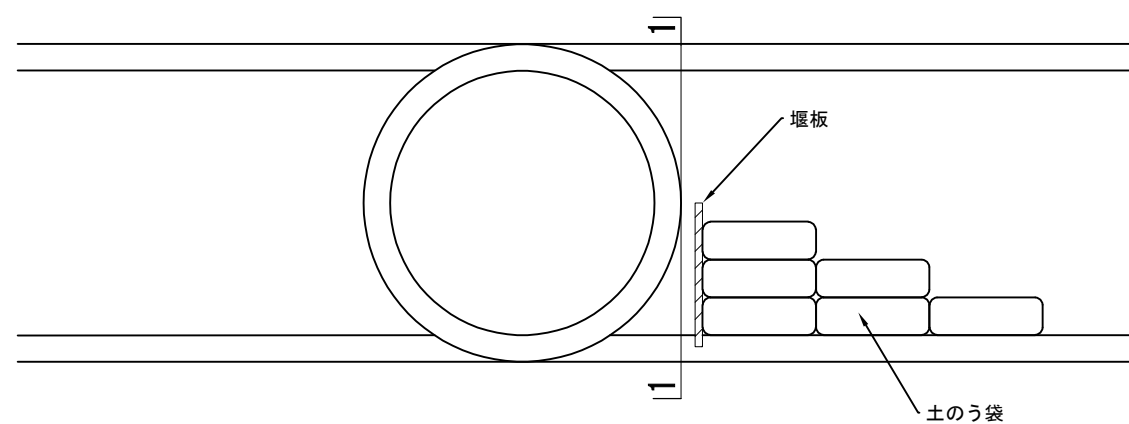
平面図 S=1:1000

凡例

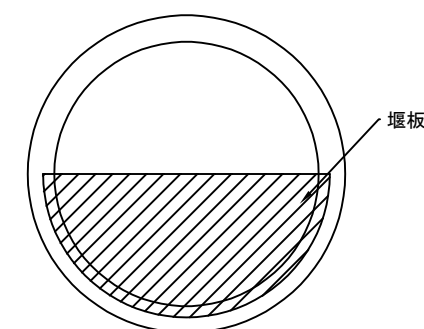
↑：変更前の水の流れ
 ↑：変更後の水の流れ



A-A断面 S=1:100

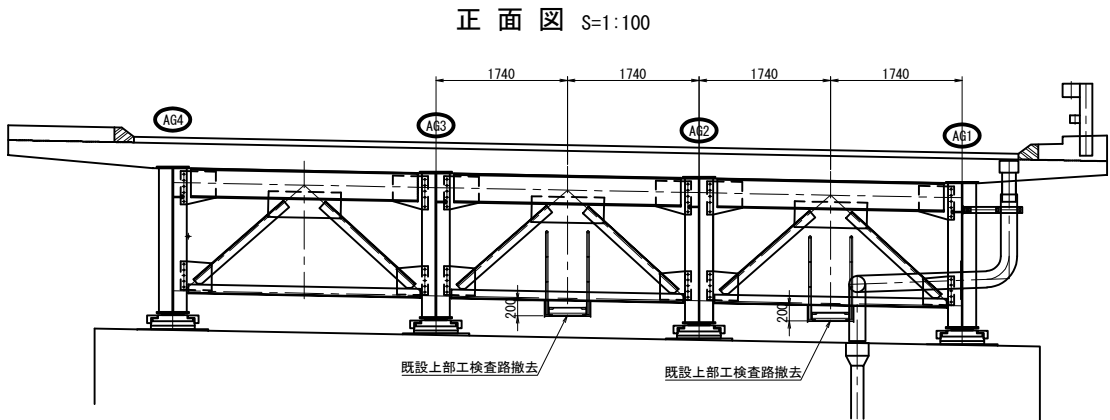
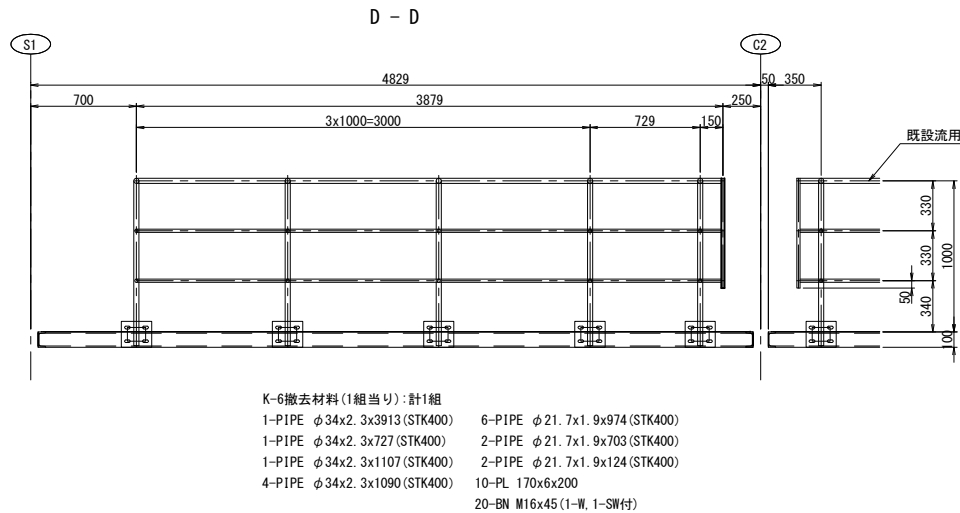
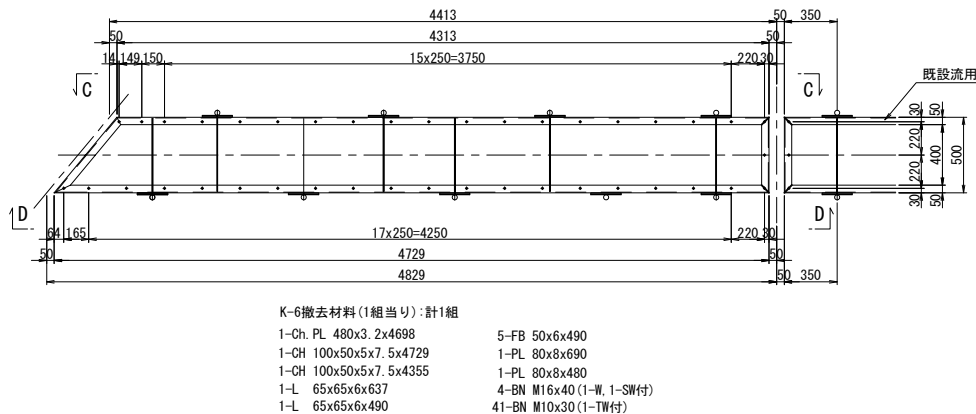
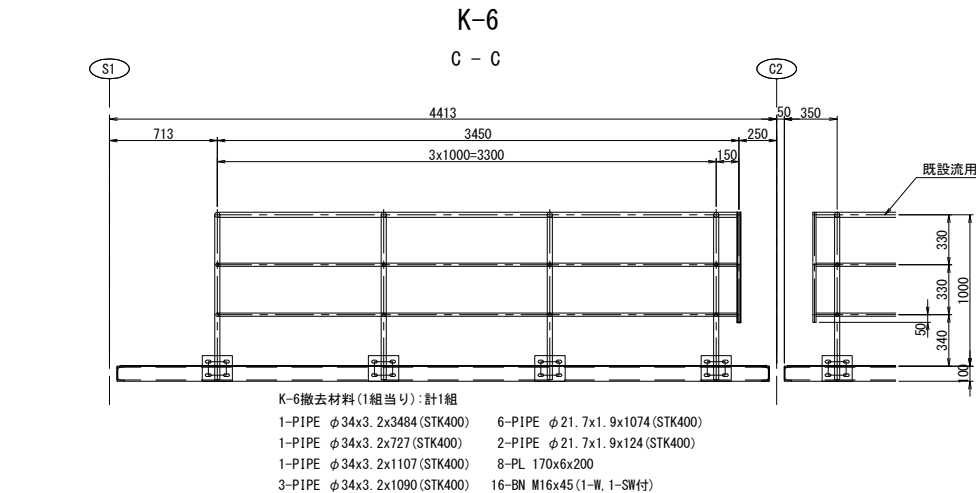
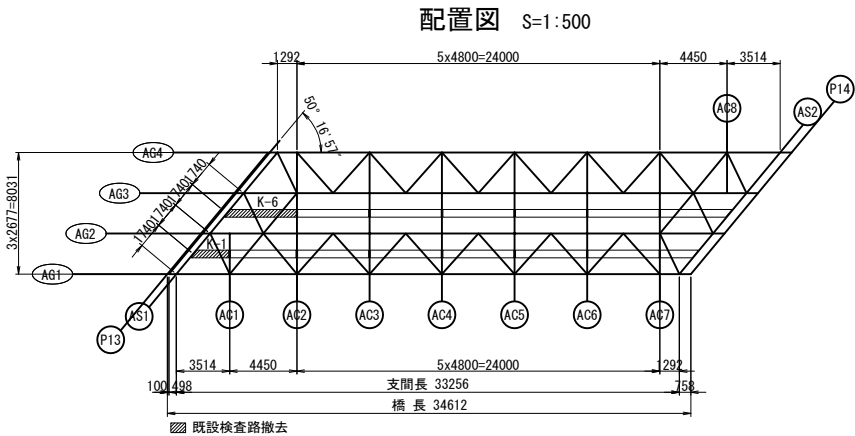
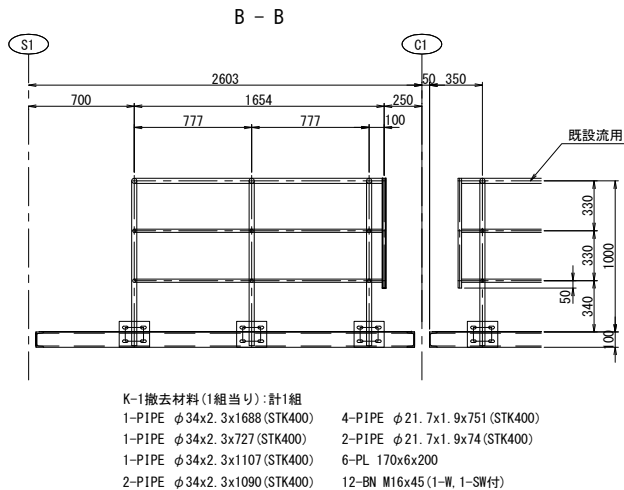
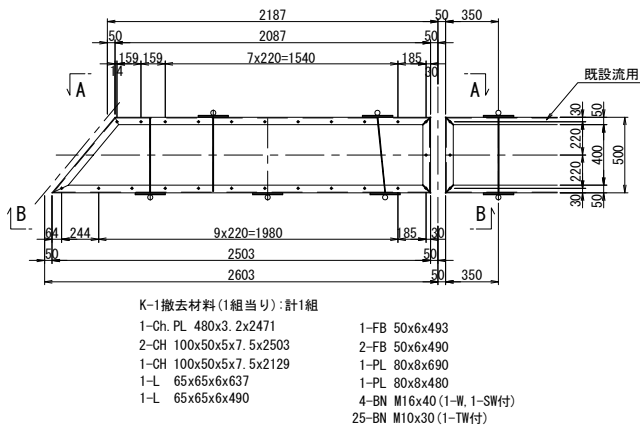
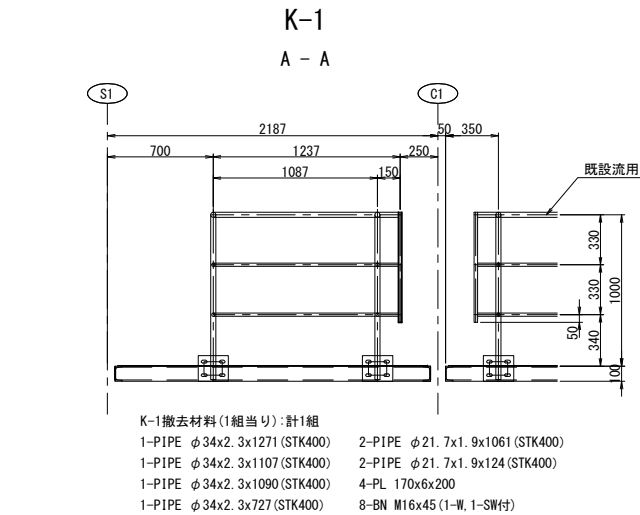


1-1断面 S=1:100



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 なじみ水路流水変更図（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

AP13橋脚 (AP14側)

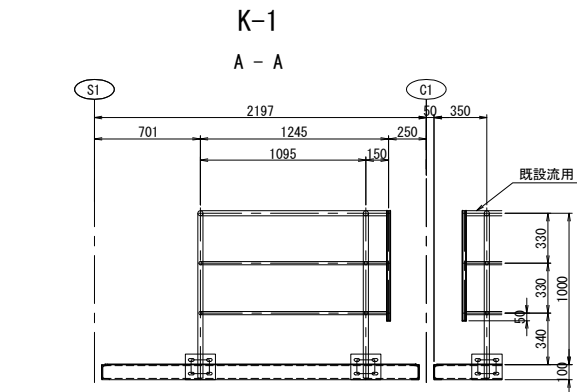


注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

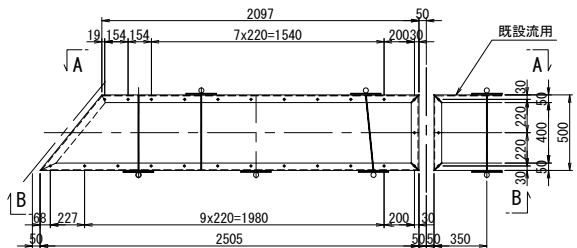
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去工 検査路A撤去詳細図 (その1) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋 撤去工 検査路A詳細図（その2）（参考図）S=1:50

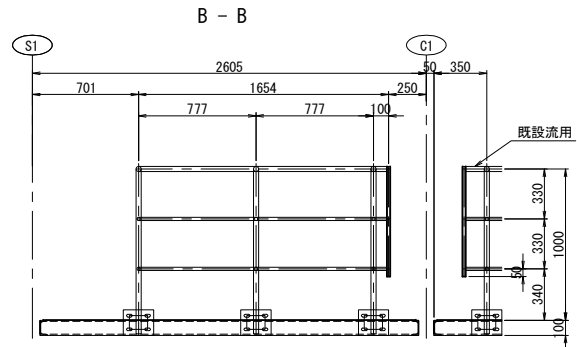
BP13橋脚 (BP14側)



K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1280(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x1070(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 4-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 8-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)



K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1688(STK400) 4-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x74(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 6-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 12-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)



K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1688(STK400) 4-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x74(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 6-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 12-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

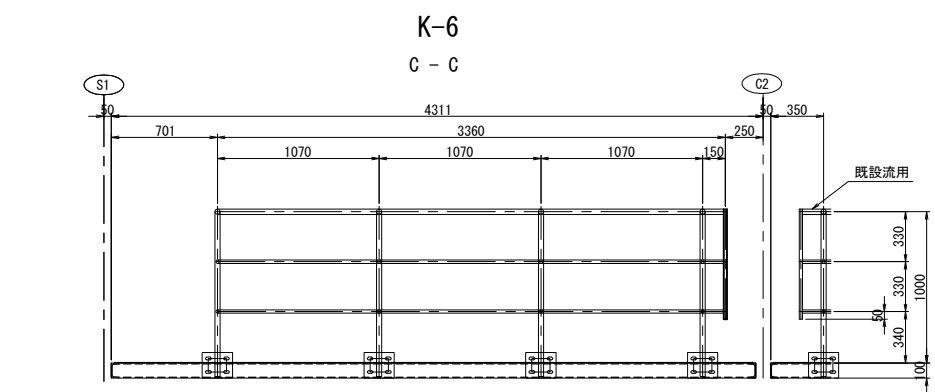
K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1688(STK400) 4-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x74(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 6-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 12-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1688(STK400) 4-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x74(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 6-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 12-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

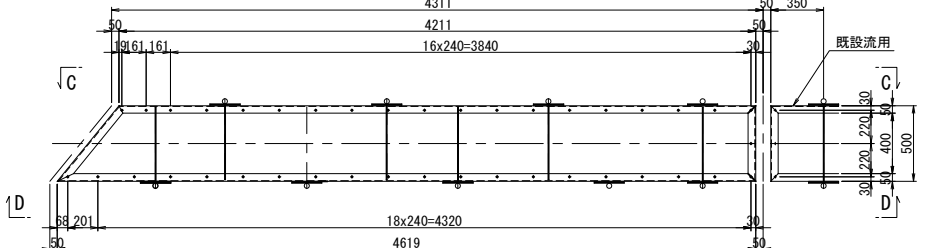
K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1688(STK400) 4-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x74(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 6-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 12-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1688(STK400) 4-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x74(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 6-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 12-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

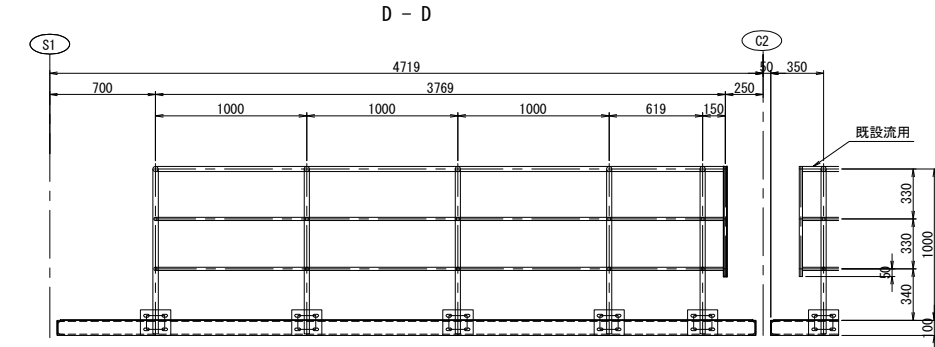
K-1撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x1688(STK400) 4-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x74(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 6-PL 170x6x200
2-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 12-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)



K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x3.2x3394(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x1044(STK400)
1-PIPE φ34x3.2x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
1-PIPE φ34x3.2x1107(STK400) 8-PL 170x6x200
3-PIPE φ34x3.2x1090(STK400) 16-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)



K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x3803(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x593(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
4-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 10-PL 170x6x200
20-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)



K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x3803(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x593(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
4-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 10-PL 170x6x200
20-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

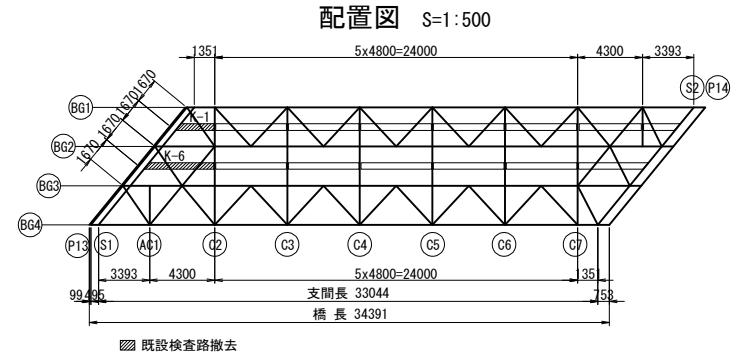
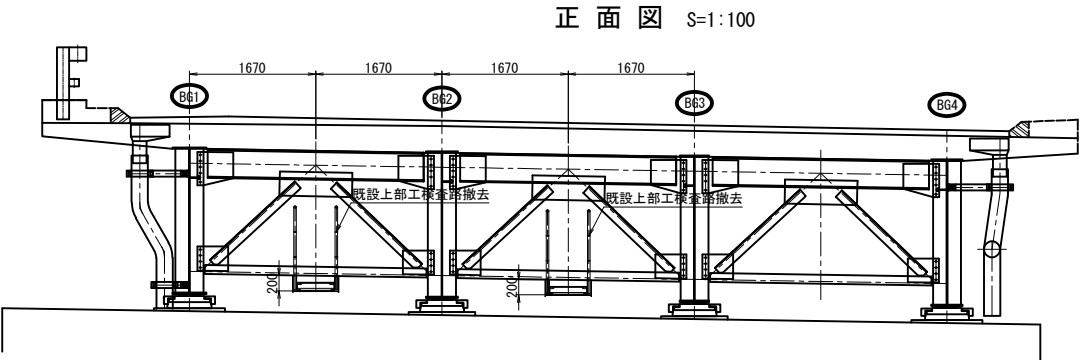
K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x3803(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x593(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
4-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 10-PL 170x6x200
20-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x3803(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x593(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
4-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 10-PL 170x6x200
20-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x3803(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x593(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
4-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 10-PL 170x6x200
20-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

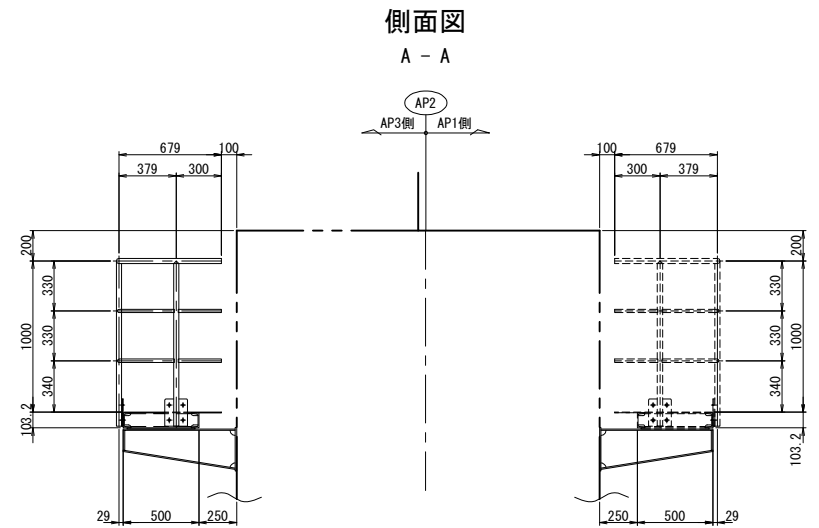
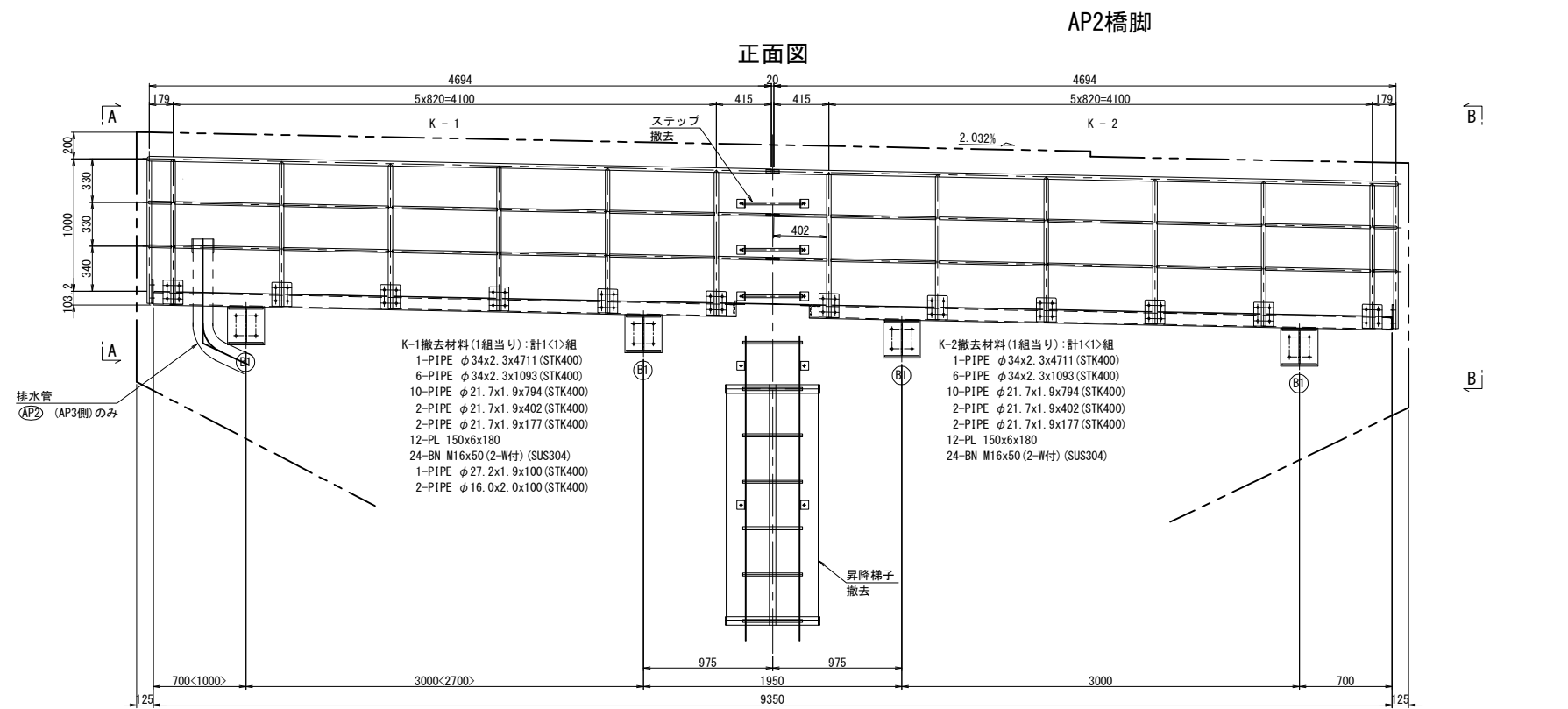
K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x3803(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x593(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
4-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 10-PL 170x6x200
20-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

K-6撤去材料(1組当り):計1組
1-PIPE φ34x2.3x3803(STK400) 6-PIPE φ21.7x1.9x974(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x727(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x593(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1107(STK400) 2-PIPE φ21.7x1.9x124(STK400)
4-PIPE φ34x2.3x1090(STK400) 10-PL 170x6x200
20-BN M16x45(1-W,1-SW付)(SUS304)

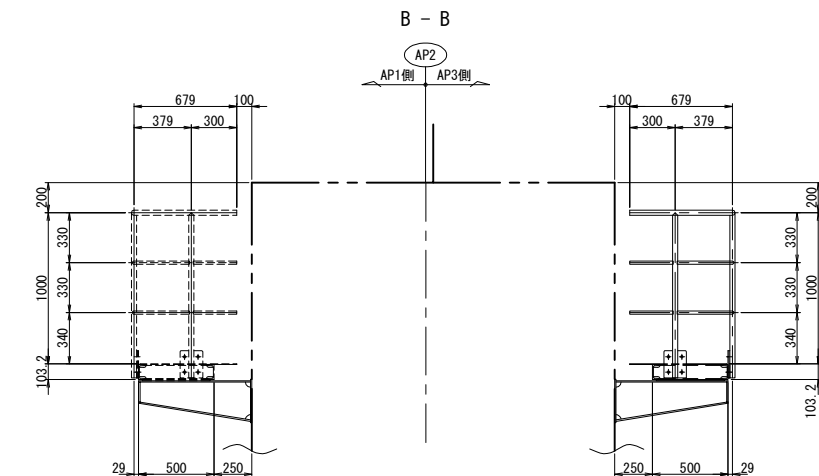


- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

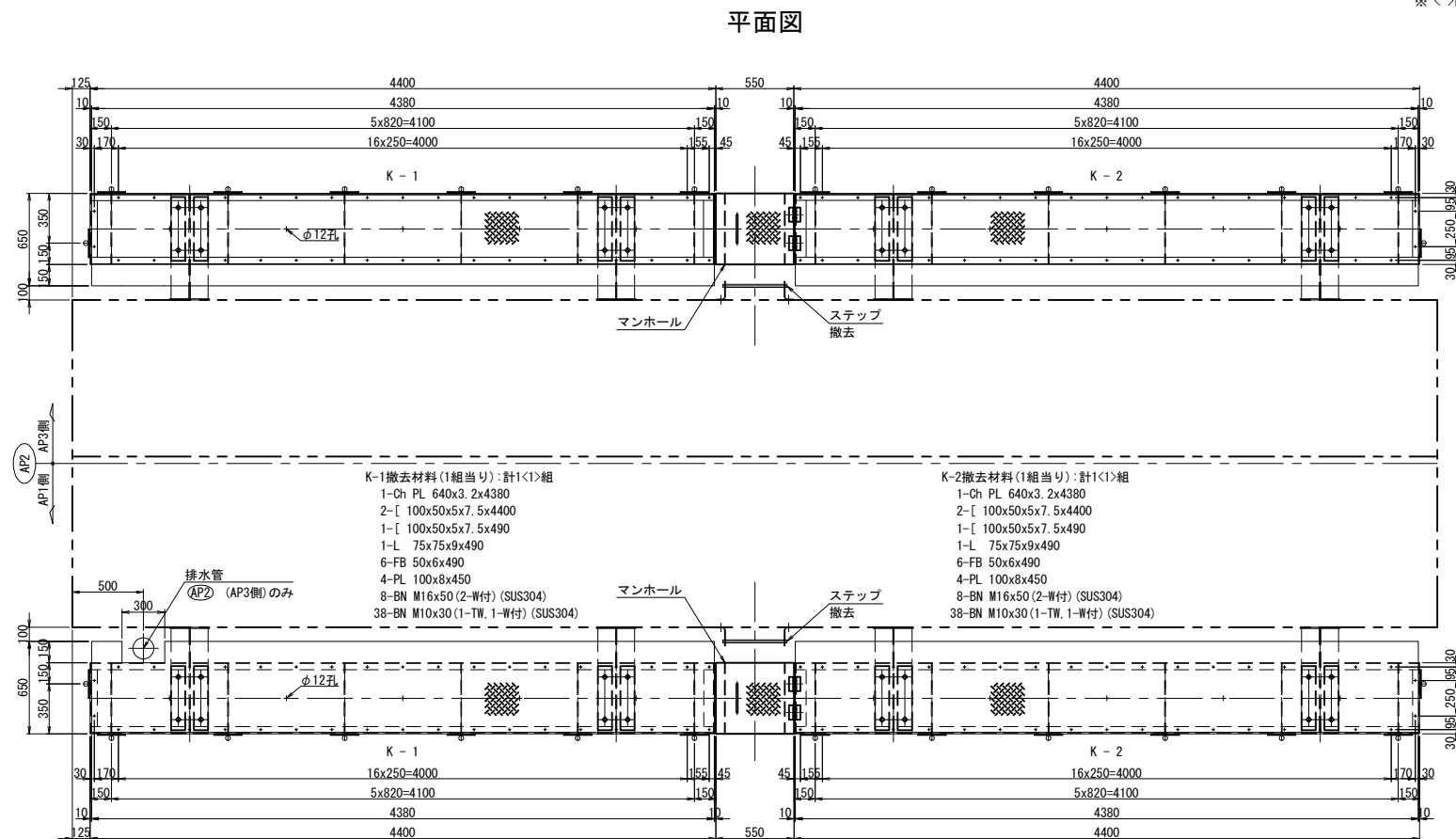
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	撤去工 検査路A詳細図（その2）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



K-1撤去材料(1組当り):計1<1>組
1-PIPE φ34x2.3x696 (STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287 (STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50 (2-W付) (SUS304)



K-2撤去材料(1組当り):計1<1>組
1-PIPE φ34x2.3x696 (STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287 (STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50 (2-W付) (SUS304)

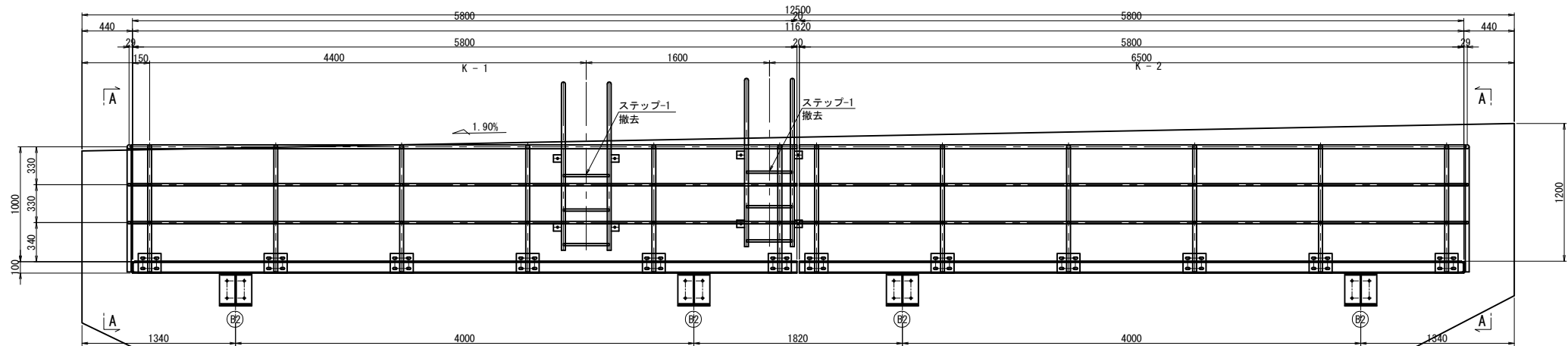


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	撤去工 検査路B 詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長 野 工 事 事 務 所		

AP13橋脚 (AP14側)

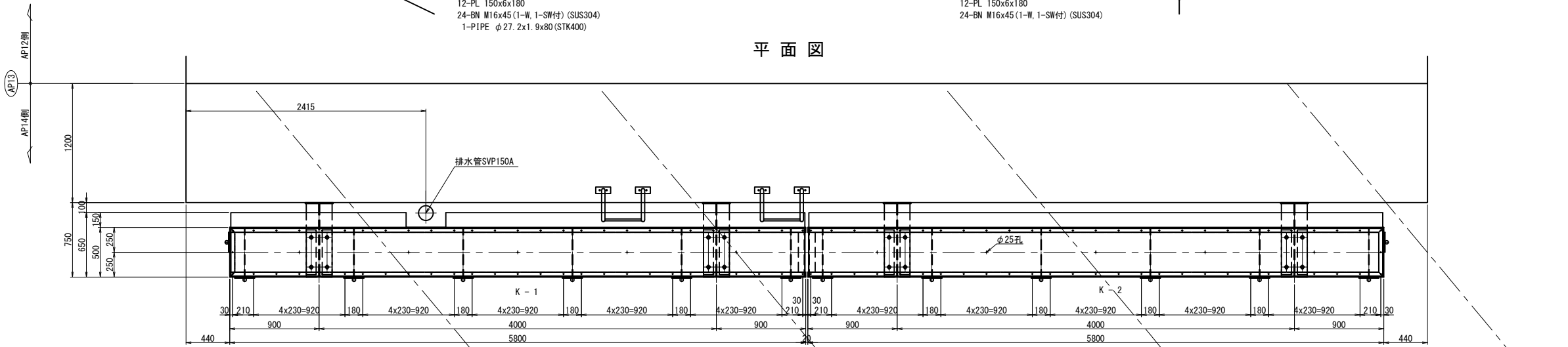
正面図



K-1撤去材料 (1組当り): 計1組
1-PIPE φ34x2. 3x5846 (STK400)
6-PIPE φ34x2. 3x1090 (STK400)
10-PIPE φ21. 7x1. 9x1074 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x402 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x177 (STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x45 (1-W, 1-SW付) (SUS304)
1-PIPE φ27. 2x1. 9x80 (STK400)

K-2撤去材料 (1組当り): 計1組
1-PIPE φ34x2. 3x5846 (STK400)
6-PIPE φ34x2. 3x1090 (STK400)
10-PIPE φ21. 7x1. 9x1074 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x402 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x177 (STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x45 (1-W, 1-SW付) (SUS304)

平面図

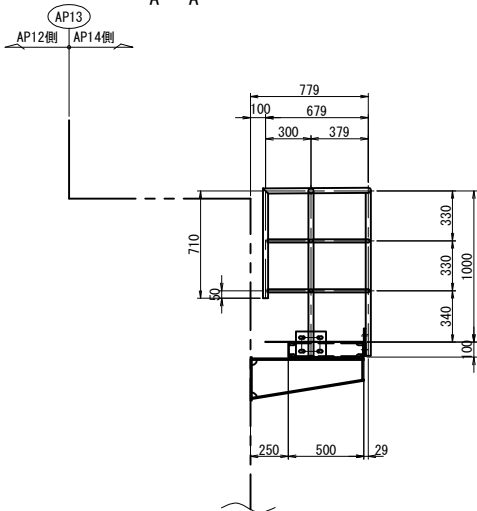


K-1撤去材料 (1組当り): 計1組
2-[100x50x5x7. 5x5800
1-[100x50x5x7. 5x490
1-L 65x65x6x490
6-FB 50x6x490
1-Ch PL 640x3. 2x5780
56-BN M10x30 (1-TW付) (SUS304)
2-PL 260x8x480
8-BN M16x45 (1-W, 1-SW付) (SUS304)

K-2撤去材料 (1組当り): 計1組
2-[100x50x5x7. 5x5800
1-[100x50x5x7. 5x490
1-L 65x65x6x490
6-FB 50x6x490
1-Ch PL 640x3. 2x5780
56-BN M10x30 (1-TW付) (SUS304)
2-PL 260x8x480
8-BN M16x45 (1-W, 1-SW付) (SUS304)

側面図

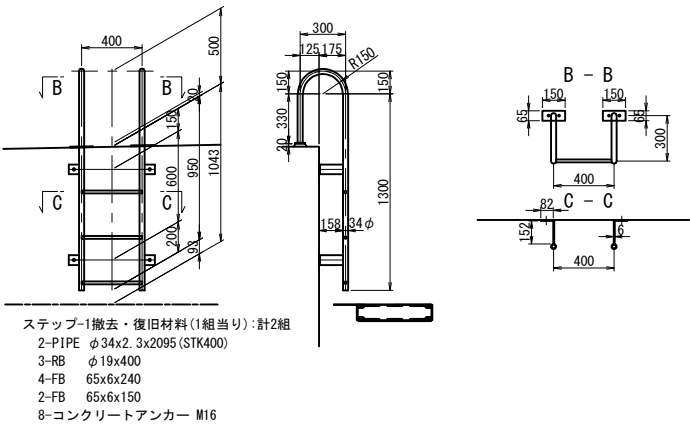
A - A



K-1撤去材料 (1組当り): 計1組
1-PIPE φ34x2. 3x713 (STK400)
1-PIPE φ34x2. 3x1090 (STK400)
1-PIPE φ34x2. 3x727 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x274 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x377 (STK400)
2-PL 170x6x200
4-BN M16x45 (1-W, 1-SW付) (SUS304)

K-2撤去材料 (1組当り): 計1組
1-PIPE φ34x2. 3x713 (STK400)
1-PIPE φ34x2. 3x1090 (STK400)
1-PIPE φ34x2. 3x727 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x274 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x377 (STK400)
2-PL 170x6x200
4-BN M16x45 (1-W, 1-SW付) (SUS304)

ステップ詳細



ステップ-1撤去・復旧材料 (1組当り): 計2組
2-PIPE φ34x2. 3x2095 (STK400)
3-RB φ19x400
4-FB 65x6x240
2-FB 65x6x150
8-コンクリートアンカー M16

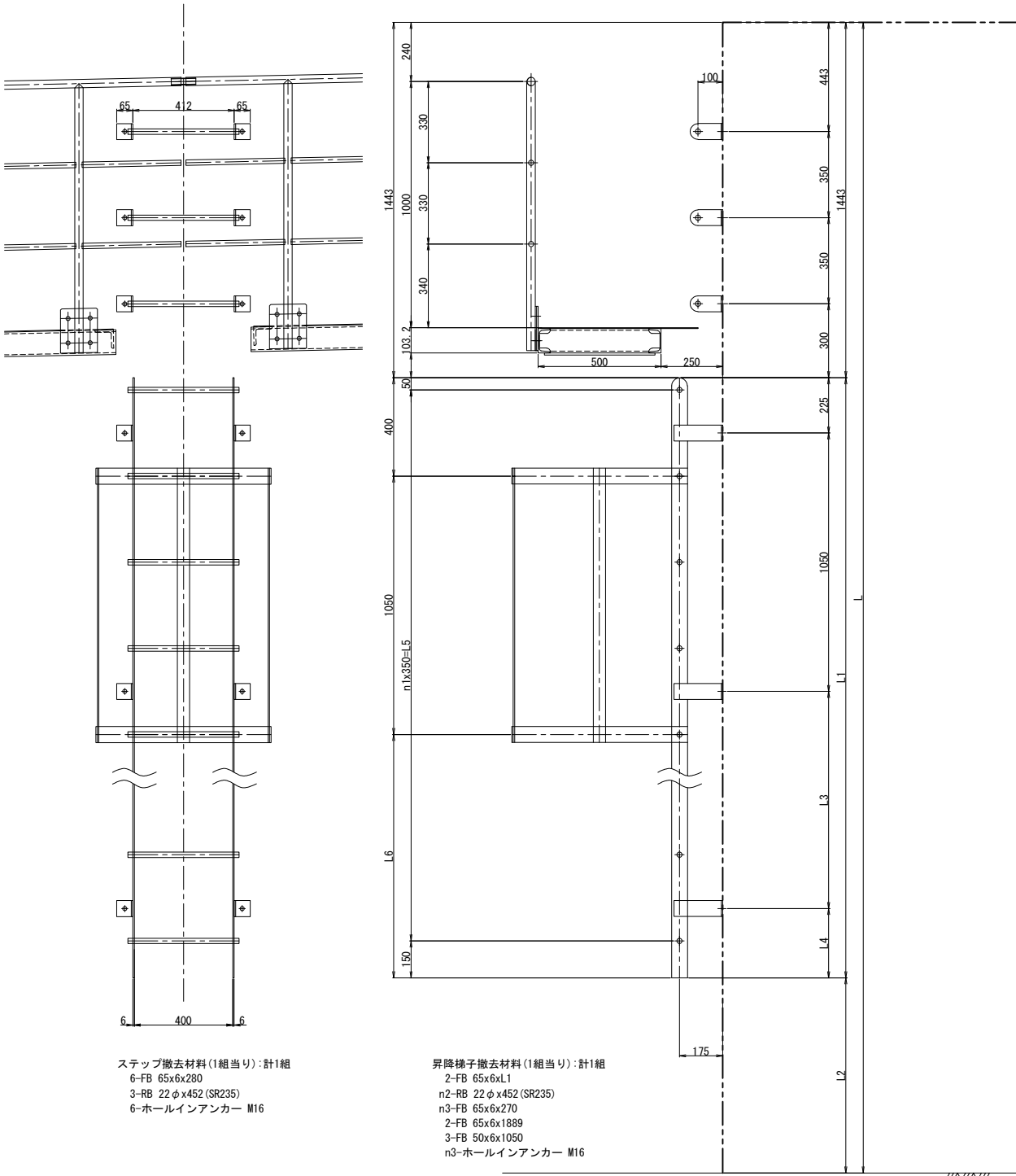
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスチック処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去工 検査路B詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

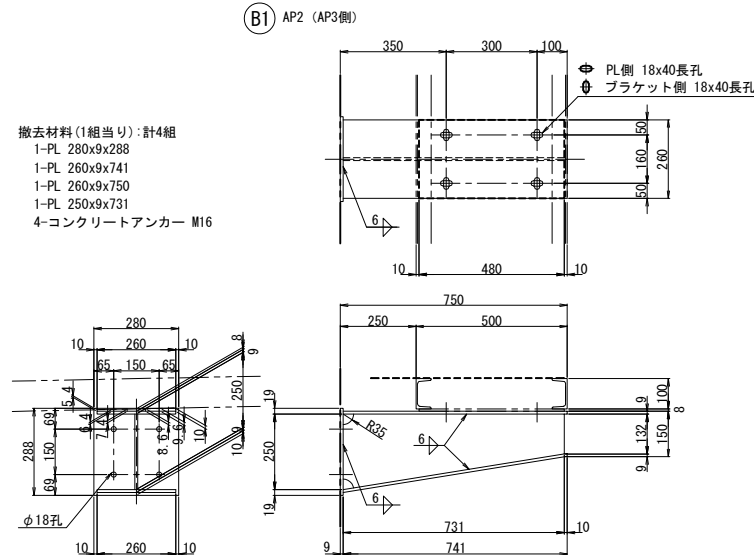
犀川橋 撤去工 検査路B詳細図(その3) (参考図) S=1:25

＜撤去部材詳細＞

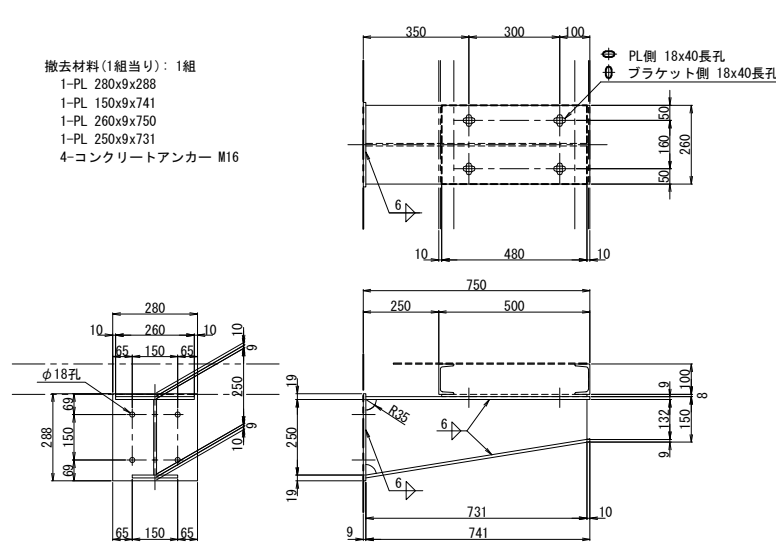
構造詳細図



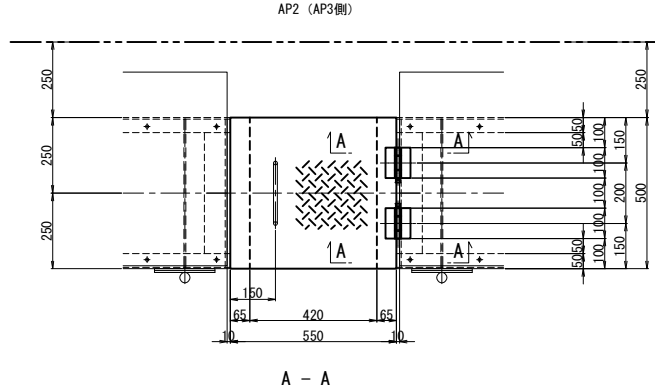
ブラケット詳細図



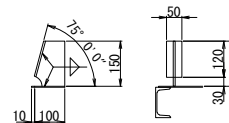
① B2 AP13 (AP14側)



マンホール詳細図



A —



撤去材料(1組当り):計2組
1-PL 150x6x110
1-PL 50x6x120

マンホール撤去材料(1組当り):計1組
 1-Ch PL 500x3. 2x550
 2-FB 65x6x500
 2-RB 13 φx400(SR235)
 2-BN M16x130 (2-W付) (SUS304)

蝶番撤去材料(1組当り):計2組
 1-PIPE φ21. 7x1. 9x45 (STK400)
 2-PIPE φ21. 7x1. 9x25 (STK400)
 1-RB 16 φx118
 1-割ピン φ5x40 (SUS304)

注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカラーピンは全て50Rとする。
3. ボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用とする。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HD2T77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HD2634、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H8641 HD2T49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前にプラスト処理とする。
5. 主製作为は現場実測確認のうえ行うものとする。
6. ボルト孔はメッキ部着を考慮し、ボルト径+3mm標準とする。

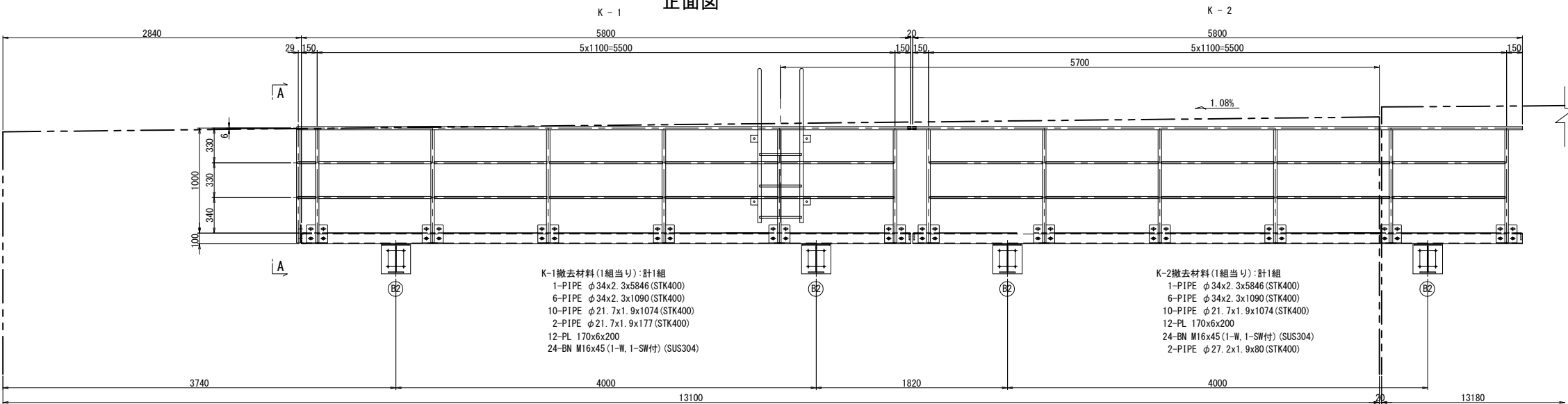
	L	L1	L2	L3	L4	L5	L6	n1	n2	n3
AP2 (AP3側)	6095	2300	2351.8	700	325	2100	850	6	7	6

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類		犀川橋 撤土工 撤去済日詳細図(その3) (参考図)	
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

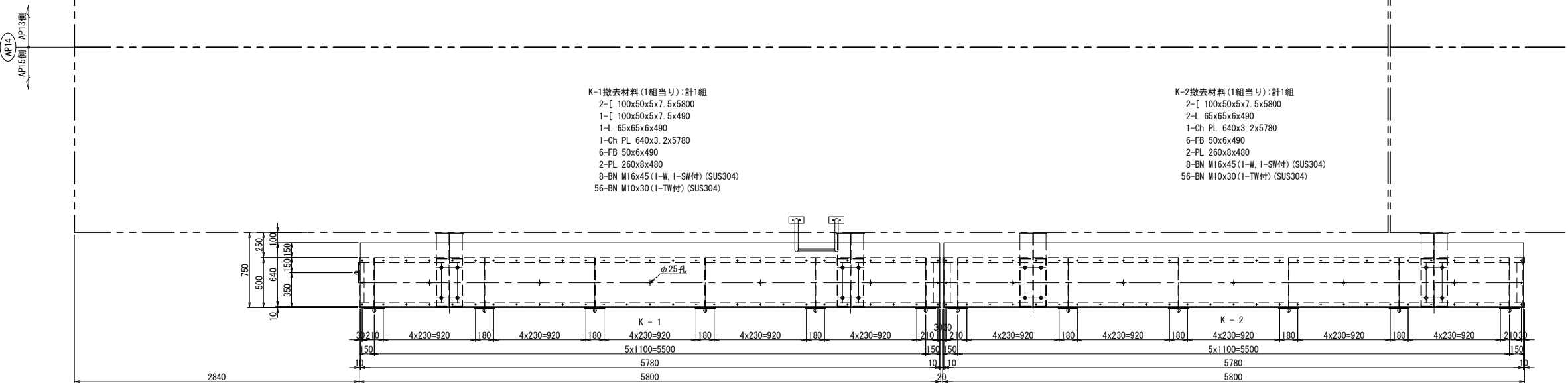
犀川橋 撤去工 検査路B詳細図(その4) (参考図) S=1:50

AP14橋脚 (AP15側)

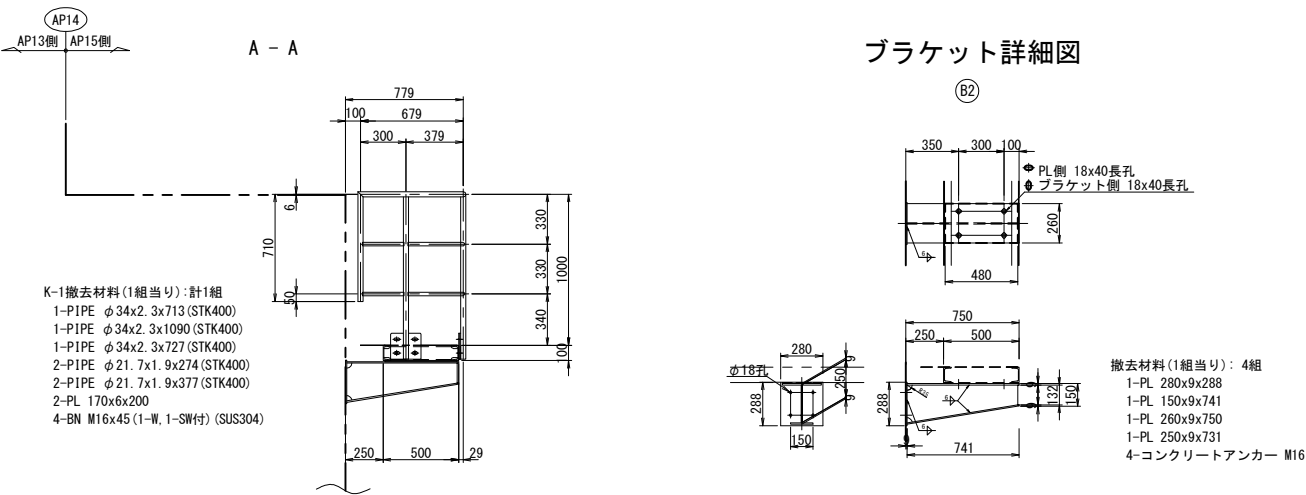
正面图



平面图



ブラケット詳細図

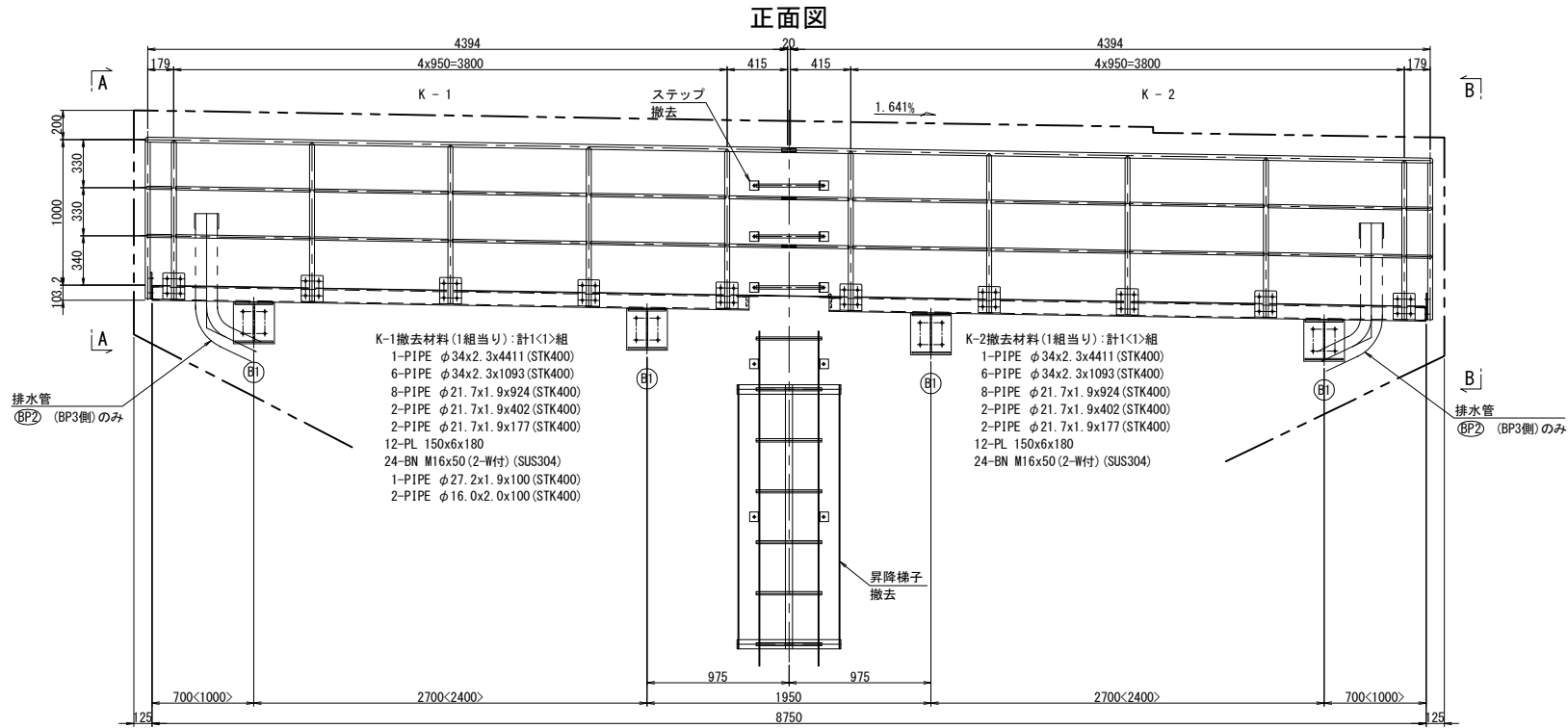


(注記)

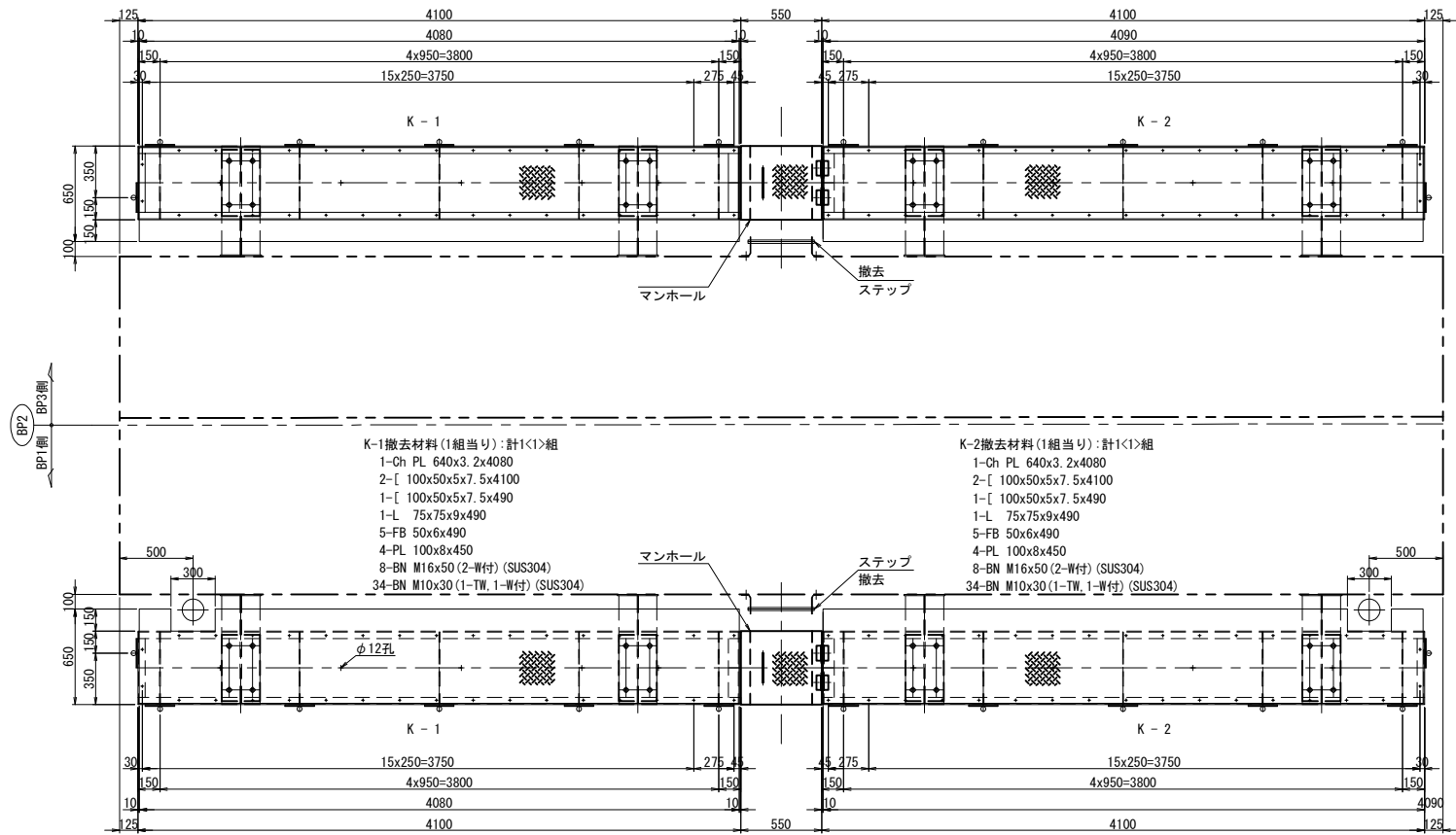
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの誤厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
縮尺	縮小 1/2000 詳細図(その4) (参考図)		
設計会社名	株式会社	近代設計	
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野市事務所		

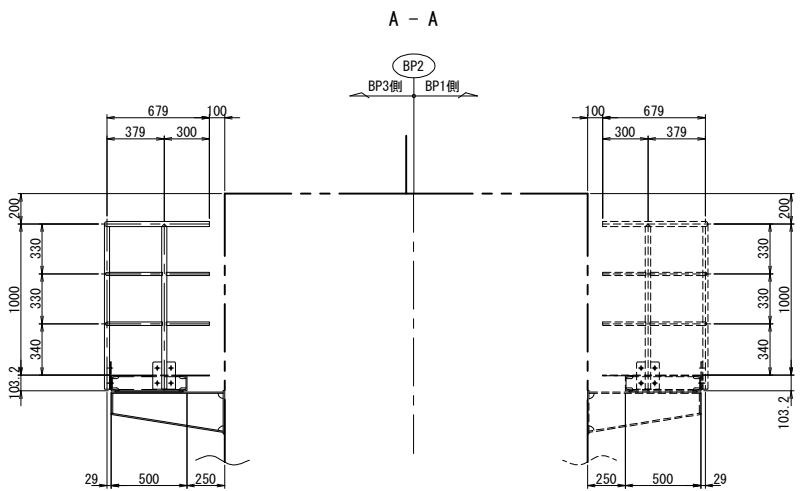
BP2橋脚 (BP3側)



平面図



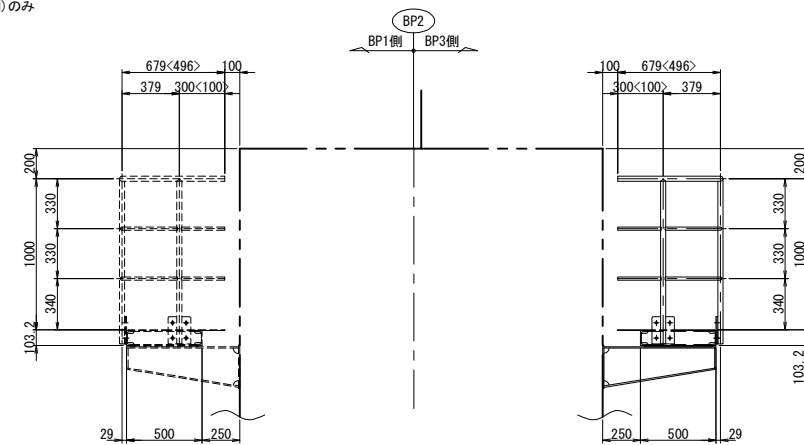
側面図



K-1撤去材料 (1組当り) : 計1<1>組
1-PIPE φ34x2.3x696 (STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1093 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x377 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x287 (STK400)
2-PL 150x6x180
4-BN M16x50 (2-W付) (SUS304)

※ < > 内寸法は、BP2 (BP3側) のみ

B - B



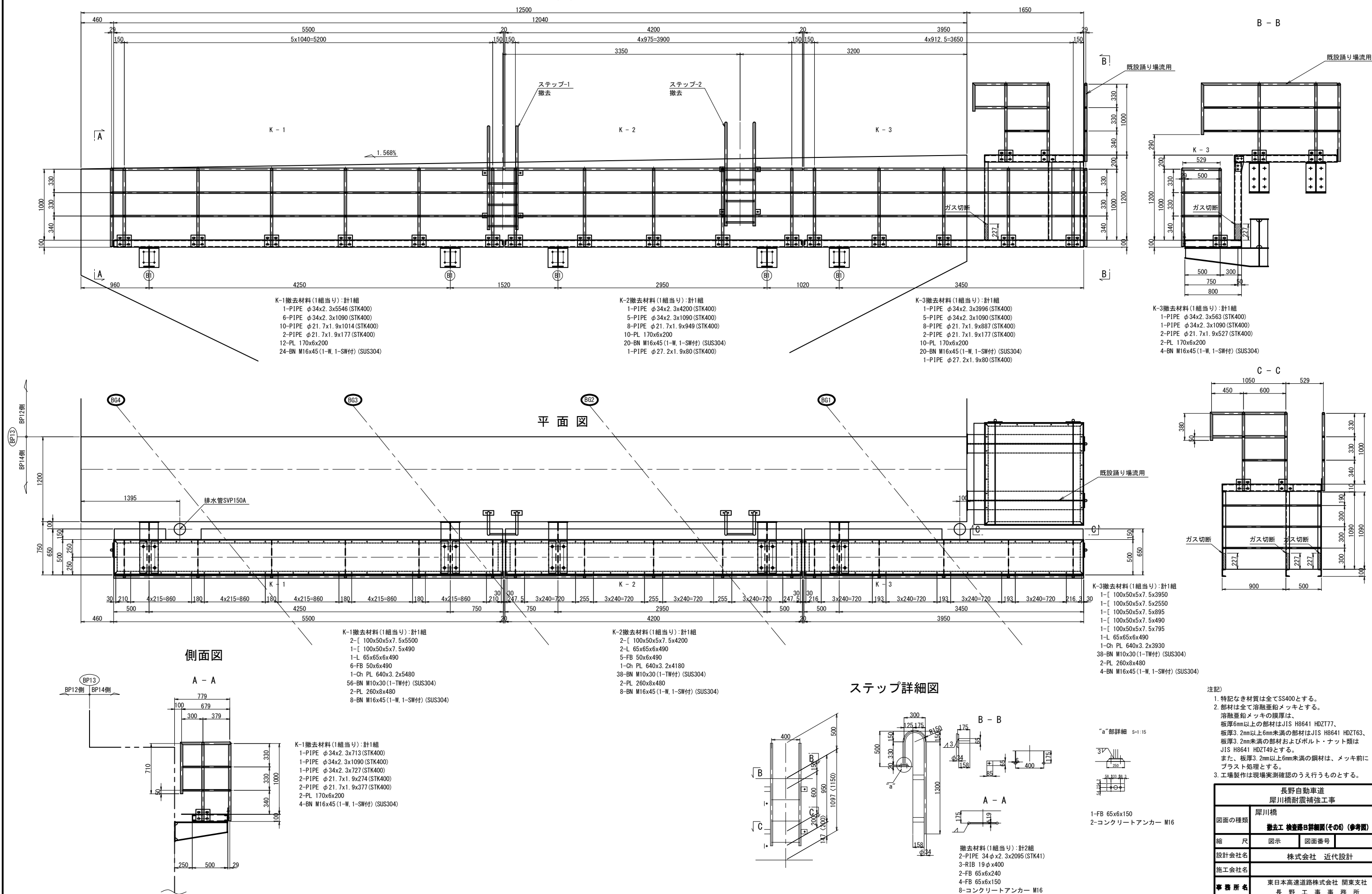
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
ブラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	撤去工 検査路B詳細図(その5) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長 野 工 事 事 務 所		

犀川橋 撤去工 検査路B詳細図(その6) (参考図) S=1:50

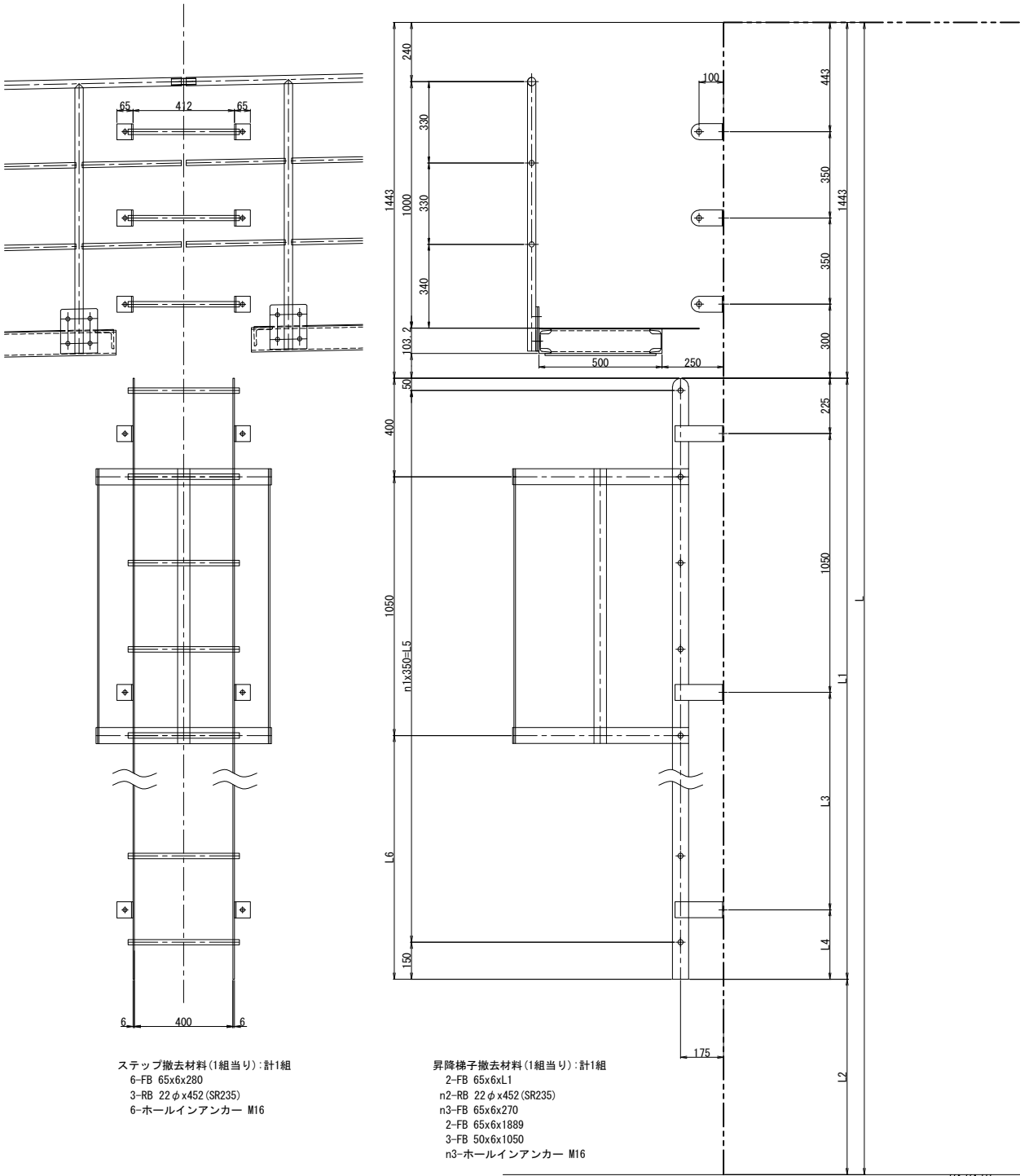
BP13橋脚 (BP14側)

正面图

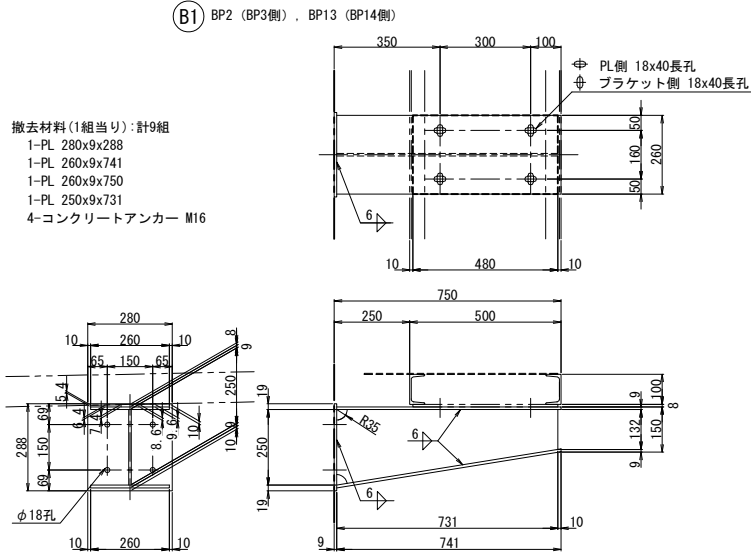


<撤去部材詳細>

構造詳細図



ブラケット詳細図



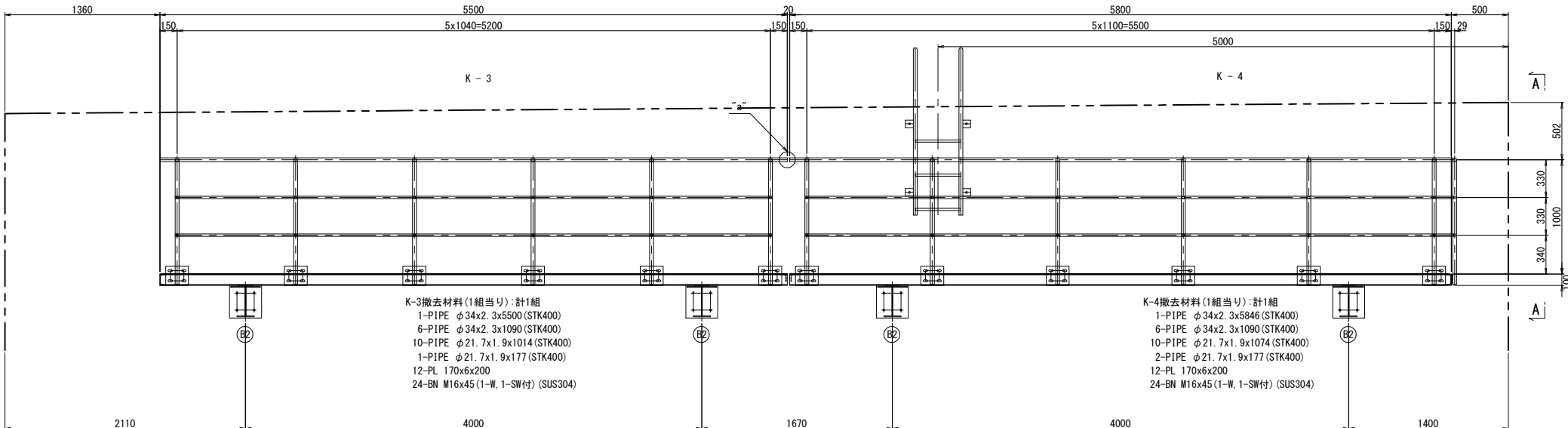
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを
標準とする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	撤去工 検査路B詳細図(その7) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

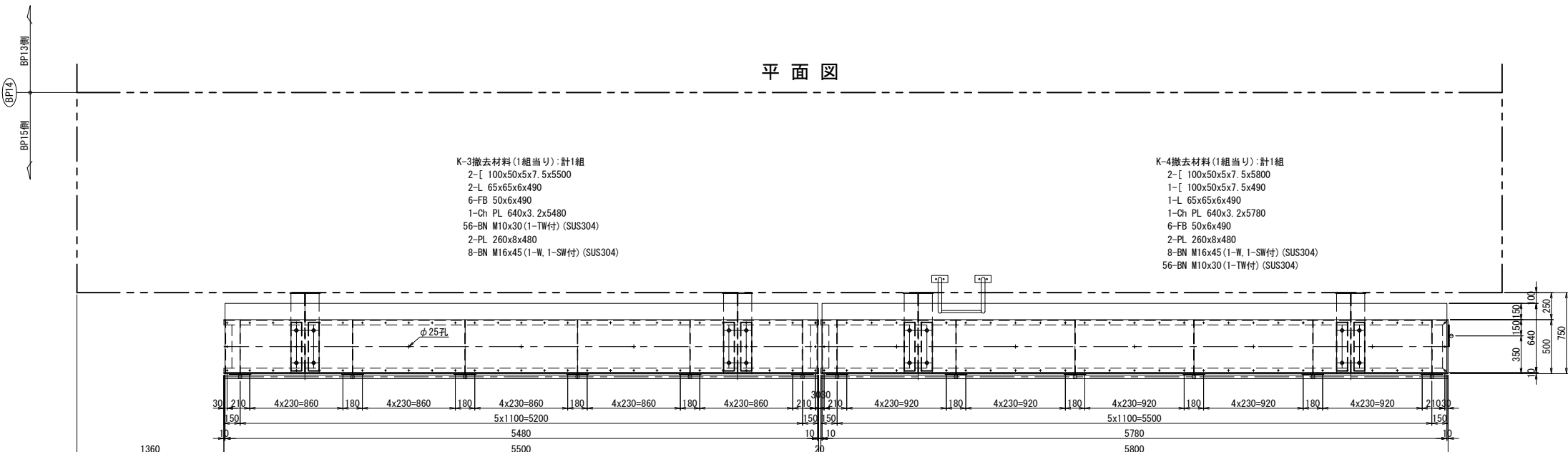
犀川橋 撤去工 検査路B詳細図(その8) (参考図) S=1:50

BP14橋脚 (BP15側)

正面图

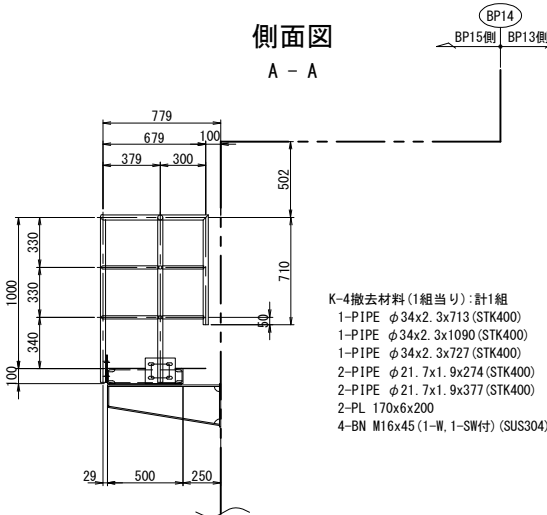


平面图



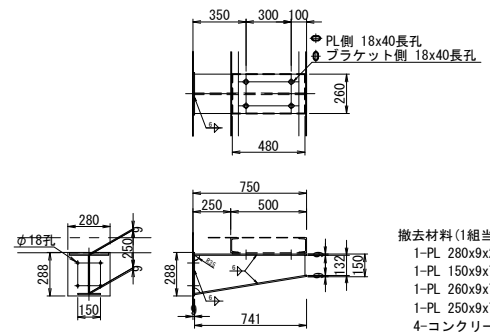
側面図

A -



ブラケット詳細図

ⓑ



"a"部詳細 S=1:2



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前
にプラスト処理とする。
工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

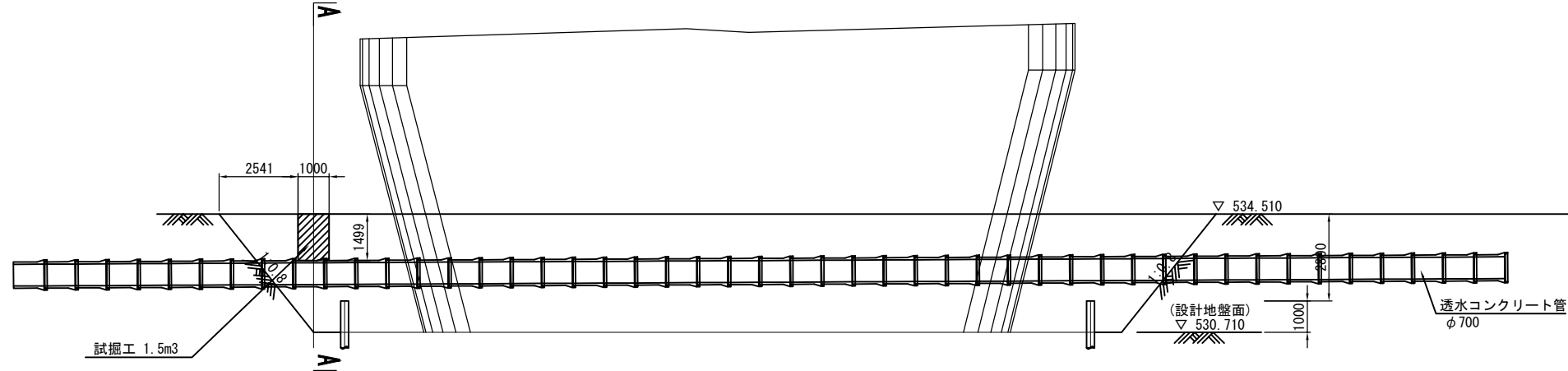
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
縮尺	巻工 竣工図詳細図(その0)(参考図)		
図示	図面番号		
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋 撤去工 落橋防止装置詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

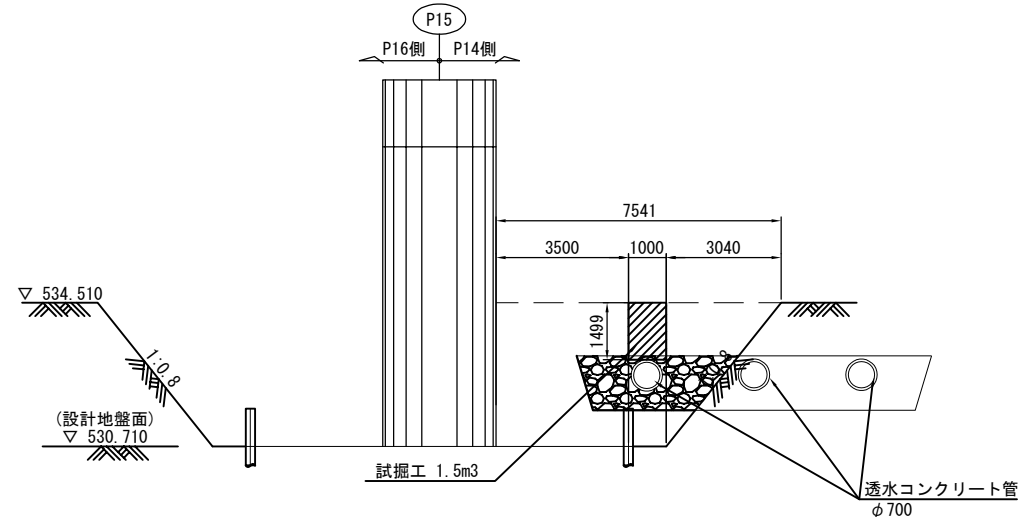
犀川橋 試掘工 A 詳細図（参考図）

P 1 5 橋脚 なじみ水路試掘

P 1 5 橋脚正面図（起点側）S=1:100



A - A S=1:100

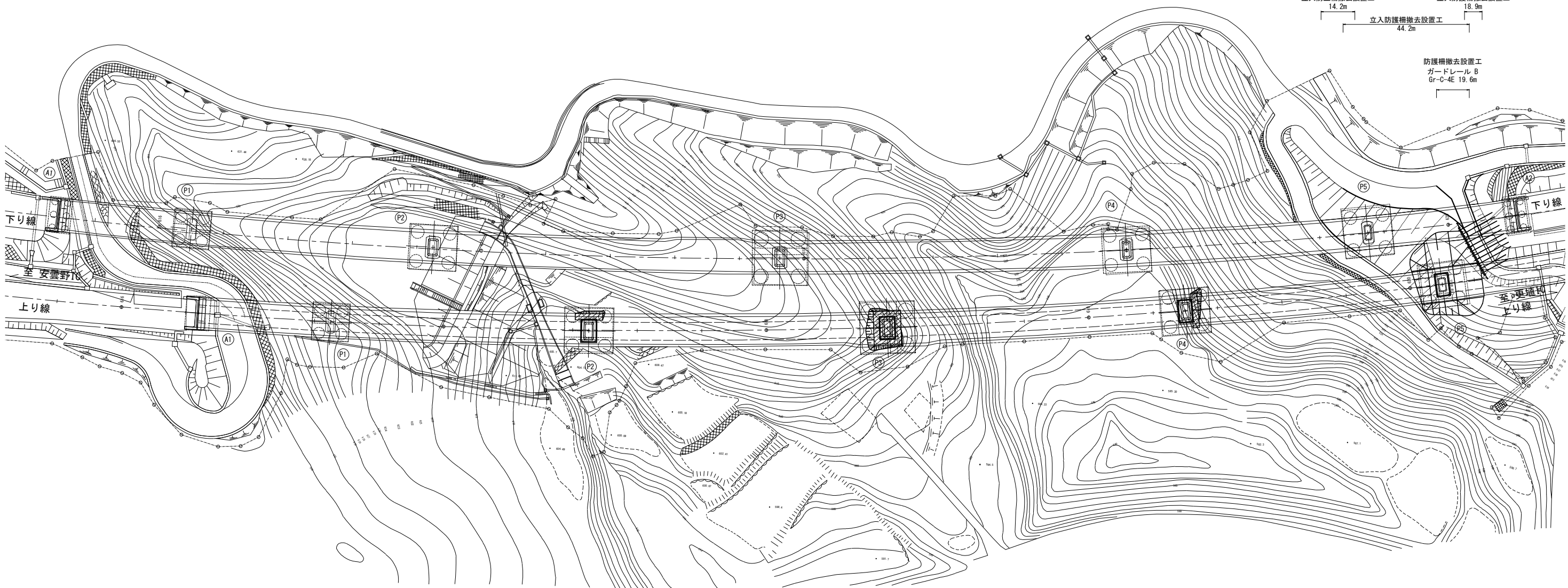


長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	犀川橋		
	試掘工 A 詳細図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

御麓橋

天竜市

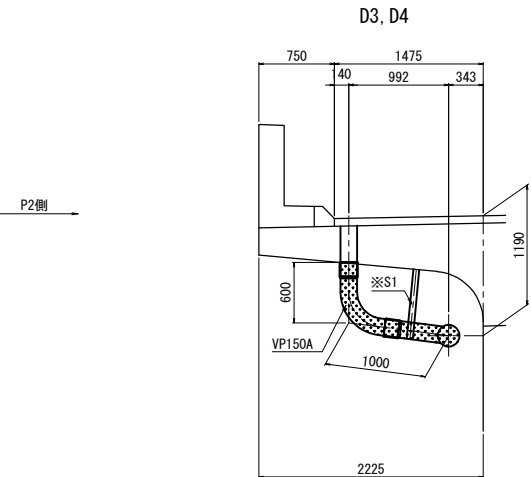
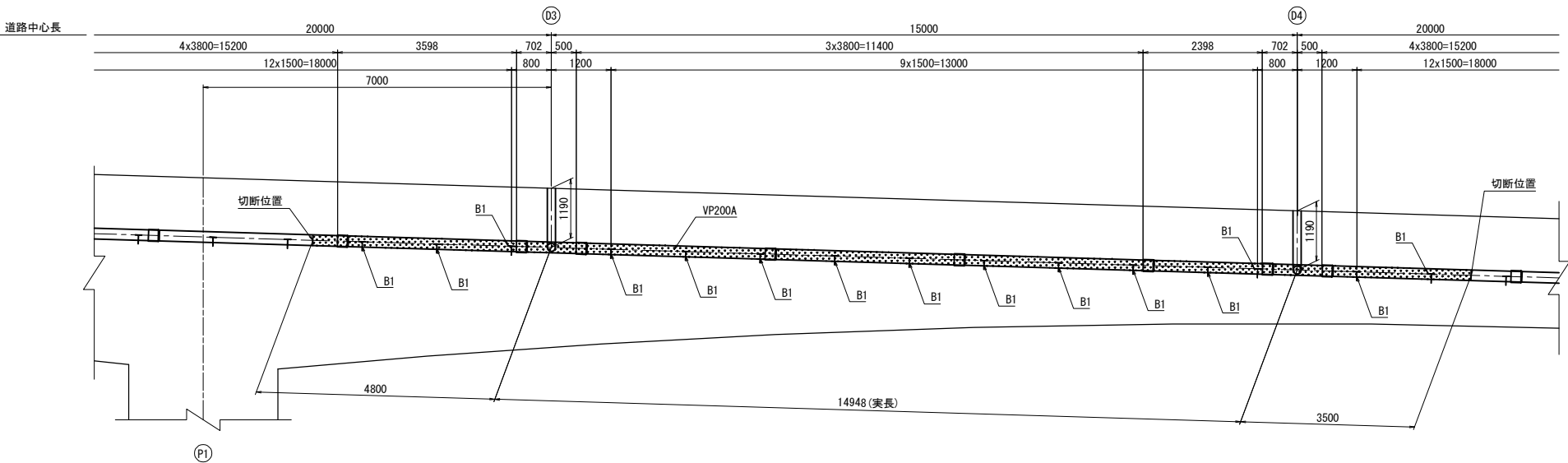
立入防止柵撤去設置工
14.2m
立入防止柵撤去設置工
18.9m
立入防止柵撤去設置工
44.2m
防護柵撤去設置工
ガードレール B
Gr-C-4E 19.6m



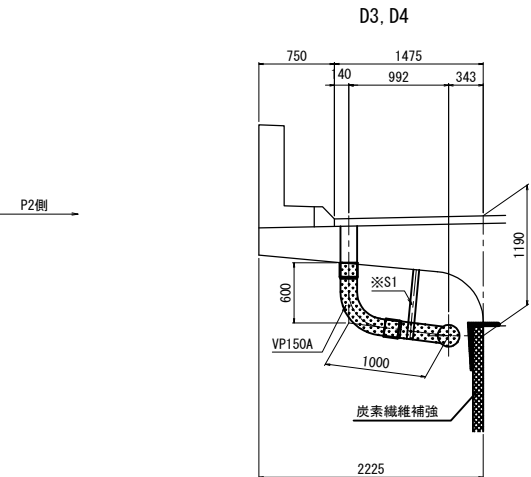
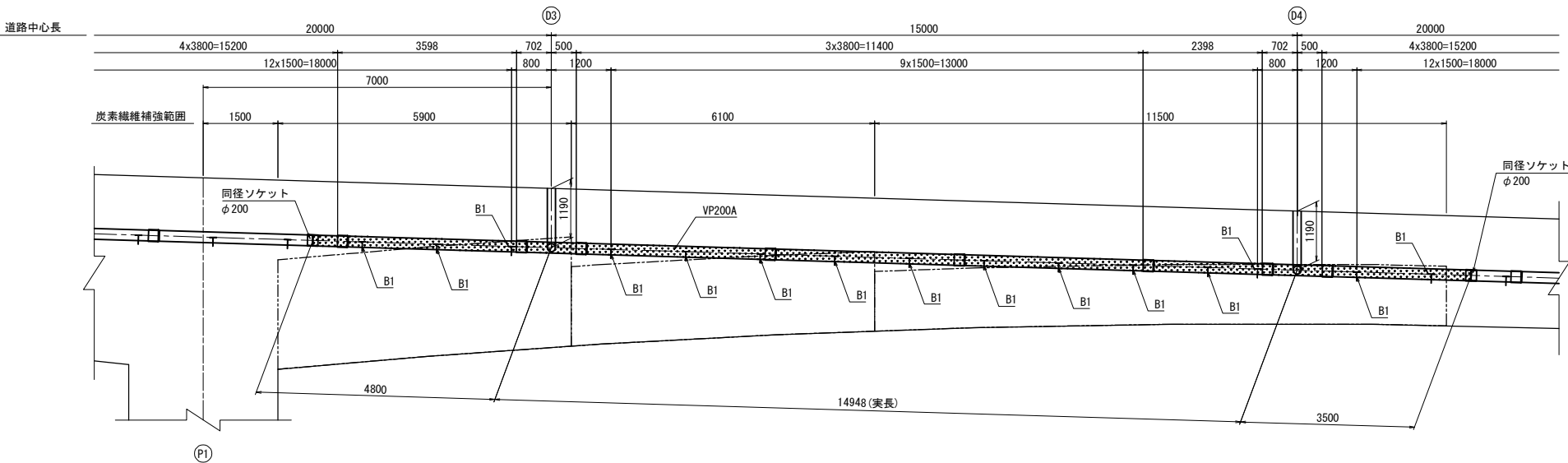
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	御麓橋（下り線）防護柵撤去設置工・ 立入防止柵撤去設置工 平面図（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P1~P2

＜ 現 況 ＞



＜改良後＞



撤去流心延長	4. 800 + 14. 948 + 3. 500	= 23. 248 m
撤去数量	排水管	= 23. 248 m
	支持金具 S1	= 2 個
	B1	= 15 個
復旧流心延長	4. 800 + 14. 948 + 3. 500	= 23. 248 m
復旧数量	支持金具 S1	= 2 個
	B1	= 15 個
	同径ソケット (φ200)	= 2 個

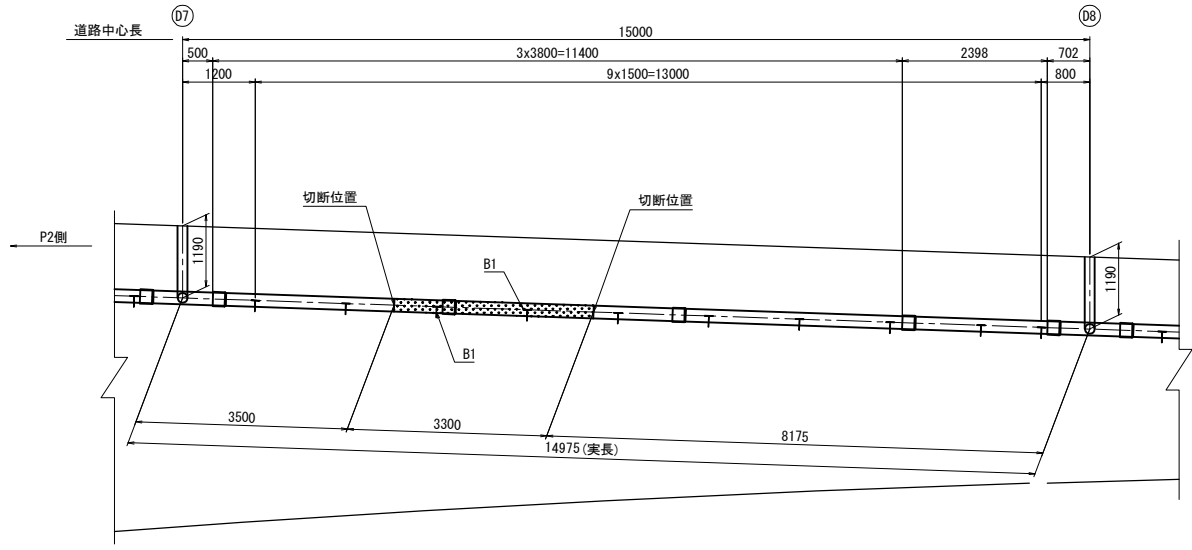
凡例
撤去・設置範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

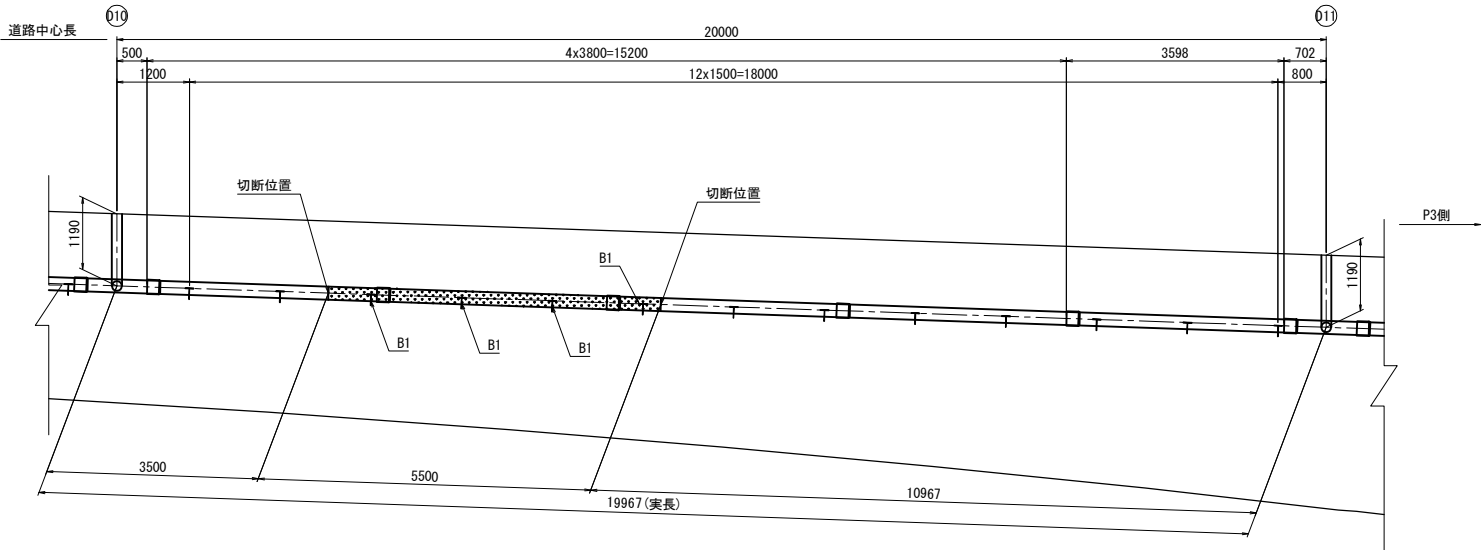
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	御麓橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その1) (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P2~P3

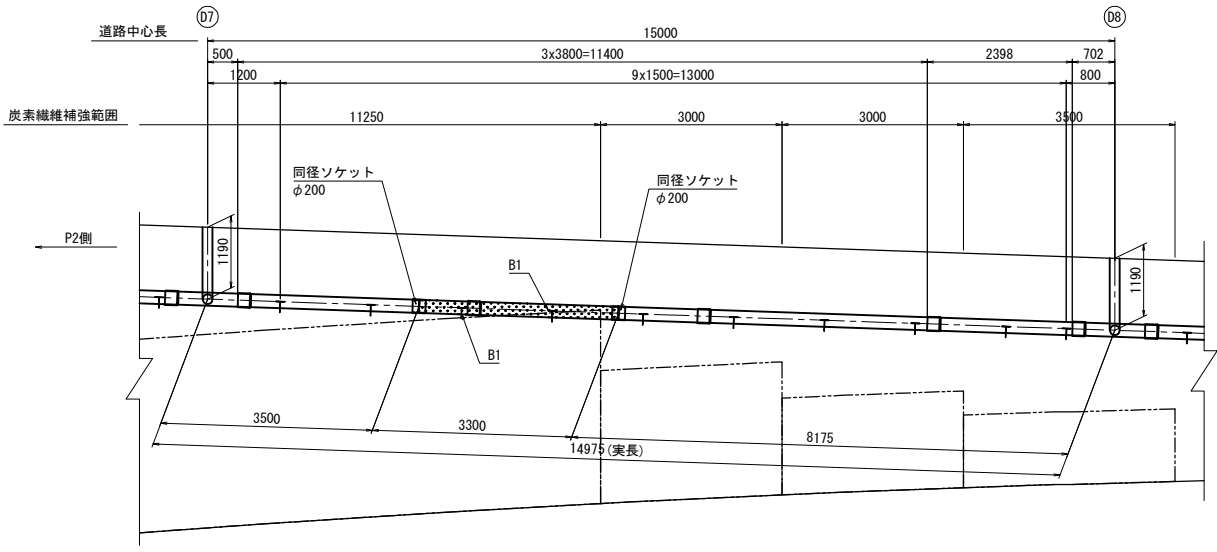
＜ 現 況 ＞



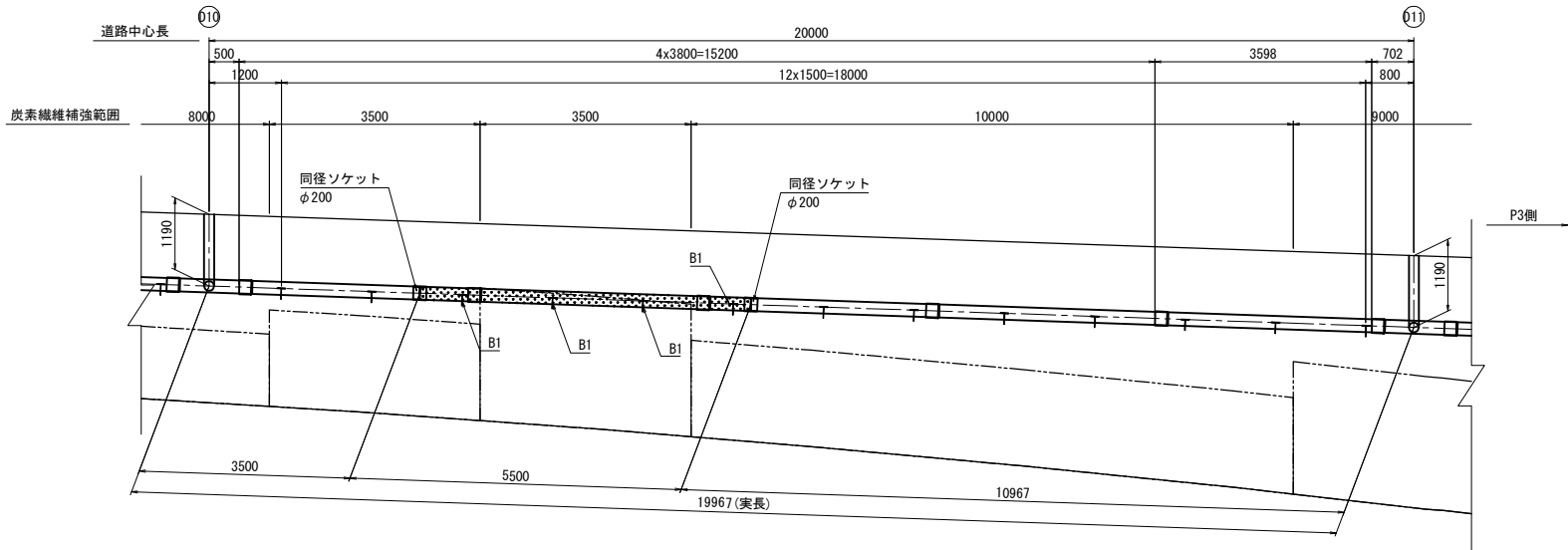
＜ 現 況 ＞



＜改良後＞



＜改良後＞



撤去流心延長	3.300 + 5.500	=	8.800 m
撤去数量	排水管	=	8.800 m
	支持金具 B1	=	6 個
復旧流心延長	3.300 + 5.500	=	8.800 m
復旧数量	支持金具 B1	=	6 個
	同径ソケット (φ200)	=	4 個

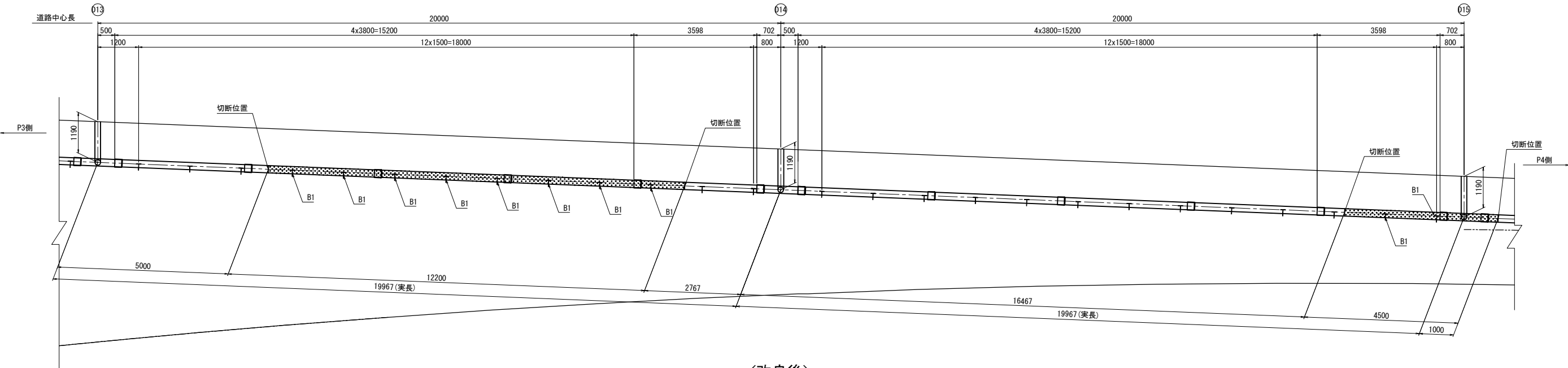
凡例
撤去・設置範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

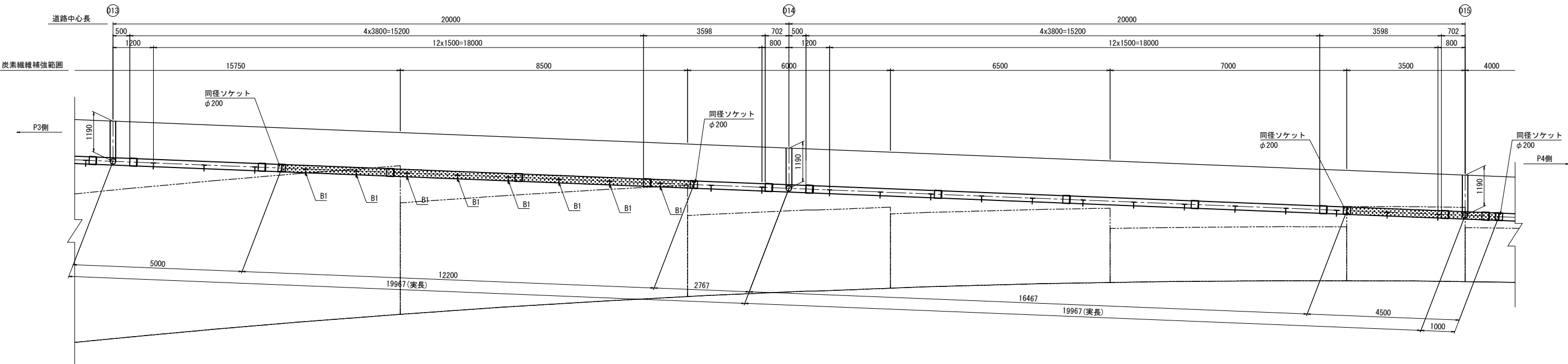
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	御麓橋(下り線) 撤去設置工 排水管 A 詳細図(その2) (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P3~P4

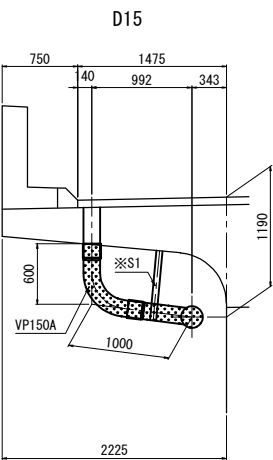
＜ 現 況 ＞



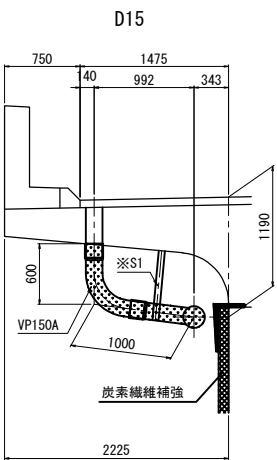
＜改良後＞



＜ 現 況 ＞



＜改良後＞



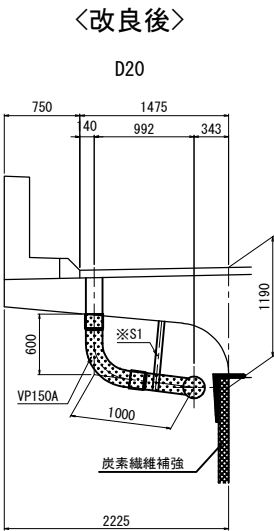
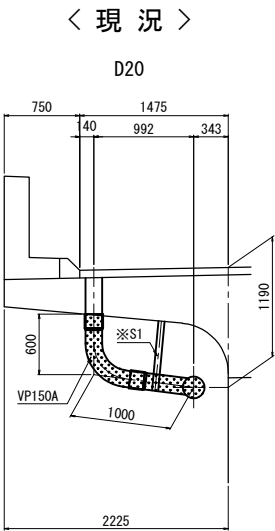
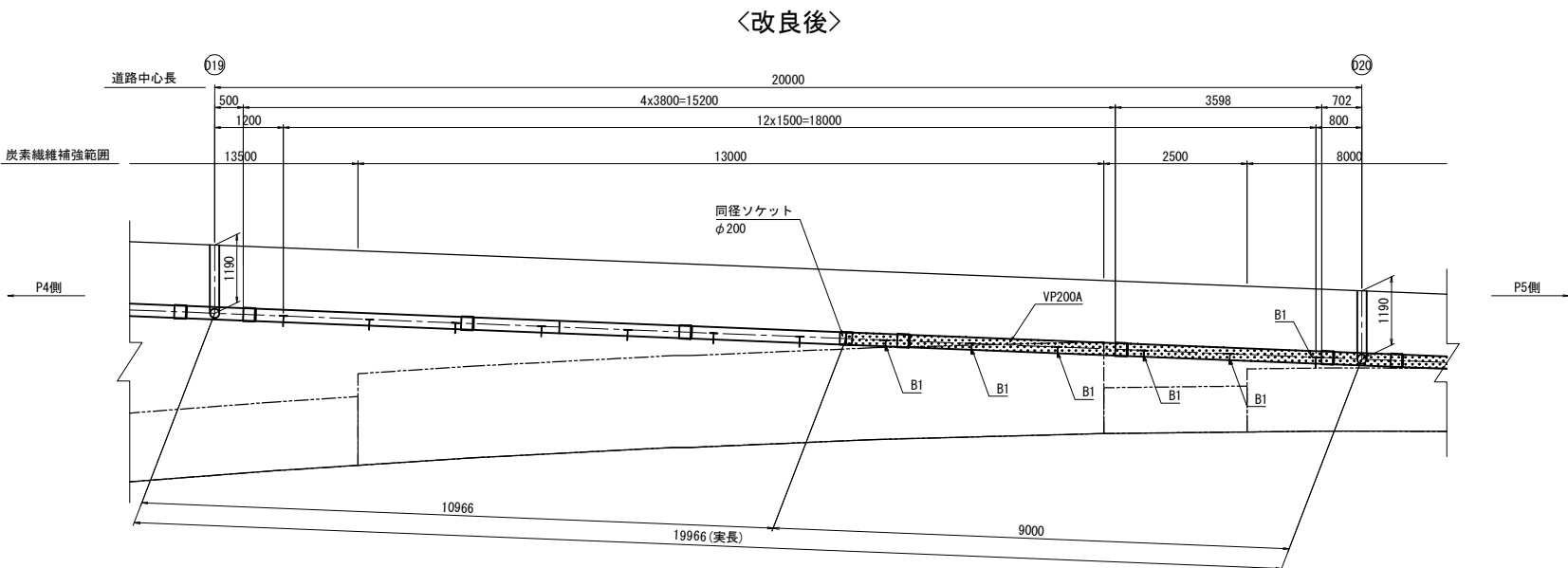
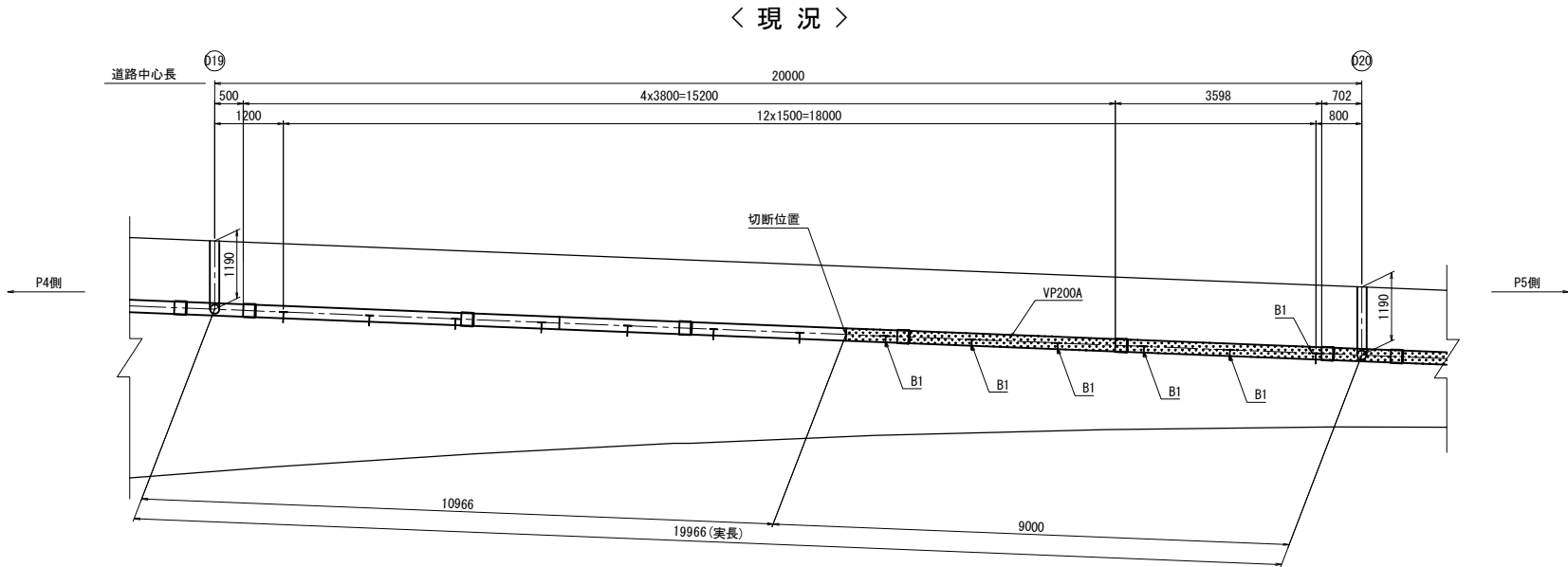
撤去流心延長	0.600 + 1.000 + 12.200 + 4.500	= 18.300 m
撤去数量	排水管	= 18.300 m
	支持金具 S1	= 1 個
	B1	= 10 個
復旧流心延長	0.600 + 1.000 + 12.200 + 4.500	= 18.300 m
復旧数量	支持金具 S1	= 1 個
	B1	= 10 個
	同径ソケット (φ200)	= 2 個

凡例
撤去・設置範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	御麓橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その3) (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P4~P5



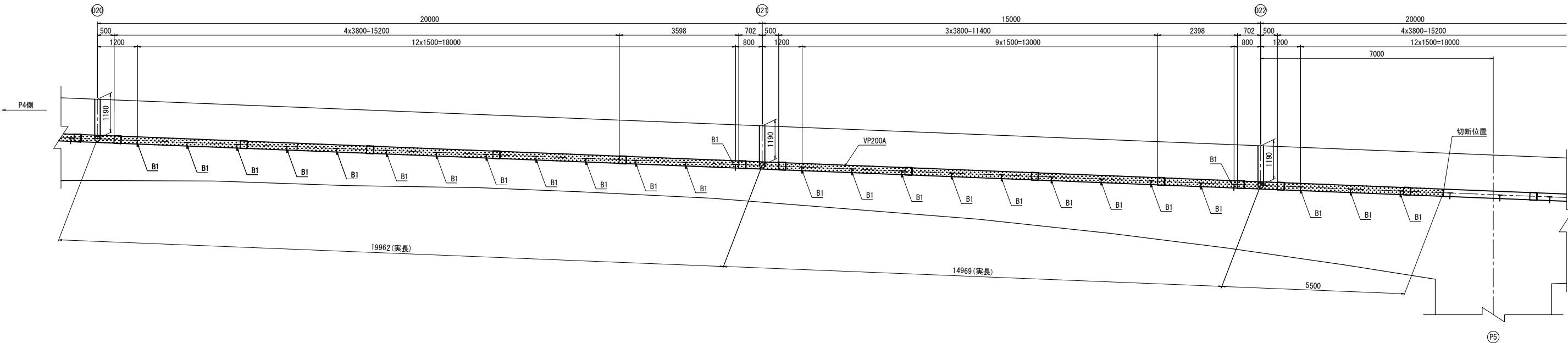
凡例
: 撤去・設置範囲

- 注 記
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 2. 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 3. ※印部本体付き部材は残置とする。
 4. 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 5. 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

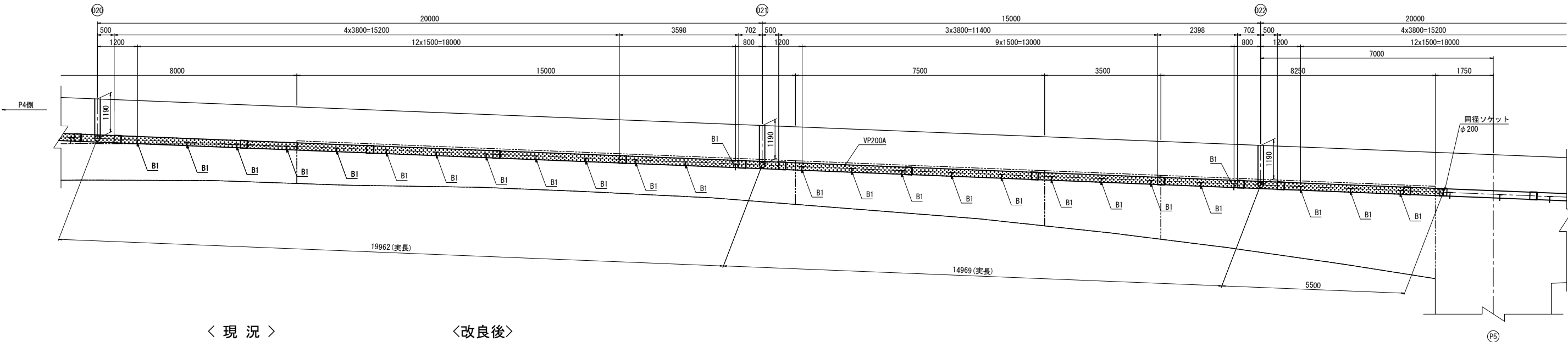
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	御麓橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その4) (参考図)			
	縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P4~P5

＜ 現 況 ＞

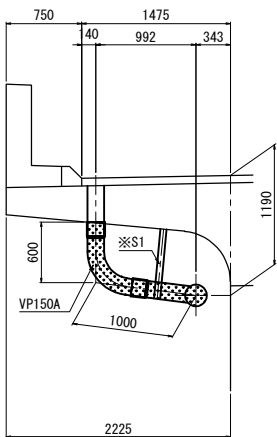


＜改良後＞



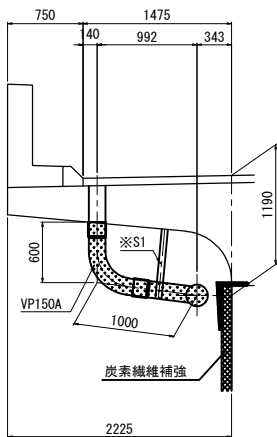
＜ 現 況 ＞

D21, D22



＜改良後＞

D21, D22



撤去流心延長 (0.600 + 1.000) * 3 + 9.000
+ 19.962 + 14.969 + 5.500 = 53.731 m

撤去数量 排水管 = 53.731 m
支持金具 S1 = 3 個
B1 = 32 個

復旧流心延長 (0.600 + 1.000) * 3 + 9.000
+ 19.962 + 14.969 + 5.500 = 53.731 m

復旧数量 支持金具 S1 = 3 個
B1 = 32 個
同径ソケット (φ200) = 2 個

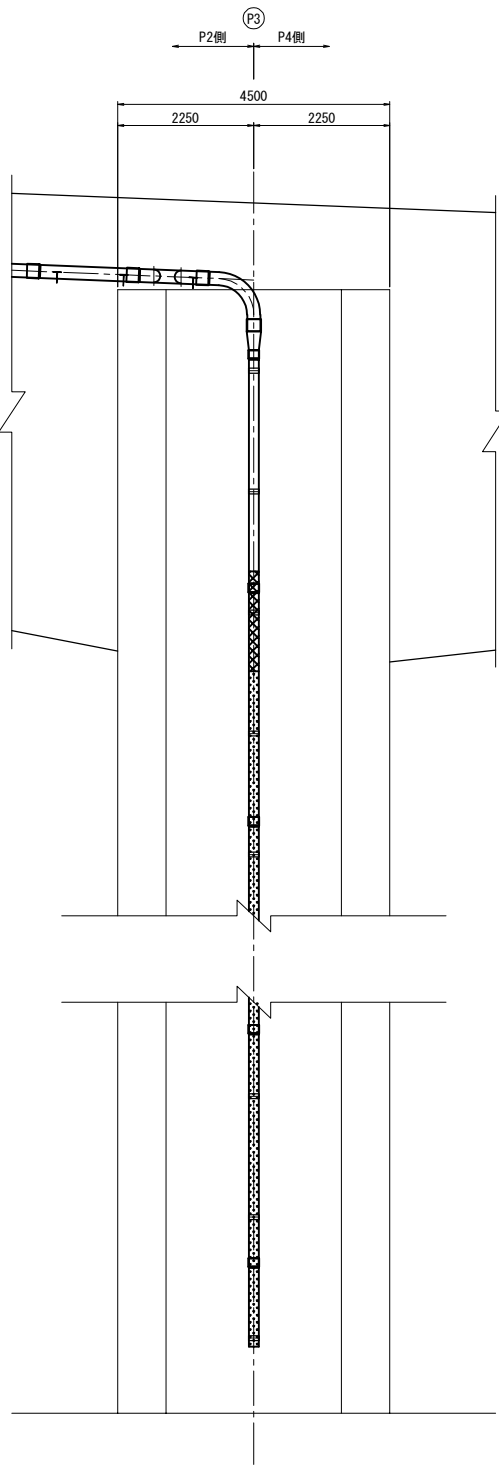
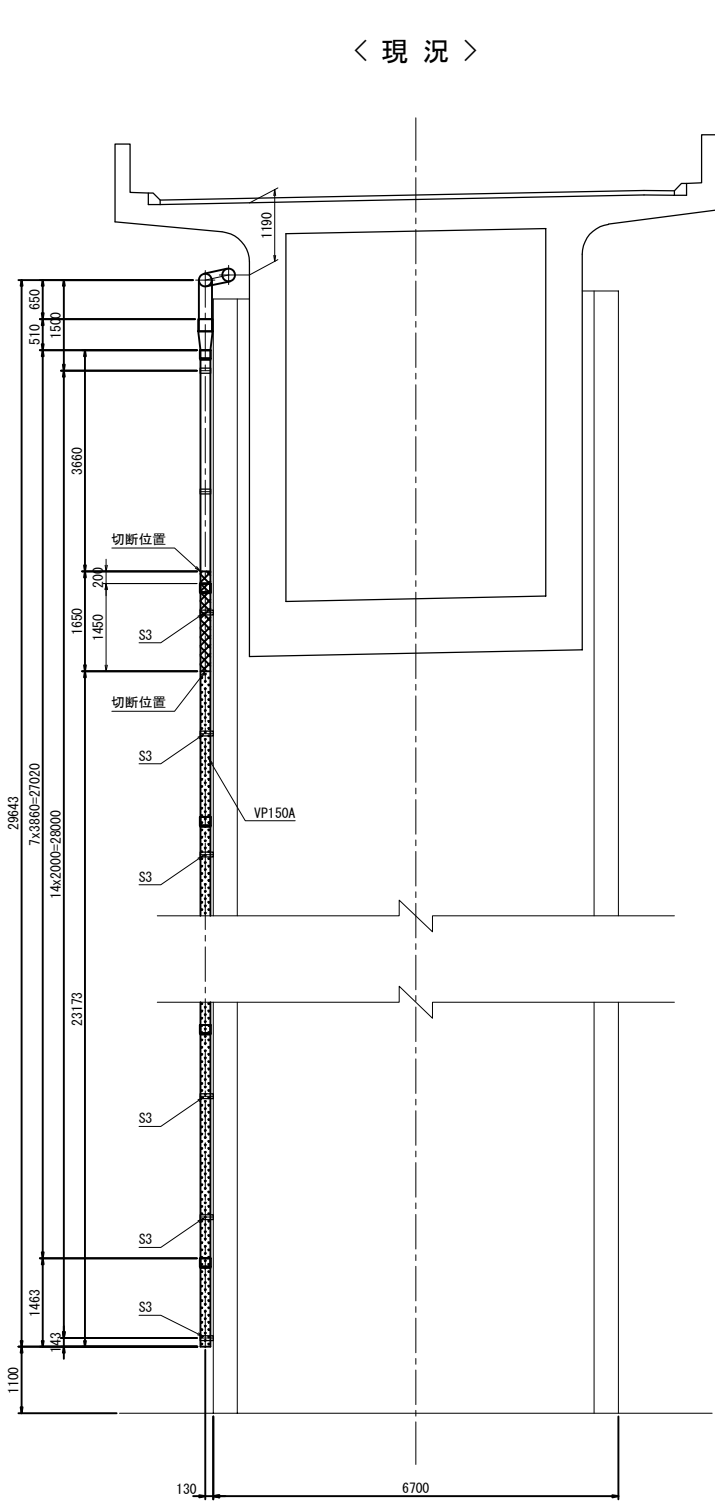
凡例
撤去・設置範囲

- 注 記
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 2. 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 3. ※印部本体付き部材は残置とする。
 4. 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 5. 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

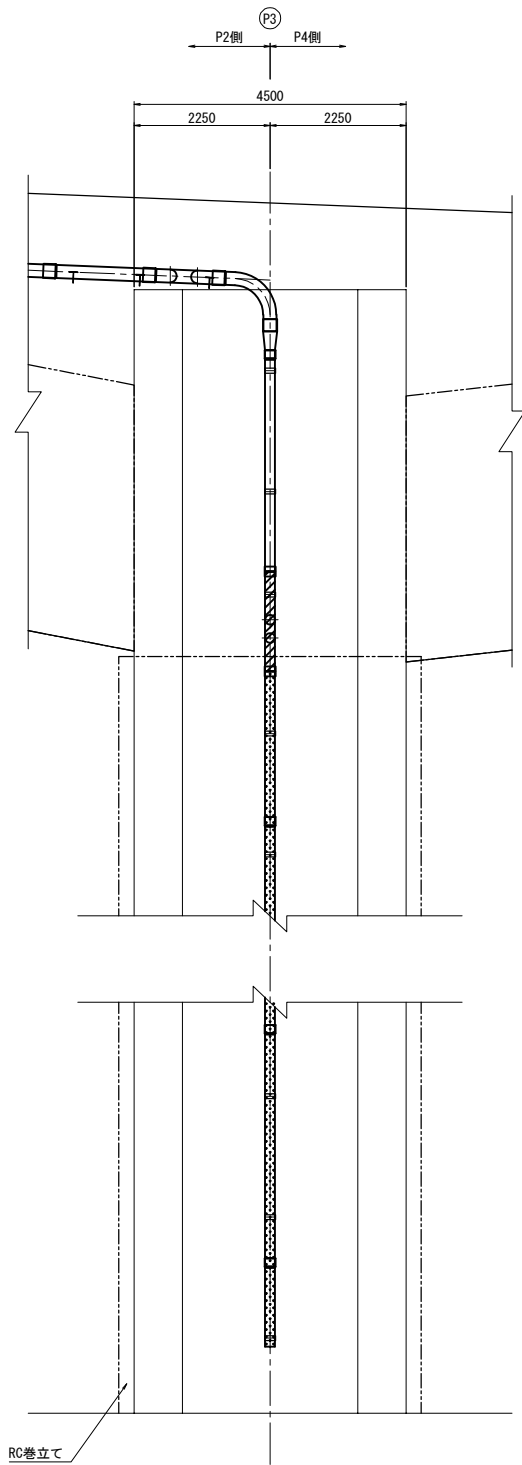
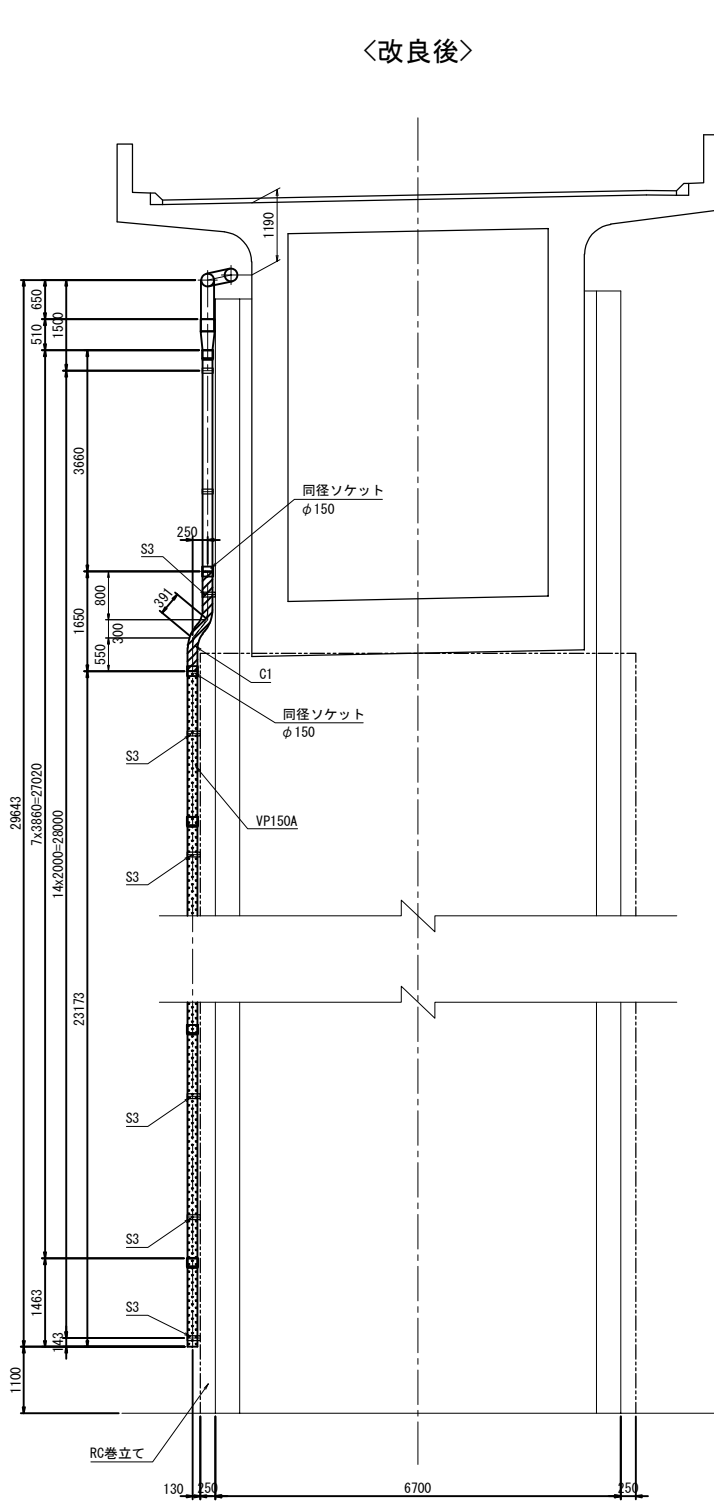
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
御麓橋(下り線) 撤去設置工 排水管 A 詳細図(その5) (参考図)				
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			




P3橋脚

＜現 況＞



＜改良後＞



- 凡例
-  : 撤去範囲
 -  : 撤去・設置範囲
 -  : 新設範囲

撤去流心延長 1.650 + 23.173 = 24.823 m

撤去数量 排水管 = 24.823 m

支持金具 S3 = 13 個

復旧流心延長 0.800 + 0.391 + 0.550 + 23.173 = 24.914 m

復旧数量 曲 管 C1 = 1 個

支持金具 S3 = 13 個

同径ソケット (φ150) = 2 個

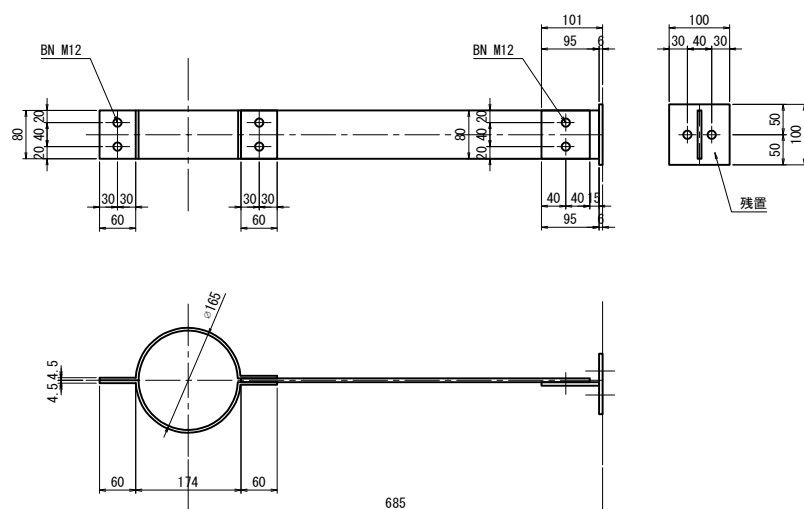
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
御麓橋(下り線) 撤去設置工 排水管△詳細図(その6) (参考図)				
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

御麓橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その7) (参考図)

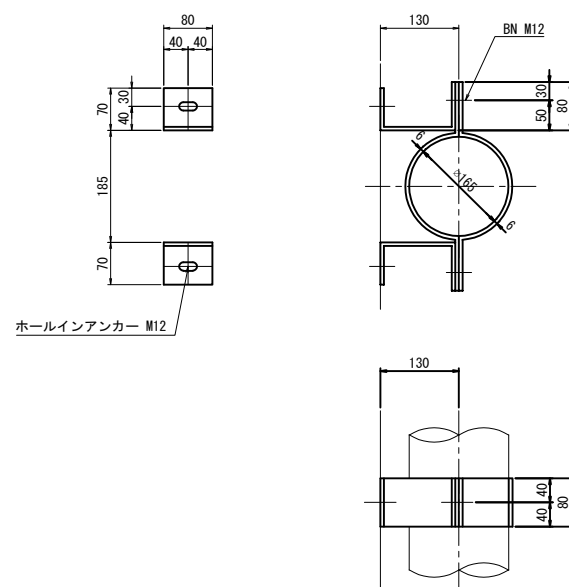
支持金具詳細 S=1:12.5

S1 撤去：6
新設：6（ボルトナットのみ）
撤去・設置：6



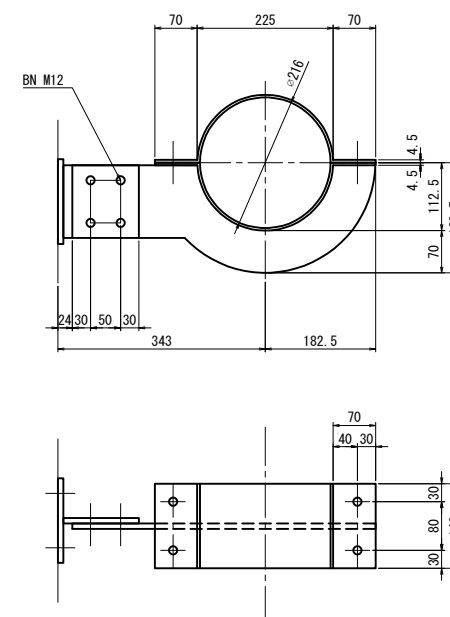
新設材料
6 - BN M12x40 (1-W)

S3 撤去：13
 新設：13（ボルトナット、アンカーのみ）
 撤去・設置：13



新設材料
2 - BN M12x35 (1-W)
2 - ホールインアンカー M12

B1 撤去 : 63
新設 : 63 (ボルトナット, アンカーのみ)
撤去・設置 : 63

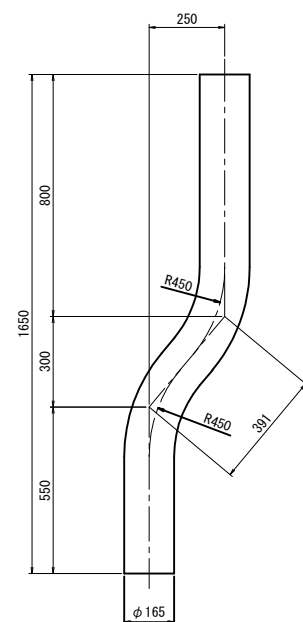


新設材料
8 - BN M12x40 (1-W)
2 - 埋込みアンカー M12

新設排水管詳細 S=1:25

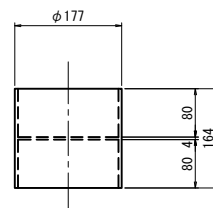
〈曲管〉

C1 製作数：1

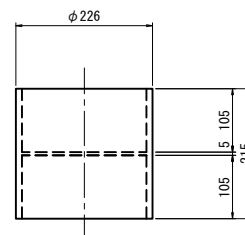


同径ソケット S=1:12.5

製作数：2



製作数：10



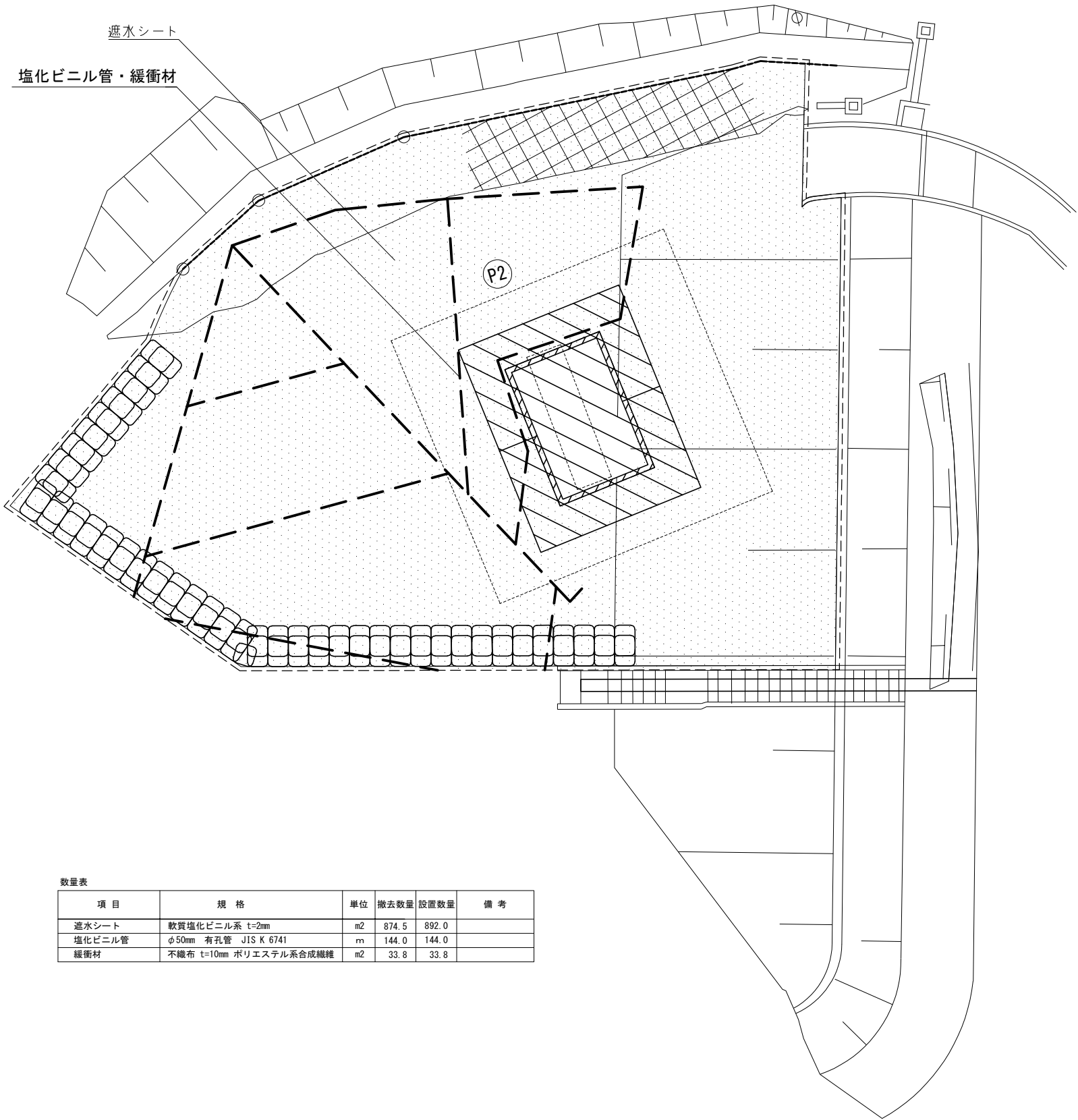
注 記

1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の膜厚は、JIS H 8641 HDZT777 とする。
但し、板厚 3.2mm 以上 6mm 未満の部材は HDZT63 とし
ボルト、ナットおよび板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。
3. ナットは全て緩み止めナットとする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径 +3 mm を標準とする。
5. 部材の製作は、現場実測後に監督官と協議の上製作すること。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	御籠橋(下り線) 撤去設置工 排水管 A詳細図 (その (参考図))			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P2橋脚

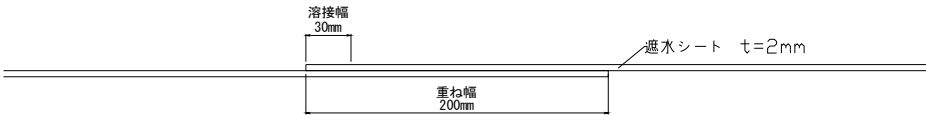
平面図 S=1:250



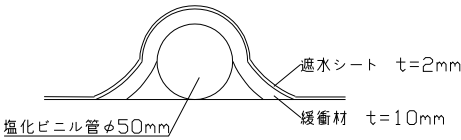
数量表

項 目	規 格	単位	撤去数量	設置数量	備 考
遮水シート	軟質塩化ビニル系 t=2mm	m2	874.5	892.0	
塩化ビニル管	φ50mm 有孔管 JIS K 6741	m	144.0	144.0	
緩衝材	不織布 t=10mm ポリエステル系合成繊維	m2	33.8	33.8	

遮水シート重ね詳細 S=1:5

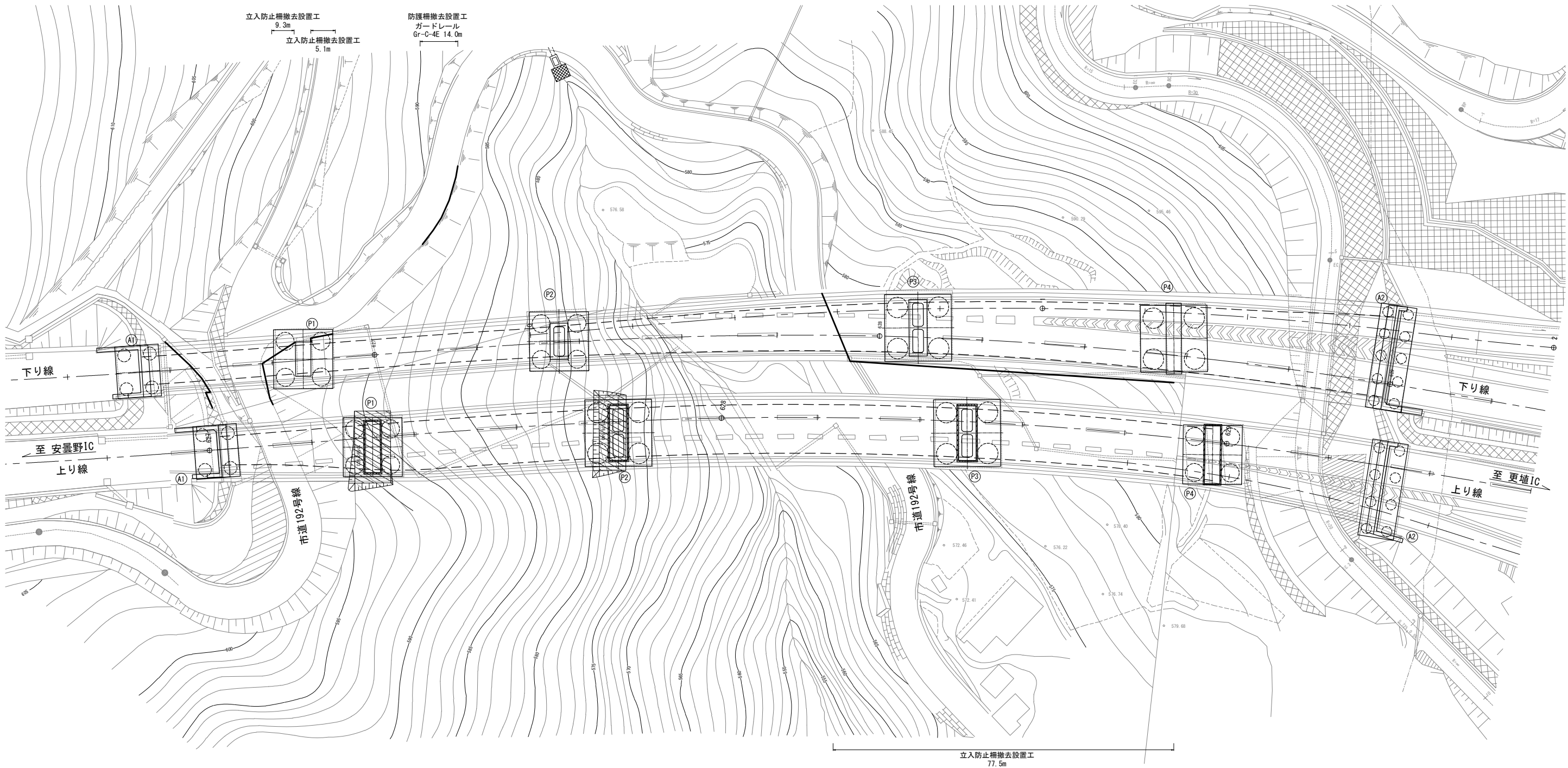


水抜き詳細 S=1:5



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	御麓橋（下り線） 撤去設置工 遮水シート詳細図（参考図）			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

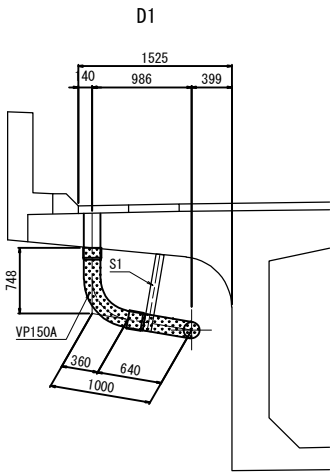
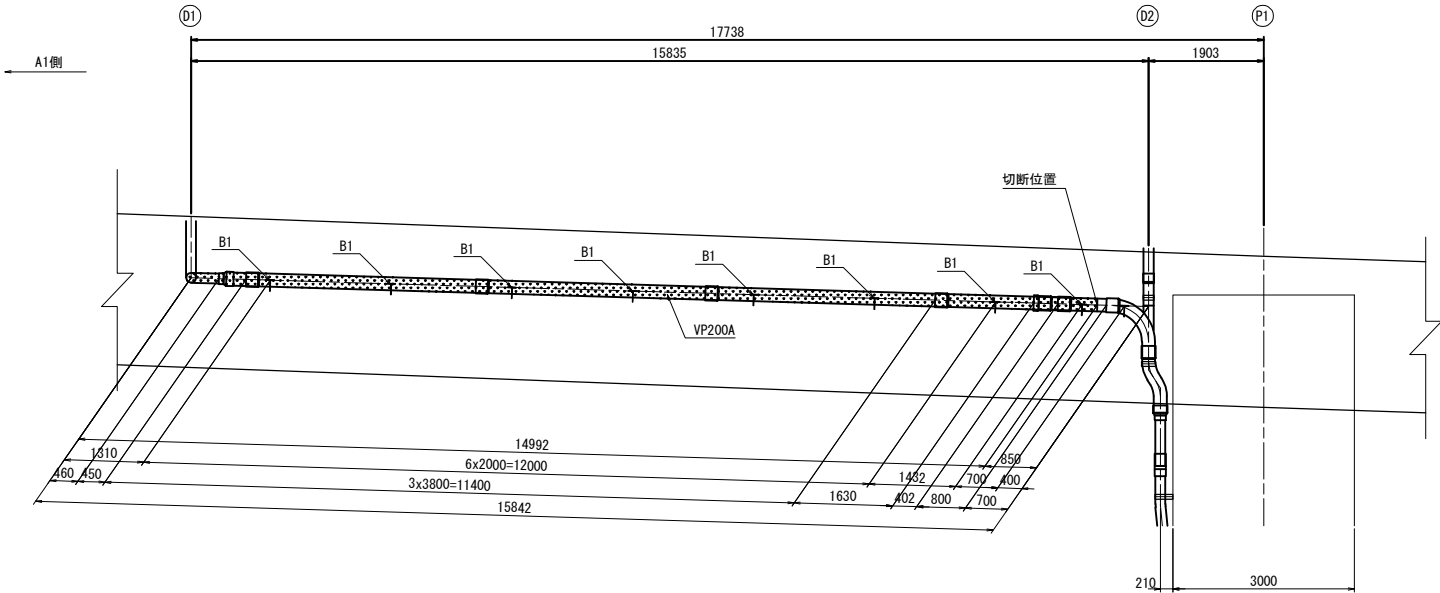
羽尾橋



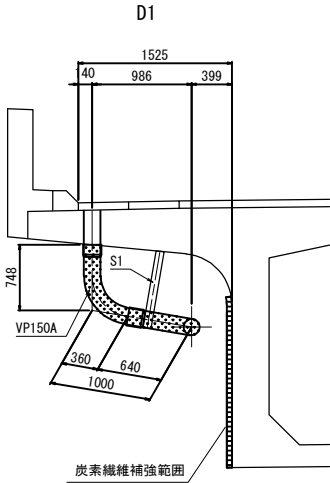
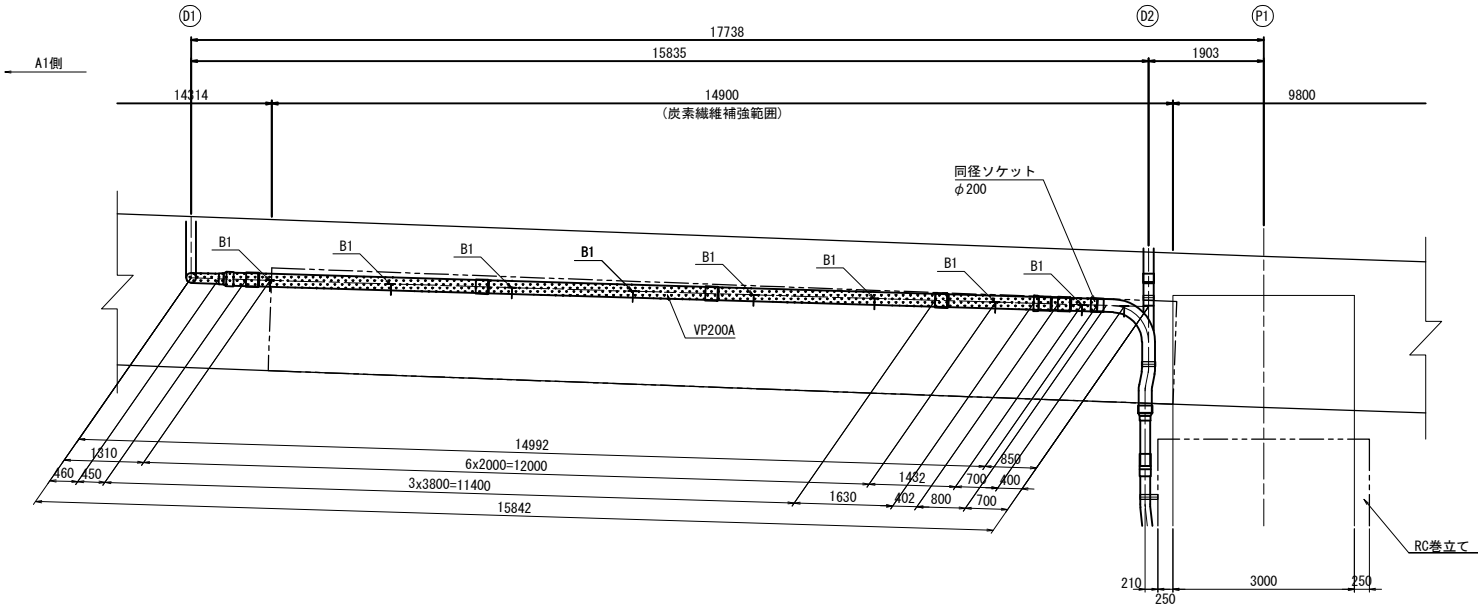
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 羽尾橋（下り線） 防護柵・立入防止柵撤去設置工 平面図 （参考図）			
図面の種類	図 示	図面番号	／
縮 尺			
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1~P1

＜ 現 況 ＞



＜改良後＞



撤去流心延長	0.748 + 1.000 + 14.992	=	16.740 m
撤去数量	排水管	=	16.740 m
	支持金具 S1	=	1 個
	B1	=	8 個
復旧流心延長	0.748 + 1.000 + 14.992	=	16.740 m
復旧数量	支持金具 S1	=	1 個
	B1	=	8 個
	同径ソケット (φ200)	=	1 個

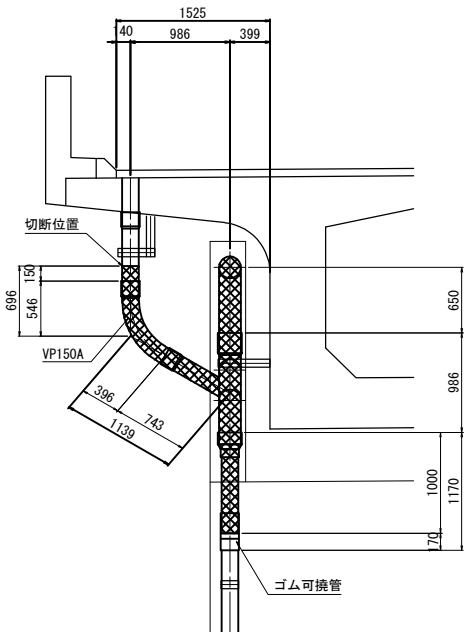
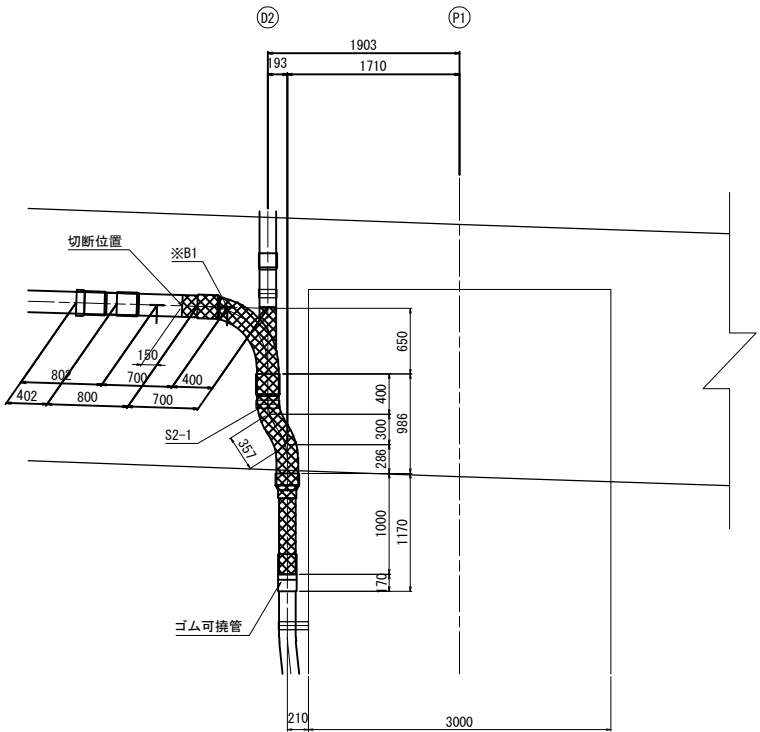
凡例
撤去・設置範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	羽尾橋（下り線） 撤去設置工 排水管A詳細図（その1） （参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P1橋脚上

＜ 現 況 ＞



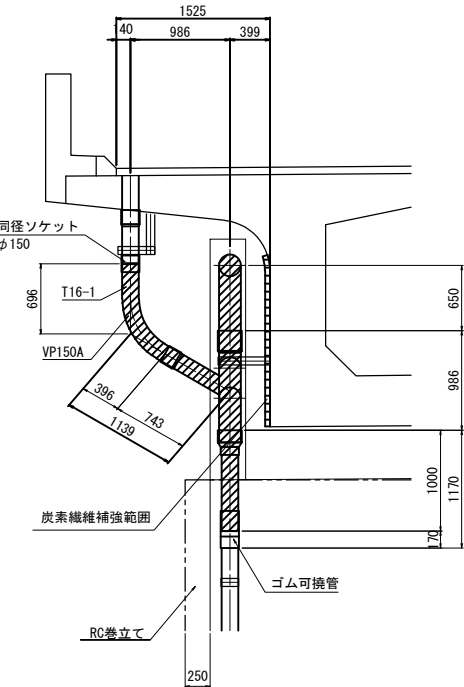
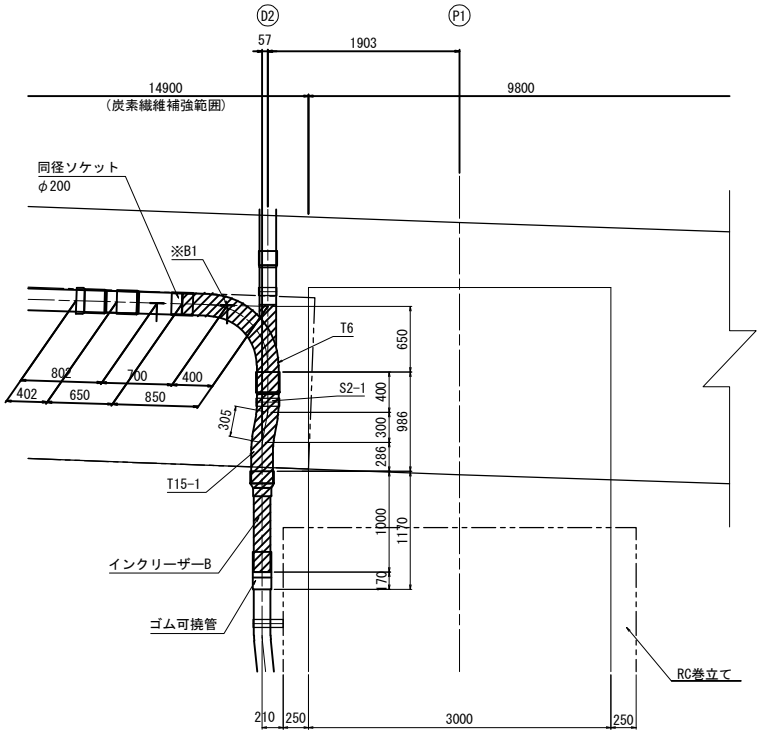
撤去流心延長 $0.850 + 0.650 + 0.400 + 0.357 + 0.286 + 1.000 + 1.139 + 0.696 = 5.378 \text{ m}$

撤去数量 排水管 = 5.378 m
支持金具 B1 = 1 個
S2-1 = 1 個

復旧流心延長 $0.850 + 0.650 + 0.400 + 0.305 + 0.286 + 1.000 + 1.139 + 0.696 = 5.326 \text{ m}$

復旧数量 曲 管 T6 = 1 個
T15-1 = 1 個
T16-1 = 1 個
インクリーザー B = 1 個
支持金具 B1 = 1 個
S2-1 = 1 個
同径ソケット φ150 = 1 個
φ200 = 1 個

＜改良後＞



凡例
: 撤去範囲
: 新設範囲

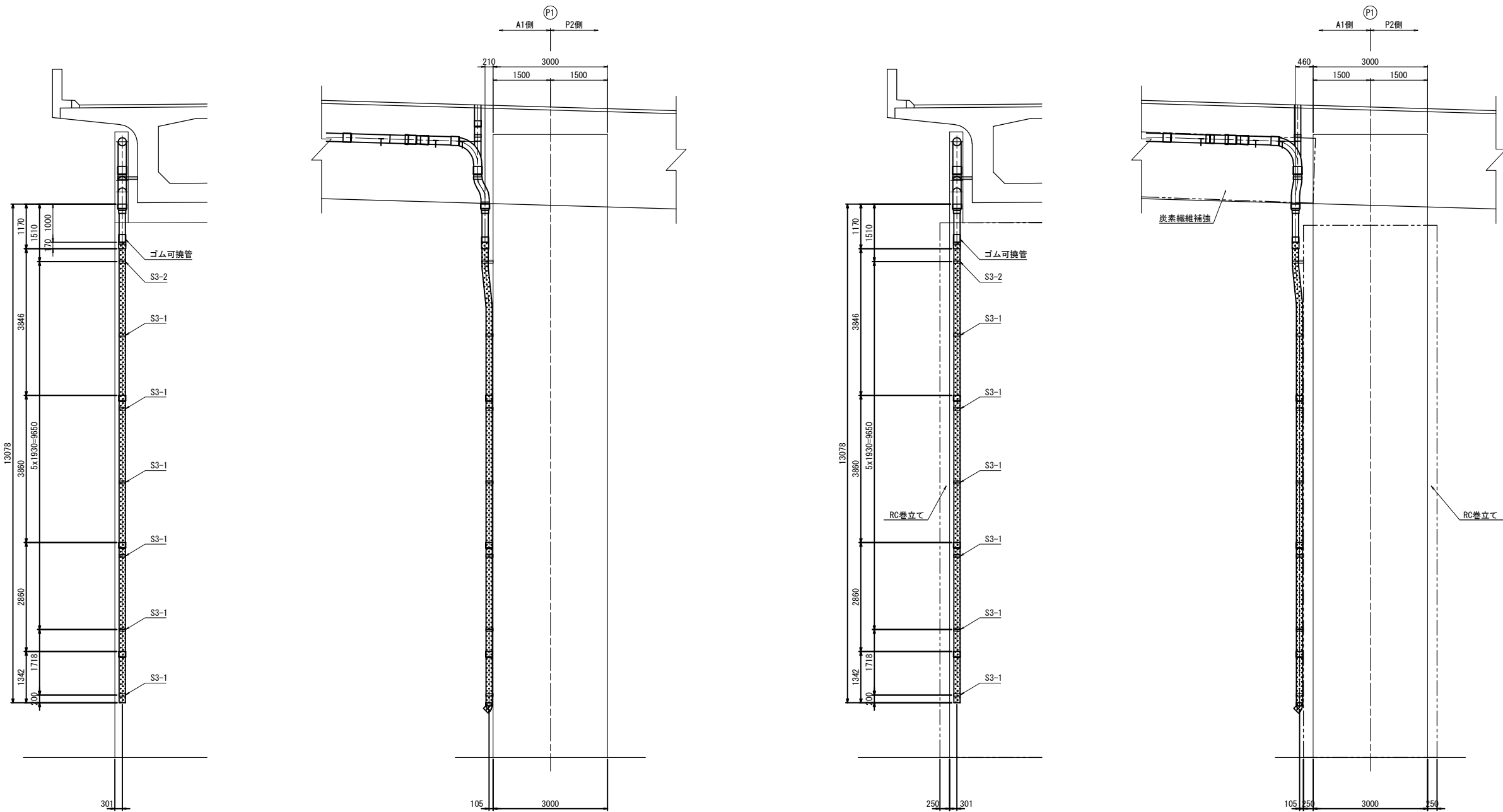
注 記
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
3. ※印部本体付き部材は残置とする。
4. 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
5. 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	羽尾橋（下り線） 撤去設置工 排水管A 詳細図（その2） （参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P1橋脚

＜ 現 況 ＞

＜改良後＞



撤去流心延長	0.170 + 3.846 + 3.860 + 2.860 + 1.342	= 12.078 m
撤去数量	排水管 支持金具 S3-1 S3-2	= 12.078 m = 6 個 = 1 個
復旧流心延長	0.170 + 3.846 + 3.860 + 2.860 + 1.342	= 12.078 m
復旧数量	支持金具 S3-1 S3-3	= 6 個 = 1 個

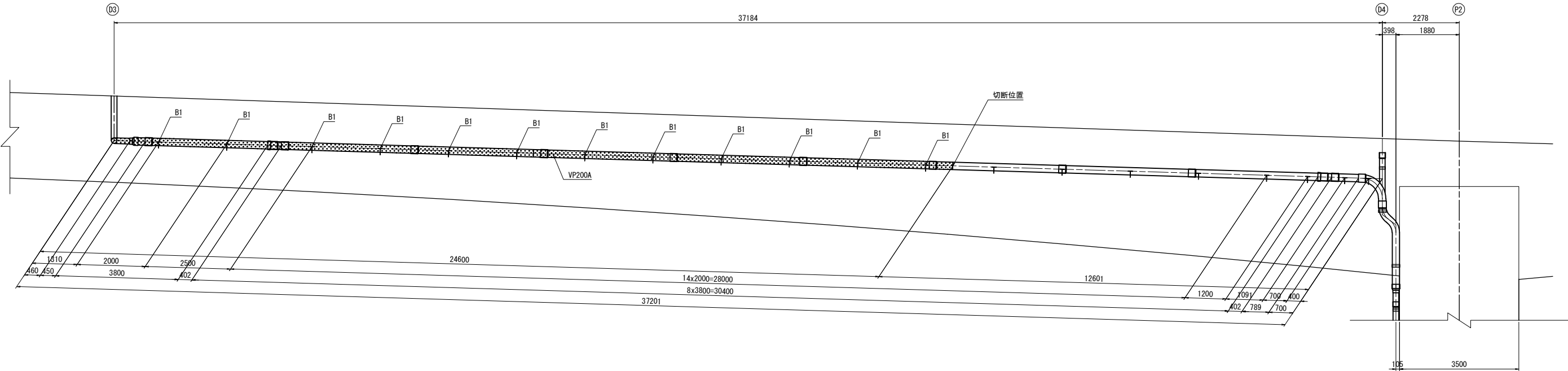
凡例
撤去・設置範囲

注 記
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
3. 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。

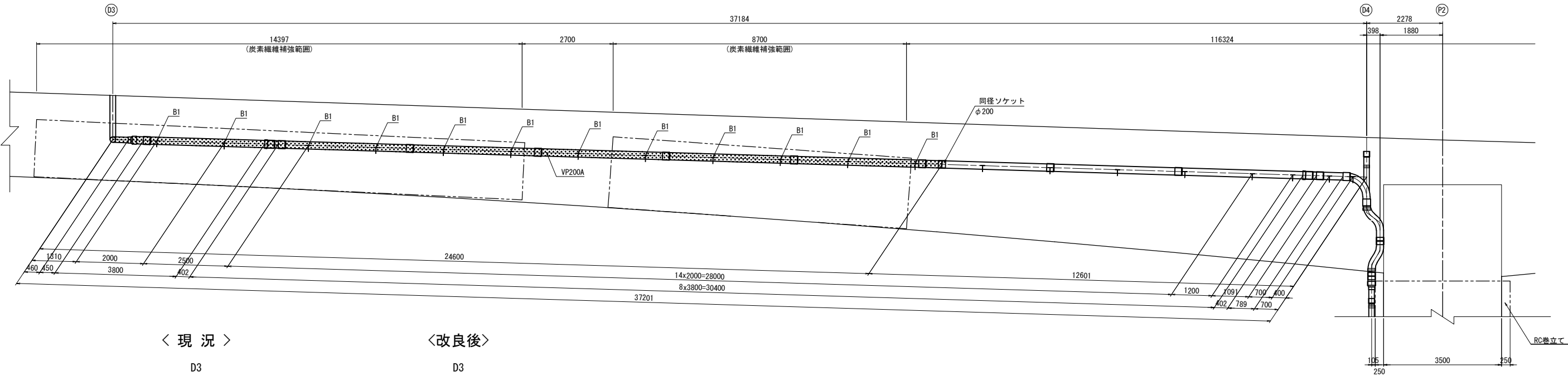
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その3) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その4) (参考図) S=1 : 125
P1~P2

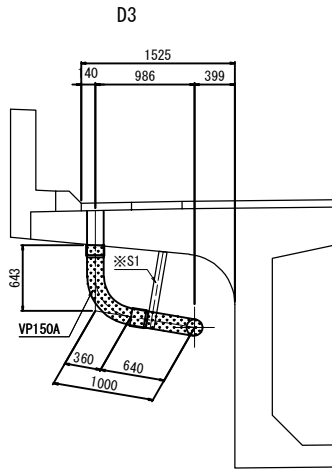
＜ 現 況 ＞ (L側)



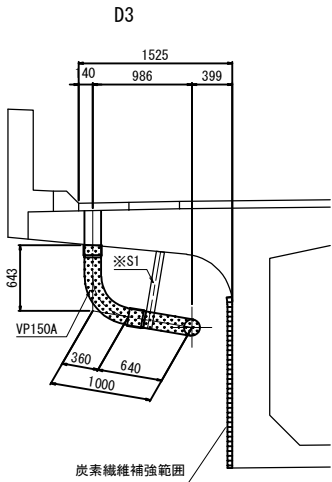
＜改良後＞ (L側)



＜ 現 況 ＞



＜改良後＞



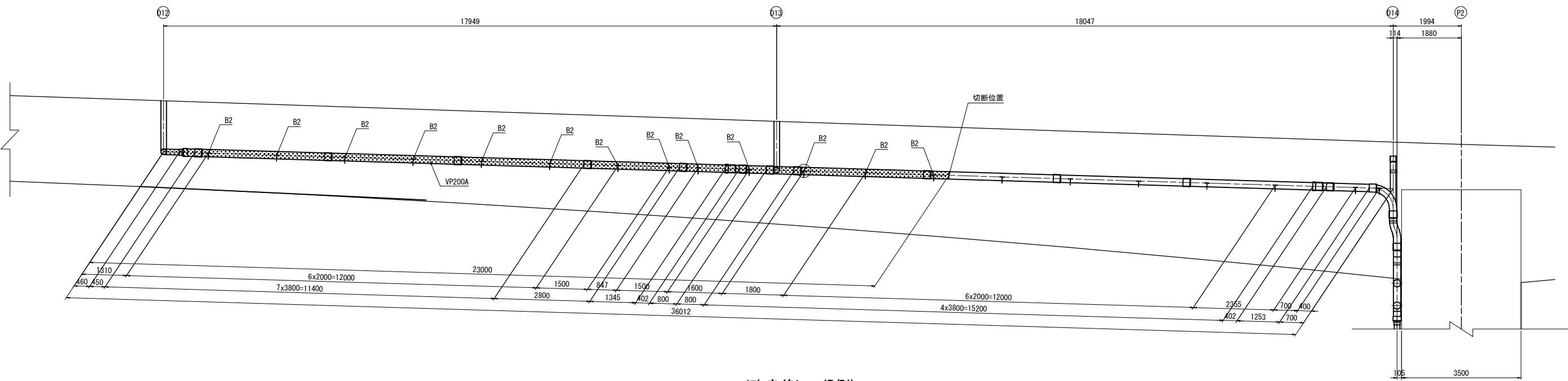
撤去流心延長	0.643 + 1.000 + 24.600	= 26.243 m
撤去数量	排水管	= 26.243 m
	支持金具 S1	= 1 個
	B1	= 12 個
復旧流心延長	0.643 + 1.000 + 24.600	= 26.243 m
復旧数量	支持金具 S1	= 1 個
	B1	= 12 個
	同径ソケット (φ200)	= 1 個

凡例
撤去・設置範囲

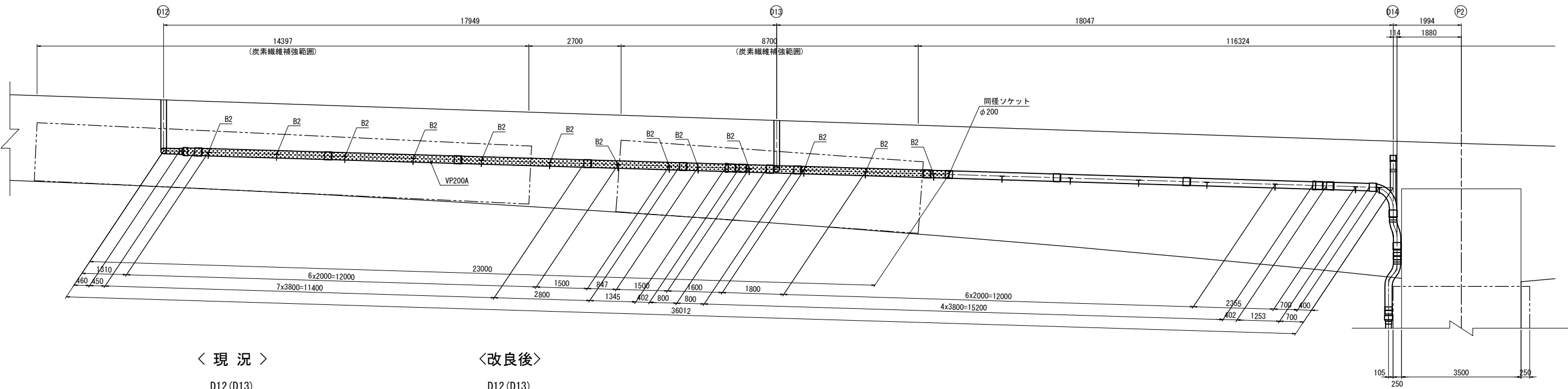
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	羽尾橋（下り線） 撤去設置工 排水管A詳細図（その4） （参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

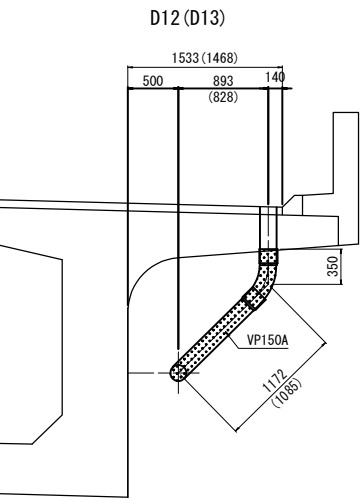
P1~P2
＜ 現 況 ＞ (R側)



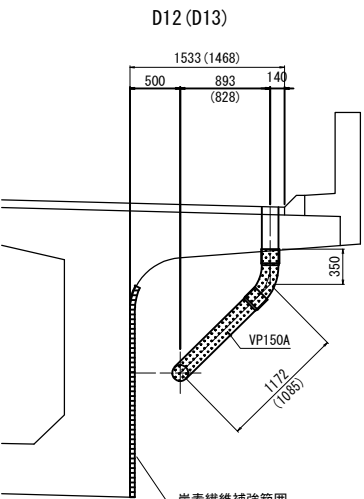
＜改良後＞ (R側)



＜ 現 況 ＞



＜改良後＞



撤去流心延長	1.172 + 0.350 + 1.085 + 0.350 + 23.000 =	25.957 m
撤去数量	排水管	= 25.957 m
	支持金具 B2	= 13 個
復旧流心延長	1.172 + 0.350 + 1.085 + 0.350 + 23.000 =	25.957 m
復旧数量	支持金具 B2	= 13 個
	同径ソケット (φ200)	= 1 個

凡例
撤去・設置範囲

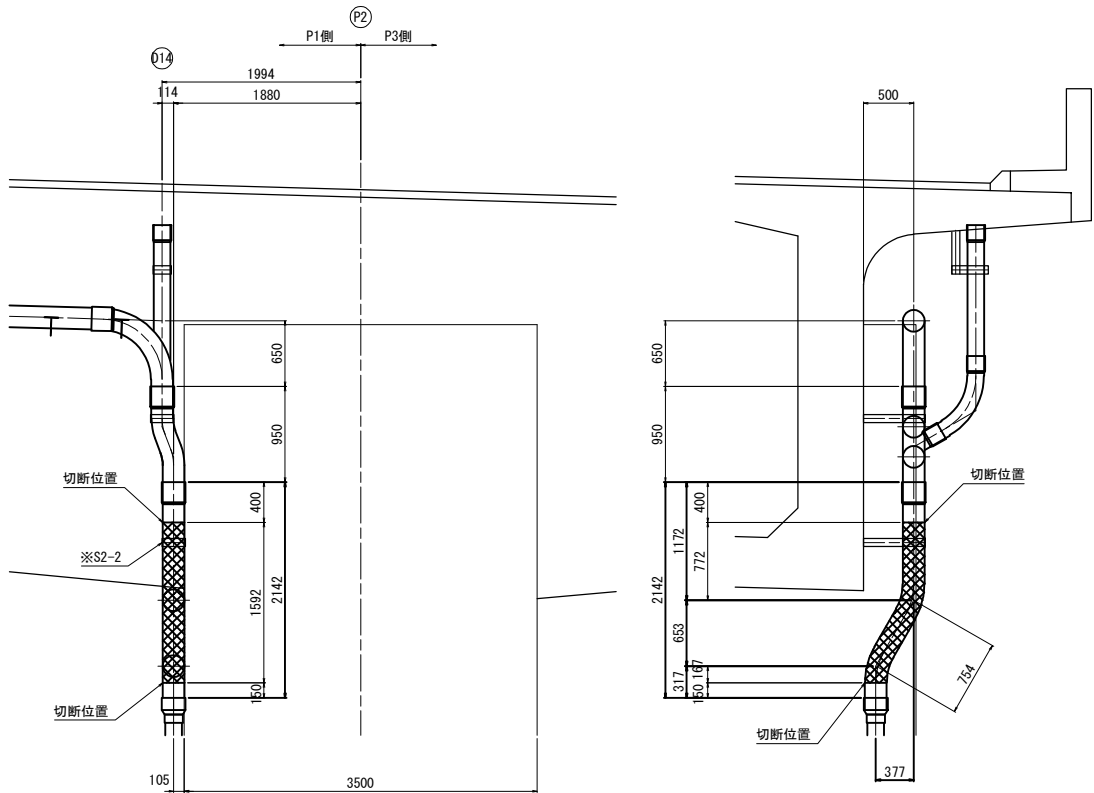
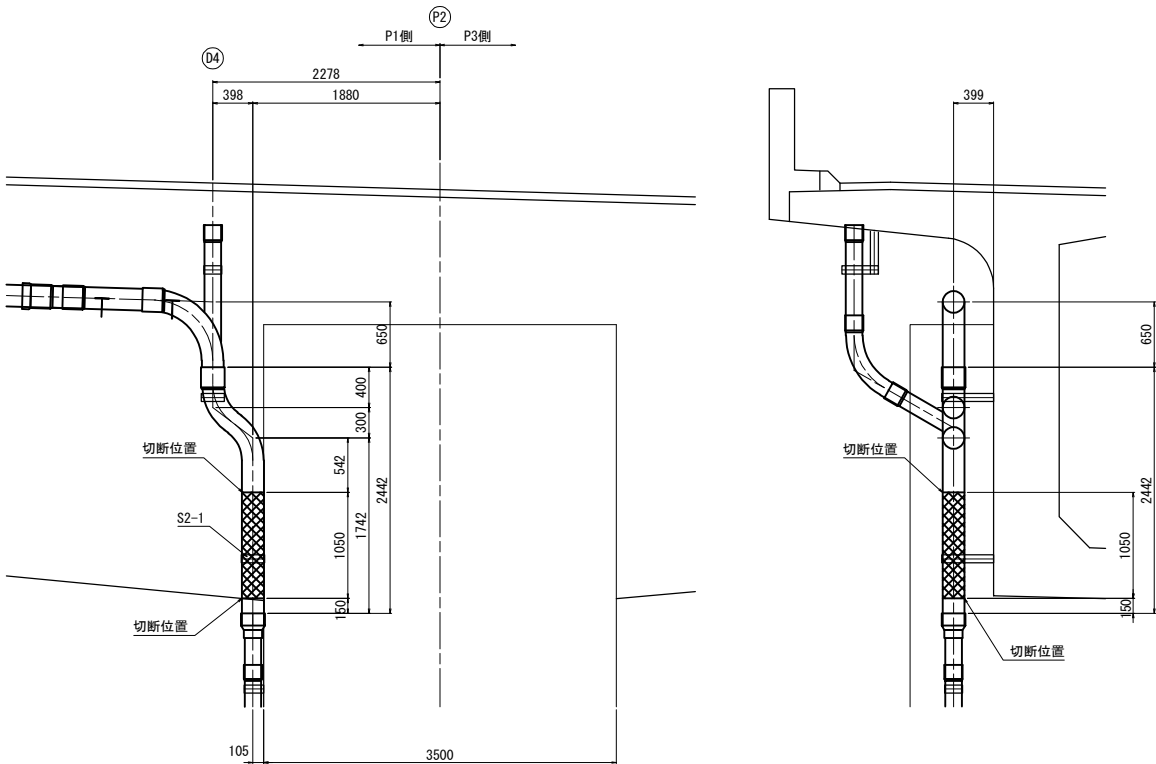
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
羽尾橋（下り線） 撤去設置工 排水管A詳細図（その5） （参考図）				
図面の種類				
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P2橋脚上

＜現 況＞ (L側)

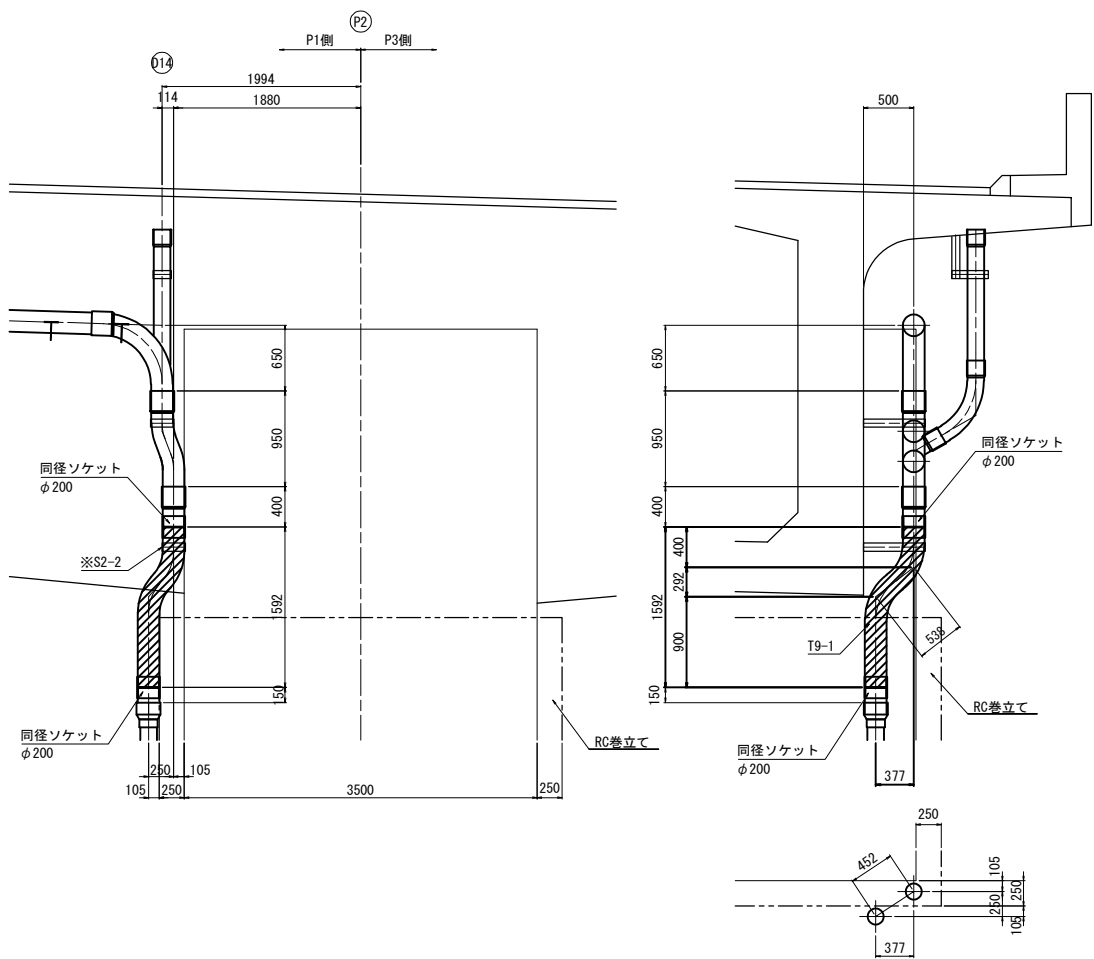
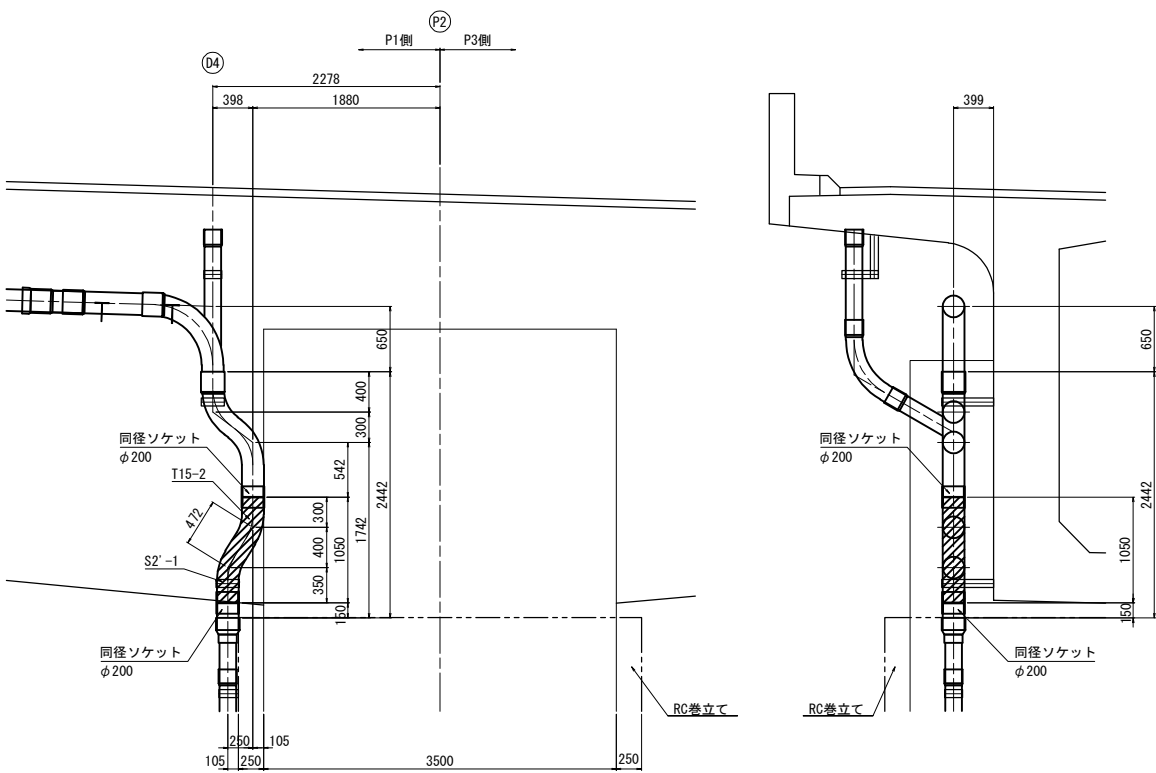
＜現 況＞ (R側)



撤去流心延長	1.050	= 1.050 m
	0.772 + 0.754 + 0.167	= 1.693 m
撤去数量	排水管	= 2.743 m
	支持金具 S2'-1	= 1 個
	S2-2	= 1 個
復旧流心延長	0.300 + 0.472 + 0.350	= 1.122 m
	0.400 + 0.538 + 0.900	= 1.838 m
復旧数量	曲 管 T9-1	= 1 個
	T15-2	= 1 個
	支持金具 S2'-1	= 1 個
	S2-2	= 1 個
	同径ソケット φ200	= 4 個

＜改良後＞ (L側)

＜改良後＞ (R側)



凡例
[Cross-hatched box] : 撤去範囲
[Diagonal hatched box] : 新設範囲

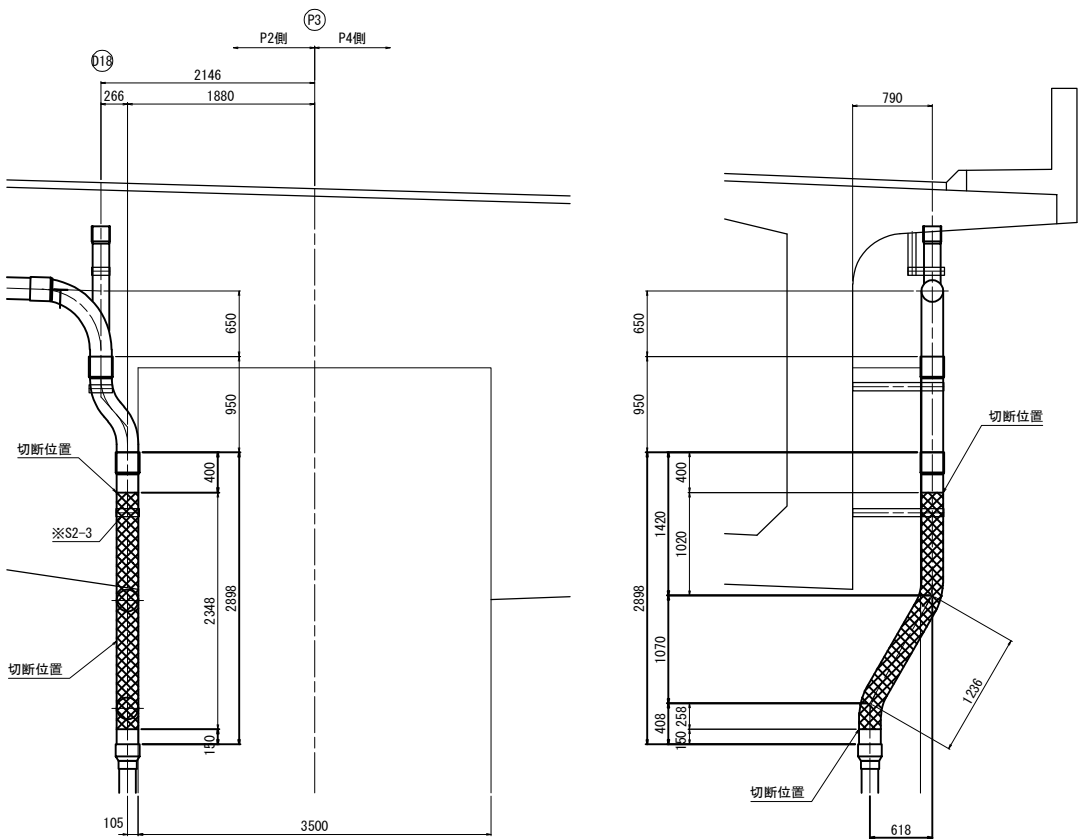
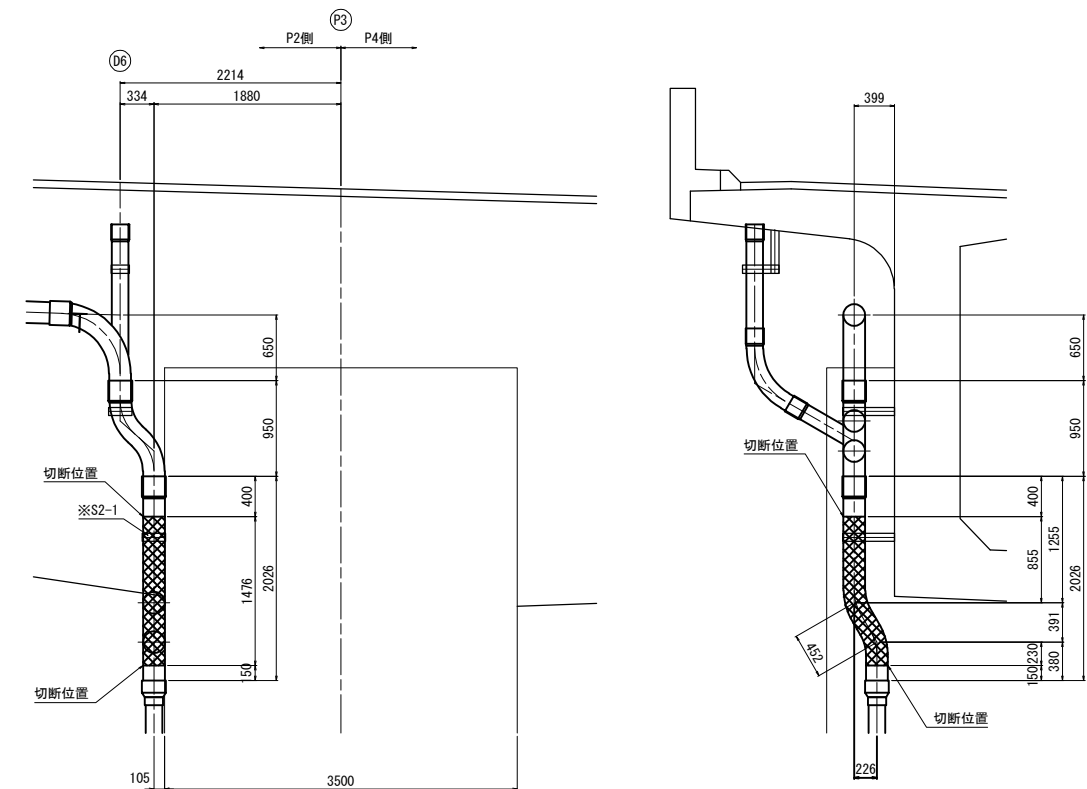
- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その6) (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚上

＜ 現 況 ＞ (L側)

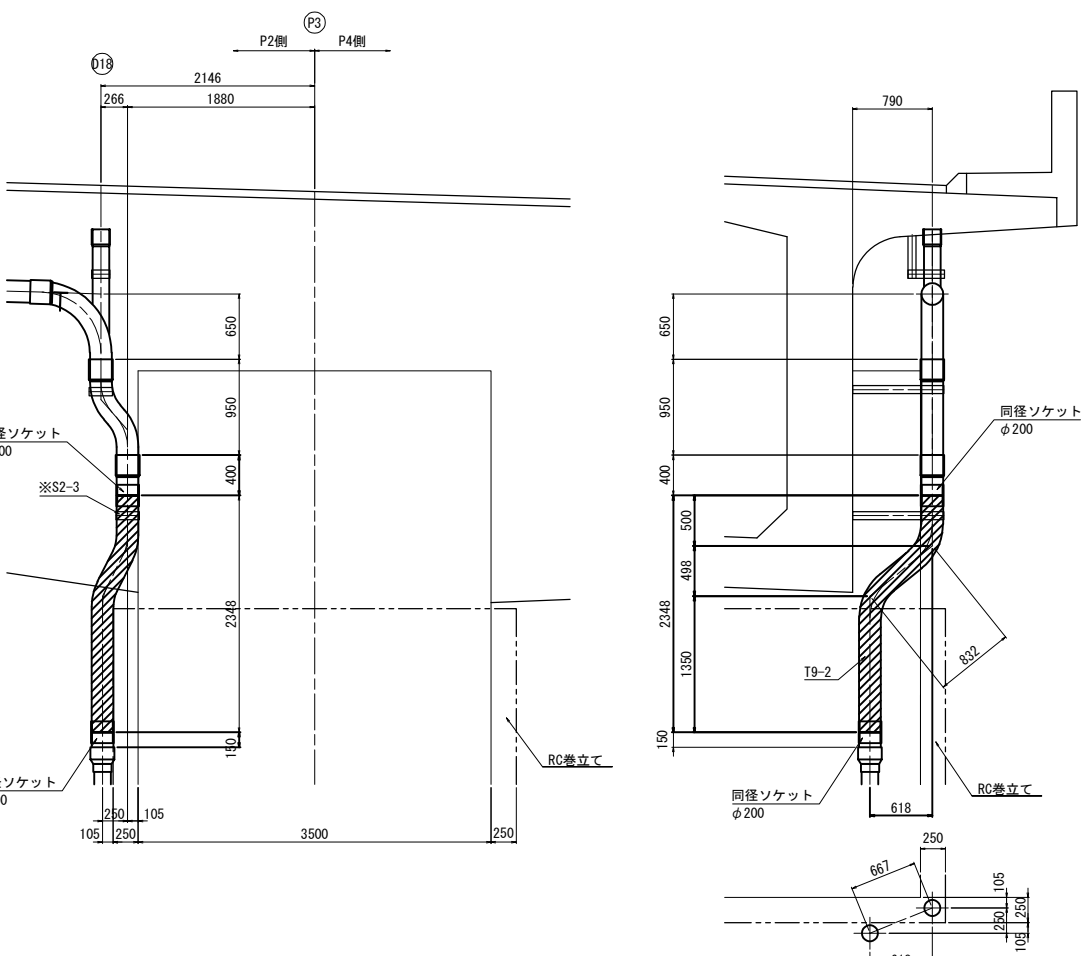
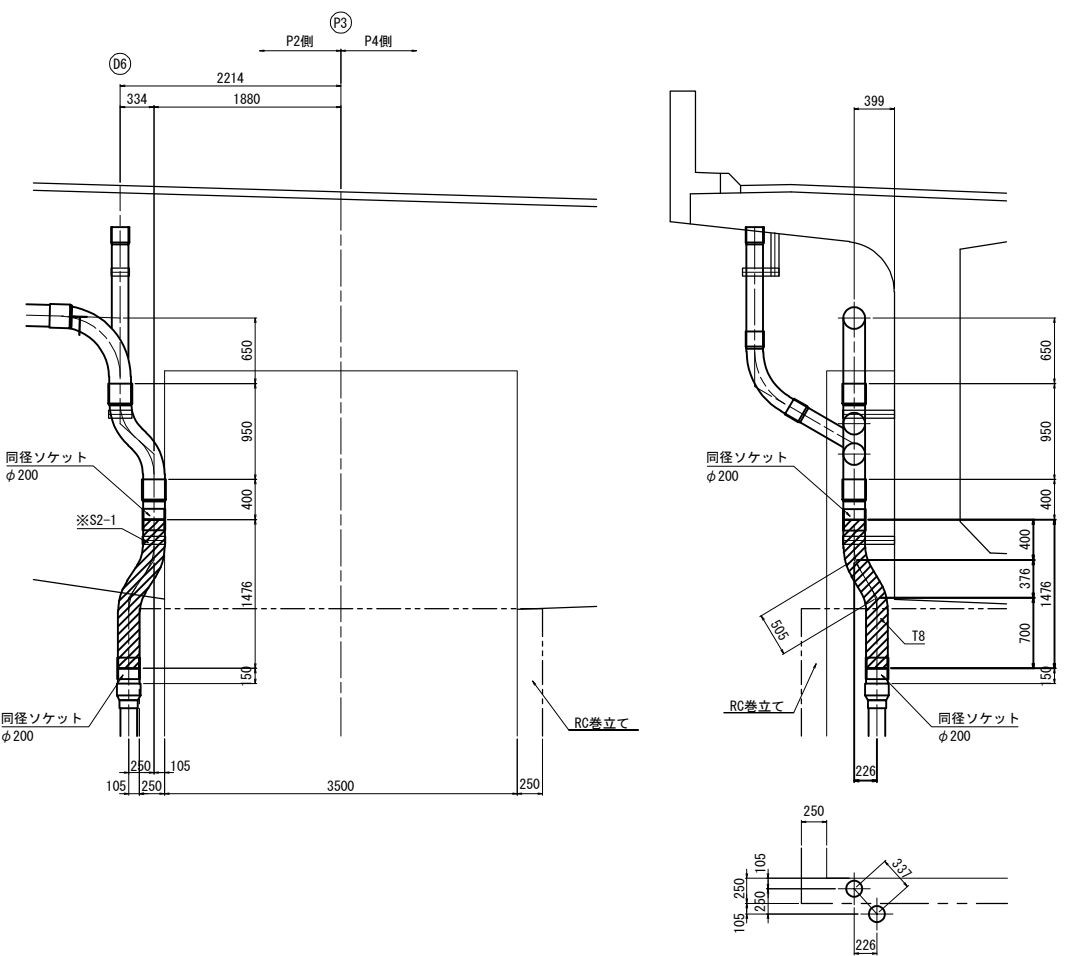
＜ 現 況 ＞ (R側)



撤去流心延長	0.855 + 0.452 + 0.230	= 1.537 m
	1.020 + 1.236 + 0.258	= 2.514 m
撤去数量	排水管	= 4.051 m
	支持金具 S2-1	= 1 個
	S2-3	= 1 個
復旧流心延長	0.400 + 0.505 + 0.700	= 1.605 m
	0.500 + 0.832 + 1.350	= 2.682 m
復旧数量	曲 管 T8	= 1 個
	T9-2	= 1 個
	支持金具 S2-1	= 1 個
	S2-3	= 1 個
	同径ソケット φ200	= 4 個

＜改良後＞ (L側)

＜改良後＞ (R側)



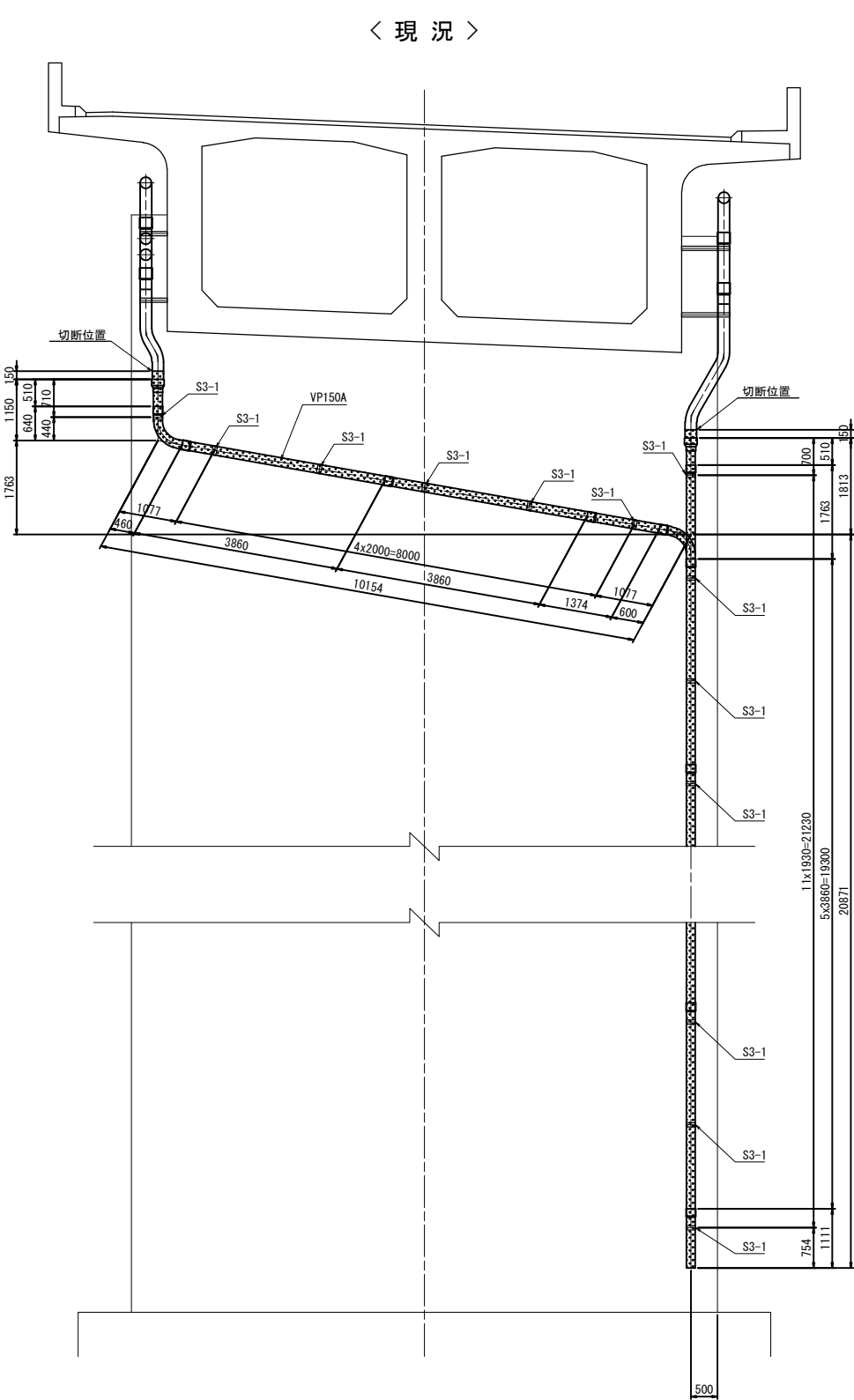
凡例
撤去範囲
新設範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

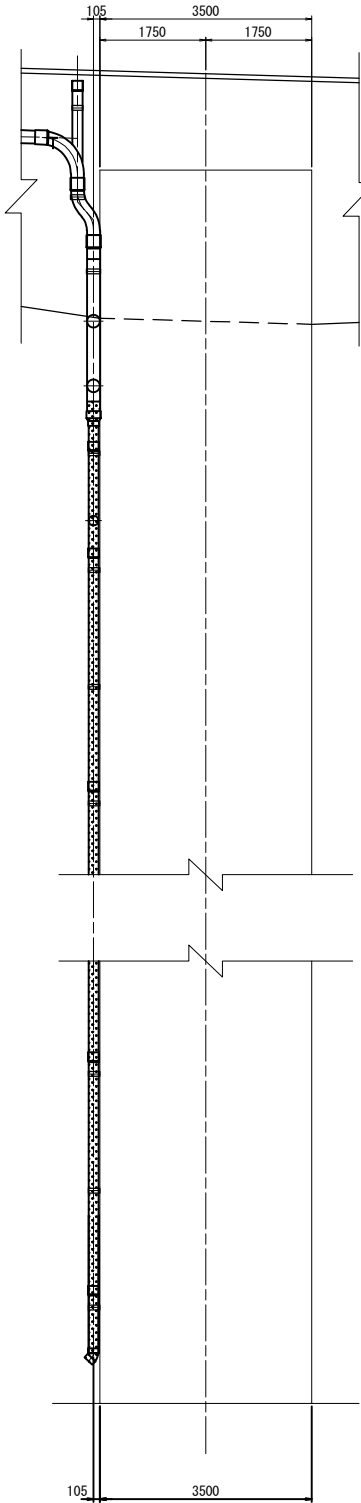
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その8) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚

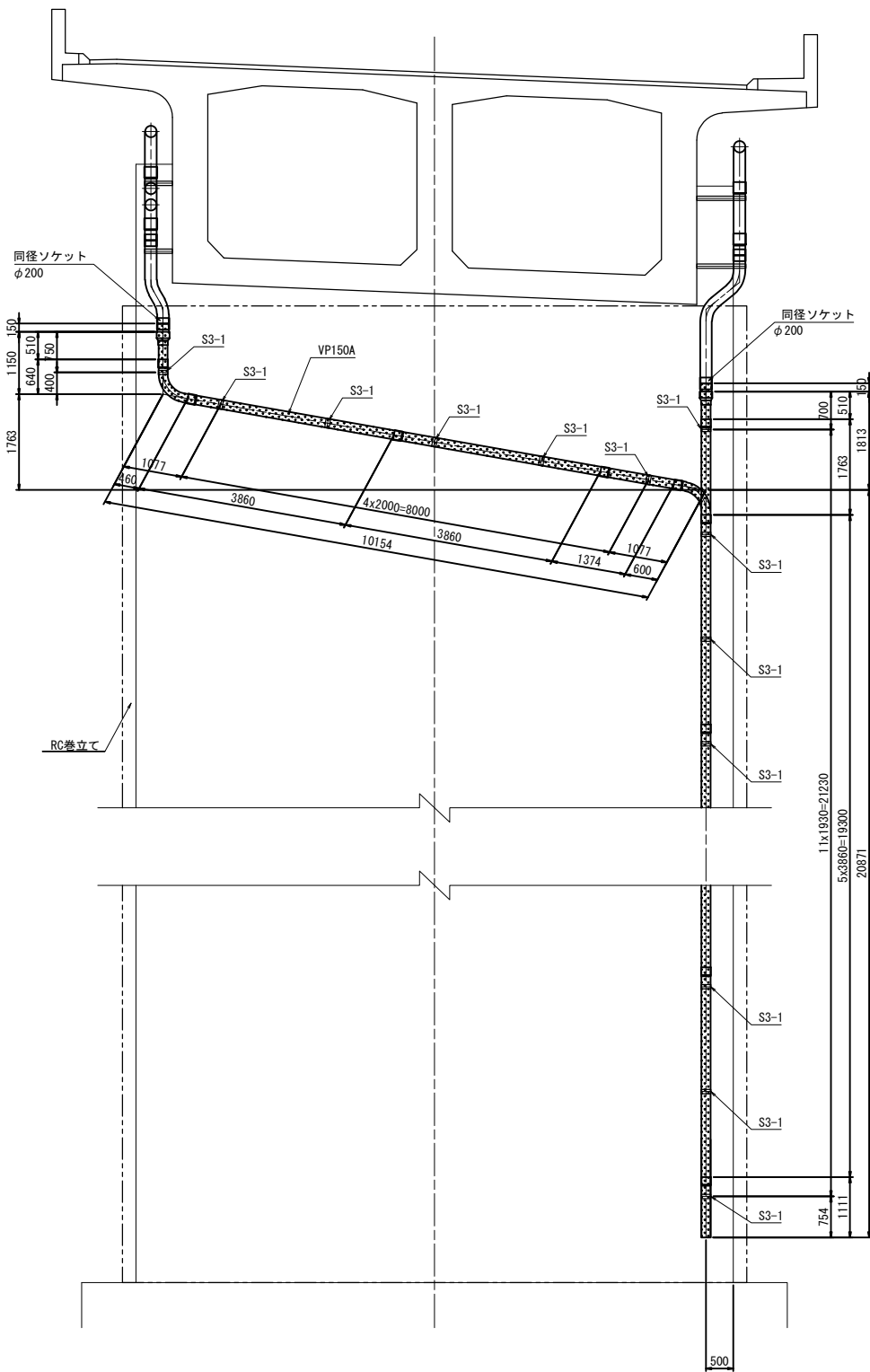
＜現 況＞



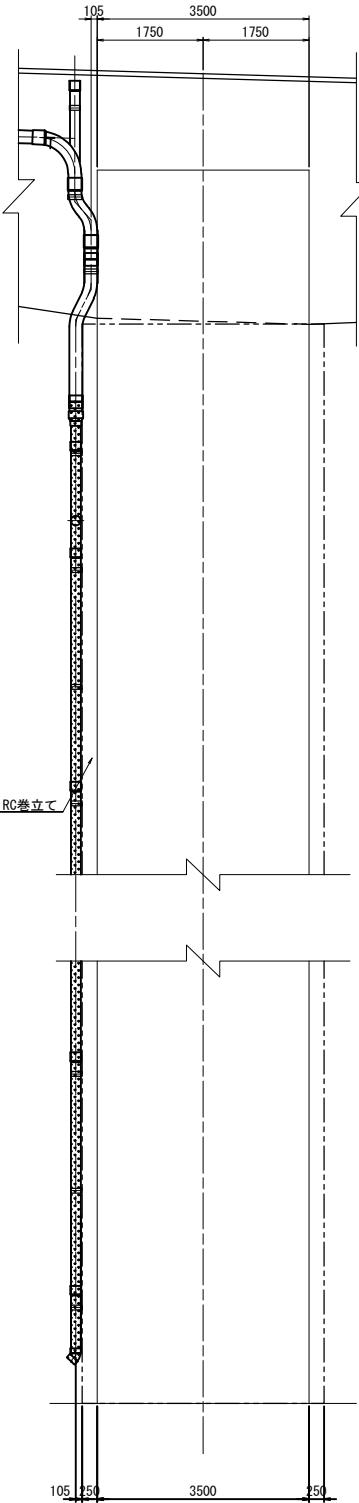
P2側 P3 P4側



＜改良後＞



P2側 P3 P4側



撤去流心延長 0.150 + 1.150 + 10.154
+ 0.150 + 1.813 + 20.871 = 34.288 m
撤去数量 排水管 S3-1 = 34.288 m
支持金具 S3-1 = 18 個

復旧流心延長 0.150 + 1.150 + 10.154
+ 0.150 + 1.813 + 20.871 = 34.288 m
復旧数量 支持金具 S3-1 = 18 個

凡例

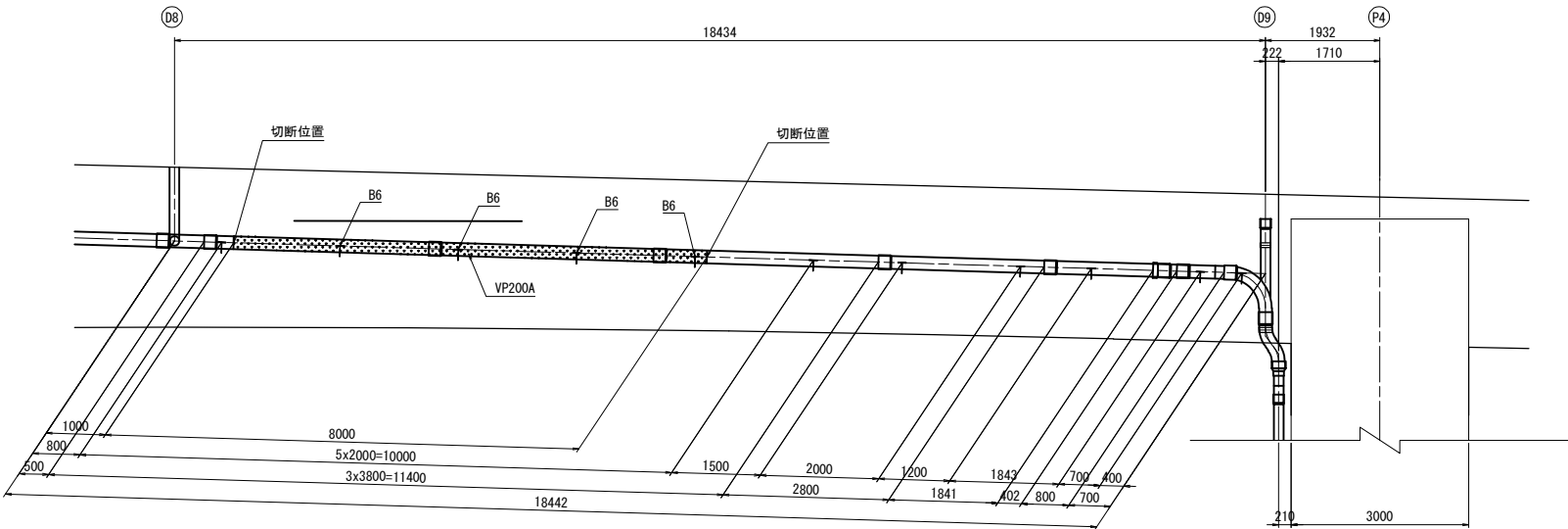
撤去・設置範囲

注 記

- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
- 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
- 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。

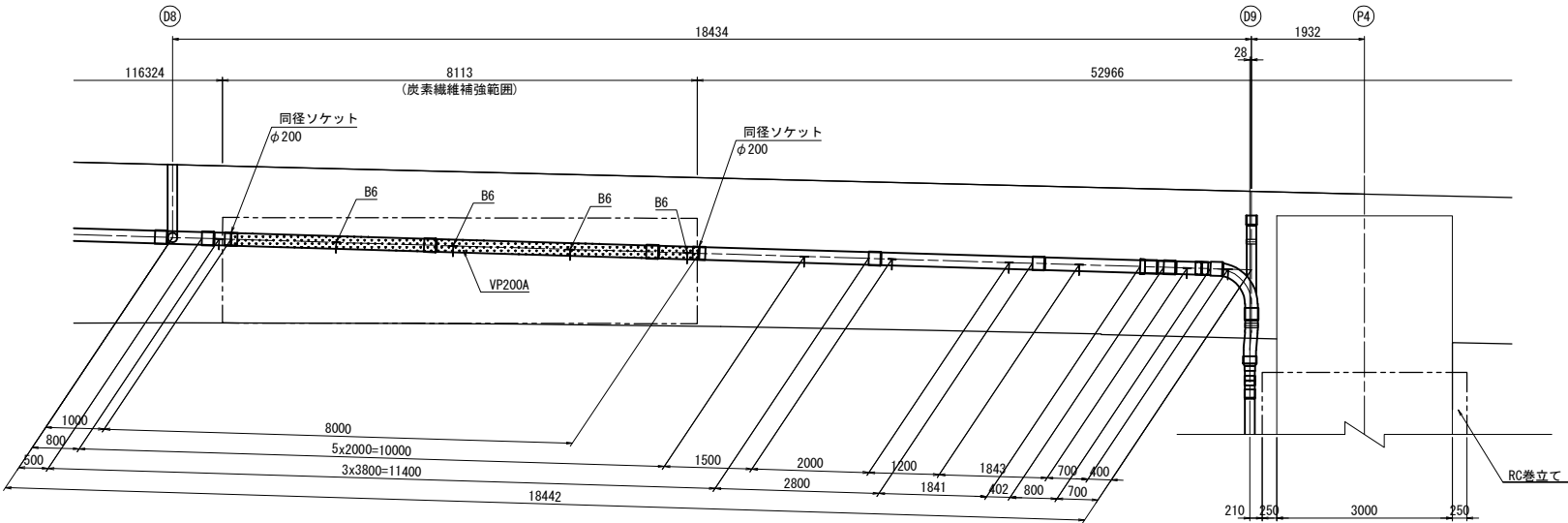
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管 A 詳細図(その9) (参考図)				
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

＜ 現 況 ＞ (L側)



撤去流心延長	8.000	=	8.000 m
撤去数量	排水管	=	8.000 m
	支持金具 B6	=	4 個
復旧流心延長	8.000	=	8.000 m
復旧数量	支持金具 B6	=	4 個
	同径ソケット (φ200)	=	2 個

＜改良後＞ (L側)



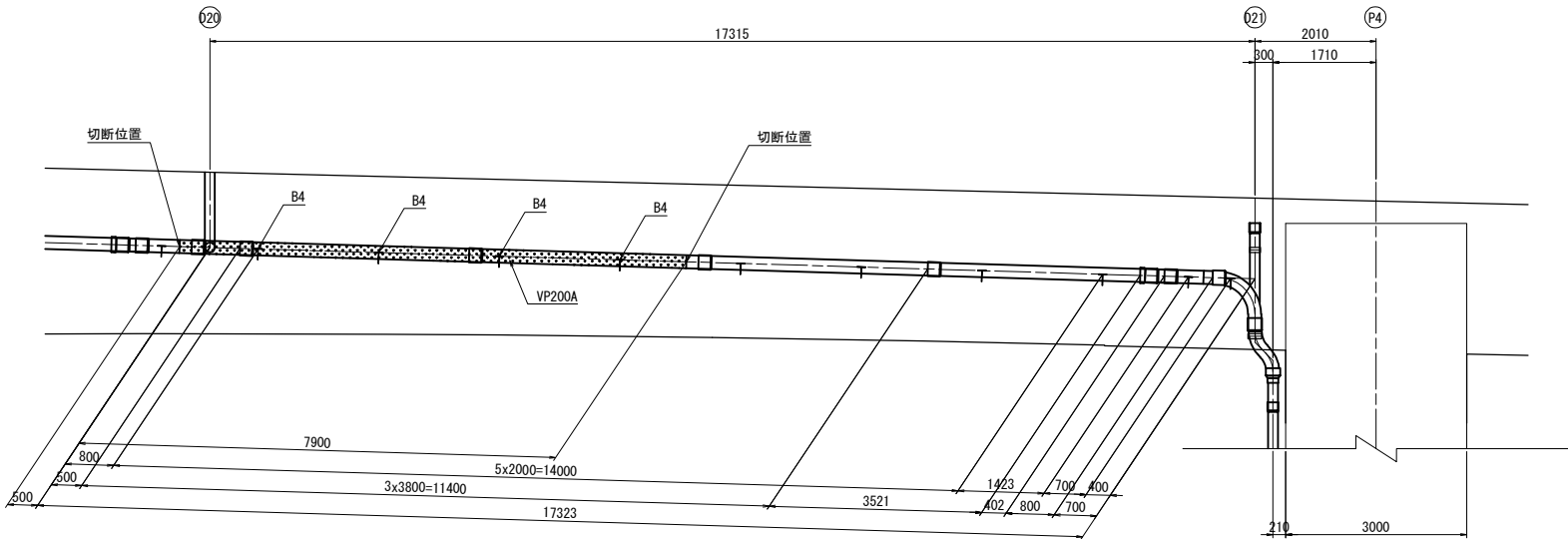
凡例
: 撤去・設置範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

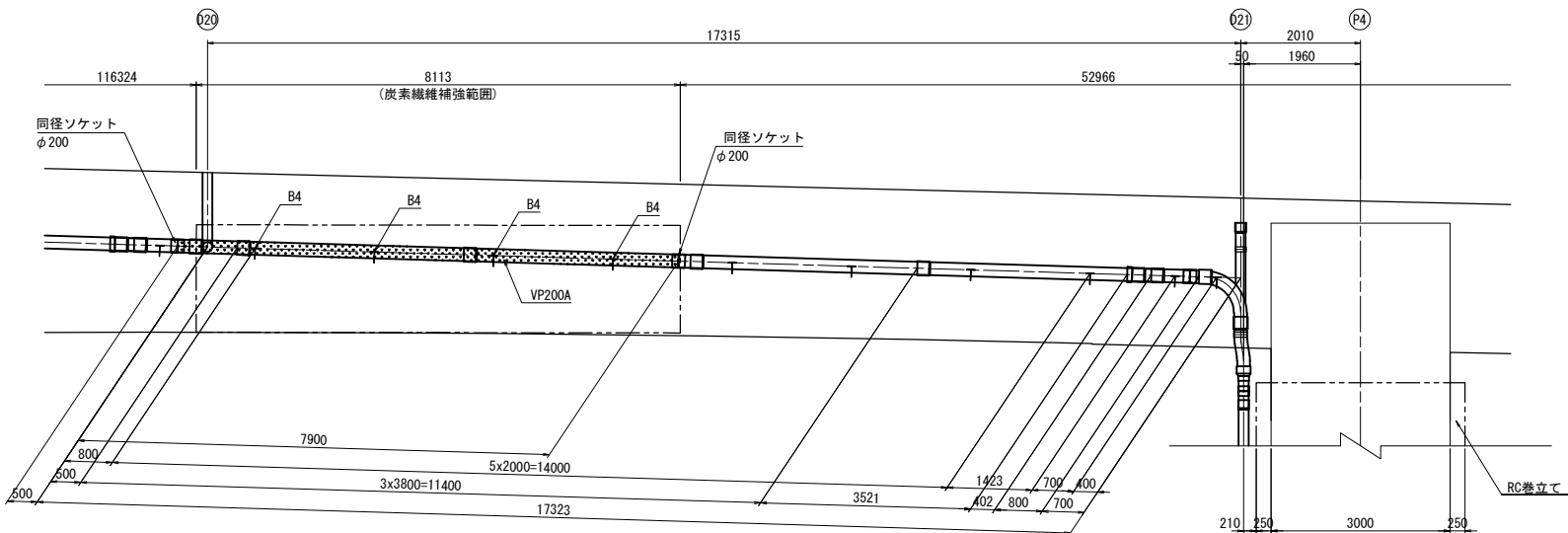
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管 A 詳細図(その10) (参考図)			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その11) (参考図) S=1 : 125
P3~P4

＜ 現 況 ＞ (R側)

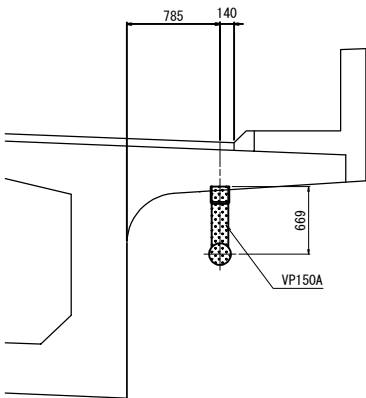


＜改良後＞ (R側)



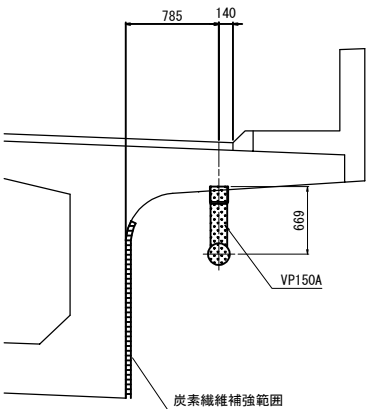
＜ 現 況 ＞

D20



＜改良後＞

D20



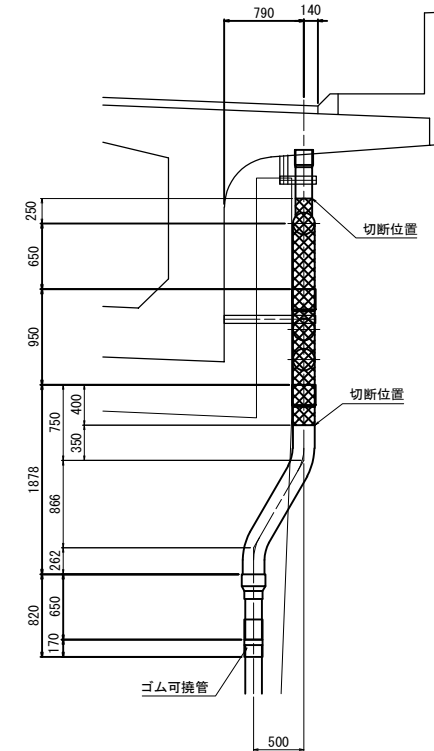
撤去流心延長	0.669 + 0.500 + 7.900	=	9.069 m
撤去数量	排水管	=	9.069 m
	支持金具 B4	=	4 個
復旧流心延長	0.669 + 0.500 + 7.900	=	9.069 m
復旧数量	支持金具 B4	=	4 個
	同径ソケット (φ200)	=	2 個

凡例
撤去・設置範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
 - ※印部本体付き部材は残置とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
 - 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

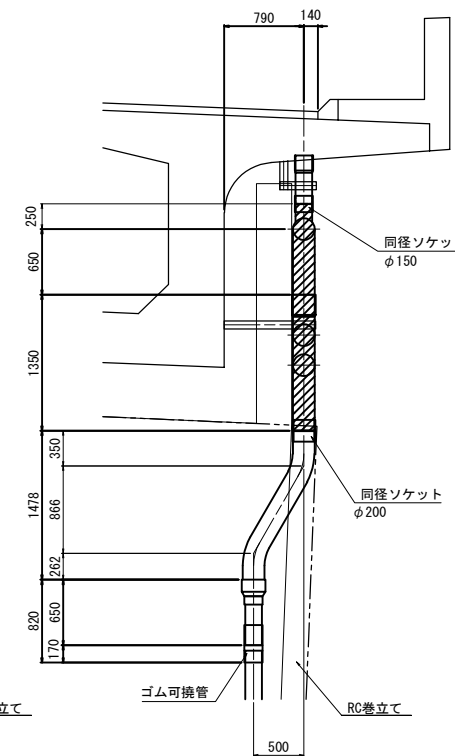
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
羽尾橋(下り線)				
図面の種類	撤去設置工 排水管A詳細図(その11) (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

＜ 現 況 ＞ (R側)



復旧数量	曲 管	T6	=	1 個
		T14-2	=	1 個
		T15-4	=	1 個
		T15-8	=	1 個
		T16-2	=	1 個
	インクリーザー	A	=	1 個
	支持金具	B4	=	1 個
		B6	=	1 個
		S2-1	=	1 個
		S2-3	=	1 個
	同径ソケット	φ 150	=	2 個
		φ 200	=	3 個

＜改良後＞ (R側)



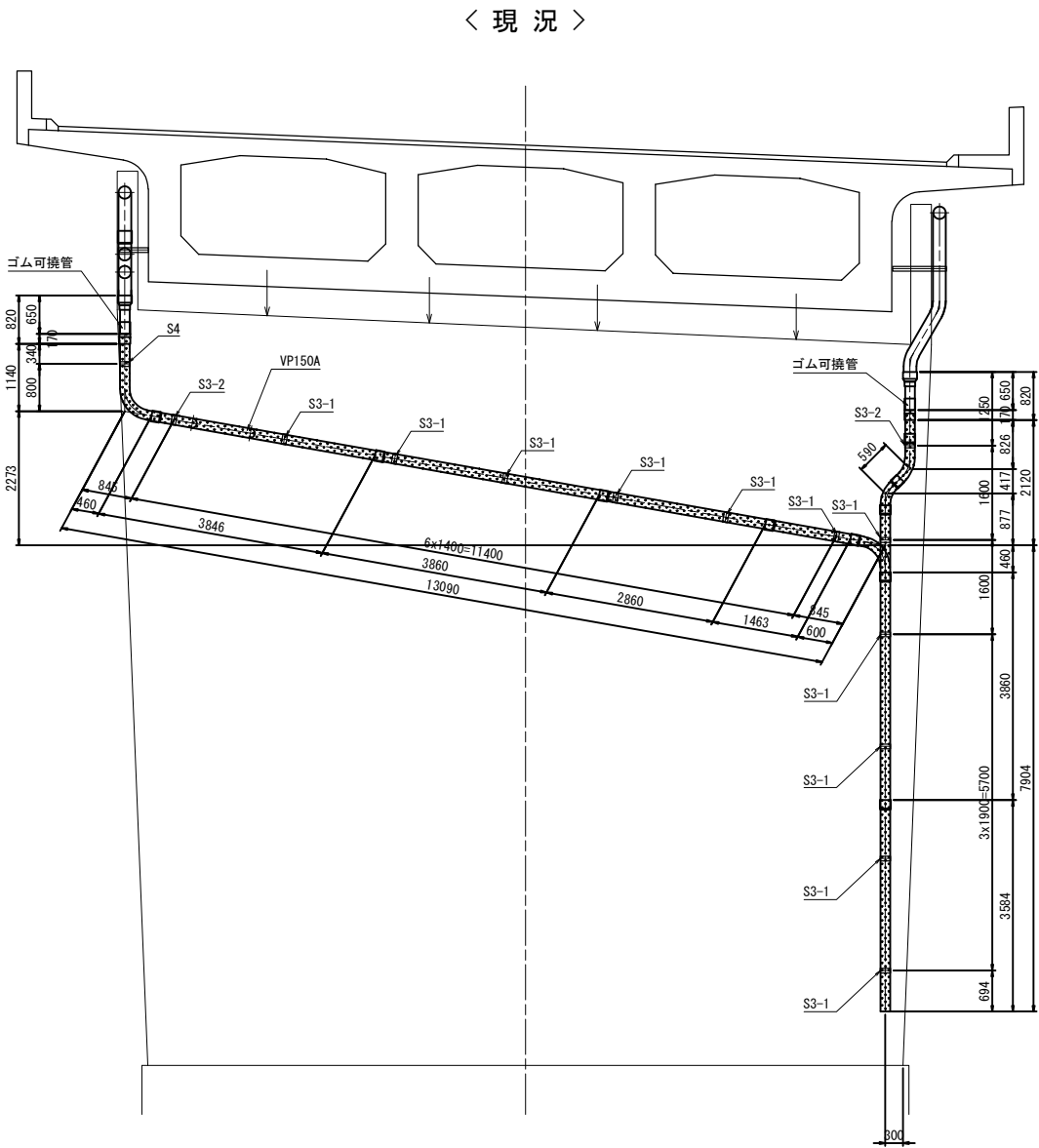
注 記

1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
3. ※部材本体付き部材は積置とする。
4. 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。
5. 復旧後の支持金具設置は既設位置より100mm以上ずらすこと。

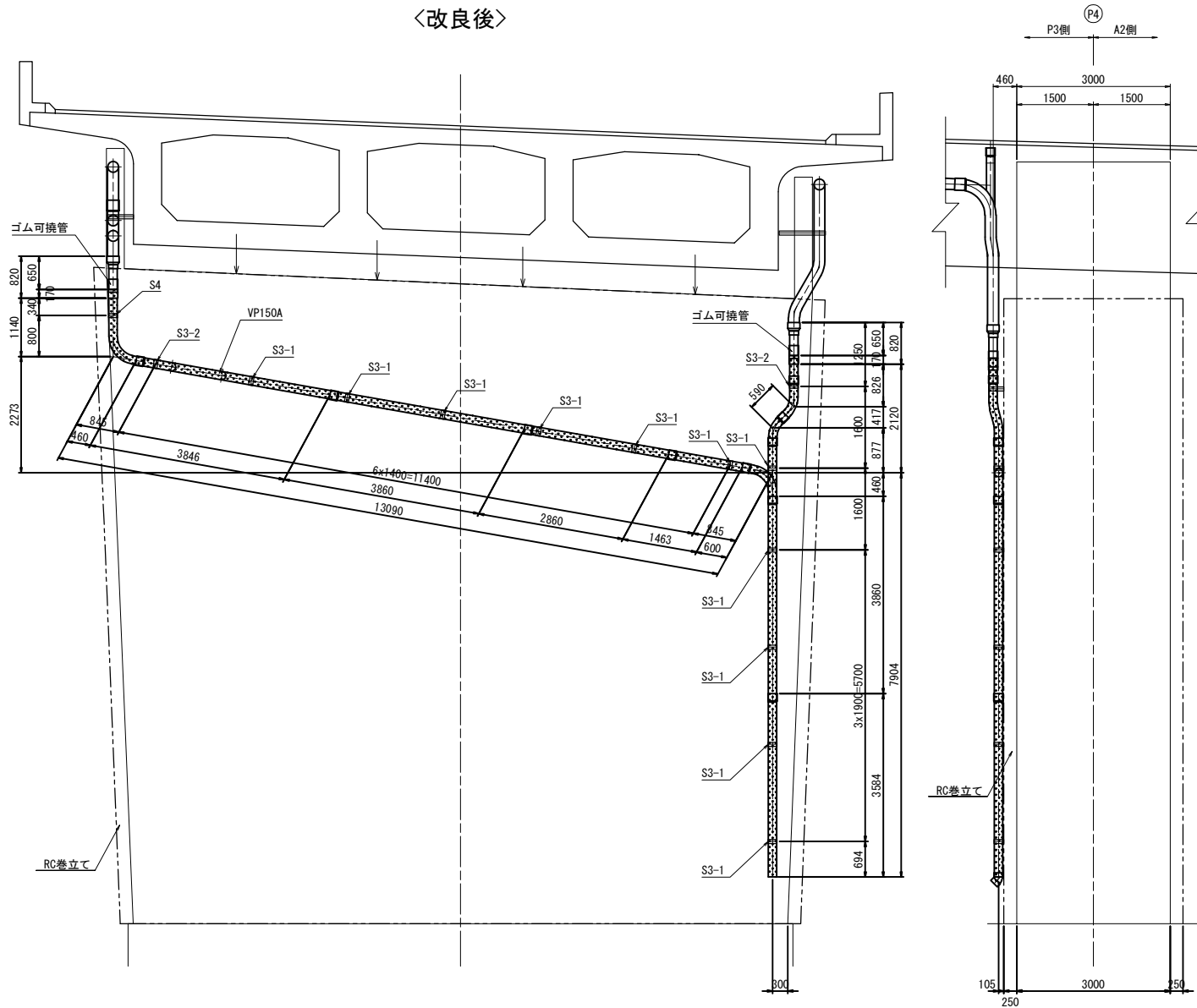
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類		羽尾橋（下り線） 撤去設置工 排水管A詳細図（その12） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P4橋脚

＜現 況＞



＜改良後＞



撤去流心延長 0.170 + 1.140 + 13.090 + 0.170
+ 0.826 + 0.590 + 0.877 + 7.904 = 24.767 m

撤去数量 排水管 = 24.767 m
支持金具 S3-1 = 11 個
S3-2 = 2 個
S4 = 1 個

復旧流心延長 0.170 + 1.140 + 13.090 + 0.170
+ 0.826 + 0.590 + 0.877 + 7.904 = 24.767 m

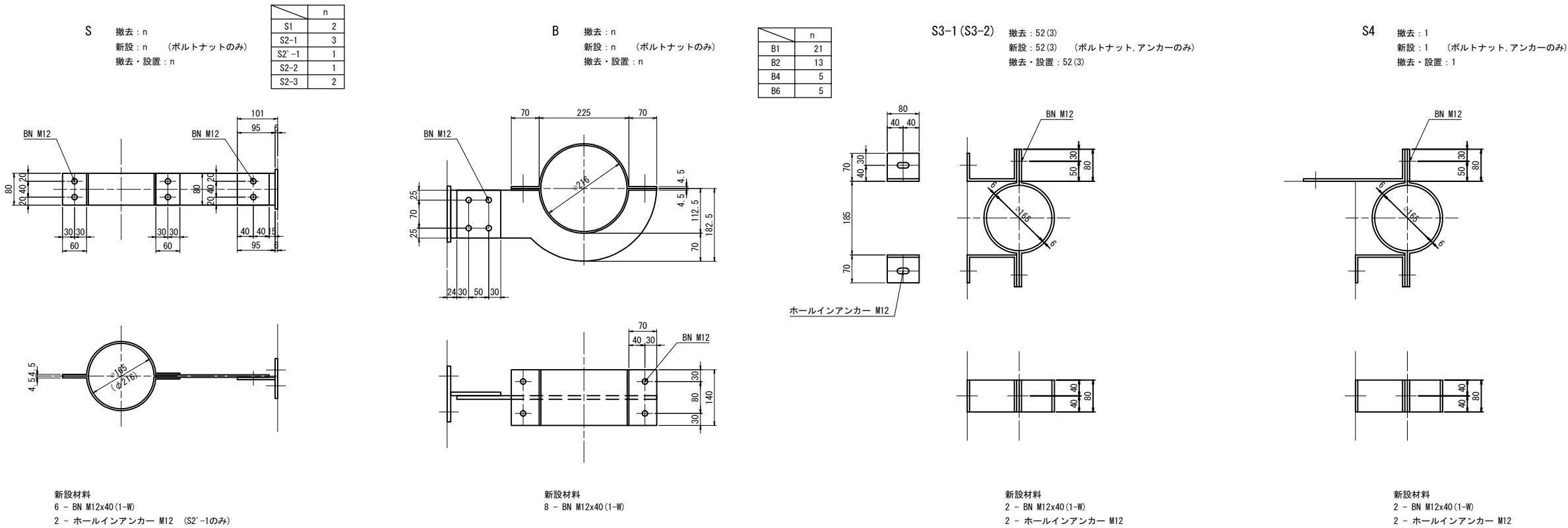
復旧数量 支持金具 S3-1 = 11 個
S3-2 = 2 個
S4 = 1 個

凡例
撤去・設置範囲

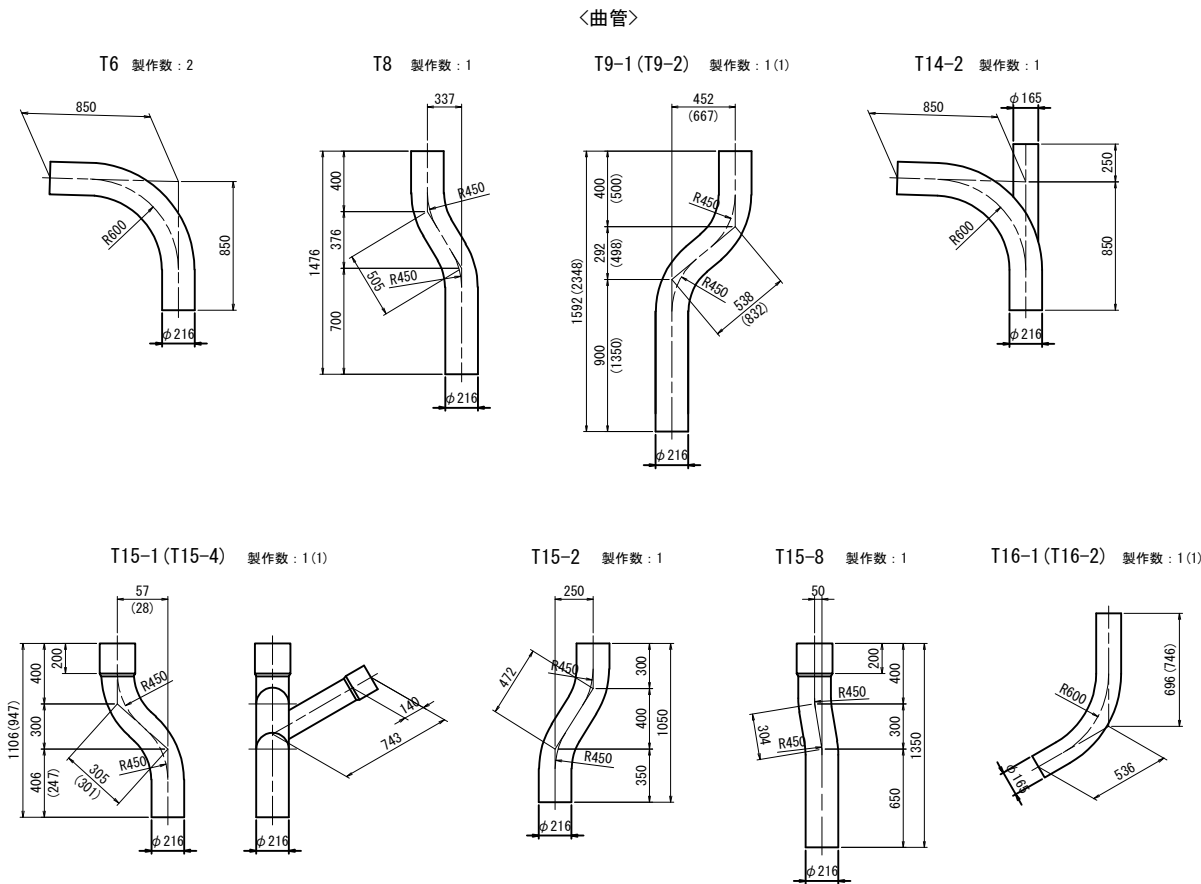
注 記
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. 撤去・設置部材のボルトナット、アンカーは全て撤去後新設部材とする。
3. 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その13) (参考図)			
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

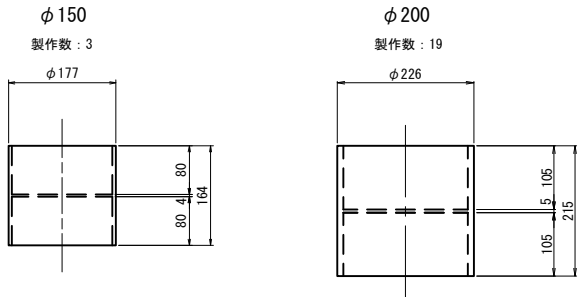
支持金具詳細 S=1:12.5



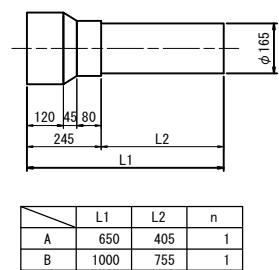
新設排水管詳細 S=1:50



同径ソケット S=1:12.5



インクリーザー S=1:25



- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の膜厚は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の部材は HDZT63 とし
ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材は HDZT49 とする。
 - ナットは全て緩み止めナットとする。
 - ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径 +3 mmを標準とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。

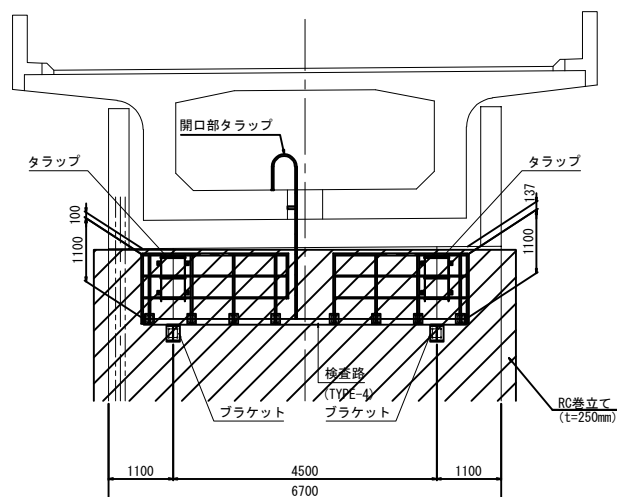
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	羽尾橋(下り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その14) (参考図)			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

羽尾橋(下り線) 撤去設置工 検査路B詳細図 (その1) (参考図) S=1 : 125

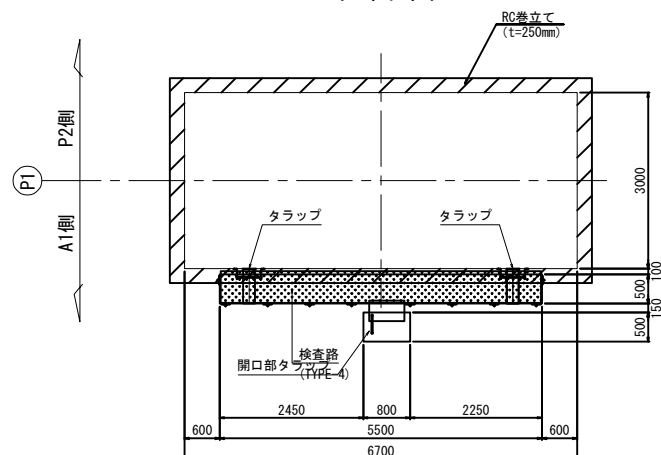
P1 橋脚

＜ 現 況 ＞

正面图



平面图



撤去材料

檢查路:1基
8 - BN M16x45 (2-W)

ブラケット:2基
8 - ホールインアンカー M16

タラップ:2基
8 - ホールインアンカー M16

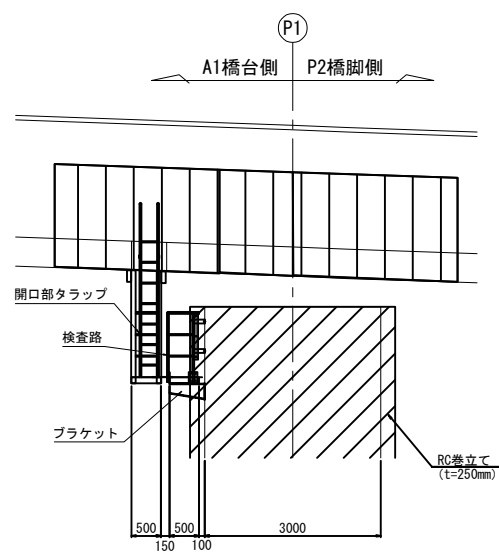
撤去・設置

檢査路:1基
12 - BN M16x45 (2-W)

ブラケット:2箇所
8 - ホールインアンカー M16

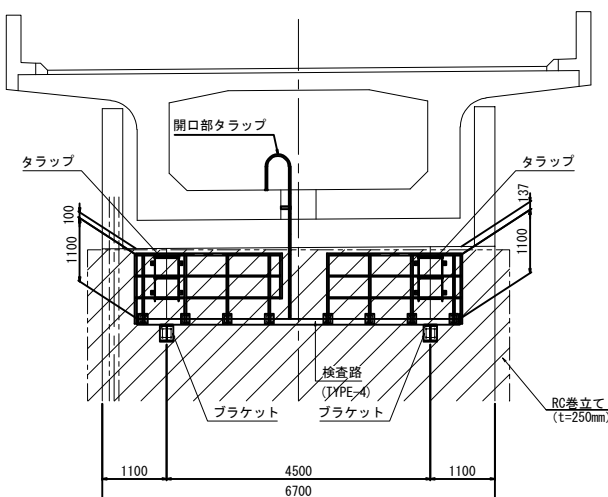
タラップ:2基
8 - ホールインアンカー M16

側面図

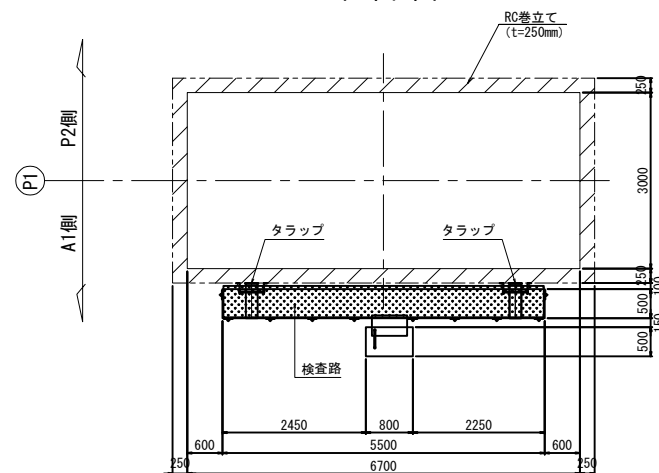


〈改良後〉

正面图



平面図




検査路1基 材料表

[illegible]

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																																																																																																																																																																																
0	2	3	5	7	11	16	22	29	37	46	56	67	79	92	106	121	137	154	172	191	211	232	254	277	301	326	352	379	407	436	466	497	529	562	596	631	667	704	742	781	821	862	904	947	991	1036	1082	1129	1177	1226	1276	1326	1377	1429	1482	1536	1591	1647	1704	1762	1821	1881	1942	2004	2067	2131	2197	2264	2332	2401	2471	2542	2614	2687	2761	2837	2914	2992	3071	3151	3232	3314	3397	3481	3566	3652	3739	3827	3916	4006	4097	4189	4282	4376	4471	4567	4664	4762	4861	4961	5062	5164	5267	5371	5476	5582	5689	5797	5906	6016	6127	6239	6352	6466	6581	6697	6814	6932	7051	7171	7292	7414	7537	7661	7786	7912	8039	8167	8296	8426	8557	8689	8822	8956	9091	9227	9364	9502	9641	9781	9922	10064	10207	10351	10496	10642	10789	10937	11086	11236	11387	11539	11692	11846	11999	12154	12309	12465	12622	12780	12939	13099	13260	13422	13585	13749	13914	14080	14247	14415	14584	14754	14925	15097	15270	15444	15619	15795	15972	16150	16329	16509	16690	16872	17055	17239	17424	17610	17797	17985	18174	18364	18555	18747	18940	19134	19329	19525	19722	19920	20119	20319	20520	20722	20925	21129	21334	21540	21747	21955	22164	22374	22585	22797	23010	23224	23439	23655	23872	24090	24309	24529	24750	24972	25195	25419	25644	25870	26097	26325	26554	26784	27015	27247	27480	27714	27949	28185	28422	28660	28899	29139	29380	29622	29865	30109	30354	30600	30847	31095	31344	31594	31845	32097	32350	32604	32859	33115	33372	33630	33889	34149	34410	34672	34935	35199	35464	35730	36000	36271	36543	36816	37090	37365	37641	37918	38196	38475	38755	39036	39318	39601	39885	40170	40456	40743	41031	41320	41610	41901	42193	42486	42780	43075	43371	43668	43966	44265	44565	44866	45168	45471	45775	46080	46386	46693	47001	47310	47620	47931	48243	48556	48870	49185	49501	49818	50136	50455	50775	51096	51418	51741	52065	52390	52716	53043	53371	53700	54030	54361	54693	55026	55360	55695	56031	56368	56706	57045	57385	57726	58068	58411	58755	59100	59446	59793	60141	60490	60840	61191	61543	61896	62250	62605	62961	63318	63676
100	2	3	5	7	11	16	22	29	37	46	56	67	79	92	106	121	137	154	172	191	211	232	254	277	301	326	352	379	407	436	466	497	529	562	596	631	667	704	742	781	821	862	904	947	991	1036	1082	1129	1177	1226	1276	1326	1377	1429	1482	1536	1591	1647	1704	1762	1821	1881	1942	2004	2067	2131	2197	2264	2332	2401	2471	2542	2614	2687	2761	2837	2914	2992	3071	3151	3232	3314	3397	3481	3566	3652	3739	3827	3916	4006	4097	4189	4282	4376	4471	4567	4664	4762	4861	4961	5062	5164	5267	5371	5476	5582	5689	5797	5906	6016	6127	6239	6352	6466	6581	6697	6814	6932	7051	7171	7292	7414	7537	7661	7786	7912	8039	8167	8296	8426	8557	8689	8822	8956	9091	9227	9364	9502	9641	9781	9922	10064	10207	10351	10496	10642	10789	10937	11086	11236	11387	11539	11692	11846	11999	12154	12309	12465	12622	12780	12939	13099	13260	13422	13585	13749	13914	14080	14247	14415	14584	14754	14925	15097	15270	15444	15619	15795	15972	16150	16329	16509	16690	16872	17055	17239	17424	17610	17797	17985	18174	18364	18555	18747	18940	19134	19329	19525	19722	19920	20119	20319	20520	20722	20925	21129	21334	21540	21747	21955	22164	22374	22585	22797	23010	23224	23439	23655	23872	24090	24309	24529	24750	24972	25195	25419	25644	25870	26097	26325	26554	26784	27015	27247	27480	27714	27949	28185	28422	28660	28899	29139	29380	29622	29865	30109	30354	30600	30847	31095	31344	31594	31845	32097	32350	32604	32859	33115	33372	33630	33889	34149	34410	34672	34935	35199	35464	35730	36000	36271	36543	36816	37090	37365	37641	37918	38196	38475	38755	39036	39318	39601	39885	40170	40456	40743	41031	41320	41610	41901	42193	42486	42780	43075	43371	43668	43966	44265	44565	44866	45168	45471	45775	46080	46386	46693	47001	47310	47620	47931	48243	48556	48870	49185	49501	49818	50136	50455	50775	51096	51418	51741	52065	52390	52716	53043	53371	53700	54030	54361	54693	55026	55360	55695	56031	56368	56706	57045	57385	57726	58068	58411	58755	59100	59446	59793	60141	60490	60840	61191	61543	61896	62250	62605	62961	63318	63676
200	2	3	5	7	11	16	22	29	37	46	56	67	79	92	106	121	137	154	172	191	211	232	254	277	301	326	352	379	407	436	466	497	529	562	596	631	667	704	742	781	821	862	904	947	991	1036	1082	1129	1177	1226	1276	1326	1377	1429	1482	1536	1591	1647	1704	1762	1821	1881	1942	2004	2067	2131	2197	2264	2332	2401	2471	2542	2614	2687	2761	2837	2914	2992	3071	3151	3232	3314	3397	3481	3566	3652	3739	3827	3916	4006	4097	4189	4282	4376	4471	4567	4664	4762	4861	4961	5062	5164	5267	5371	5476	5582	5689	5797	5906	6016	6127	6239	6352	6466	6581	6697	6814	6932	7051	7171	7292	7414	7537	7661	7786	7912	8039	8167	8296	8426	8557	8689	8822	8956	9091	9227	9364	9502	9641	9781	9922	10064	10207	10351	10496	10642	10789	10937	11086	11236	11387	11539	11692	11846	11999	12154	12309	12465	12622	12780	12939	13099	13260	13422	13585	13749	13914	14080	14247	14415	14584	14754	14925	15097	15270	15444	15619	15795	15972	16150	16329	16509	16690	16872	17055	17239	17424	17610	17797	17985	18174	18364	18555	18747	18940	19134	19329	19525	19722	19920	20119	20319	20520	20722	20925	21129	21334	21540	21747	21955	22164	22374	22585	22797	23010	23224	23439	23655	23872	24090	24309	24529	24750	24972	25195	25419	25644	25870	26097	26325	26554	26784	27015	27247	27480	27714	27949	28185	28422	28660	28899	29139	29380	29622	29865	30109	30354	30600	30847	31095	31344	31594	31845	32097	32350	32604	32859	33115	33372	33630	33889	34149	34410	34672	34935	35199	35464	35730	36000	36271	36543	36816	37090	37365	37641	37918	38196	38475	38755	39036	39318	39601	39885	40170	40456	40743	41031	41320	41610	41901	42193	42486	42780	43075	43371	43668	43966	44265	44565	44866	45168	45471	45775	46080	46386	46693	47001	47310	47620	47931	48243	48556	48870	49185	49501	49818	50136	50455	50775	51096	51418	51741	52065	52390	52716	53043	53371	53700	54030	54361	54693	55026	55360	55695	56031	56368	56706	57045	57385	57726	58068	58411	58755	59100	59446	59793	60141	60490	60840	61191	61543	61896	62250	62605	62961	63318	63676
300	2	3	5	7	11	16	22	29	37	46	56	67	79	92	106	121	137	154	172	191	211	232	254	277	301	326	352	379	407	436	466	497	529	562	596	631	667	704	742	781	821	862	904	947	991	1036	1082	1129	1177	1226	1276	1326	1377	1429	1482	1536	1591	1647	1704	1762	1821	1881	1942	2004	2067	2131	2197	2264	2332	2401	2471	2542	2614	2687	2761	2837	2914	2992	3071	3151	3232	3314	3397	3481	3566	3652	3739	3827	3916	4006	4097	4189	4282	4376	4471	4567	4664	4762	4861	4961	5062	5164	5267	5371	5476	5582	5689	5797	5906	6016	6127	6239	6352	6466	6581	6697	6814	6932	7051	7171	7292	7414	7537	7661	7786	7912	8039	8167	8296	8426	8557	8689	8822	8956	9091	9227	9364	9502	9641	9781	9922	10064	10207	10351	10496	10642	10789	10937	11086	11236	11387	11539	11692	11846	11999	12154	12309	12465	12622	12780	12939	13099	13260	13422	13585	13749	13914	14080	14247	14415	14584	14754	14925	15097</																																																																																																																																																																																							

凡例

 : 撤去・設置範圍

注 記

1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. 新設部材は、全て溶接盤加工メッキとする。
垂軸の厚度は、JIS H 8641 HDZT77 とする。
但し、板厚 3.2mm 以上 6mm 未満の部材は HDZT63 とし、
ボルト、ナットおよび板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。
3. ナットは全て緩み防止ナットとする。
4. 下道工序部材は全て撤去、設置部を新設部材とし、
ボルトナット、アンカーはすべて撤去後新設部材とする。
5. 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。

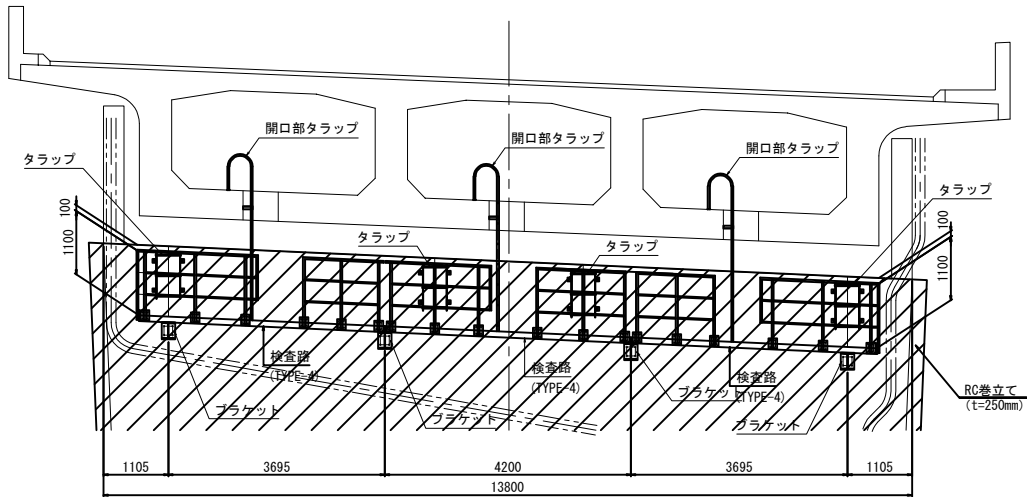
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	羽根橋（下り線） 撤去設置工 検査路B詳細図 （その1）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事課発所		

羽尾橋(下り線) 撤去設置工 検査路B詳細図 (その2) (参考図) S=1 : 125

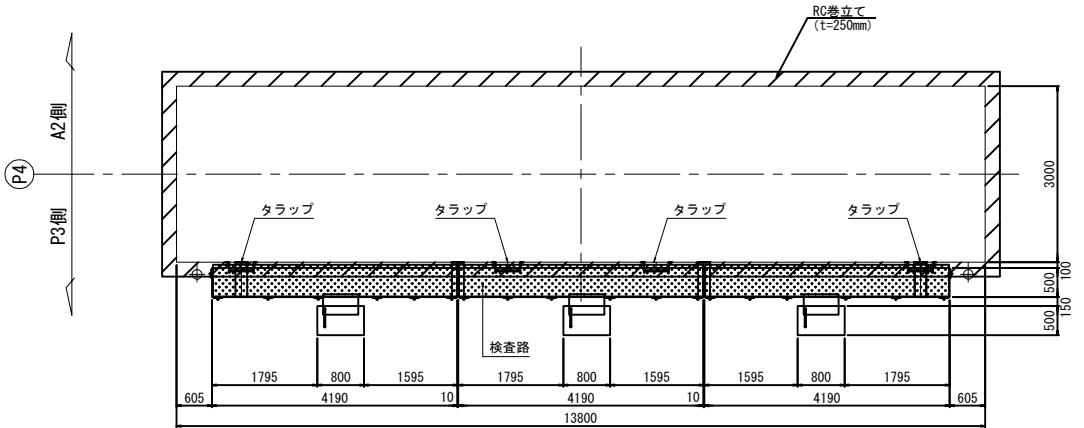
P4橋脚

< 現 況 >

正 面 図



平 面 図

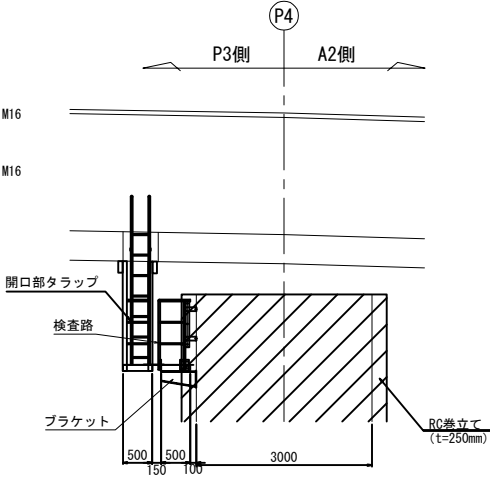


側 面 図

撤去材料
検査路:1基
16 - BN M16x45 (2-W)

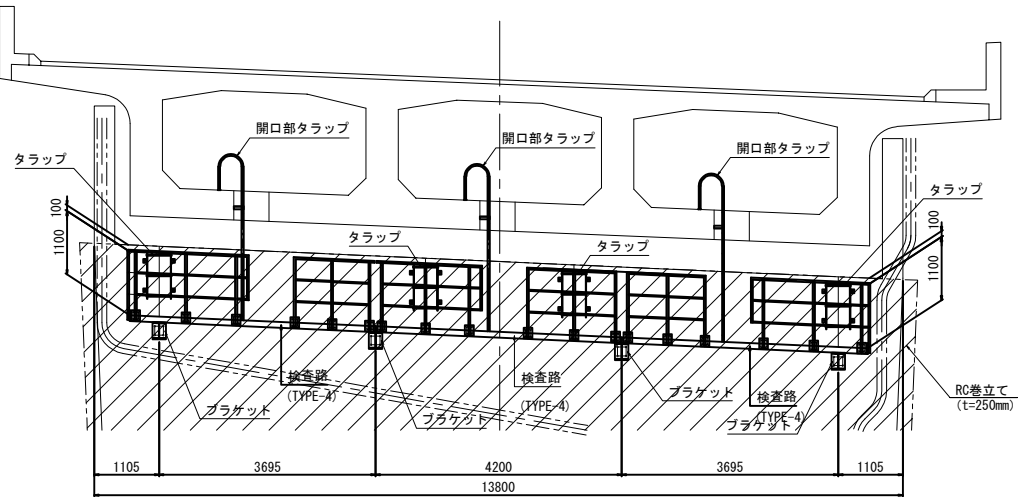
ブラケット:3基
12 - ホールインアンカー M16

タラップ:2基
8 - ホールインアンカー M16

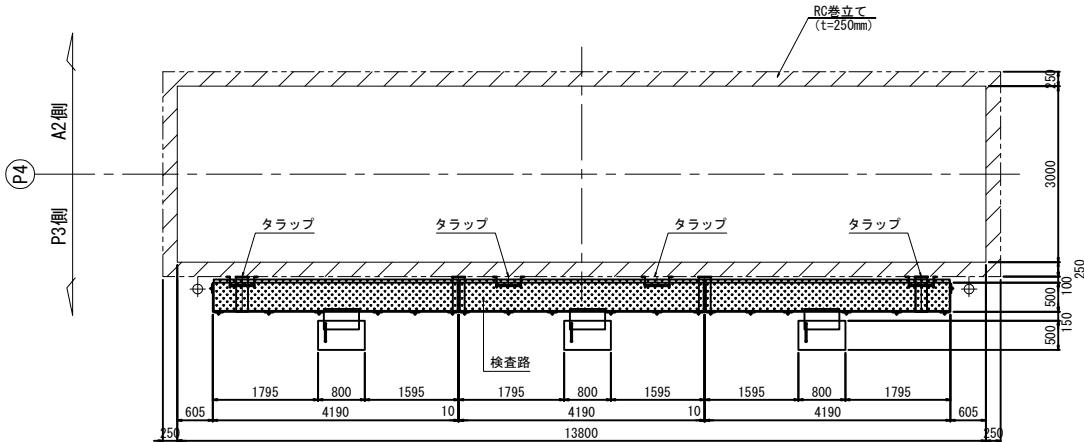


<改良後>

正 面 図



平 面 図



側 面 図

撤去・設置
検査路:1基
16 - BN M16x45 (2-W)

ブラケット:4箇所
16 - ホールインアンカー M16

タラップ:4基
16 - ホールインアンカー M16

凡例
:撤去・設置範囲

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SS400 とする。
 - 新設部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の膜厚は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の部材は HDZT63 とし
ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材は HDZT49 とする。
 - ナットは全て緩み止めナットとする。
 - 下部工付き部材は全て撤去・設置部材とし
ボルトナット、アンカーはすべて撤去後新設部材とする。
 - 部材の製作は、現場実測後に監督員と協議の上製作すること。

検査路1基 材料表

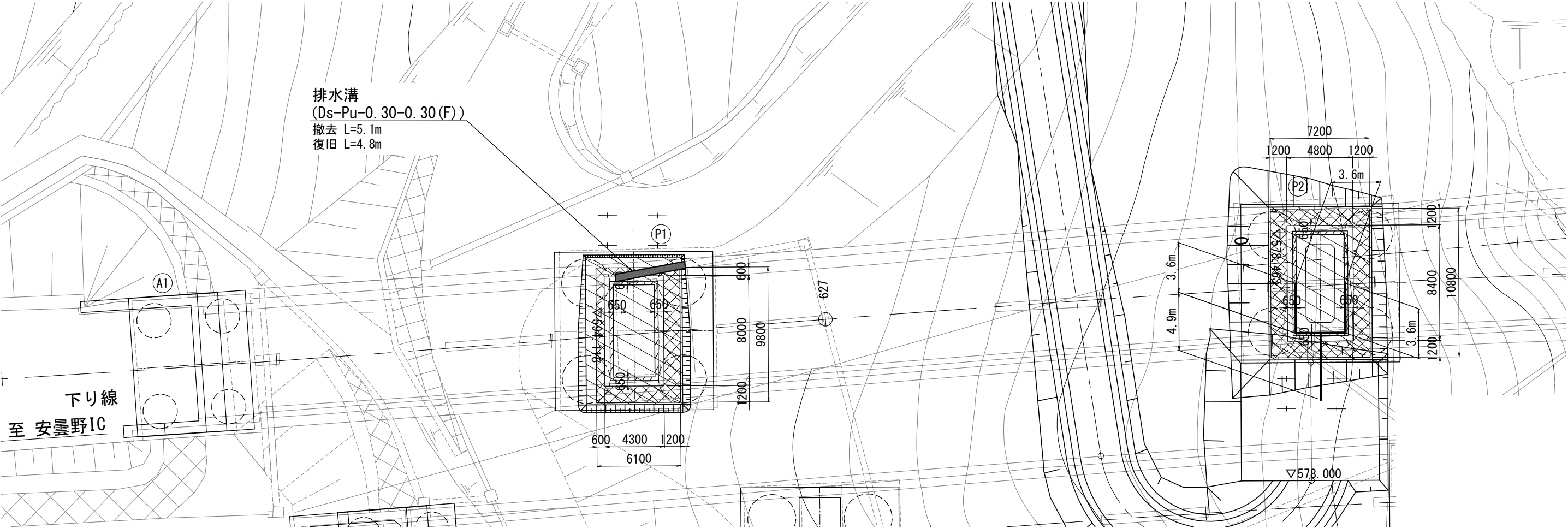
品名	単位	数量	材質	規格	備注
検査路1基	1基	1	SS400	HDZT77	
開口部タラップ	1基	1	SS400	HDZT77	
ブラケット	1基	1	SS400	HDZT77	
RC巻立て	1基	1	SS400	HDZT77	

品名	単位	数量	材質	規格	備注
検査路1基	1基	1	SS400	HDZT77	
開口部タラップ	1基	1	SS400	HDZT77	
ブラケット	1基	1	SS400	HDZT77	
RC巻立て	1基	1	SS400	HDZT77	

品名	単位	数量	材質	規格	備注
検査路1基	1基	1	SS400	HDZT77	
開口部タラップ	1基	1	SS400	HDZT77	
ブラケット	1基	1	SS400	HDZT77	
RC巻立て	1基	1	SS400	HDZT77	

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	羽尾橋(下り線) 撤去設置工 検査路B詳細図 (その2) (参考図)			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

平面図 S=1:300

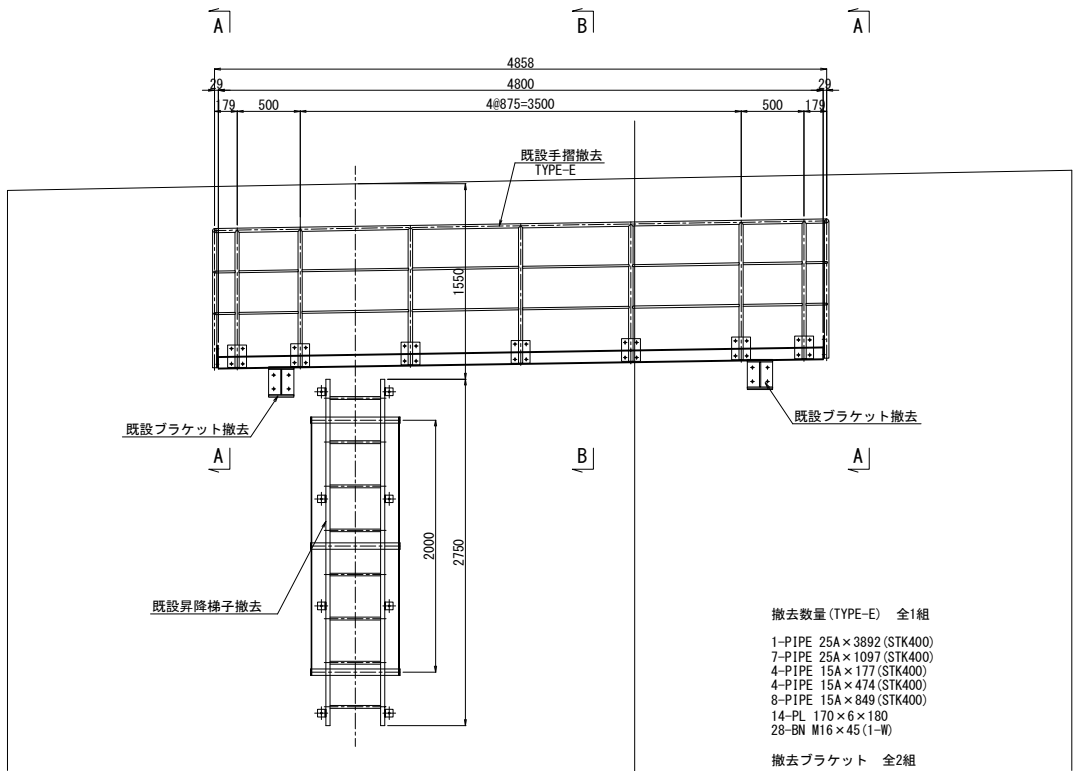


長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
羽尾橋（下り線） 撤去設置工 プレキャストU型排水溝A詳細図 （参考図）				
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名 株式会社建設技術研究所				
施工会社名				
事務所名 東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所				

更埴Cランプ橋

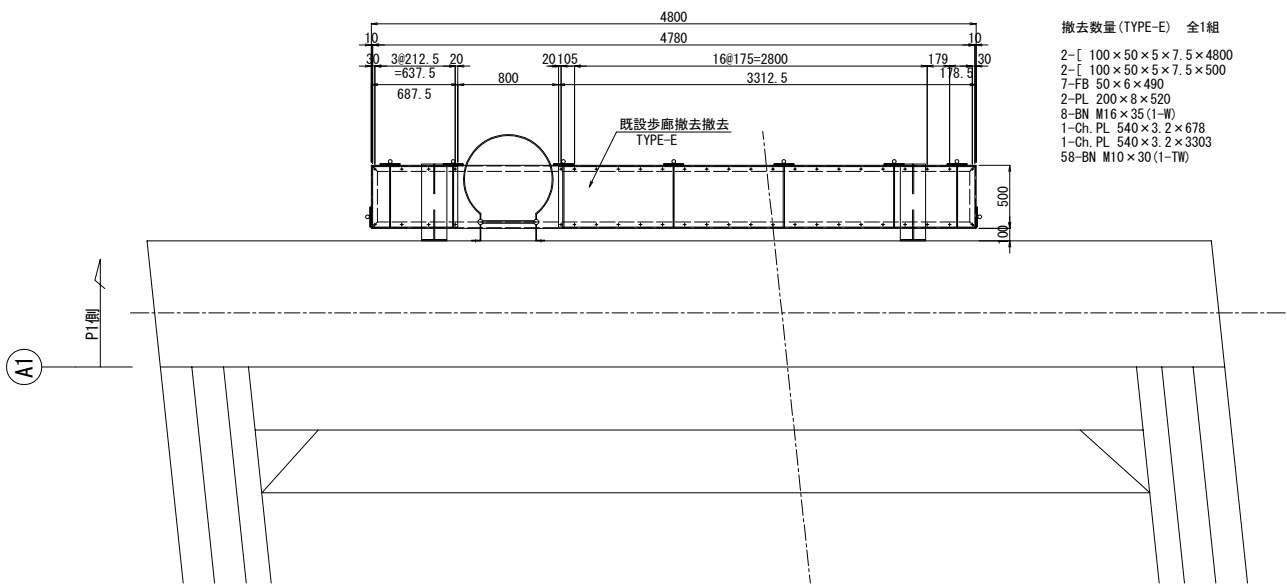
A1橋台撤去工

正面図



- 撤去数量 (TYPE-E) 全1組
- 1-PIPE 25A × 3892 (STK400)
 - 7-PIPE 25A × 1097 (STK400)
 - 4-PIPE 15A × 177 (STK400)
 - 4-PIPE 15A × 474 (STK400)
 - 8-PIPE 15A × 849 (STK400)
 - 14-PL 170 × 6 × 180
 - 28-BN M16 × 45 (1-W)
- 撤去ブラケット 全2組
- 1-PL 200 × 10 × 600
 - 1-PL 200 × 10 × 608
 - 1-PL 250 × 10 × 600
 - 1-PL 230 × 10 × 290
 - 4-ホールインアンカー-M16 × 100
 - 4-NT M16
 - 4-PL 50 × 6 (座金)

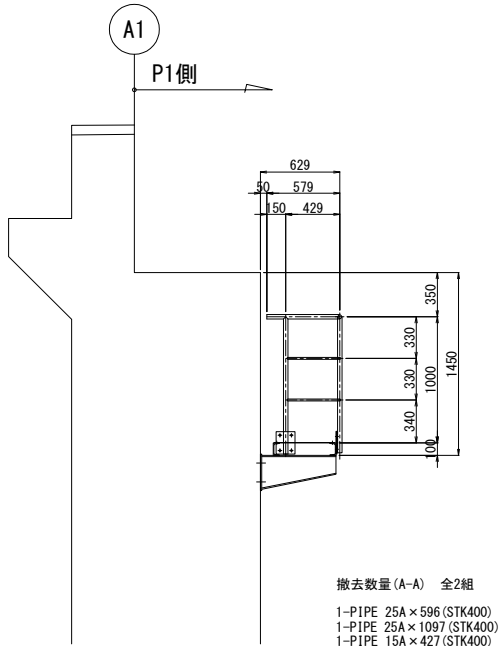
平面図



- 撤去数量 (TYPE-E) 全1組
- 2-[100 × 50 × 5 × 7.5 × 4800
 - 2-[100 × 50 × 5 × 7.5 × 500
 - 7-FB 50 × 6 × 490
 - 2-PL 200 × 8 × 520
 - 8-BN M16 × 35 (1-W)
 - 1-Ch. PL 540 × 3.2 × 678
 - 1-Ch. PL 540 × 3.2 × 3303
 - 58-BN M10 × 30 (1-TW)

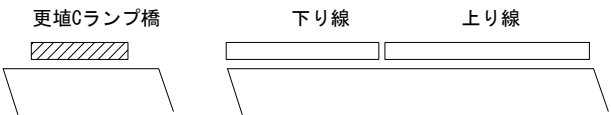
側面図

A - A

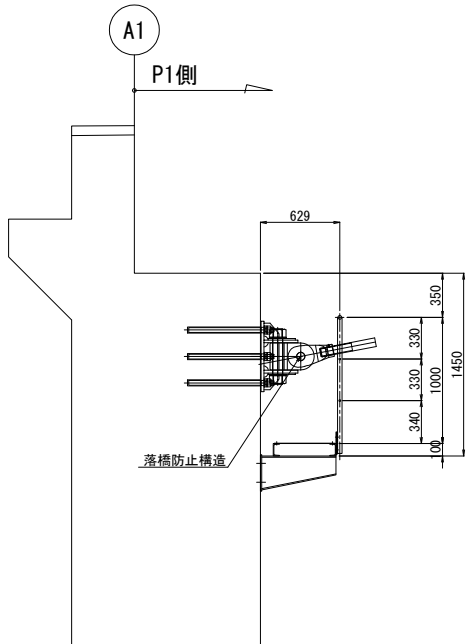


- 撤去数量 (A-A) 全2組
- 1-PIPE 25A × 596 (STK400)
 - 1-PIPE 25A × 1097 (STK400)
 - 1-PIPE 15A × 427 (STK400)
 - 2-PL 170 × 6 × 180
 - 4-BN M16 × 45 (1-W)

位置図



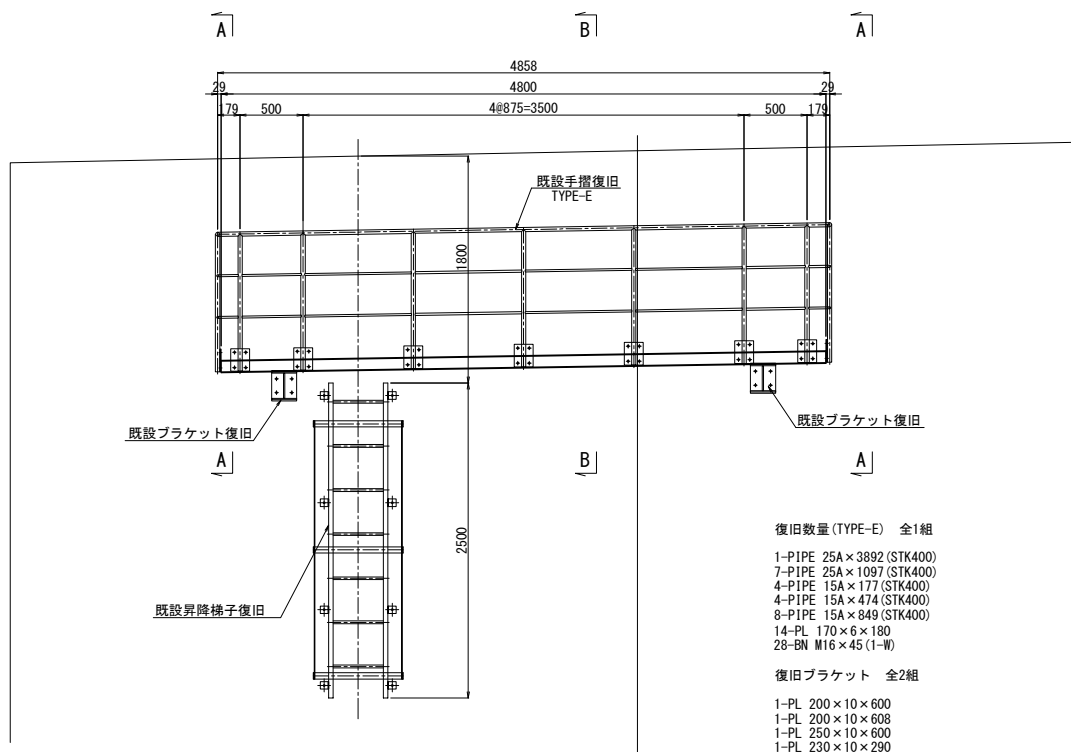
B - B



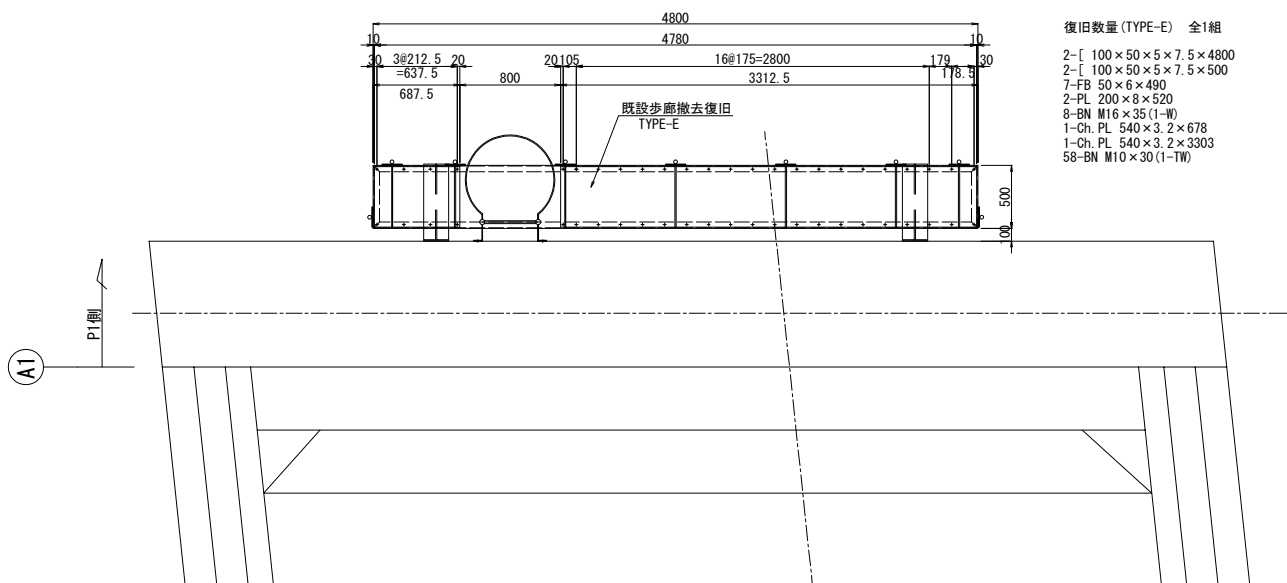
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Cランプ橋 撤去・設置工	検査路B詳細図（その1） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社	長野工事事務所	

A1橋台 復旧

正面図

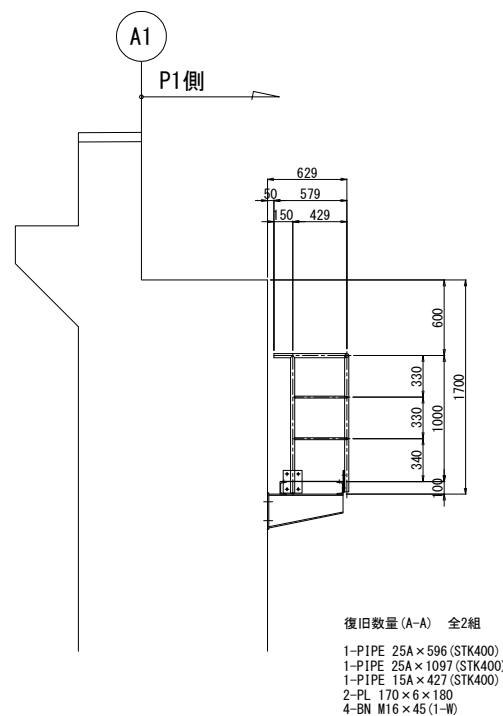


平面図

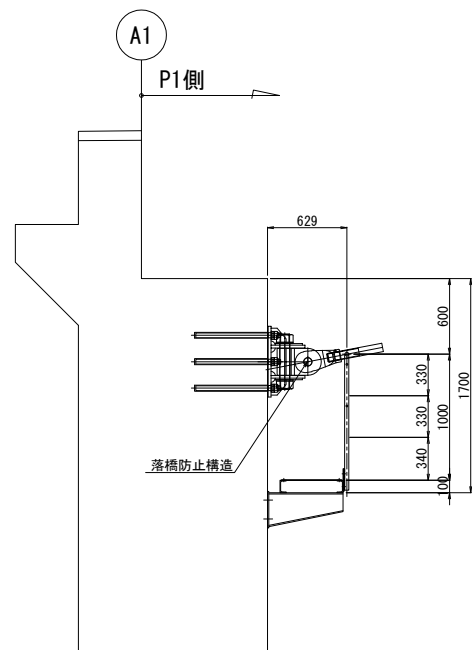


側面図

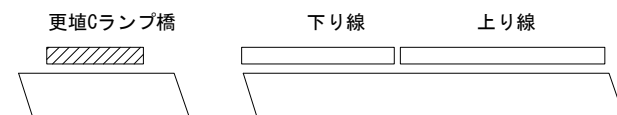
A - A



B - B



位置図

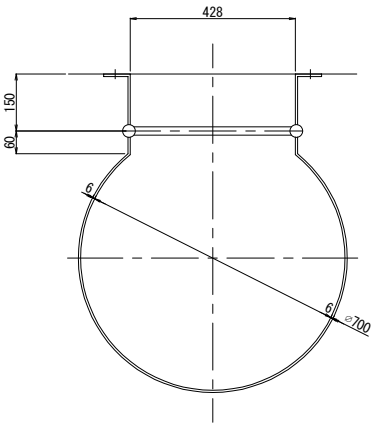
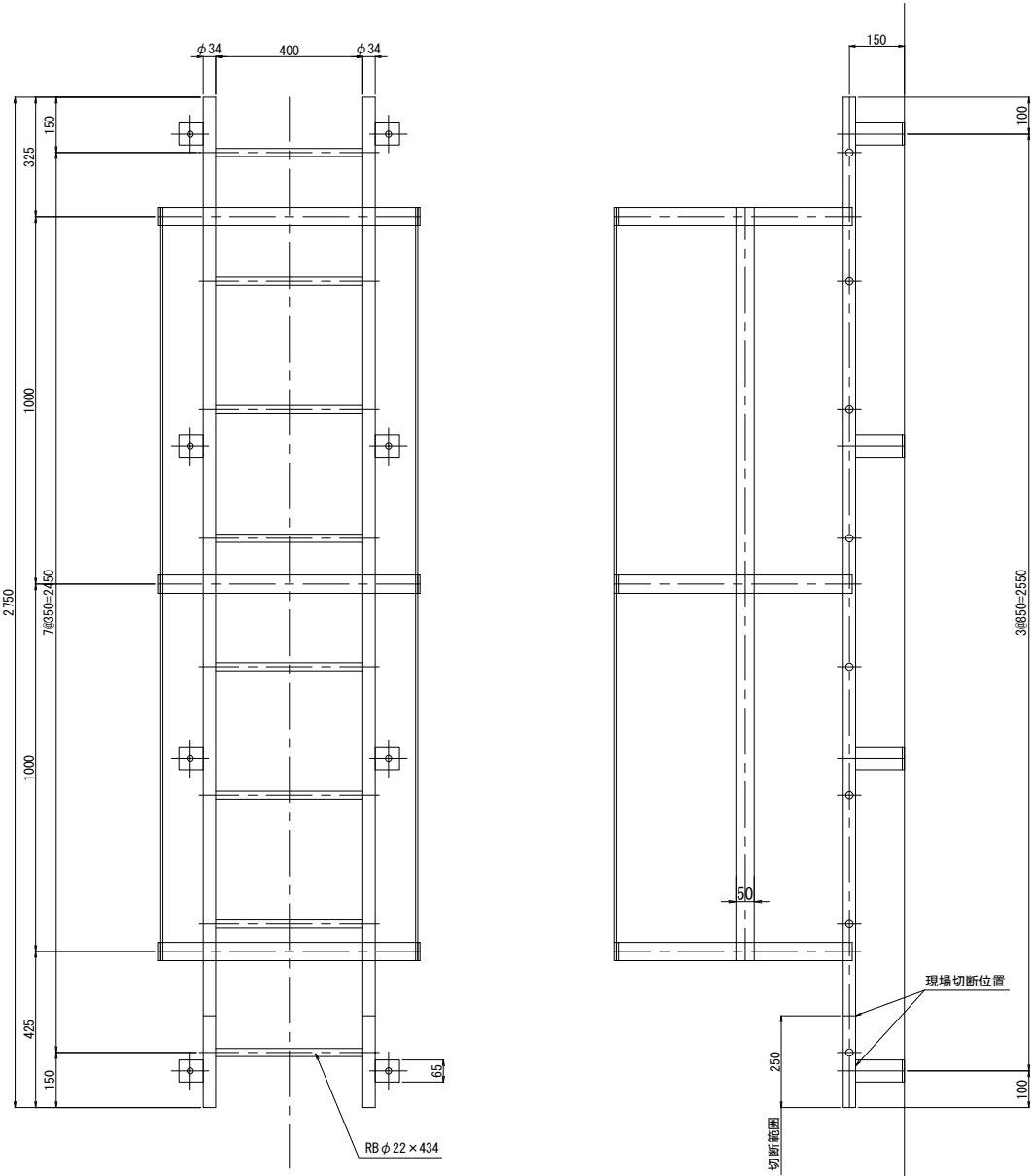


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 撤去再設置部材について、作業時に亜鉛めっきに傷
がついた場合には、現場で亜鉛メッキを塗装すること。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Cランプ橋 撤去・設置工	検査路B詳細図（その2） （参考図）	
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

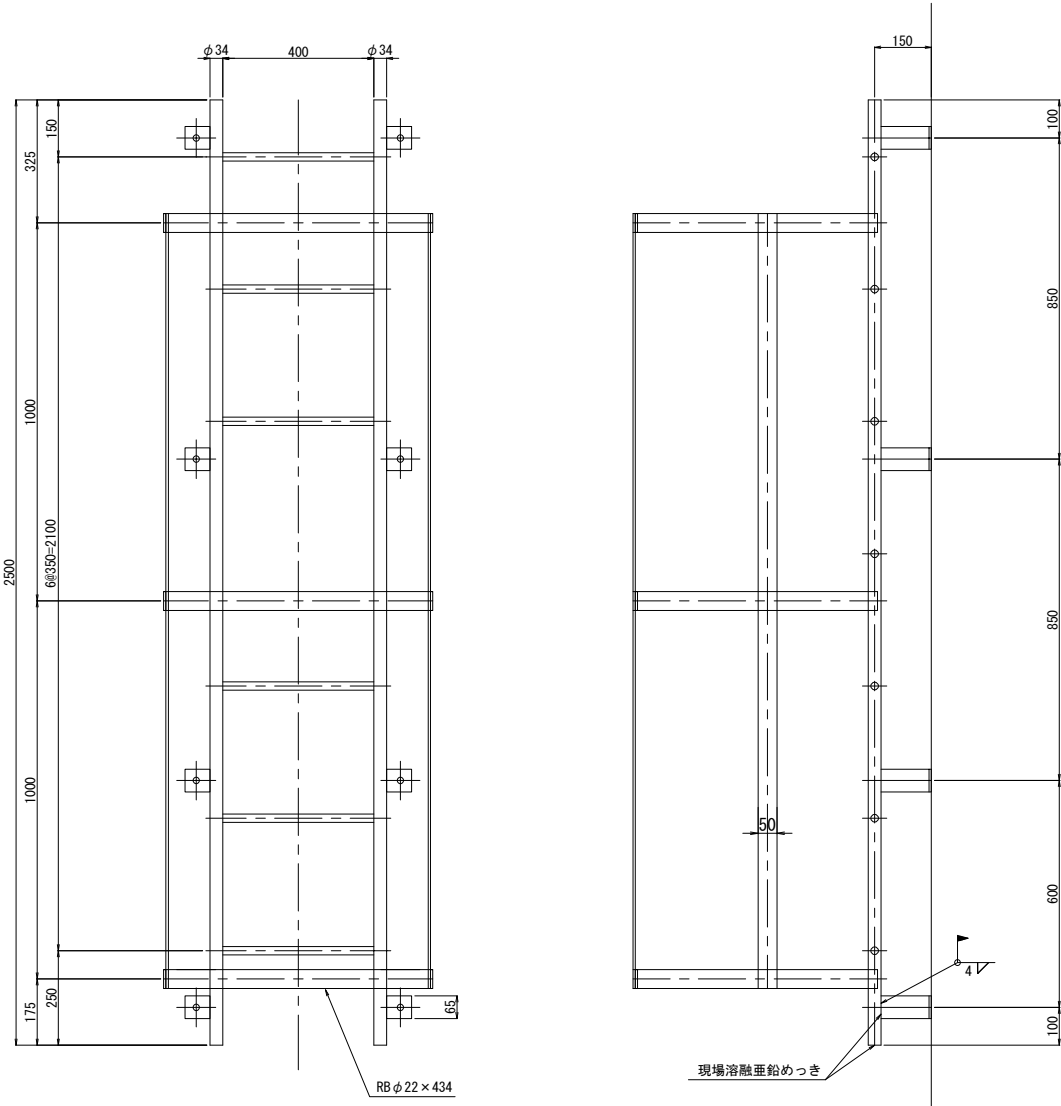
A1橋台昇降設備撤去・復旧

撤去図



撤去数量 全1組
2-PIPE 25A×2750 (STK400)
8-RB φ22×434
3-FB 50×6×1875
3-FB 50×6×2050
8-FB 65×6×220
8-ホールインアンカー M16×100

復旧図



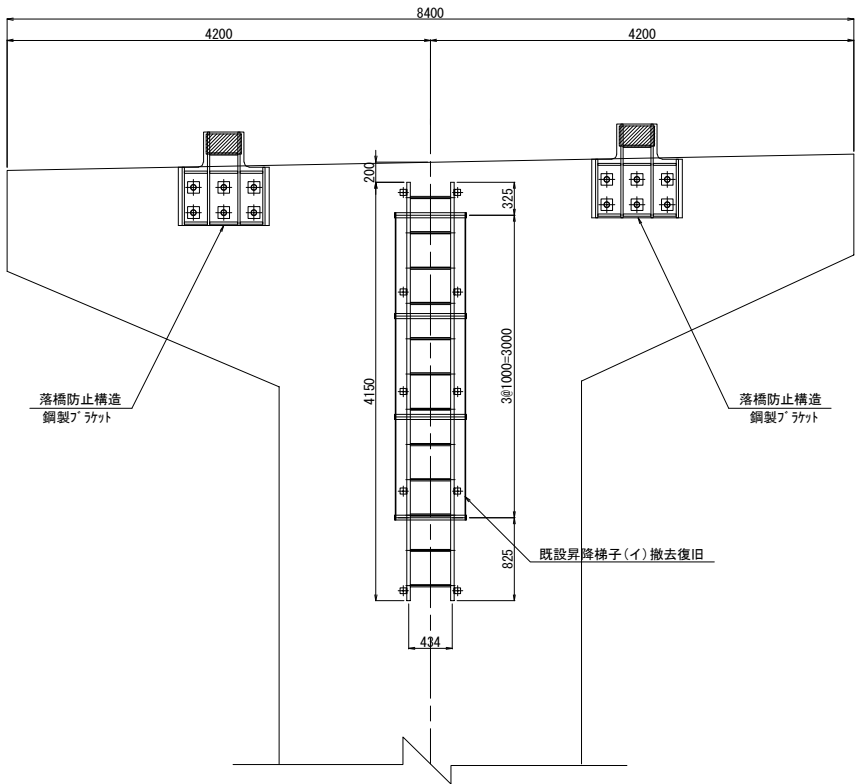
復旧数量 全1組
2-PIPE 25A×2500 (STK400)
7-RB φ22×434
3-FB 50×6×1875
3-FB 50×6×2050
8-FB 65×6×220

新規数量 全1組
8-ホールインアンカー M16×100

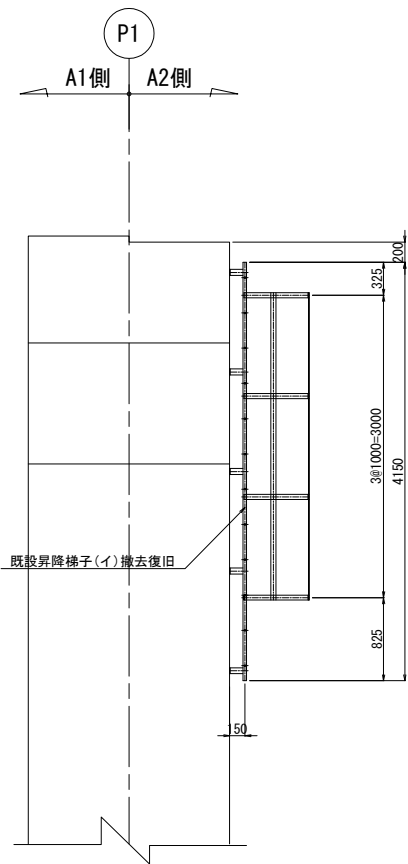
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Cランプ橋 撤去・設置工	検査路B詳細図（その3） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚撤去・復旧

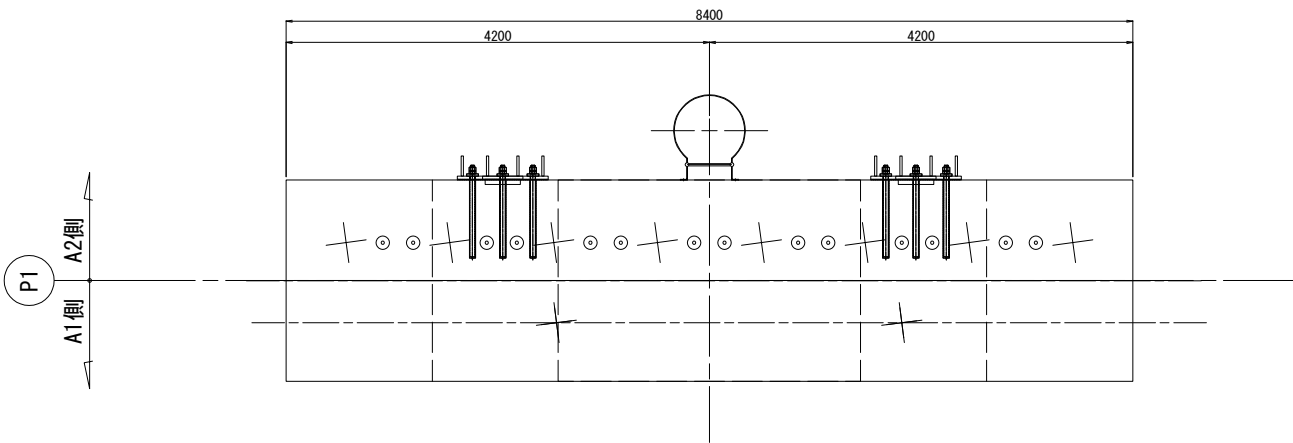
正面図



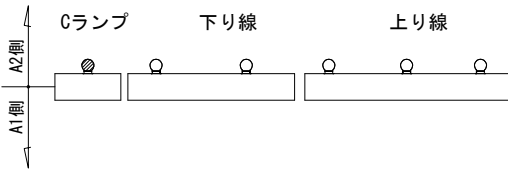
側面図



平面図



位置図



- 撤去昇降梯子(イ)数量 全1組

2-PIPE 25A×4150 (STK400)

12-RB φ22×434

4-FB 50×6×1875

3-FB 50×6×3050

10-FB 65×6×220
- 復旧昇降梯子(イ)数量 全1組

2-PIPE 25A×4150 (STK400)

12-RB φ22×434

4-FB 50×6×1875

3-FB 50×6×3050

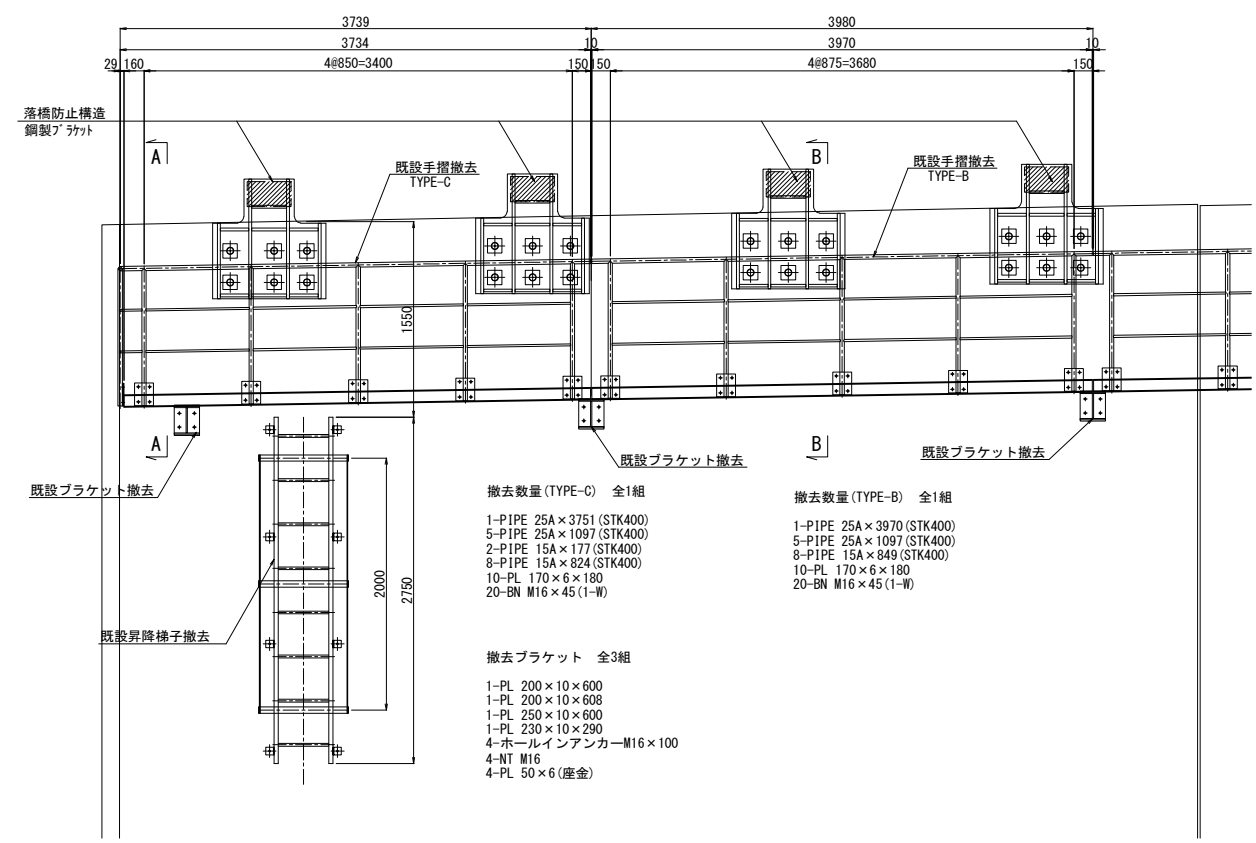
10-FB 65×6×220
- 再利用昇降梯子(イ)数量 全1組

10-ホールインアンカー M16×100

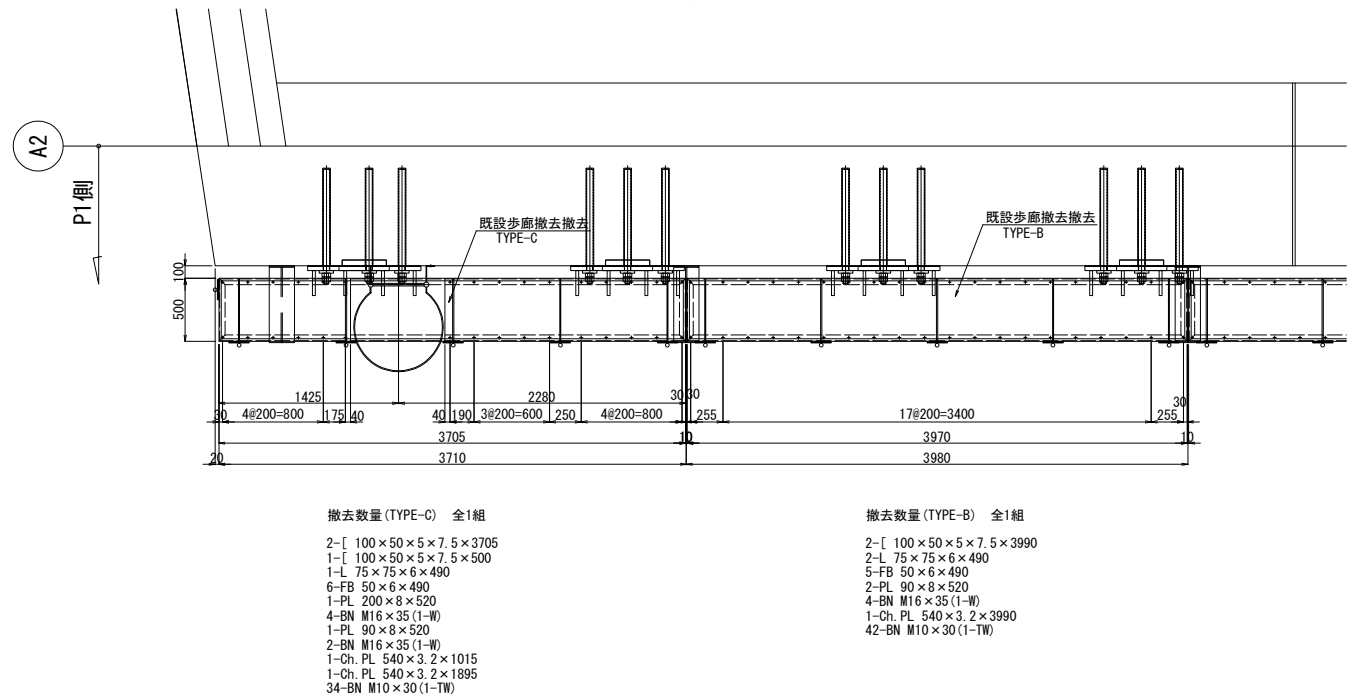
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B(夜2)詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 撤去

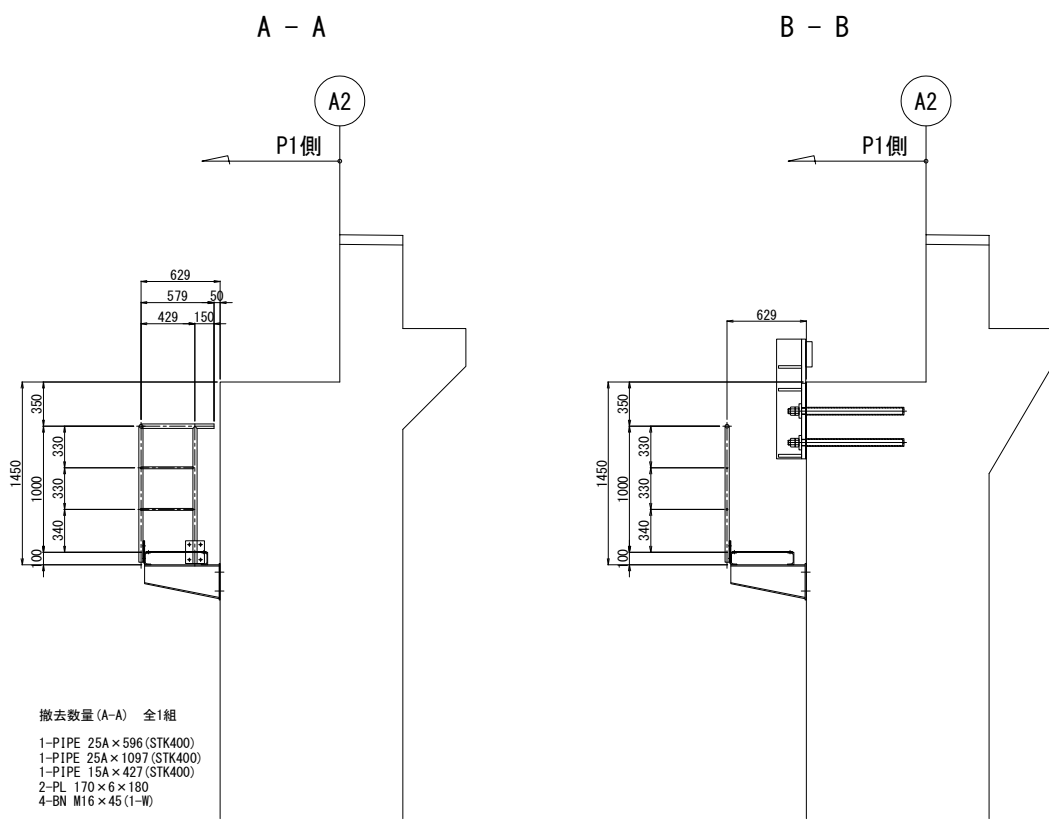
正面図



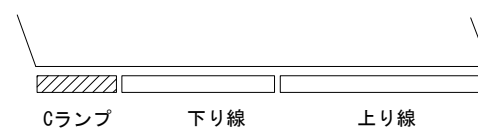
平面図



側面図



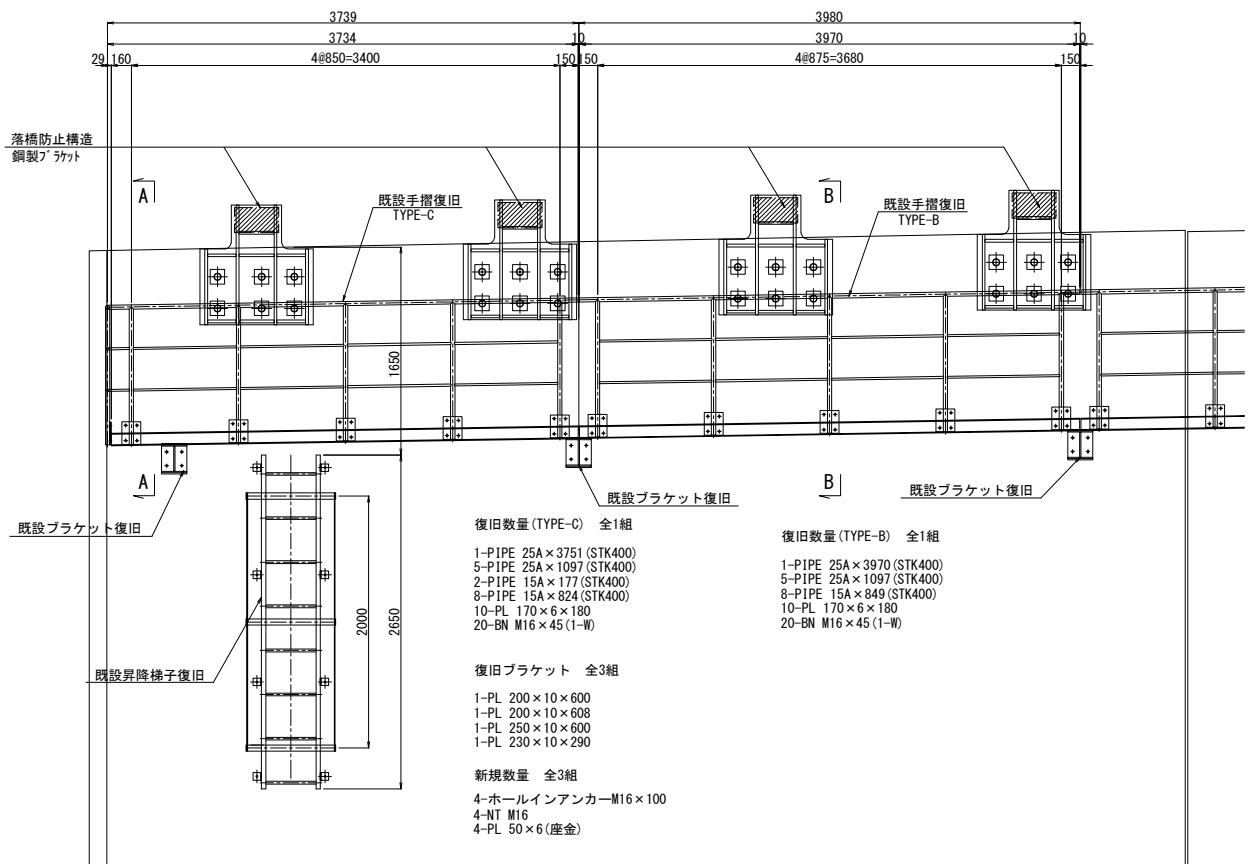
位置図



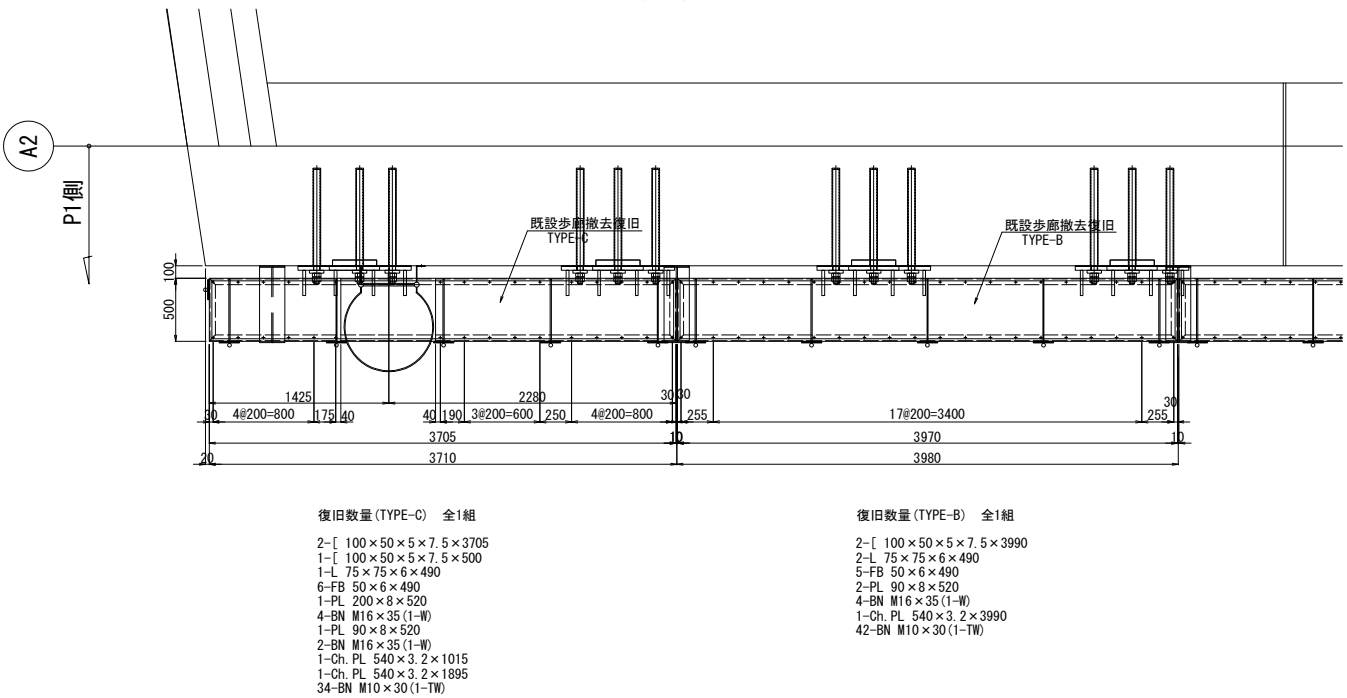
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B(夜2)詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 復旧

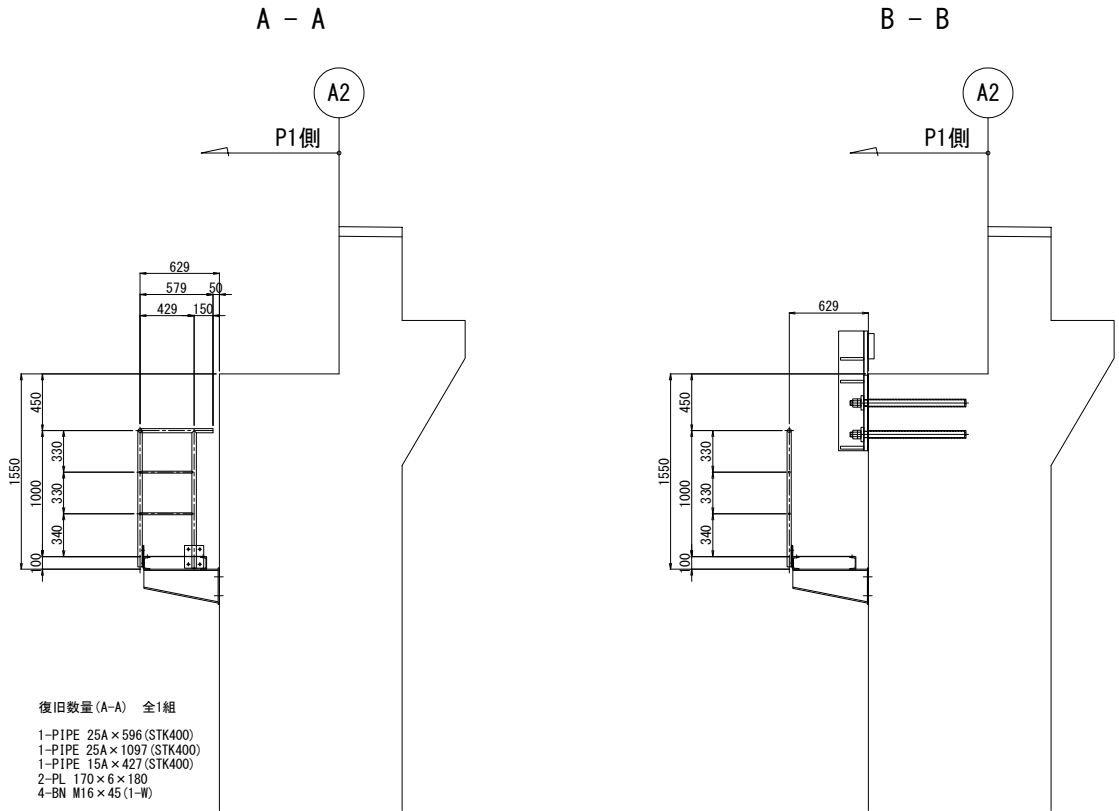
正面図



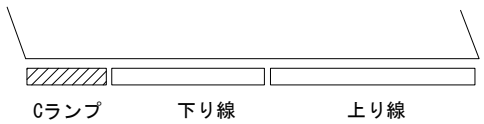
平面図



側面図



位置図

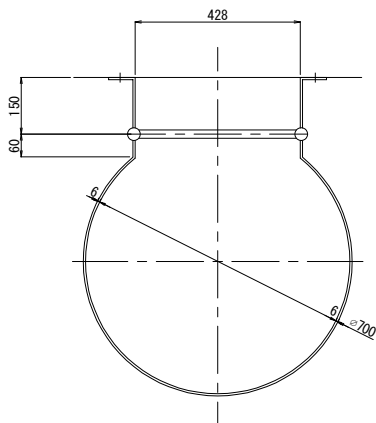
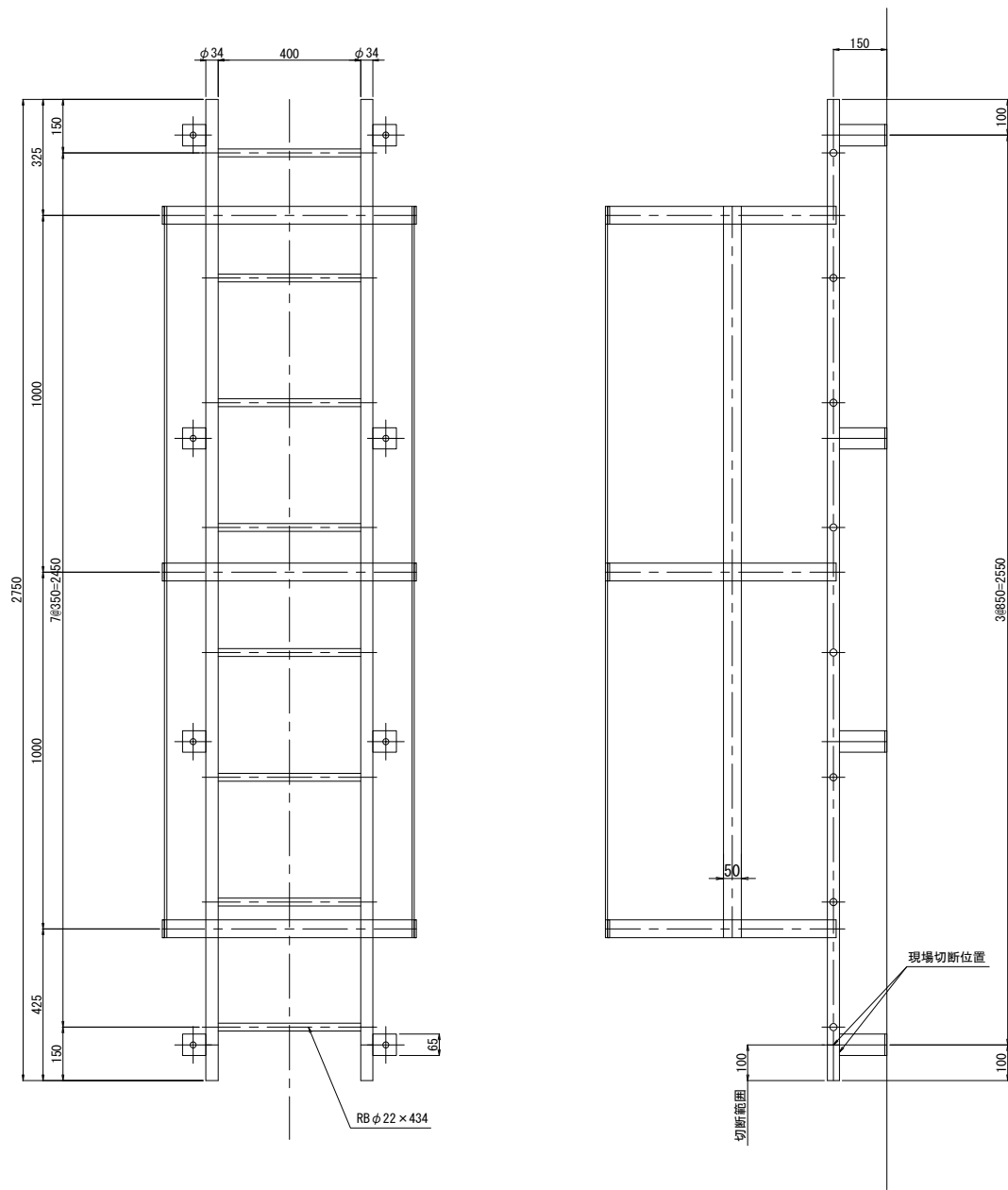


- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 4. 撤去再設置部材について、作業時に亜鉛めっきに傷
がついた場合には、現場で亜鉛メッキを塗装すること。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B(夜2)詳細図(その3) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台昇降設備撤去・復旧

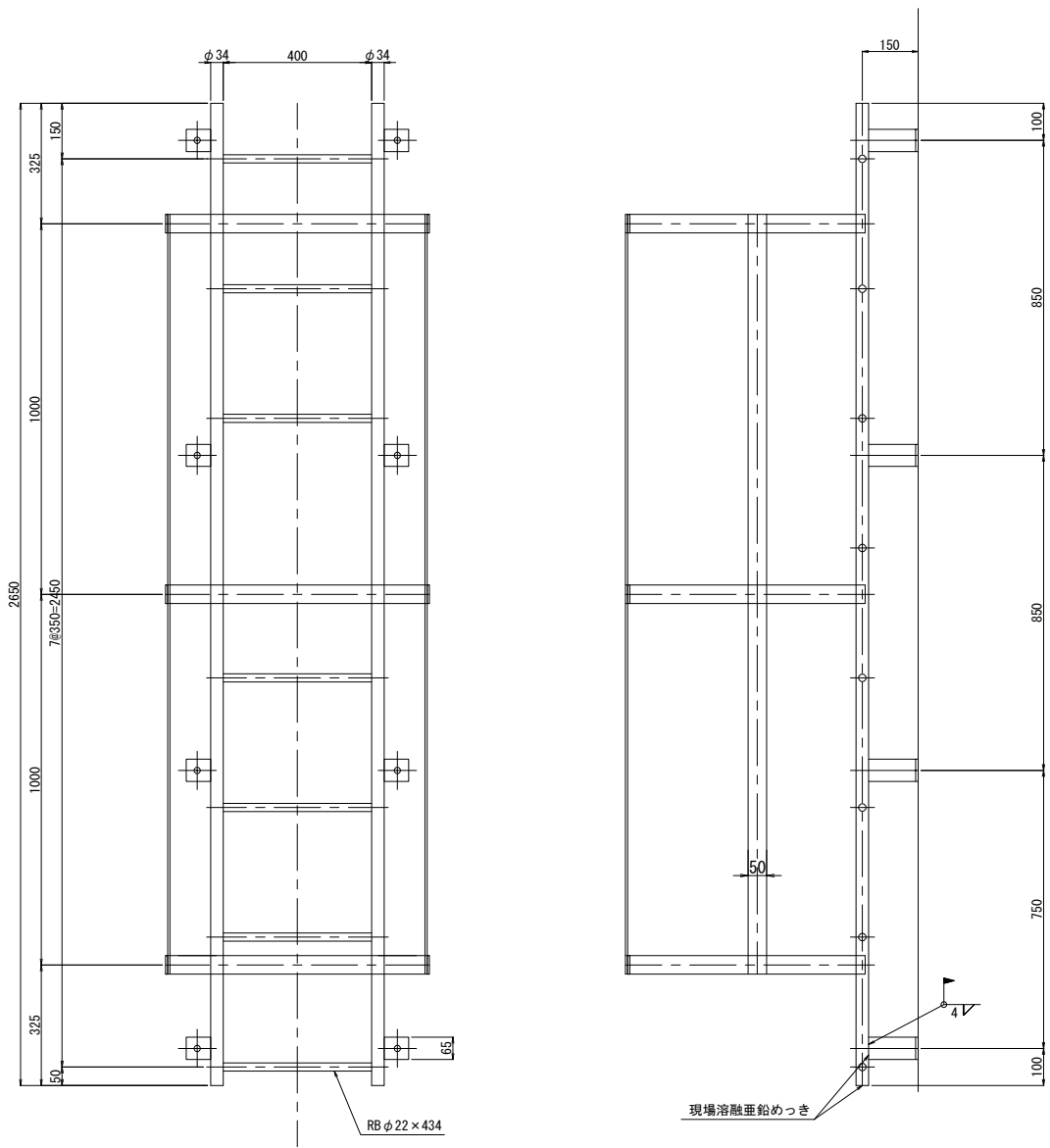
撤去図



撤去数量 全1組

- 2-PIPE 25A × 2750 (STK400)
- 8-RB φ 22 × 434
- 3-FB 50 × 6 × 1875
- 3-FB 50 × 6 × 2050
- 8-FB 65 × 6 × 220
- 8-ホールインアンカー M16 × 100

復旧図



復旧数量 全1組

- 2-PIPE 25A × 2650 (STK400)
- 8-RB φ 22 × 434
- 3-FB 50 × 6 × 1875
- 3-FB 50 × 6 × 2050
- 8-FB 65 × 6 × 220

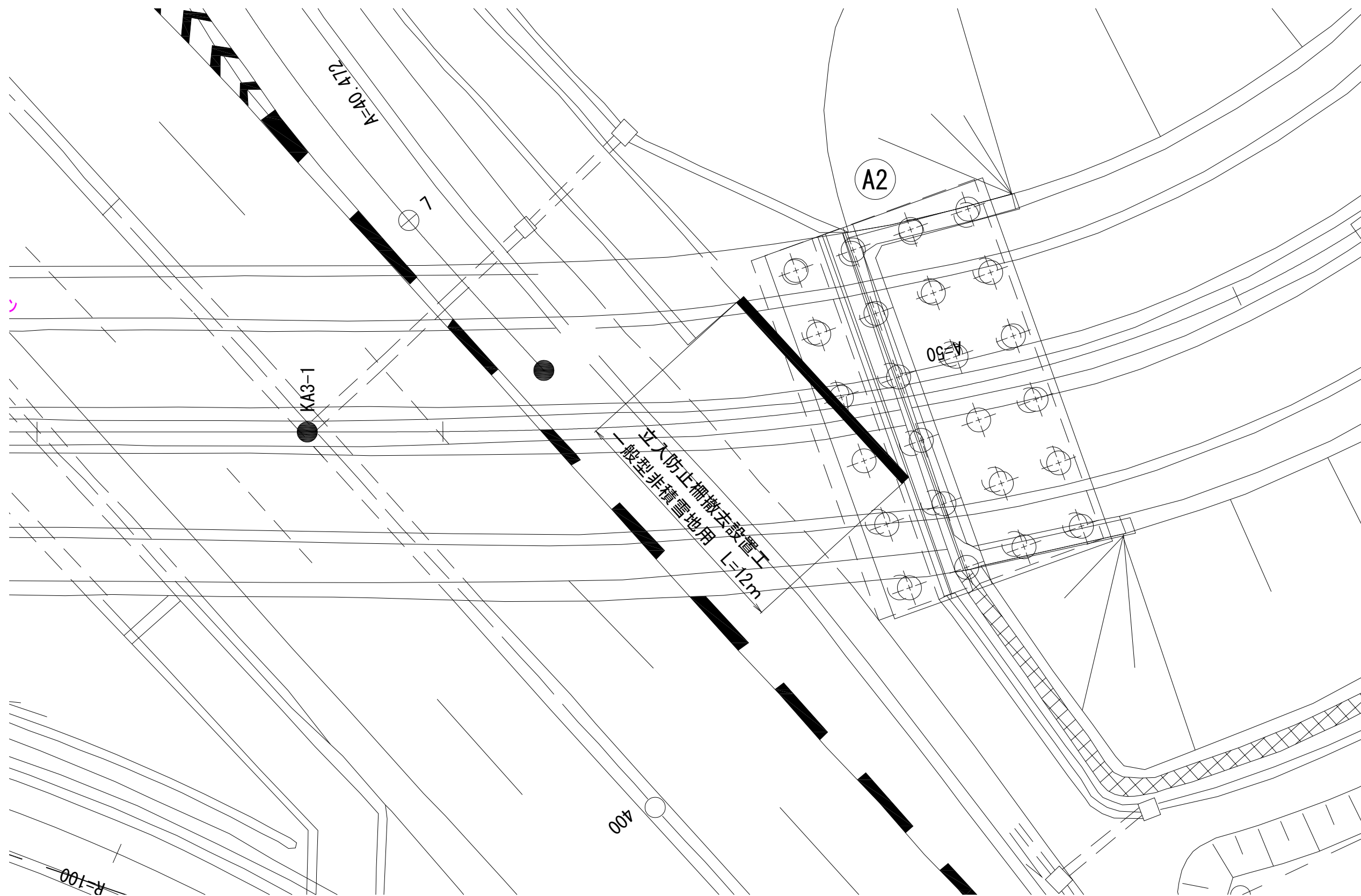
新規数量 全1組

- 8-ホールインアンカー M16 × 100

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B(夜2)詳細図(その4) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

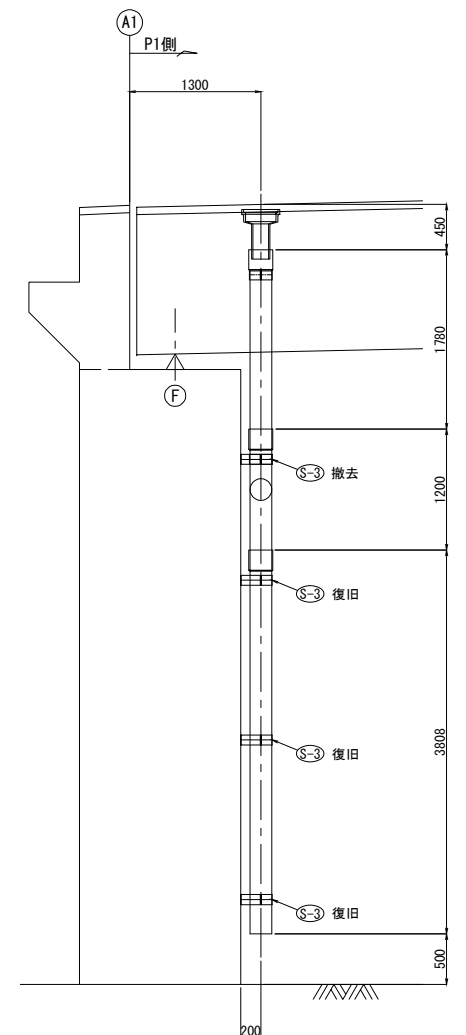
更埴Eランプ橋

平面図 S=1 : 200

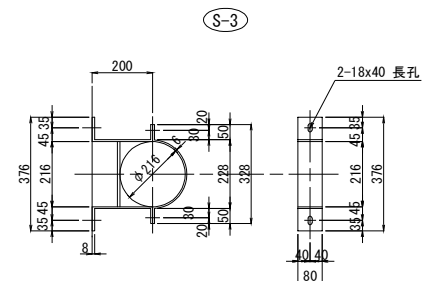


長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	更埴ランプ橋 立入防止柵撤去設置図（参考図）			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

側面図 (A-A)



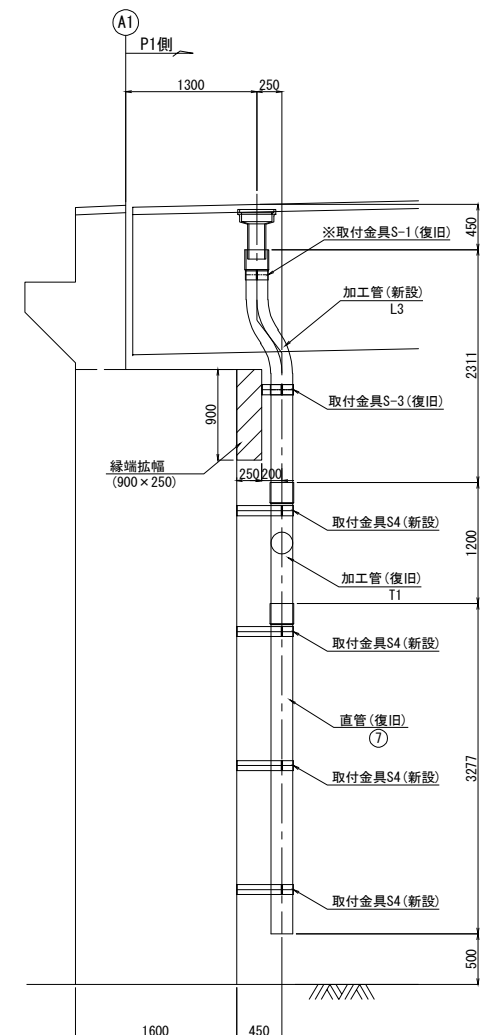
撤去取付金具詳細図 S=1:25



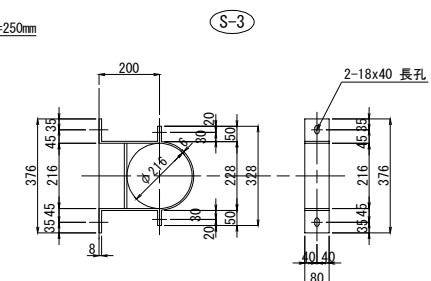
- 注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は全てSS400とする。
 3. *印は復旧部材を示す。

<p align="center">長野自動車道 犀川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	更張Eラング橋 撤去・設置工	排水管A詳細図（その1） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

側面図 (A-A)



復旧取付金具詳細図 S=1:25

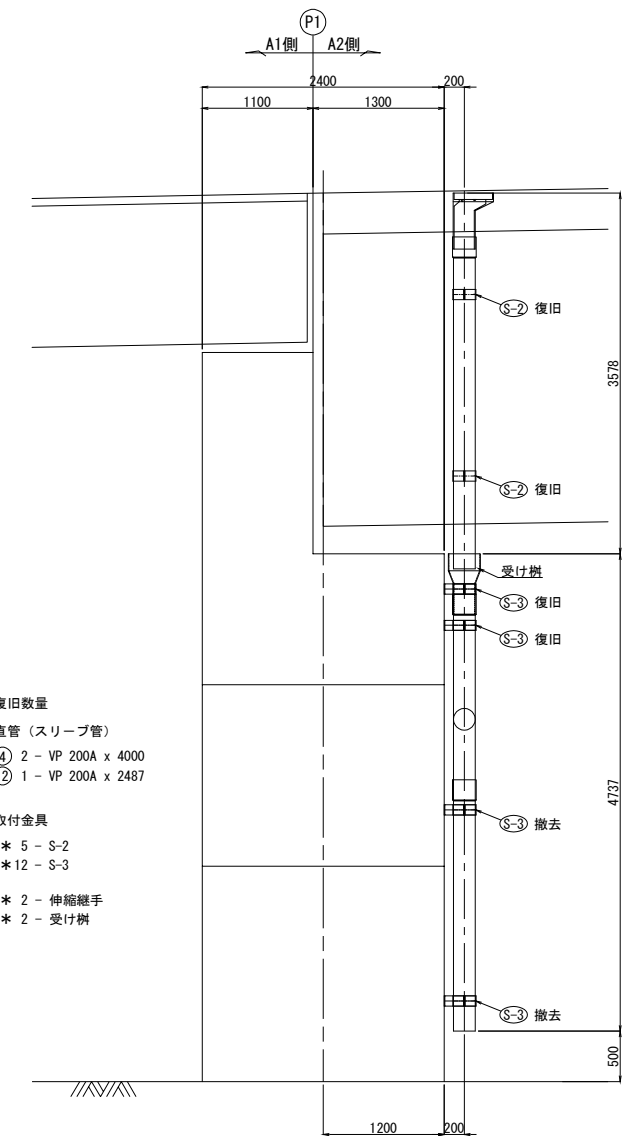
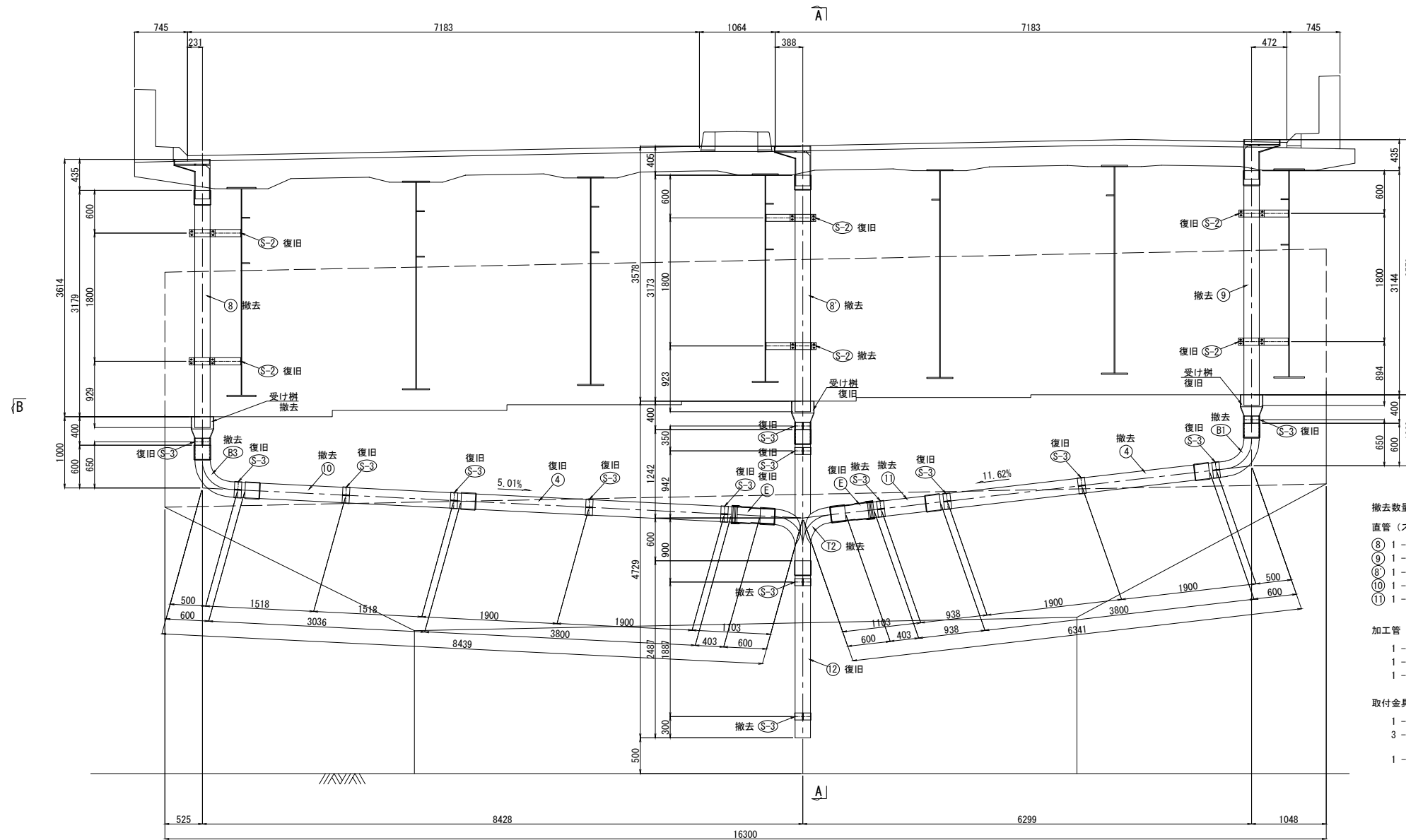


- 新設数量
- 加工管
- 1 - L1
- 1 - L2
- 1 - L3
- 取付金具
- 9 - B1
- 4 - S4
- 6-ホールインアンカー M16×100 (S-3)
- (復旧取付金具の新設アンカー)

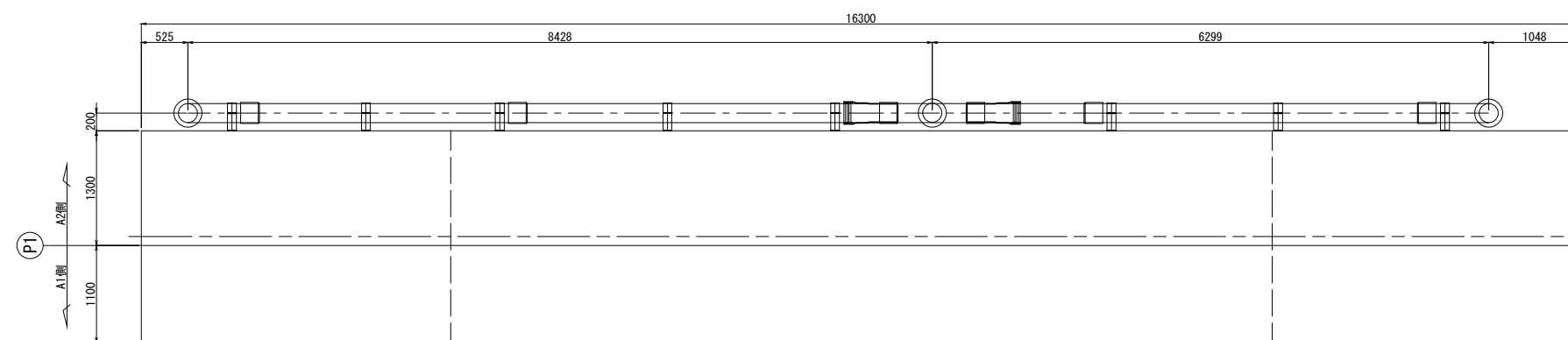
- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
銅板HDZT77、銅トナットHDZT49。
 3. ※印は既設アンカー再利用を示す

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更地Eランプ橋 撤去・設置工	排水管A詳細図（その2） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

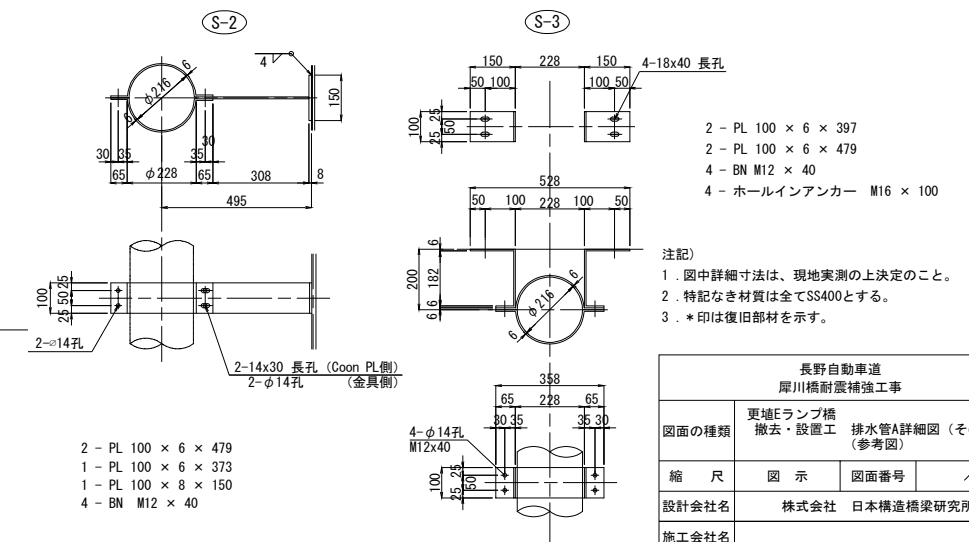
側面図 (A-A)



平面図 (B-B)

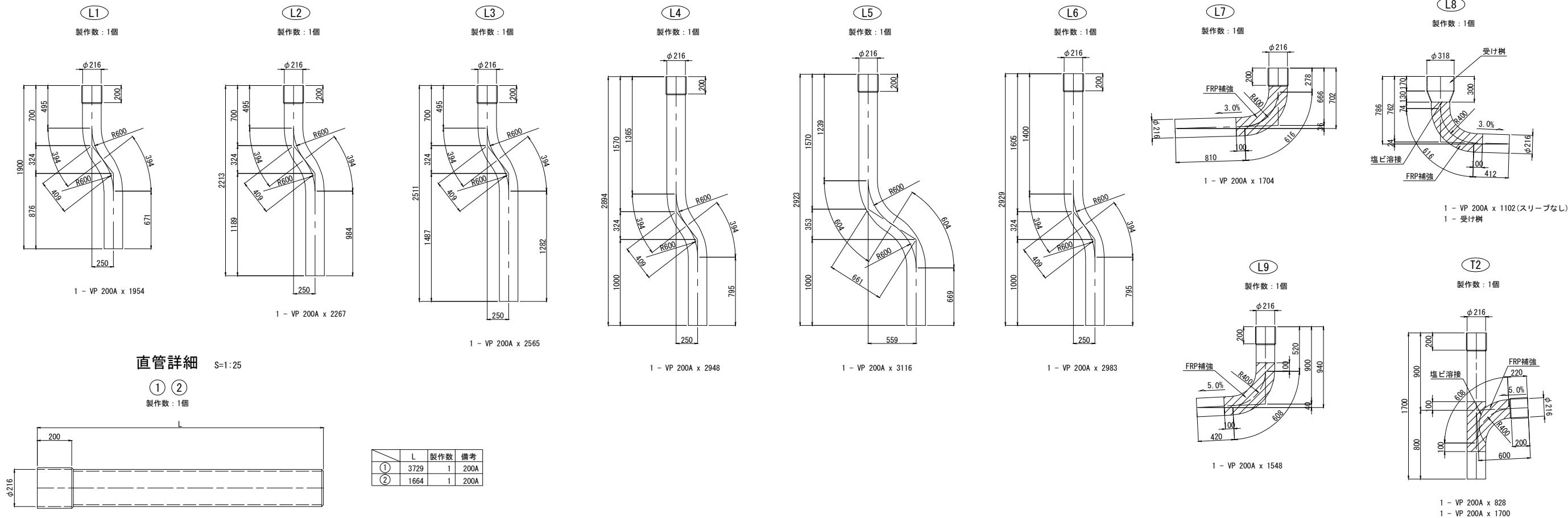


撤去取付金具詳細図 S=1:25

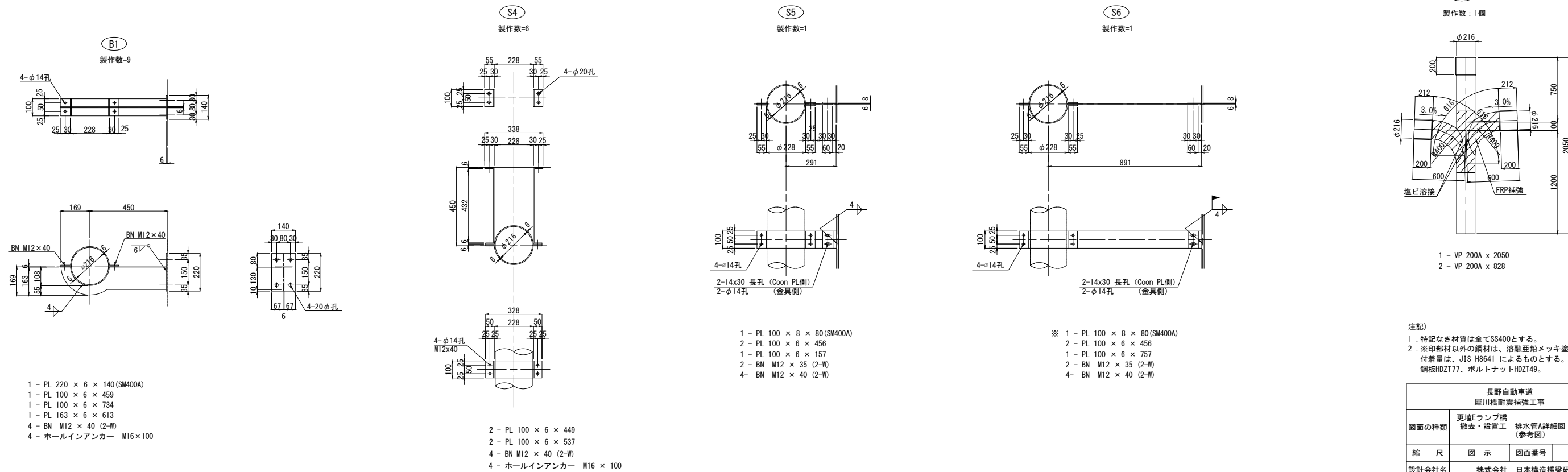


長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更地ラング橋 撤去・設置工	排水管A詳細図（その3） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

加工管詳細

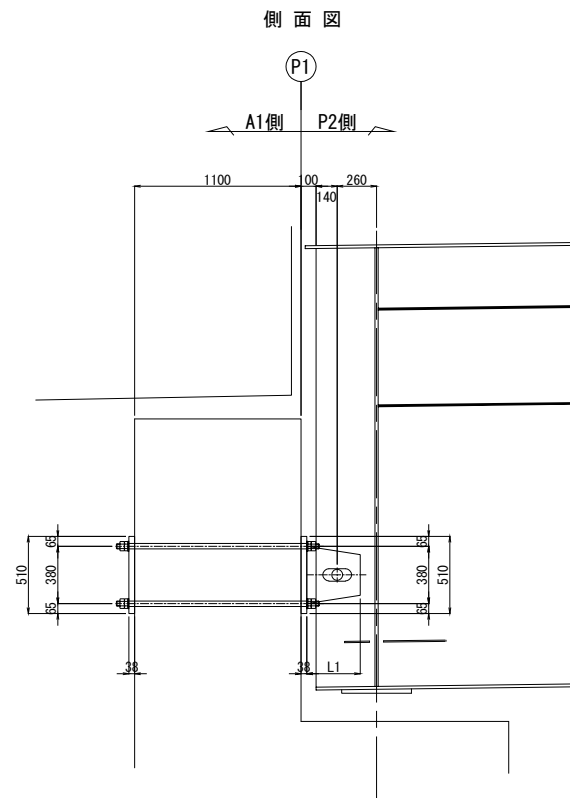


新設取付金具詳細図 S=1:25

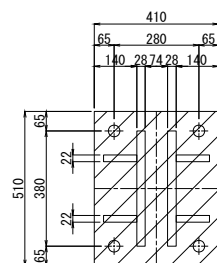


長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Eランプ橋 撤去・設置工	排水管A詳細図（その7） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

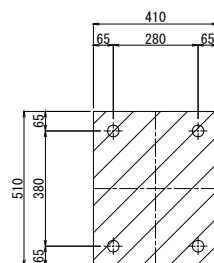
既設落橋防止装置現状図



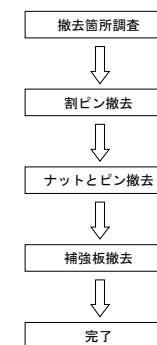
A - A S=1:25



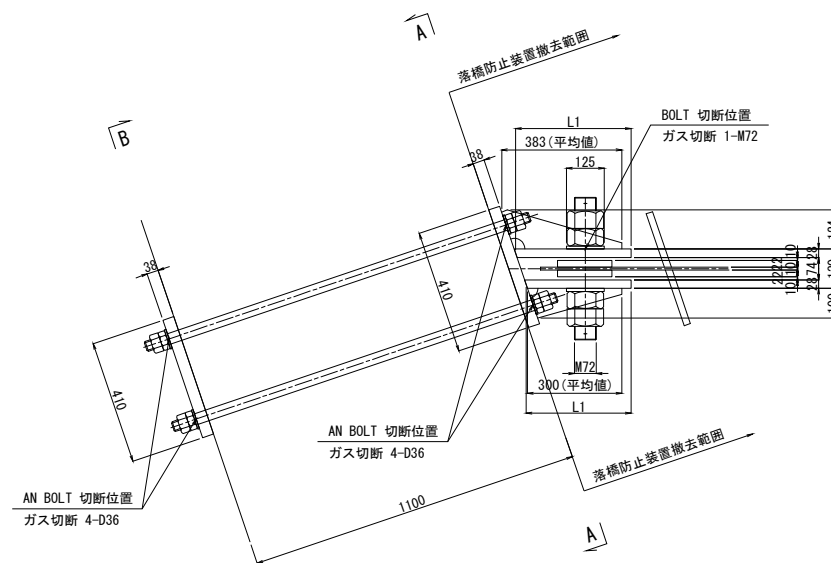
B - B S=1:25



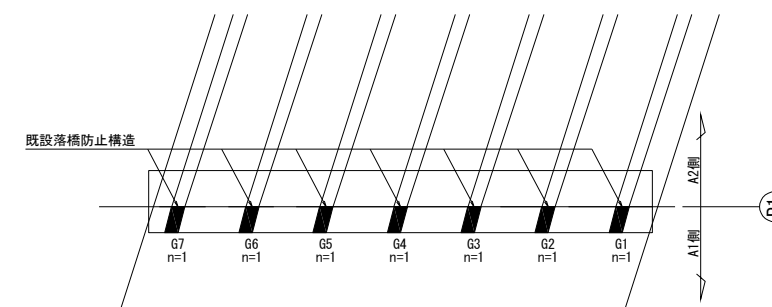
施工手順



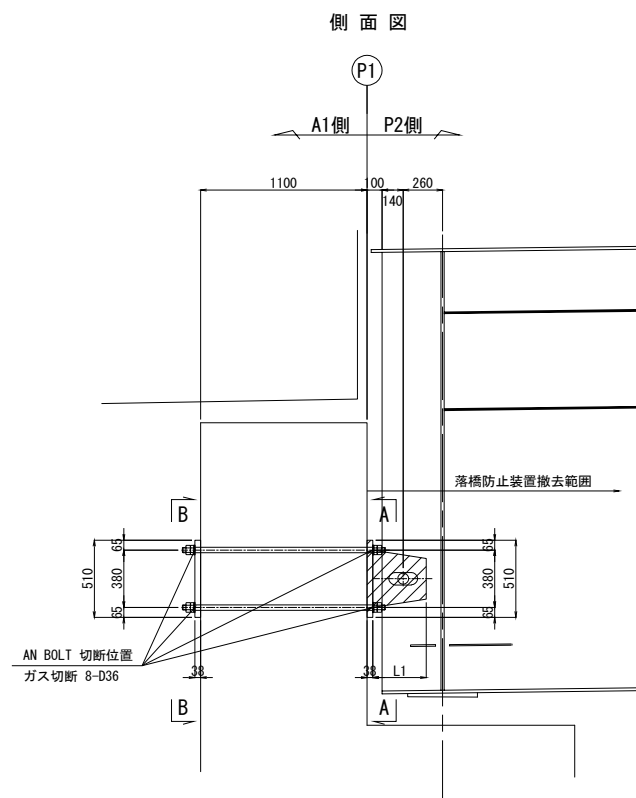
平面図 S=1:25



位置図



既設落橋防止装置撤去詳細図



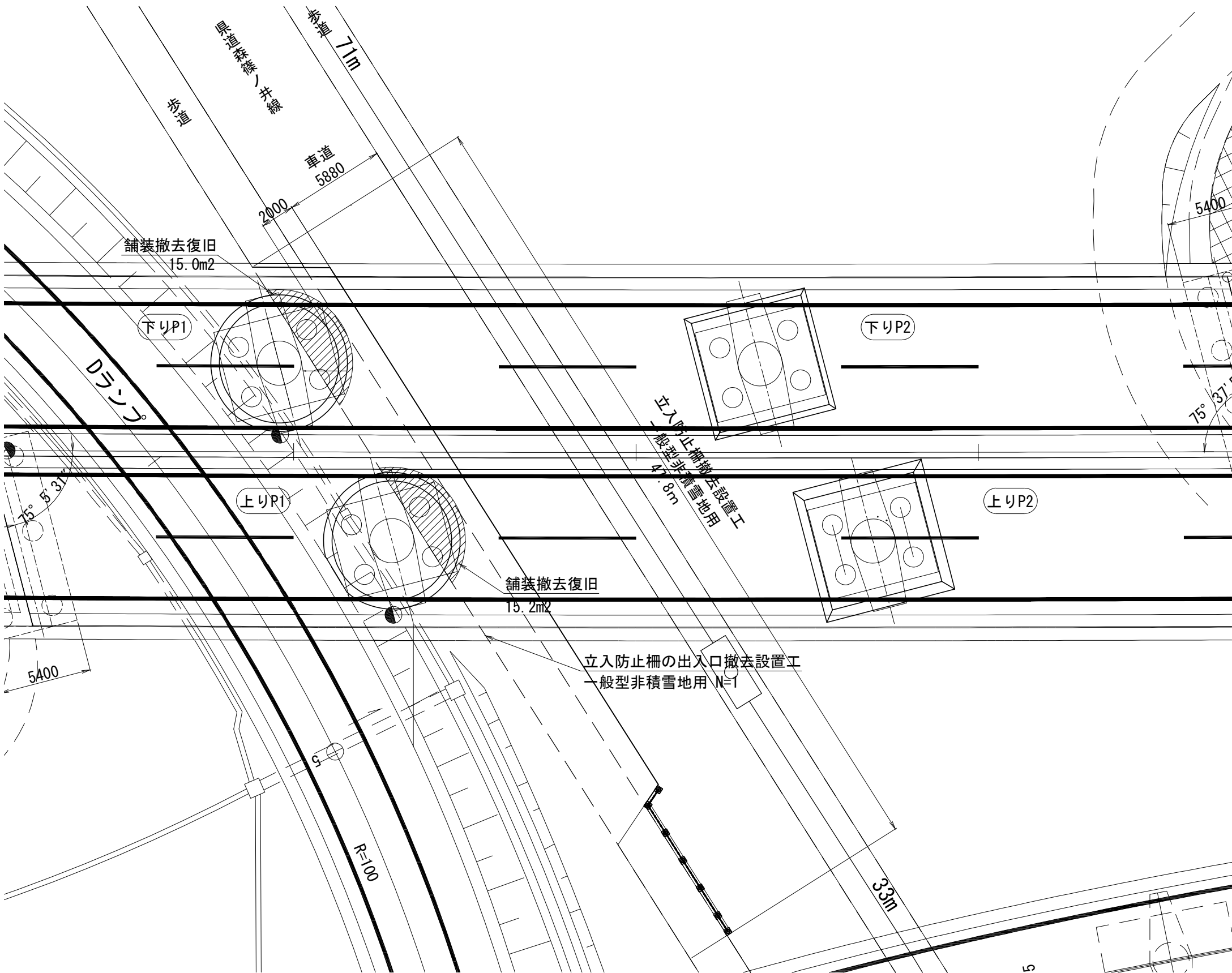
撤去数量: 7箇所
2-PL 410x38x510 (SM53B)
2-PL 124x22x383 (平均値)
2-PL 100x22x300 (平均値)
2-PL 380x28xL1 (SM41A)
1-ピン φ72x410 (S35CN)
2-NUT M72 (1種)
2-NUT M72 (3種)
2-座金 PL φ125x10
2-割ピン φ10x100 (SIRMI10)
2-PL 180x22x180
8-NUT M36 (1種)
8-NUT M36 (3種)
8-座金 PL φ66x6

	L1
G7	367 335
G6	368 334
G5	368 334
G4	368 334
G3	368 334
G2	368 334
G1	368 334

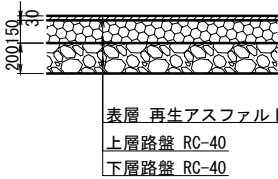
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴Eランプ橋 撤去工 落橋防止装置 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

窪河原橋

平面図 S=1/250



舗装構成(歩道部) 撤去復旧 S=1/50



数量表

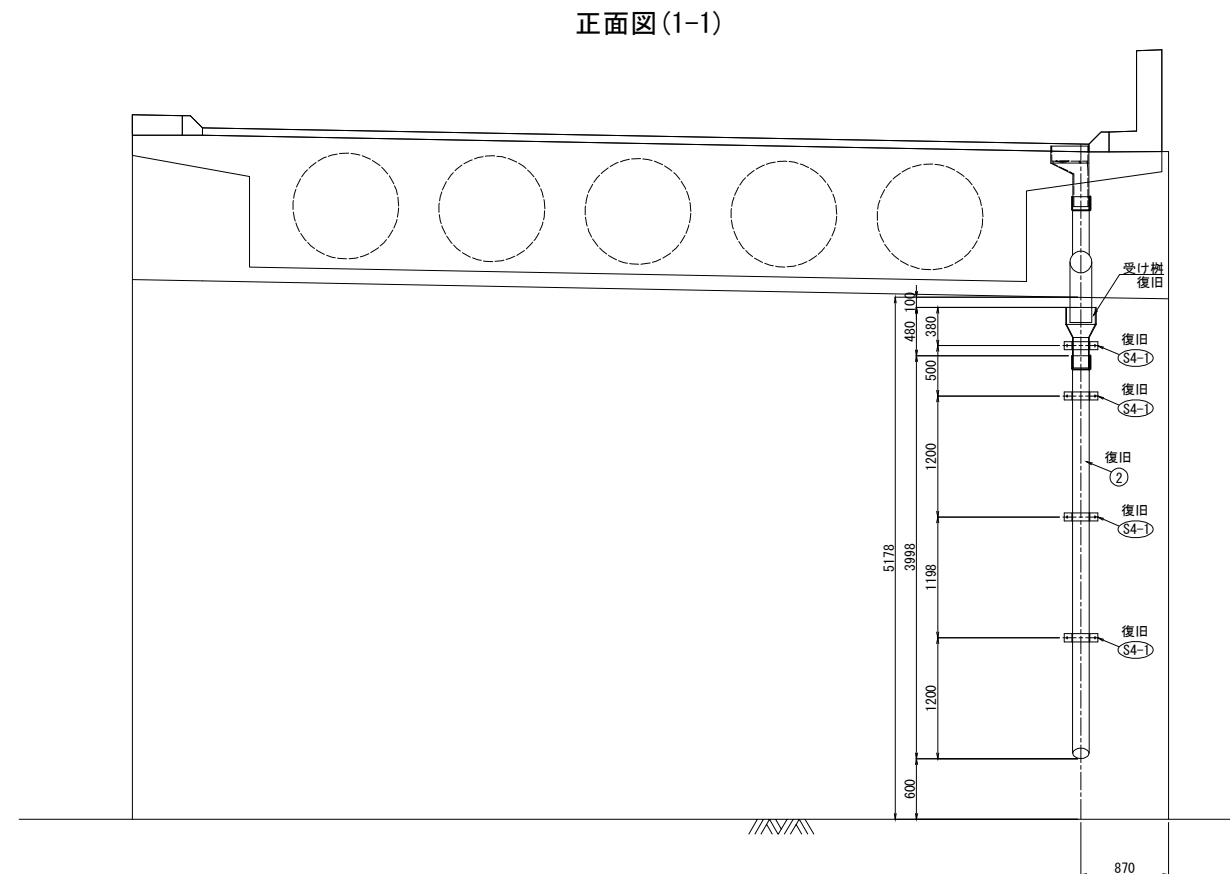
単価項目	形状・規格	単位	数量	備考
アスファルト舗装版取壊しTypeB	t=3cm	m ²	30.2	カッター 22.2m含む
切込砕石路盤工 (t=20cm)	RC-40	m ²	30.2	
切込砕石路盤工 (t=15cm)	RC-40	m ²	30.2	
加熱アスファルト表層工 (t=3cm)	再生As細粒度13mm	m ²	30.2	瀝青材含む

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上下線） 立入防止柵撤去設置・舗装撤去復旧図 （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

窪河原橋（上り線）撤去・設置工 排水管A詳細図（その1）（参考図）S=1:75

A1橋台(P1側) 撤去図

側面図 (2-2)



撤去数量

加工管
1 - T2

復旧数量

直管（スリーブ管）

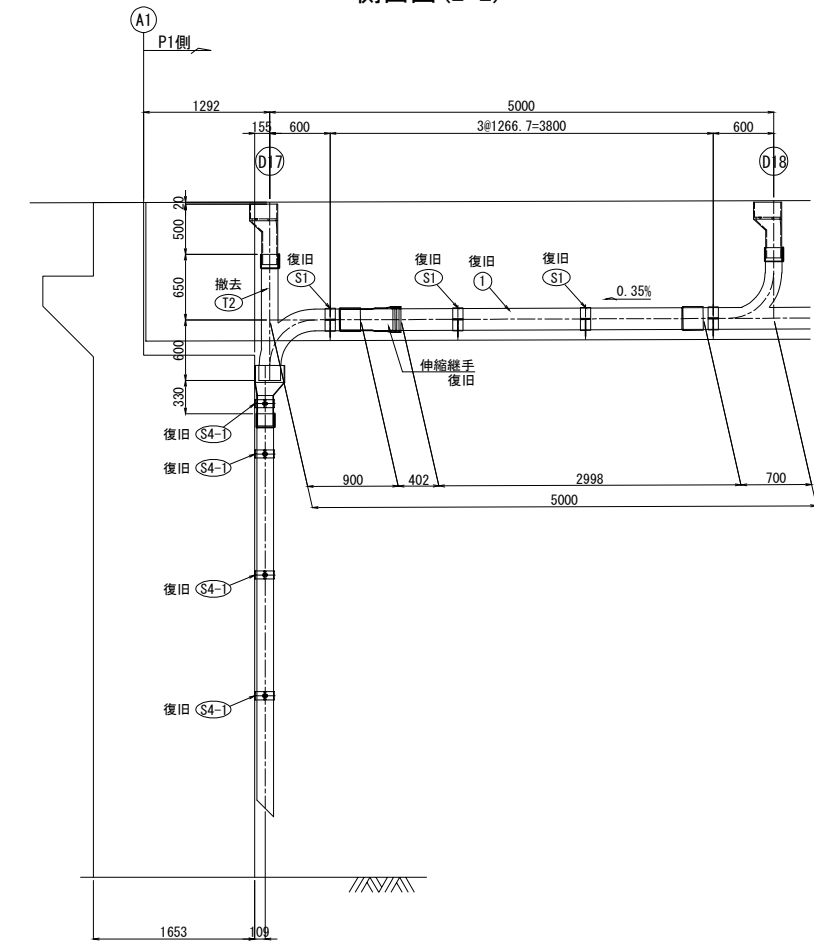
* ① 1 - VP 200A x 2423 (切断して使用)

* ② 1 - VP 150A x 1721 (切断して使用)

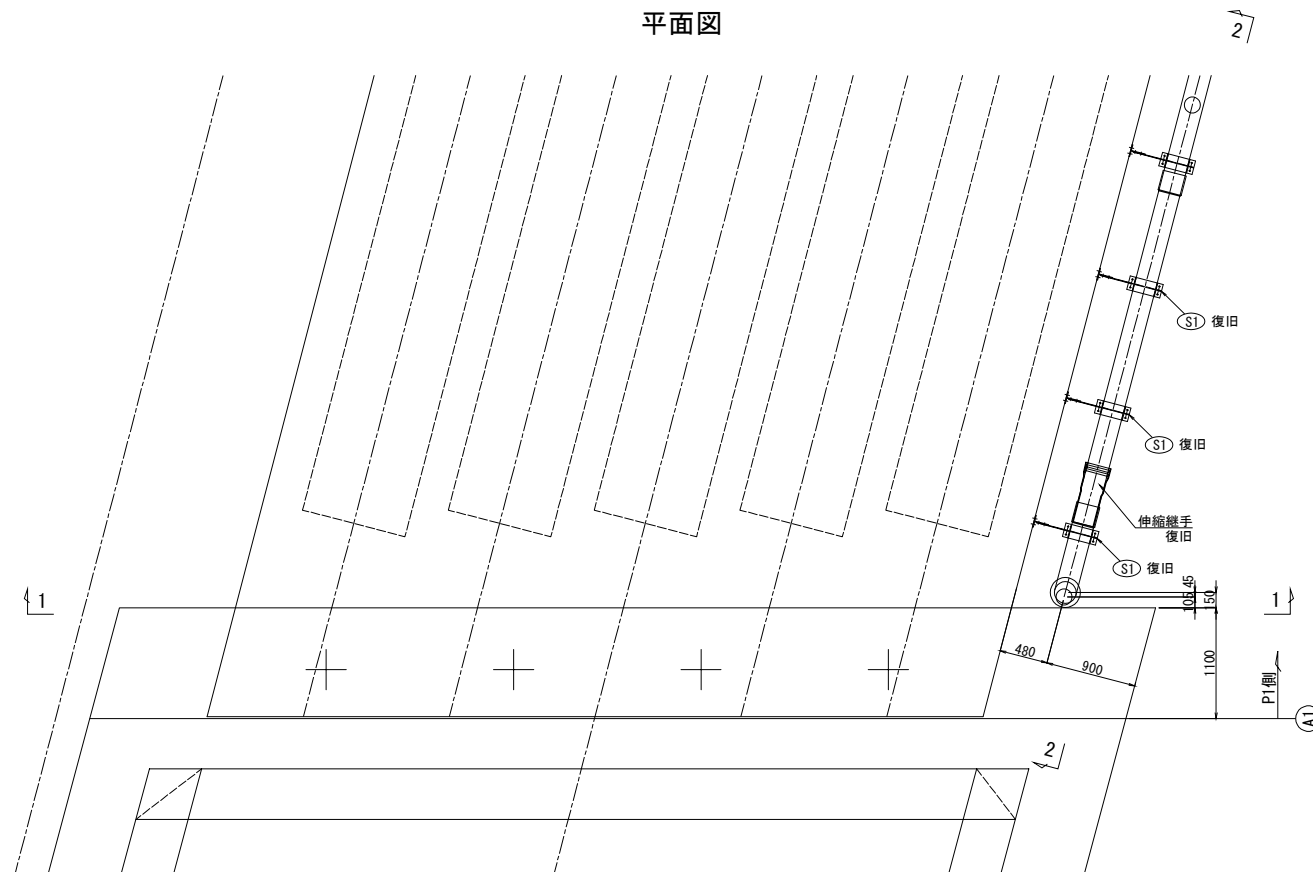
取付金具

- * 3 - S1
- * 4 - S4-1

- * 1 - 伸縮継手
- * 1 - 受け桟



平面图



注記
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

<p style="text-align: center;">長野自動車道 犀川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その1） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

側面図 (2-2)

Technical drawing of a cross-section of a structure, likely a bridge or tunnel, showing internal components and dimensions. The drawing includes a top section with five circular openings, a middle section with diagonal hatching, and a bottom section with a solid base. Dimensions are provided in millimeters (mm) and meters (m). Labels indicate various components: '取付金具S4-2 (新設)' (New S4-2 fastener), '加工管 (新設)' (New processed pipe), 'Y1', '受け鋼 (復旧)' (Restored support steel), '取付金具S4-1 (復旧)' (Restored S4-1 fastener), '取付金具S4-1 (新設)' (New S4-1 fastener), '取付金具S4-1 (復旧)' (Restored S4-1 fastener), '加工管 (新設)' (New processed pipe), 'L1', '取付金具S4-1 (復旧)' (Restored S4-1 fastener), '直管 (復旧)' (Restored straight pipe), '②', and '取付金具S4-3 (新設)' (New S4-3 fastener). A note indicates '縁継ぎ幅B t=750mm' (Edge joint width B t=750mm). Dimensions include 2000, 480, 380, 500, 800, 2877, 5178, 1400, 1721, 1100, 338, and 500.

2/

Y1

製作数：1個

Technical drawing of a bent pipe (Y1) showing dimensions and material specifications. The drawing includes a side view and a top view. The side view shows a pipe with a diameter of 165 mm, a total length of 1247 mm, and a bend radius of R1000. The top view shows a bent pipe with a total length of 775 mm and a bend radius of R1000. The drawing also indicates the use of FRP reinforcement and a 0.35% slope. The drawing is labeled with dimensions: 1247, 624, 333, 129, 23, 600, 462, 193, 132, 775, 900, 452, 200, 0.35%, R1000, R1000, R450, R450, and 塩化溶接.

1 - VP 150A x 1450
1 - VP 200A x 1309

Technical drawing of a chair backrest (1 - VP 150A x 2906) showing dimensions and curved segments. The drawing includes a side view and a top view. The side view shows a vertical backrest with a total height of 1800 mm and a width of 165 mm. The top view shows a rectangular base with a width of 775 mm and a depth of 600 mm. The backrest is composed of several curved segments with radii of R450 and R444. The segments are labeled with dimensions: 209, 644, 783, 644, 108, 1409, and 132. The drawing is labeled 1 - VP 150A x 2906.

S4-2

製作数=1

- 2- PL 80 x 6 x 614
- 2- PL 80 x 6 x 429
- 2- BN M12 x 35 (2-W)
- 2- ホールインアンカー M12 x 100

S4-3

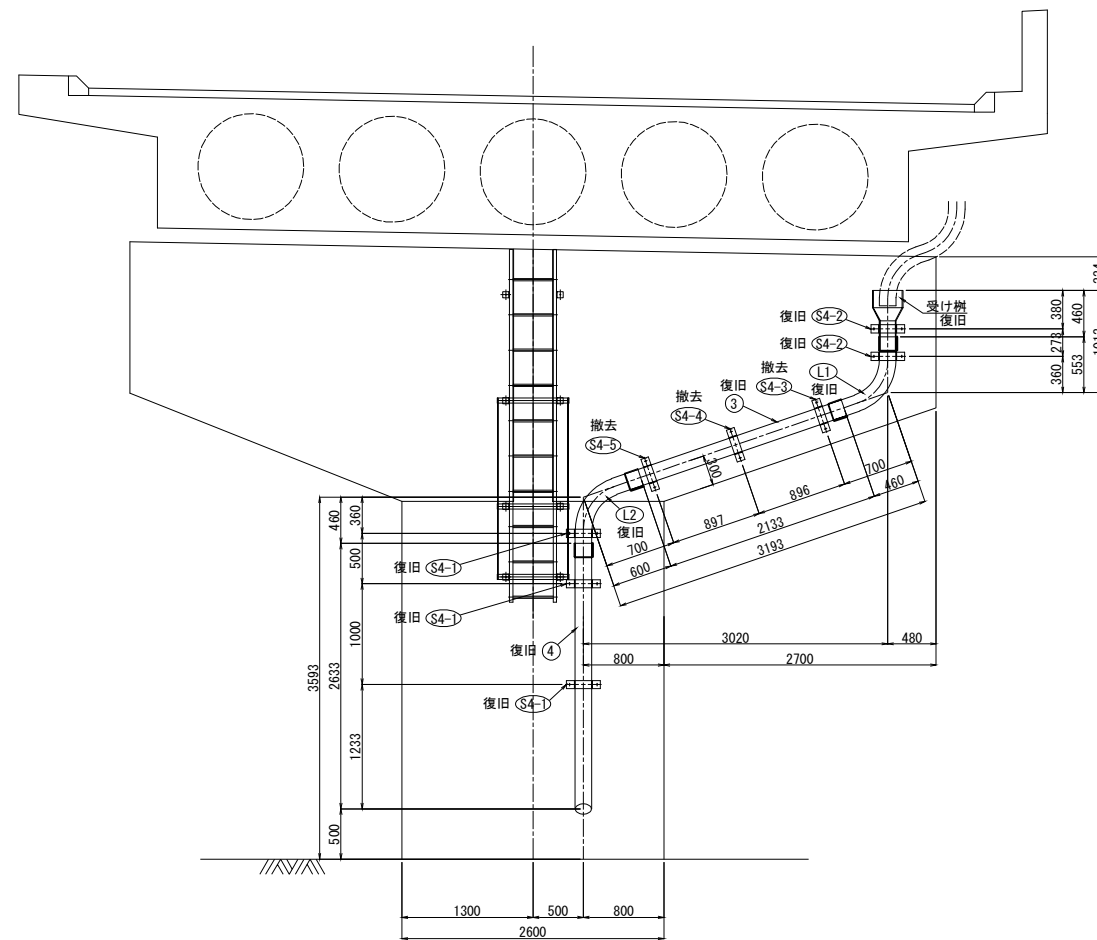
製作数=1

- 2- PL 80 x 6 x 239
- 2- PL 80 x 6 x 429
- 2- BN M12 x 35 (2-W)
- 2- ホールインアンカー M12 x 100

<p style="text-align: center;">長野自動車道 犀川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工	排水管A詳細図（その2） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚(A1側) 撤去図

正面図(1-1)



撤去数量

取付金具

- 1 - S4-3
1 - S4-4
1 - S4-5

復旧数量

直管（スリーブ管）

- * ③ 1 - VP 150A x 2265
- * ④ 1 - VP 150A x 2633

加工管

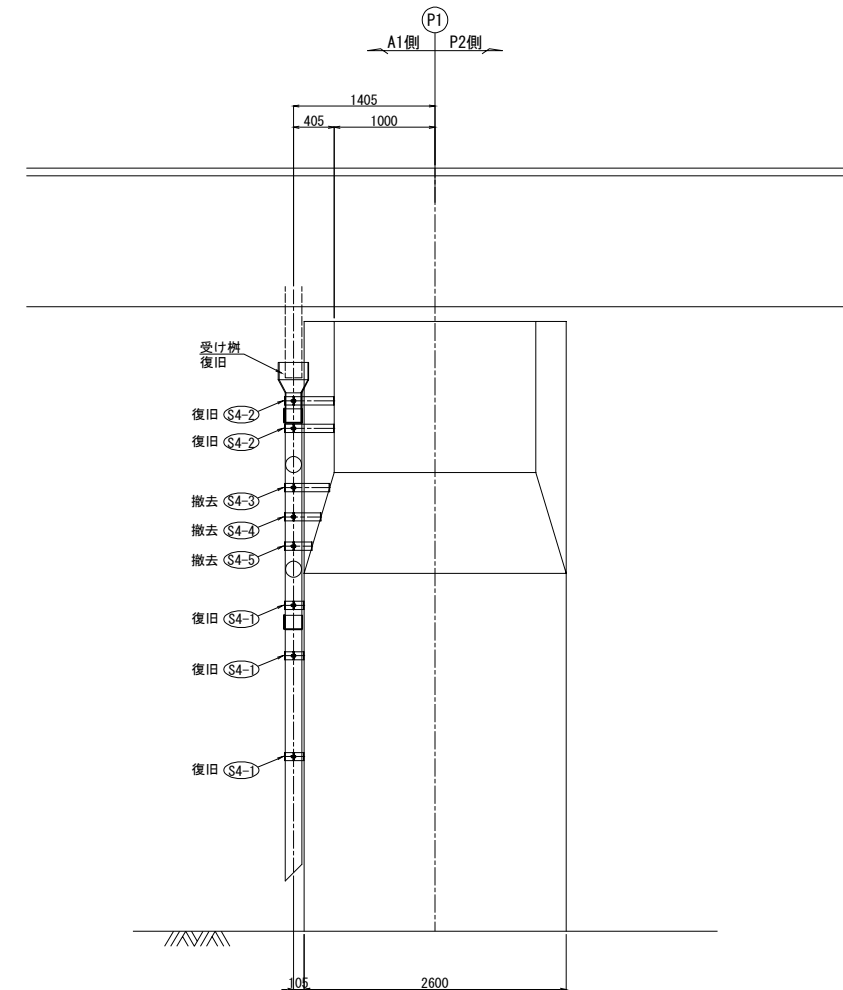
- * 1 - L1
- * 1 - L2

取付金具

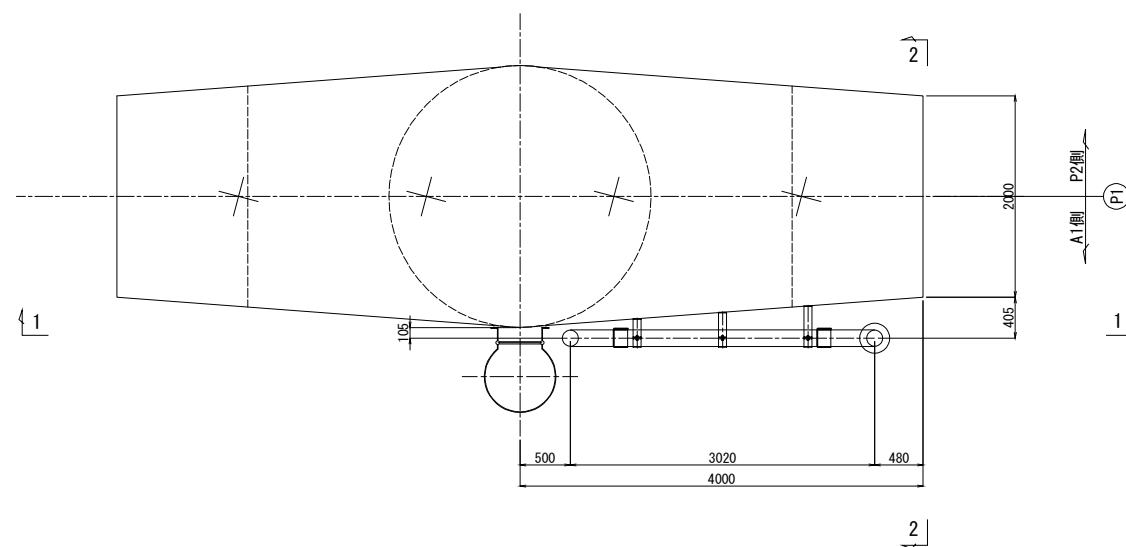
- * 3 - S4-1
- * 2 - S4-2

* 1 - 受け樹

側面図 (2-2)



平面图



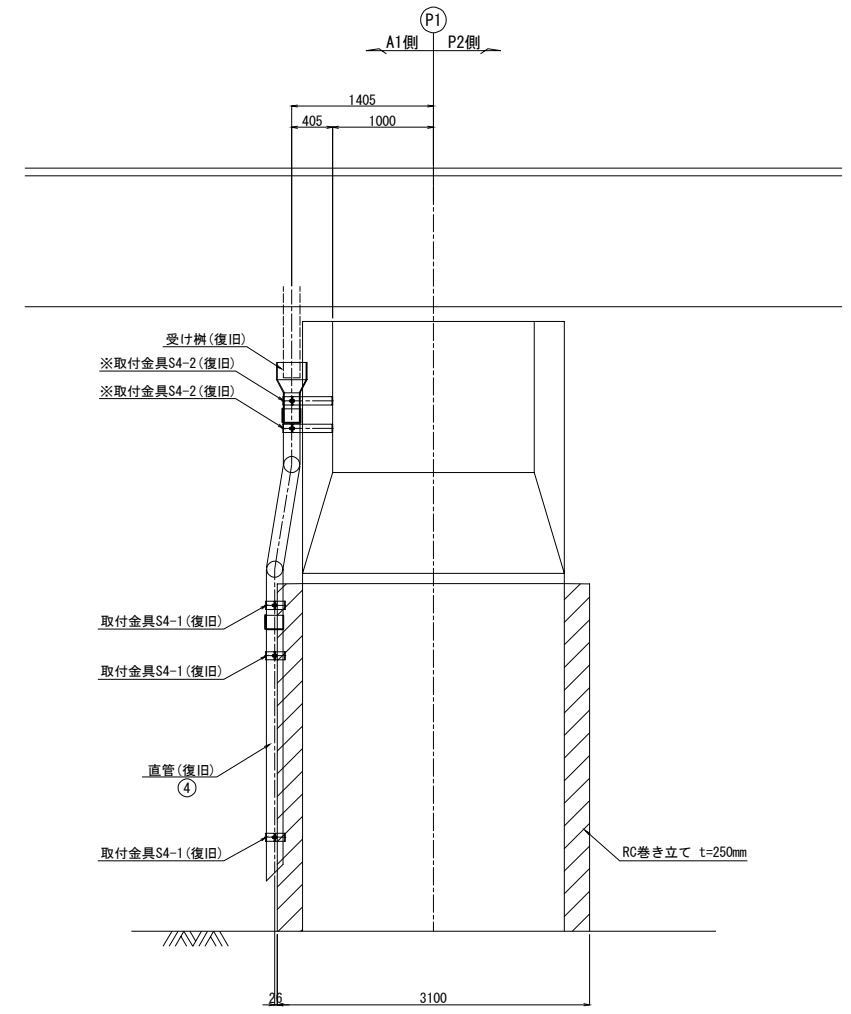
注記

1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 厚川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その3） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造桥梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長野工事事務所		関東支社

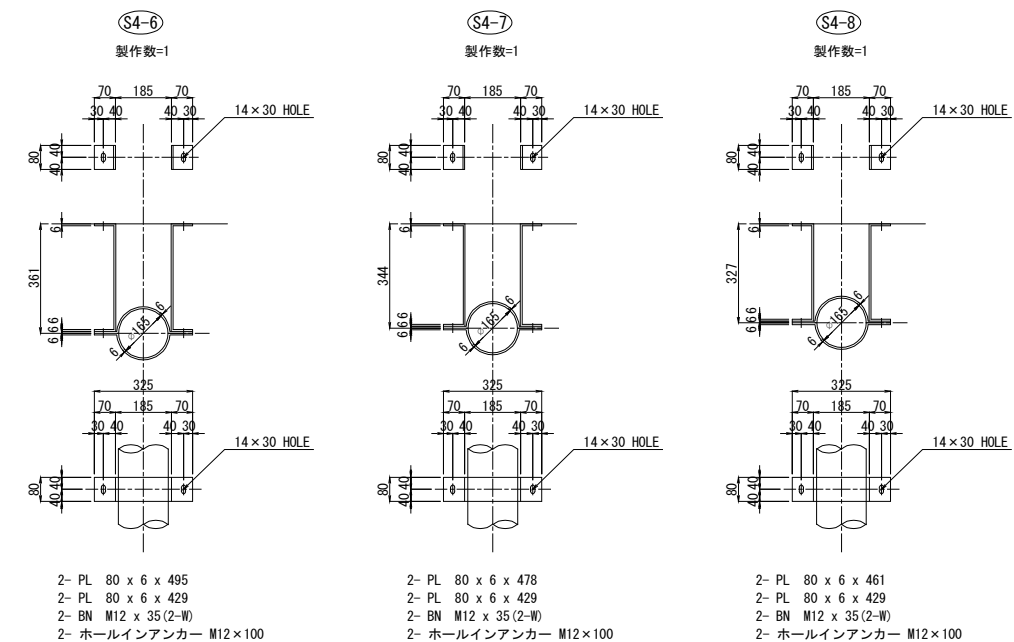
側面図(2-2)

P1



(復旧取付金具の新設アンカー)

平面图



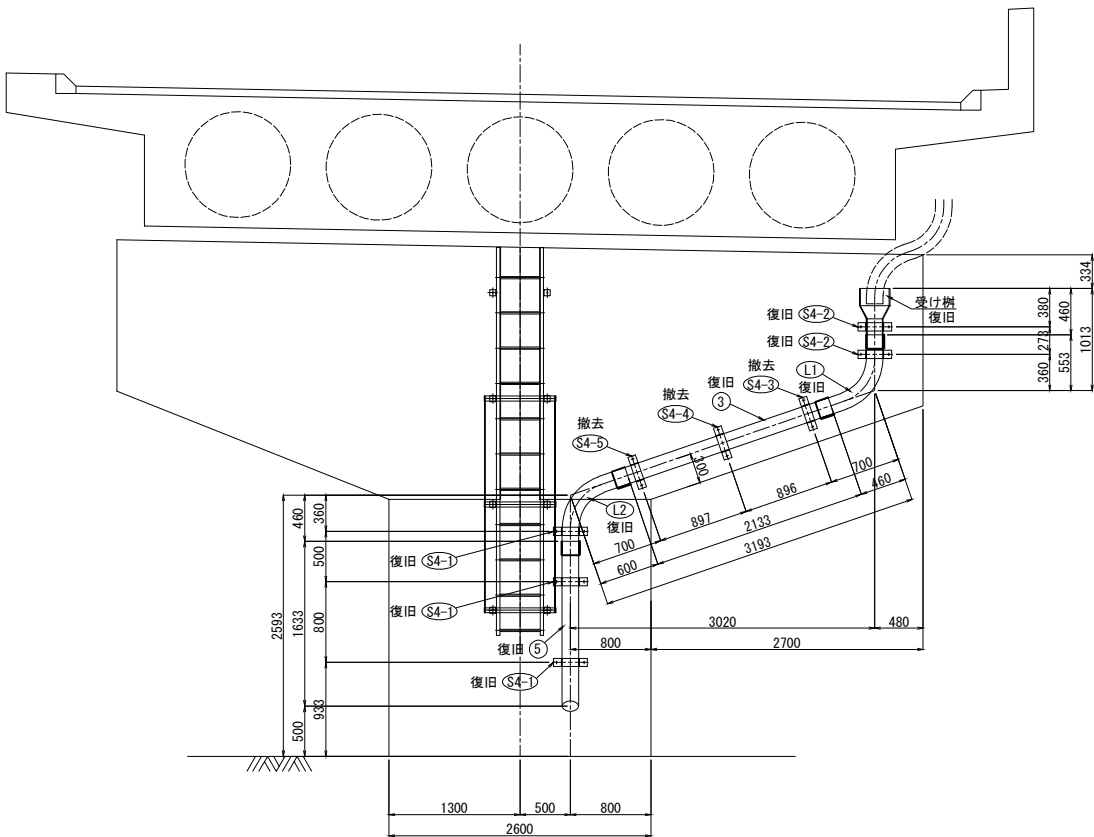
注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。
3. ※印は既設アンカー再利用を示す。

<p align="center">長野自動車道 犀川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その4） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

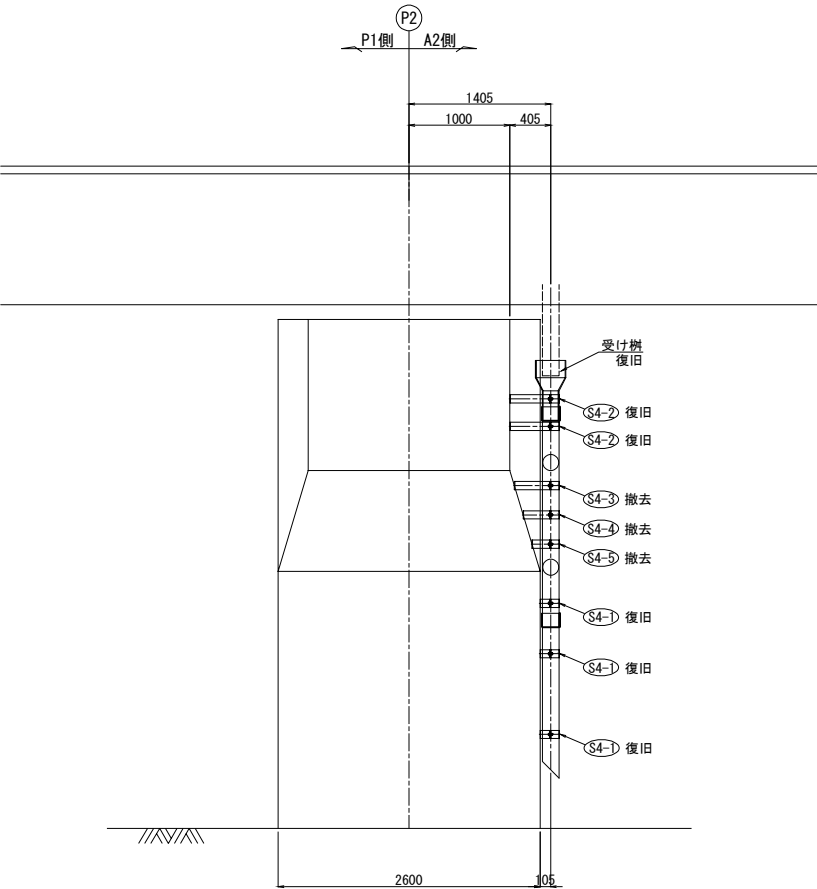
P2橋脚 (A2側) 撤去図

正面図 (1-1)

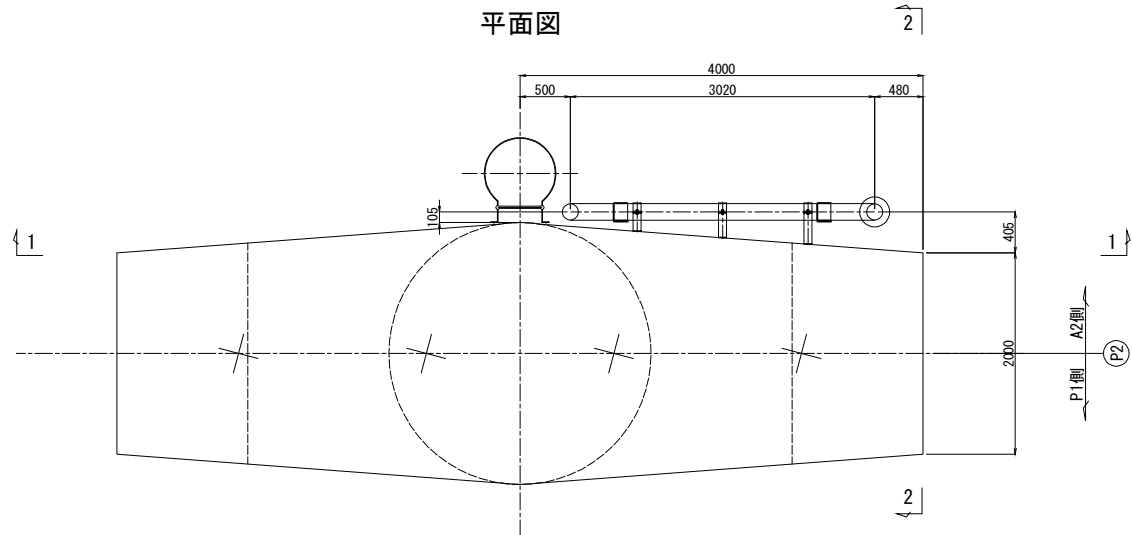


- 撤去数量
取付金具
- 1 - S4-3
 - 1 - S4-4
 - 1 - S4-5
- 復旧数量
直管（スリーブ管）
- * ③ 1 - VP 150A x 2265
 - * ⑤ 1 - VP 150A x 1633
- 加工管
- * 1 - L1
 - * 1 - L2
- 取付金具
- * 3 - S4-1
 - * 2 - S4-2
- * 1 - 受け樹

側面図 (2-2)



平面図

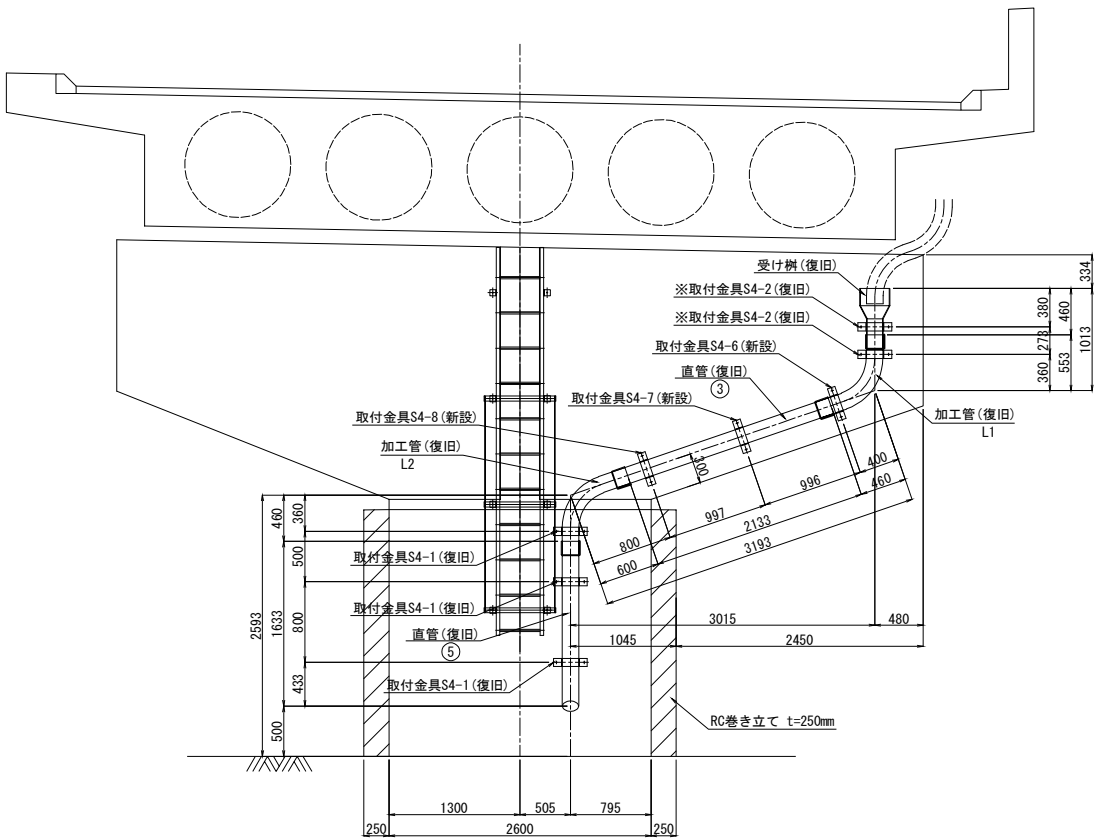


注記
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その5） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

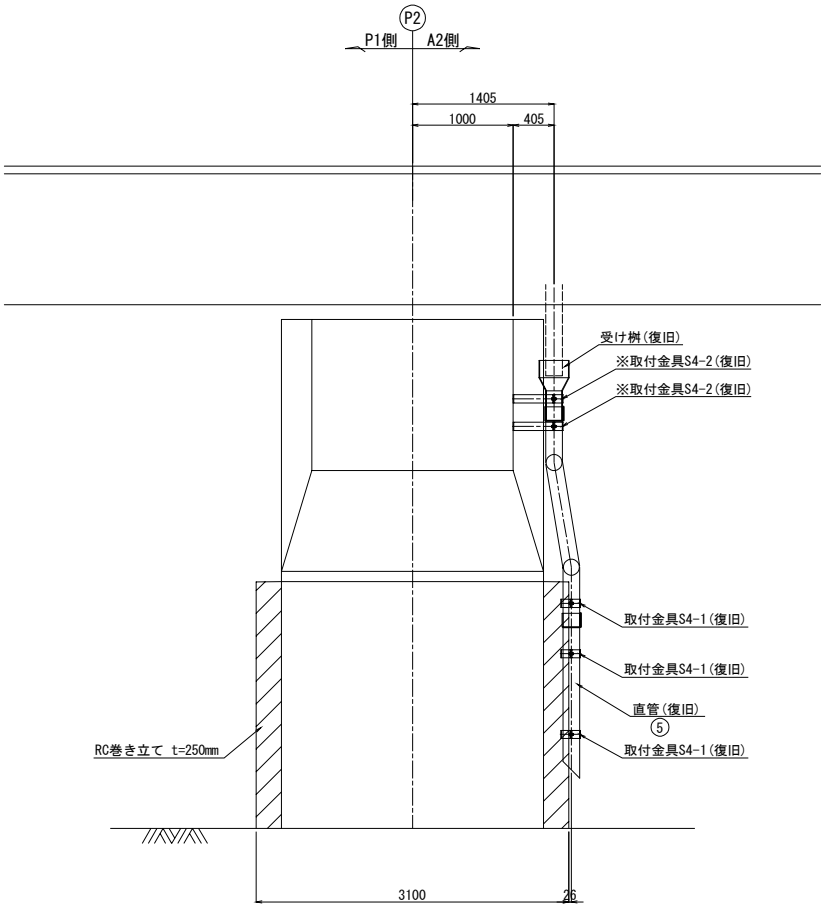
P2橋脚 (A2側) 復旧図

正面図 (1-1)

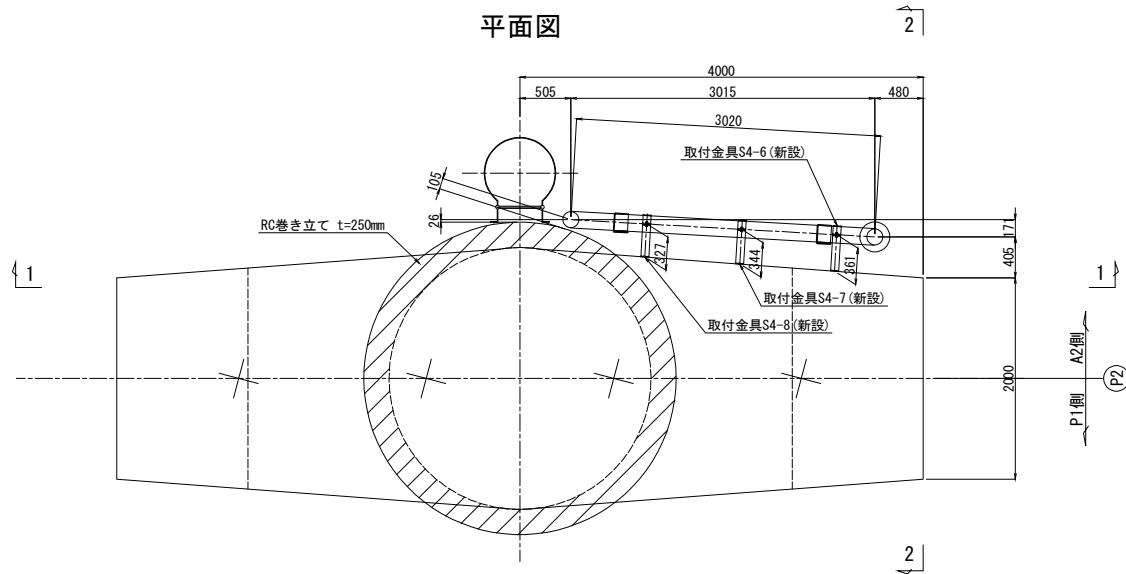


- 復旧数量
直管（スリーブ管）
③ 1 - VP 150A x 2265
⑤ 1 - VP 150A x 1633
- 加工管
1 - L1
1 - L2
- 取付金具
3 - S4-1
2 - S4-2
1 - 受け樹
- 新設数量
取付金具
1 - S4-6
1 - S4-7
1 - S4-8
6-ホールインアンカー M12×100
（復旧取付金具の新設アンカー）

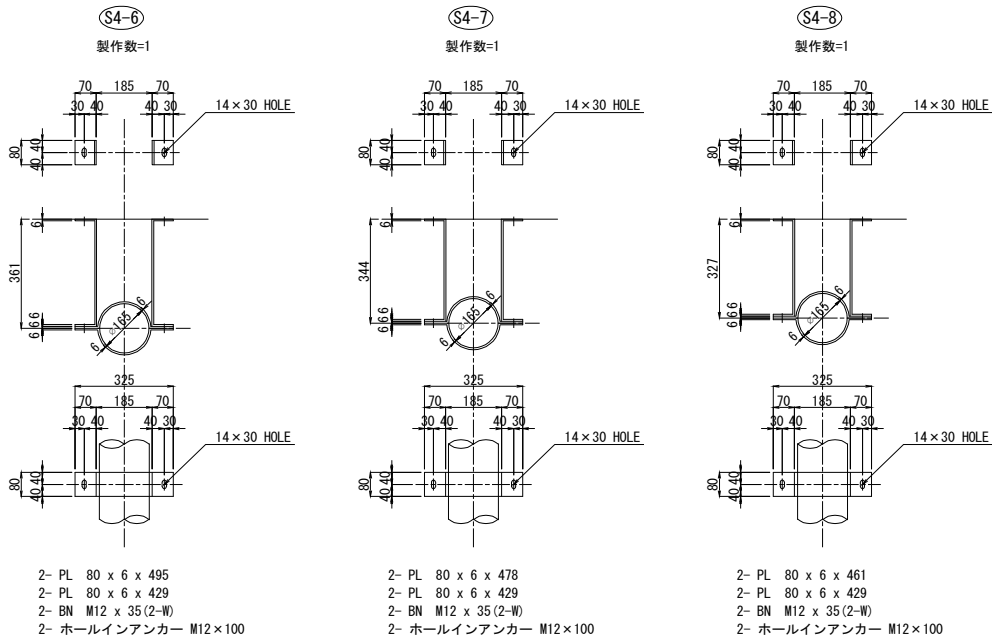
側面図 (2-2)



平面図



新設取付金具詳細図 S=1:25

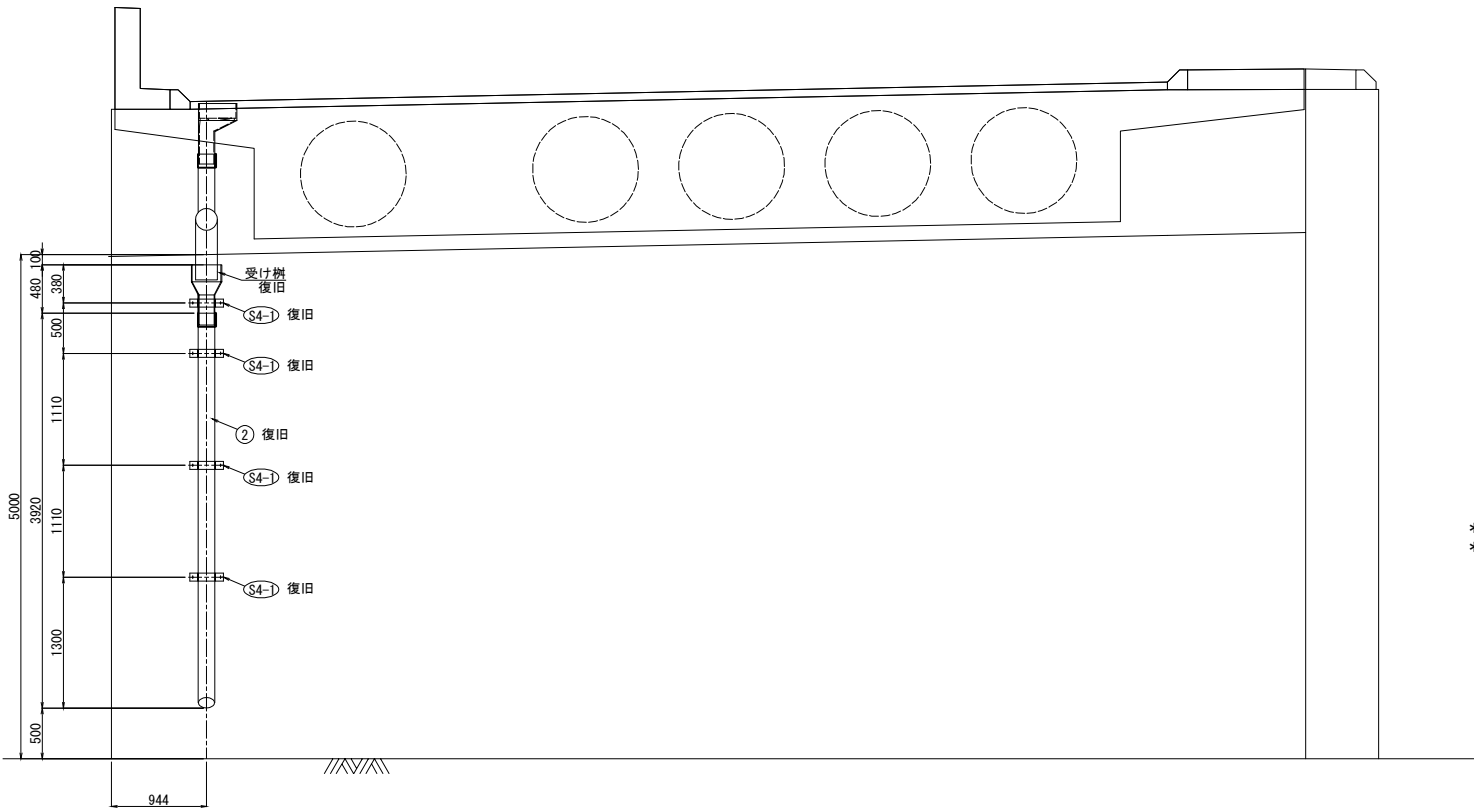


- 注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。
3. ※印は既設アンカー再利用を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その6） （参考図）	図示	図面番号 /
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

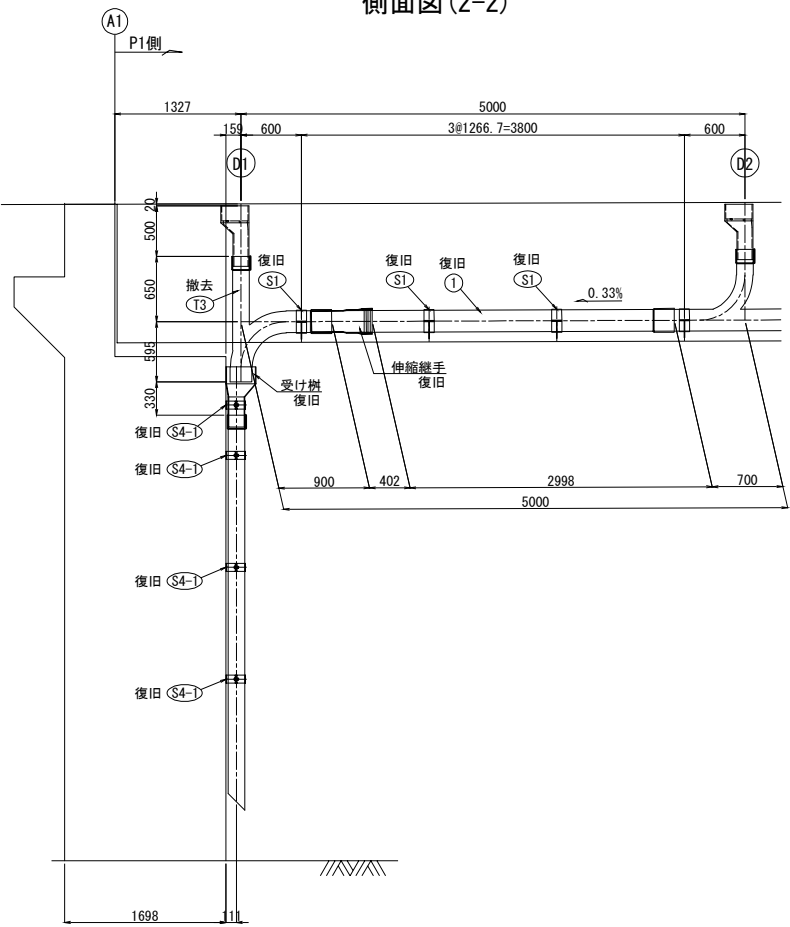
A1橋台(P1側) 撤去図

正面図(1-1)

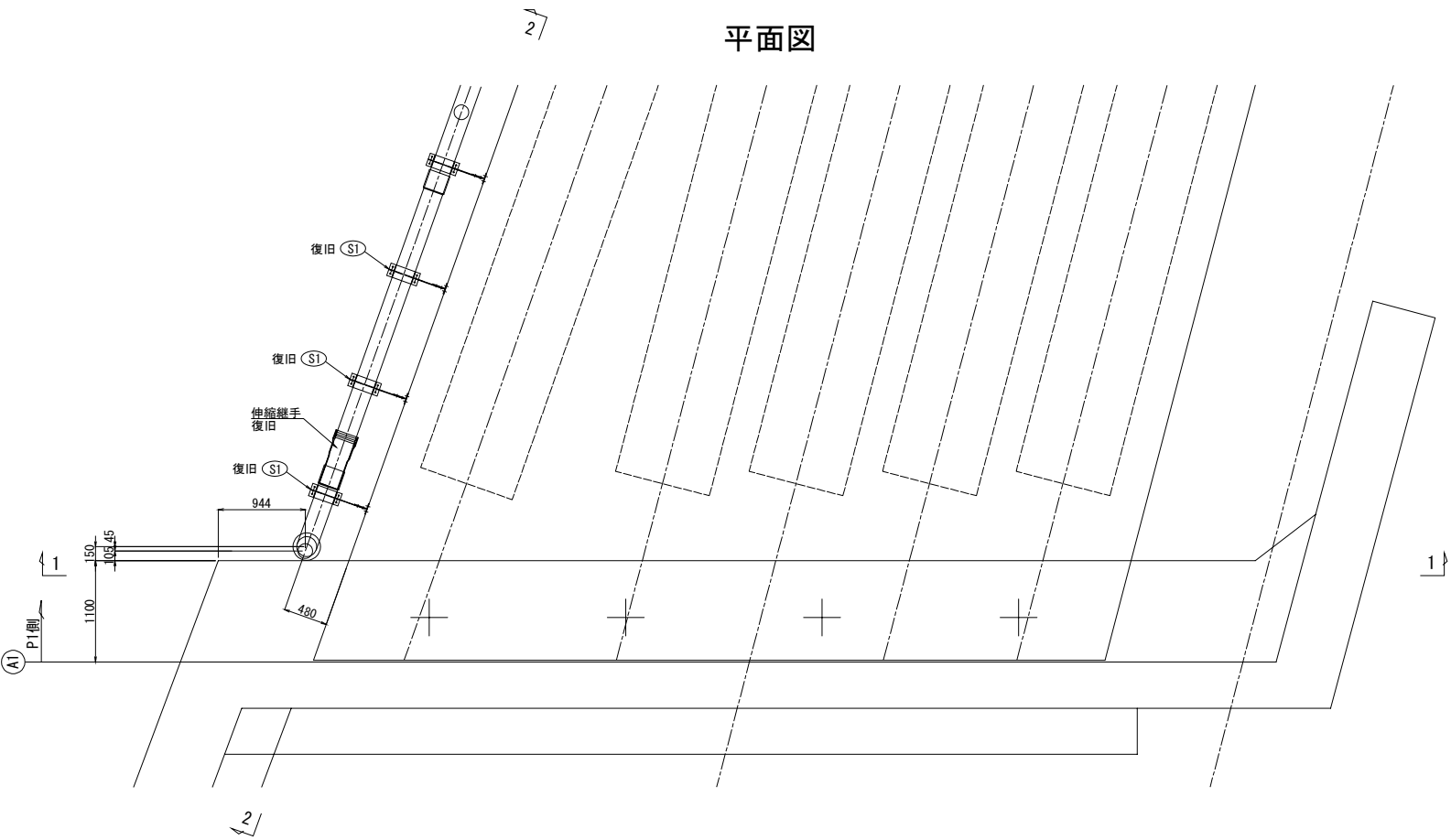


- 撤去数量
加工管
1 - T3
- 復旧数量
直管（スリーブ管）
* ① 1 - VP 200A x 2349 (切断して使用)
* ② 1 - VP 150A x 1560 (切断して使用)
- 取付金具
* 3 - S1
* 4 - S4-1
* 1 - 伸縮継手
* 1 - 受け樹

側面図(2-2)



平面図

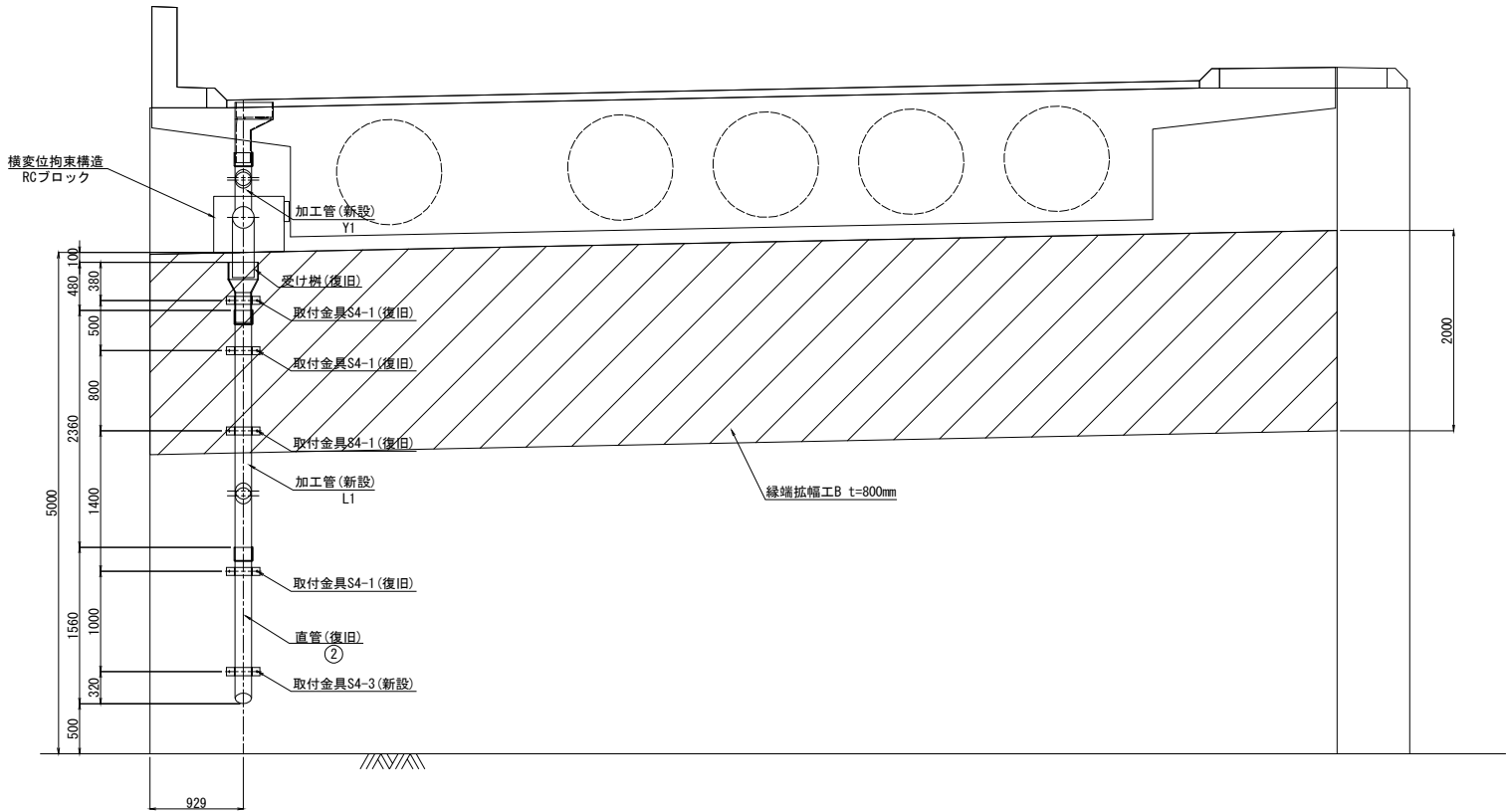


注記
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

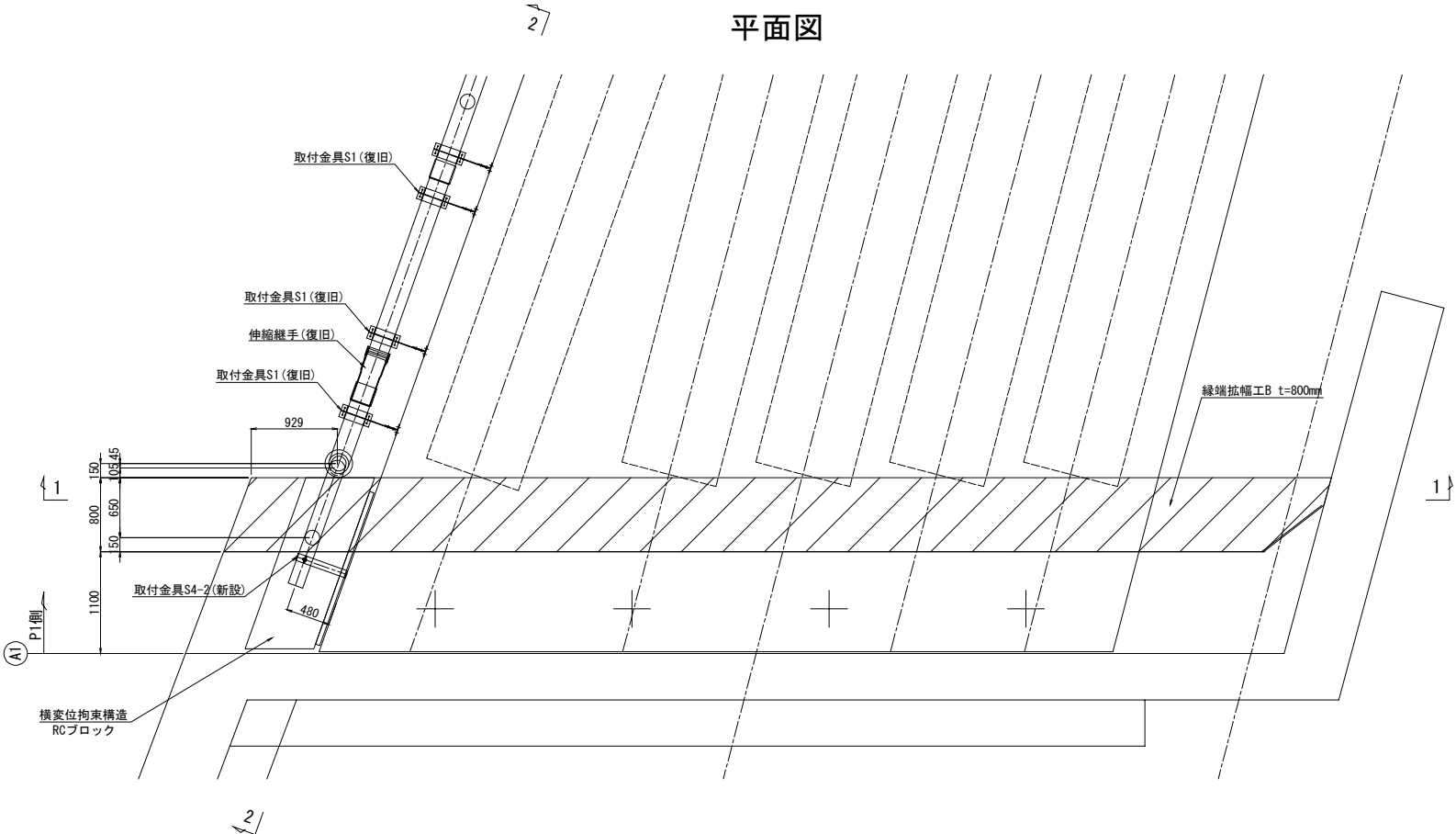
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その1） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 (P1側) 復旧図

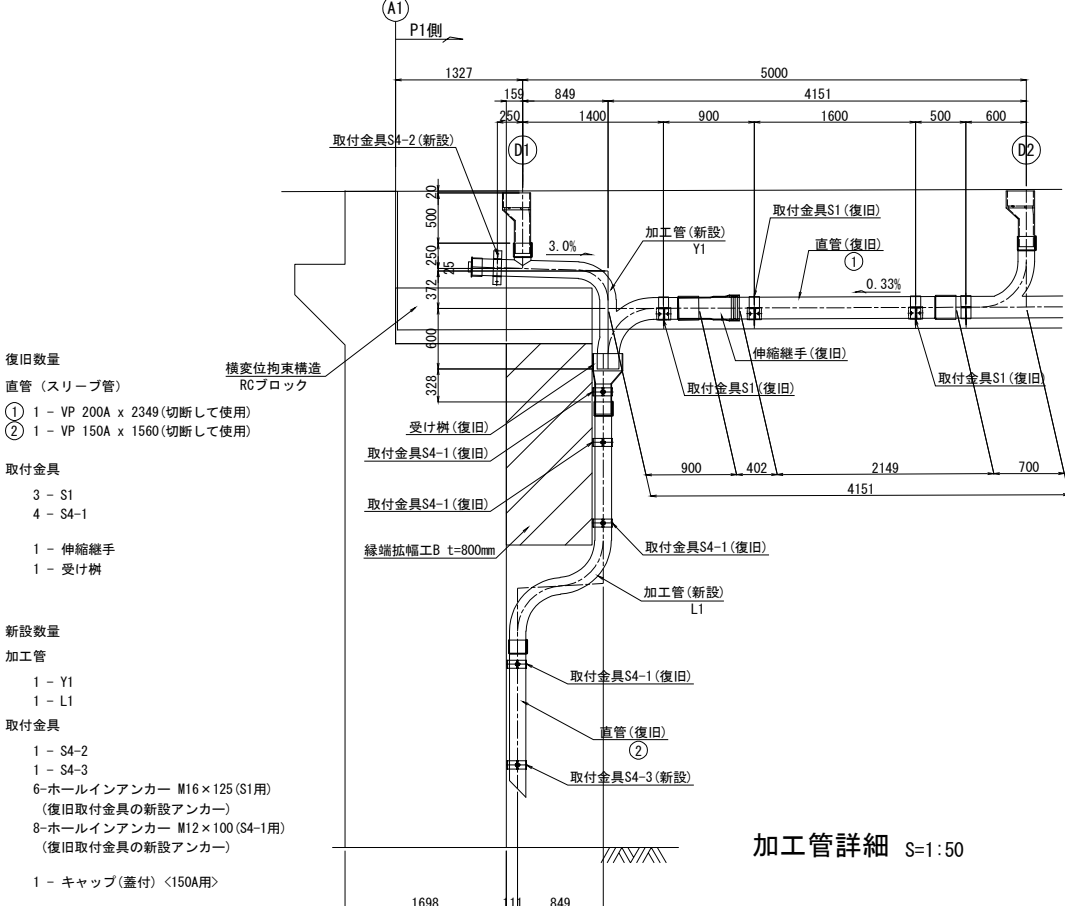
正面図 (1-1)



平面図



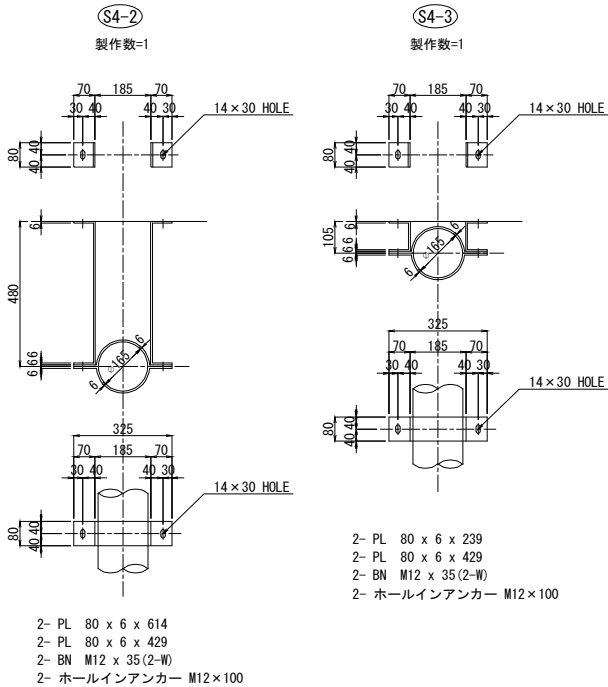
側面図 (2-2)



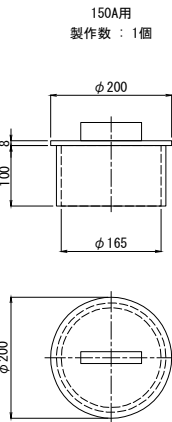
加工管詳細 S=1:50

- 復旧数量
直管 (スリーブ管)
① 1 - VP 200A x 2349 (切断して使用)
② 1 - VP 150A x 1560 (切断して使用)
- 取付金具
3 - S1
4 - S4-1
1 - 伸縮継手
1 - 受け樹
- 新設数量
加工管
1 - Y1
1 - L1
取付金具
1 - S4-2
1 - S4-3
6-ホールインアンカー M16×125 (S1用)
(復旧取付金具の新設アンカー)
8-ホールインアンカー M12×100 (S4-1用)
(復旧取付金具の新設アンカー)
1 - キャップ (蓋付) <150A用>

新設取付金具詳細図 S=1:25



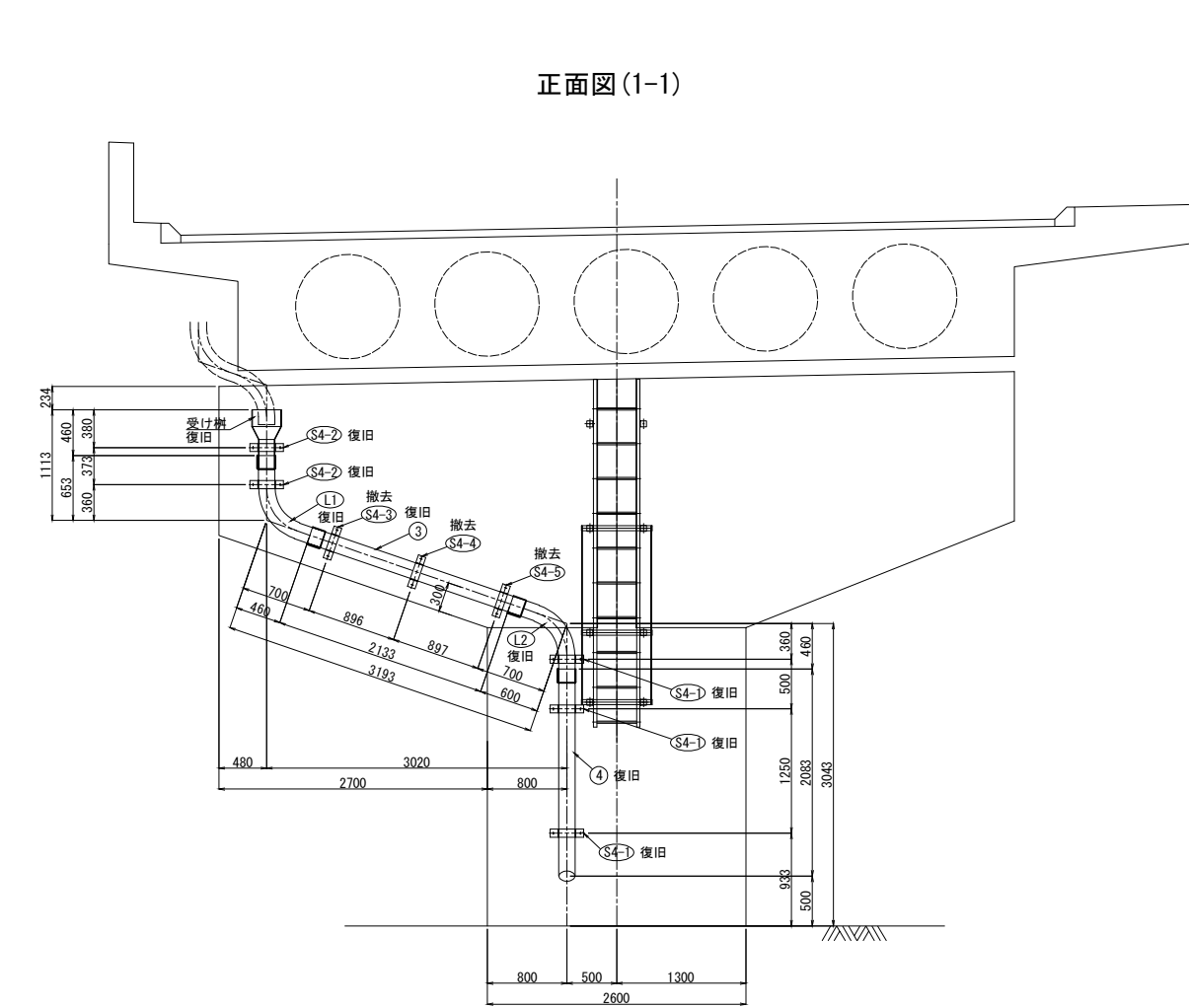
キャップ (蓋付) S=1:25



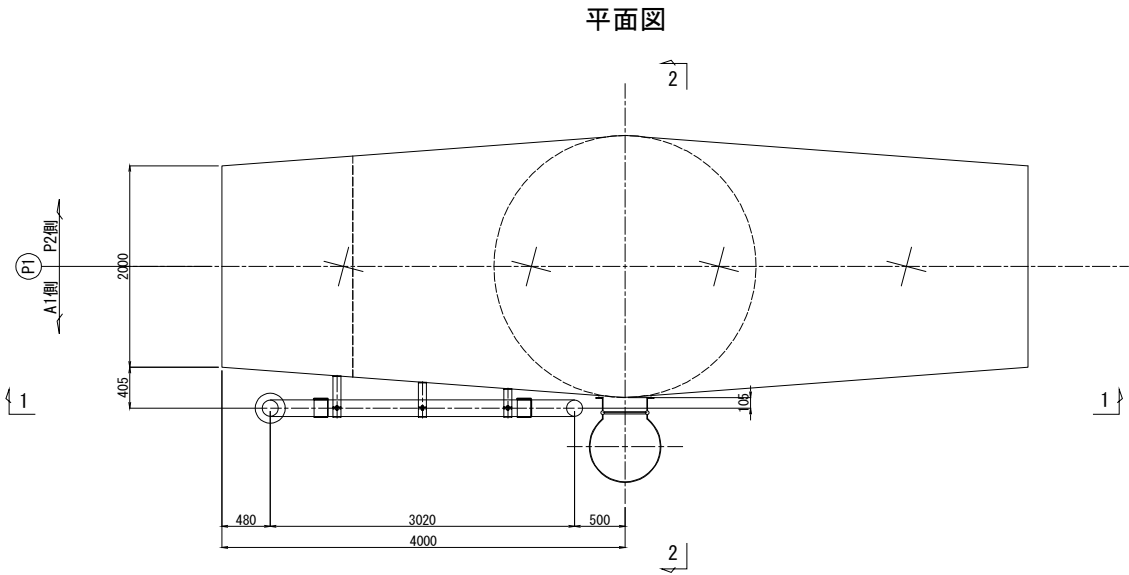
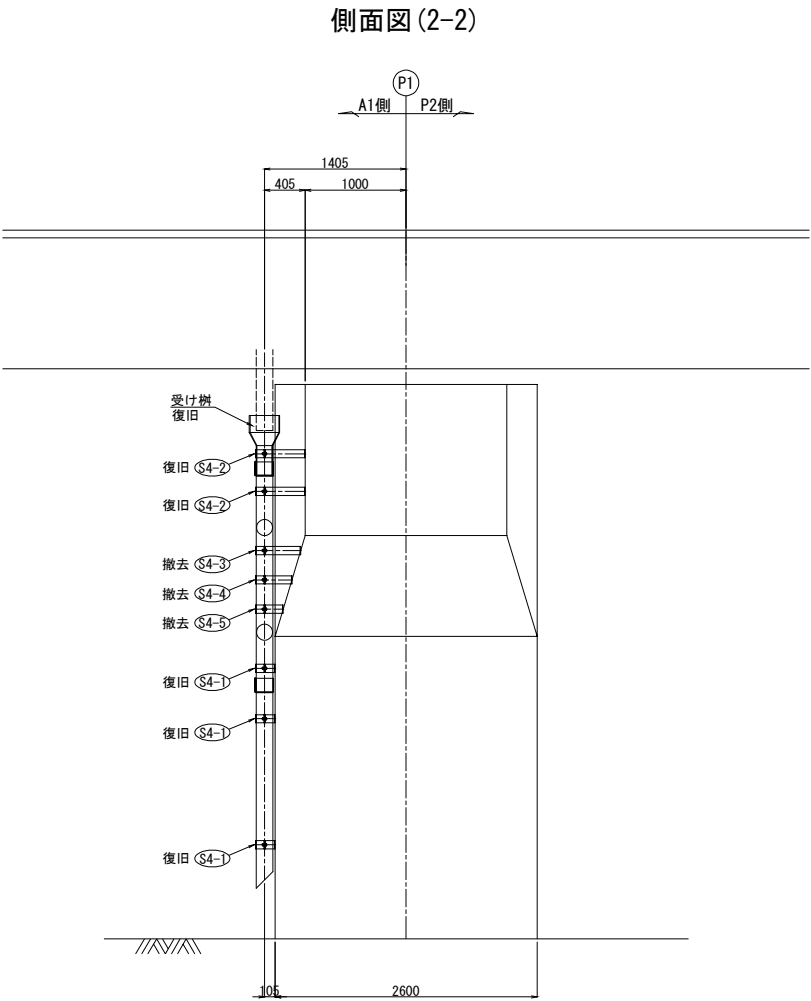
- 注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZ777、ボルトナットHDZ749。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋 (下り線) 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その2) (参考図)	図面番号	/
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚(A1側) 撤去図



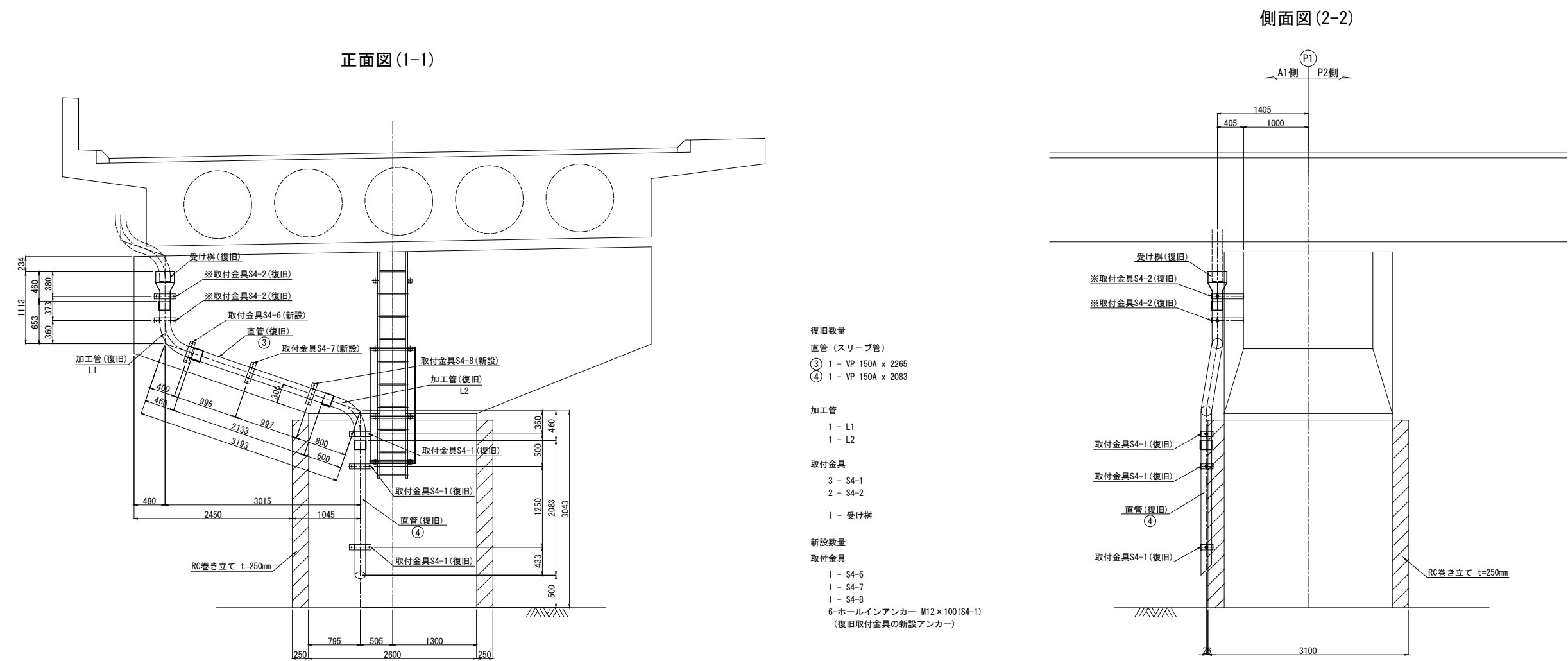
- 撤去数量
取付金具
1 - S4-3
1 - S4-4
1 - S4-5
- 復旧数量
直管（スリーブ管）
* ③ 1 - VP 150A x 2265
* ④ 1 - VP 150A x 2083
- 加工管
* 1 - L1
* 1 - L2
- 取付金具
* 3 - S4-1
* 2 - S4-2
- * 1 - 受け樹



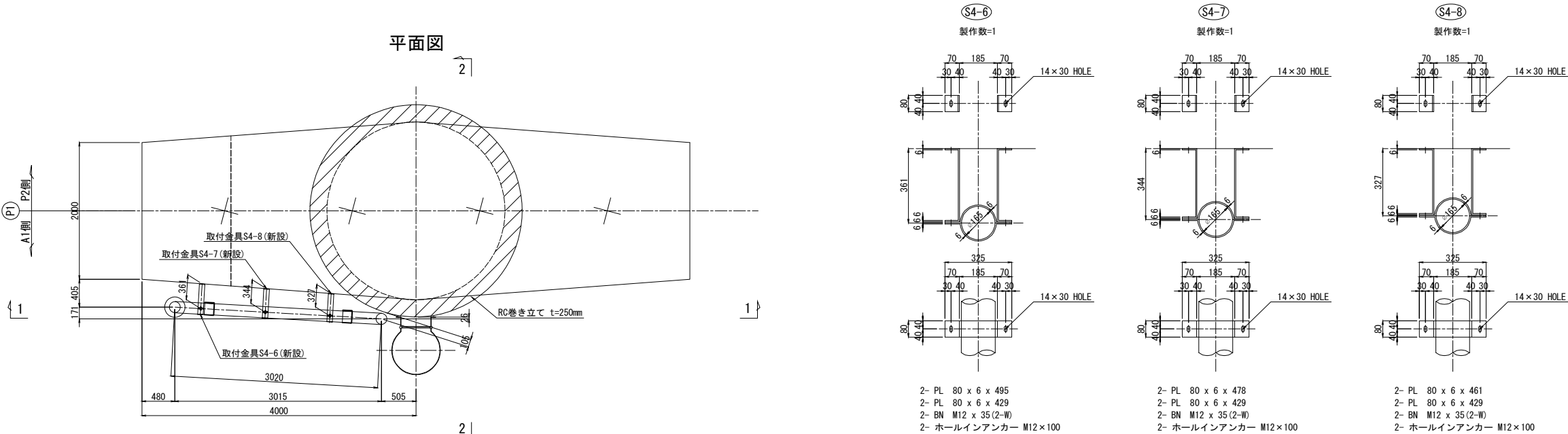
注記
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その3） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚 (A1側) 復旧図



新設取付金具詳細図 S=1:25



注記

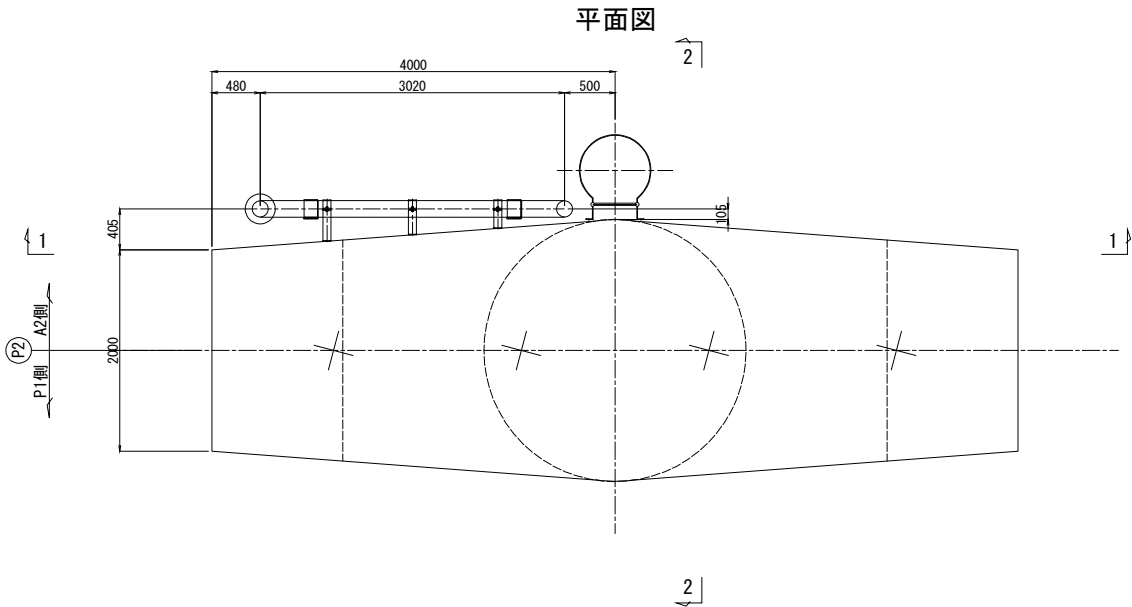
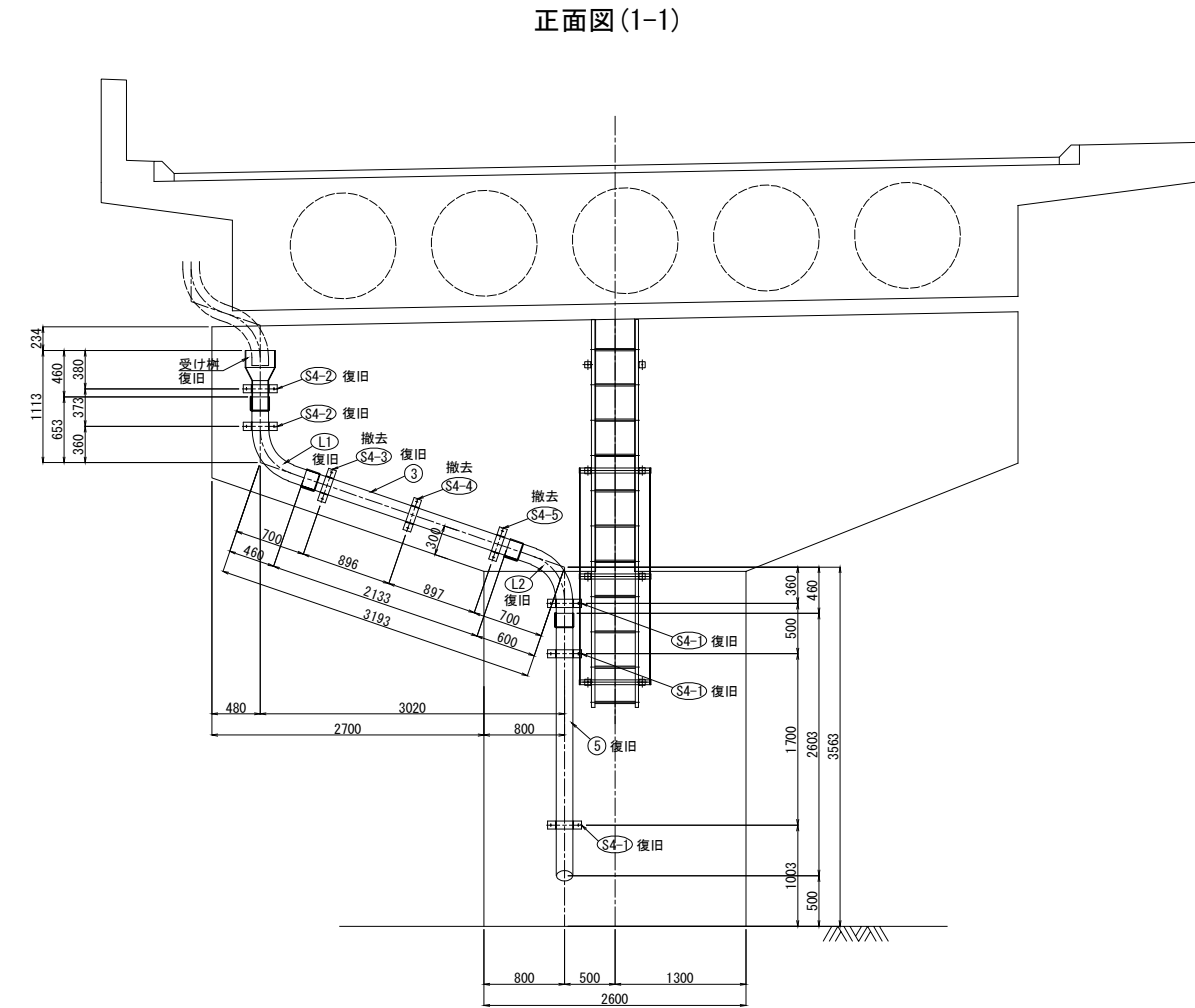
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。

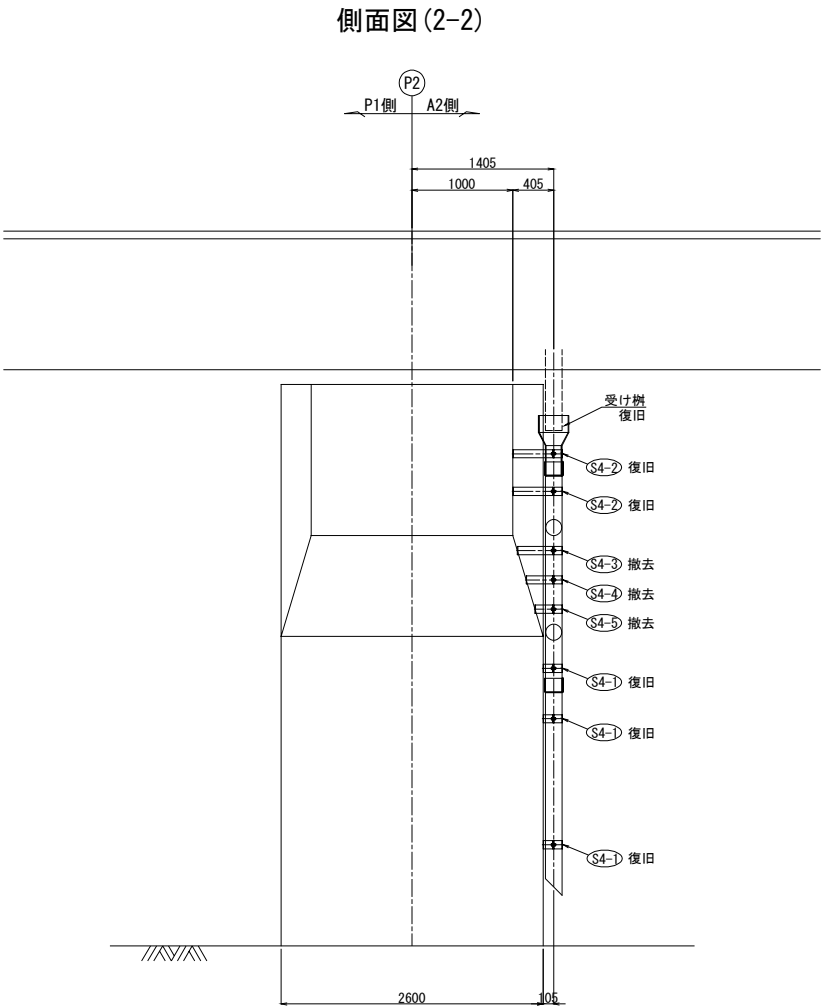
3. ※印は既設アンカー再利用を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その4） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P2橋脚(A2側) 撤去図



- 撤去数量
- 取付金具
- 1 - S4-3
 - 1 - S4-4
 - 1 - S4-5
- 復旧数量
- 直管（スリーブ管）
- * ③ 1 - VP 150A x 2265
 - * ⑤ 1 - VP 150A x 2603
- 加工管
- * 1 - L1
 - * 1 - L2
- 取付金具
- * 3 - S4-1
 - * 2 - S4-2
- * 1 - 受け樹



注記

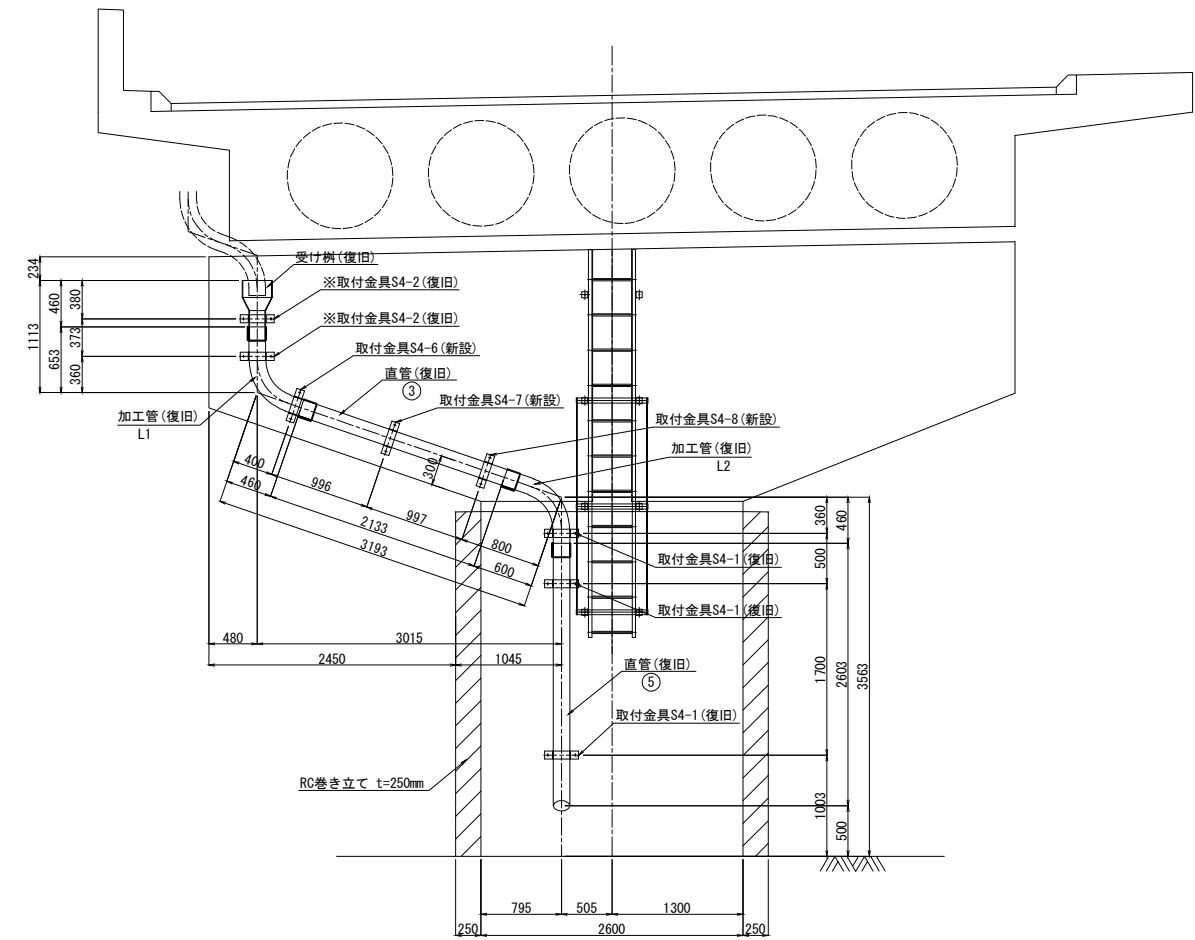
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

2. *印は復旧部材を示す。

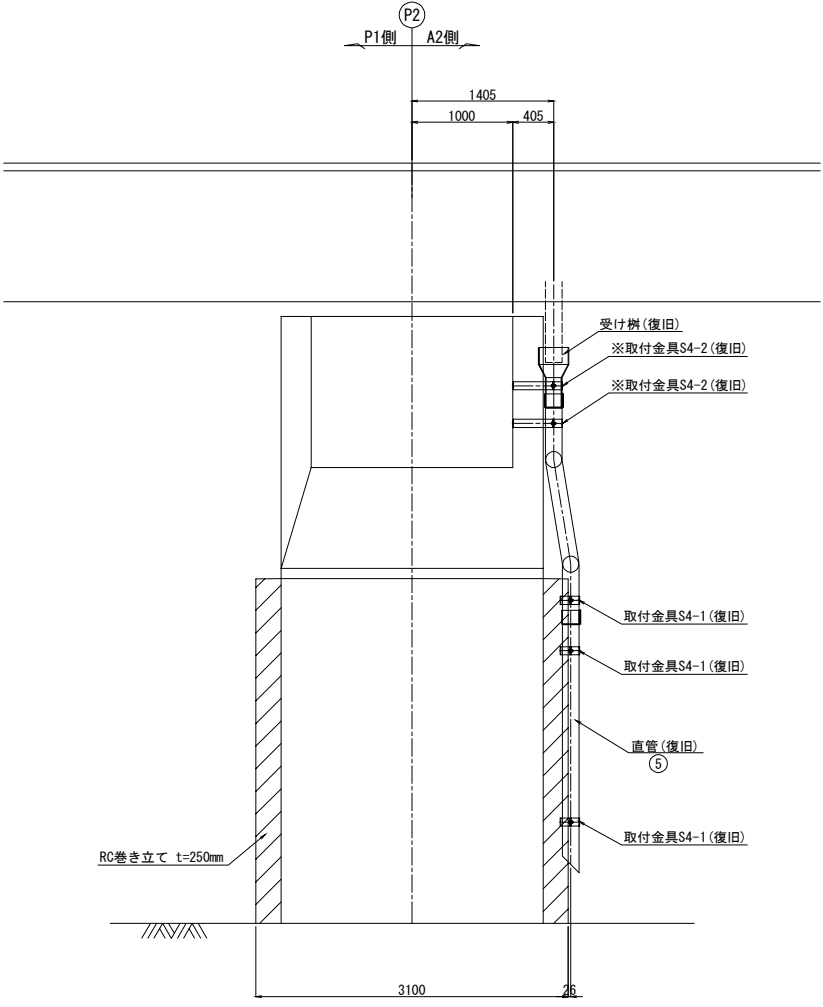
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その5） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P2橋脚 (A2側) 復旧図

正面図 (1-1)

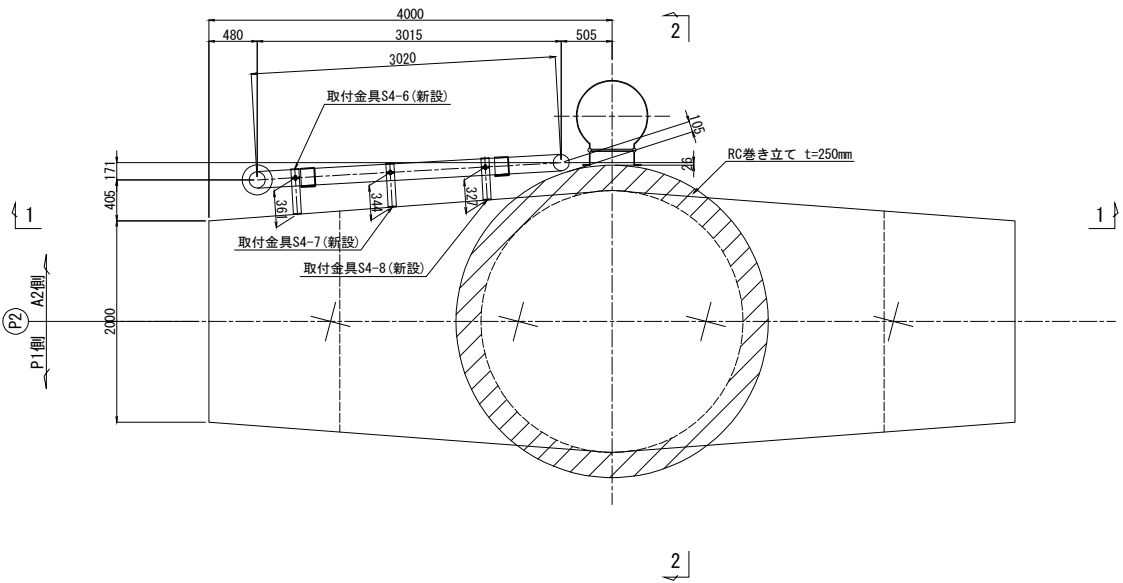


側面図 (2-2)

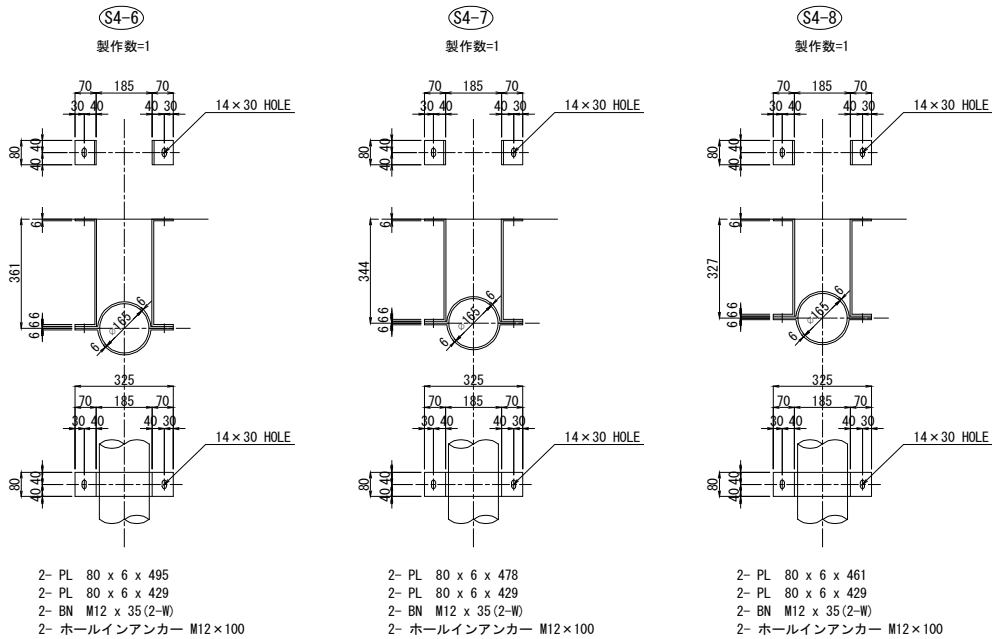


- 復旧数量
- 直管 (スリーブ管)
- ③ 1 - VP 150A x 2265
- ⑤ 1 - VP 150A x 2603
- 加工管
- 1 - L1
- 1 - L2
- 取付金具
- 3 - S4-1
- 2 - S4-2
- 1 - 受け樹
- 新設数量
- 取付金具
- 1 - S4-6
- 1 - S4-7
- 1 - S4-8
- 6-ホールインアンカー M12×100 (S4-1)
- (復旧取付金具の新設アンカー)

平面図



新設取付金具詳細図 S=1:25

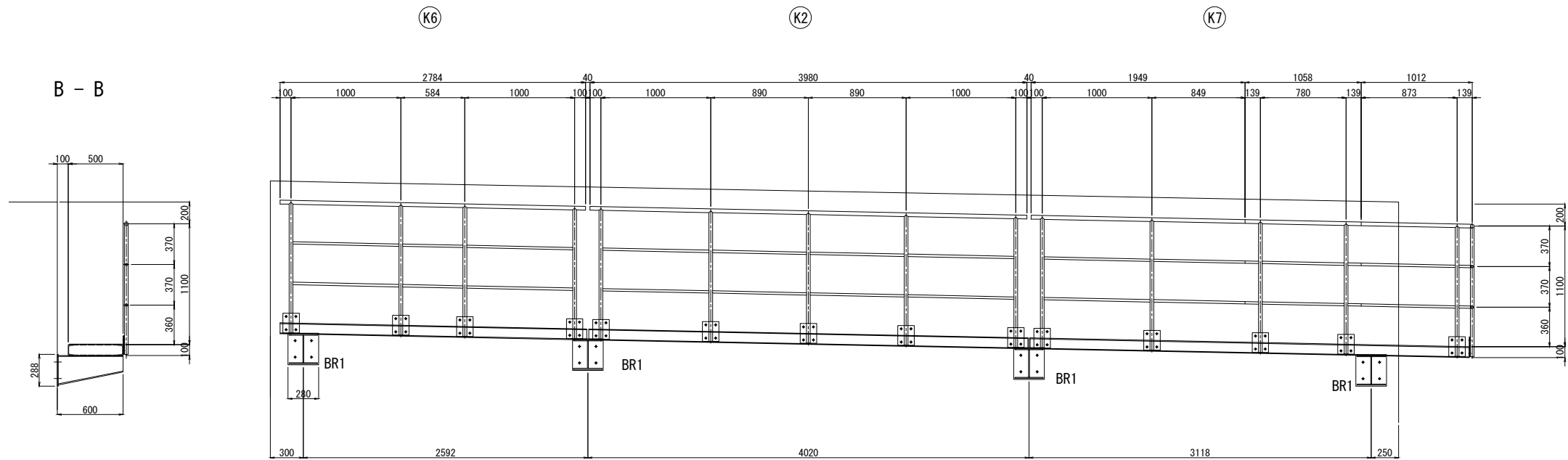


- 注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。
3. ※印は既設アンカー再利用を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 排水管A詳細図（その6） （参考図）	図示	図面番号 /
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 撤去図

正面図



撤去ブラケットBR-1 全4組

- 1-PL 260×9×591
- 1-PL 260×9×599
- 1-PL 250×9×591
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45(2-W)
- 4-ホールインアンカーM16×100

K6撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×2784(STK400)
- 4-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×558(STK400)
- 4-PL 150×6×180
- 16-BN M16×35(2-W)

K2撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×3980(STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864(STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(2-W)

K7撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×536(STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1046(STK400)
- 2-PIPE 34φ×2.3×234(STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1092(STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1966(STK400)
- 6-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×417(STK400)

- 6-PIPE 21.7φ×1.9×137(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×831(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×222(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×764(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×847(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
- 6-PL 150×6×180
- 24-BN M16×35(2-W)

K6撤去数量 全1組

- 1-[100×50×5×7.5×2938
- 1-[100×50×5×7.5×2817
- 1-L 75×75×6×508
- 1-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×2918
- 2-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 4-PL 150×6×180
- 28-BN M10×30(1-TW, 1-W)

K2撤去数量 全1組

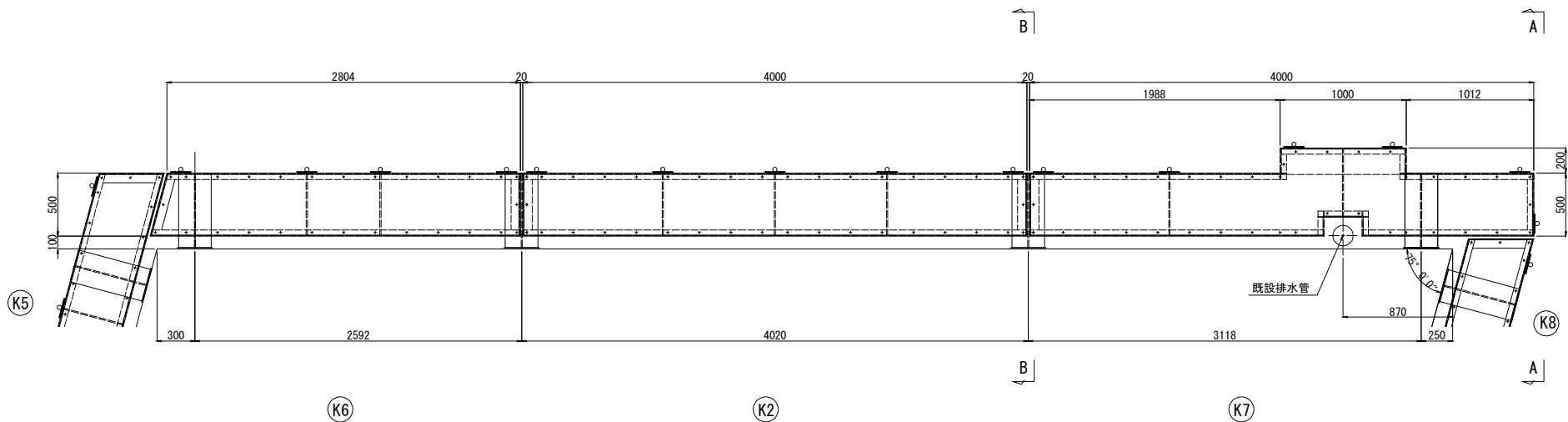
- 2-[100×50×5×7.5×4000
- 2-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×3980
- 3-FB 50×6×490
- 2-PL 100×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30(1-TW, 1-W)

K7撤去数量 全1組

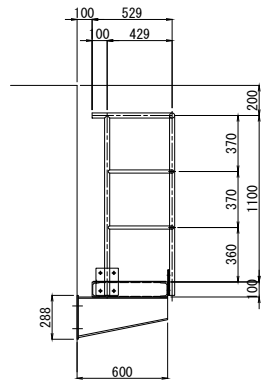
- 1-[100×50×5×7.5×2338
- 1-[100×50×5×7.5×2036
- 1-[100×50×5×7.5×1362
- 1-[100×50×5×7.5×1062
- 1-[100×50×5×7.5×1000
- 1-[100×50×5×7.5×500
- 1-[100×50×5×7.5×400
- 2-[100×50×5×7.5×250
- 2-[100×50×5×7.5×200

- 1-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×3980
- 1-Ch. PL 200×3.2×980
- 1-FB 50×6×540
- 1-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 6-PL 150×6×180
- 40-BN M10×30(1-TW, 1-W)

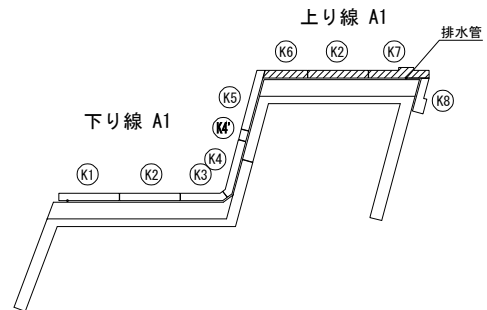
平面図



A - A



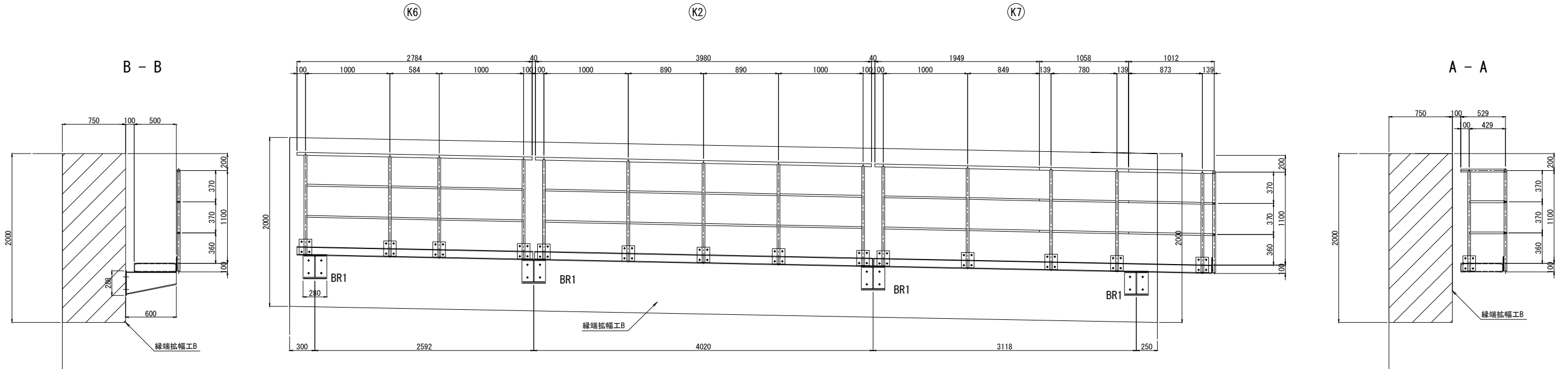
位置図



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その1） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 復旧図

正面図



復旧プレートBR-1 全4組

1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45(2-W)

新規プレートBR-1 全4組

4-ホールインアンカーM16×100

K6復旧数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×2784(STK400)
4-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×558(STK400)
4-PL 150×6×180
16-BN M16×35(2-W)

K6復旧数量 全1組

1-[100×50×5×7.5×2938
1-[100×50×5×7.5×2817
1-L 75×75×6×508
1-L 75×75×6×490
1-Ch.PL 480×3.2×2918
2-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
4-PL 150×6×180
28-BN M10×30(1-TW, 1-W)

K2復旧数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×3980(STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×864(STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35(2-W)

K2復旧数量 全1組

2-[100×50×5×7.5×4000
2-L 75×75×6×490
1-Ch.PL 480×3.2×3980
3-FB 50×6×490
2-PL 100×8×480
5-PL 150×6×180
38-BN M10×30(1-TW, 1-W)

K7復旧数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×536(STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1046(STK400)
2-PIPE 34φ×2.3×234(STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1092(STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1966(STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×417(STK400)

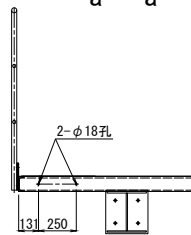
K7復旧数量 全1組

1-[100×50×5×7.5×2338
1-[100×50×5×7.5×2036
1-[100×50×5×7.5×1362
1-[100×50×5×7.5×1062
1-[100×50×5×7.5×1000
1-[100×50×5×7.5×500
1-[100×50×5×7.5×400
2-[100×50×5×7.5×250
2-[100×50×5×7.5×200

6-PIPE 21.7φ×1.9×137(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×831(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×222(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×764(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×847(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
6-PL 150×6×180
24-BN M16×35(2-W)

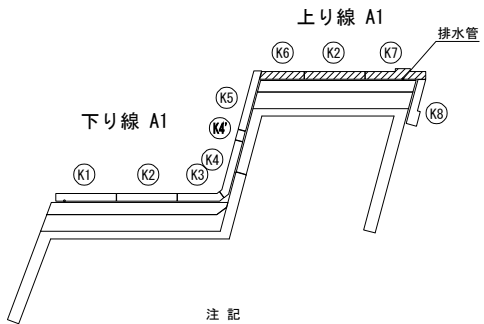
1-L 75×75×6×490
1-Ch.PL 480×3.2×3980
1-Ch.PL 200×3.2×980
1-FB 50×6×540
1-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
6-PL 150×6×180
40-BN M10×30(1-TW, 1-W)

a - a



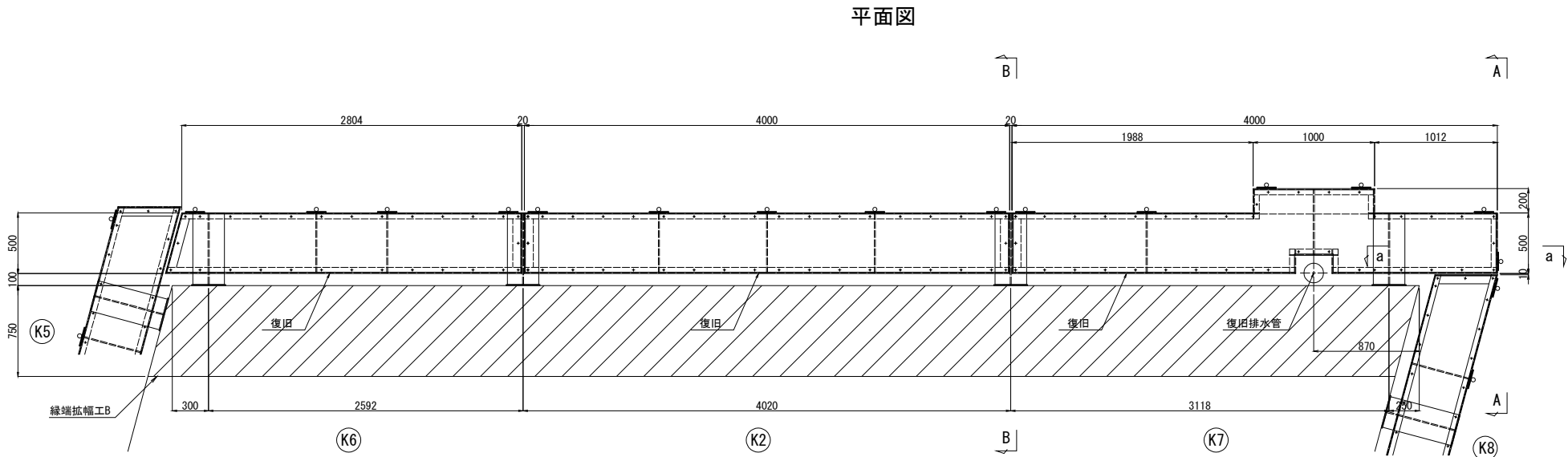
K7新規数量 全1組
2-BN M16x50(2-W付)

位置図



注 記

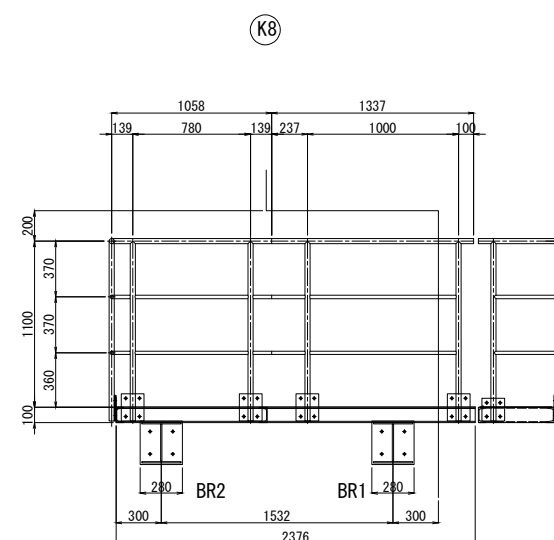
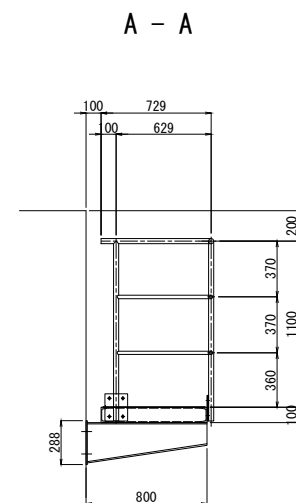
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。



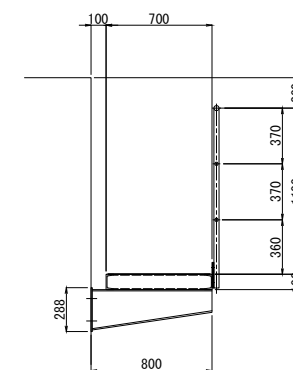
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その2） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 撤去図

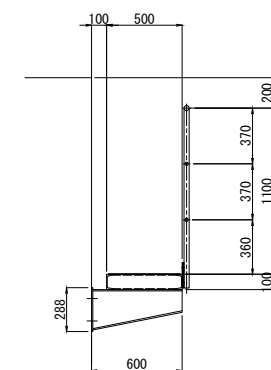
正面図



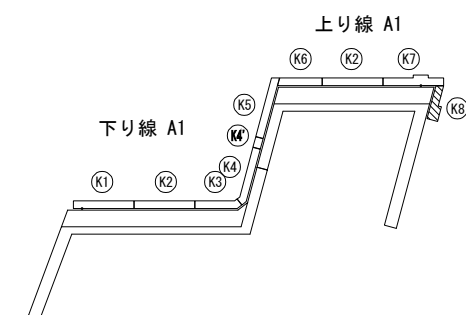
B - B



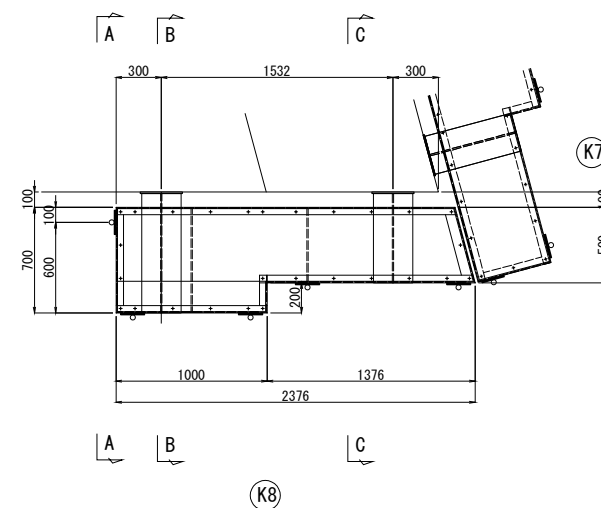
C - C



位置図



平面図



撤去ブラケットBR-1 全1組

- 1-PL 260×9×591
- 1-PL 260×9×599
- 1-PL 250×9×591
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45 (2-W)

撤去ブラケットBR-2 全1組

- 1-PL 260×9×791
- 1-PL 260×9×797
- 1-PL 250×9×791
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45 (2-W)

K8撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×746 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1092 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×234 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1354 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×627 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×222 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×235 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35 (2-W)

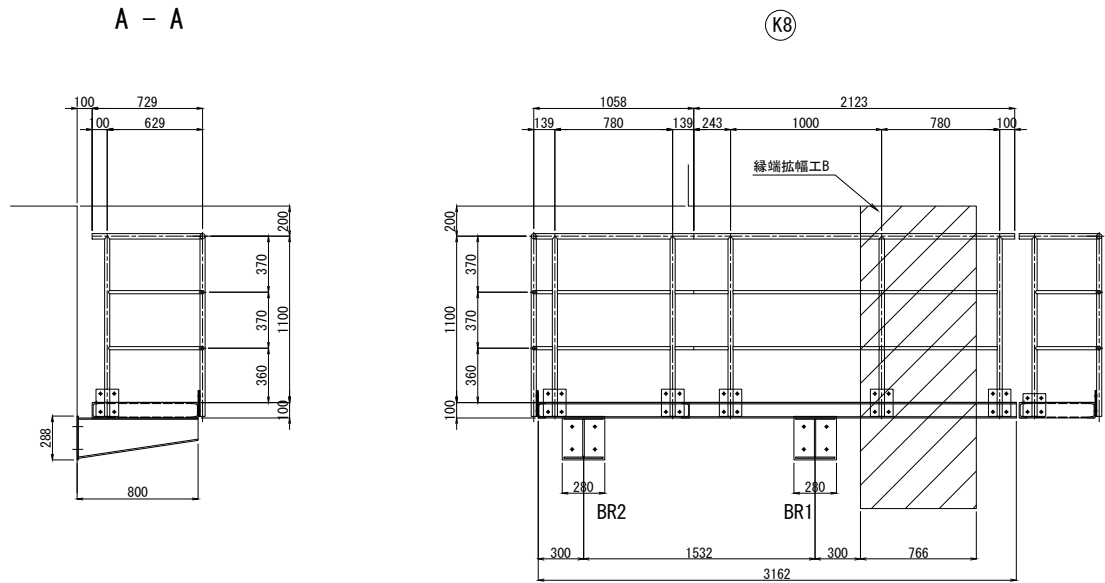
K8撤去数量 全1組

- 1-L 100×50×5×7.5×2255
- 1-L 100×50×5×7.5×1426
- 1-L 100×50×5×7.5×1000
- 1-L 100×50×5×7.5×700
- 1-L 100×50×5×7.5×250
- 1-L 75×75×6×508
- 1-Ch. PL 480×3.2×2358
- 1-Ch. PL 200×3.2×980
- 1-FB 50×6×690
- 1-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 240×8×680
- 5-PL 150×6×180
- 28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

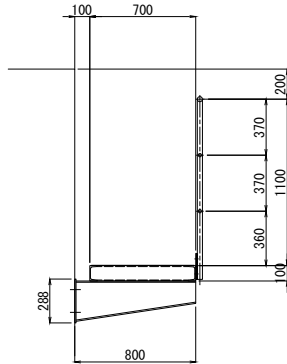
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その3） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 復旧図

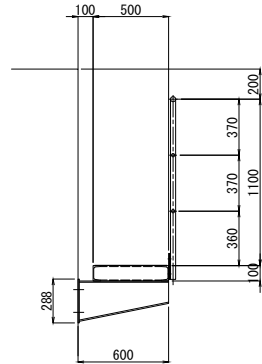
正面図



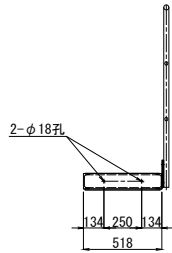
B - B



C - C



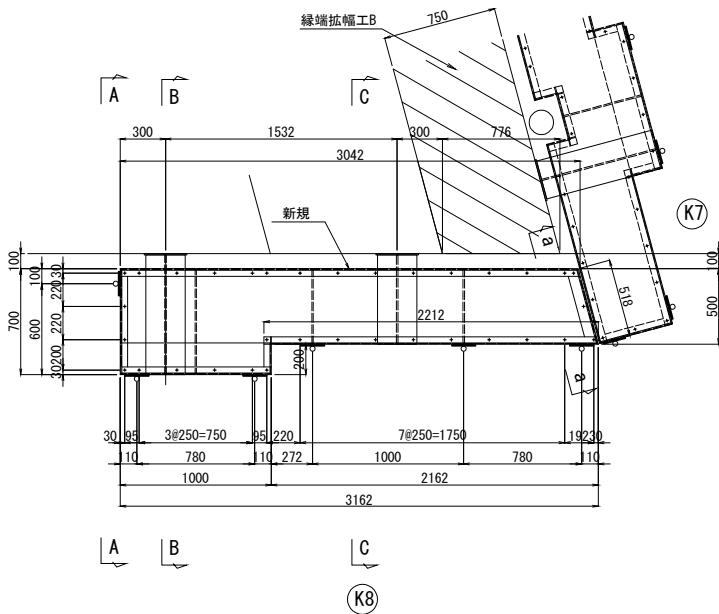
a - a



復旧ブラケットBR-1 全1組
1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)
再利用ブラケットBR-1 全1組
4-ホールインアンカーM16×100

復旧ブラケットBR-2 全1組
1-PL 260×9×791
1-PL 260×9×797
1-PL 250×9×791
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)
再利用ブラケットBR-2 全1組
4-ホールインアンカーM16×100

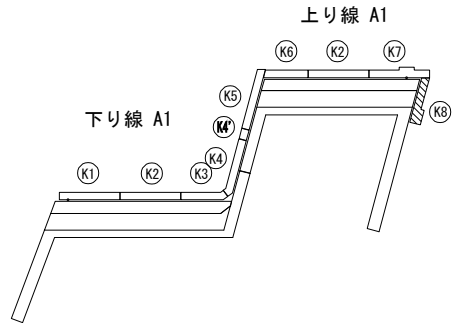
平面図



K8新規数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×746 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1092 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×234 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×2140 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×627 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×222 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×241 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
6-PL 150×6×180
24-BN M16×35 (2-W)

K8新規数量 全1組
1-[100×50×5×7.5×3042
1-[100×50×5×7.5×2162
1-[100×50×5×7.5×1000
1-[100×50×5×7.5×700
1-[100×50×5×7.5×250
1-L 75×75×6×508
1-Ch. PL 480×3.2×3139
1-Ch. PL 200×3.2×980
1-FB 50×6×690
1-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 240×8×680
6-PL 150×6×180
34-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

位置図

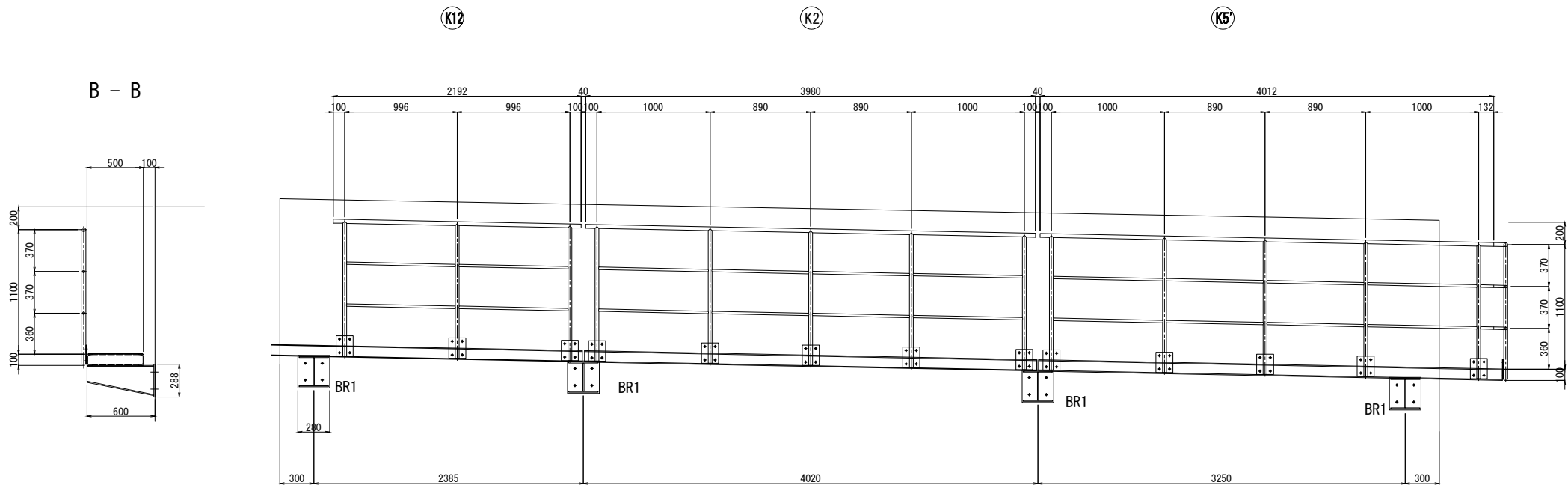


注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

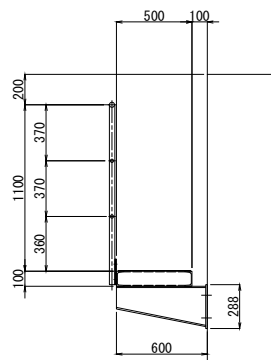
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その4） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 撤去図

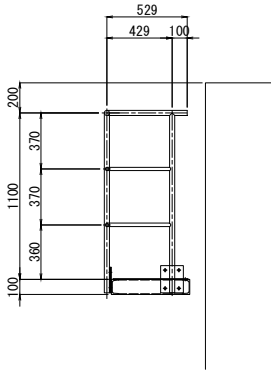
正面図



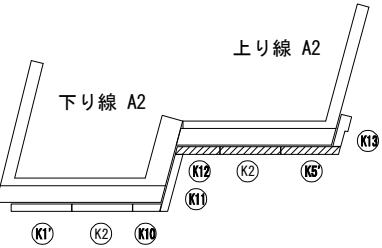
B - B



A - A



位置図



撤去ブラケットBR-1 全4組
1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45(2-W)
4-ホールインアンカーM16×100

K12撤去数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×2192(STK400)
3-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×970(STK400)
3-PL 150×6×180
12-BN M16×35(2-W)

K2撤去数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×3980(STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×864(STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35(2-W)

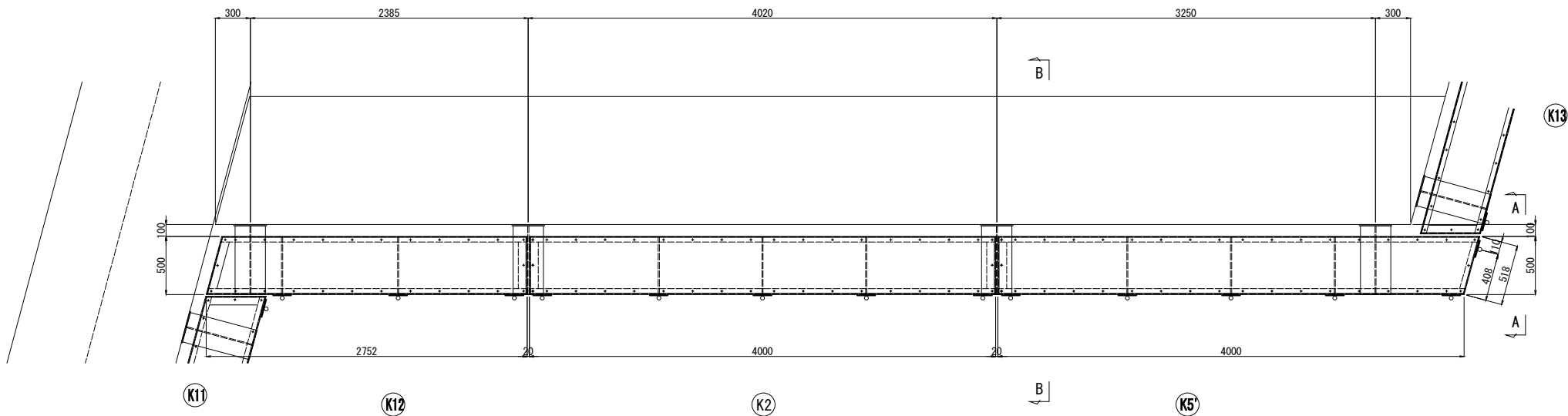
K5' 撤去数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×4025(STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×543(STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×864(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×132(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×430(STK400)
6-PL 150×6×180
24-BN M16×35(2-W)

K12撤去数量 全1組
1-[100×50×5×7.5×2752
1-[100×50×5×7.5×2631
1-L 75×75×6×508
1-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×2732
2-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
3-PL 150×6×180
26-BN M10×30(1-TW, 1-W)

K2撤去数量 全1組
2-[100×50×5×7.5×4000
2-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×3980
3-FB 50×6×490
2-PL 100×8×480
5-PL 150×6×180
38-BN M10×30(1-TW, 1-W)

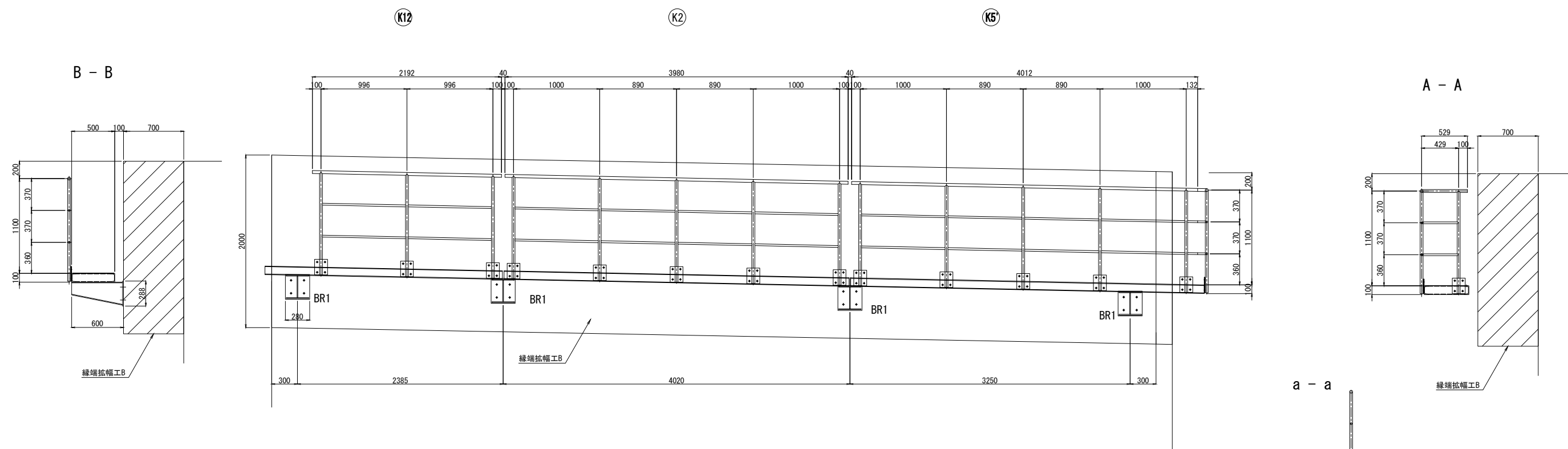
K5' 撤去数量 全1組
1-[100×50×5×7.5×4134
1-[100×50×5×7.5×4000
1-[100×50×5×7.5×518
1-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×4114
3-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
6-PL 150×6×180
38-BN M10×30(1-TW, 1-W)

平面図



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その5） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 復旧図
正面図



再利用ブラケットBR-1 全4組

1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)

新規ブラケットBR-1 全4組

4-ホールインアンカーM16×100

K12再利用数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×2192 (STK400)
3-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×970 (STK400)
3-PL 150×6×180
12-BN M16×35 (2-W)

K12再利用数量 全1組

1-[100×50×5×7.5×2752
1-[100×50×5×7.5×2631
1-L 75×75×6×508
1-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×2732
2-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
3-PL 150×6×180
26-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K2再利用数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×3980 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35 (2-W)

K2再利用数量 全1組

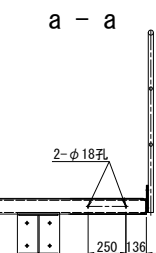
2-[100×50×5×7.5×4000
2-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×3980
3-FB 50×6×490
2-PL 100×8×480
5-PL 150×6×180
38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K5' 再利用数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×4025 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×543 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×132 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×430 (STK400)
6-PL 150×6×180
24-BN M16×35 (2-W)

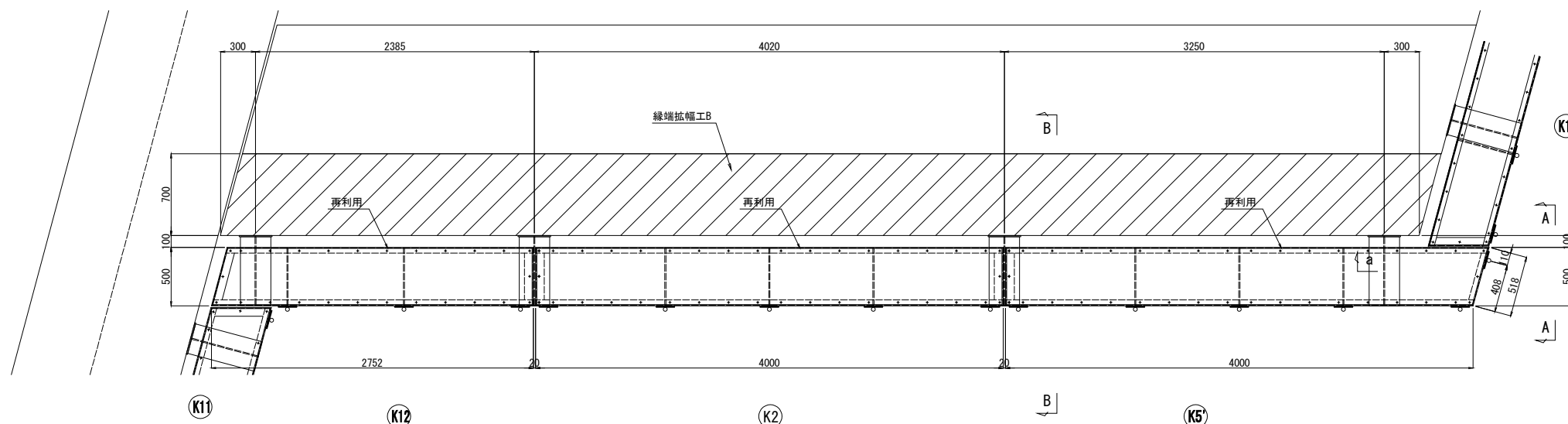
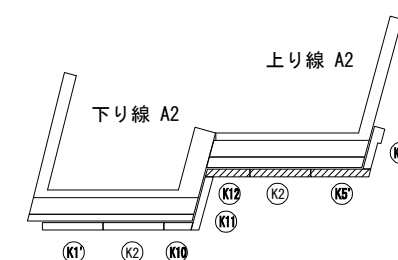
K5' 再利用数量 全1組

1-[100×50×5×7.5×4134
1-[100×50×5×7.5×4000
1-[100×50×5×7.5×518
1-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×4114
3-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
6-PL 150×6×180
38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)



K5' 新規数量 全1組
2-BN M16x50 (2-W付)

位置図

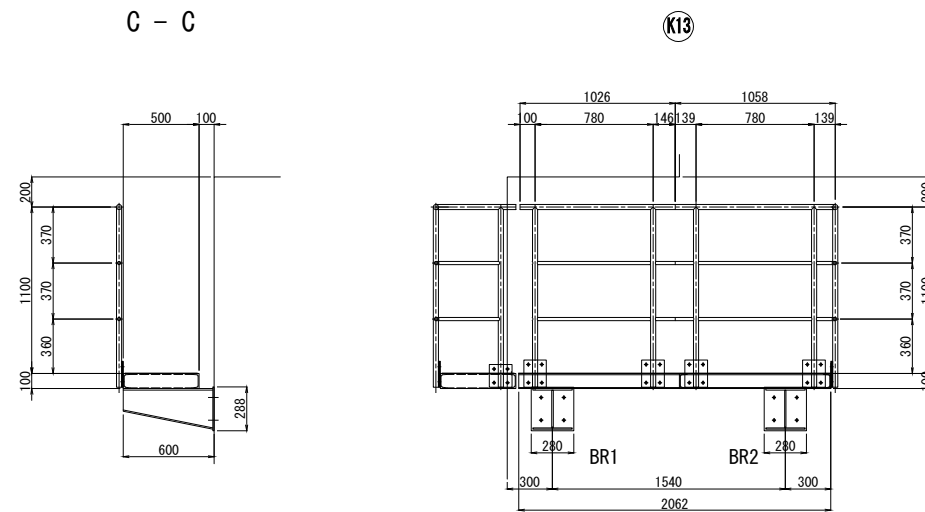


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

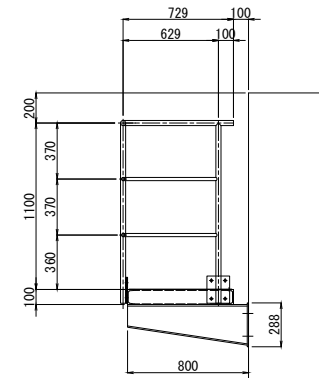
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その6） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 撤去図

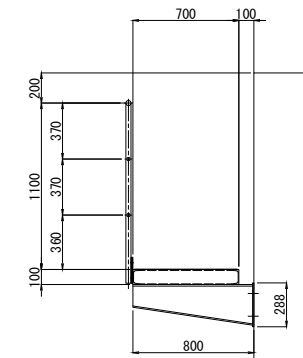
正面図



A - A



B - B



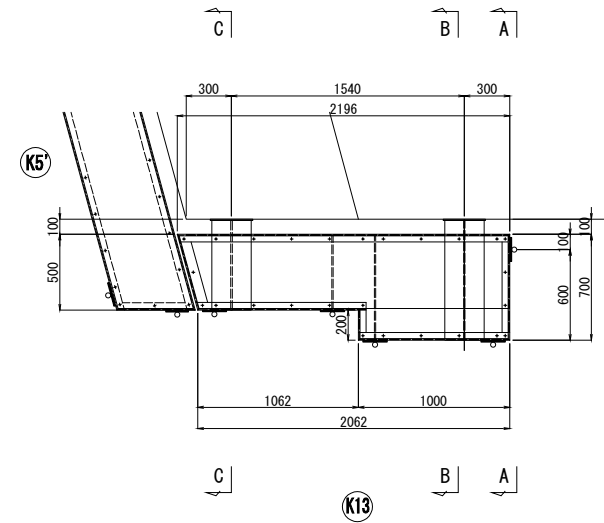
平面図

撤去ブラケットBR-1 全1組

- 1-PL 260×9×591
- 1-PL 260×9×599
- 1-PL 250×9×591
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45(2-W)

撤去ブラケットBR-2 全1組

- 1-PL 260×9×791
- 1-PL 260×9×797
- 1-PL 250×9×791
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45(2-W)



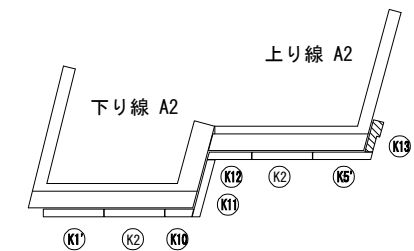
K13撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×1043(STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×234(STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1092(STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×746(STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×754(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×144(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×222(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×137(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×627(STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(2-W)

K13撤去数量 全1組

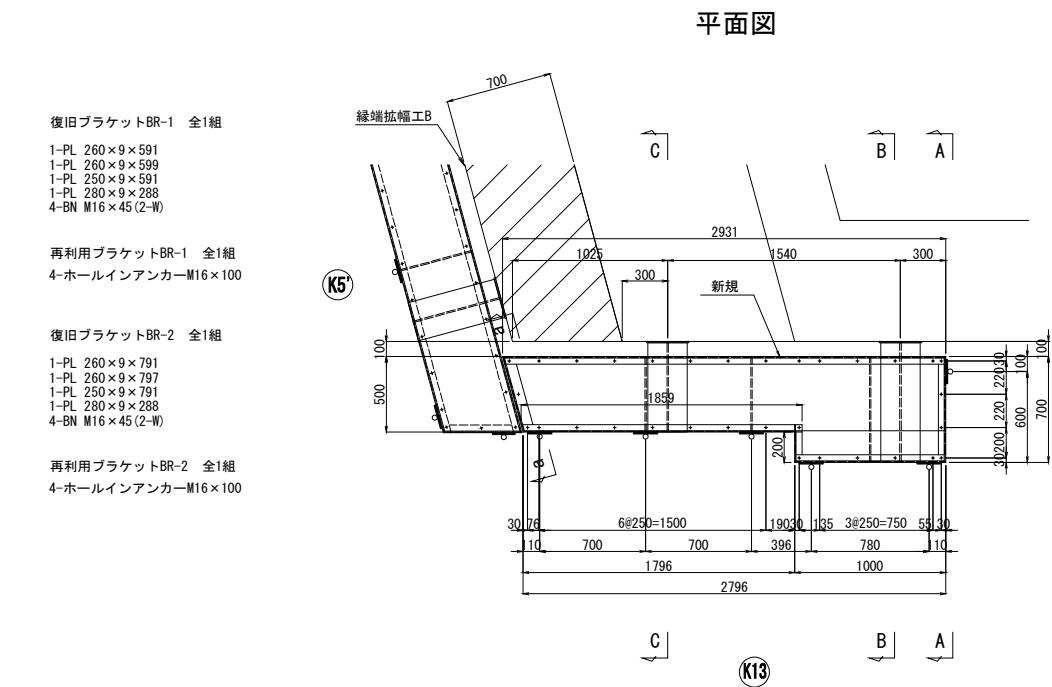
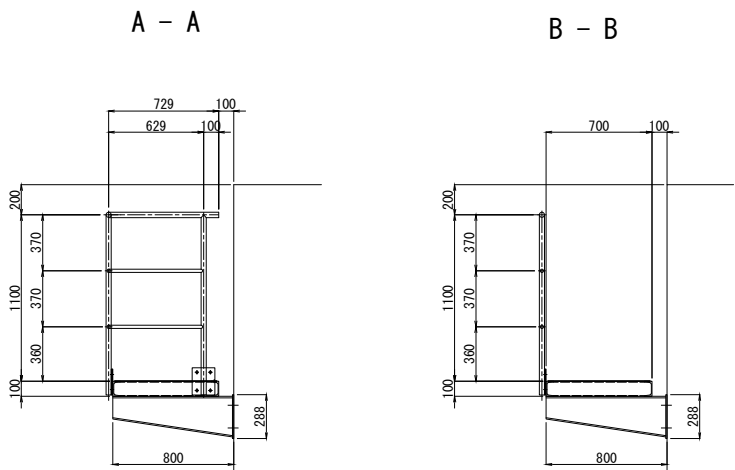
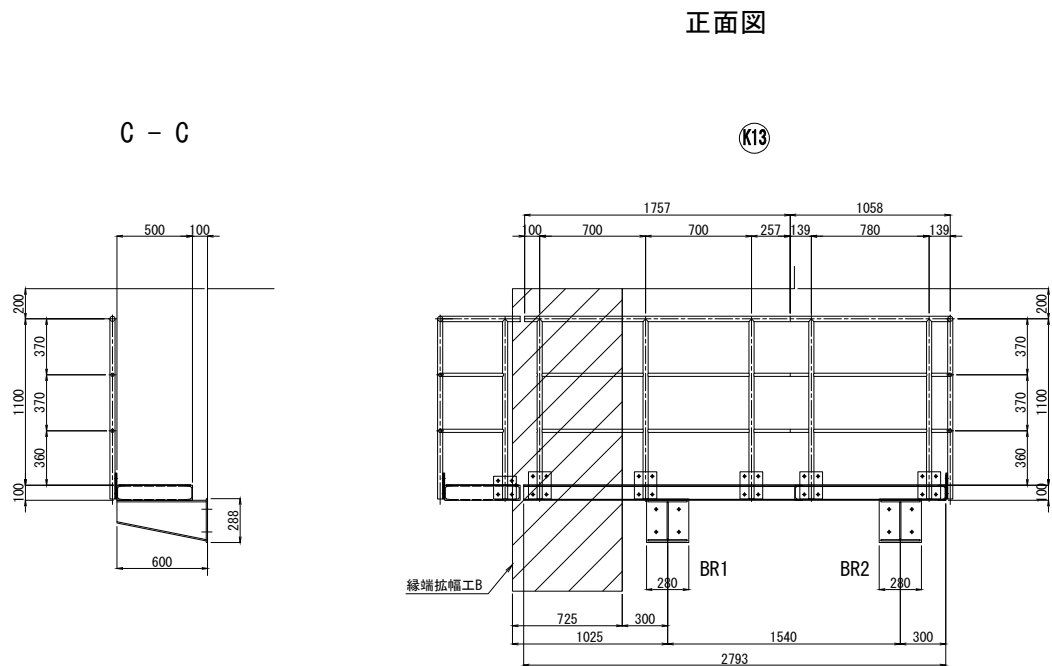
- 1-[100×50×5×7.5×2196
- 1-[100×50×5×7.5×1125
- 1-[100×50×5×7.5×1000
- 1-[100×50×5×7.5×700
- 1-[100×50×5×7.5×250
- 1-L 75×75×6×508
- 1-Ch. PL 480×3.2×2176
- 1-Ch. PL 200×3.2×980
- 1-FB 50×6×690
- 1-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 240×8×680
- 5-PL 150×6×180
- 26-BN M10×30(1-TW, 1-W)

位置図



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その7） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 復旧図



復旧ブラケットBR-1 全1組

1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)

再利用ブラケットBR-1 全1組

4-ホールインアンカーM16×100

復旧ブラケットBR-2 全1組

1-PL 260×9×791
1-PL 260×9×797
1-PL 250×9×791
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)

再利用ブラケットBR-2 全1組

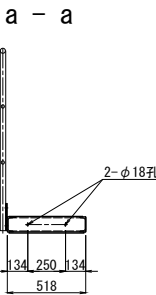
4-ホールインアンカーM16×100

K13新規数量 全1組

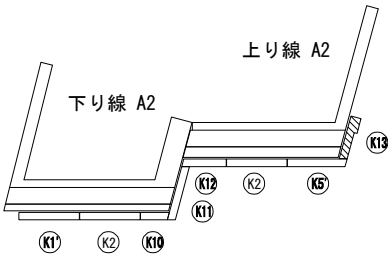
1-PIPE 34φ×2.3×1774 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×234 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1092 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×746 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×674 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×255 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×222 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×627 (STK400)
6-PL 150×6×180
24-BN M16×35 (2-W)

K13新規数量 全1組

1-「 100×50×5×7.5×2931
1-「 100×50×5×7.5×1859
1-「 100×50×5×7.5×1000
1-「 100×50×5×7.5×700
1-「 100×50×5×7.5×250
1-L 75×75×6×508
1-Ch. PL 480×3.2×2908
1-Ch. PL 200×3.2×980
1-FB 50×6×690
2-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 240×8×680
6-PL 150×6×180
32-BN M10×30 (1-TW, 1-W)



位置図



注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。

溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。

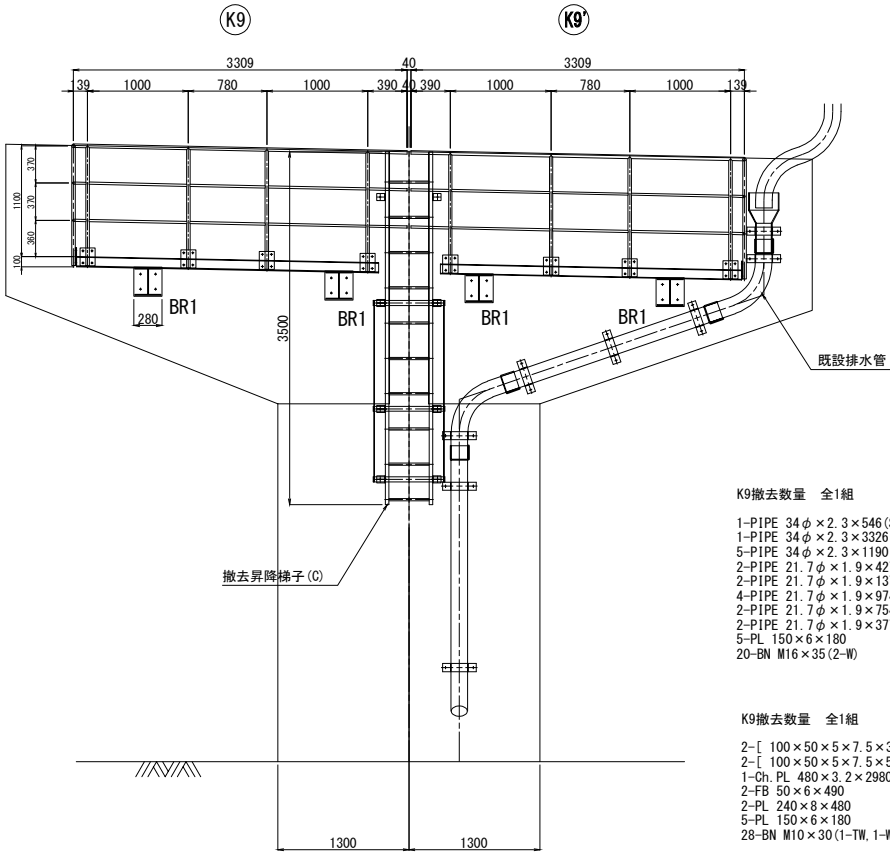
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。

3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その8） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚(A1側) 撤去図

正面図 (1-1)

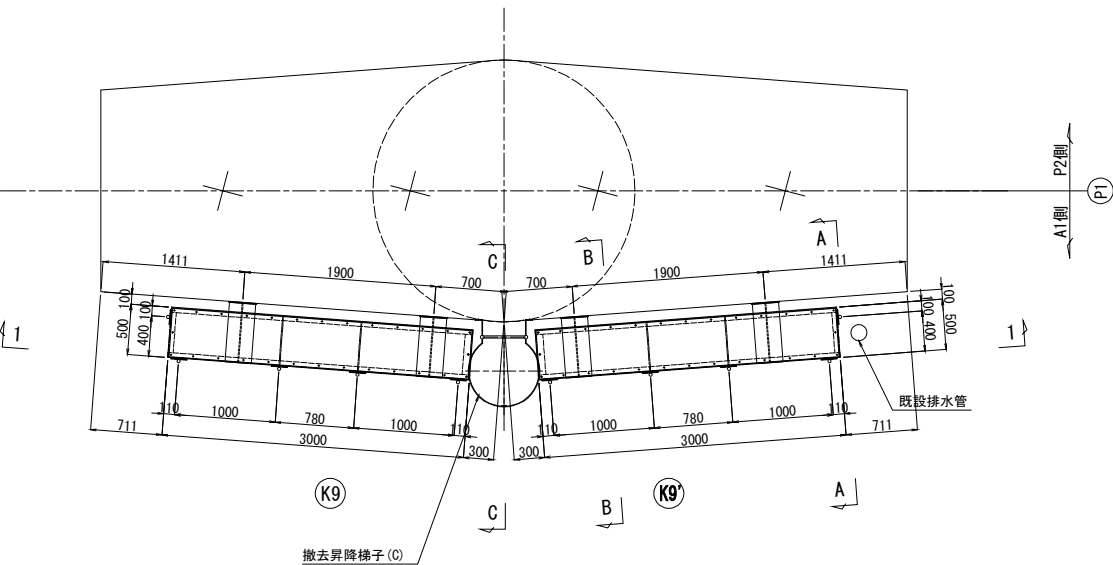


K9撤去数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35 (2-W)

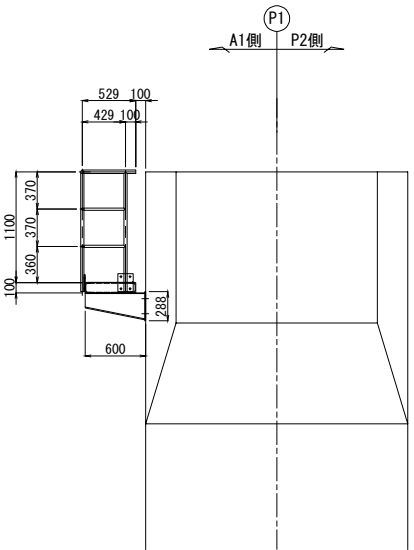
K9撤去数量 全1組
2-[100×50×5×7.5×3000
2-[100×50×5×7.5×500
1-CH PL 480×3.2×2980
2-FB 50×6×490
2-PL 240×8×480
5-PL 150×6×180
28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

撤去ブラケットBR-1 全4組
1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)

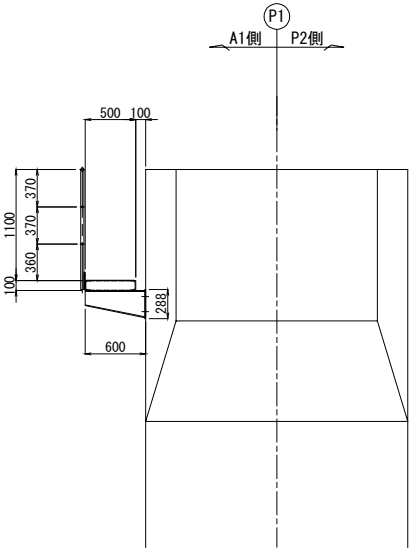
平面図



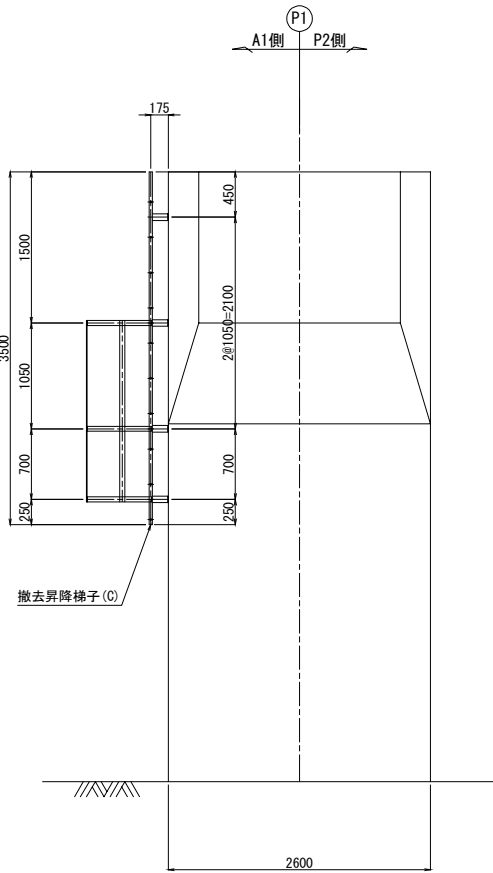
A - A



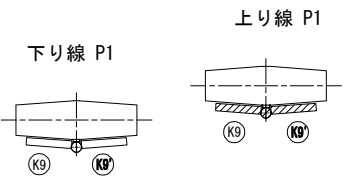
B - B



C - C



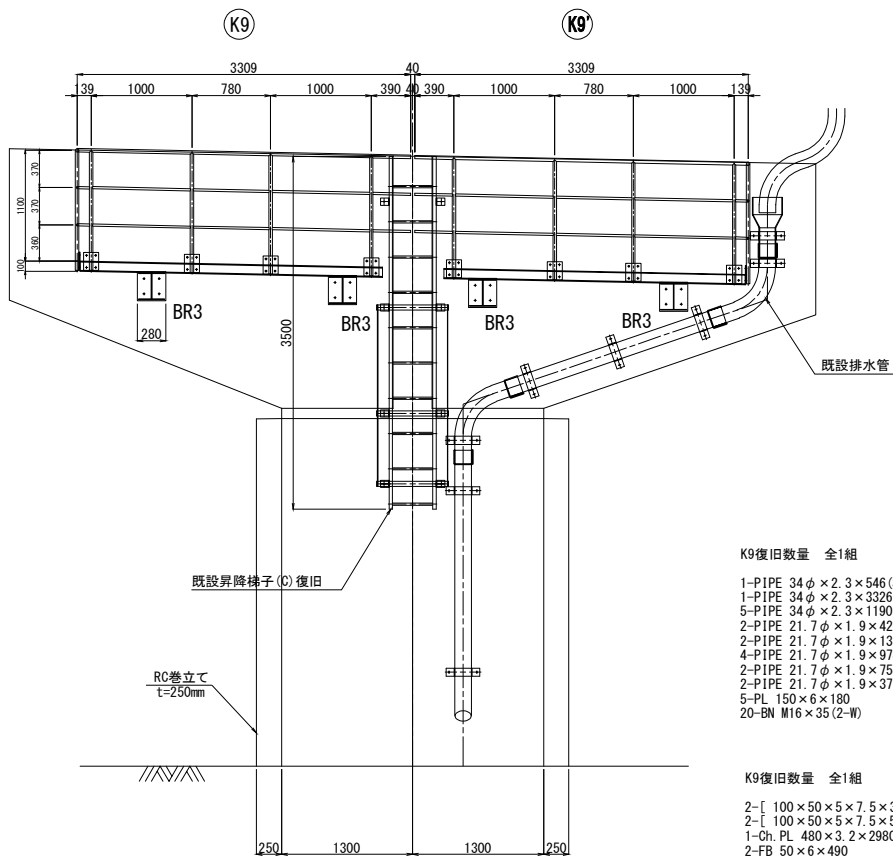
位置図



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その9） （参考図）	縮尺	図示 図面番号 /
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚 (A1側) 復旧図

正面図 (1-1)



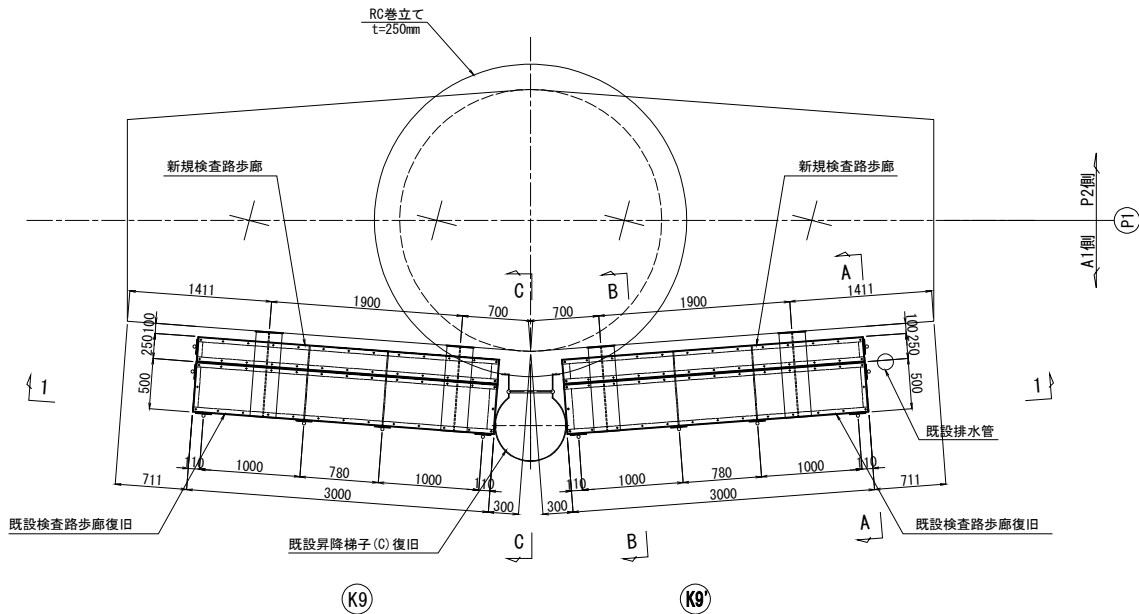
K9復旧数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35 (2-W)

K9復旧数量 全1組
2-[100×50×5×7.5×3000
2-[100×50×5×7.5×500
1-Ch. PL 480×3.2×2980
2-FB 50×6×490
2-PL 240×8×480
5-PL 150×6×180
28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

再利用ブラケットBR-1 全4組
4-ホールインアンカーM16×100

新規ブラケットBR-3 全4組
1-PL 260×9×841
1-PL 260×9×847
1-PL 250×9×841
1-PL 280×9×288
8-BN M16×45 (2-W)

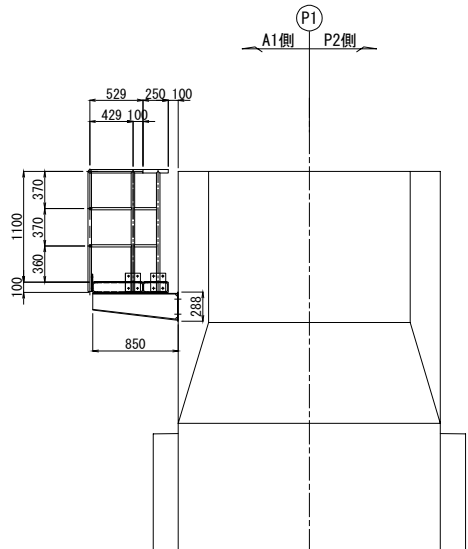
平面図



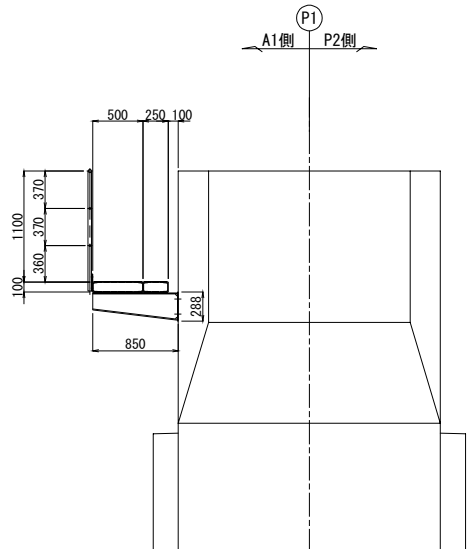
K9新規数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×250 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×224 (STK400)
1-PL 150×6×180
4-BN M16×35 (2-W)

K9新規数量 全1組
2-[100×50×5×7.5×3000
2-[100×50×5×7.5×250
1-Ch. PL 230×3.2×2980
2-FB 50×6×240
2-PL 240×8×230
1-PL 150×6×180
26-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

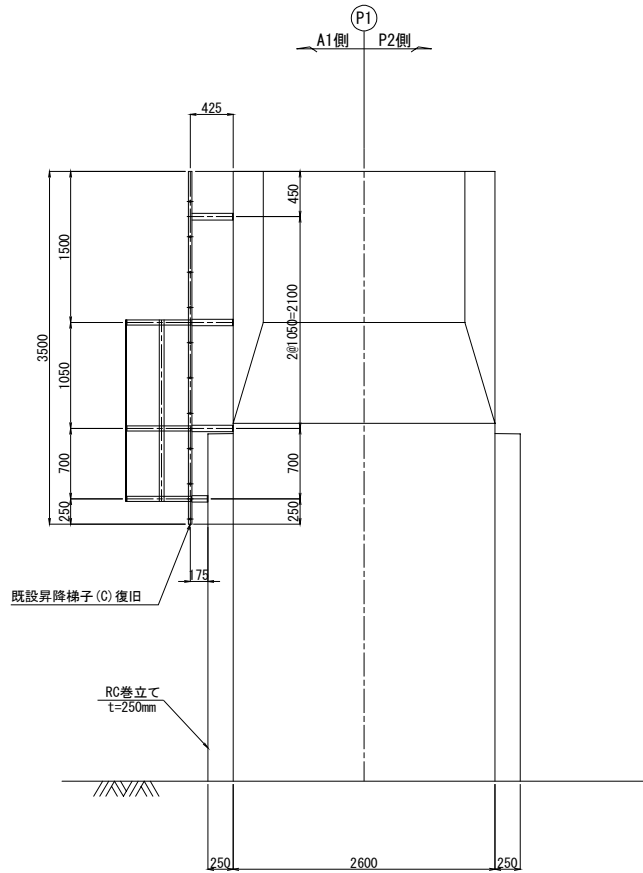
A - A



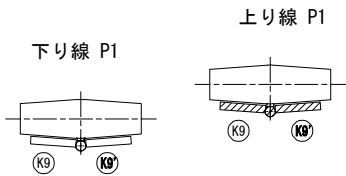
B - B



C - C



位置図

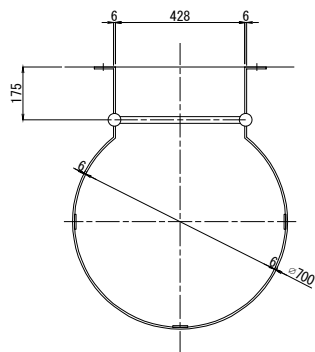
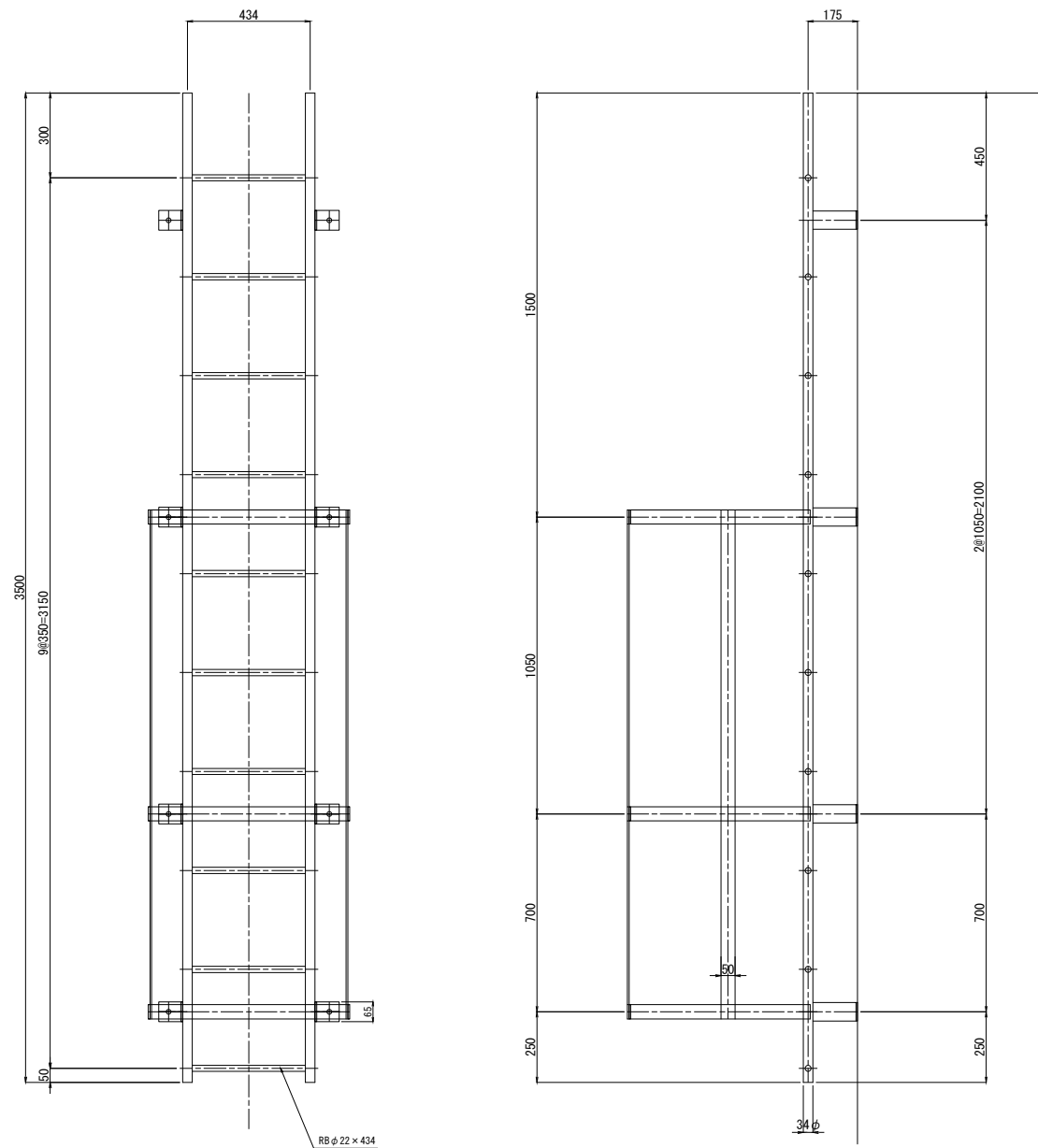


注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その10） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚 (A1側) 昇降梯子 (C)

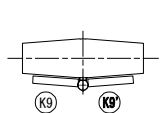
撤去図



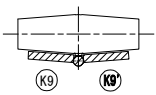
撤去昇降梯子 (C) 数量 全1組
2-PIPE 34φ×2.3×3500 (STK400)
10-RB 22φ×434 (SR235)
3-FB 50×6×1820
3-FB 50×6×1800
8-FB 65×6×234
2-ホールインアンカー M16×100

位置図

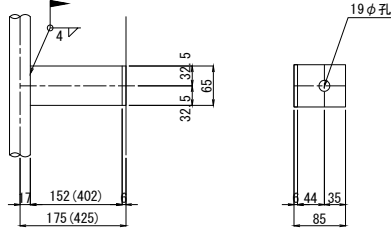
下り線 P1



上り線 P1



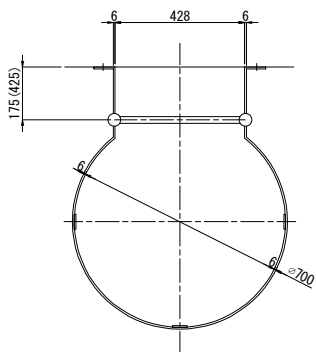
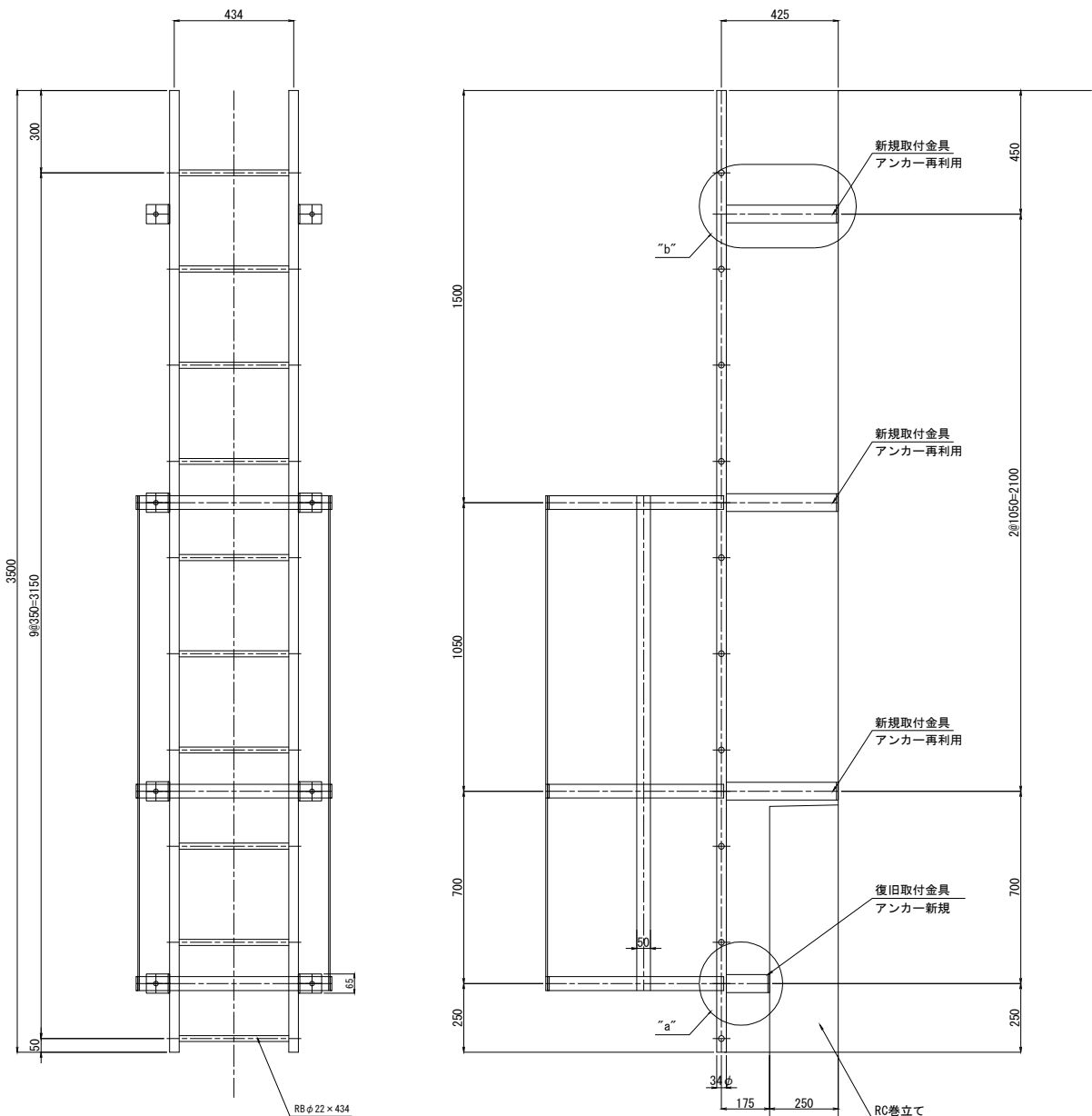
“a” (“b”) 部詳細 S=1:12.5



1-FB 65×6×234 (484)
1-ホールインアンカー M16×100

注：現場溶接は“b”部詳細のみ。

復旧図



復旧昇降梯子 (C) 数量 全1組
2-PIPE 34φ×2.3×3500 (STK400)
10-RB 22φ×434 (SR235)
3-FB 50×6×1820
3-FB 50×6×1800
2-FB 65×6×234

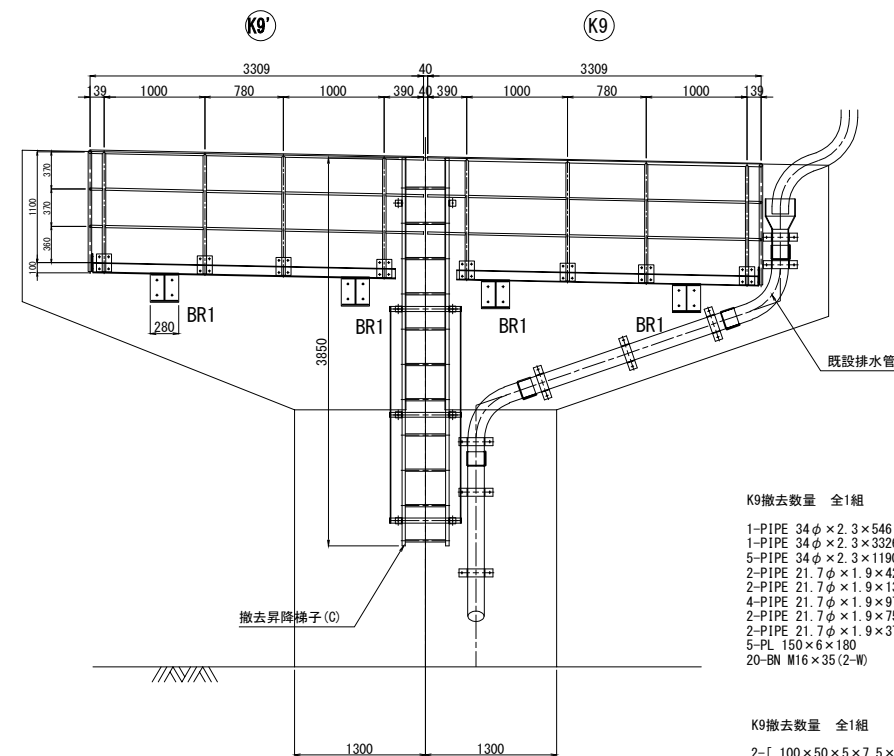
新規昇降梯子 (C) 数量 全1組
6-FB 65×6×484
2-ホールインアンカー M16×100

再利用昇降梯子 (C) 数量 全1組
6-ホールインアンカー M16×100

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その11） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P2橋脚 (A2側) 撤去図

正面図 (1-1)



K9撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35 (2-W)

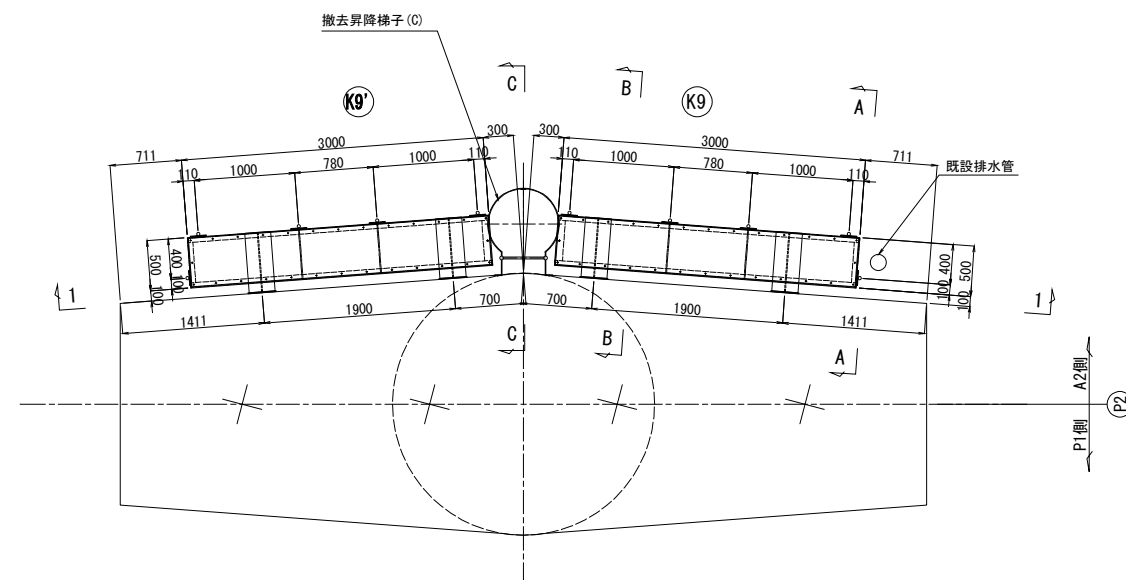
K9撤去数量 全1組

2-[100×50×5×7.5×3000
2-[100×50×5×7.5×500
1-CH PL 480×3.2×2980
2-FB 50×6×490
2-PL 240×8×480
5-PL 150×6×180
28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

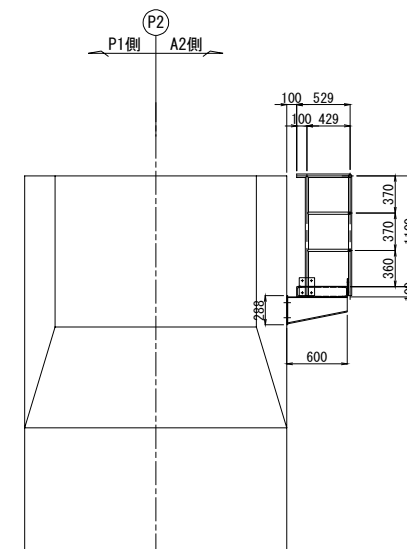
撤去ブラケットBR-1 全4組

1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)

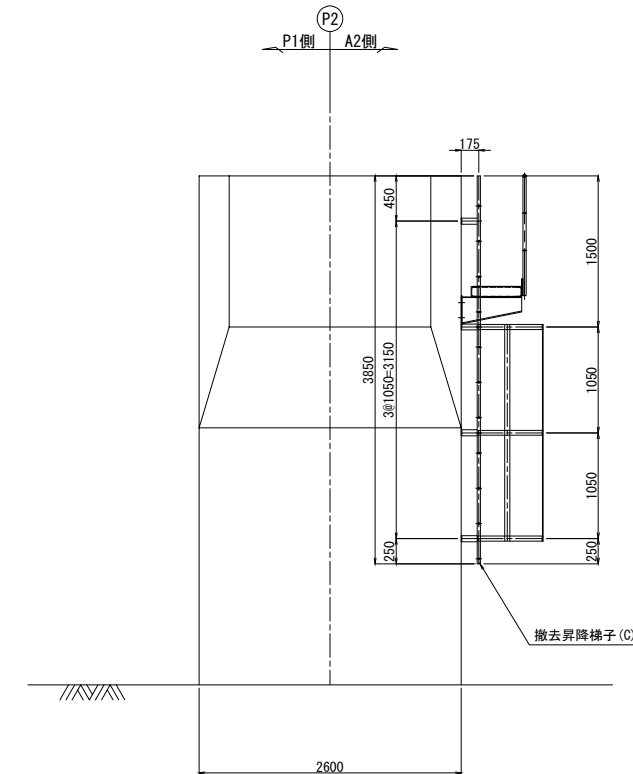
平面図



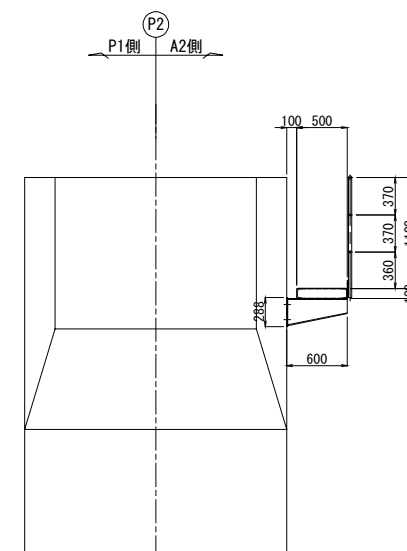
A - A



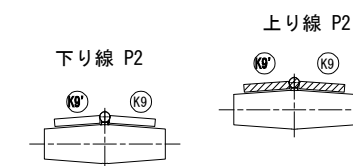
C - C



B - B



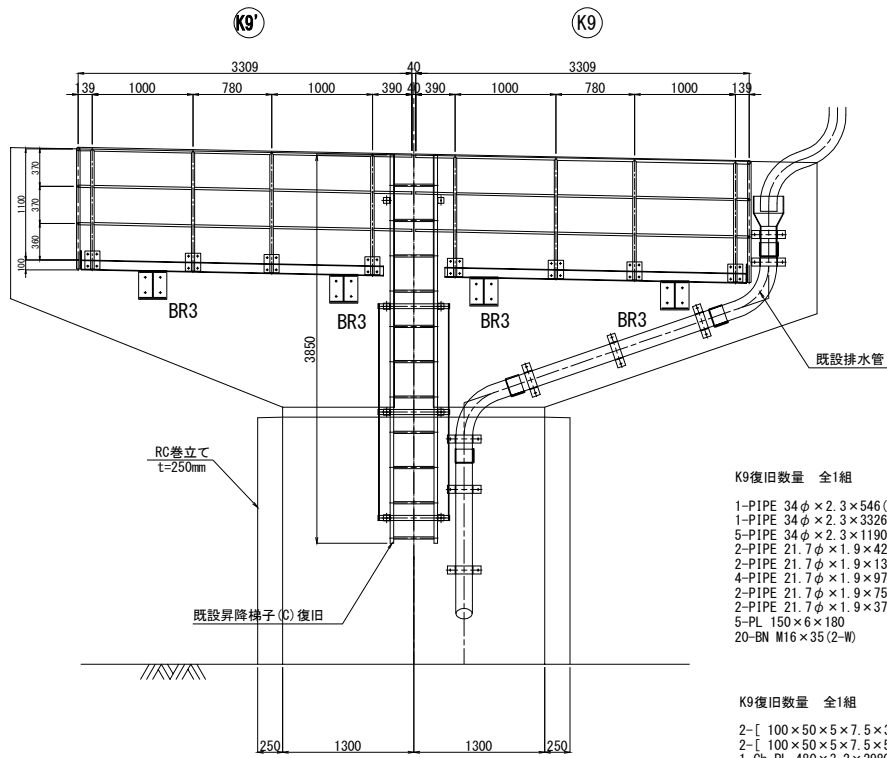
位置図



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その12） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P2橋脚 (A2側) 復旧図

正面図 (1-1)



K9復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35 (2-W)

K9復旧数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×3000
- 2-[100×50×5×7.5×500
- 1-Ch. PL 480×3.2×2980
- 2-FB 50×6×490
- 2-PL 240×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

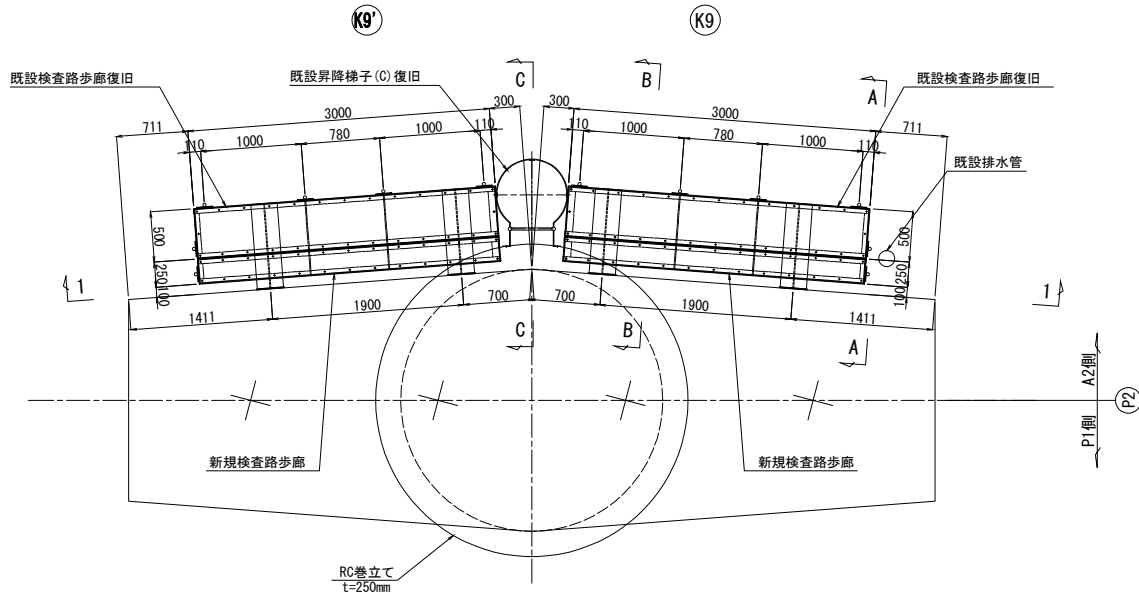
再利用ブラケットBR-1 全4組

- 4-ホールインアンカーM16×100

新規ブラケットBR-3 全4組

- 1-PL 260×9×841
- 1-PL 260×9×847
- 1-PL 250×9×841
- 1-PL 280×9×288
- 8-BN M16×45 (2-W)

平面図



K9' 復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35 (2-W)

K9' 復旧数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×3000
- 2-[100×50×5×7.5×500
- 1-Ch. PL 480×3.2×2980
- 2-FB 50×6×490
- 2-PL 240×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

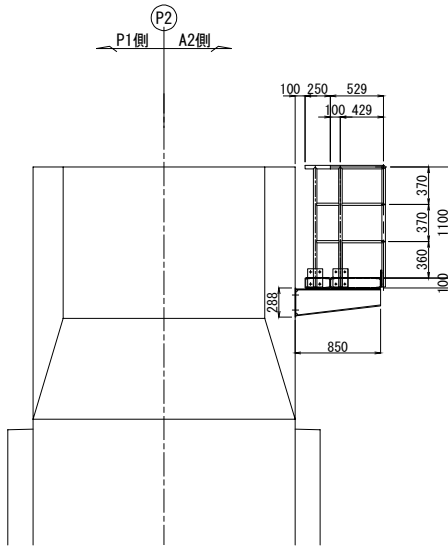
K9新規数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×250 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×224 (STK400)
- 1-PL 150×6×180
- 4-BN M16×35 (2-W)

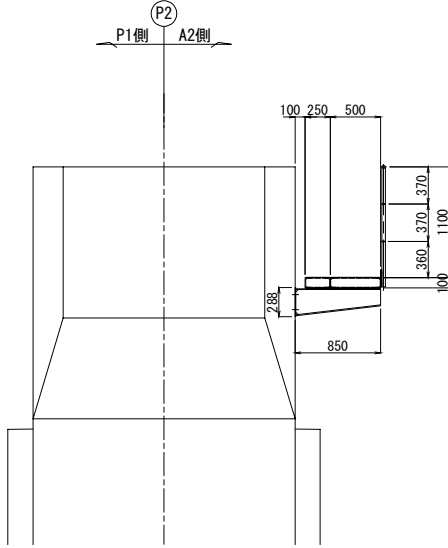
K9新規数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×3000
- 2-[100×50×5×7.5×250
- 1-Ch. PL 230×3.2×2980
- 2-FB 50×6×240
- 2-PL 240×8×230
- 1-PL 150×6×180
- 26-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

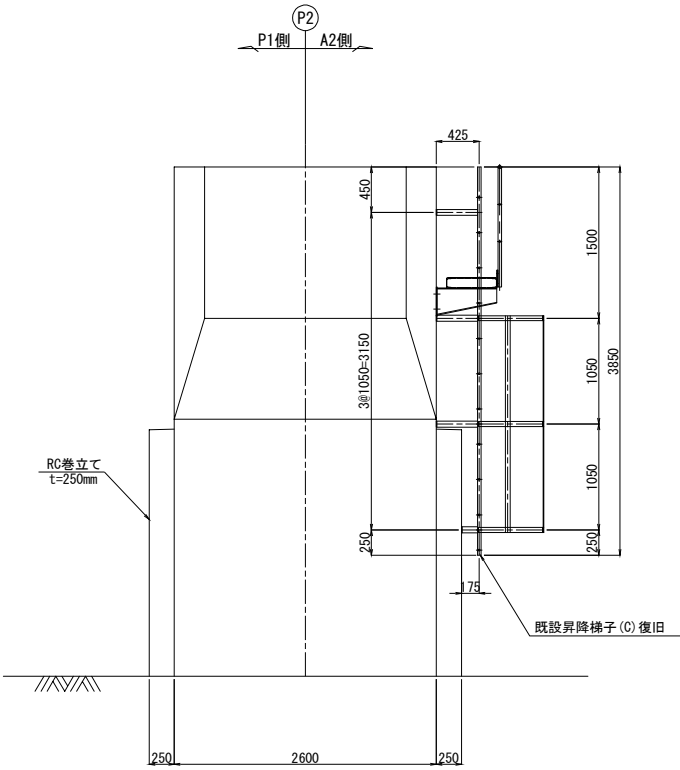
A - A



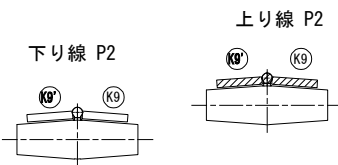
B - B



C - C



位置図

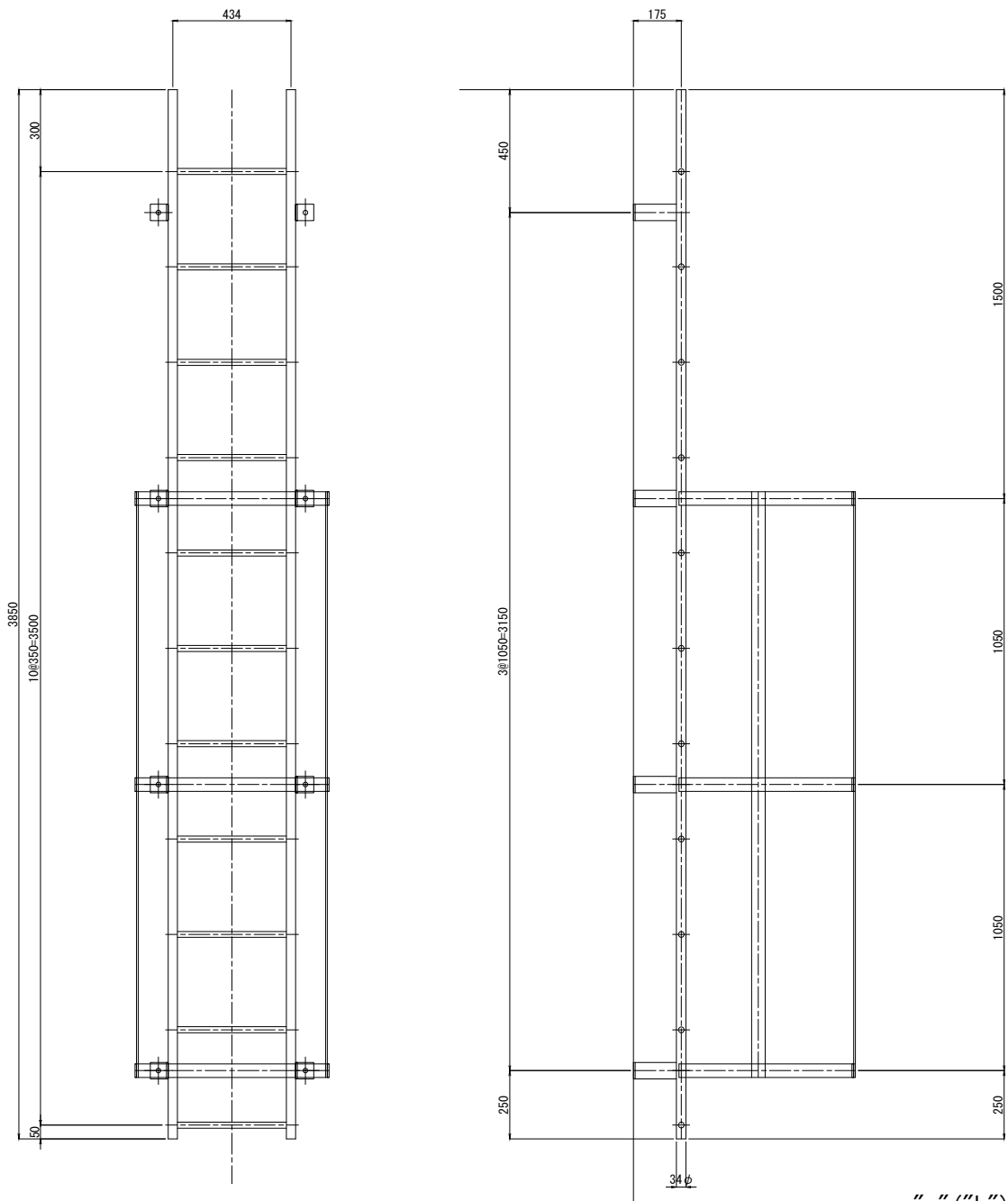


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その13） （参考図）	縮 尺	図 示
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所	図面番号	／
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

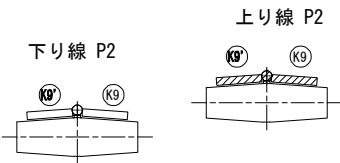
P2橋脚 (A2側) 昇降梯子 (C)

撤去図

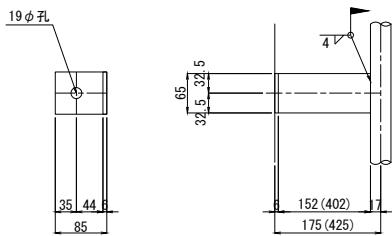


撤去昇降梯子 (C) 数量 全1組
2-PIPE 34φ×2.3×3850 (STK400)
11-RB 22φ×434 (SR235)
3-FB 50×6×1820
3-FB 50×6×2150
8-FB 65×6×234
2-ホールインアンカー M16×100

位置図



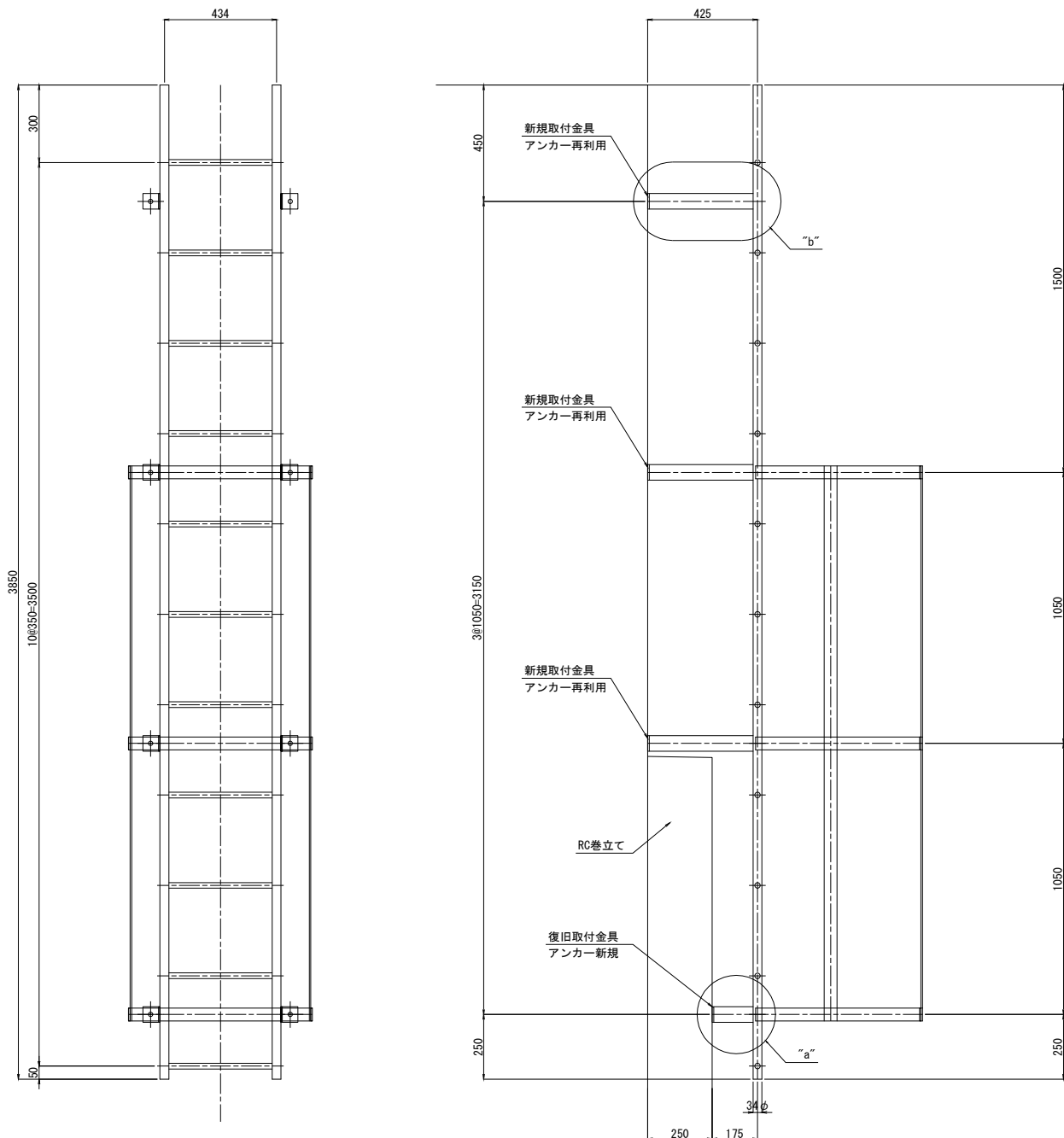
“a” (“b”) 部詳細 S=1:12.5



1-FB 65×6×234 (484)
1-ホールインアンカー M16×100

注：現場溶接は“b”部詳細のみ。

復旧図



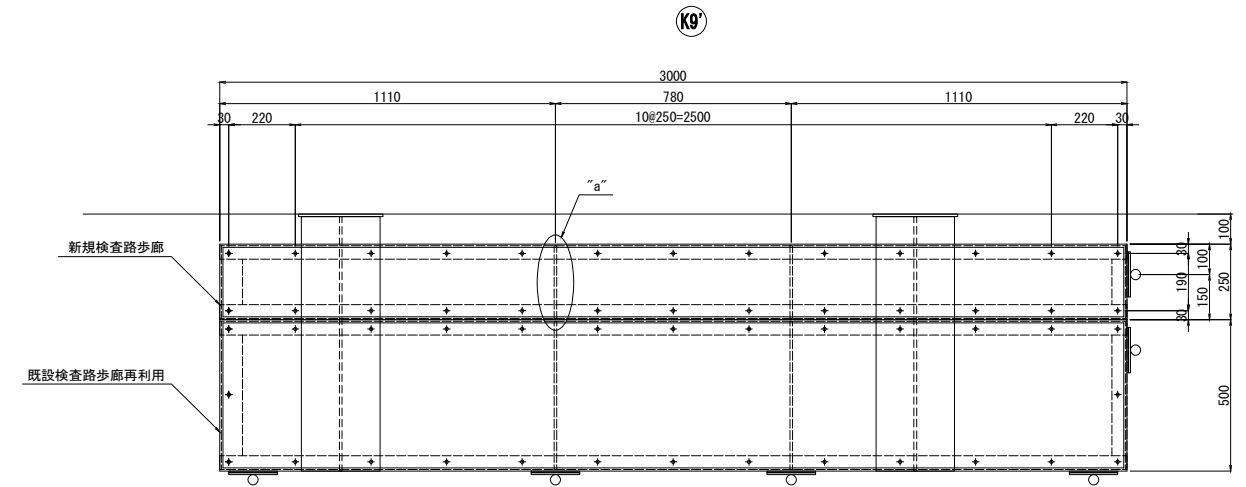
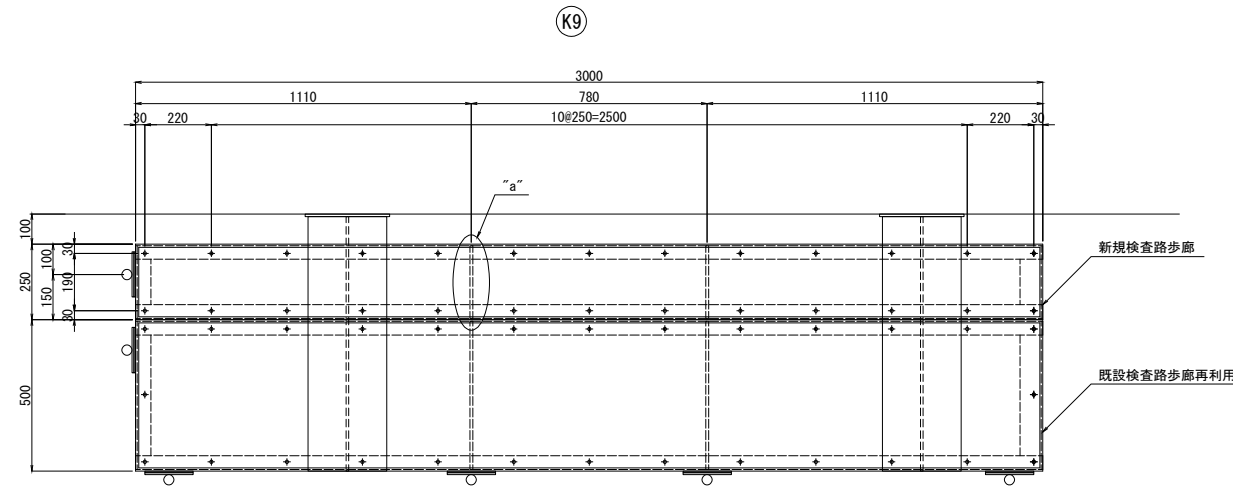
復旧昇降梯子 (C) 数量 全1組
2-PIPE 34φ×2.3×3850 (STK400)
11-RB 22φ×434 (SR235)
3-FB 50×6×1820
3-FB 50×6×2150
2-FB 65×6×234

新規昇降梯子 (C) 数量 全1組
6-FB 65×6×484
2-ホールインアンカー M16×100

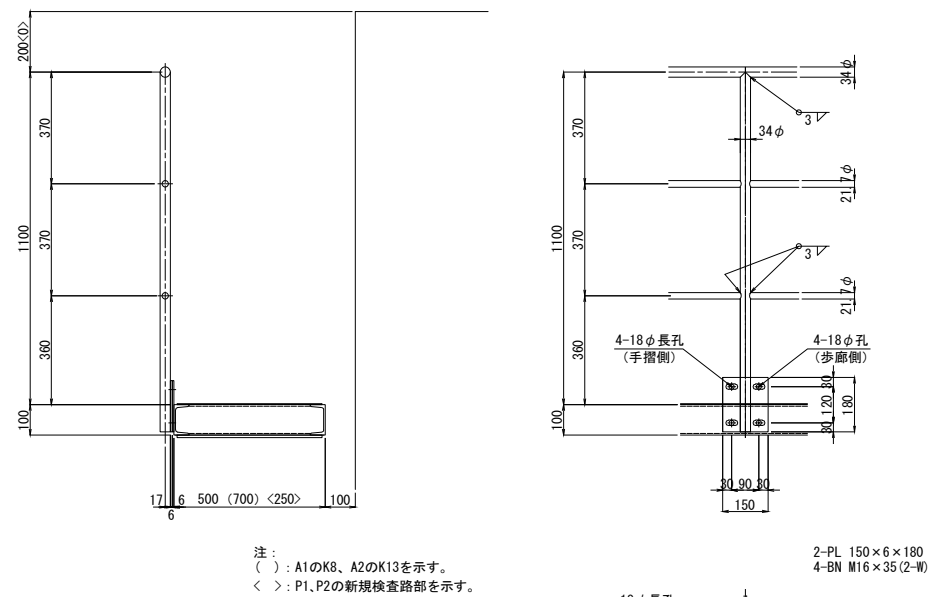
再利用昇降梯子 (C) 数量 全1組
6-ホールインアンカー M16×100

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その14） （参考図）		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

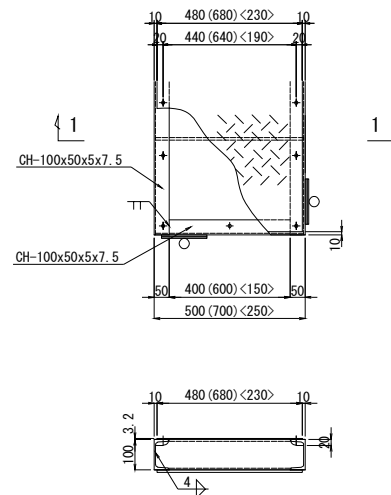
新規検査路歩廊詳細図



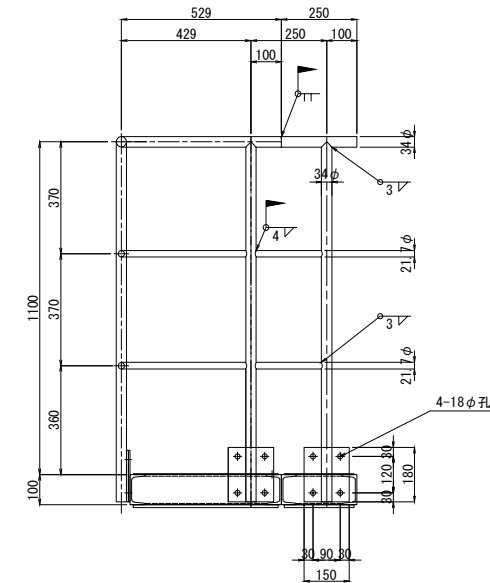
歩廊及び手摺詳細図



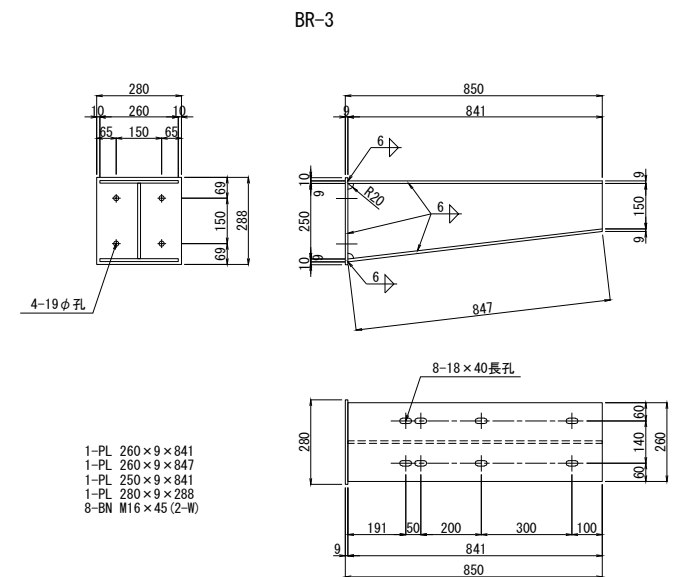
歩廊端部詳細図



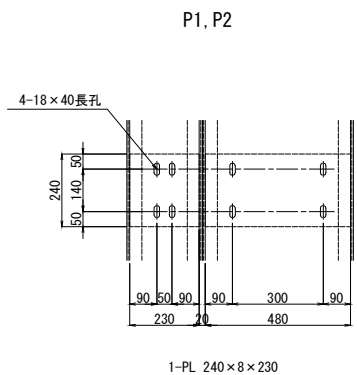
新規端部手摺詳細



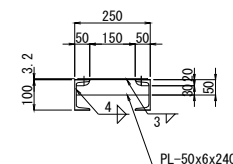
新規ブラケット詳細図



ブラケット取付部詳細図



"a"部詳細



注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げる。

溶融亜鉛めっきの膜厚は、

- 板厚6mm以上の部材は JIS H8641 HDZT77、
- 板厚3.2mm以上6mm未満の部材は JIS H8641 HDZT63、
- 板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は JIS H8641 HDZT49とする。

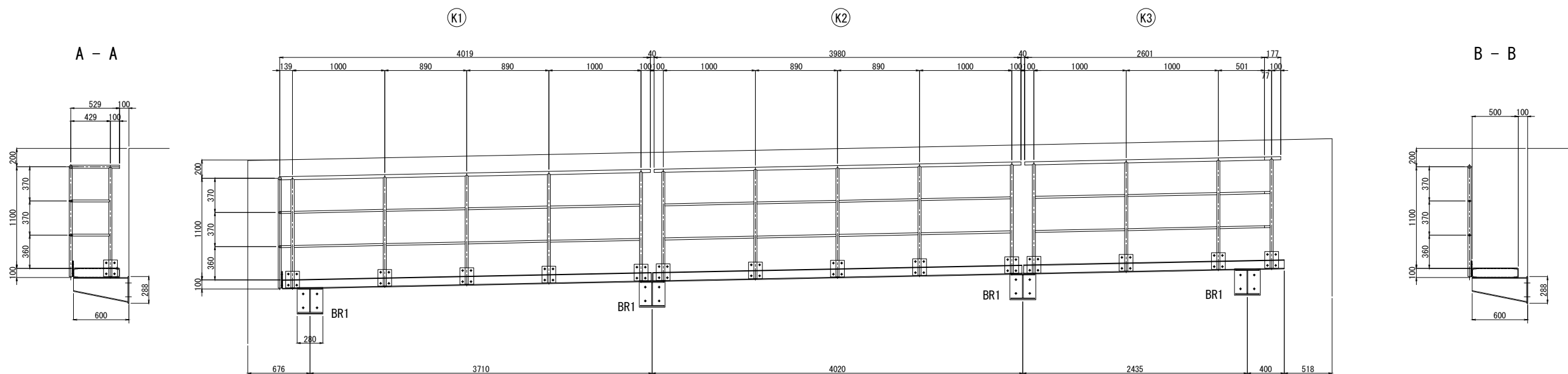
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。

3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

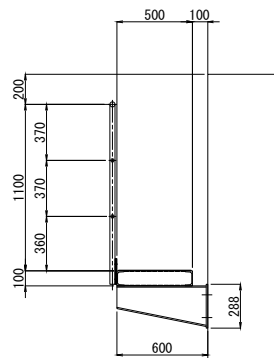
<p style="text-align: center;">長野自動車道 犀川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	窪河原橋（より緒） 撤去・設置工 検査路8詳細図（その15） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 撤去図

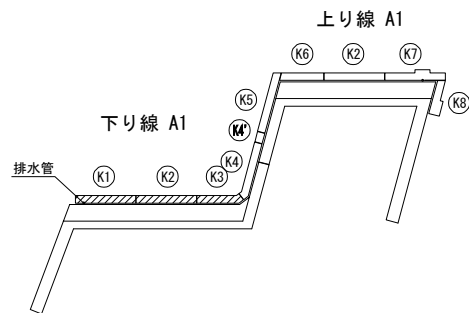
正面図



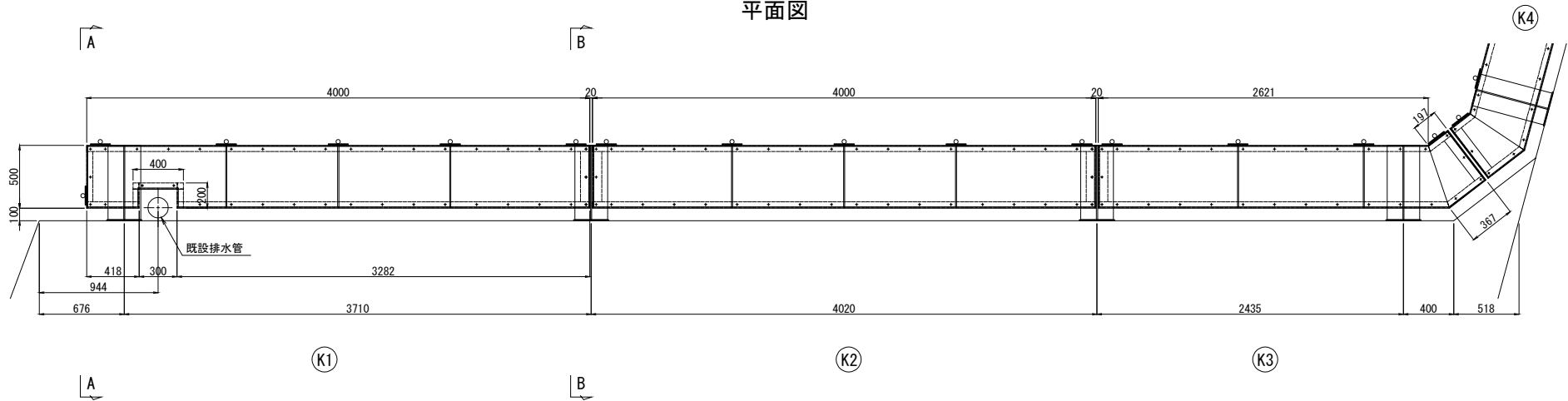
B - B



位置図



平面図



撤去ブラケットBR-1 全4組

- 1-PL 260×9×591
- 1-PL 260×9×599
- 1-PL 250×9×591
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45 (2-W)
- 4-ホールインアンカーM16×100

K1撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×4036 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
- 6-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
- 6-PL 150×6×180
- 24-BN M16×35 (2-W)

K1撤去数量 全1組

- 1-[100×50×5×7.5×4000
- 1-[100×50×5×7.5×418
- 2-[100×50×5×7.5×200
- 1-[100×50×5×7.5×400
- 1-[100×50×5×7.5×3282
- 1-[100×50×5×7.5×500
- 1-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×3980
- 3-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 6-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K2撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×3980 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35 (2-W)

K2撤去数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×4000
- 2-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×3980
- 3-FB 50×6×490
- 2-PL 100×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K3撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×2778 (STK400)
- 4-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×552 (STK400)
- 4-PL 150×6×180
- 16-BN M16×35 (2-W)

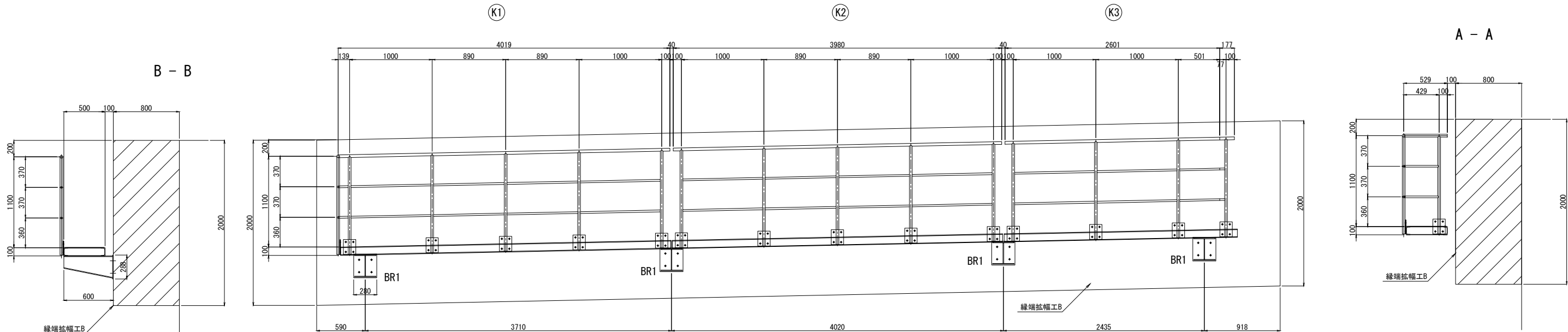
K3撤去数量 全1組

- 1-[100×50×5×7.5×2791
- 1-[100×50×5×7.5×2638
- 1-[100×50×5×7.5×2637
- 1-[100×50×5×7.5×214
- 2-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×2871
- 1-Ch. PL 480×3.2×357
- 2-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 4-PL 150×6×180
- 29-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

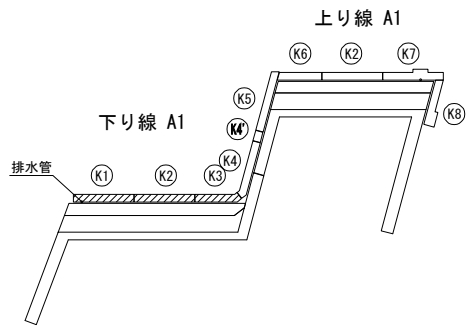
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その1） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 復旧図

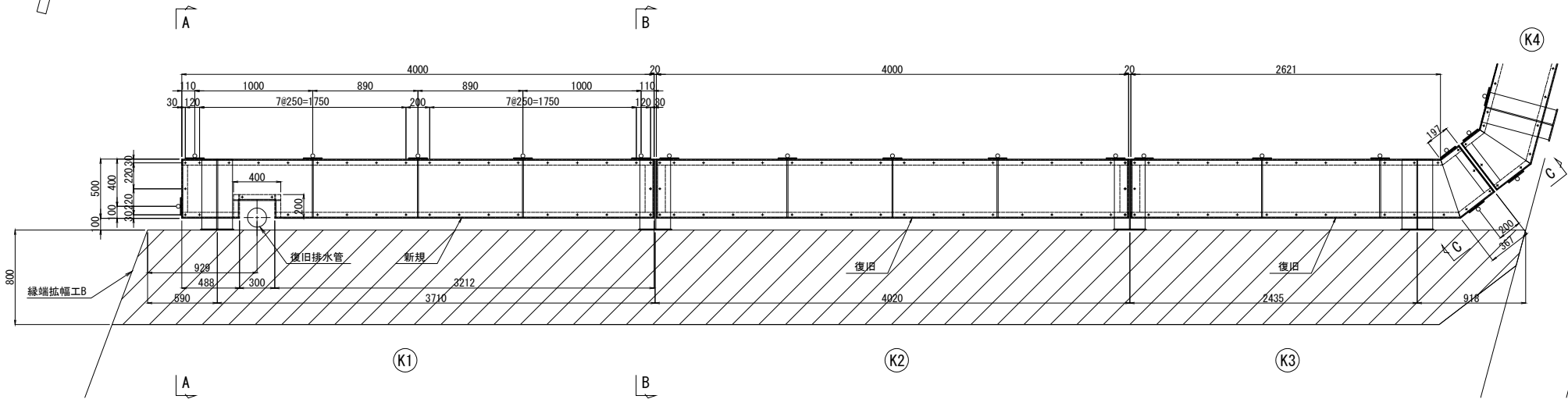
正面図



位置図



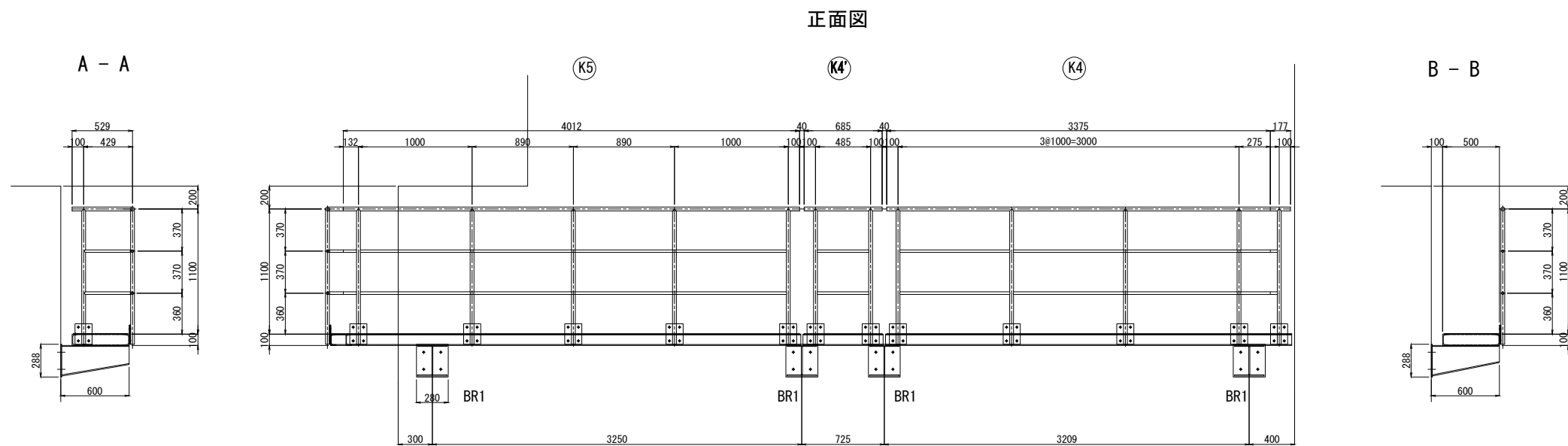
平面図



- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その2） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 撤去図



撤去ブラケットBR-1 全4組

1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)
4-ホールインアンカーM16×100

K5撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×543 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×4025 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×132 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×430 (STK400)
6-PL 150×6×180
24-BN M16×35 (2-W)

K4' 撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×685 (STK400)
2-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×459 (STK400)
2-PL 150×6×180
8-BN M16×35 (2-W)

K4撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×3552 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
6-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×652 (STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35 (2-W)

K5撤去数量 全1組

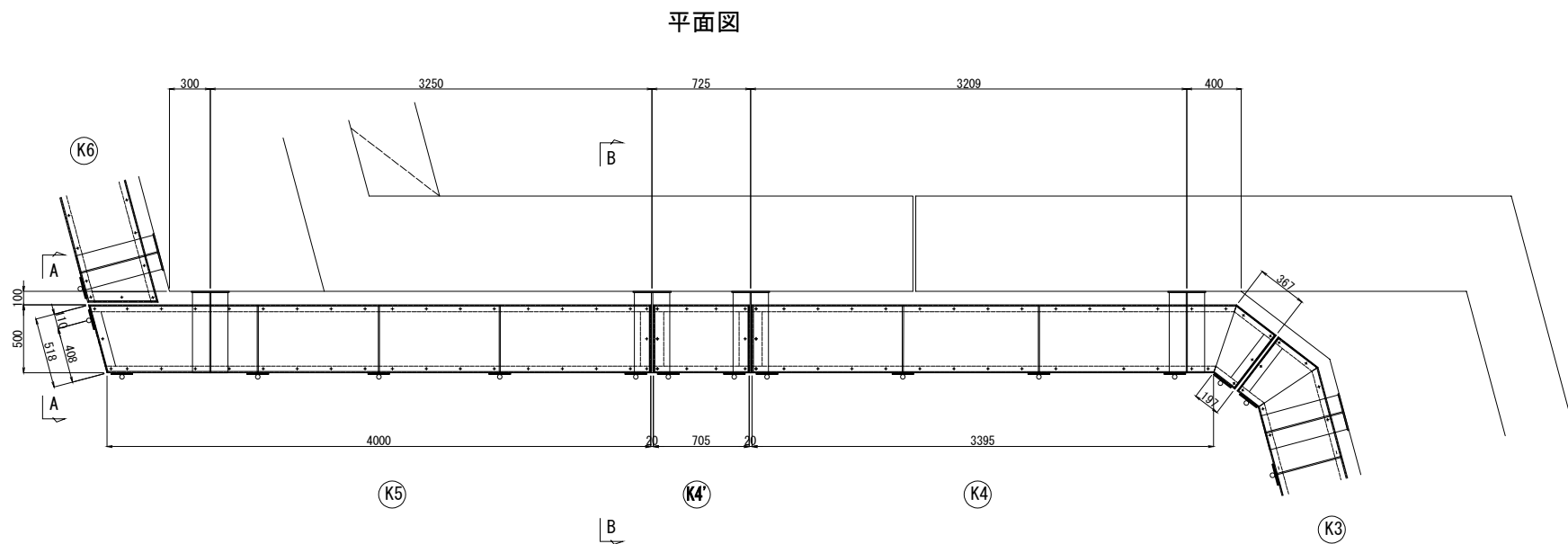
1-[100×50×5×7.5×4134
1-[100×50×5×7.5×4000
1-[100×50×5×7.5×518
1-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×4114
3-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
6-PL 150×6×180
38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K4' 撤去数量 全1組

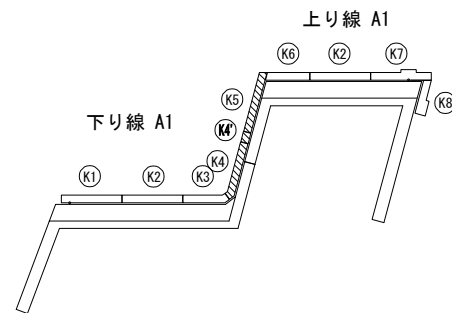
2-[100×50×5×7.5×705
2-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×685
2-PL 150×6×180
2-PL 100×8×480
10-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K4撤去数量 全1組

1-[100×50×5×7.5×3565
1-[100×50×5×7.5×3412
1-[100×50×5×7.5×367
1-[100×50×5×7.5×214
2-L 75×75×6×490
1-Ch. PL 480×3.2×3555
1-Ch. PL 480×3.2×357
3-FB 50×6×490
1-PL 240×8×480
1-PL 100×8×480
5-PL 150×6×180
35-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

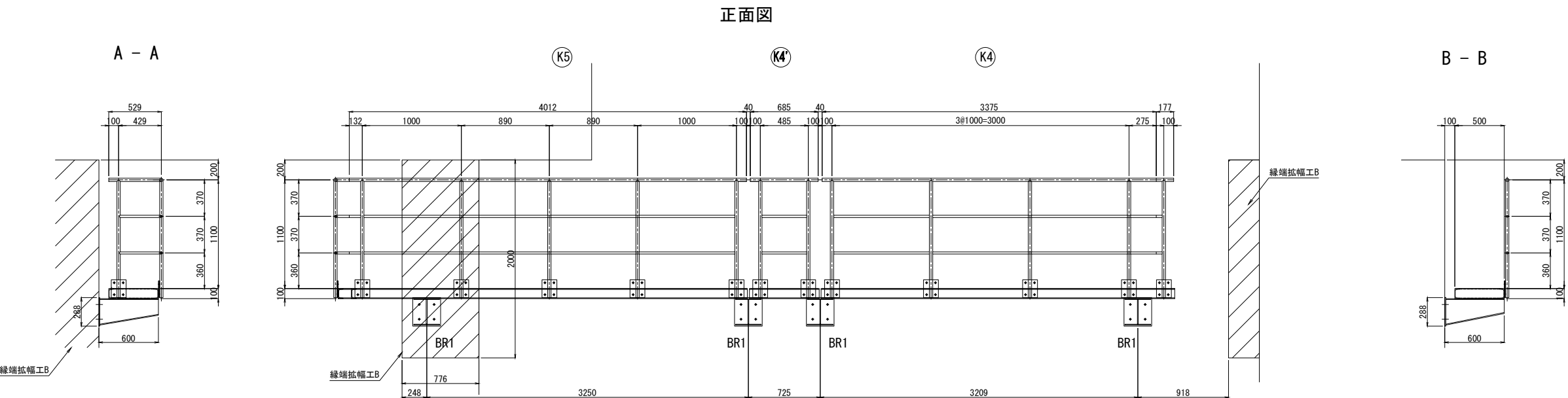


位置図



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その3） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 復旧図



復旧プラケットBR-1 全4組

- 1-PL 260×9×591
- 1-PL 260×9×599
- 1-PL 250×9×591
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45 (2-W)

新規プラケットBR-1 全4組

- 4-ホールインアンカーM16

K5復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×543 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×4025 (STK400)
- 6-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×132 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×430 (STK400)
- 6-PL 150×6×180
- 24-BN M16×35 (2-W)

K5復旧数量 全1組

- 1-[100×50×5×7.5×4134
- 1-[100×50×5×7.5×4000
- 1-[100×50×5×7.5×518
- 1-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×4114
- 3-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 6-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K4' 復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×685 (STK400)
- 2-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×459 (STK400)
- 2-PL 150×6×180
- 8-BN M16×35 (2-W)

K4' 復旧数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×705
- 2-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×685
- 2-PL 150×6×180
- 2-PL 100×8×480
- 10-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

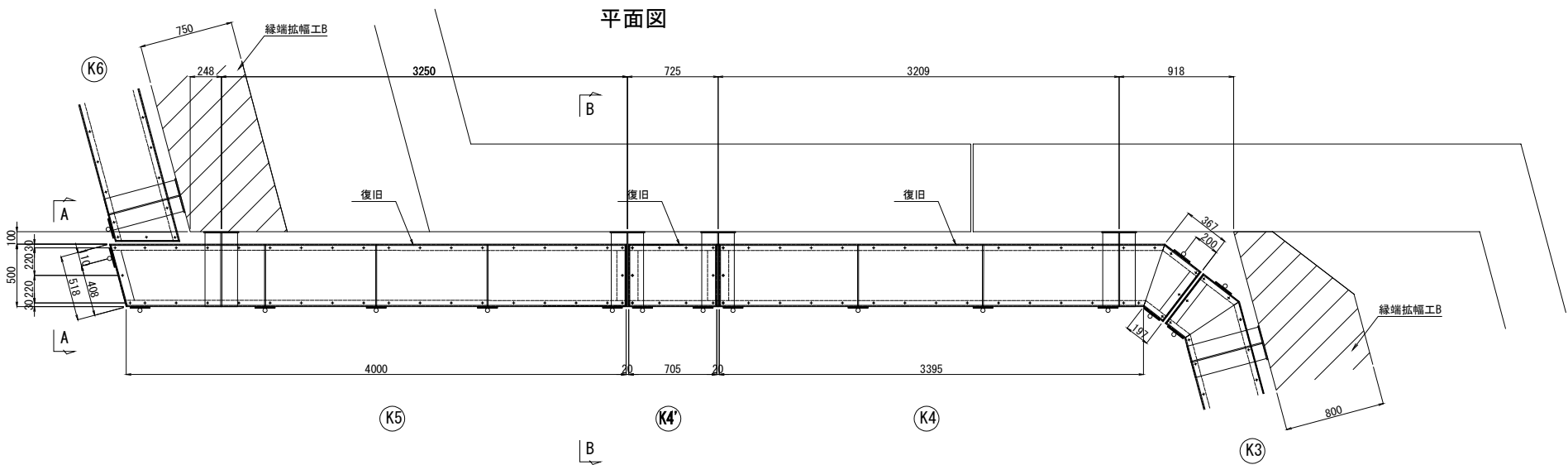
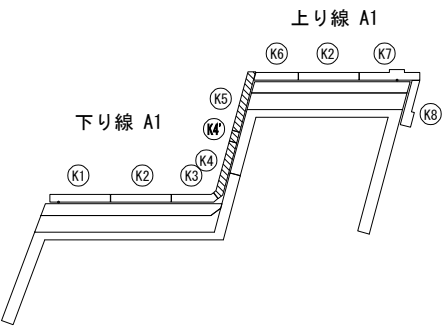
K4復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×3552 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 6-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×652 (STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35 (2-W)

K4復旧数量 全1組

- 1-[100×50×5×7.5×3565
- 1-[100×50×5×7.5×3412
- 1-[100×50×5×7.5×367
- 1-[100×50×5×7.5×214
- 2-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×3555
- 1-Ch. PL 480×3.2×357
- 3-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 35-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

位置図

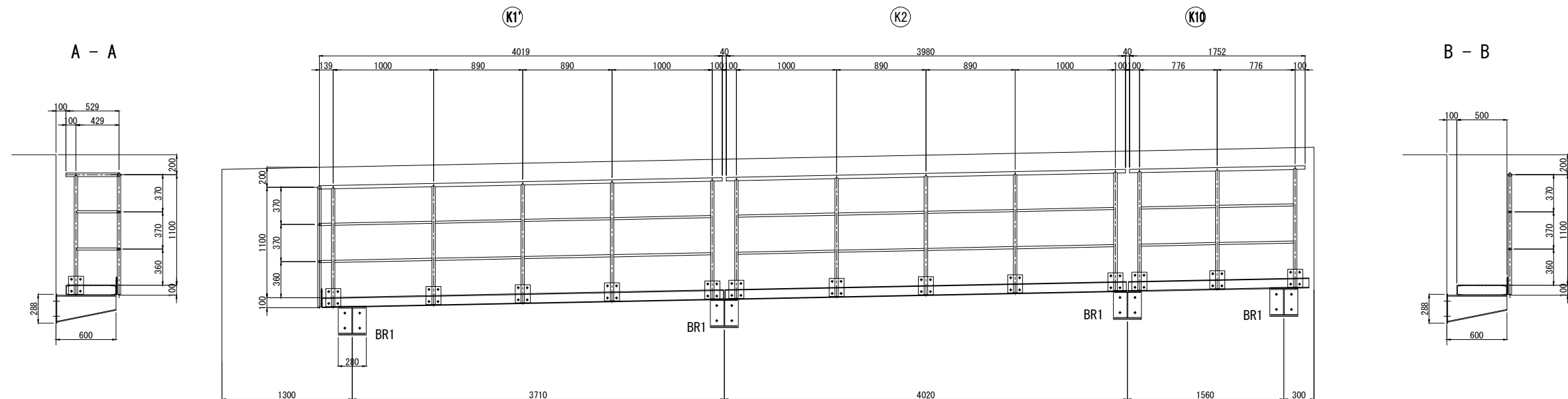


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

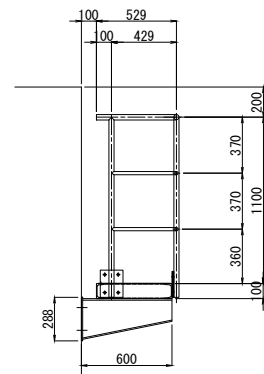
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その4） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 撤去図

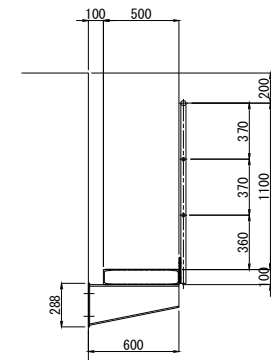
正面図



A - A



B - B



撤去ブラケットBR-1 全4組

- 1-PL 260×9×591
- 1-PL 260×9×599
- 1-PL 250×9×591
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45(2-W)
- 4-ホールインアンカーM16×100

K1' 撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×546(STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×4036(STK400)
- 6-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×137(STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×427(STK400)
- 6-PL 150×6×180
- 24-BN M16×35(2-W)

K1' 撤去数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×4000
- 1-[100×50×5×7.5×500
- 1-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×3980
- 3-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 6-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30(1-TW, 1-W)

K2撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×3980(STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864(STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(2-W)

K2撤去数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×4000
- 2-L 75×75×6×490
- 1-Ch. PL 480×3.2×3980
- 3-FB 50×6×490
- 2-PL 100×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30(1-TW, 1-W)

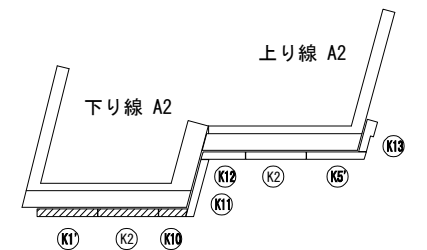
K10撤去数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×1752(STK400)
- 3-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×750(STK400)
- 3-PL 150×6×180
- 12-BN M16×35(2-W)

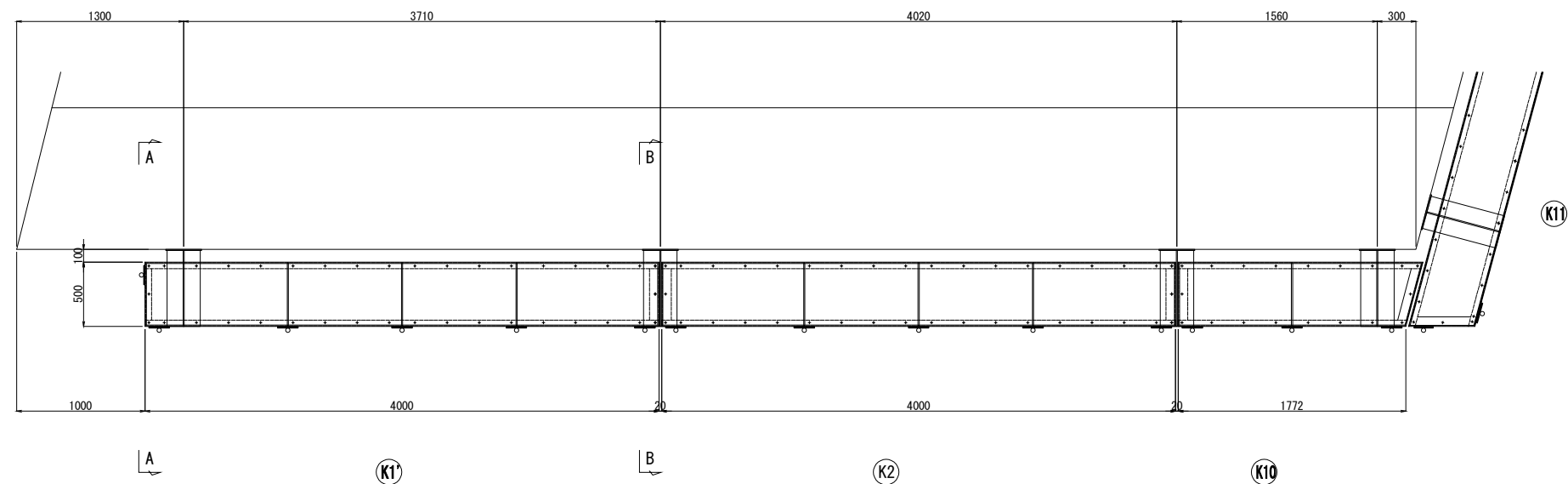
K10撤去数量 全1組

- 1-[100×50×5×7.5×1906
- 1-[100×50×5×7.5×1785
- 1-L 75×75×6×490
- 1-L 75×75×6×508
- 1-Ch. PL 480×3.2×1886
- 1-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 3-PL 150×6×180
- 19-BN M10×30(1-TW, 1-W)

位置図



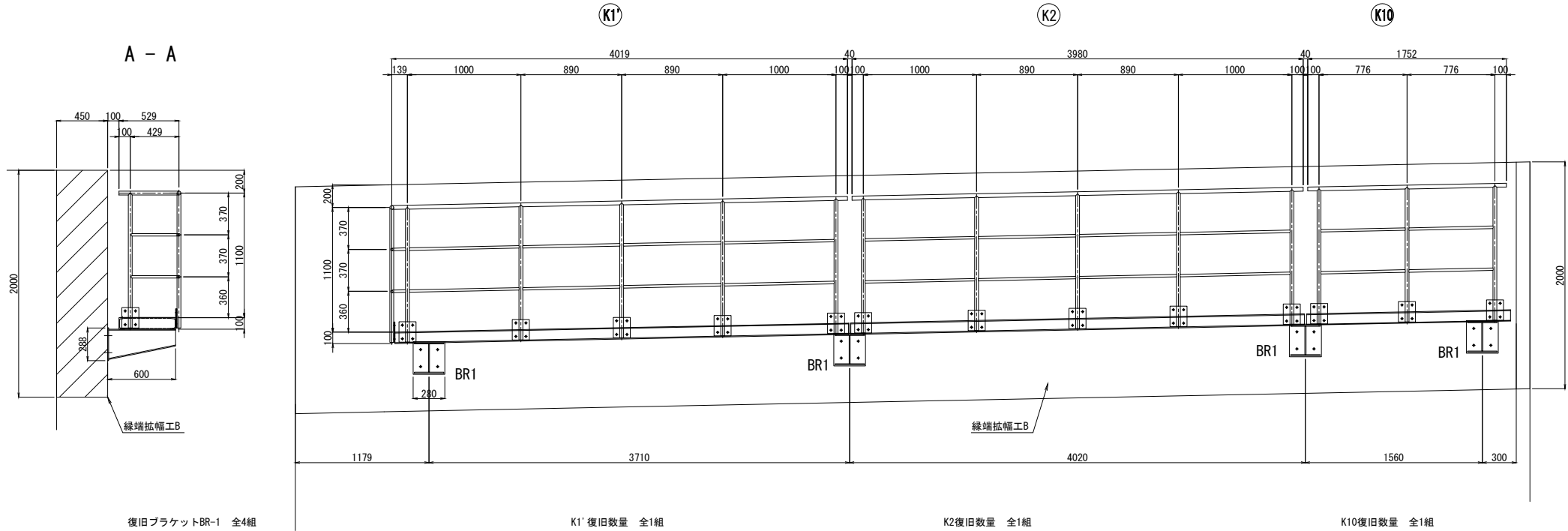
平面図



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その5） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台 復旧図

正面図



A - A

B - B

復旧ブラケットBR-1 全4組

- 1-PL 260×9×591
- 1-PL 260×9×599
- 1-PL 250×9×591
- 1-PL 280×9×288
- 4-BN M16×45 (2-W)

新規ブラケットBR-1 全4組

- 4-ホールインアンカーM16

K1' 復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×4036 (STK400)
- 6-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
- 6-PL 150×6×180
- 24-BN M16×35 (2-W)

K1' 復旧数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×4000
- 1-[100×50×5×7.5×500
- 1-L 75×75×6×490
- 1-Ch, PL 480×3.2×3980
- 3-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 6-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

K2 復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×3980 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×864 (STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35 (2-W)

K2 復旧数量 全1組

- 2-[100×50×5×7.5×4000
- 2-L 75×75×6×490
- 1-Ch, PL 480×3.2×3980
- 3-FB 50×6×490
- 2-PL 100×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 38-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

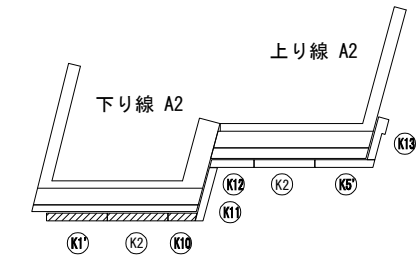
K10 復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×1752 (STK400)
- 3-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×750 (STK400)
- 3-PL 150×6×180
- 12-BN M16×35 (2-W)

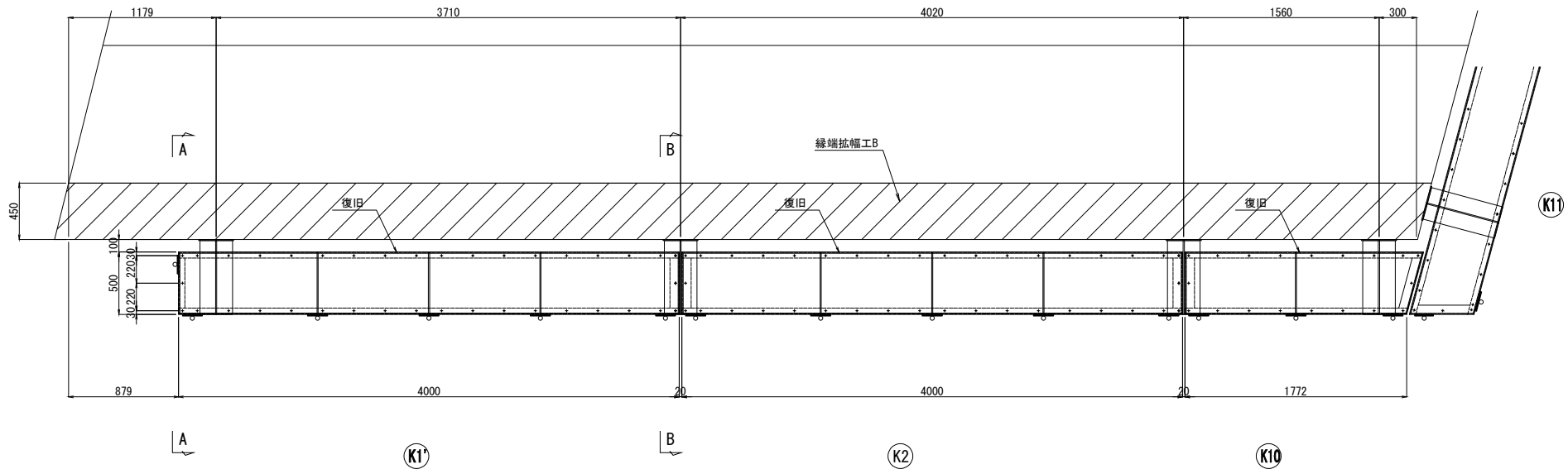
K10 復旧数量 全1組

- 1-[100×50×5×7.5×1906
- 1-[100×50×5×7.5×1785
- 1-L 75×75×6×490
- 1-L 75×75×6×508
- 1-Ch, PL 480×3.2×1886
- 1-FB 50×6×490
- 1-PL 240×8×480
- 1-PL 100×8×480
- 3-PL 150×6×180
- 19-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

位置図



平面図



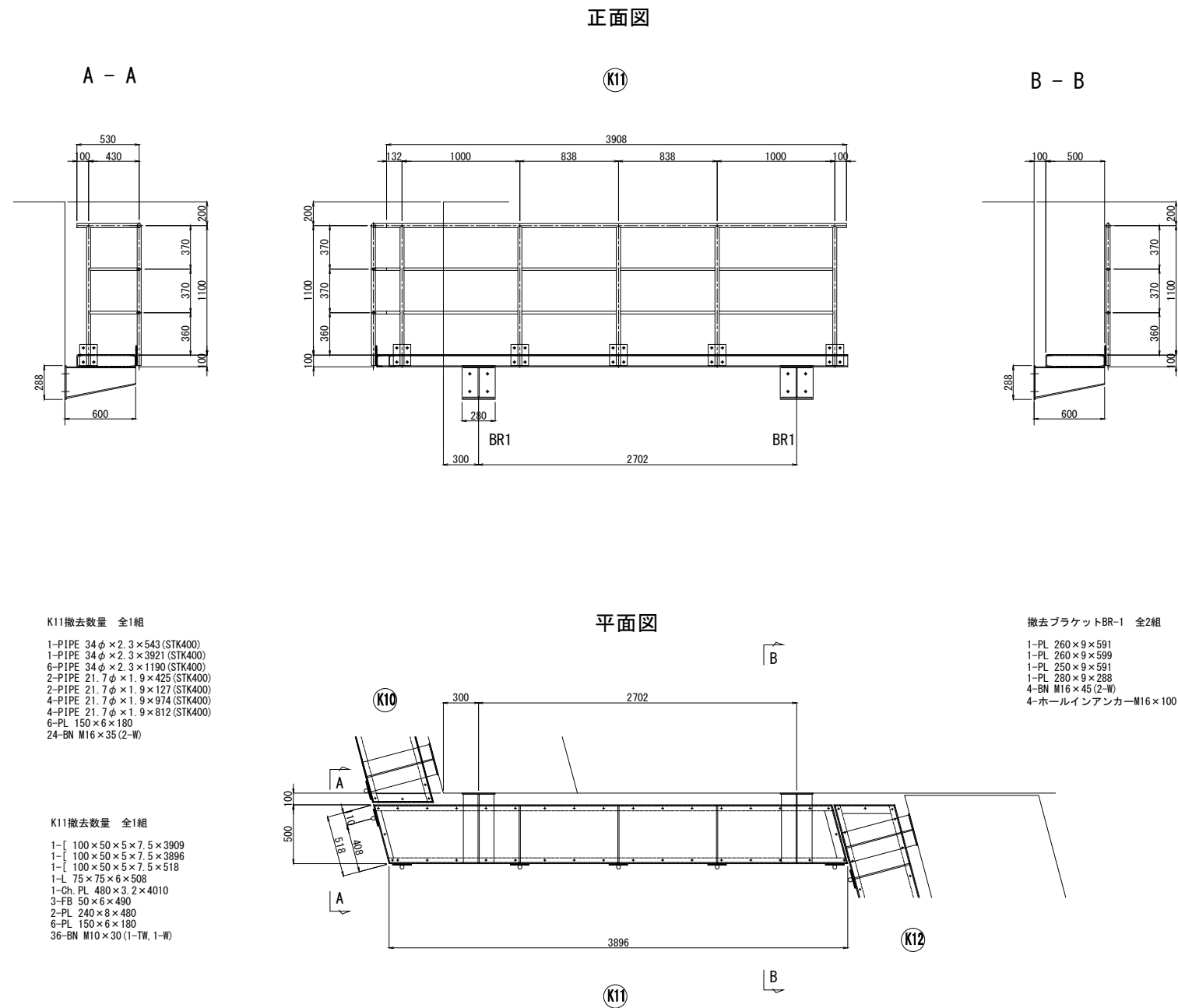
注 記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

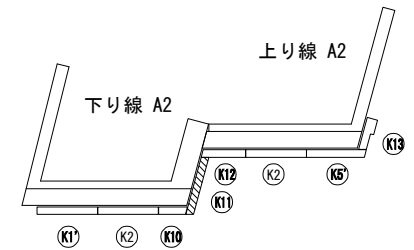
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その6） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

窪河原橋（下り線）撤去・設置工 検査路B詳細図（その7）（参考図）S=1:50

A2橋台 撤去図



位置図

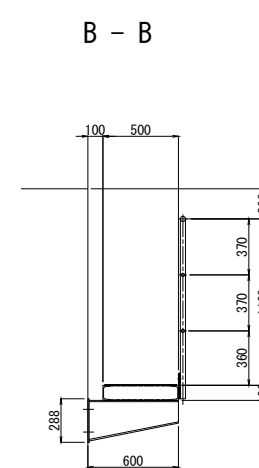
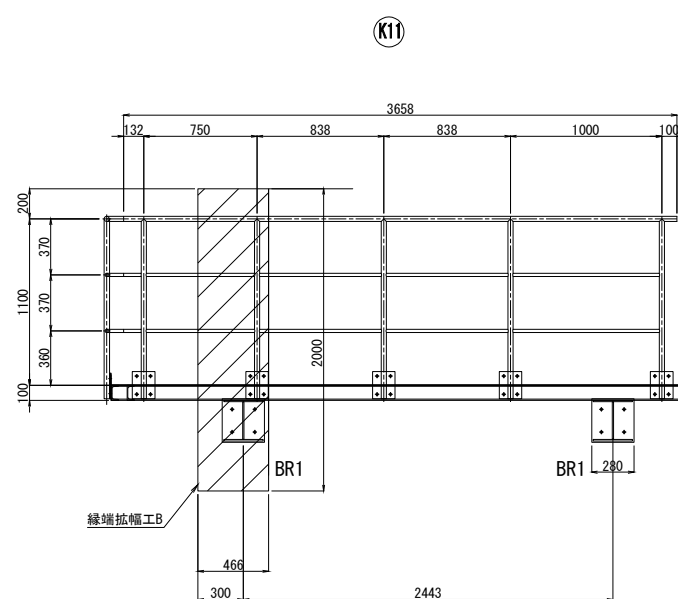
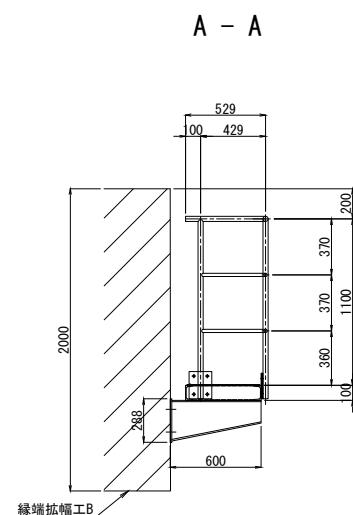


長野自動車道 厚川橋梁復補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路詳細図（その7） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造桥梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長野工事事務所		関東支社

窪河原橋（下り線）撤去・設置工 検査路B詳細図（その8）（参考図） S=1:50

A2橋台 復旧図

正面図



B - B

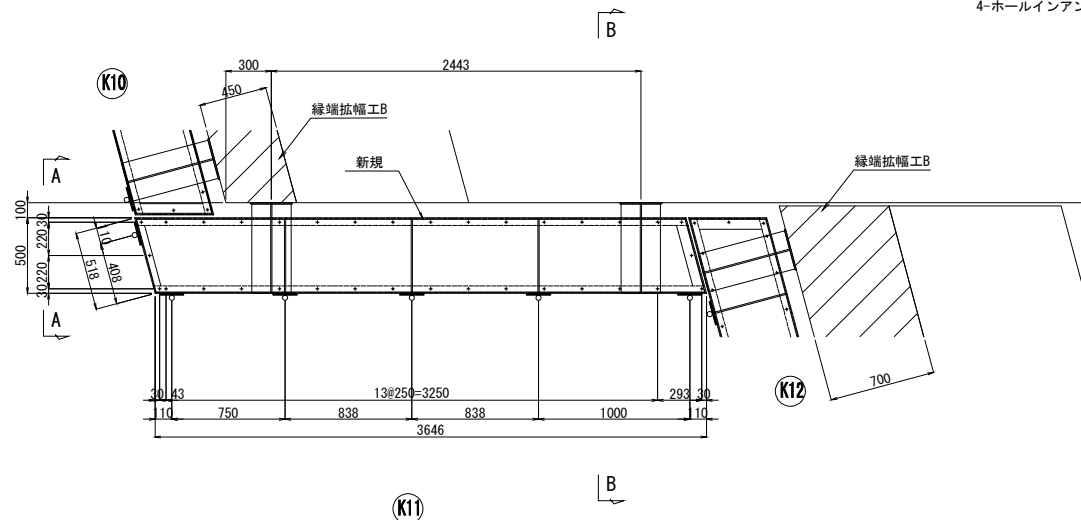
復旧ブラケットBR-1 全2組

- 1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)

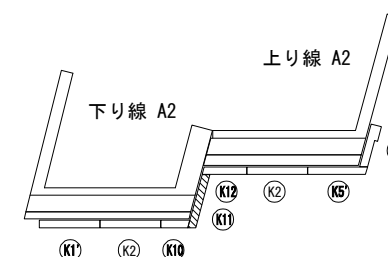
新規ブラケットBR-1 全2組

- 4-ホールインアンカーM16

平面图



位置図



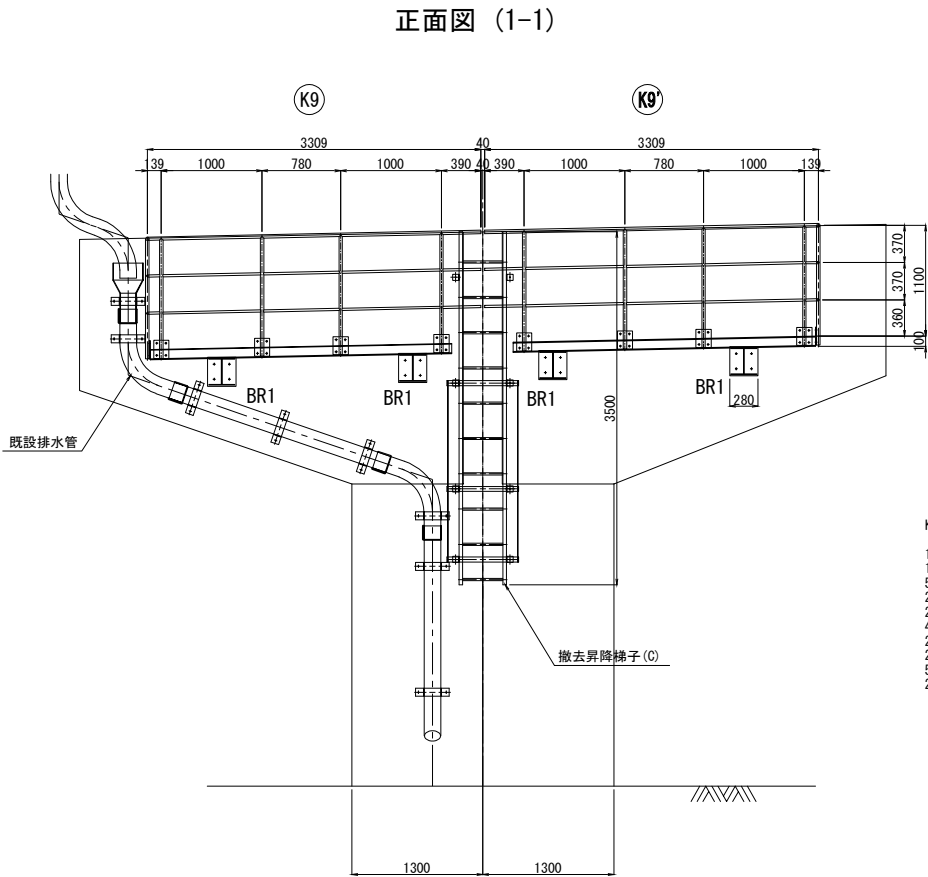
注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げるとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
ブラスト処理とする。
3. 工事製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その8） （参考図）			
縮 尺	図 式	図面番号	／	
設計会社名	株式会社 日本橋樑梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

窪河原橋（下り線）撤去・設置工 検査路B詳細図（その9）（参考図）S=1:75

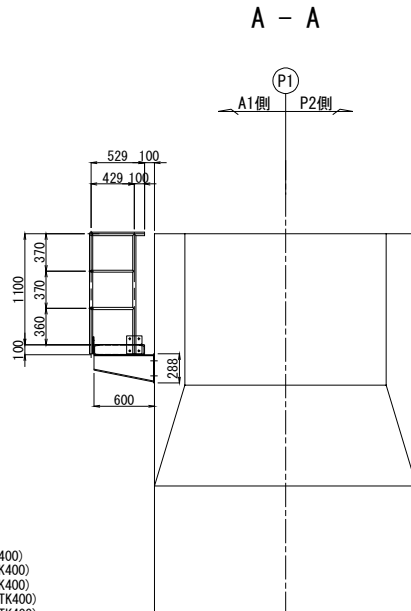
P1橋脚(A1側) 撤去図



- K9撤去数量 全1組
- 1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35 (2-W)

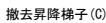
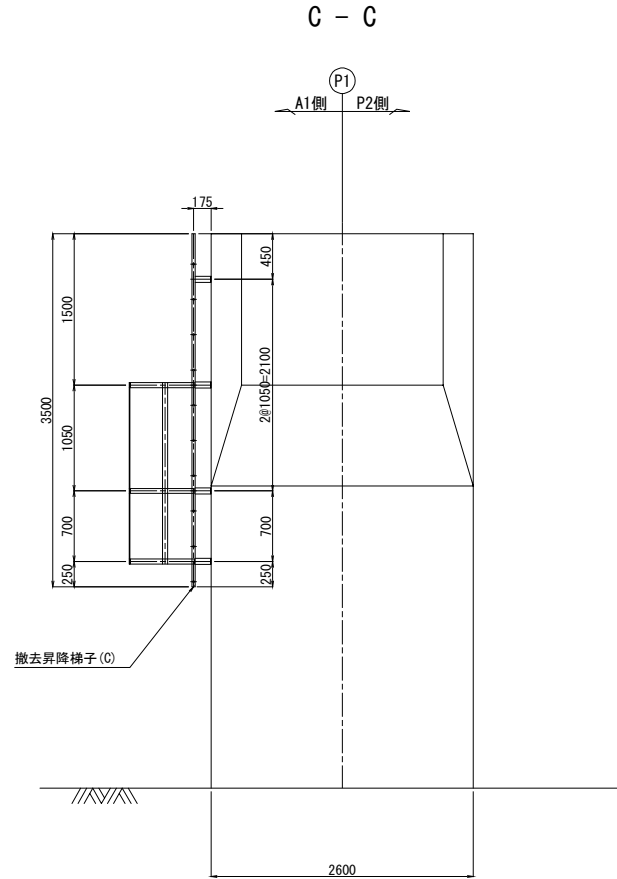
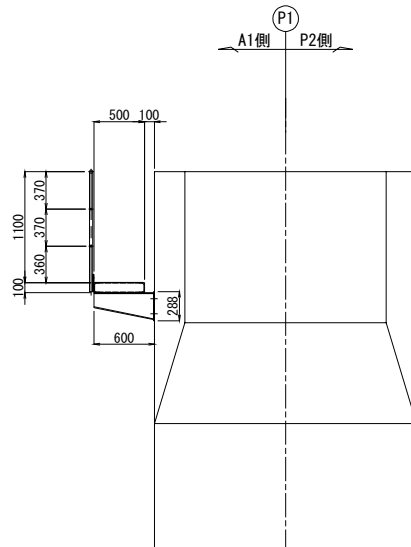
- K9撤去数量 全1組

- 撤去ブラケットBR-1 全4組
- 1-PL 260×9×591
1-PL 260×9×599
1-PL 250×9×591
1-PL 280×9×288
4-BN M16×45 (2-W)



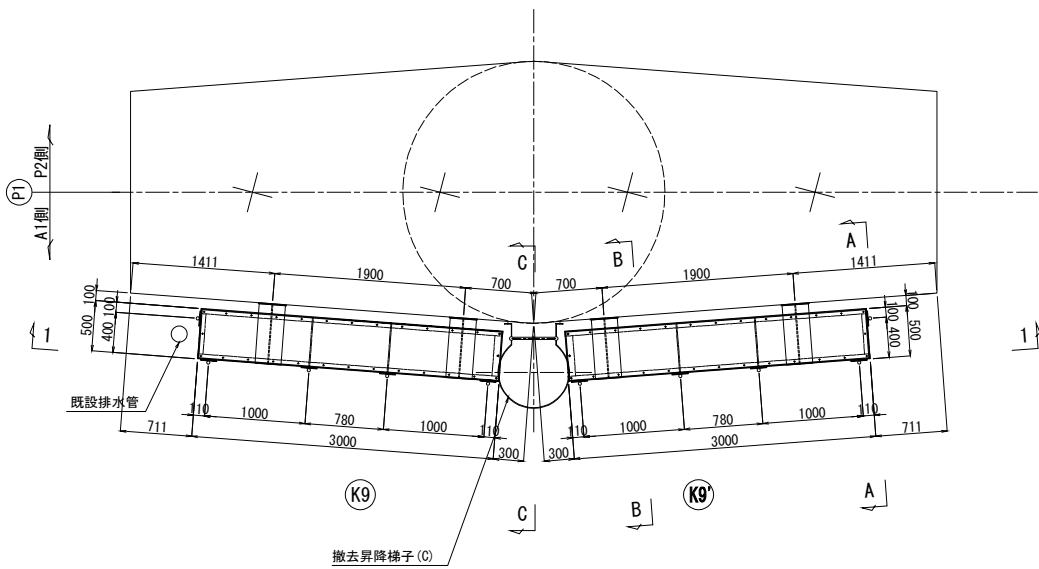
- K9' 撤去数量 全1組
- 1-PIPE 34φ×2.3×546(STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3326(STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×427(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×137(STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×954(STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×377(STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35(2-W)

- K9' 撤去数量 全1組



正面图 (1-1)

平面图



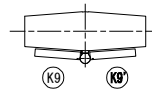
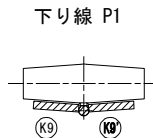
A - A

C - C

B - E

位置图

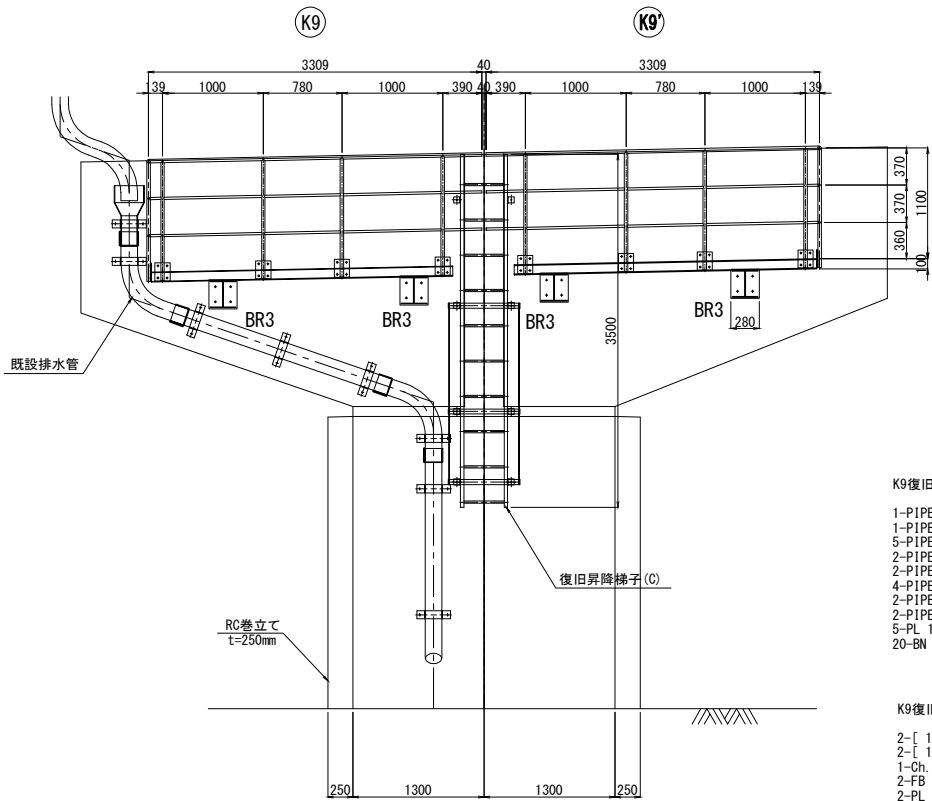
上り線 P1



長野自動車道 犀川橋杭震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路8詳細図（その9） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P1橋脚 (A1側) 復旧図

正面図 (1-1)



K9復旧数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
- 4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
- 2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
- 5-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35 (2-W)

K9復旧数量 全1組

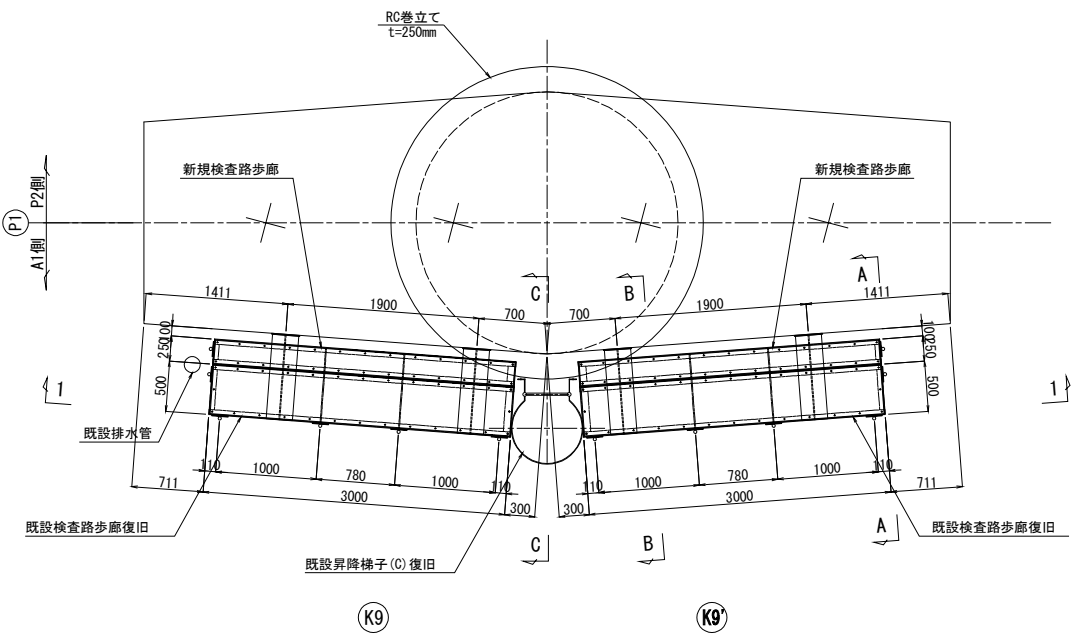
- 2-[100×50×5×7.5×3000
- 2-[100×50×5×7.5×500
- 1-Ch. PL 480×3.2×2980
- 2-FB 50×6×490
- 2-PL 240×8×480
- 5-PL 150×6×180
- 28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

- 再利用ブラケットBR-1 全4組
- 4-ホールインアンカーM16×100

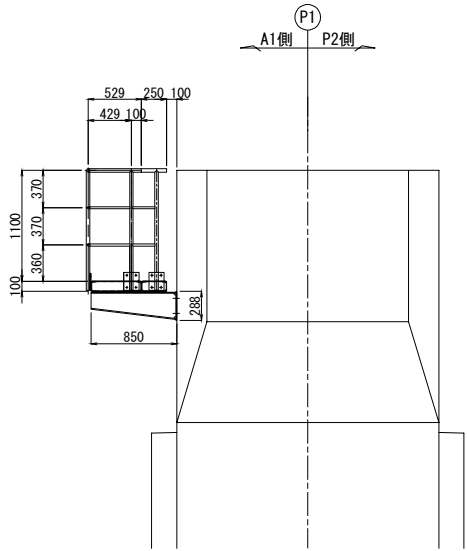
新規ブラケットBR-3 全4組

- 1-PL 260×9×841
- 1-PL 260×9×847
- 1-PL 250×9×841
- 1-PL 280×9×288
- 8-BN M16×45 (2-W)

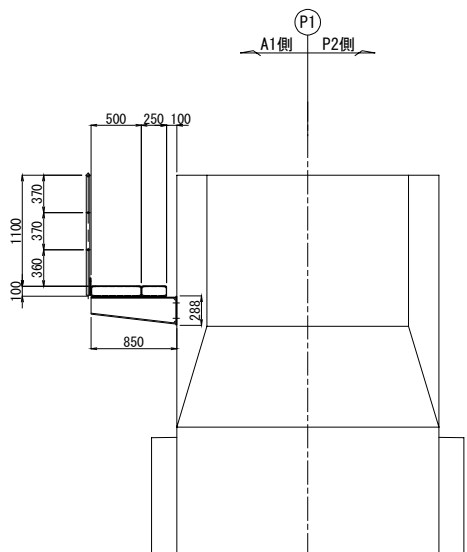
平面図



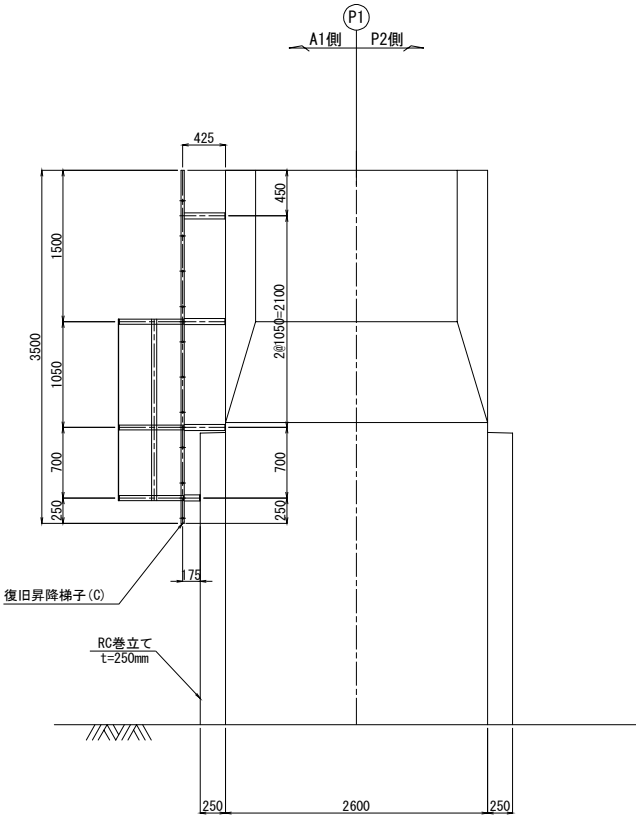
A - A



B - B

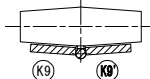


C - C

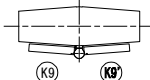


位置図

下り線 P1



上り線 P1

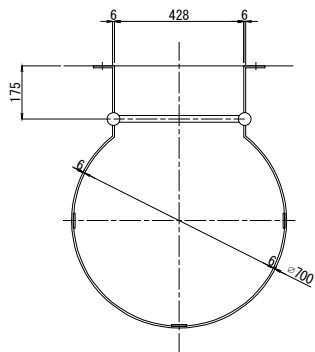
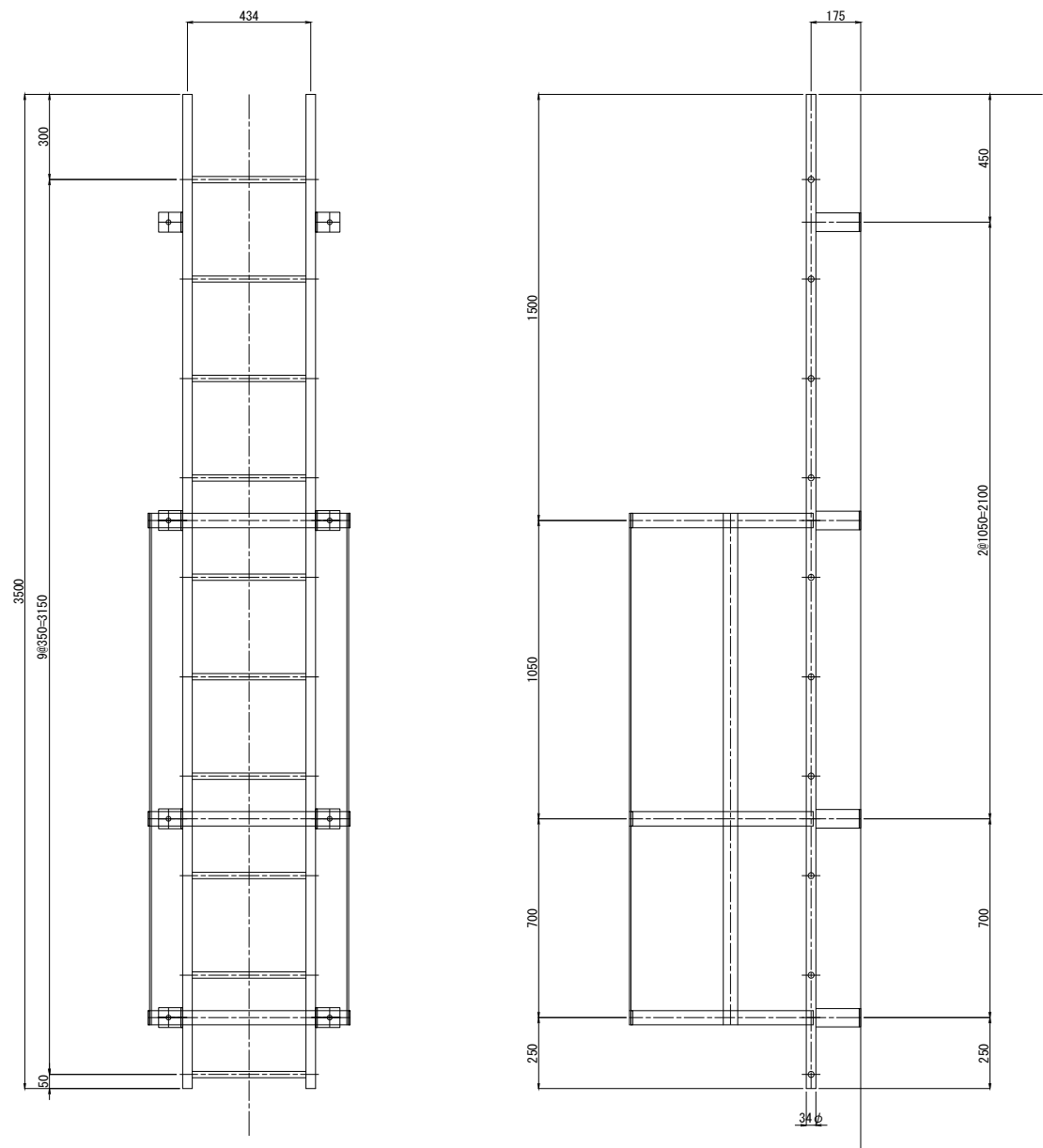


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その10） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社	日本橋造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

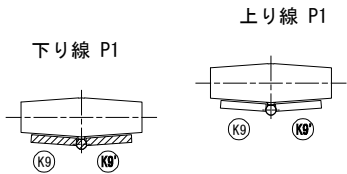
P1橋脚 (A1側) 昇降梯子 (C)

撤去図

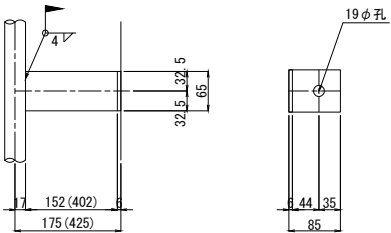


撤去昇降梯子 (C) 数量 全1組
2-PIPE 34φ×2.3×3500 (STK400)
10-RB 22φ×434 (SR235)
3-FB 50×6×1820
3-FB 50×6×1800
8-FB 65×6×234
2-ホールインアンカー M16×100

位置図



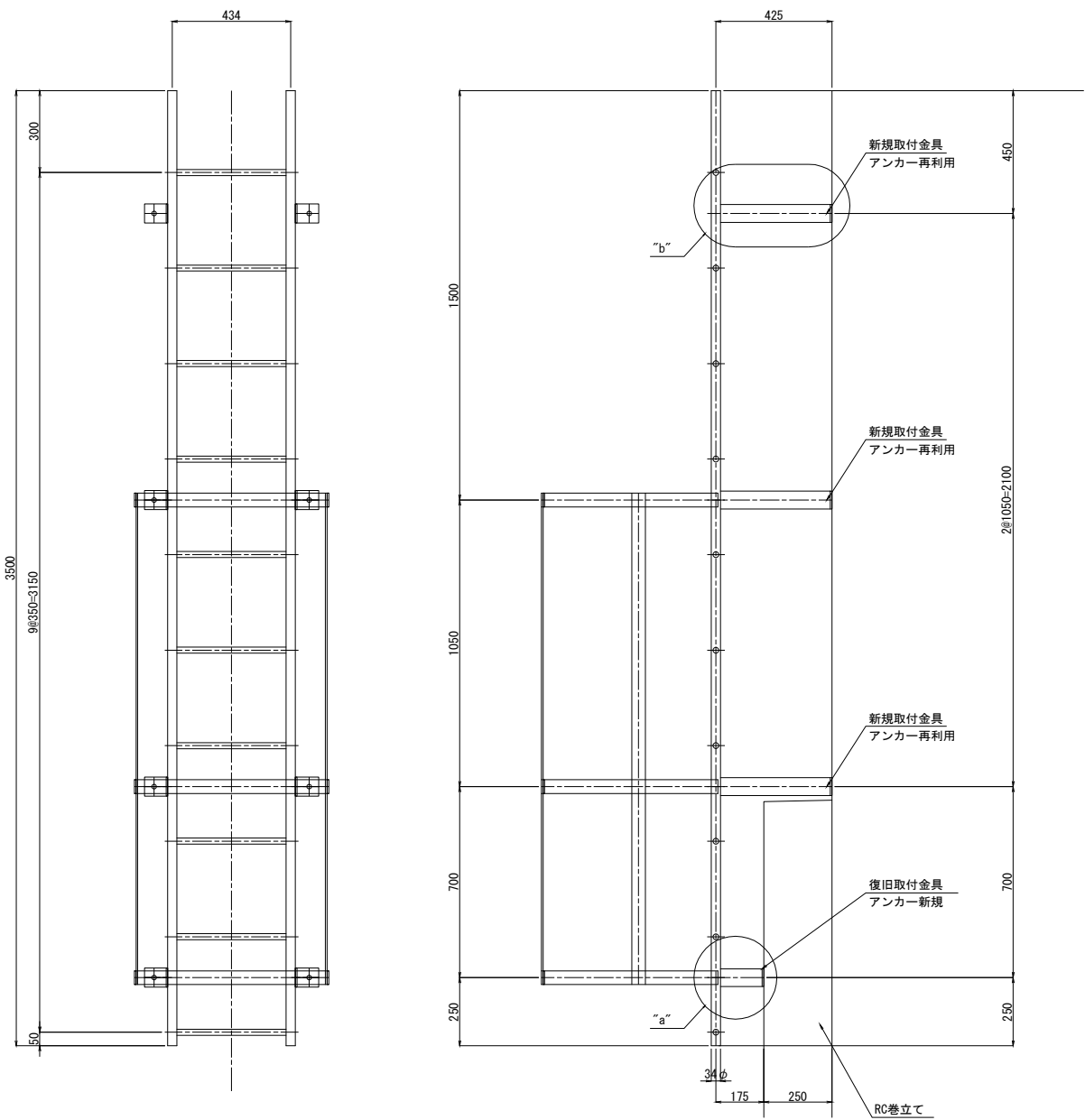
“a” (“b”) 部詳細 S=1:12.5



1-FB 65×6×234 (484)
1-ホールインアンカー M16×100

注：現場溶接は“b”部詳細のみ。

復旧図



復旧昇降梯子 (C) 数量 全1組
2-PIPE 34φ×2.3×3500 (STK400)
10-RB 22φ×434 (SR235)
3-FB 50×6×1820
3-FB 50×6×1800
2-FB 65×6×234

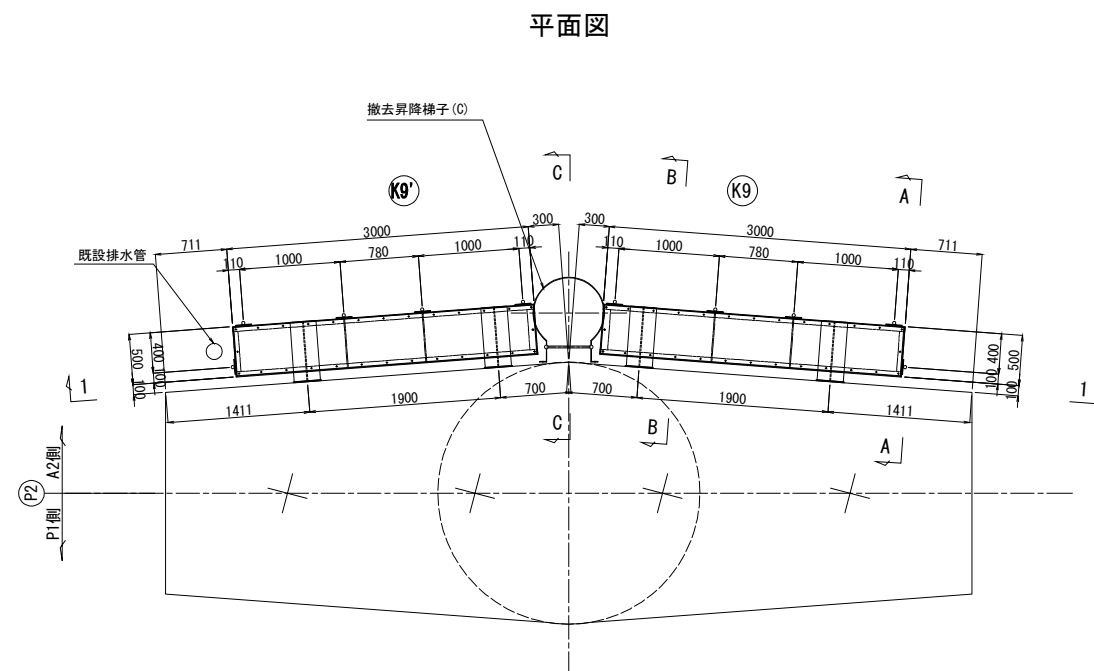
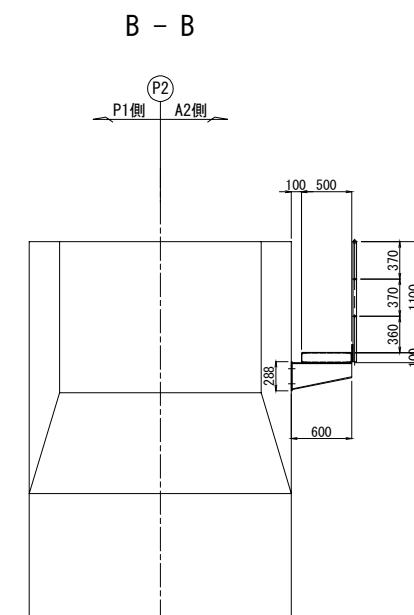
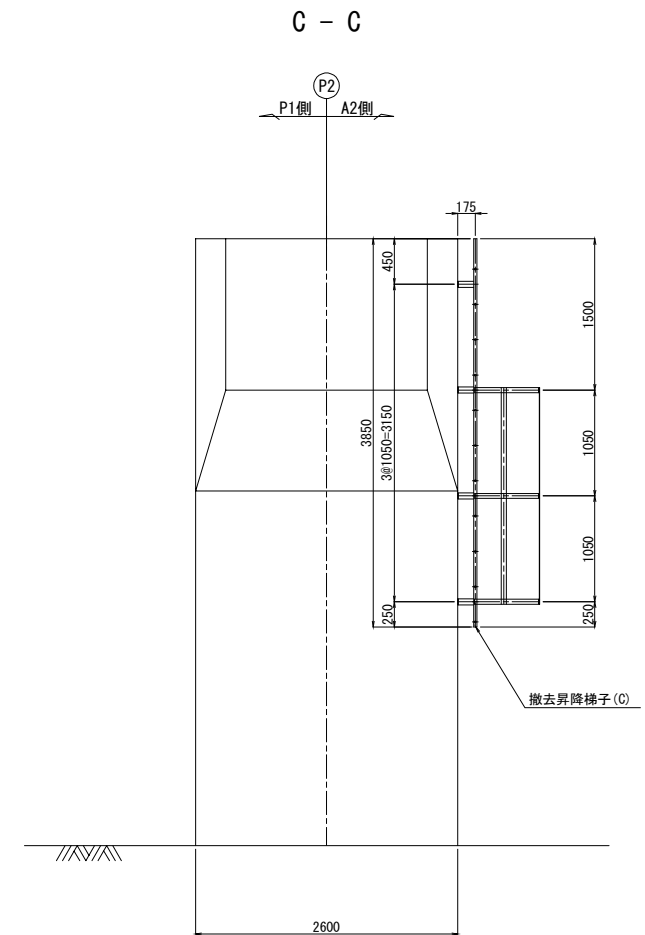
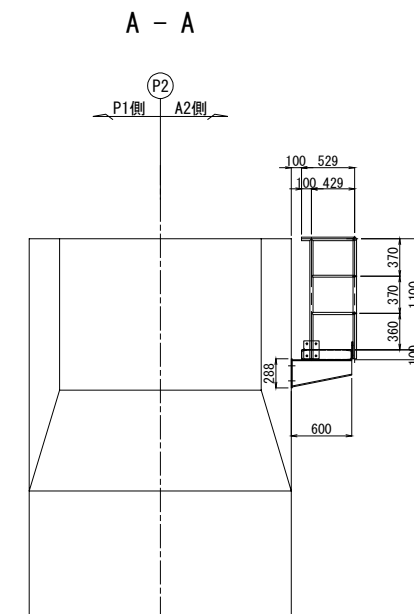
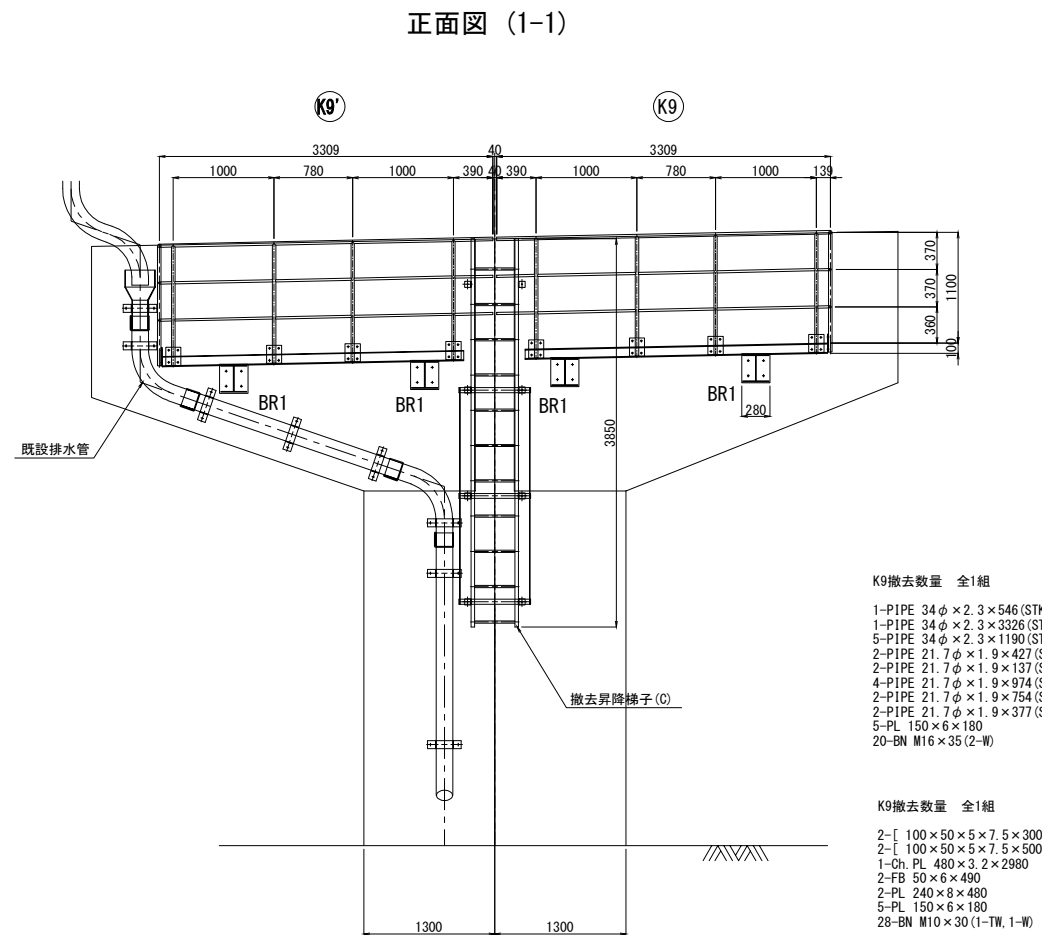
新規昇降梯子 (C) 数量 全1組
6-FB 65×6×484
2-ホールインアンカー M16×100

再利用昇降梯子 (C) 数量 全1組
6-ホールインアンカー M16×100

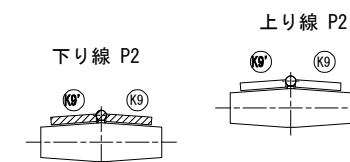
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その11） （参考図）		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

窪河原橋（下り線）撤去・設置工 検査路B詳細図（その12）（参考図）S=1:75

P2橋脚(A2側) 撤去図



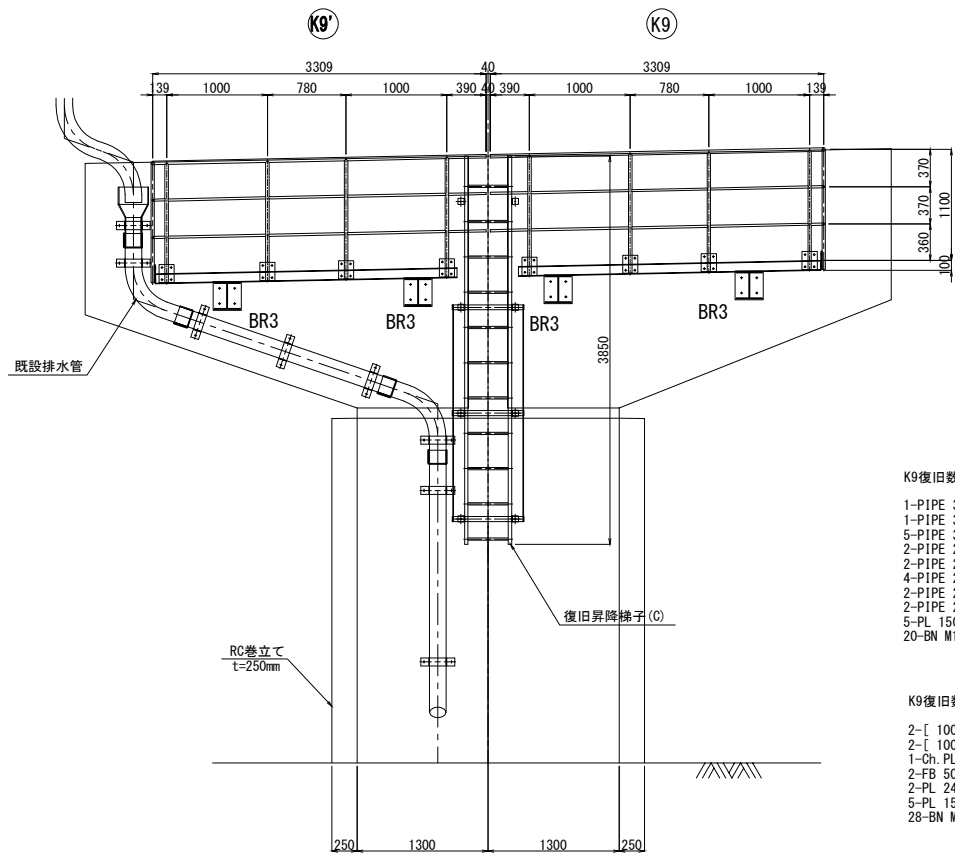
位置図



<p style="text-align: center;">長野自動車道 犀川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工	検査路8詳細図（その12） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P2橋脚 (A2側) 復旧図

正面図 (1-1)



K9' 復旧数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3326 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×427 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×137 (STK400)
4-PIPE 21.7φ×1.9×974 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×754 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×377 (STK400)
5-PL 150×6×180
20-BN M16×35 (2-W)

K9' 復旧数量 全1組

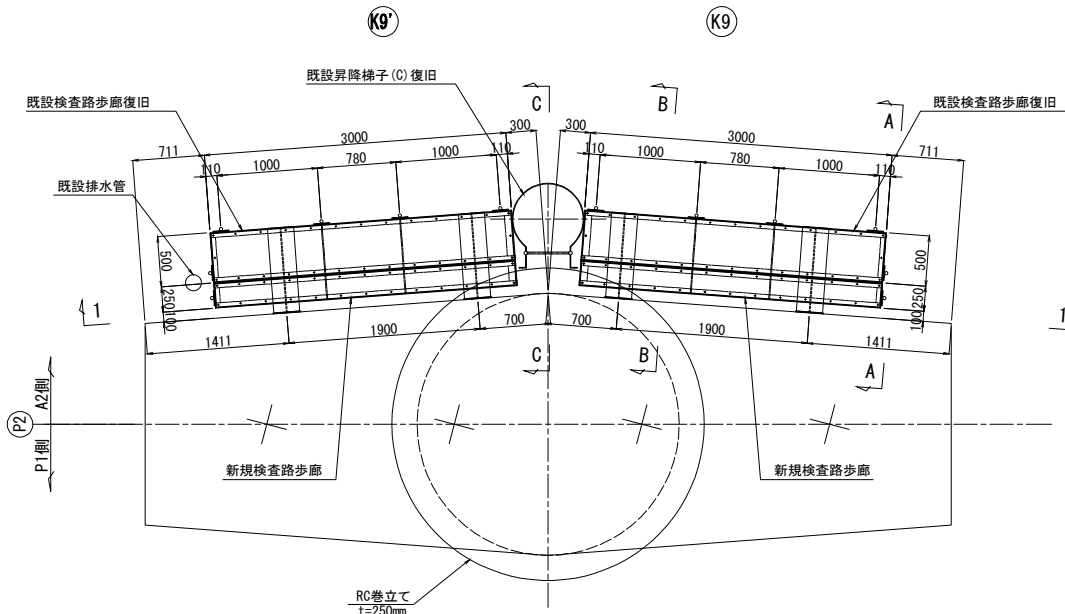
2-[100×50×5×7.5×3000
2-[100×50×5×7.5×500
1-Ch. PL 480×3.2×2980
2-FB 50×6×490
2-PL 240×8×480
5-PL 150×6×180
28-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

再利用ブラケットBR-1 全4組
4-ホールインアンカーM16

新規ブラケットBR-3 全4組

1-PL 260×9×841
1-PL 260×9×847
1-PL 250×9×841
1-PL 280×9×288
8-BN M16×45 (2-W)

平面図



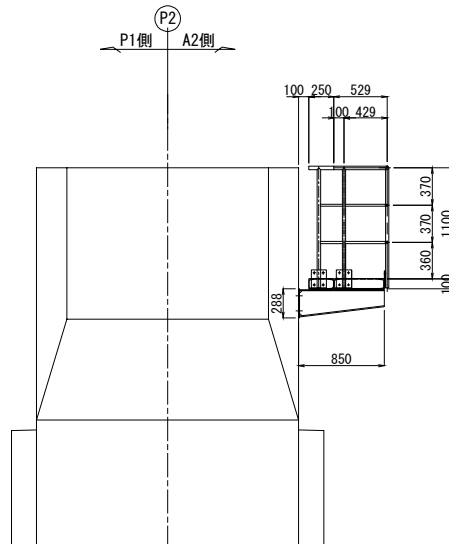
K9' 新規数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×250 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×224 (STK400)
1-PL 150×6×180
4-BN M16×35 (2-W)

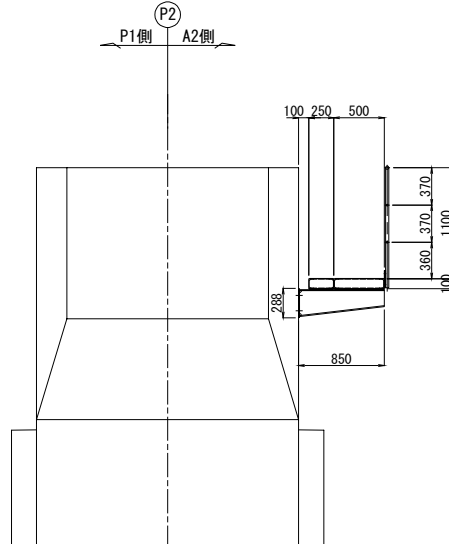
K9' 新規数量 全1組

2-[100×50×5×7.5×3000
2-[100×50×5×7.5×250
1-Ch. PL 230×3.2×2980
2-FB 50×6×240
2-PL 240×8×230
1-PL 150×6×180
26-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

A - A



B - B



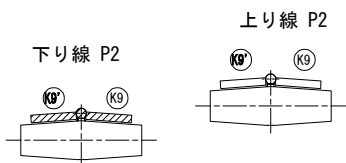
K9' 新規数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×250 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1190 (STK400)
2-PIPE 21.7φ×1.9×224 (STK400)
1-PL 150×6×180
4-BN M16×35 (2-W)

K9' 新規数量 全1組

2-[100×50×5×7.5×3000
2-[100×50×5×7.5×250
1-Ch. PL 230×3.2×2980
2-FB 50×6×240
2-PL 240×8×230
1-PL 150×6×180
26-BN M10×30 (1-TW, 1-W)

位置図

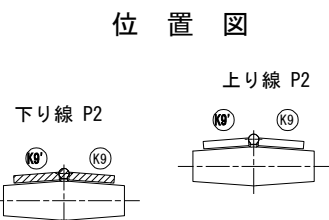
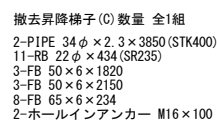


注 記

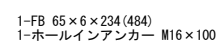
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査路B詳細図（その13） （参考図）	縮 尺	図 示
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所	図面番号	／
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

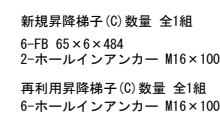
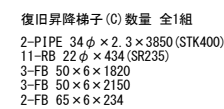
撤去凶



"a" ("b") 部詳細 S=1:12.5

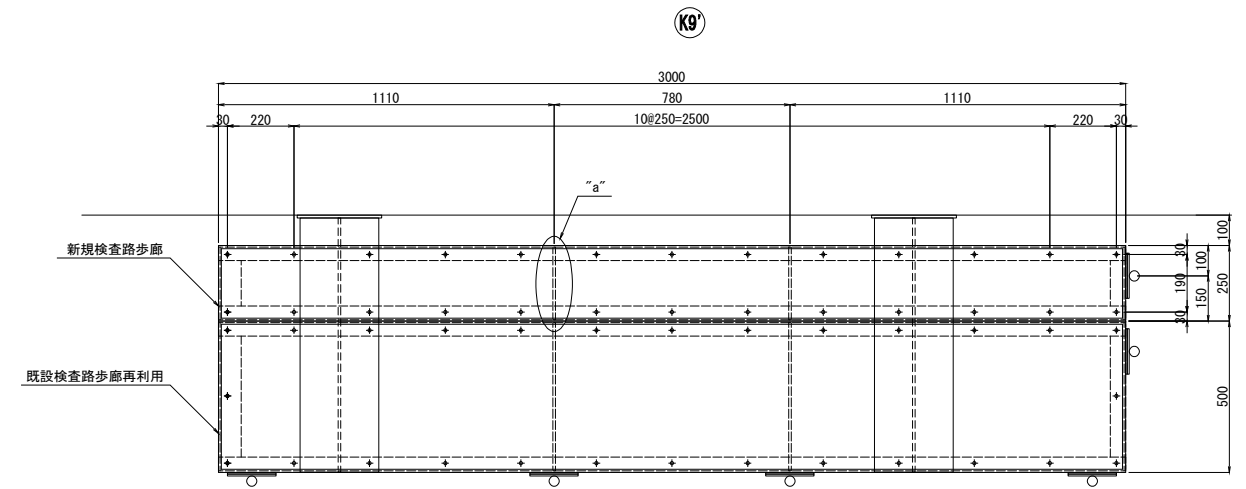


復 旧 図

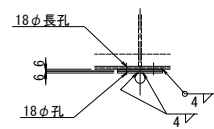


<p align="center">長野自動車道 厩川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工	検査図B詳細図（その14） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新規検査路歩廊詳細図



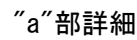
歩廊及び手摺詳細図



注：
 < >：P1、P2の新規検査路部を示す。

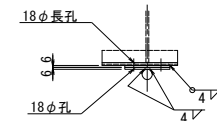
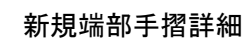
ブラケツ取付部詳細図

P1, P2



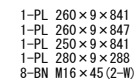
1-PL 240 × 8 × 230

歩廊端部詳細図



新規ブラケット詳細図

BR-3

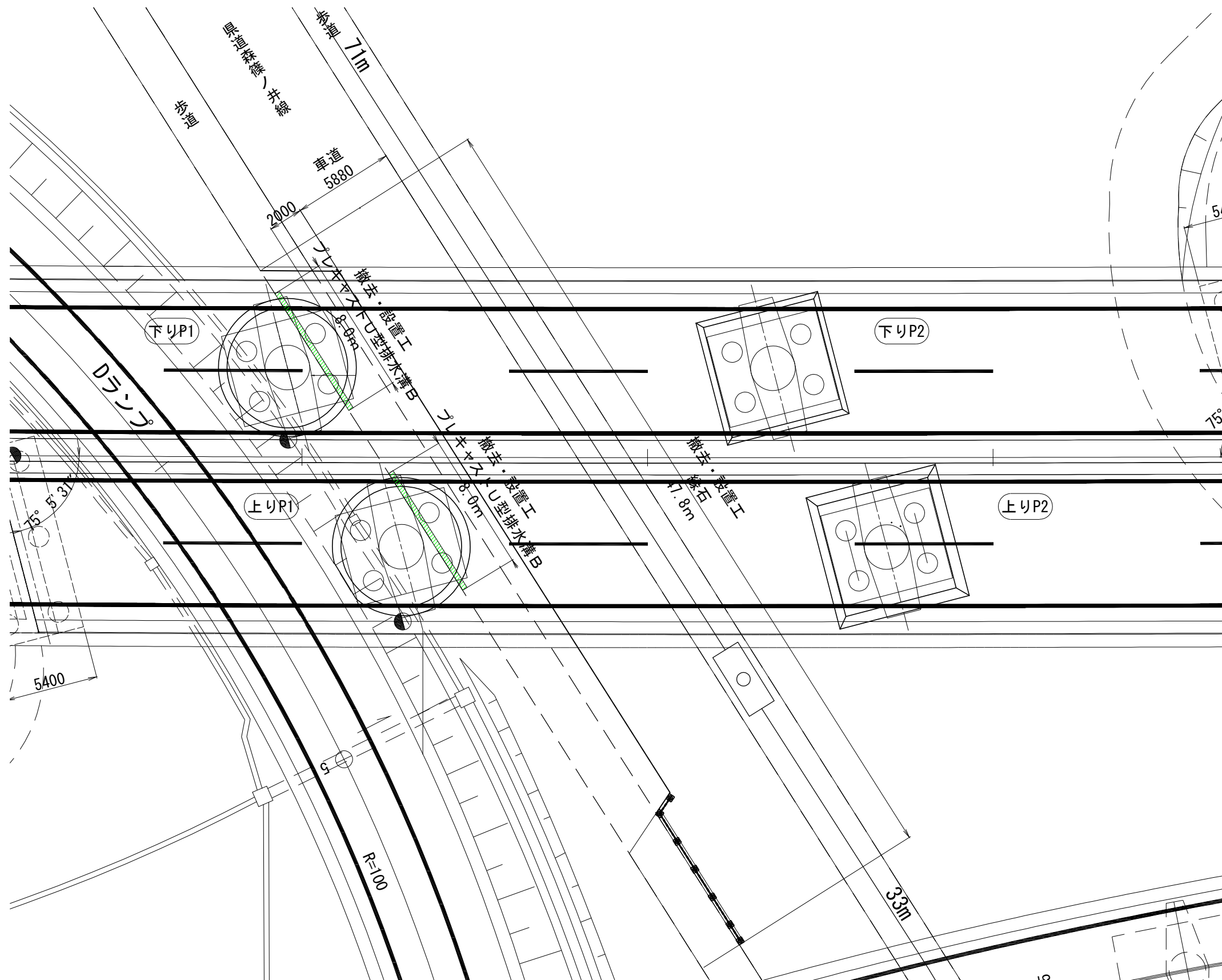


注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行ふものとする。

長野自動車道 犀川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（下り線） 撤去・設置工 検査図8詳細図（その15） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面図 S=1/250



プレキャストU型排水溝B 材料表

項 目	規 格	単位	数量	備 考
歩道用鉄筋コンクリート型側溝		m	16.0	撤去後境内仮置きし、復旧は材料を再利用
プレキャスト鉄筋コンクリート型用溝蓋		個	27.0	撤去後境内仮置きし、復旧は材料を再利用
調整モルタル	1:3モルタル t=30mm	m ³	0.1	撤去後処分し、復旧は新材を使用
基礎材	RC-40 t=100mm	m ³	0.8	撤去後境内はつづけ、復旧は新材を使用

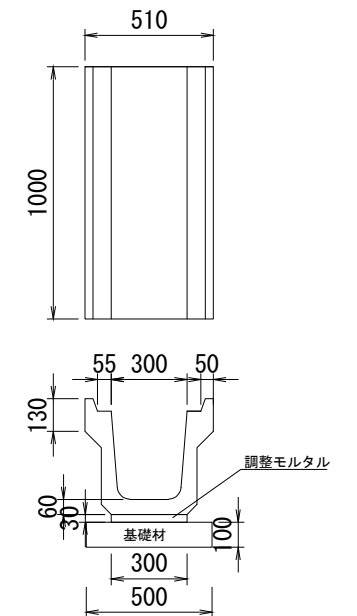
綠石 材料表

項 目	規 格	単位	数量	備 考
緑 石	歩道境界ブロック C	m	47.6	撤去後場内仮置きし、復旧は材料を再利用
調整丸タタ	1:3モルタル t=10mm	m ³	0.1	撤去後処分し、復旧は新材を使用

プレキャストU型用排水工B 詳細図

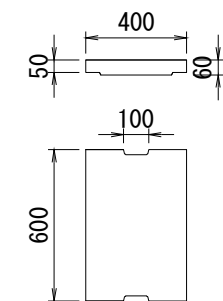
$$S=1/30$$

歩道用鉄筋コンクリートU型側溝



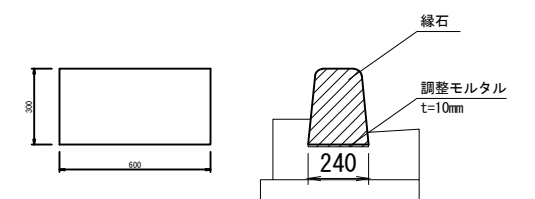
参考重量：177kg/個

プレキャスト鉄筋コンクリートU型用溝蓋



参考重量：34kg/個

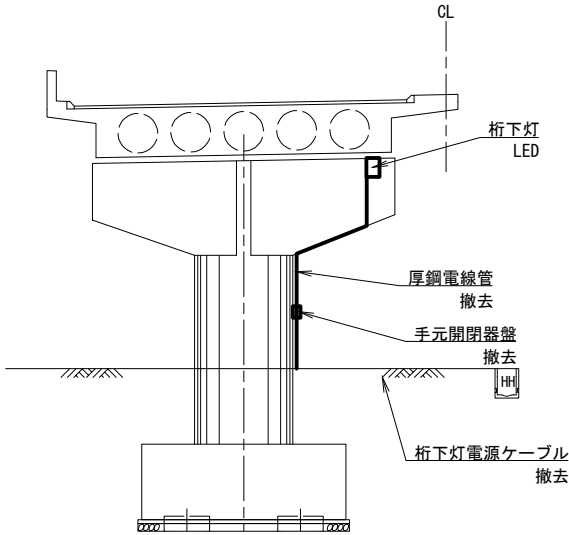
縁石 詳細図 S=1/30



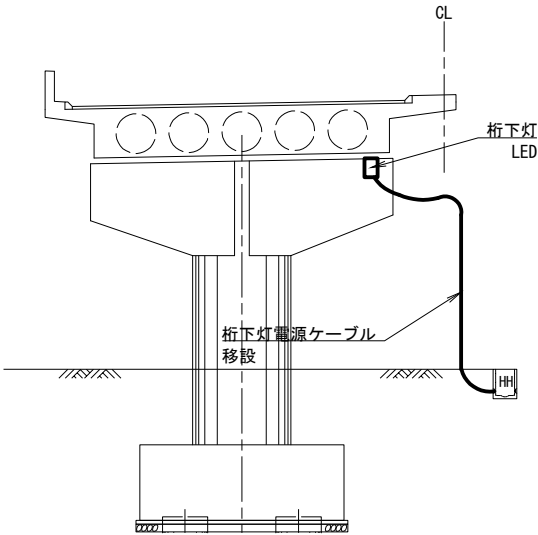
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上・下線）撤去・設置工 プレキャストU型用排水溝B・緑工詳細図 （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下り線 P1橋脚

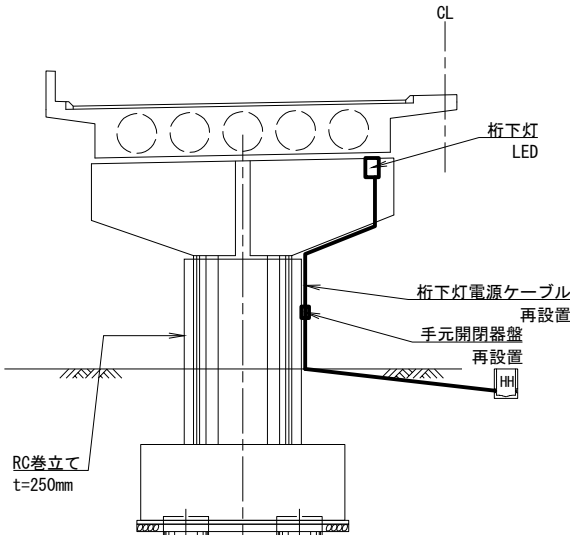
撤去 側面図



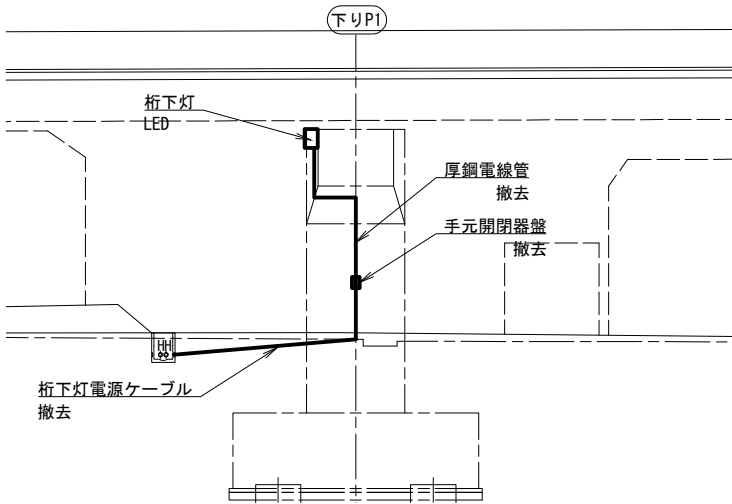
移設 側面図



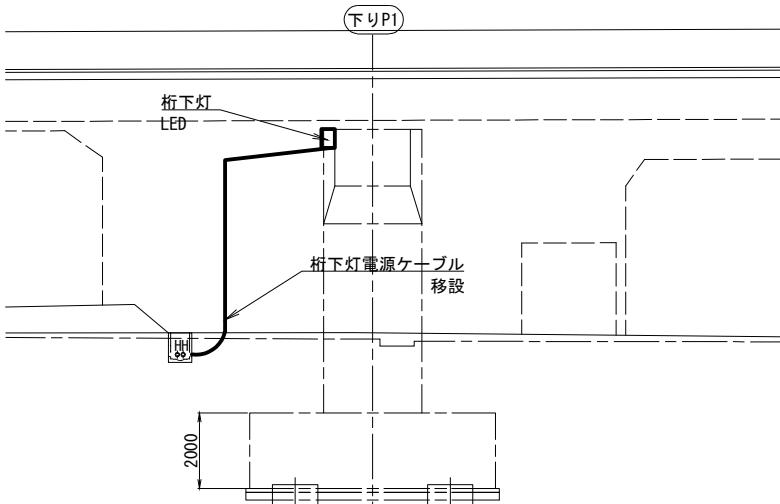
復旧 側面図



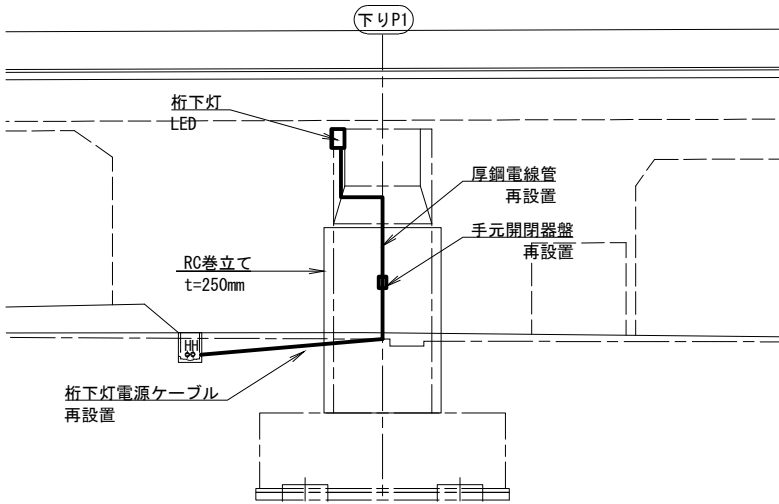
撤去 断面図



移設 断面図



復旧 断面図



撤去数量表

種別	規格	単位	数量	備 考
電源ケーブル	SC-VVR5. 5-4C+1C, A-3, 5sq	m	12.0	撤去後、移設に使用
厚鋼電線管	G22	m	7.0	撤去後、場内仮置き
手元開閉器盤		個	1.0	撤去後、場内仮置き

移設数量表

種別	規格	単位	数量	備 考
電源ケーブル	SC-VVR5. 5-4C+1C, A-3, 5sq	m	12.0	掘削影響範囲外へ移設

復旧数量表

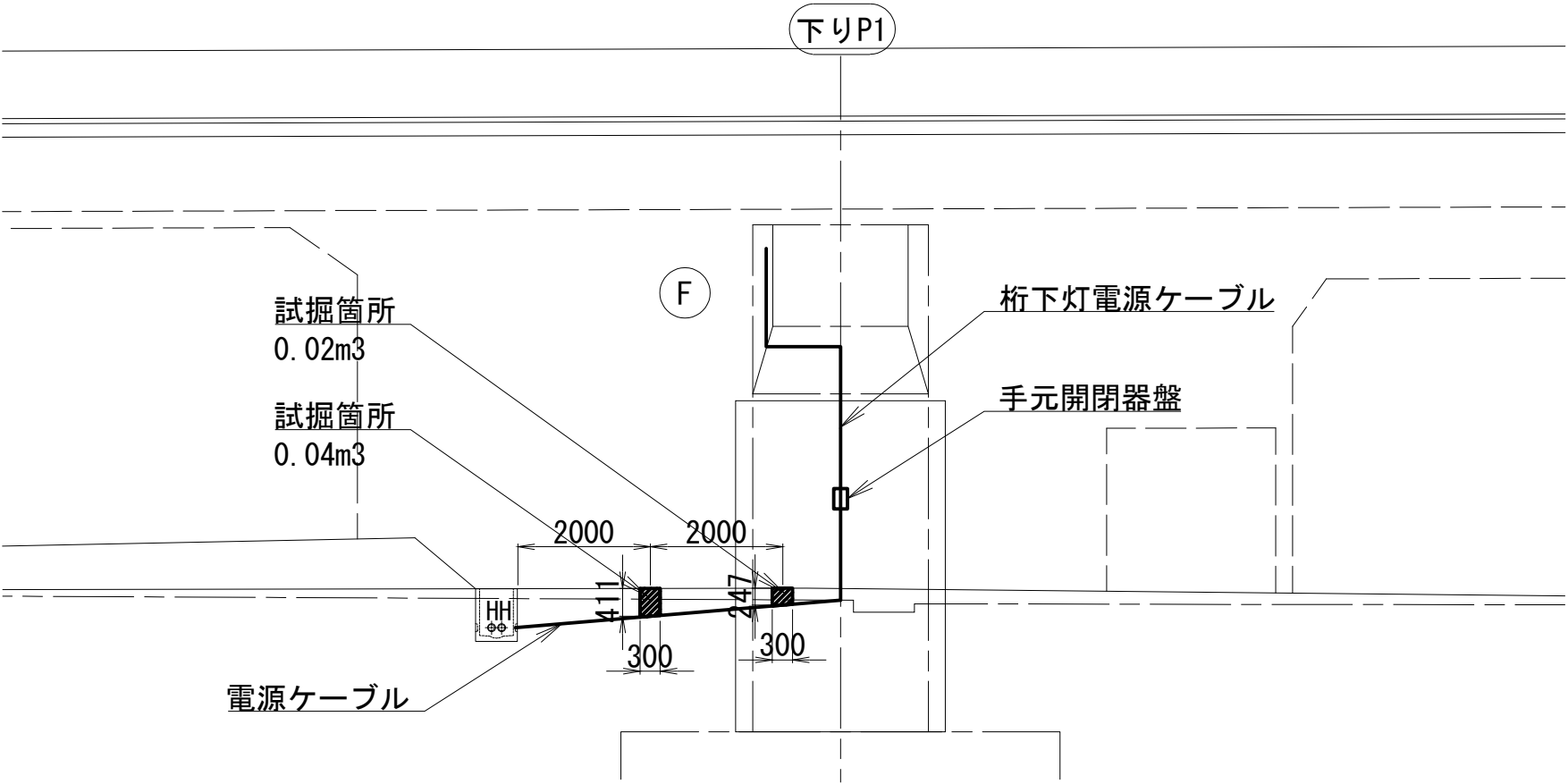
種別	規格	単位	数量	備 考
電源ケーブル	SC-VVR5. 5-4C+1C, A-3, 5sq	m	12.0	RC巻立て後、現況復旧
厚鋼電線管	G22	m	7.0	RC巻立て後、現況復旧
手元開閉器盤		個	1.0	RC巻立て後、現況復旧

注記
移設・復旧後に柵下灯の点灯確認を行わなければならない

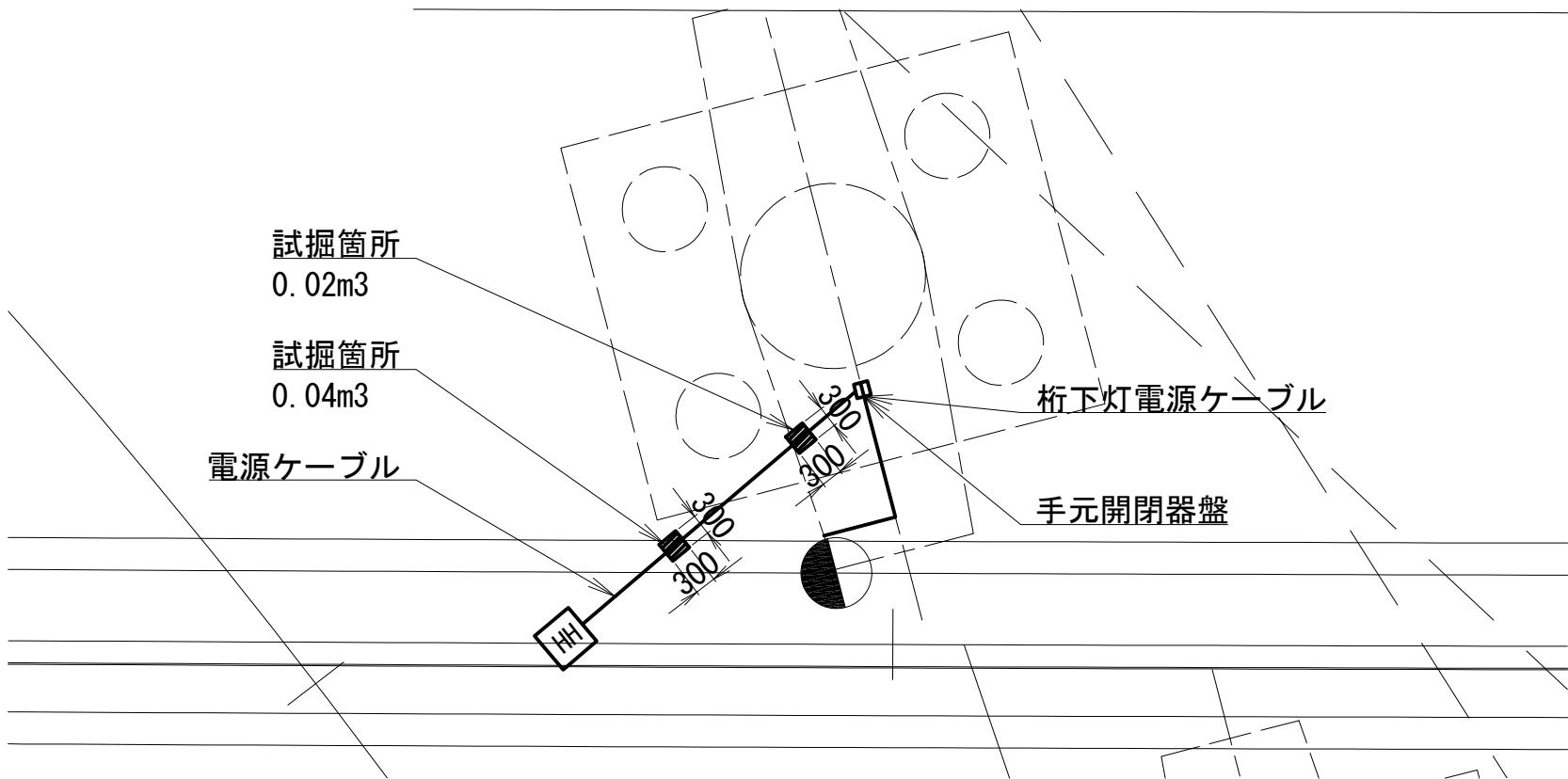
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	窪河原橋 下り線 P1橋脚 撤去設置工 電源ケーブル詳細図 (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

P 1 橋脚 電源ケーブル試掘

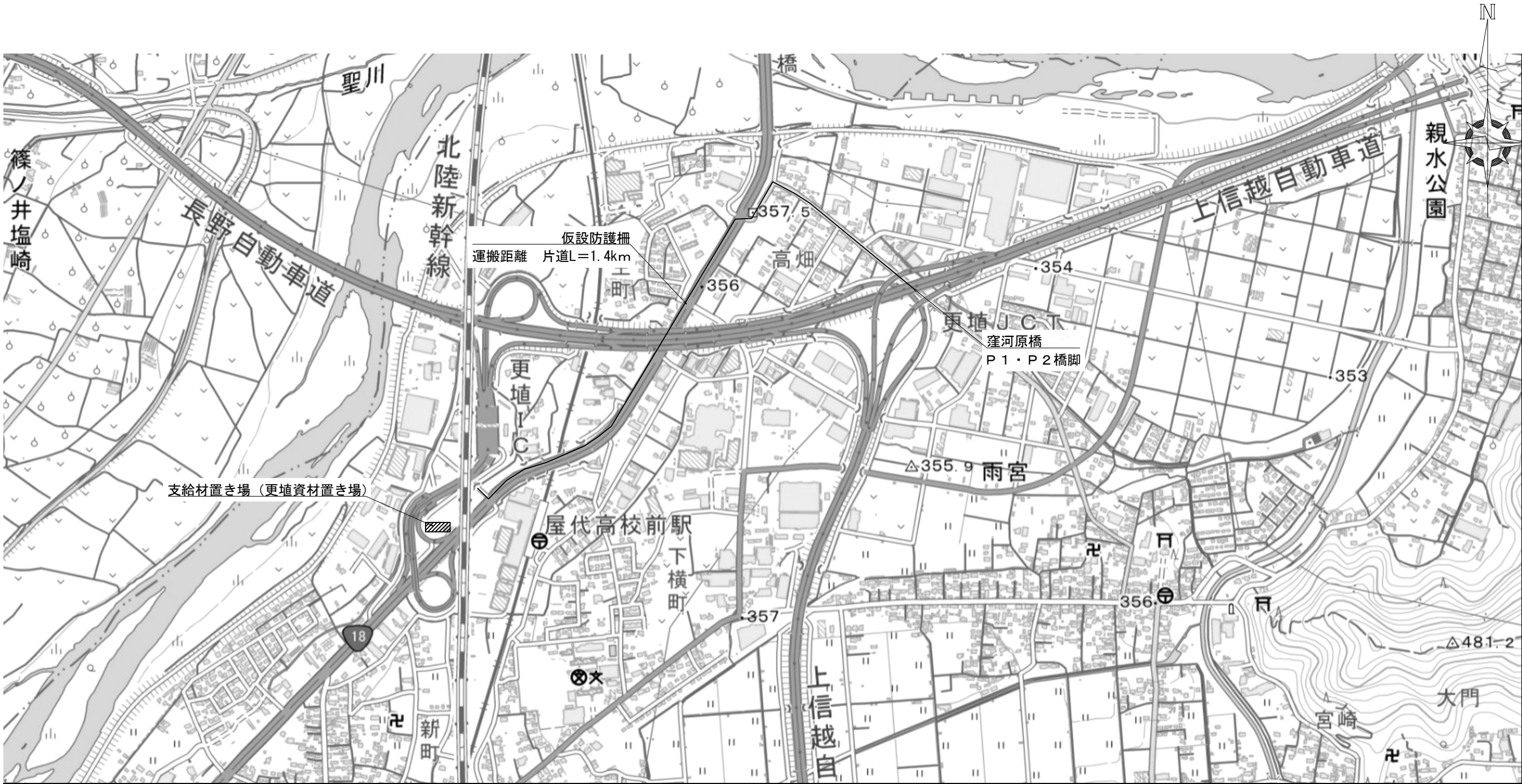
側面図



平面図



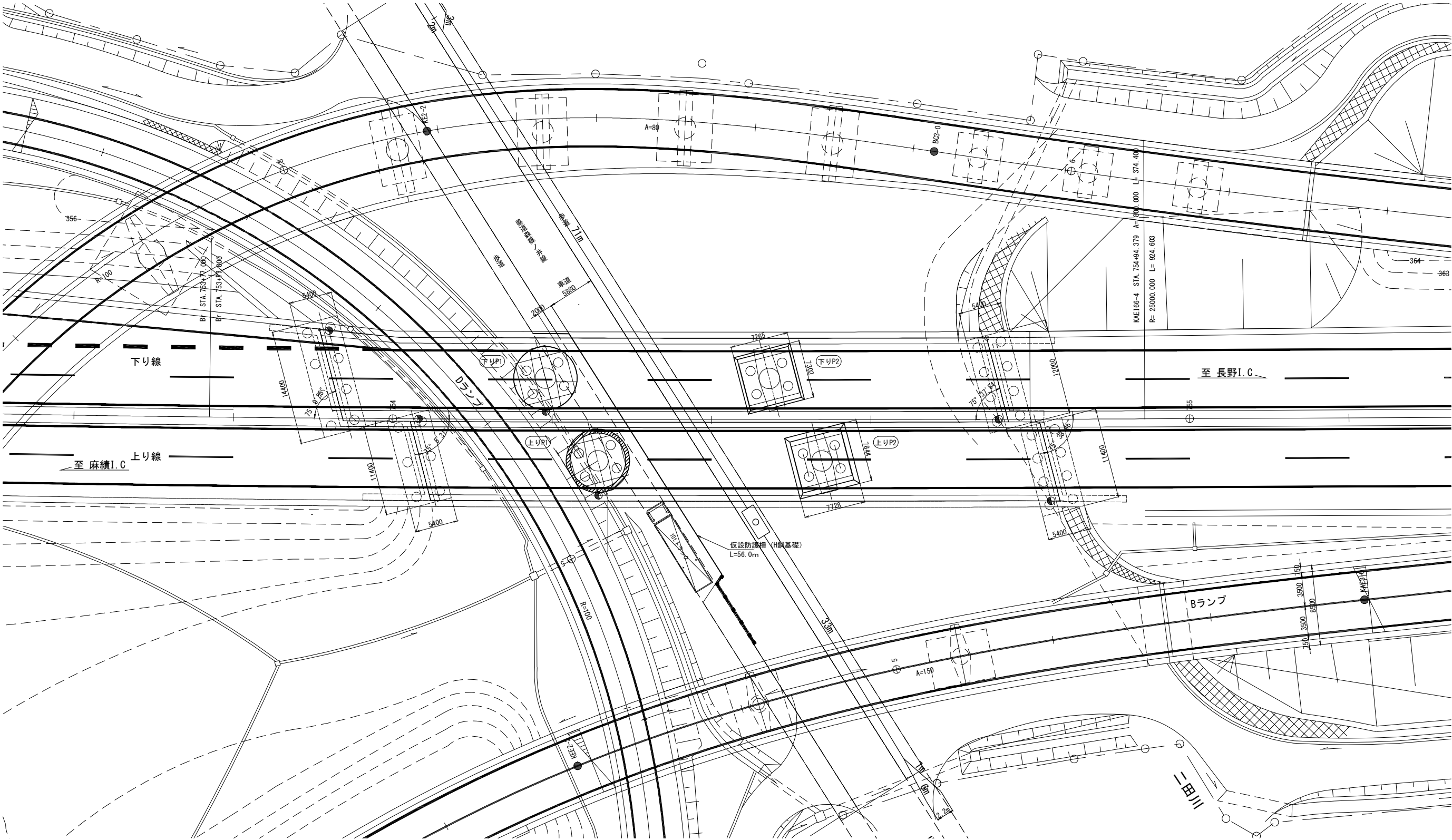
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋 下り線 試掘工B詳細図 (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



「出典：国土地理院ウェブサイト (https://maps.gsi.go.jp/#16/36.550362/138.137412/&base=std&is=std&disp=1&vs=c0g1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0)」

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋 支給材置き場位置図(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

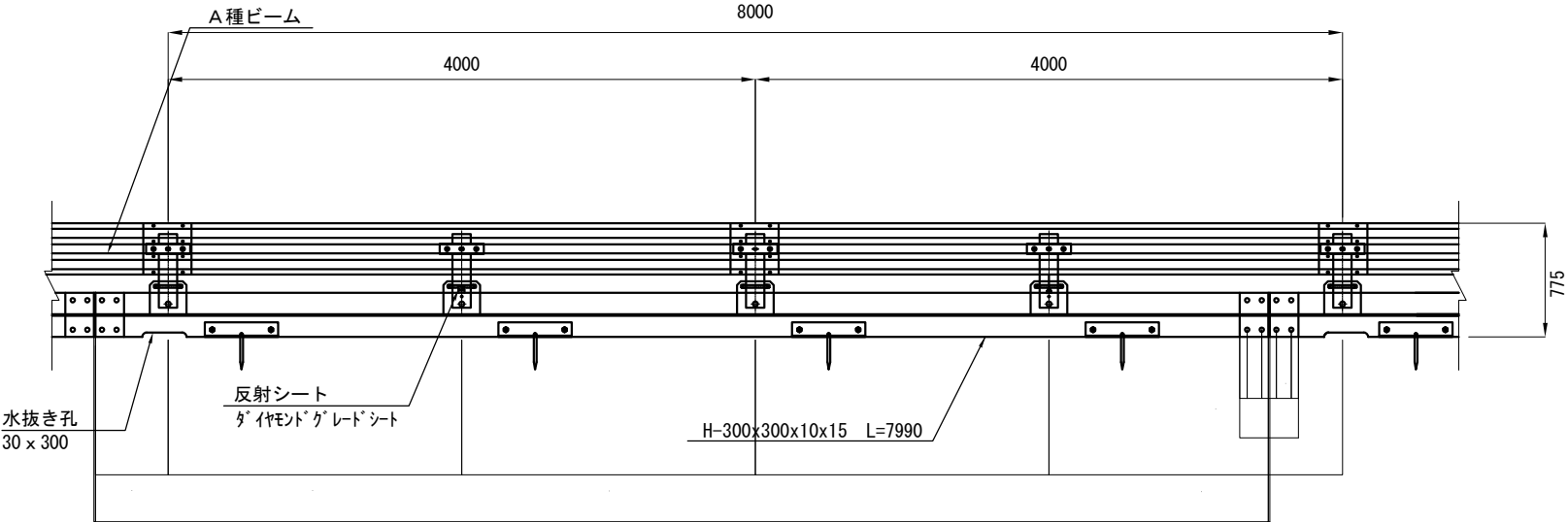
平面図 S=1/500



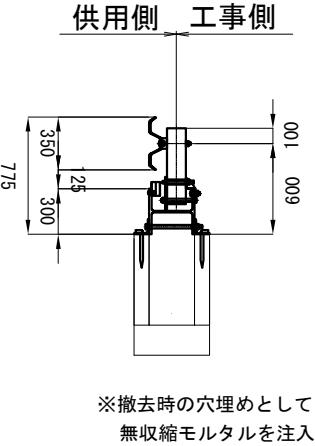
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上下線） 仮設防護柵設置撤去図（その１）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

仮設防護柵（H鋼基礎） S=1/50

側面図



断面図

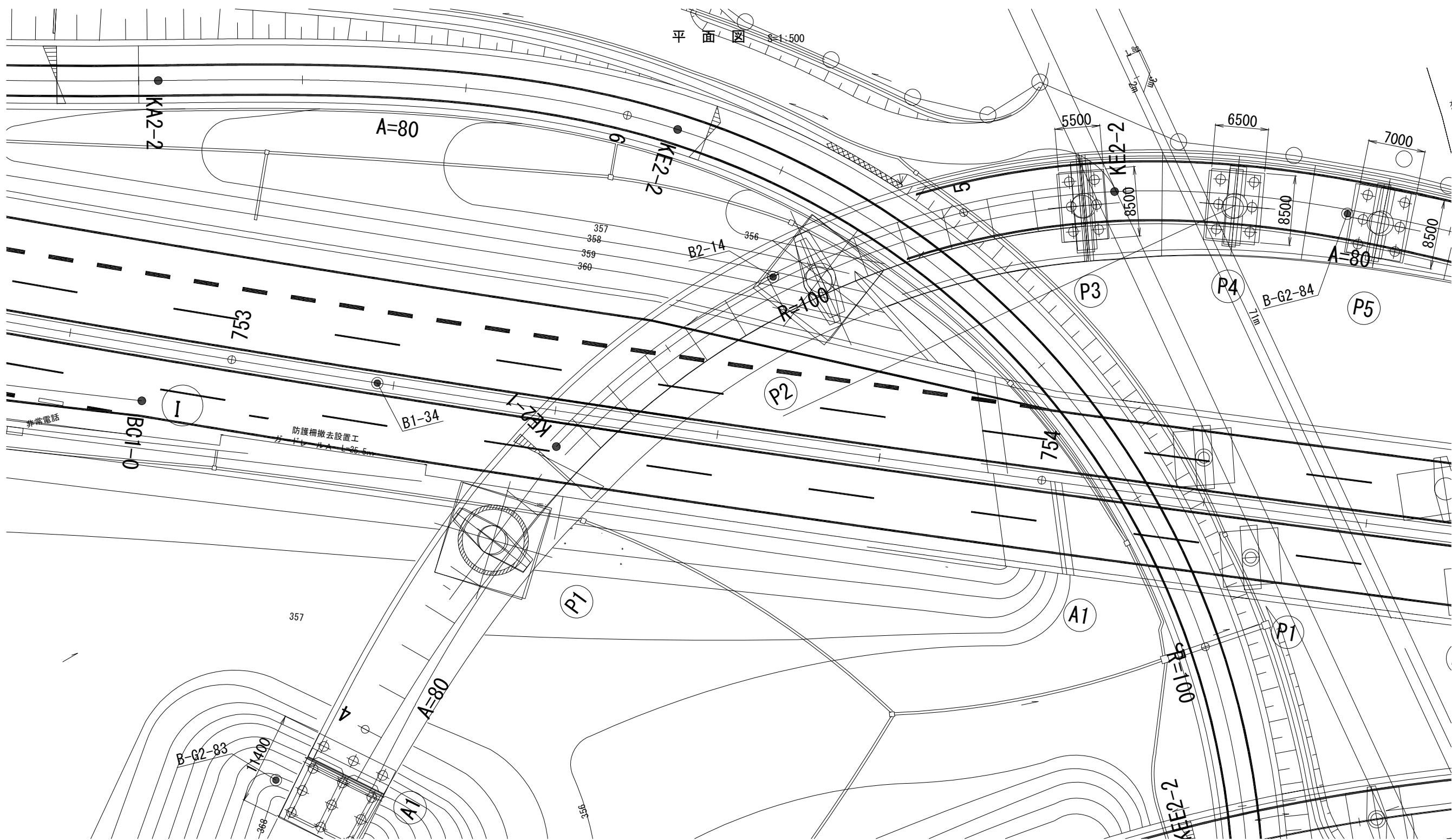


仮設防護柵 材料表 (8m当り)

名 称	部 材	数 量	単 位	摘 要
ガードレール	A種	2	枚	支給品
ガードレール支柱	□125x125x4.5x500	4	本	支給品
ガードレールブラケット	t 6 x 70 x 300	4	個	支給品
ブラケット取付ボルト	M20x160	4	本	支給品
ビーム継合用ボルト	M16x35	24	本	支給品
H型鋼	H300x300x10x15x7990	1	本	支給品
ジョイントプレート	t12x300x400	2	本	支給品
ジョイント用ボルト	M20x360	8	本	支給品
ポストベースプレート	t12x225x250	4	枚	支給品
ポスト固定プレート	t6x230x125x57	4	枚	支給品
ポスト固定ボルト	M20x190x160x190	4	本	支給品
ポスト固定プレート取付ボルト	M20x50	8	本	支給品
ポスト主軸ボルト	M20x220	4	本	支給品
アンカー用アングル	t10x100x100x500	8	本	支給品
アングル取付ボルト	M20x360	8	本	支給品
アンカーピン	φ19x250x50	8	本	購入品
無収縮モルタル		0.1	m ³	購入品

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	窪河原橋（上下線） 仮設防護柵設置撤去図（その2）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

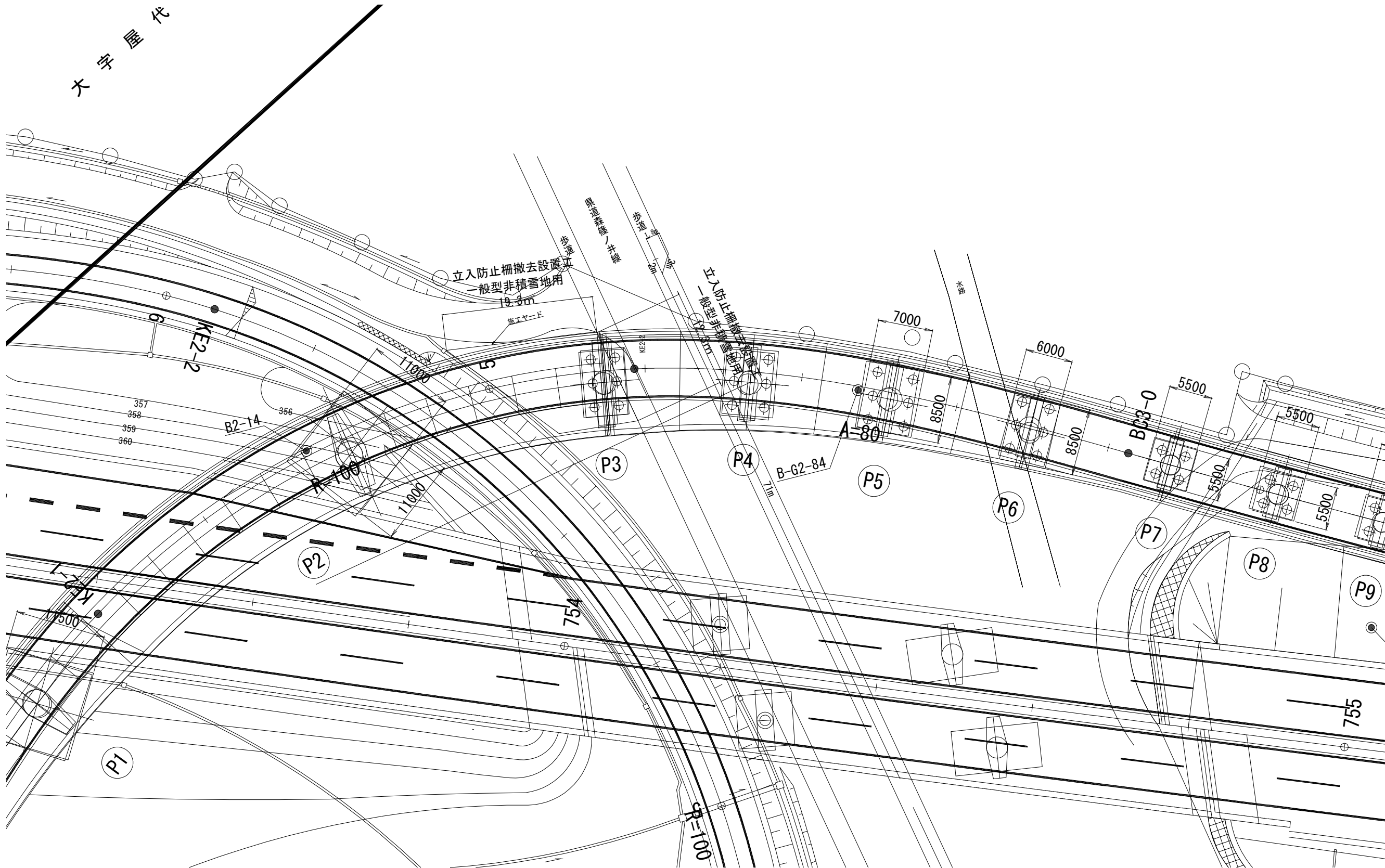
更埴 J C T－C ランプ橋



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 防護柵撤去設置図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

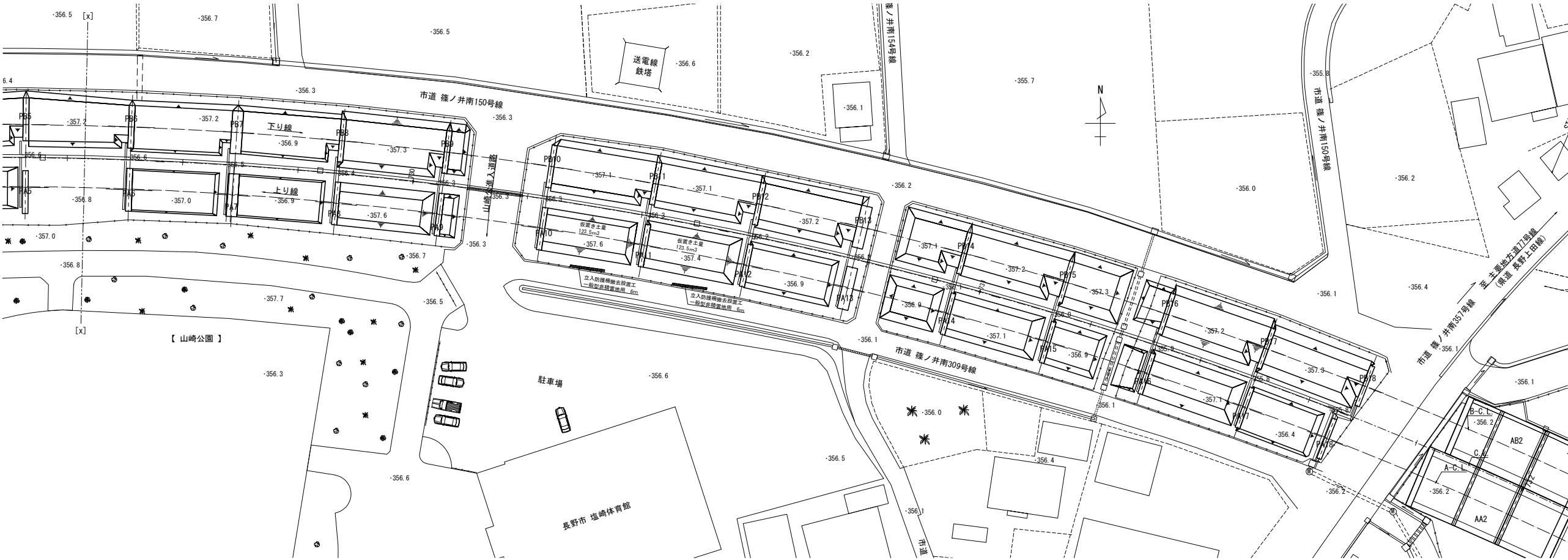
更埴JCT-Cランプ橋 立入防止柵撤去設置図（その1）（参考図）

更埴JCT-Cランプ橋 P 3 橋脚
平面図 S=1:500



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 立入防止柵撤去設置図(その1)（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

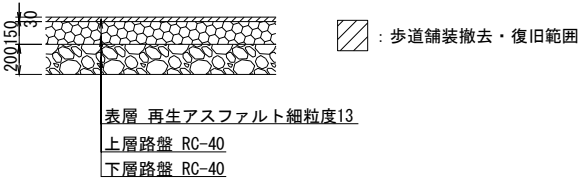
山崎高架橋（上り線）PA10橋脚～PA11橋脚



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 立入防止柵撤去設置図（その2）（参考図）		
縮 尺	1:800	図面番号	／
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

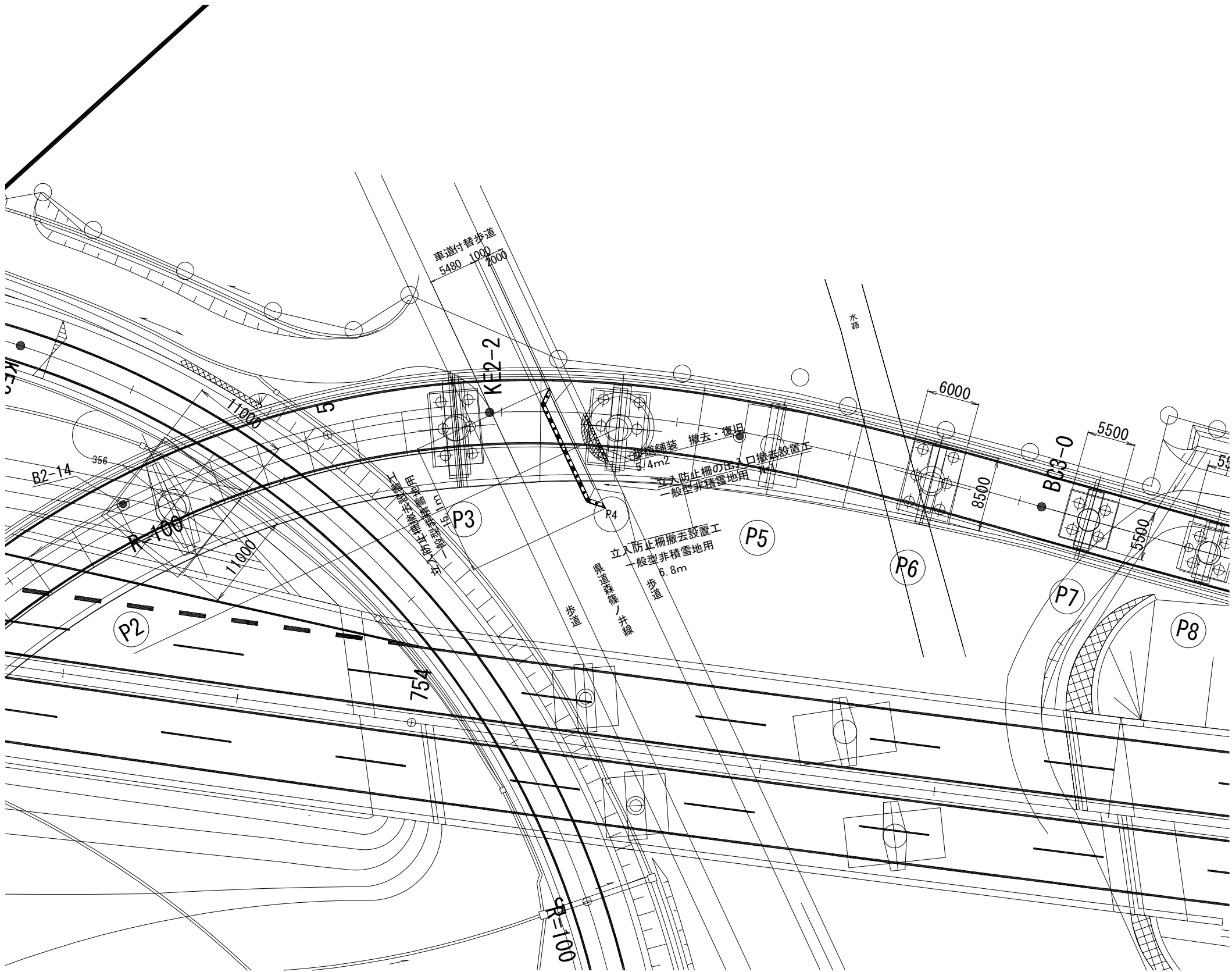
P 4 橋脚
平 面 図 S=1:500

歩道舗装構成 撤去復旧 S=1/50



P 4 橋脚 歩道舗装撤去復旧 数量表

単価項目	形状・規格	単位	数量	備考
アスファルト舗装版取壊しTypeB	t=3cm	m ²	5.4	カッター 6.8m含む
切込砕石路盤工 (t=20cm)	RC-40	m ²	5.4	
切込砕石路盤工 (t=15cm)	RC-40	m ²	5.4	
加熱アスファルト表層工 (t=3cm)	再生As細粒度13mm	m ²	5.4	瀝青材含む



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 立入防止柵撤去設置・舗装撤去復旧図(その1) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P 6・P 8・P 9 橋脚
平 面 図 S=1:500

側道舗装構成 撤去復旧 S=1/50

200 100 40

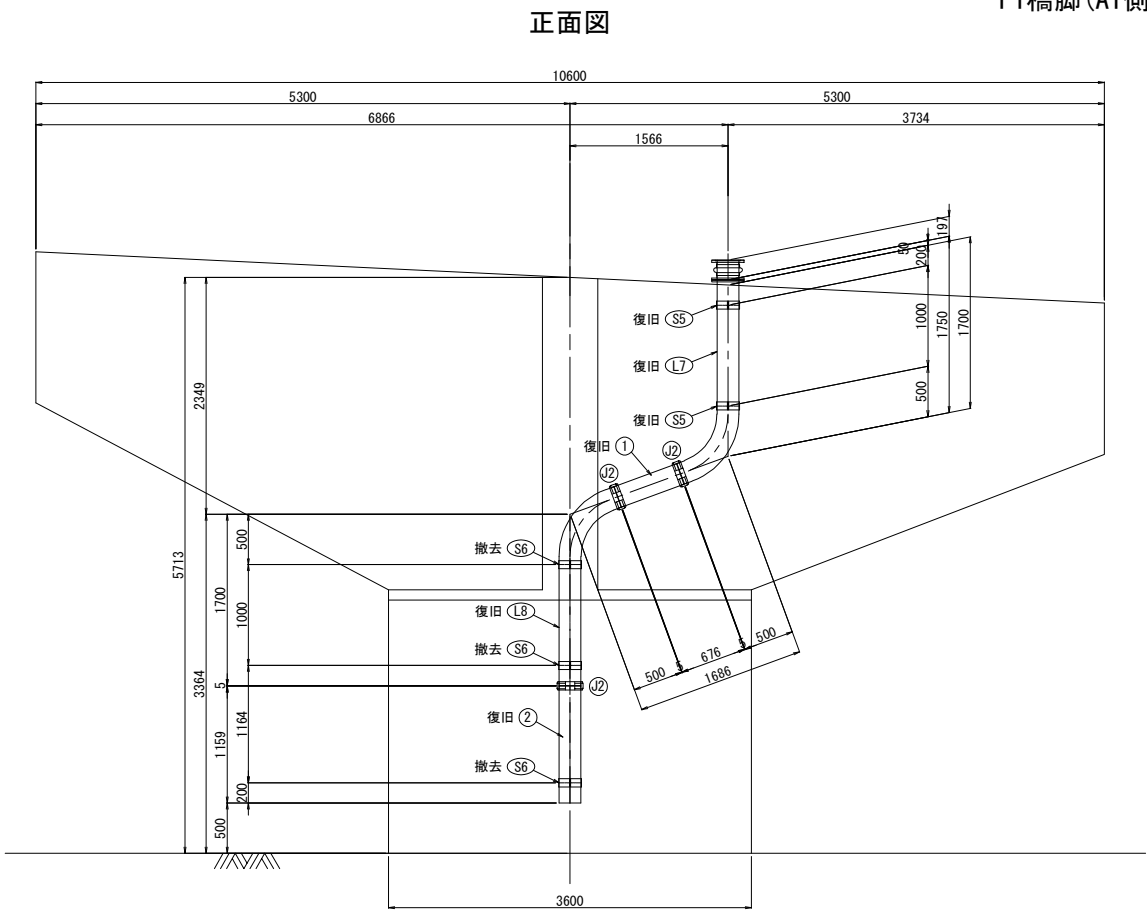
表層：As再生密粒13mm (F)
上層路盤：粒調砕石 M-25
下層路盤：再生クラッシャーラン RC-40

P 8 橋脚 舗装撤去復旧 数量表

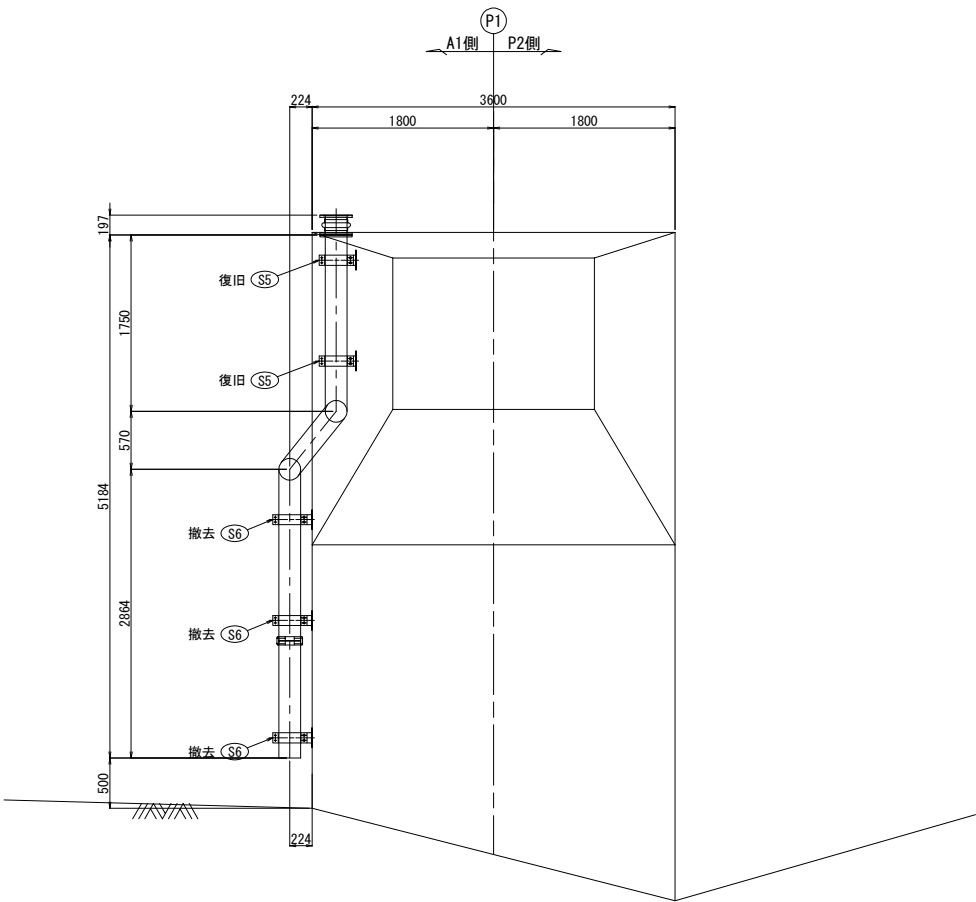
単価項目	形状・規格	単位	数量	備考
アスファルト舗装版取壊しTypeA	t=4cm	m ²	5.6	カッター 6.9m含む
切込砕石路盤工 (t=20cm)	RC-40	m ²	5.6	
切込砕石路盤工 (t=10cm)	M-25	m ²	5.6	
加熱アスファルト表層工 (t=4cm)	再生As細粒度13mm	m ²	5.6	遅青材含む

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事				
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 立入防止柵撤去設置・舗装撤去復旧（その2） （参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

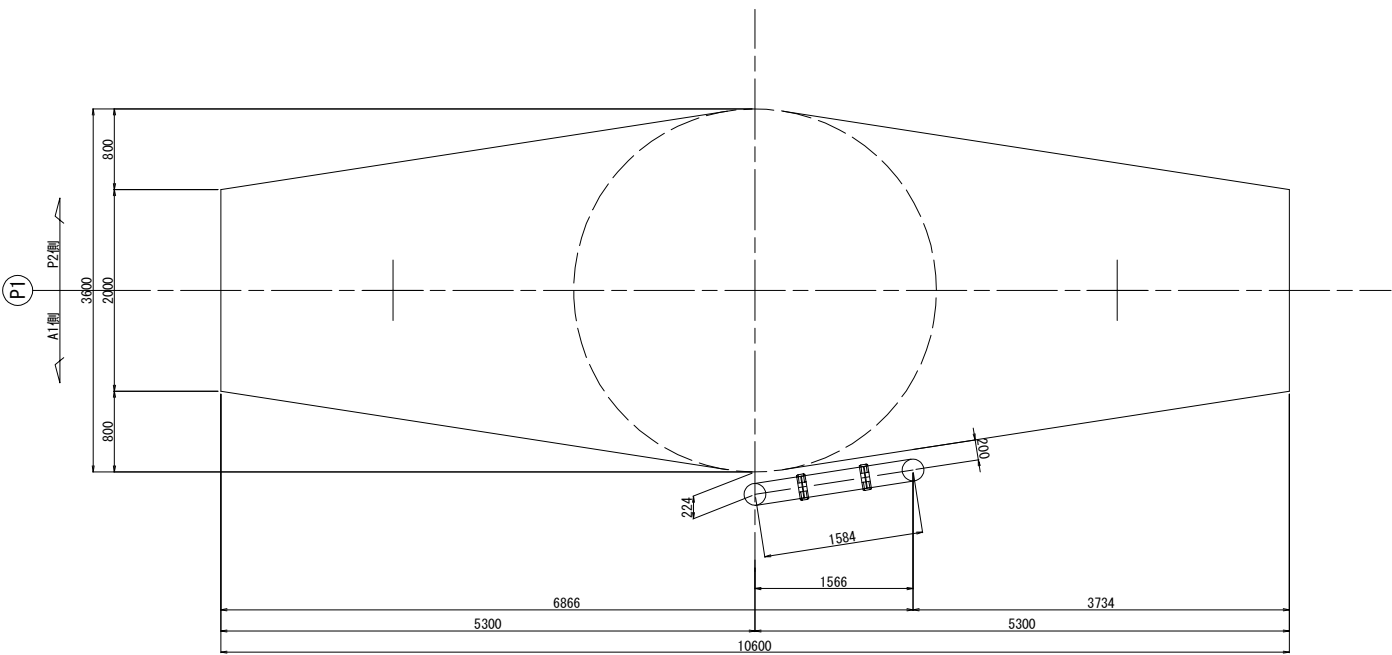
P1橋脚 (A1側) 撤去図



側面図



平面図



撤去数量

取付金具

3 - S6

復旧数量

直管 (SGP管)

* ① 1 - SGP 200A x 676

* ② 1 - SGP 200A x 1159

加工管

* 1 - L7

* 1 - L8

取付金具

* 2 - S5

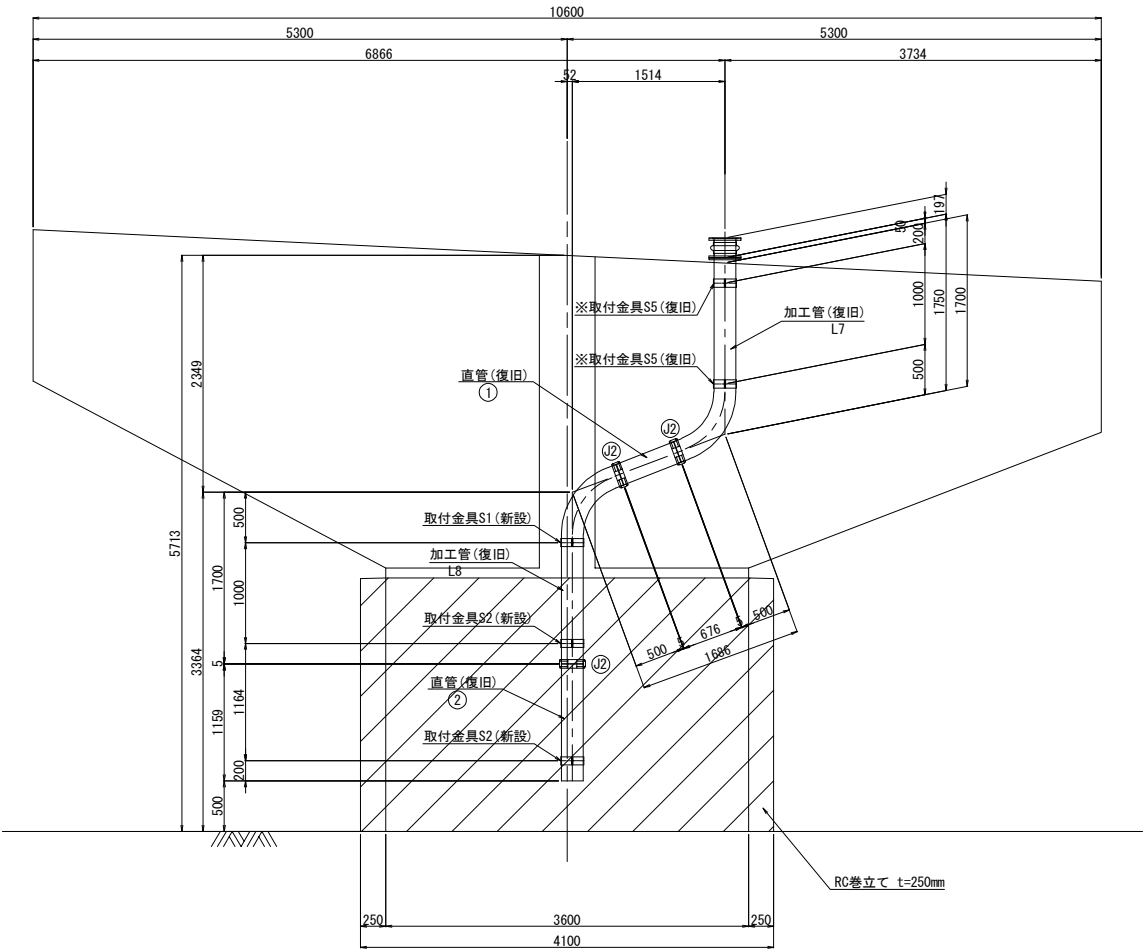
* 3 - 可とう継手 (200A) (J2)

注記)
1 . 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2 . *印は復旧部材を示す。

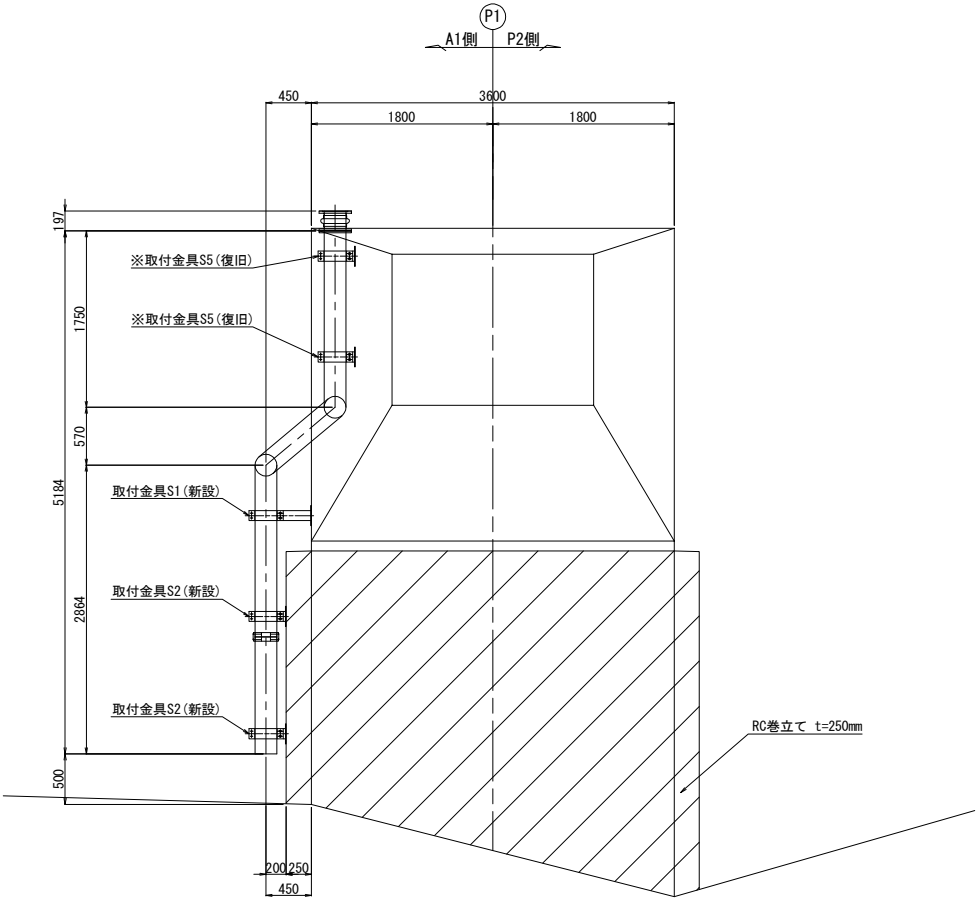
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その1） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

正面図

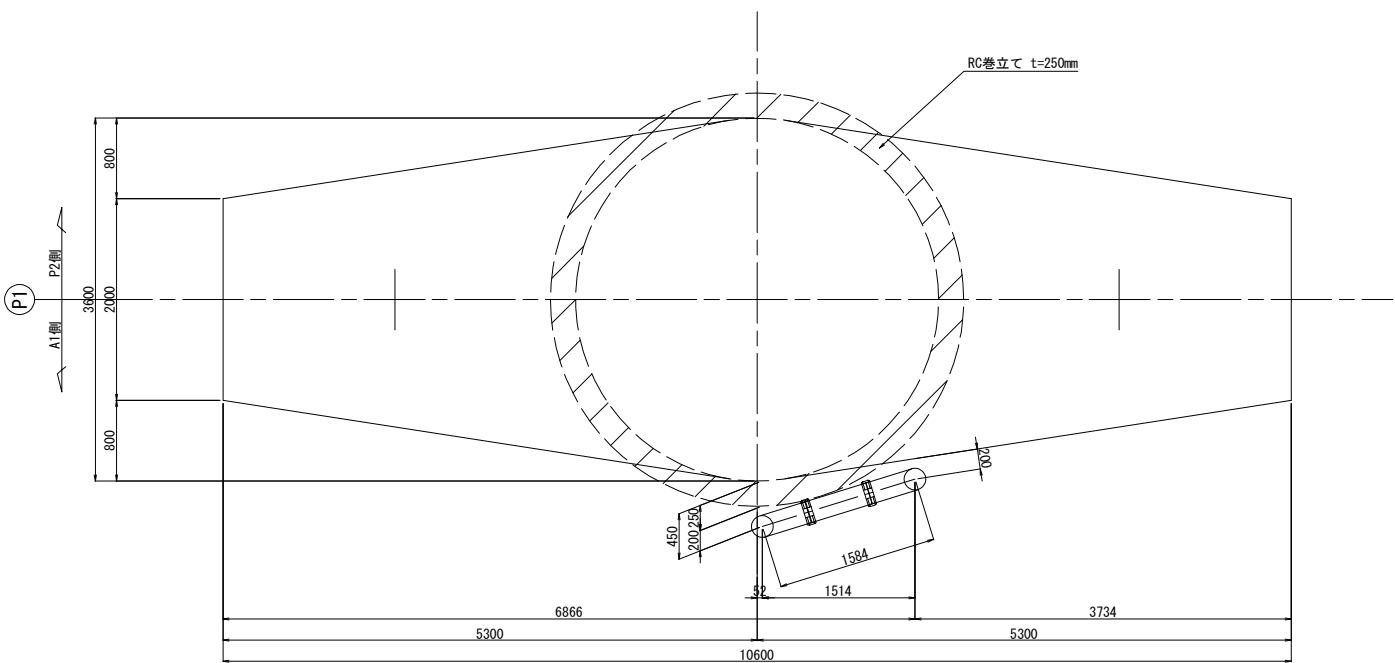
P1橋脚 (A1側) 復旧図



側面図



平面図



- 復旧数量
- 直管 (SGP管)
- ① 1 - SGP 200A x 676
- ② 1 - SGP 200A x 1159
- 加工管
- 1 - L7
- 1 - L8
- 取付金具
- 2 - S5
- 3 - 可とう継手 (200A) (J2)

- 新設数量
- 取付金具
- 1 - S1
- 2 - S2

注記)

1 . 特記なき材質は全てSS400とする。

2 . 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。

付着量は、JIS H8641 によるものとする。

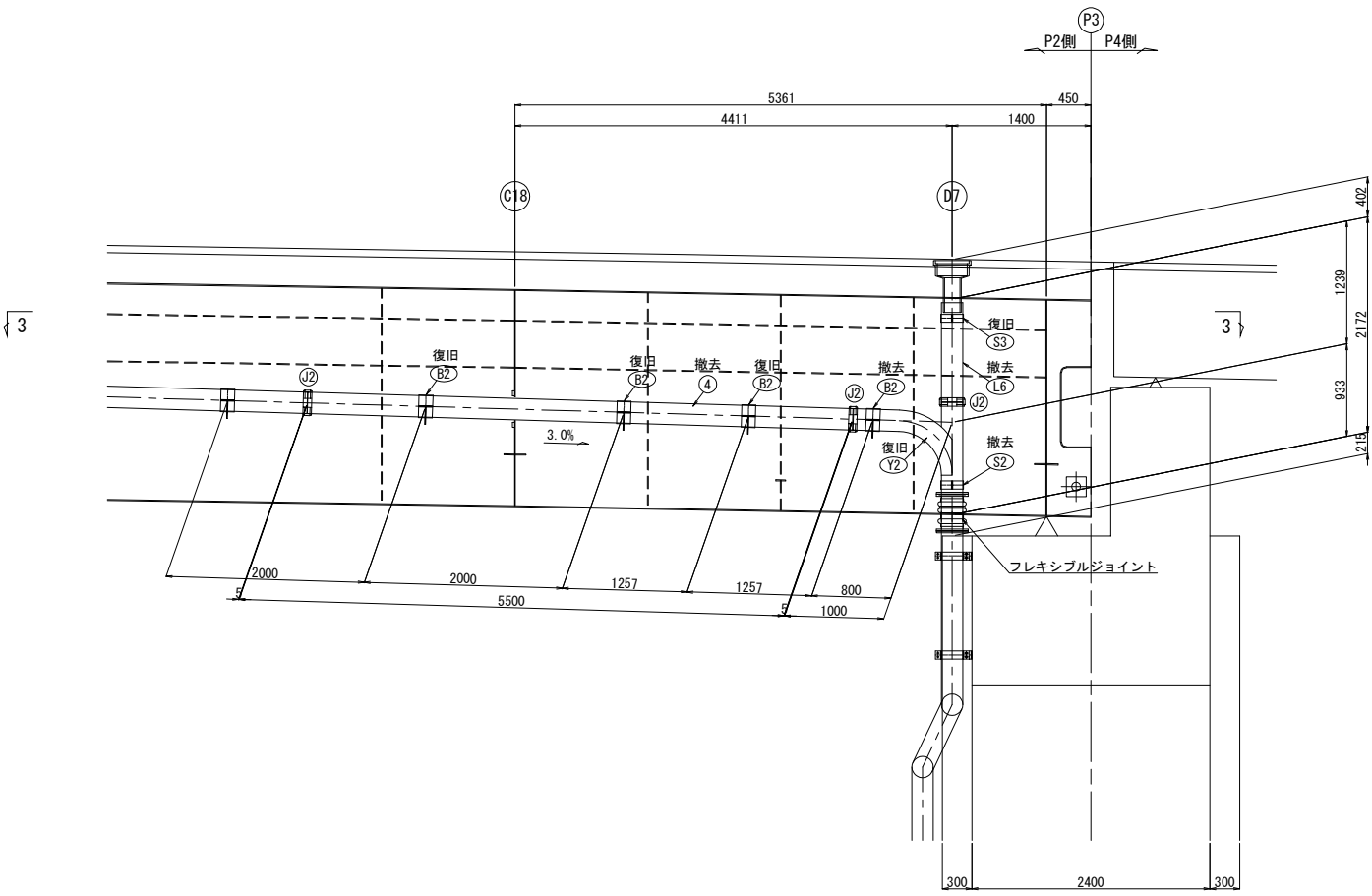
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。

3 . ※印は既設アンカー再利用を示す。

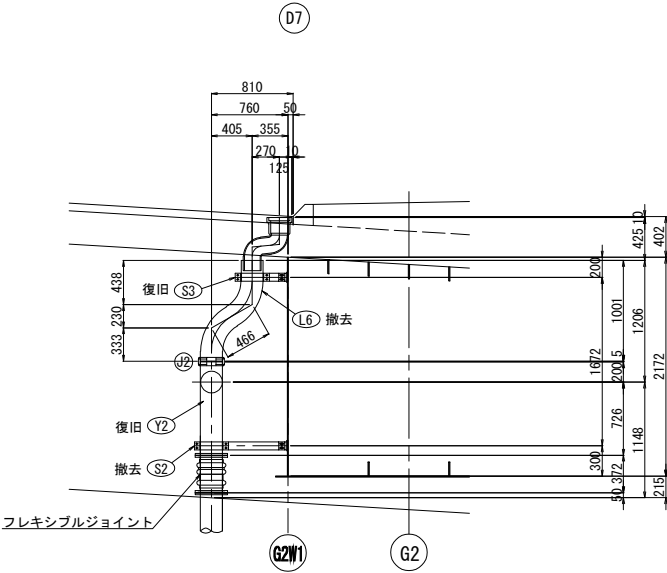
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その2） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚(P2側) 撤去図

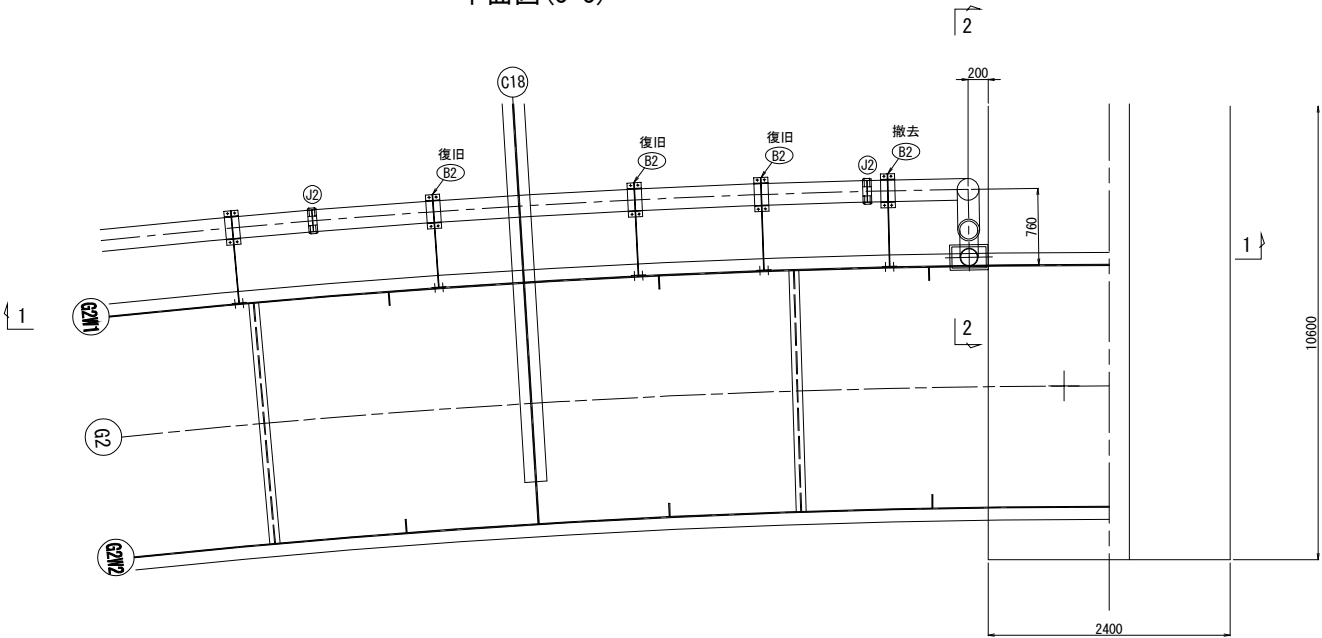
側面図(1-1)



断面図(2-2)



平面図(3-3)



撤去数量
直管 (SGP管)
④ 1 - SGP 200A x 5500

加工管
1 - L6

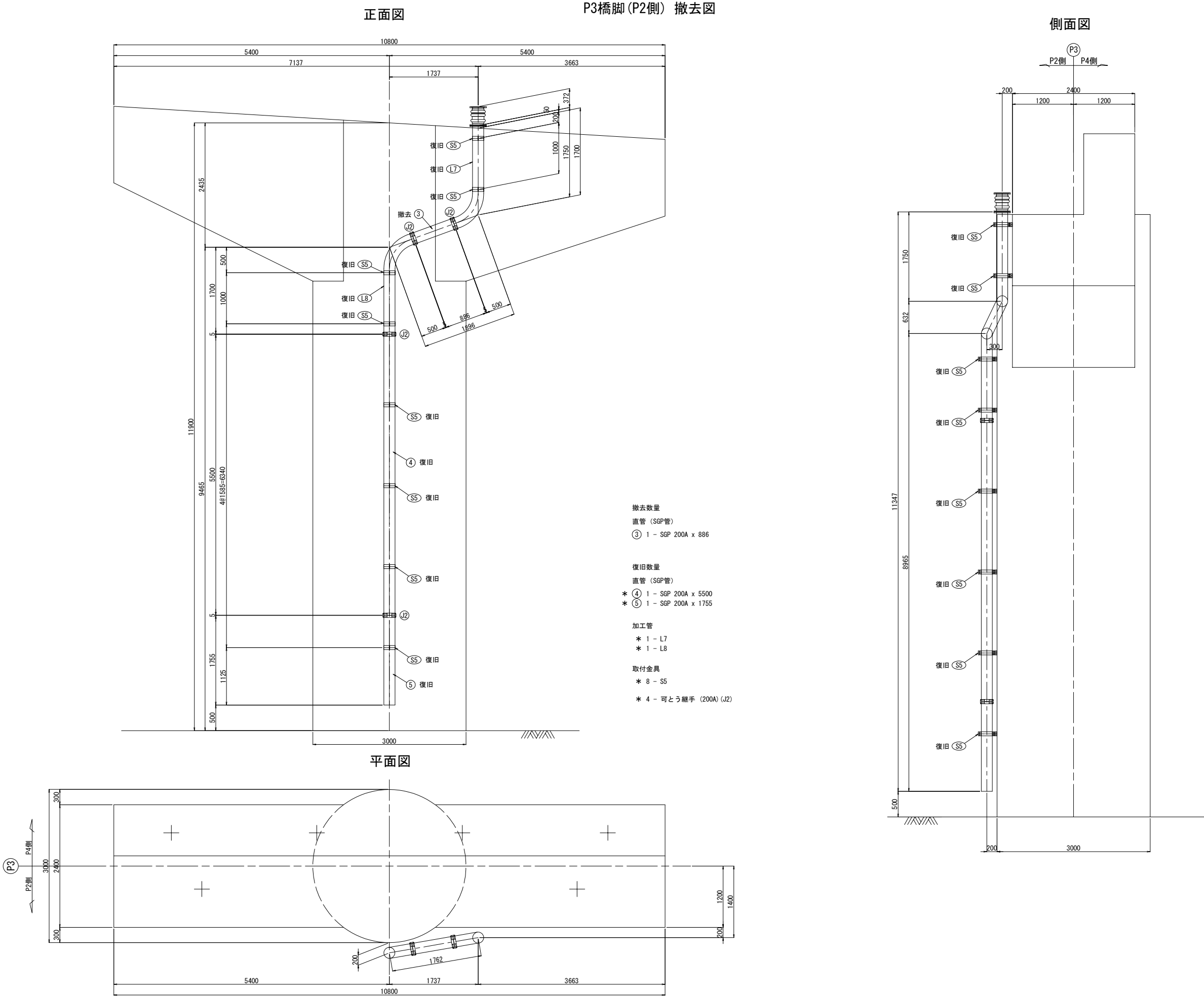
取付金具
1 - B2
1 - S2

復旧数量
加工管
* 1 - Y2

取付金具
* 3 - B2
* 1 - S3
* 3 - 可とう継手 (200A) (J2)
* 1 - フレキシブルジョイント (200A)

注記)
1 . 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2 . *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工	排水管A詳細図（その3） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

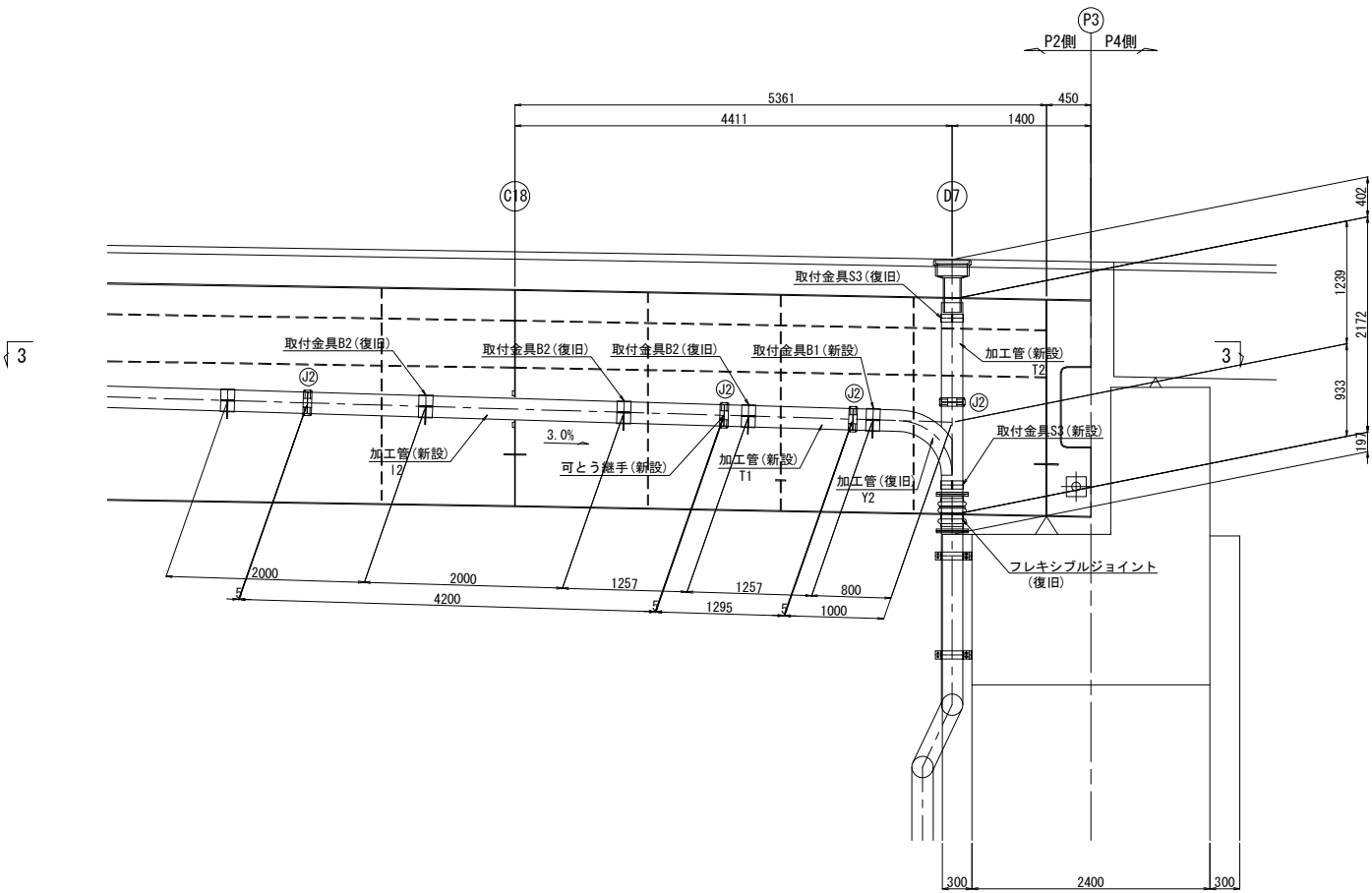


注記)
1 . 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2 . *印は復旧部材を示す。

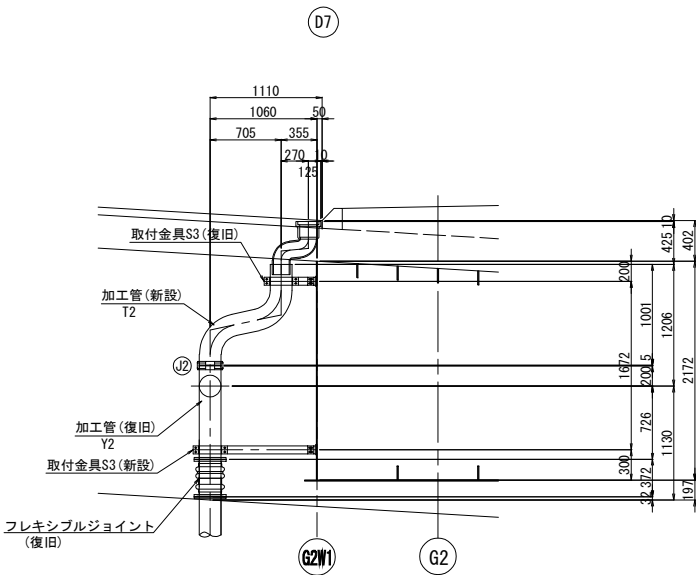
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その4） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚 (P2側) 復旧図

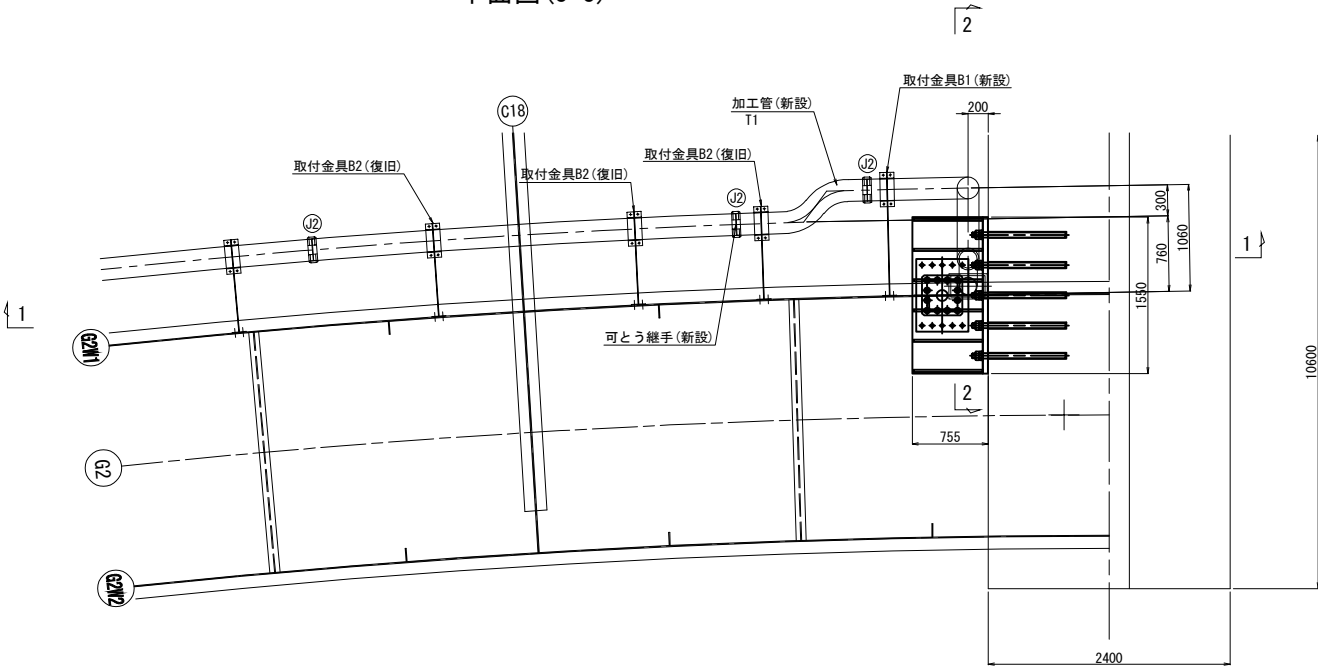
側面図 (1-1)



断面図 (2-2)



平面図 (3-3)



- 復旧数量
- 加工管
- 1 - Y2
- 取付金具
- 3 - B2
- 1 - S3
- 3 - 可とう継手 (200A) (J2)
- 1 - フレキシブルジョイント (200A)
- 新設数量
- 加工管
- 1 - I2
- 1 - T1
- 1 - T2
- 取付金具
- 1 - B1
- 1 - S3
- 1 - 可とう継手 (200A) (J2)

注記)

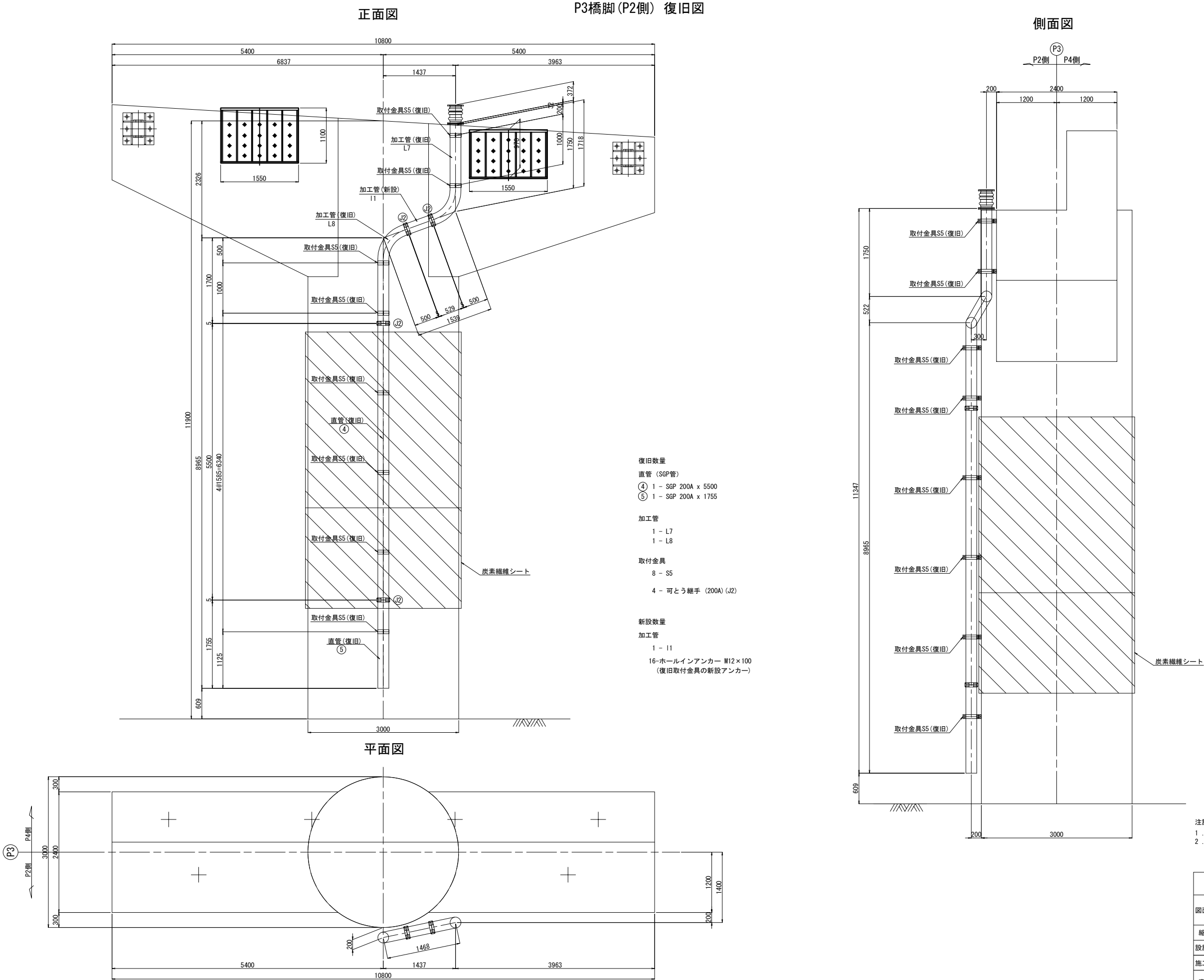
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。

付着量は、JIS H8641 によるものとする。

鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その5） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



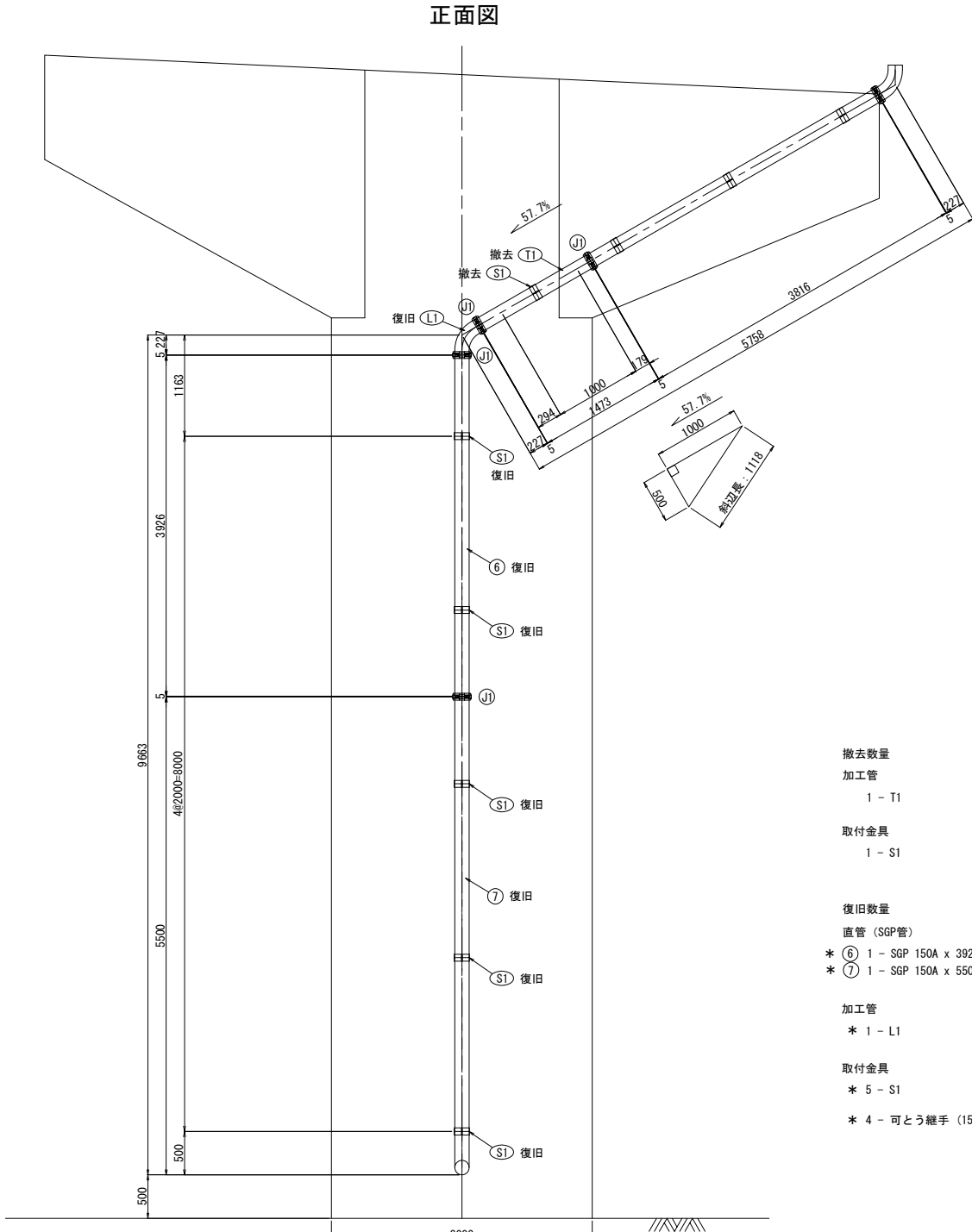
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZ777、ボルトナットHDZT49。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その6) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

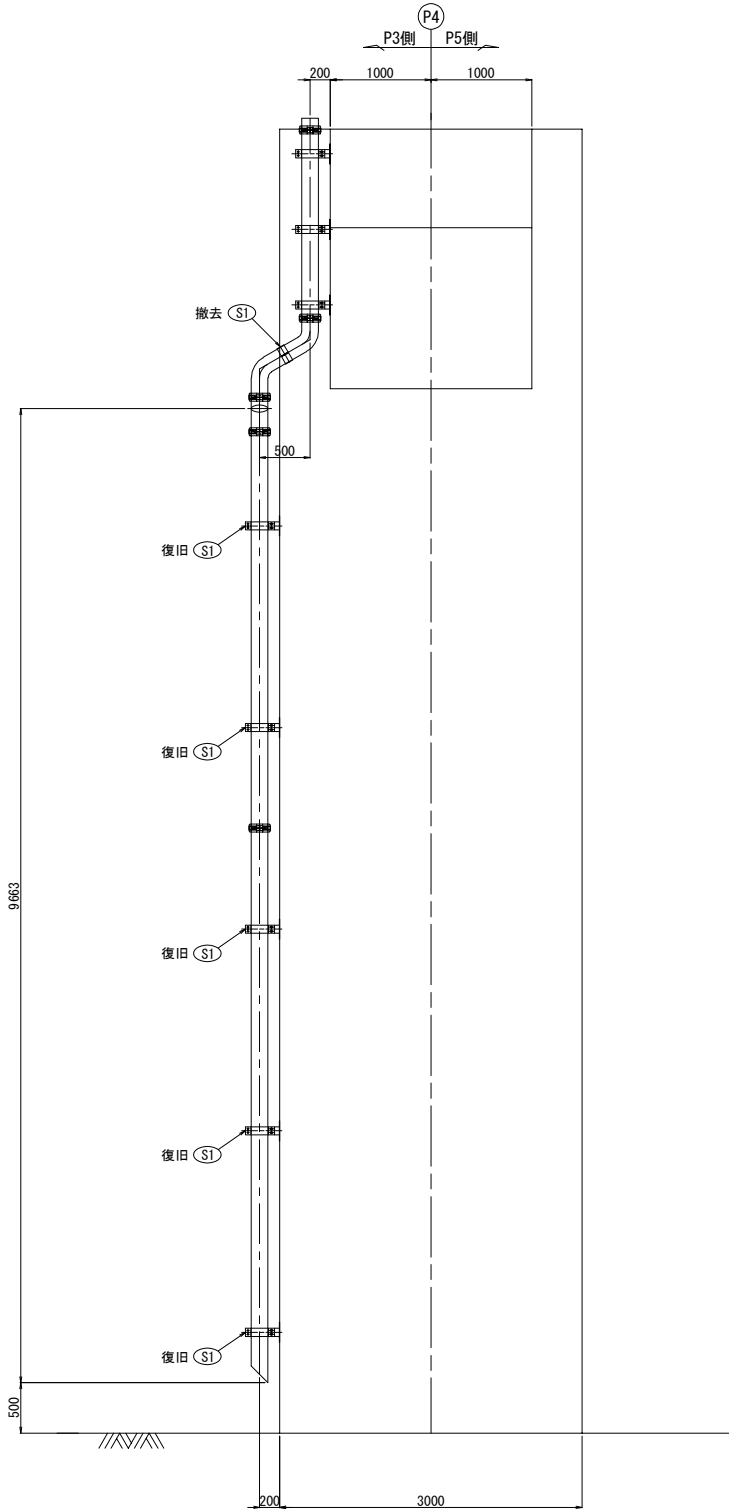
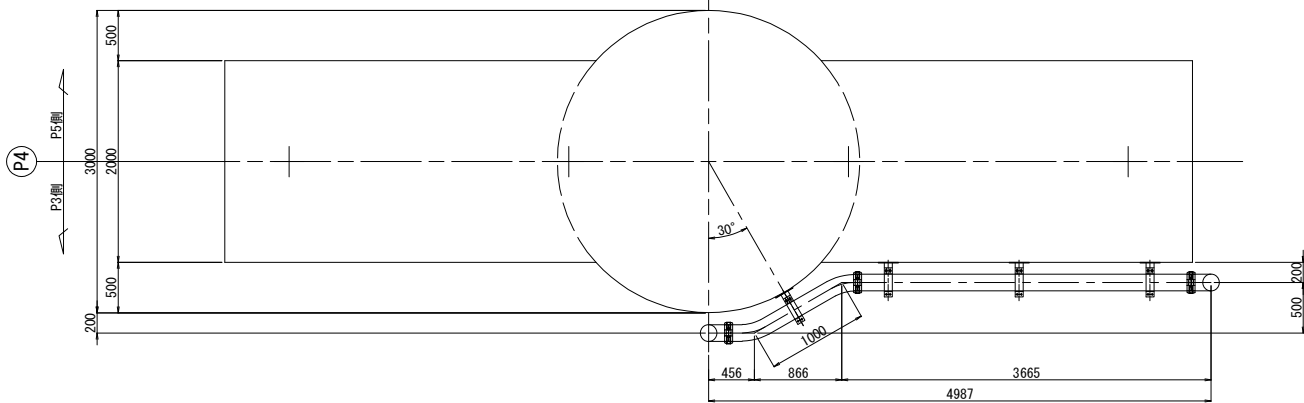
更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その7) (参考図) S=1.75

P4橋脚（P3側）撤去区

側面図



平面图

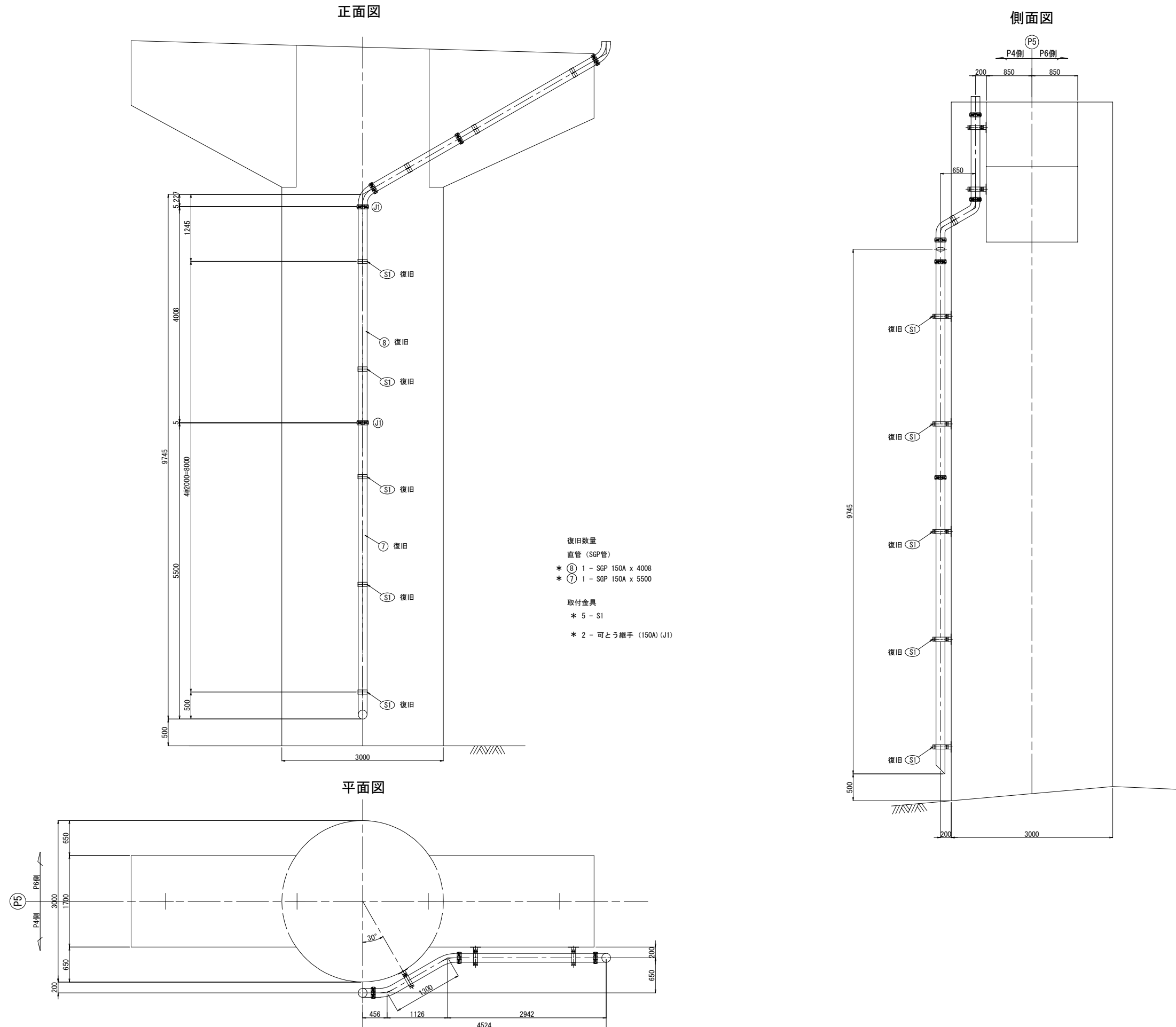


注記)
 1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更地JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その7） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その9) (参考図) S=1:75

P5橋脚(P4側) 撤去図

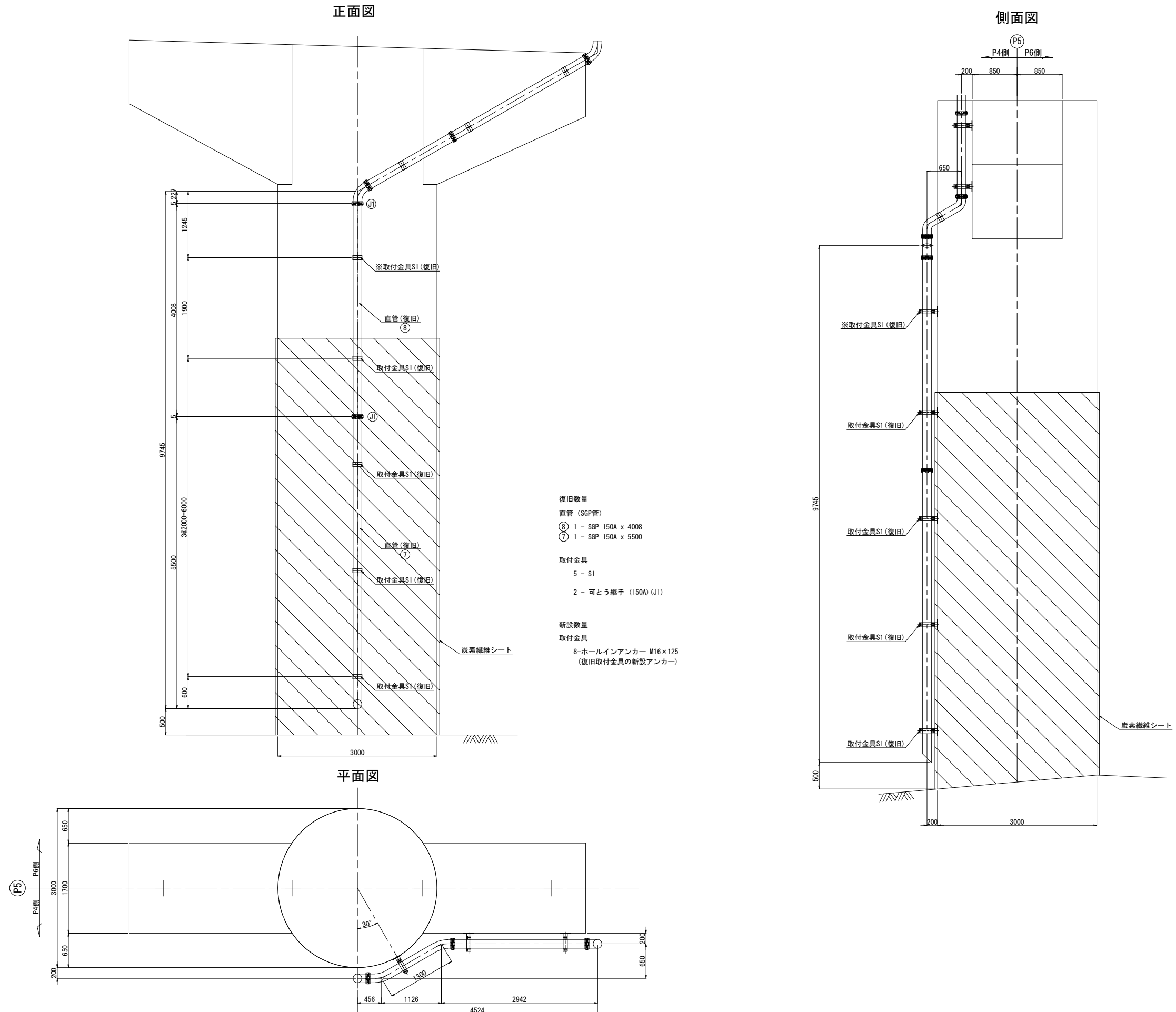


注記)
 1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. *印は復旧部材を示す。

<p style="text-align: center;">長野自動車道 犀川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	更地JCT-ランプ橋		
	撤去・設置工 排水管A詳細図（その9） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その10) (参考図) S=1:75

P5橋脚(P4側) 復旧図

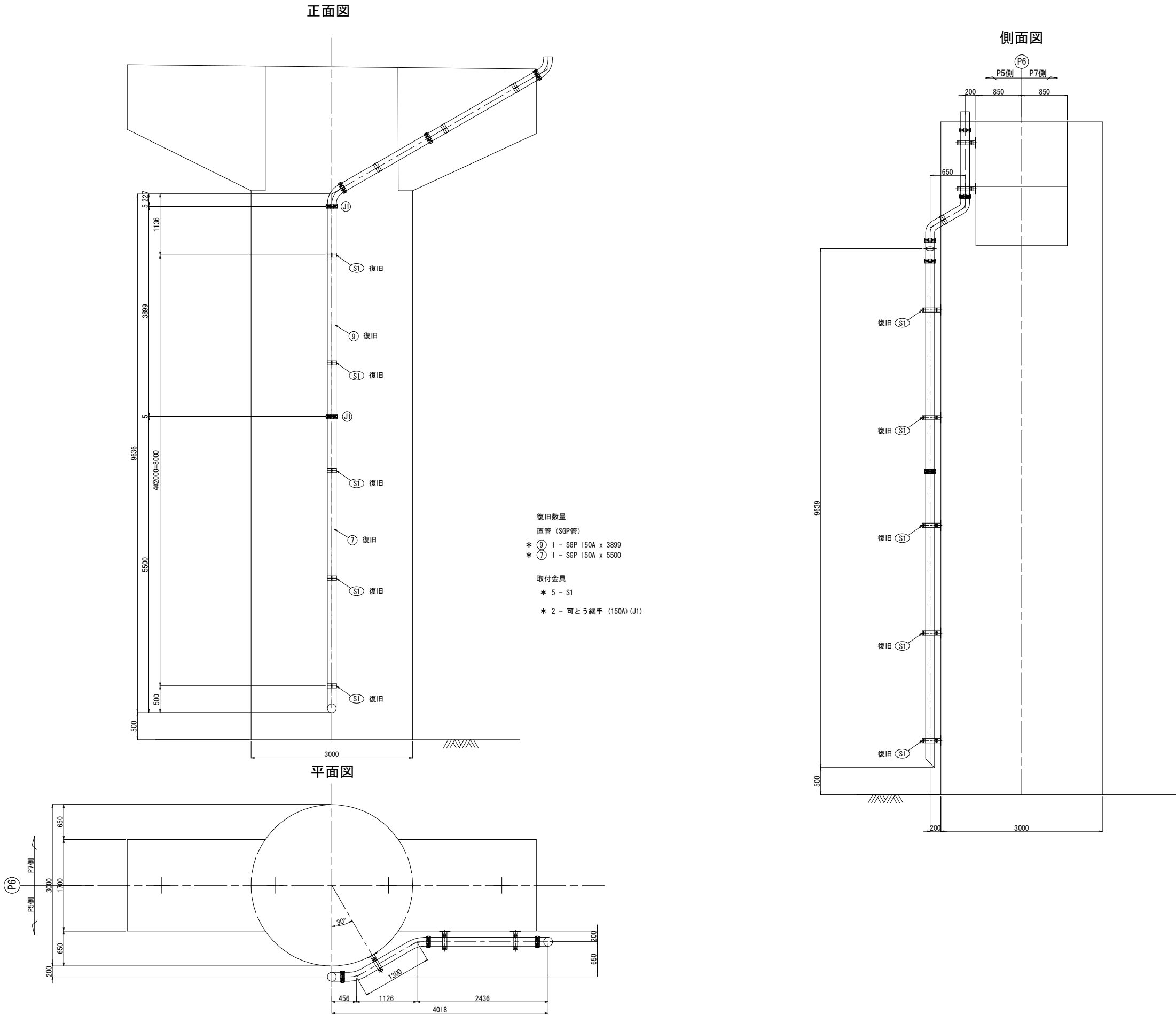


注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。
3. ※印は既設アンカー再利用を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更地JCT-ランプ橋 撤去・設置工 排水管詳細図（その10） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

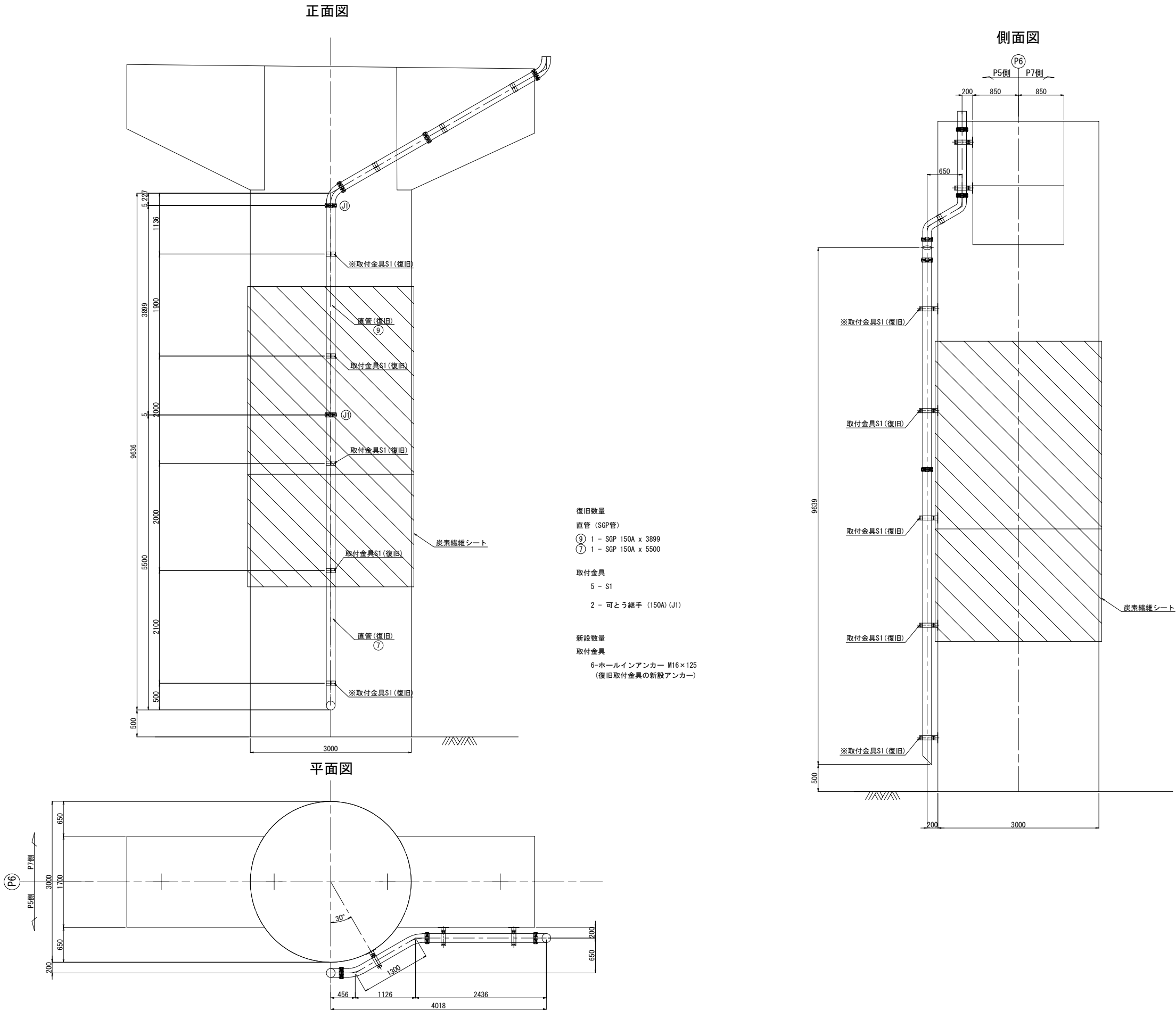
P6橋脚 (P5側) 撤去図



注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その11） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P6橋脚 (P5側) 復旧図



注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。

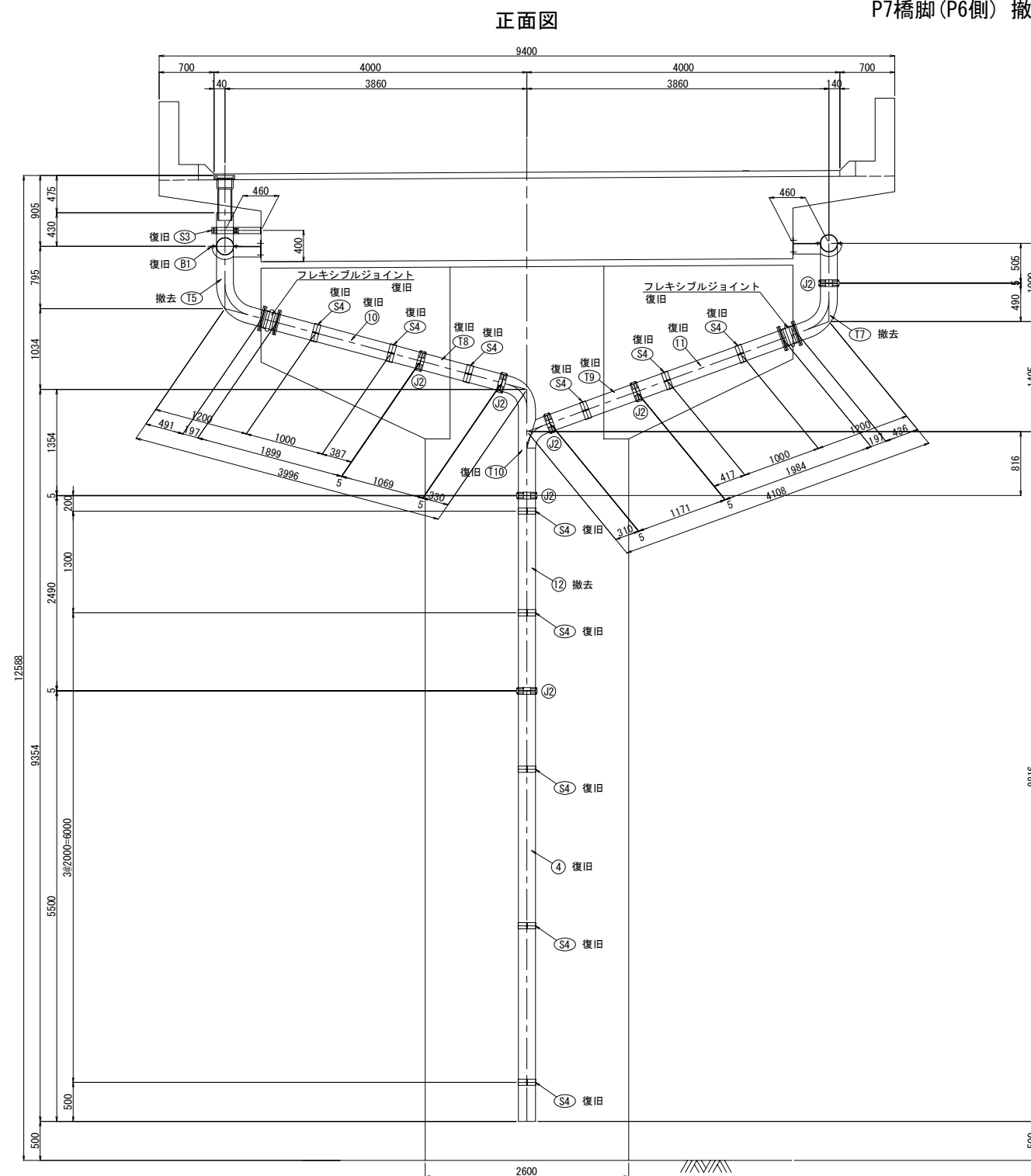
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。

3. ※印は既設アンカー再利用を示す。

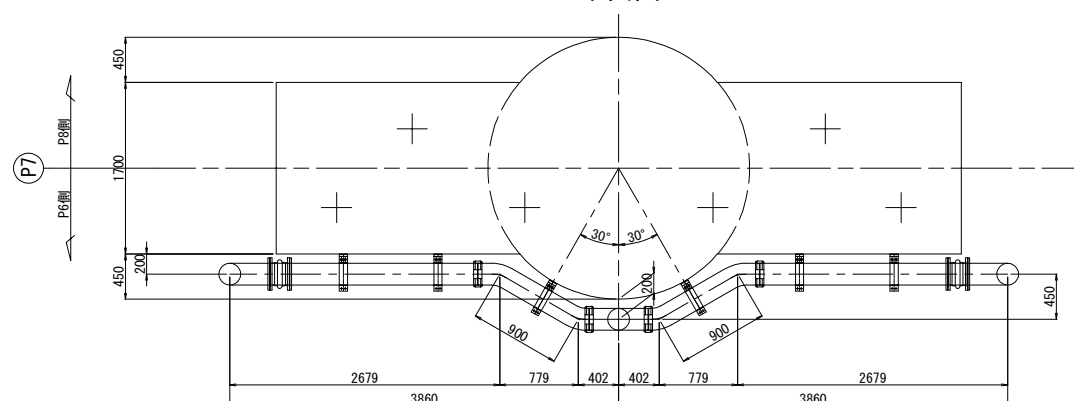
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工	排水管A詳細図（その12） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その13) (参考図) S=1:75

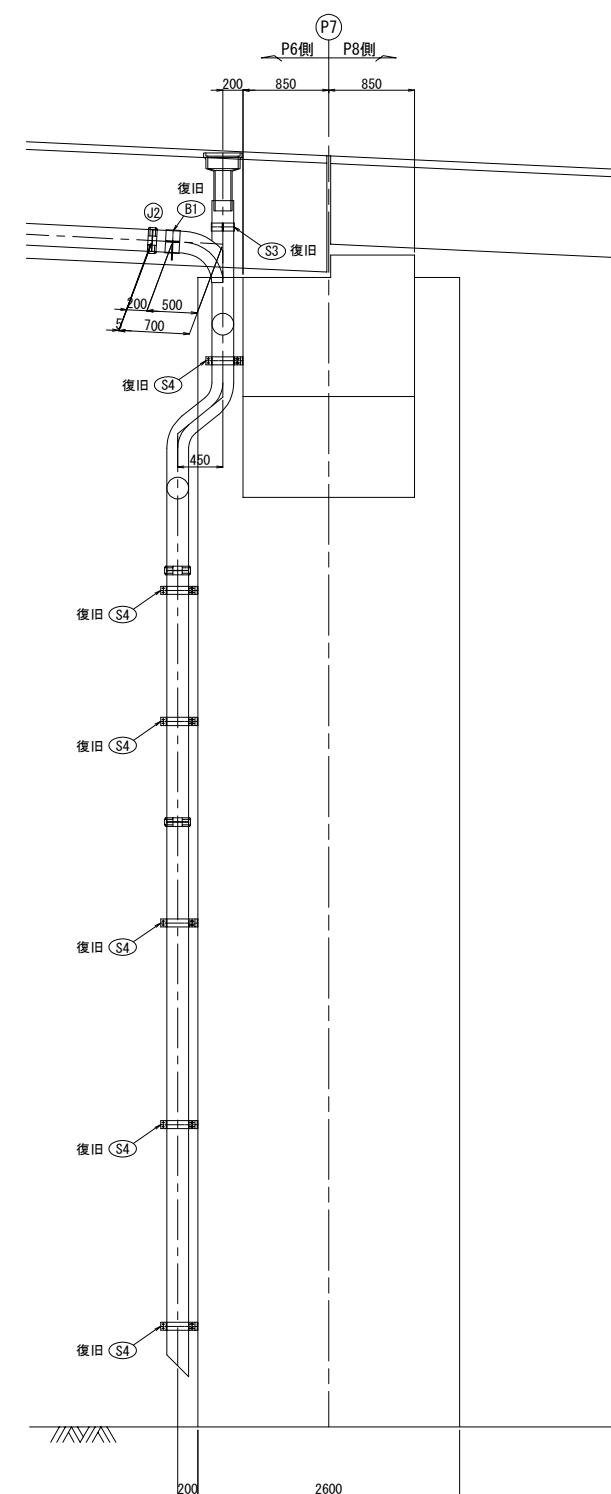
P7橋脚(P6側) 撤去図



平面图



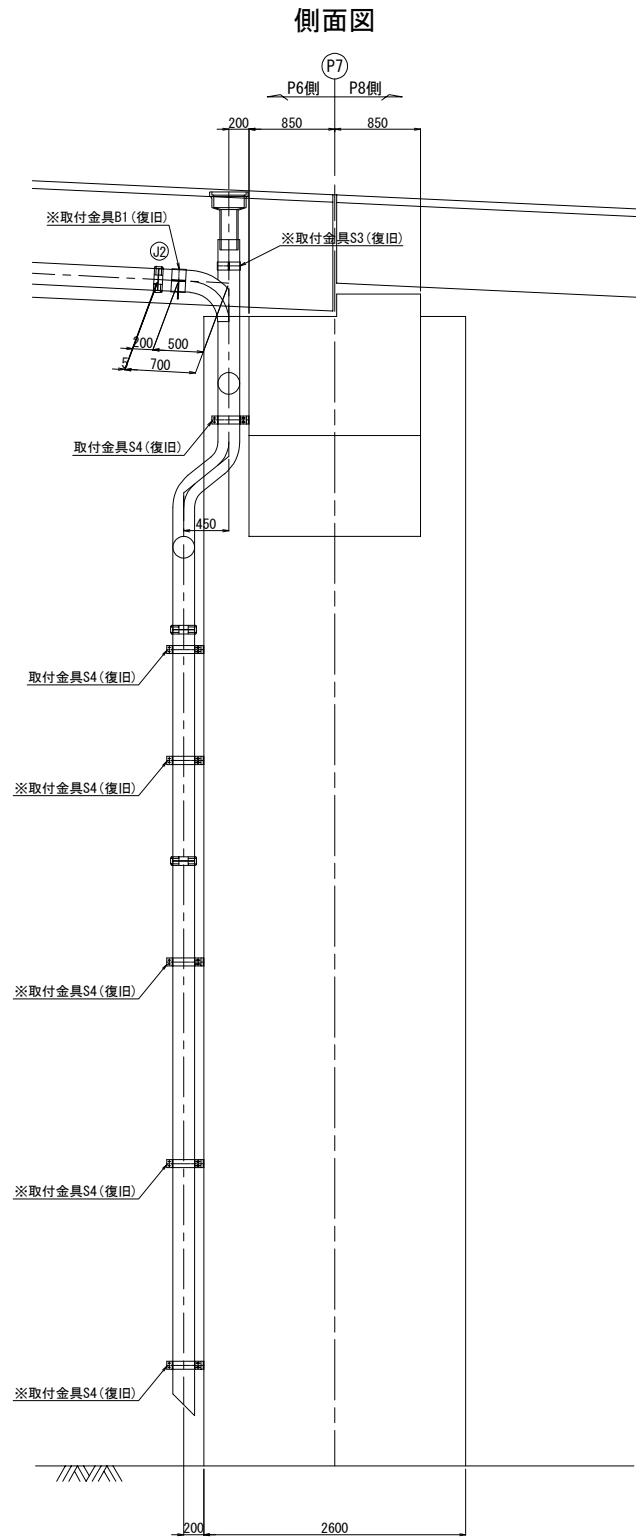
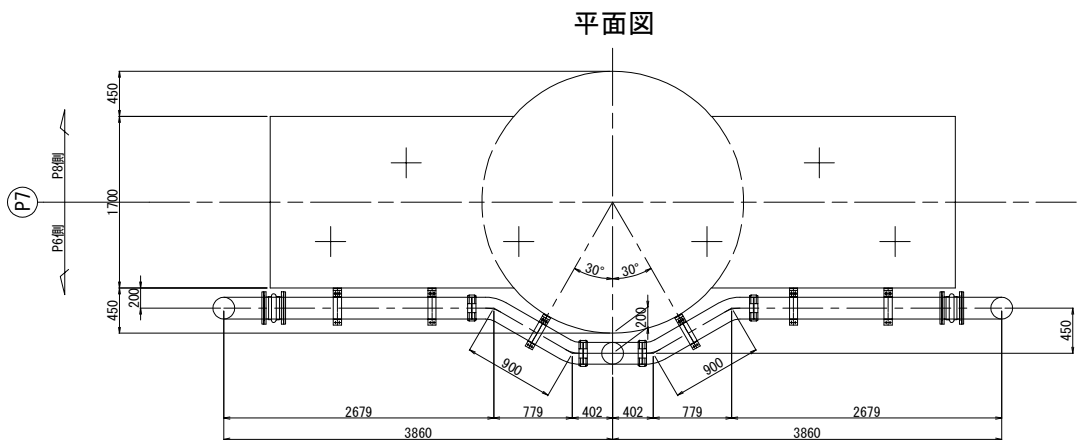
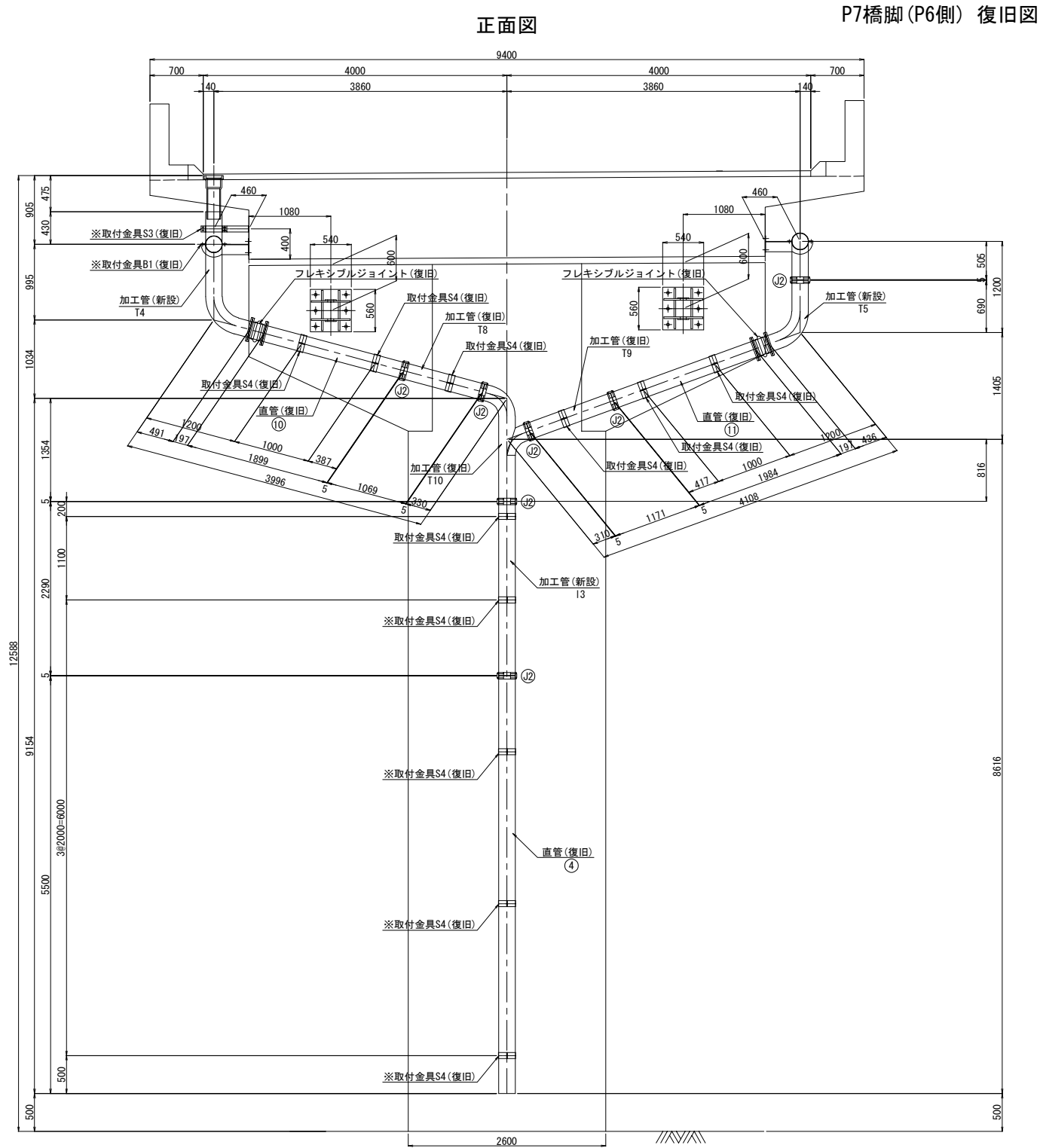
側面図



- 撤去数量
- 直管 (SGP管)
- ⑩ 1 - SGP 200A x 2490
- 加工管
- 1 - T5
- 1 - T7
- ＊ ⑩ 1 - SGP 200A x 1899
- ＊ ⑪ 1 - SGP 200A x 1984
- ＊ ④ 1 - SGP 200A x 5500
- 加工管
- ＊ 1 - T8
- ＊ 1 - T9
- ＊ 1 - T10
- 取付金具
- ＊ 1 - B1
- ＊ 1 - S3
- ＊ 11 - S4
- ＊ 8 - 可とう継手 (200A)
- ＊ 2 - フレキシブルジョイント (200A)

注記)
 1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更地JCT-0ランプ 撤去・設置工 排水管詳細図（その13） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

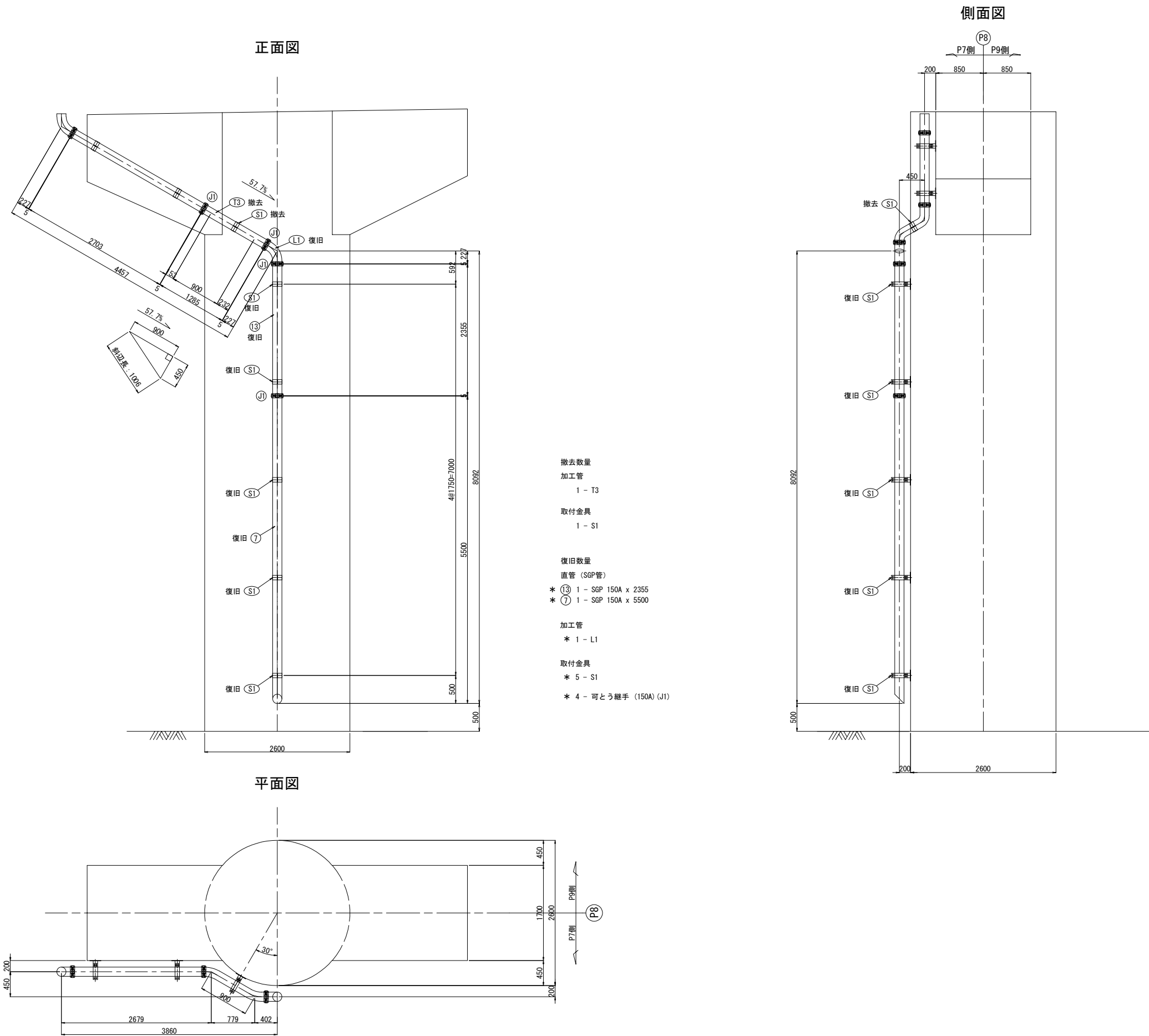


- 復旧数量
- 直管 (SGP管)
- ⑩ 1 - SGP 200A x 1899
- ⑪ 1 - SGP 200A x 1984
- ④ 1 - SGP 200A x 5500
- 加工管
- 1 - T8
- 1 - T9
- 1 - T10
- 取付金具
- 1 - B1
- 1 - S3
- 11 - S4
- 8 - 可とう継手 (200A) (J2)
- 2 - フレキシブルジョイント (200A)
- 新設数量
- 加工管
- 1 - T4
- 1 - T5
- 1 - T13
- 取付金具
- 14-ホールインアンカー M16×125 (復旧取付金具の新設アンカー)

- 注記)
- 1 . 特記なき材質は全てSS400とする。
- 2 . 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。付着量は、JIS H8641 によるものとする。鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。
- 3 . ※印は既設アンカー再利用を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その14） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P8橋脚 (P7側) 撤去図

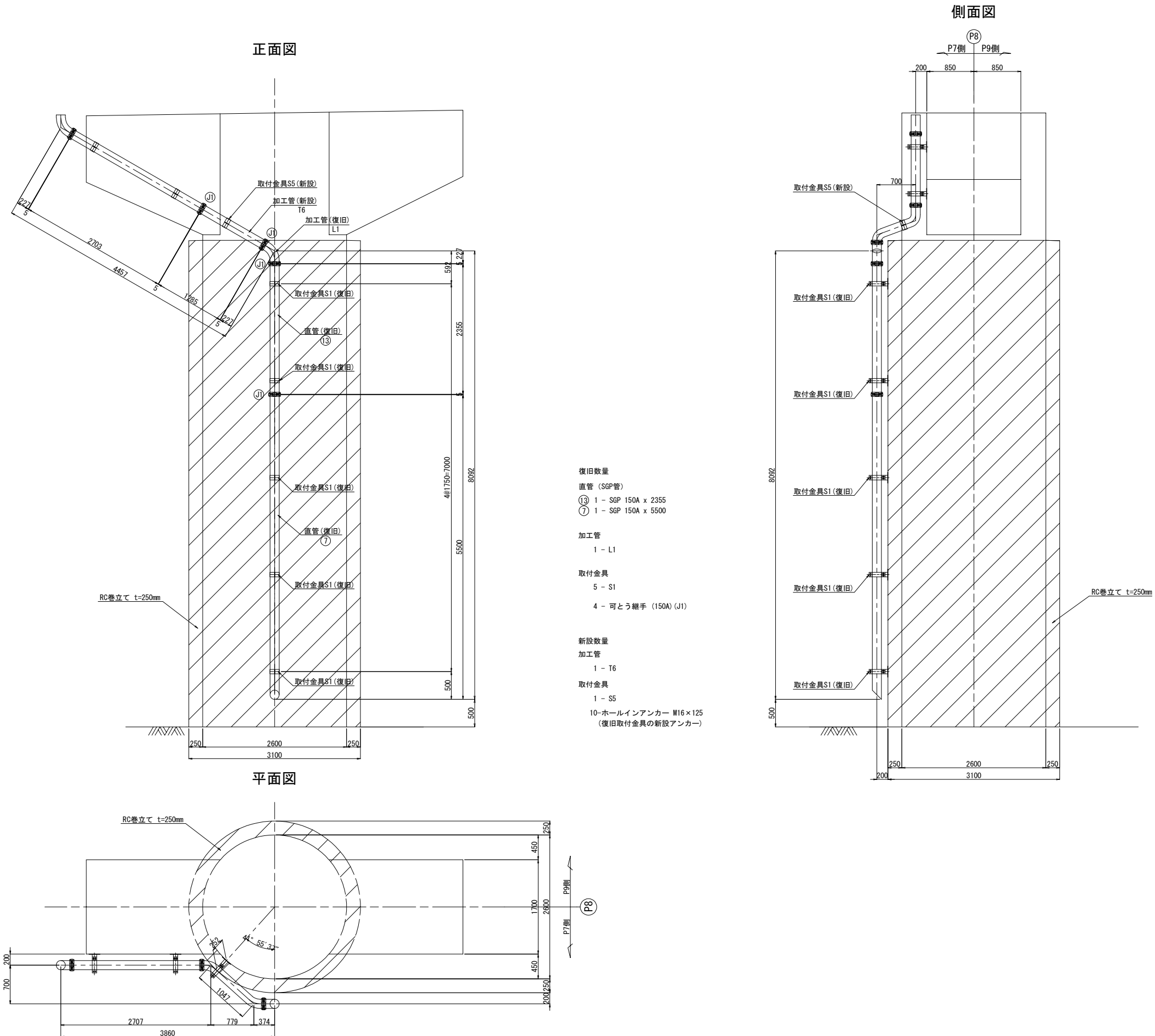


注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工	排水管A詳細図（その15） （参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その16) (参考図) S=1:75

P8橋脚(P7側) 復旧図

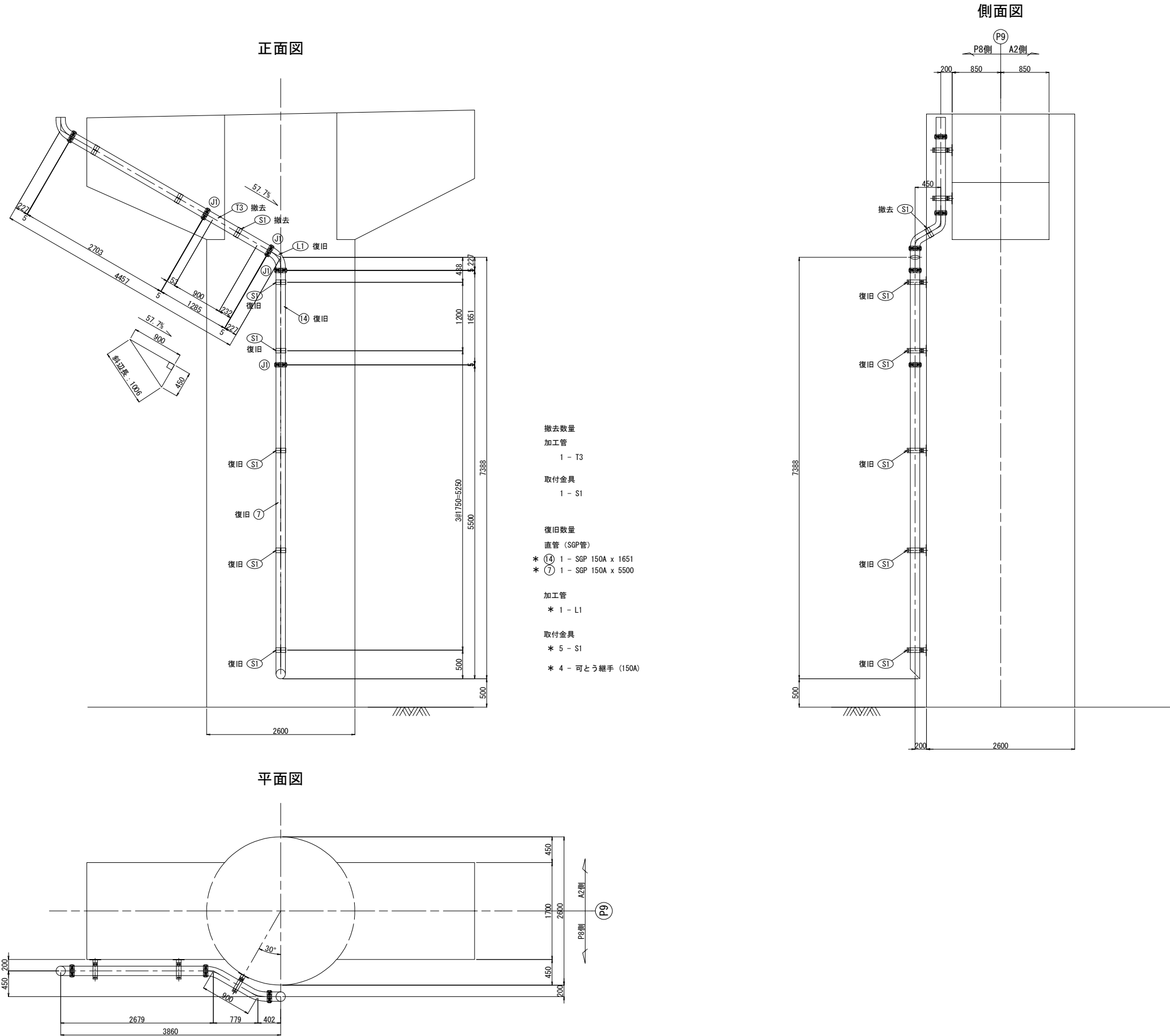


注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。

長野自動車道 厚川橋耐震補強工事			
図面の種類	更地JCT-ランプ橋 撤去・設置工 排水管詳細図 (その16) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速度道路株式会社 関東支社 長野工事業務所		

P9橋脚（P8側）撤去図

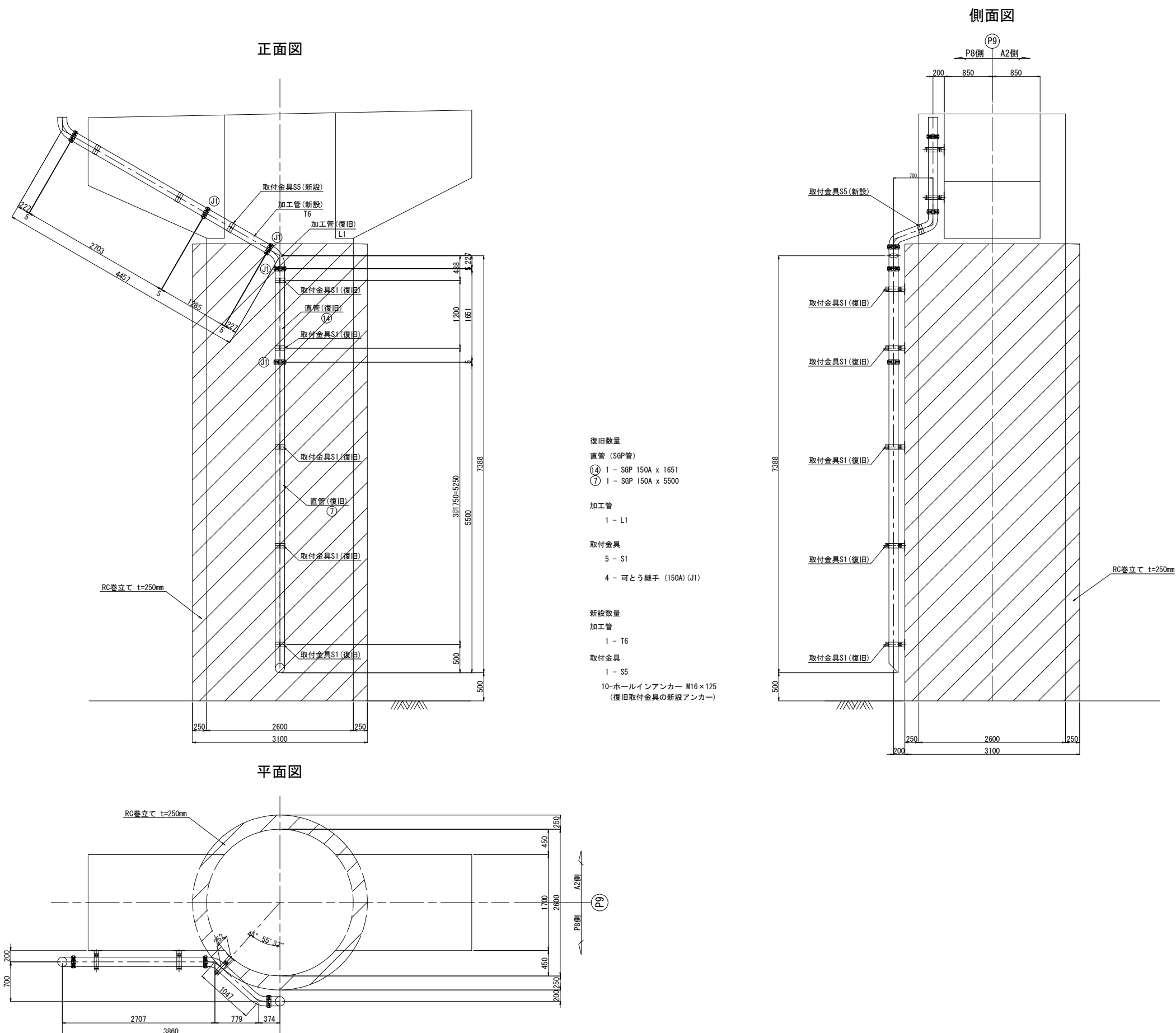


注記)
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. *印は復旧部材を示す。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その17） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その18) (参考図) S=1:75

P9橋脚(P8側) 復旧図

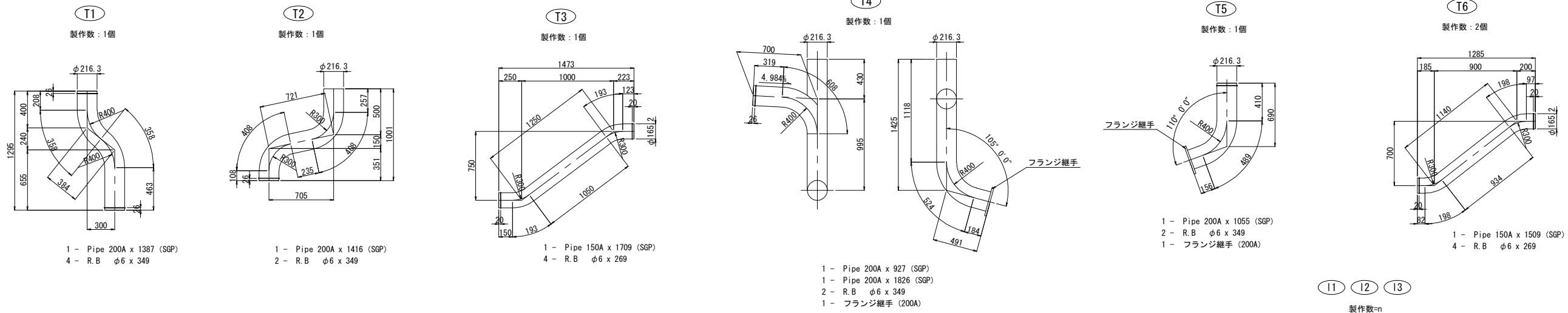


注記)

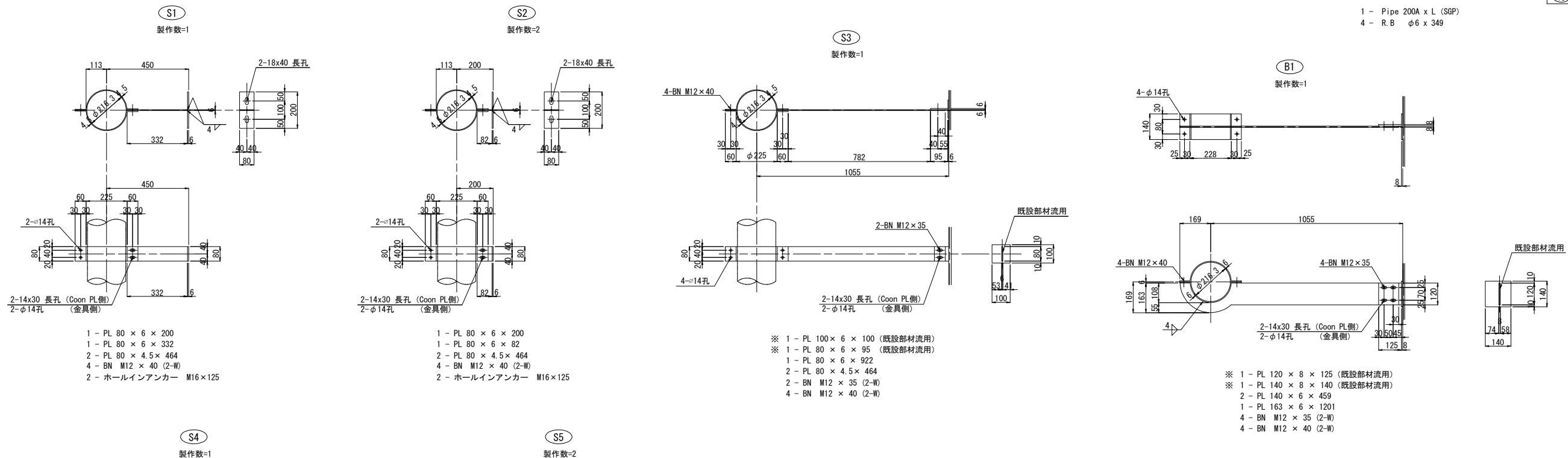
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更地JCT-Oランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図 (その他) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

加工管詳細

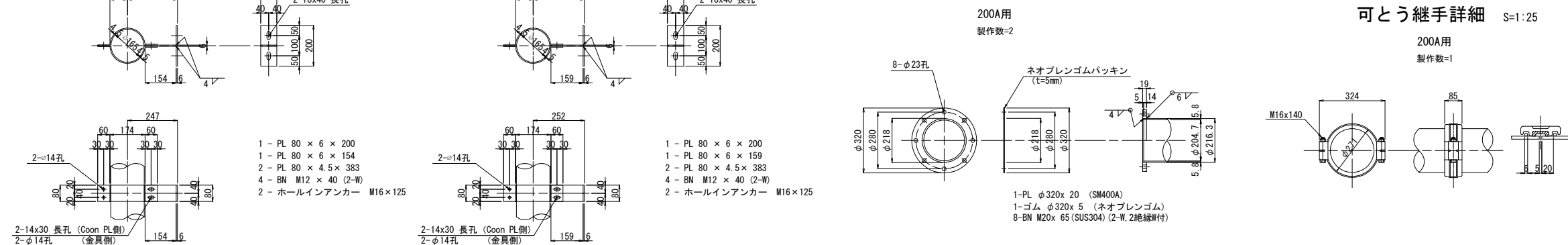


新設取付金具詳細図 S=1:25



フランジ継手部詳細 S=1:25

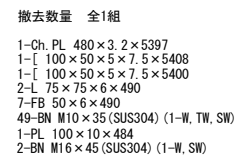
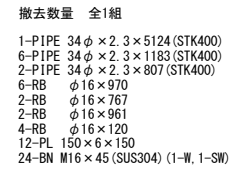
可とう継手詳細 S=1:25



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印部材以外の鋼材は、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板HDZT77、ボルトナットHDZT49。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 排水管A詳細図（その19） （参考図）	縮 尺	図 示
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所	図面番号	／
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

K1
(1 - 1)



撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×4664 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1200 (STK400)
5-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×807 (STK400)
8-RB φ16×970
2-RB φ16×448
2-RB φ16×120
12-PL 150×6×150
24-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

Technical drawing of a curved bridge structure, showing dimensions and reinforcement details. The drawing includes the following specifications:

- 橋長 120900 (CL上寸法)
- 橋長 120800
- 支間長 52700
- 9#5855, 6=52700
- Dimensions: 33600, 6#5600-33600, 33600, 6#5600-33600
- Labels: K1, P1, P2, P3, A1, A2, A3, A4, A5, A6, A7, A8, A9, A10, A11, A12, A13, A14, A15, A16, A17, A18, A19, A20, A21, A22, A23, A24, A25, A26, A27, A28, A29, A30, A31, A32, A33, A34, A35, A36, A37, A38, A39, A40, A41, A42, A43, A44, A45, A46, A47, A48, A49, A50, A51, A52, A53, A54, A55, A56, A57, A58, A59, A60, A61, A62, A63, A64, A65, A66, A67, A68, A69, A70, A71, A72, A73, A74, A75, A76, A77, A78, A79, A80, A81, A82, A83, A84, A85, A86, A87, A88, A89, A90, A91, A92, A93, A94, A95, A96, A97, A98, A99, A100

[illegible]

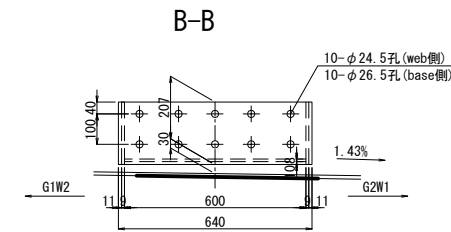
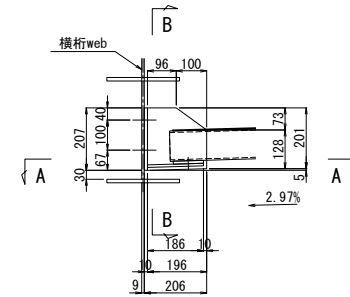
1-PIPE 34φ×531 (STK400)
1-PIPE 34φ×540 (STK400)
2-RB φ22×350
1-PL 100×9×353
3-BN M12×35 (SUS304) (1-W, SW)

<p align="center">長野自動車道 犀川橋梁震補強工事</p>			
図面の種類	<p>更地JCT-0ランプ橋 撤去・設置工 検査路A詳細図（その1） （参考図）</p>		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

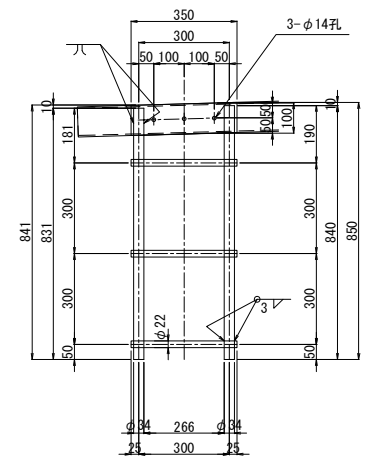
A1橋台 上部工検査路 復旧工

新設支持金具 S=1:25

S1取付



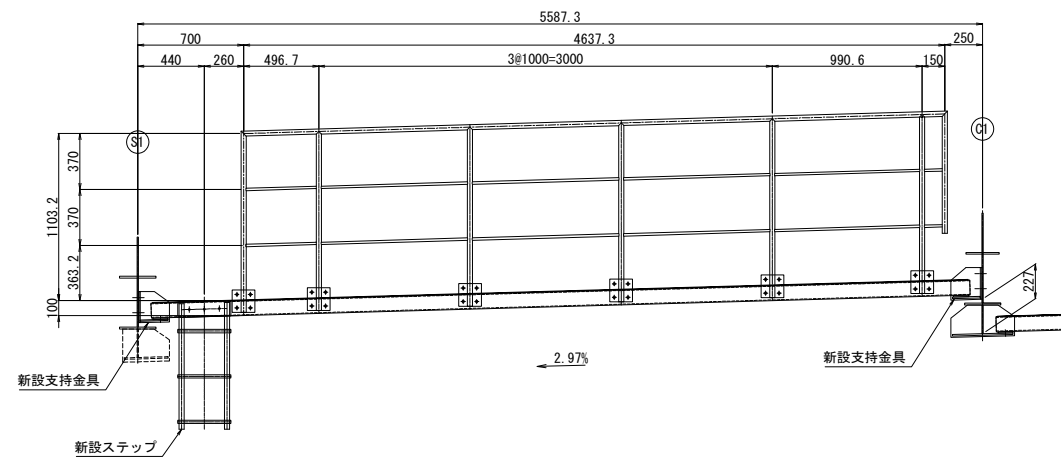
新設ステップ S=1:25



復旧工

K1

(1 - 1)



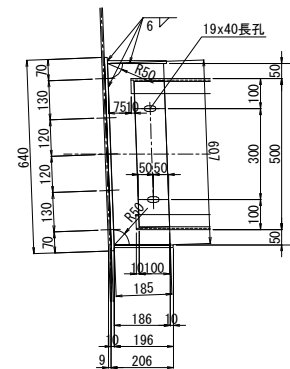
新規数量 全1組

- 1-PIPE 34φ×2.3×4673 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×1200 (STK400)
- 5-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
- 1-PIPE 34φ×2.3×807 (STK400)
- 6-RB φ16×970
- 2-RB φ16×467
- 2-RB φ16×961
- 2-RB φ16×120
- 12-PL 150×6×150
- 24-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

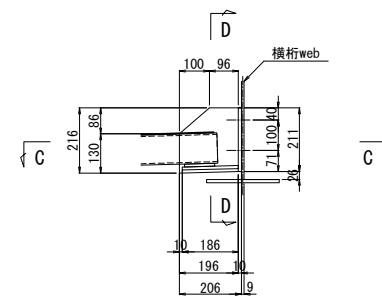
復旧数量 全1組

- 1-Ch. PL 480×3.2×5397
- 1-L 100×50×5×7.5×5408
- 1-L 100×50×5×7.5×5400
- 2-L 75×75×6×490
- 7-FB 50×6×490
- 49-BN M10×35 (SUS304) (1-W, TW, SW)

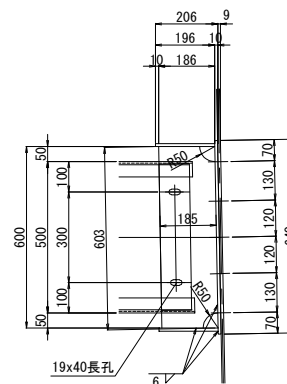
A-A



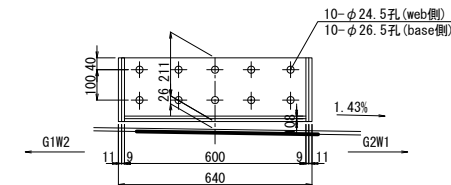
C1取付



C-C



D-D



新規数量 全1組

- 1-PL 211×10×640
- 2-PL 216×9×196
- 1-PL 185×9×603
- 10-TCB M22×55 (S10T)

復旧数量 全1組

- 1-PL 100×10×484
- 2-BN M16×45 (SUS304) (1-W, SW)

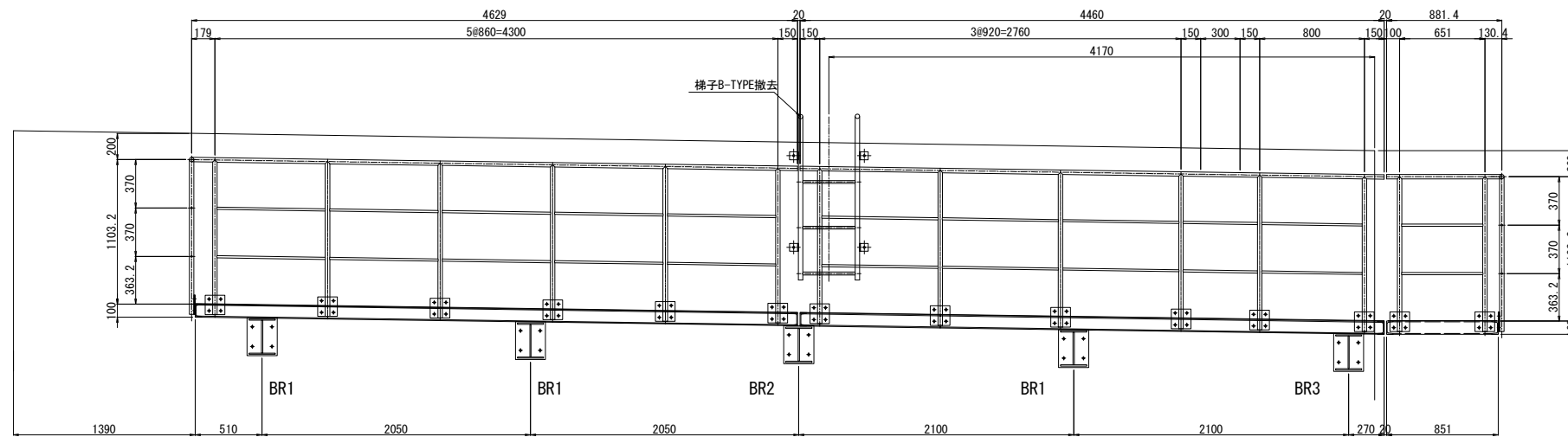
注 記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路A詳細図（その2） （参考図）	図示	図面番号 /
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 撤去工

正面図



撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×4647 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
10-RB φ16×830
12-PL 150×6×150
24-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

撤去数量 全1組

2-[100×50×5×7.5×500
2-[100×50×5×7.5×4602
1-Ch. PL 480×3.2×4580
6-FB 50×6×490
50-BN M10×35 (SUS304) (1-W, TW, SW)

撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×1119 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×438 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3056 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
2-RB φ16×770
2-RB φ16×150
2-RB φ16×431
2-RB φ16×126
6-RB φ16×890
12-PL 150×6×150
24-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

撤去数量 全1組

1-[100×50×5×7.5×800
1-[100×50×5×7.5×1122
1-[100×50×5×7.5×445
1-[100×50×5×7.5×3082
1-[100×50×5×7.5×500
1-[100×50×5×7.5×411
2-[100×50×5×7.5×350
1-[100×50×5×7.5×401
1-[100×50×5×7.5×3714
1-Ch. PL 780×3.2×1390
1-Ch. PL 480×3.2×3054
2-FB 50×6×790
4-FB 50×6×490
55-BN M10×35 (SUS304) (1-W, TW, SW)

撤去ブラケットBR1 全3組

1-PL 200×10×550
1-PL 250×10×550
1-PL 200×10×559
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)
1-PL 200×8×480

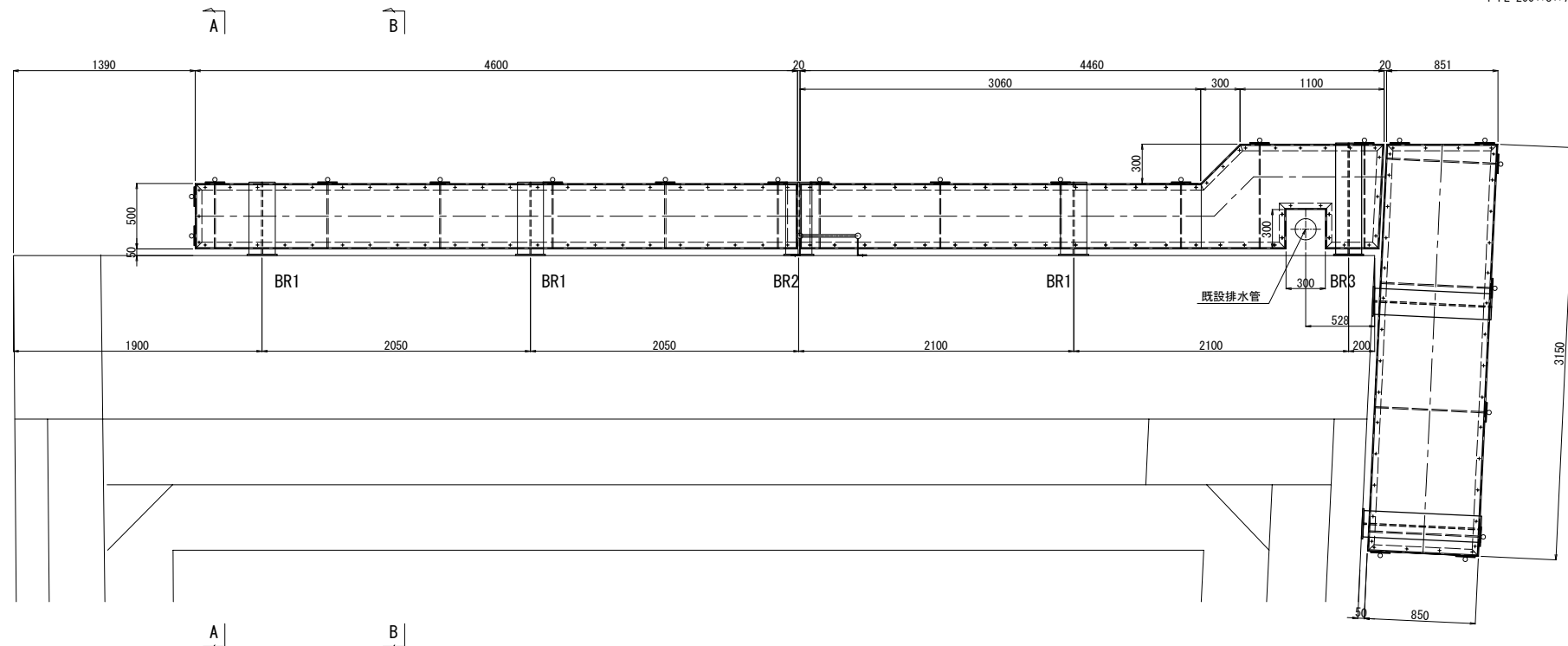
撤去ブラケットBR2 全1組

1-PL 200×10×550
1-PL 250×10×550
1-PL 200×10×559
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)
2-PL 80×8×480

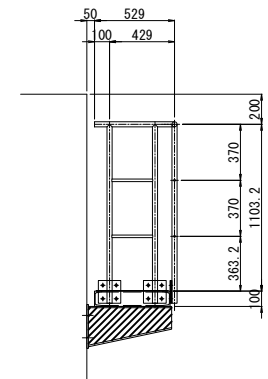
撤去ブラケットBR3 全1組

1-PL 200×10×850
1-PL 250×10×850
1-PL 200×10×856
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)
1-PL 200×8×780

平面図



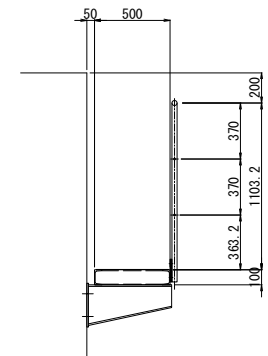
A-A



撤去数量 全1組

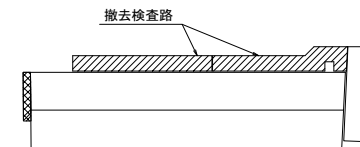
1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
2-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
2-RB φ16×270
4-PL 150×6×150
8-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

B-B



位置図

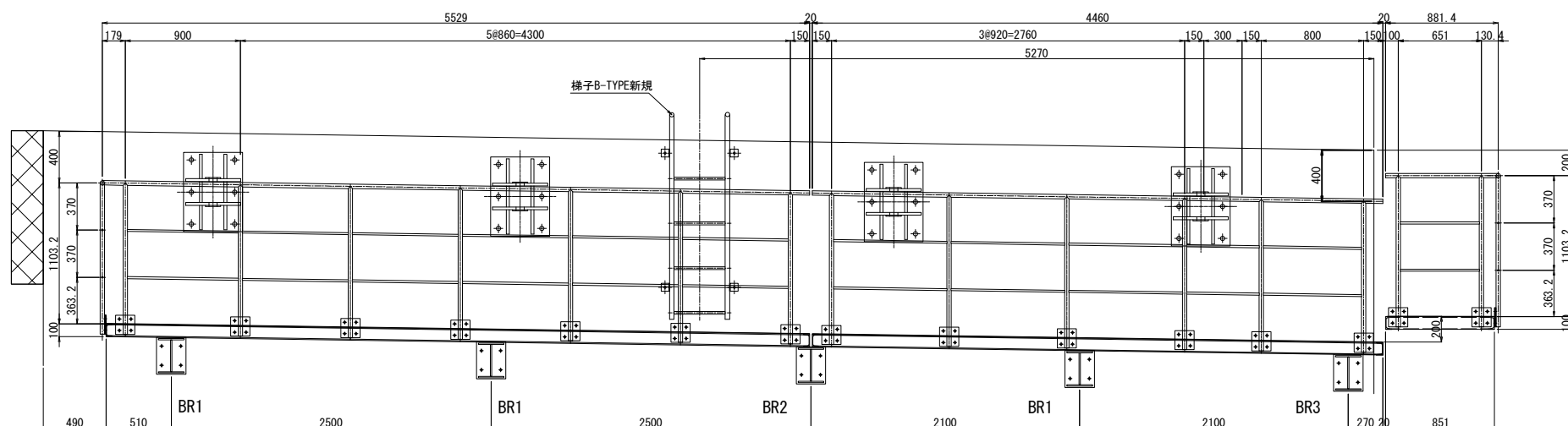
A1



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工	検査路B詳細図（その1） （参考図）	
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台 復旧工

正面図



新規数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×5547 (STK400)
7-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
10-RB φ16×830
2-RB φ16×870
14-PL 150×6×150
28-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

新規数量 全1組
2-[100×50×5×7.5×500
2-[100×50×5×7.5×5502
1-Ch. PL 480×3.2×5480
7-FB 50×6×490
55-BN M10×35 (SUS304) (1-W, TW, SW)

復旧数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×1119 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×438 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×3056 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
2-RB φ16×770
2-RB φ16×150
2-RB φ16×431
2-RB φ16×126
6-RB φ16×890
12-PL 150×6×150
24-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

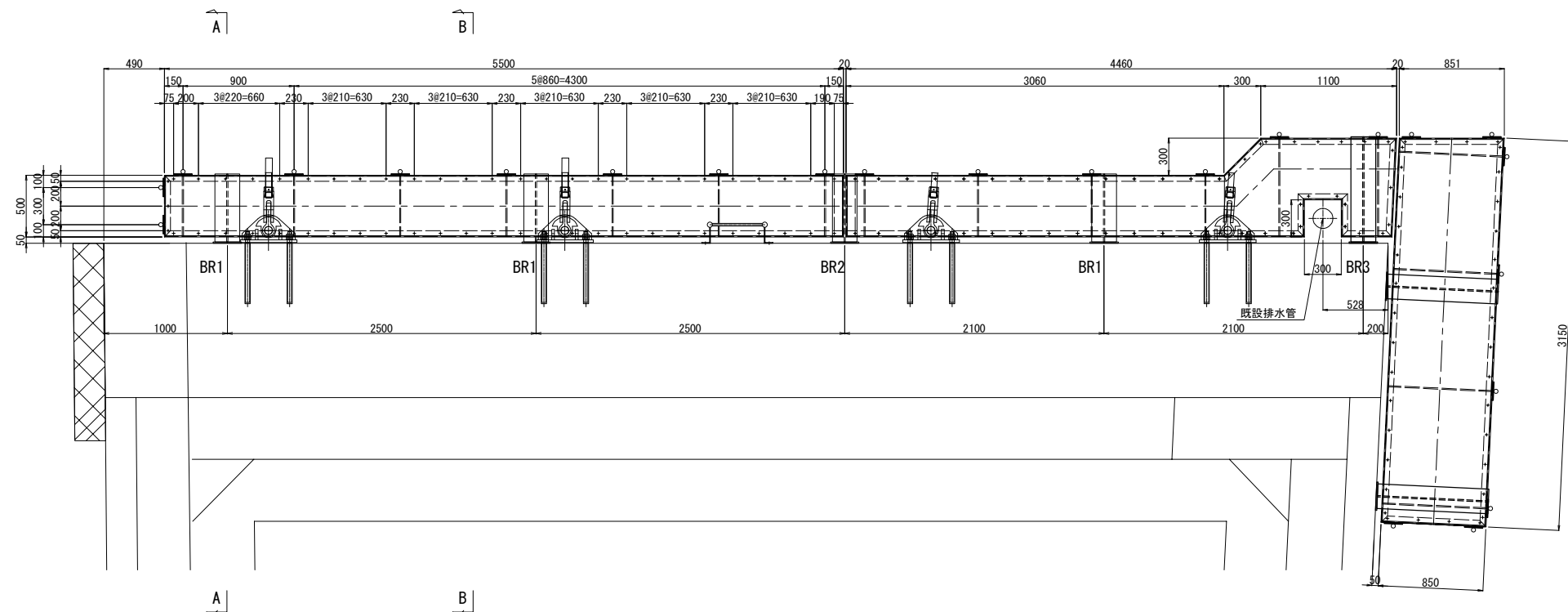
復旧数量 全1組
1-[100×50×5×7.5×800
1-[100×50×5×7.5×1122
1-[100×50×5×7.5×445
1-[100×50×5×7.5×3082
1-[100×50×5×7.5×500
1-[100×50×5×7.5×411
2-[100×50×5×7.5×350
1-[100×50×5×7.5×401
1-[100×50×5×7.5×3714
1-Ch. PL 780×3.2×1390
1-Ch. PL 480×3.2×3054
2-FB 50×6×790
4-FB 50×6×490
55-BN M10×35 (SUS304) (1-W, TW, SW)

復旧ブラケットBR1 全3組
1-PL 200×10×550
1-PL 250×10×550
1-PL 200×10×559
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
1-PL 200×8×480

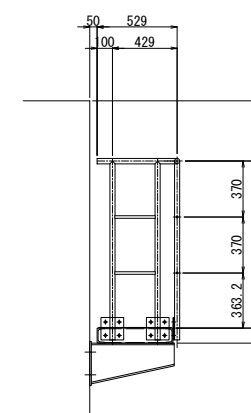
復旧ブラケットBR2 全1組
1-PL 200×10×550
1-PL 250×10×550
1-PL 200×10×559
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
2-PL 80×8×480

復旧ブラケットBR3 全1組
1-PL 200×10×850
1-PL 250×10×850
1-PL 200×10×856
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
1-PL 200×8×780

平面図



A-A



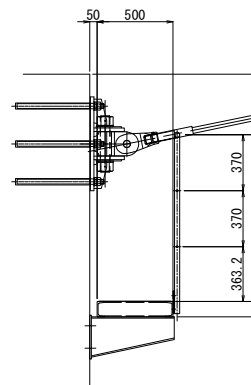
新規数量 全1組
1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
2-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
2-RB φ16×270
4-PL 150×6×150
8-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

新規ブラケットBR1 全3組
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)

新規ブラケットBR2 全1組
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)

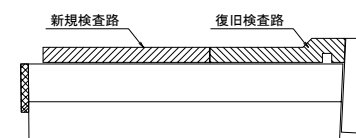
新規ブラケットBR3 全1組
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)

B-B



- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

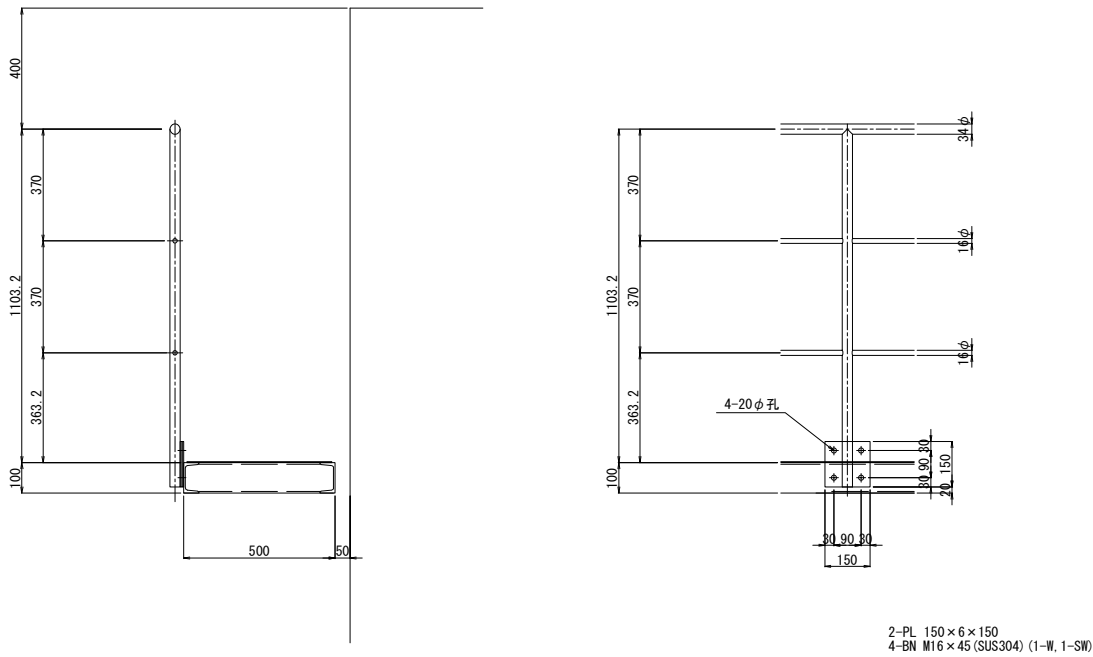
位置図
A1



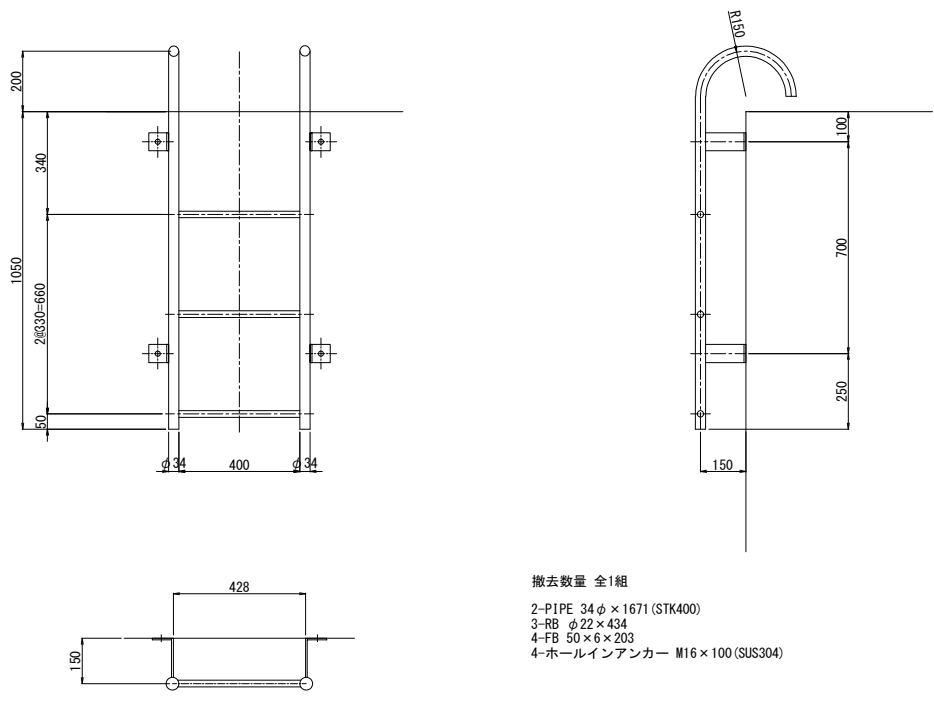
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B詳細図（その2） （参考図）	図示	図面番号 /
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台

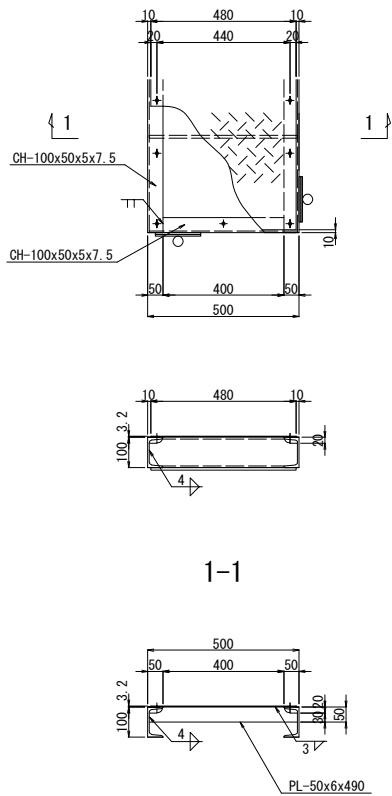
歩廊及び手摺詳細図



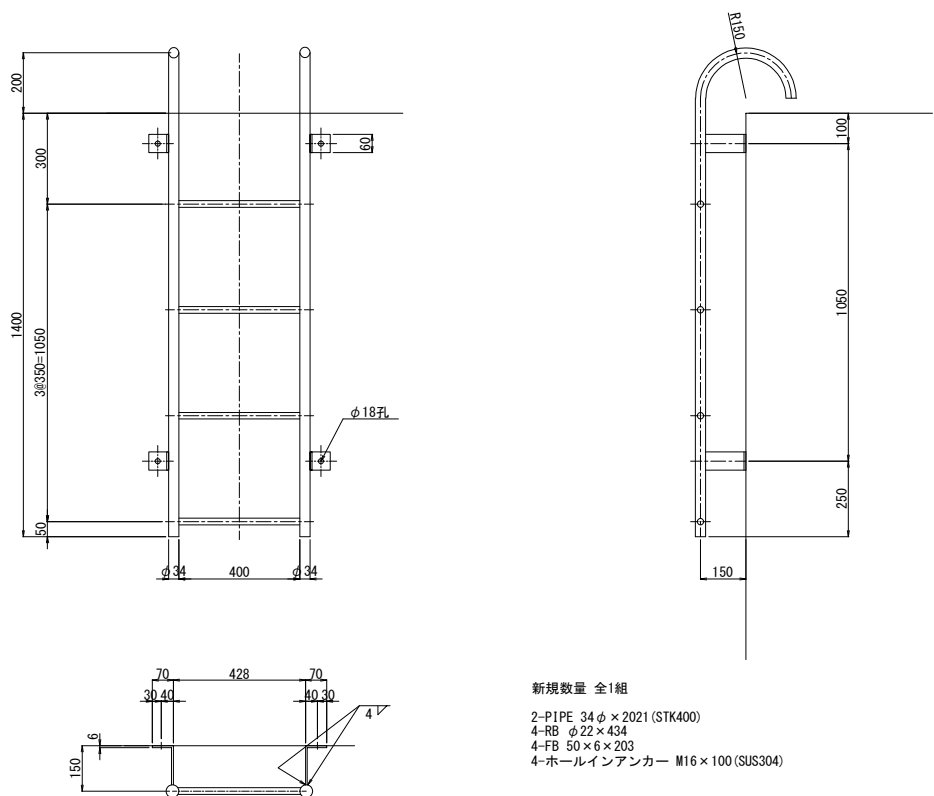
撤去梯子B-TYPE



歩廊端部詳細図



新設梯子B-TYPE

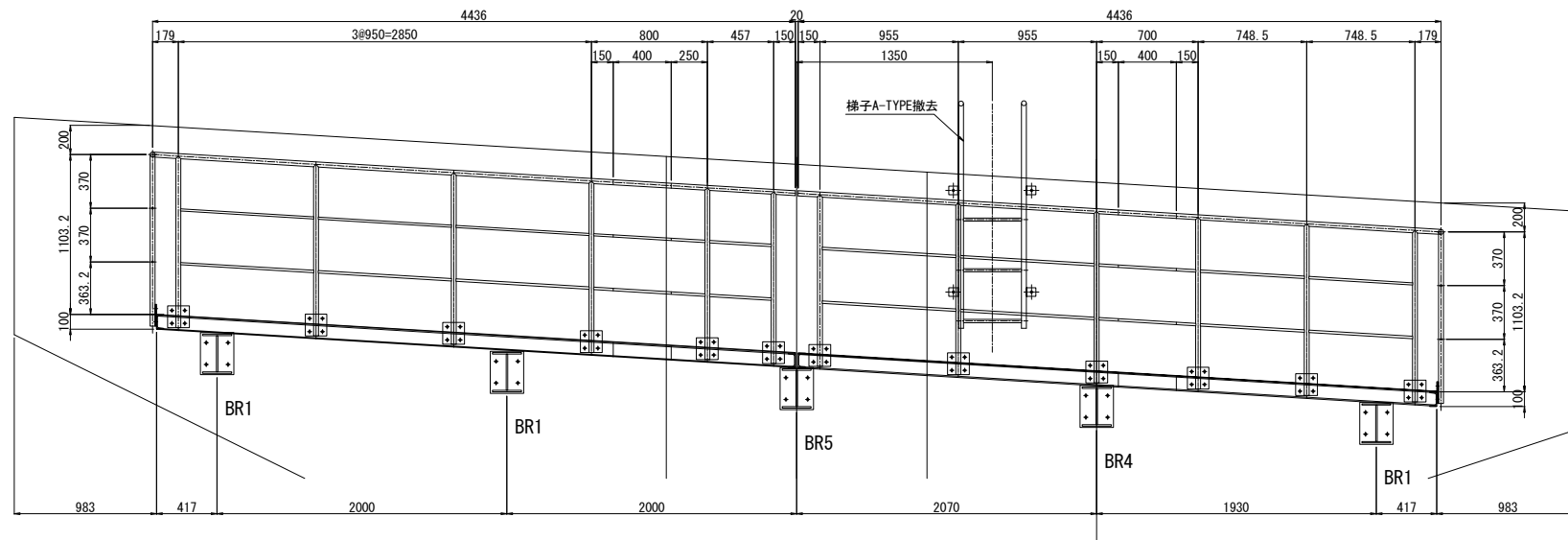


注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B詳細図（その3） （参考図）	図 示	図面番号
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚 撤去工

正面図



撤去ブラケットBR1 全3組

1-PL 200×10×550
1-PL 250×10×550
1-PL 200×10×559
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)
1-PL 200×8×480

撤去ブラケットBR4 全1組

1-PL 200×10×950
1-PL 250×10×950
1-PL 200×10×955
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)
1-PL 200×8×880

撤去ブラケットBR5 全1組

1-PL 200×10×650
1-PL 250×10×650
1-PL 200×10×658
1-PL 230×10×290
4-BN M16×45 (2-W) (SUS304)
4-ホールインアンカーM16×100 (SUS304)
2-PL 80×8×480

撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×3199 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×583 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×880 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1184 (STK400)
6-RB φ16×923
2-RB φ16×127
2-RB φ16×574
2-RB φ16×252
2-RB φ16×429
12-PL 150×6×150
24-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

撤去数量 全1組

2-[100×50×5×7.5×500
1-[100×50×5×7.5×3182
2-[100×50×5×7.5×593
1-[100×50×5×7.5×865
1-[100×50×5×7.5×3369
1-[100×50×5×7.5×678
1-Ch. PL 480×3.2×3150
1-Ch. PL 607×3.2×880
1-Ch. PL 480×3.2×645
6-FB 50×6×490
48-BN M10×35 (SUS304) (1-W, TW, SW)

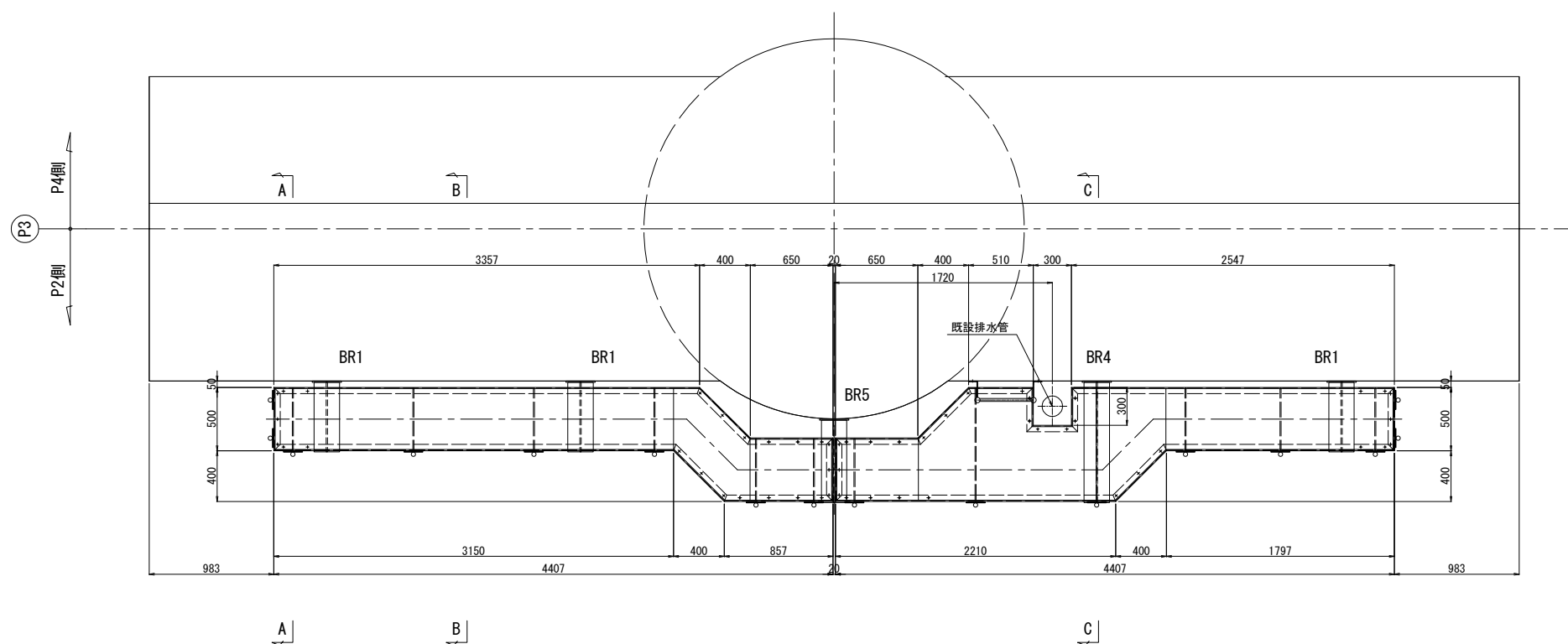
撤去数量 全1組

1-PIPE 34φ×2.3×2235 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×583 (STK400)
1-PIPE 34φ×2.3×1839 (STK400)
6-PIPE 34φ×2.3×1184 (STK400)
4-RB φ16×927
2-RB φ16×152
2-RB φ16×574
2-RB φ16×127
4-RB φ16×720
12-PL 150×6×150
24-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

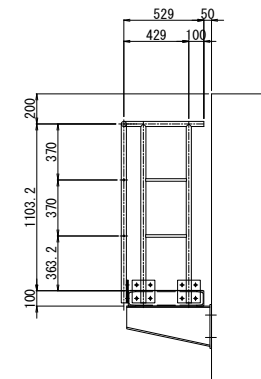
撤去数量 全1組

2-[100×50×5×7.5×500
1-[100×50×5×7.5×2220
2-[100×50×5×7.5×593
1-[100×50×5×7.5×1827
1-[100×50×5×7.5×678
1-[100×50×5×7.5×510
2-[100×50×5×7.5×350
1-[100×50×5×7.5×407
1-[100×50×5×7.5×2558
1-Ch. PL 480×3.2×645
1-Ch. PL 880×3.2×1954
1-Ch. PL 480×3.2×1790
4-FB 50×6×490
2-FB 50×6×990
60-BN M10×35 (SUS304) (1-W, TW, SW)

平面図



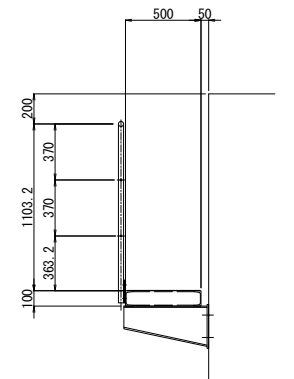
A-A



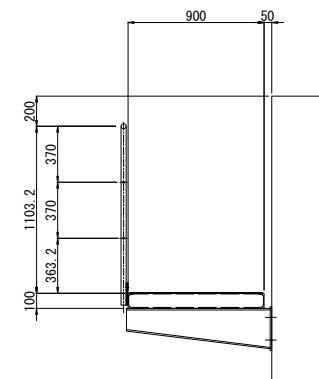
撤去数量 全2組

1-PIPE 34φ×2.3×546 (STK400)
2-PIPE 34φ×2.3×1183 (STK400)
2-RB φ16×270
4-PL 150×6×150
8-BN M16×45 (SUS304) (1-W, 1-SW)

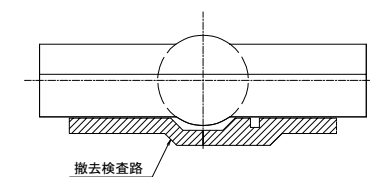
B-B



C-C



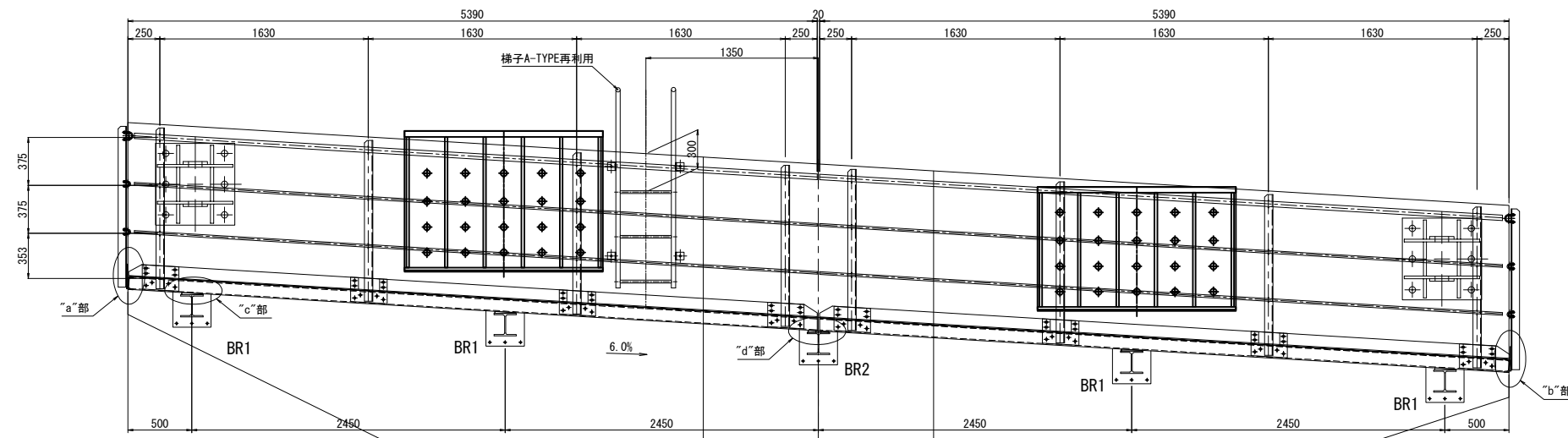
位置図
P3



長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工	検査路B詳細図（その4） （参考図）	
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社	日本構造橋梁研究所	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚 復旧工

正面図



新規数量 全1組

- 1-PIPE φ42.7x2.3x5350 (STK400)
- 2-PIPE φ21.7x1.9x5350 (STK400)
- 4-L 65x65x6x1258
- 4-PL 190x12x297 (SM400A)
- 1-PL 90x3.2x1801
- 1-PL 90x3.2x1473
- 1-PL 90x3.2x1801
- 16-B.N M10x35 (2-W付)
- 16-B.N M16x45 (2-W付)
- 4-U.Bolt 呼び 32C
- 8-U.Bolt 呼び 15C

新規数量 全1組

- 1-PIPE φ42.7x2.3x5350 (STK400)
- 2-PIPE φ21.7x1.9x5350 (STK400)
- 4-L 65x65x6x1258
- 4-PL 190x12x297 (SM400A)
- 1-PL 90x3.2x1807
- 1-PL 90x3.2x1473
- 1-PL 90x3.2x1808
- 16-B.N M10x35 (2-W付)
- 16-B.N M16x45 (2-W付)
- 4-U.Bolt 呼び 32C
- 8-U.Bolt 呼び 15C

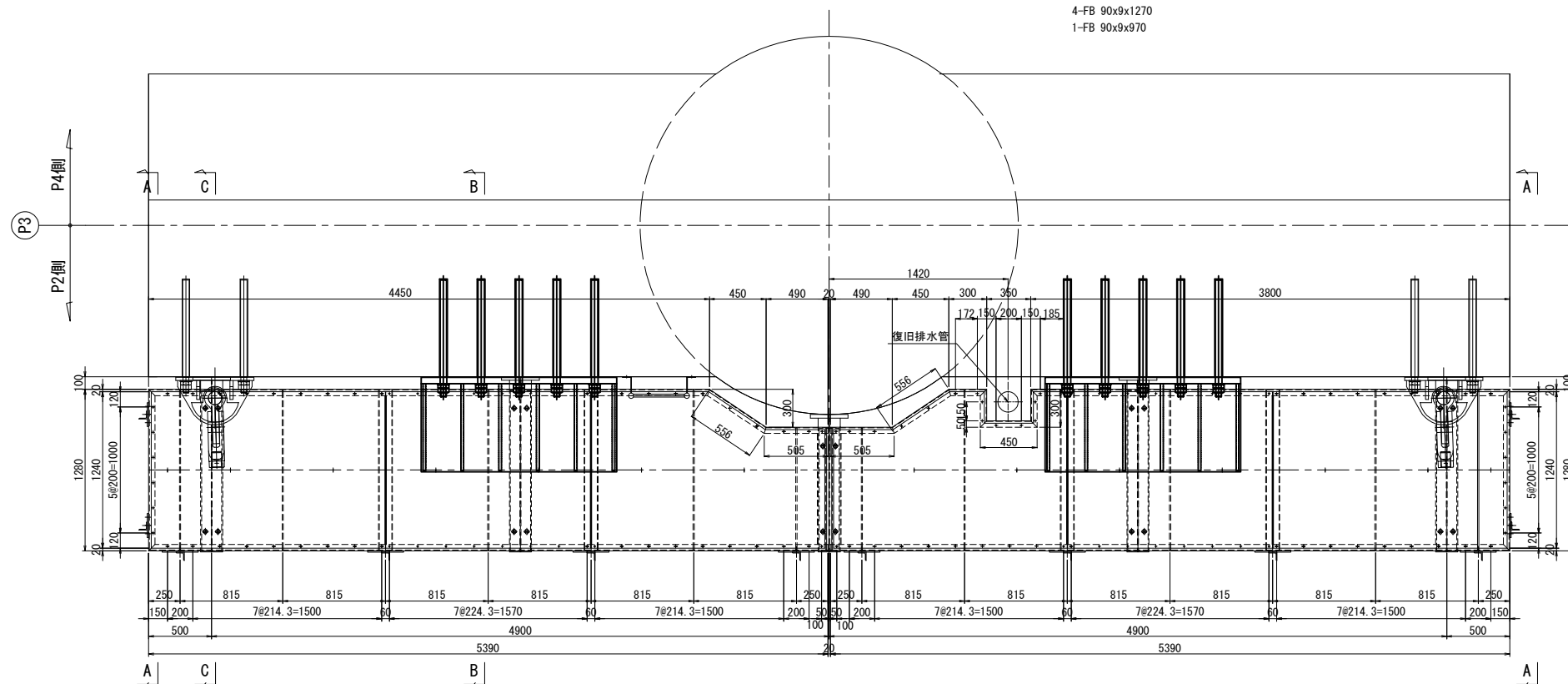
新規数量 全1組

- 1-[100x50x5x7.5x1280
- 1-[100x50x5x7.5x5400
- 1-[100x50x5x7.5x4458
- 1-[100x50x5x7.5x556
- 1-[100x50x5x7.5x505
- 4-L 50x50x6x1270
- 1-L 75x75x6x970
- 4-FB 90x9x1270
- 1-FB 90x9x970
- 1-CH PL 1240x3.2x1862 (SS400相当品)
- 1-CH PL 1240x3.2x1630 (SS400相当品)
- 1-CH PL 1240x3.2x1856 (SS400相当品)
- 60-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
- 2-PL 160x18x1260 (SM400A)
- 1-PL 60x18x1260 (SM400A)

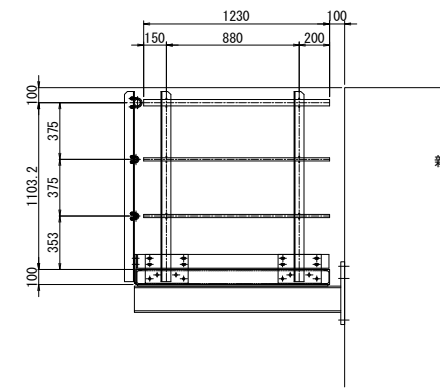
新規数量 全1組

- 1-[100x50x5x7.5x1280
- 1-[100x50x5x7.5x5406
- 1-[100x50x5x7.5x3813
- 1-[100x50x5x7.5x556
- 1-[100x50x5x7.5x505
- 3-[100x50x5x7.5x300
- 1-[100x50x5x7.5x450
- 4-L 50x50x6x1270
- 1-L 75x75x6x970
- 4-FB 90x9x1270
- 1-FB 90x9x970
- 1-CH PL 1240x3.2x1862 (SS400相当品)
- 1-CH PL 1240x3.2x1630 (SS400相当品)
- 1-CH PL 1240x3.2x1856 (SS400相当品)
- 64-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
- 2-PL 160x18x1260 (SM400A)
- 1-PL 60x18x1260 (SM400A)

平面図

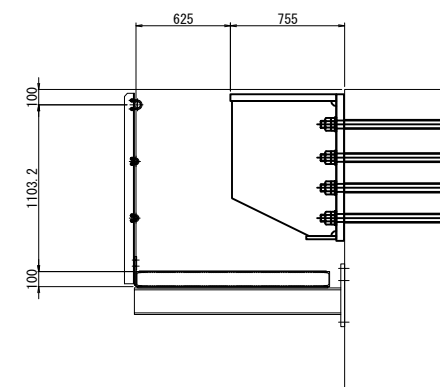


A-A

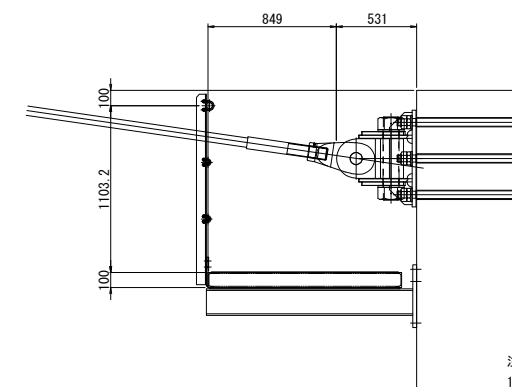


- 新規数量 全2組
- 1-PIPE φ42.7x2.3x1230 (STK400)
 - 2-PIPE φ21.7x1.9x1230 (STK400)
 - 2-L 65x65x6x1258
 - 2-PL 190x6x285 (SM400A)
 - 2-PL 90x13x285
 - 1-PL 90x3.2x1265
 - 8-B.N M10x35 (2-W付)
 - 8-B.N M16x45 (2-W付)
 - 2-U.Bolt 呼び 32C
 - 4-U.Bolt 呼び 15C

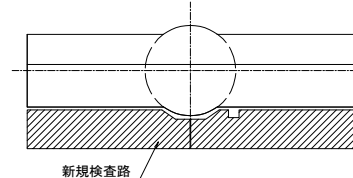
B-B



C-C



位置図
P3

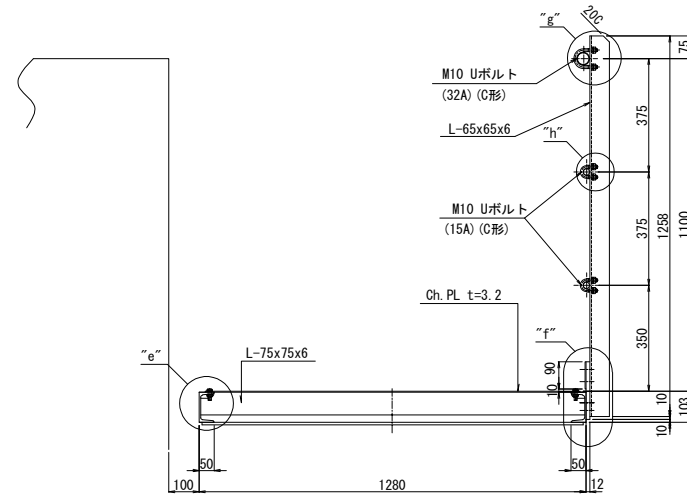


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - "a"~"d"部詳細はその7に参照のこと。

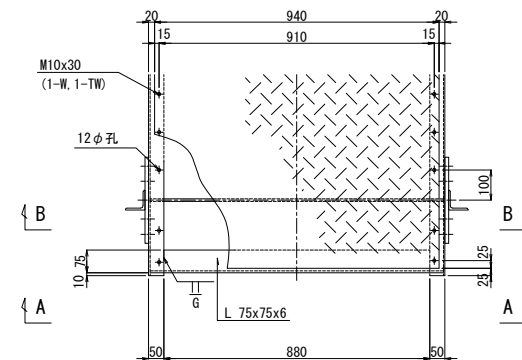
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B詳細図（その5） （参考図）		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚

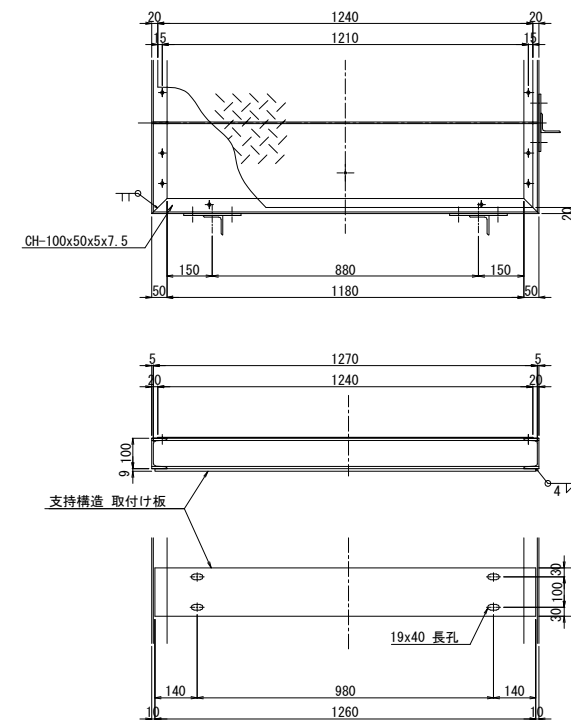
検査路断面



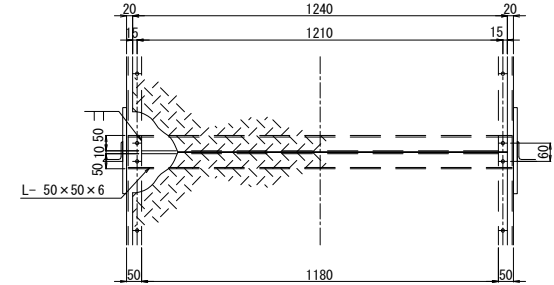
架け違い部



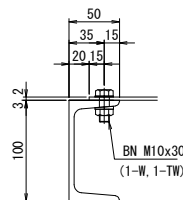
端部詳細



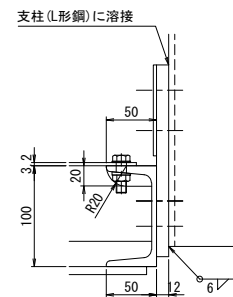
中間部



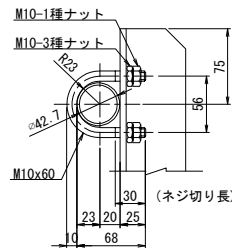
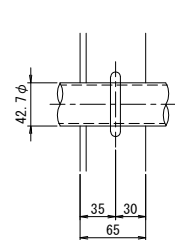
“e”部詳細 S=1:7.5



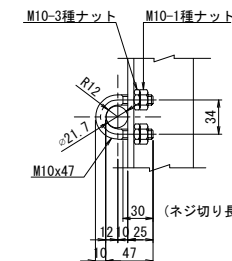
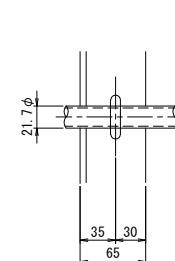
“f”部詳細 S=1:7.5



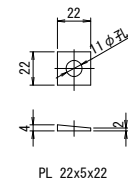
“g”部詳細 S=1:7.5



“h”部詳細 S=1:7.5

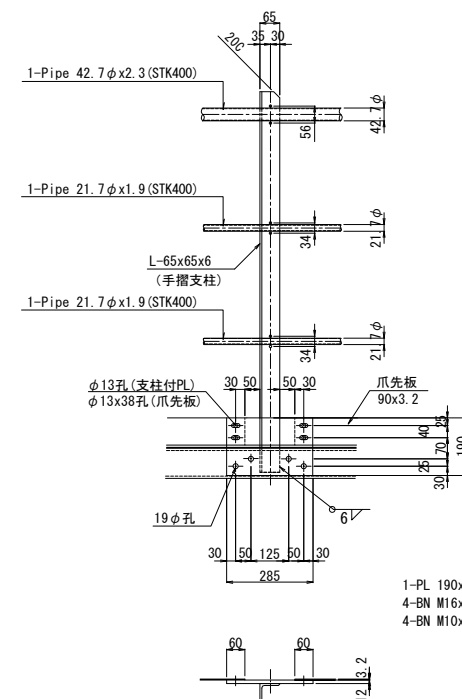


テーパ座金詳細 S=1:5

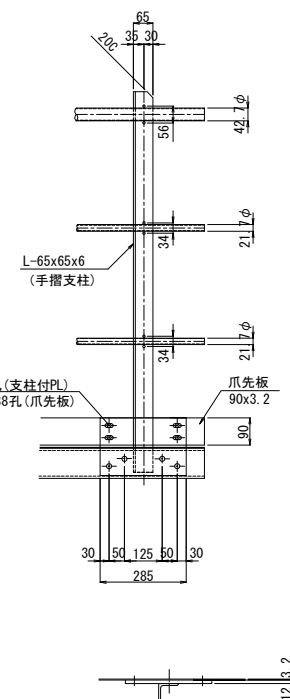


支柱詳細

中間一般支柱部



端支柱支点横桁部

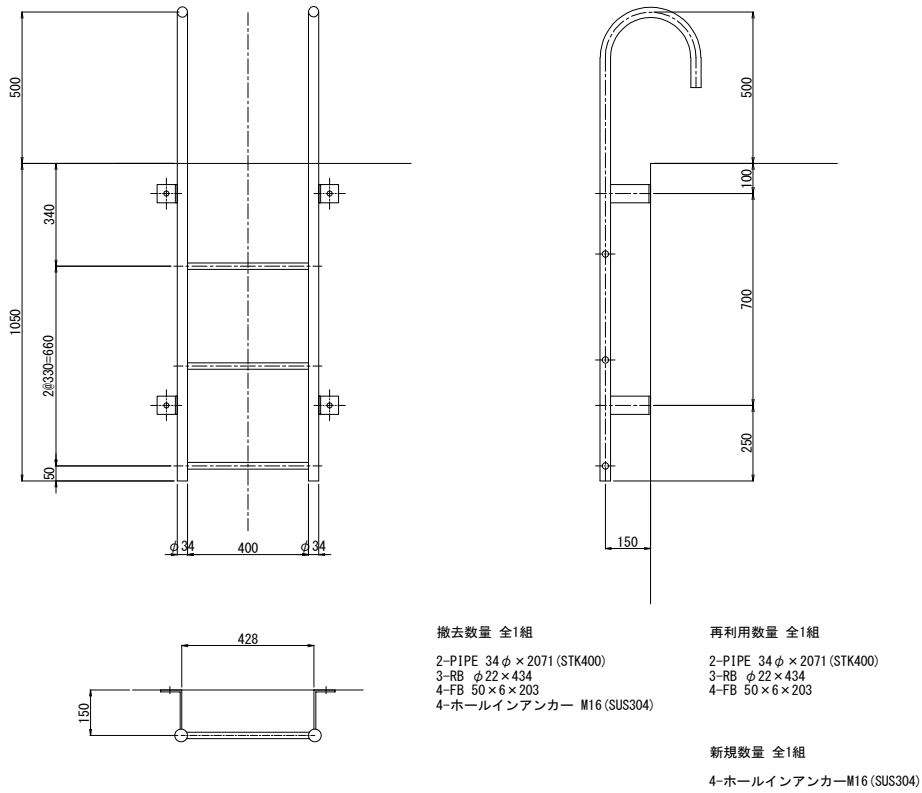


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融重鉛めつき仕上げとする。
溶融重鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

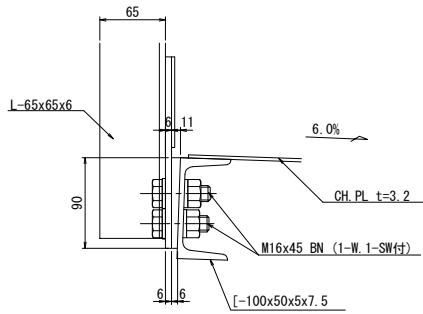
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B詳細図（その6） （参考図）	図面番号	／
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚

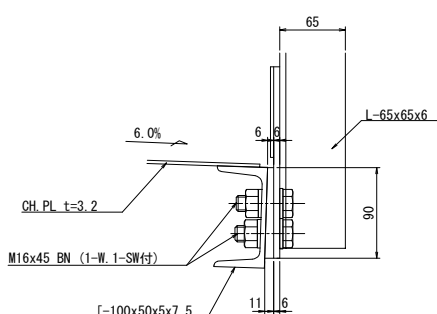
撤去再利用梯子A-TYPE



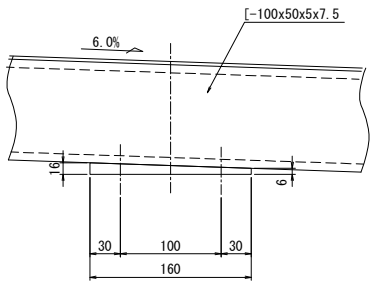
” a ” 部詳細 S=1:7.5



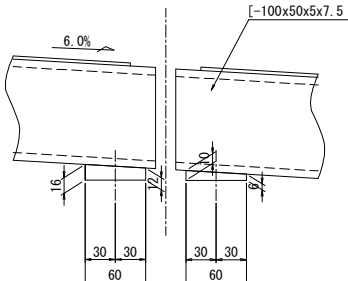
” b ” 部詳細 S=1:7.5



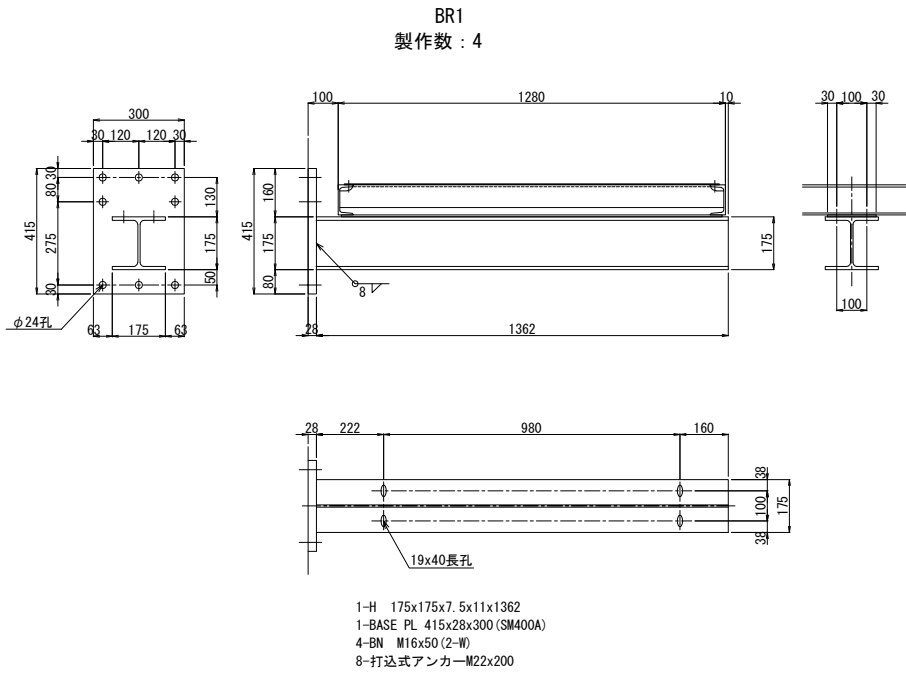
” c ” 部詳細 S=1:7.5



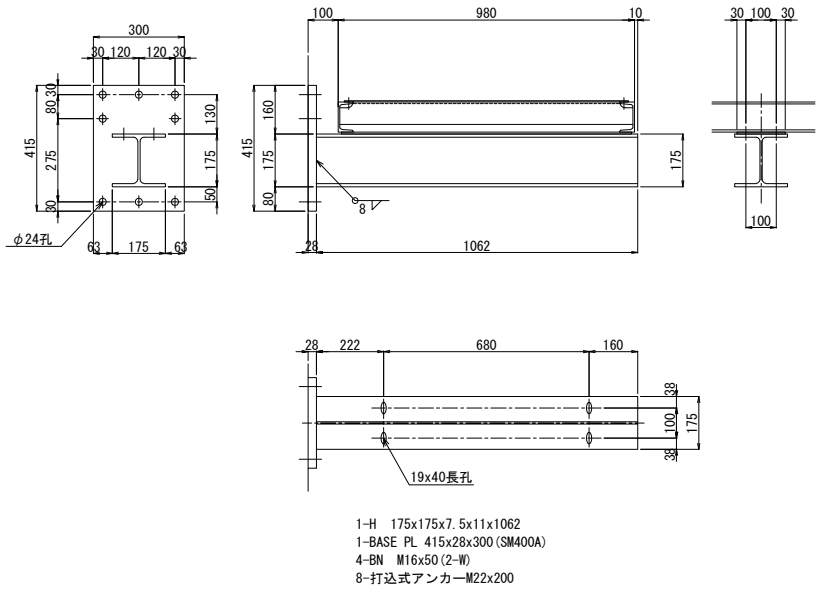
” d ” 部詳細 S=1:7.5



新設支持構造



BR2
製作数：1



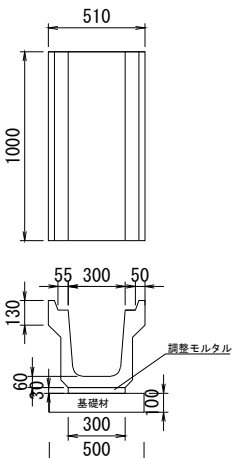
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛メッキの膜厚は、
板厚6mm以上の部材はJIS H8641 HDZT77、
板厚3.2mm以上6mm未満の部材はJIS H8641 HDZT63、
板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類は
JIS H8641 HDZT49とする。
また、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、メッキ前に
プラスト処理とする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去・設置工 検査路B詳細図（その7） （参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面図 S=1:250

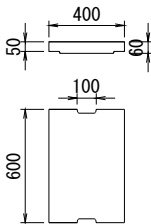
歩道用鉄筋コンクリートU型側溝

S=1:30



参考重量：177kg/個

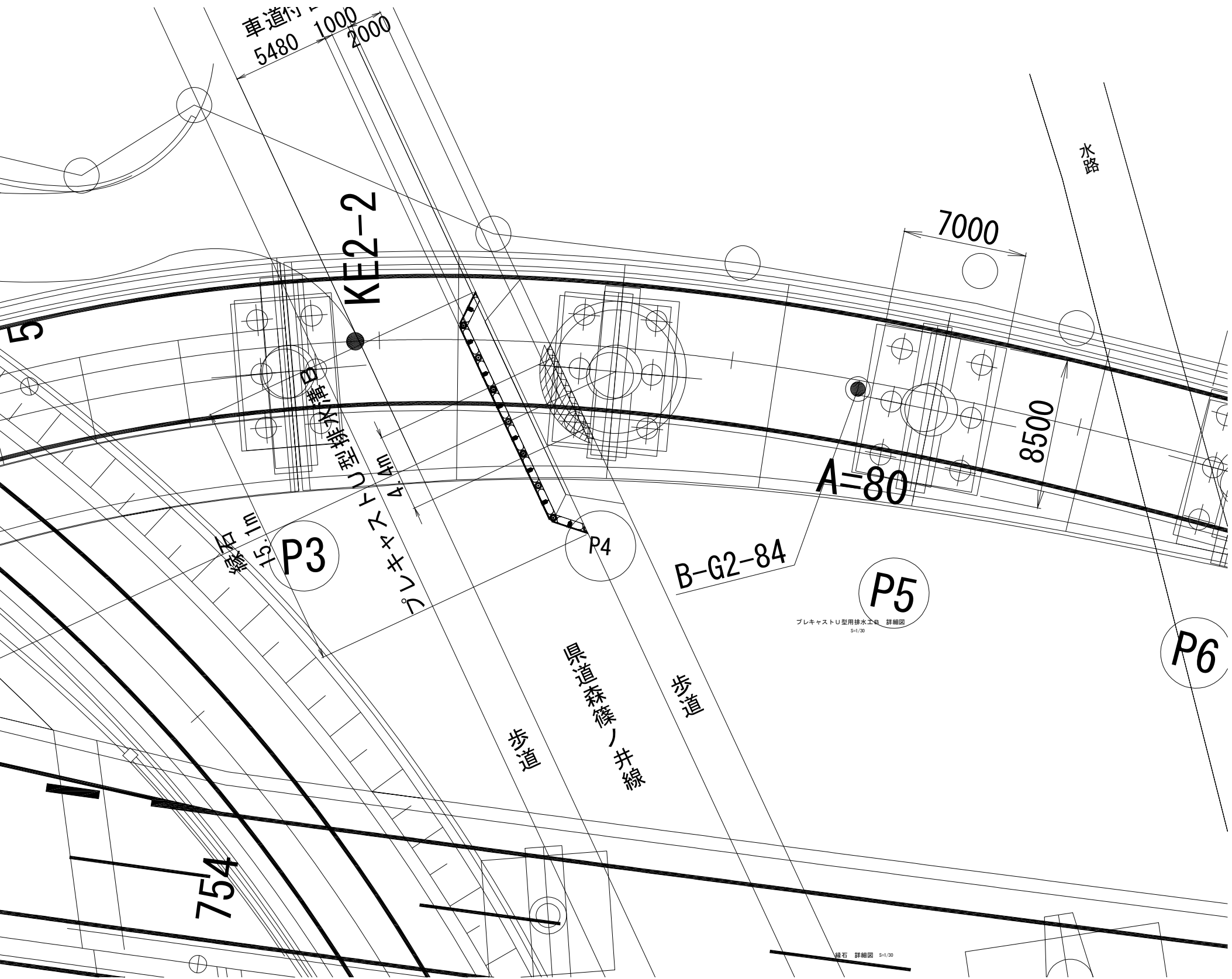
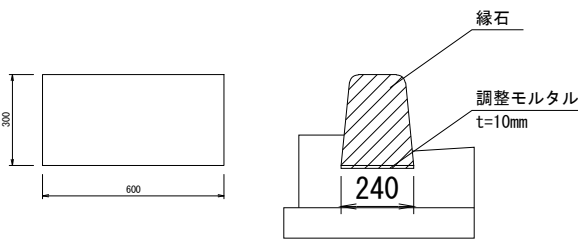
プレキャスト鉄筋コンクリートU型用溝蓋



参考重量：34kg/個

縁石詳細図

S=1:30



プレキャストU型排水溝B 材料表

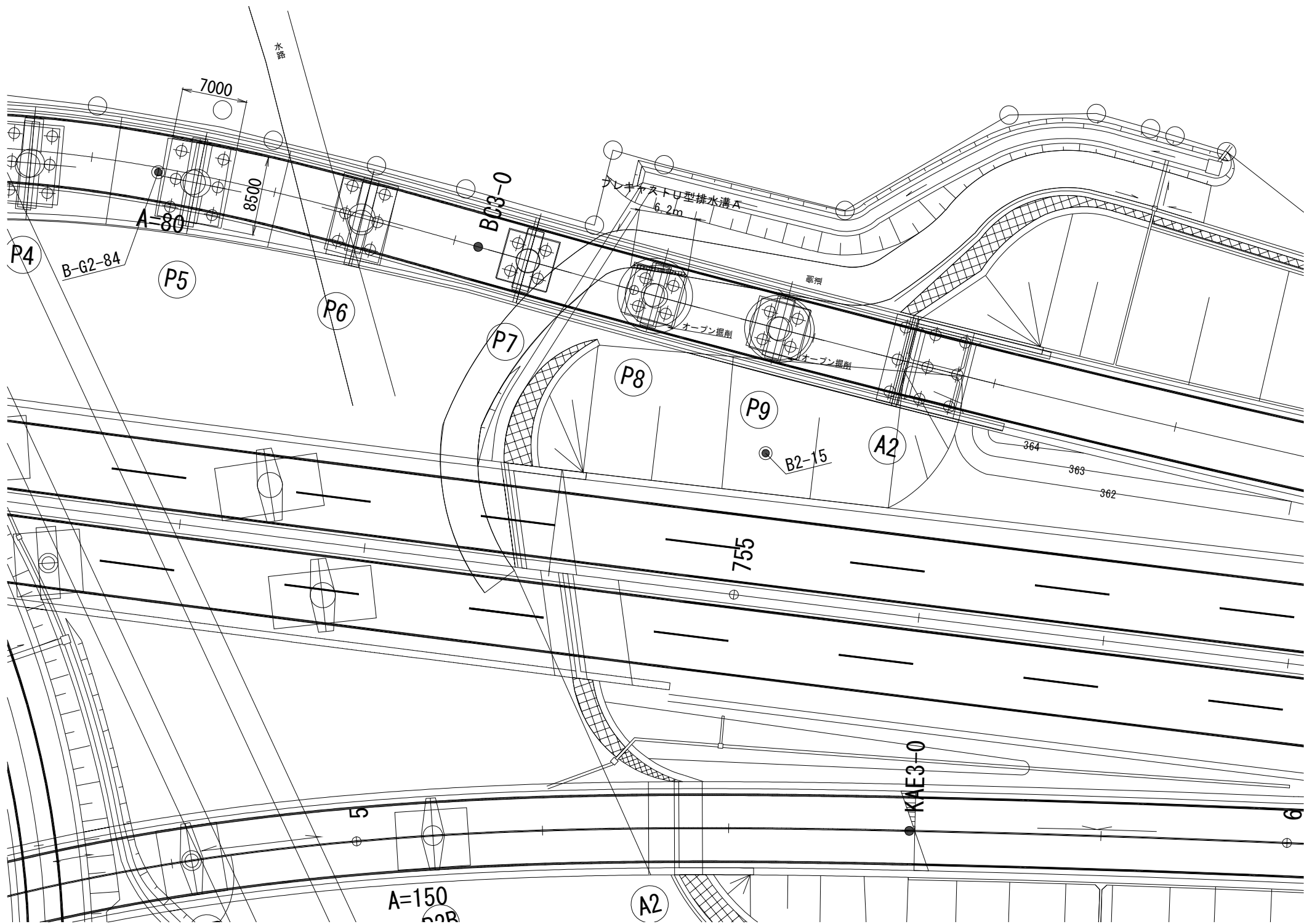
項目	規格	単位	数量	備考
歩道用鉄筋コンクリートU型側溝		m	4.4	撤去後場内仮置きし、復旧は材料を再利用
プレキャスト鉄筋コンクリートU型用溝蓋		個	8	撤去後場内仮置きし、復旧は材料を再利用
調整モルタル	1:3モルタル t=30mm	m3	0.1	撤去後処分し、復旧は新材を使用
基礎材	RC-40 t=100mm	m3	0.2	撤去後場内はねつけ、復旧は新材を使用

縁石 材料表

項目	規格	単位	数量	備考
縁石	歩車道境界ブロックC	m	15.1	撤去後場内仮置きし、復旧は材料を再利用
調整モルタル	1:3モルタル t=10mm	m3	0.1	撤去後処分し、復旧は新材を使用

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 P4橋脚 撤去・設置工 プレキャストU型排水溝B・縁石詳細図 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

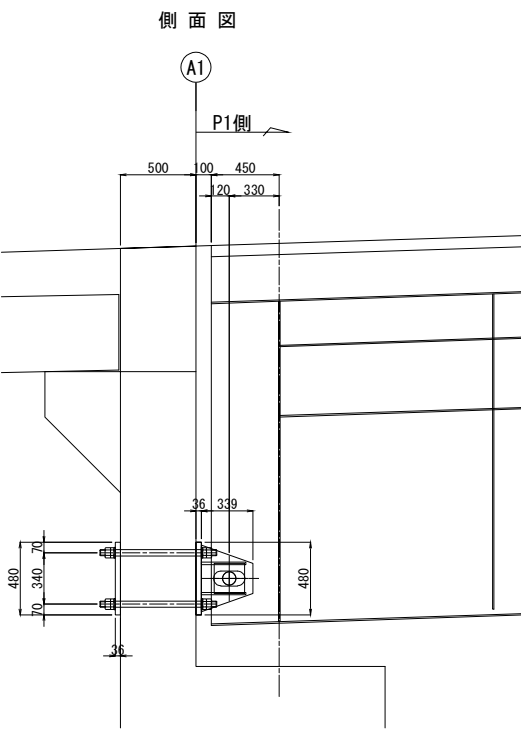
平面図 S=1:500



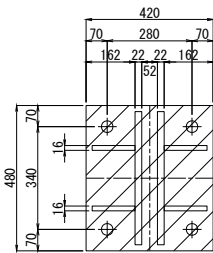
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 P 8 橋脚 撤去・設置工 プレキャストU型排水溝A詳細図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台

既設落橋防止装置現状図（G1W1～G2W2）

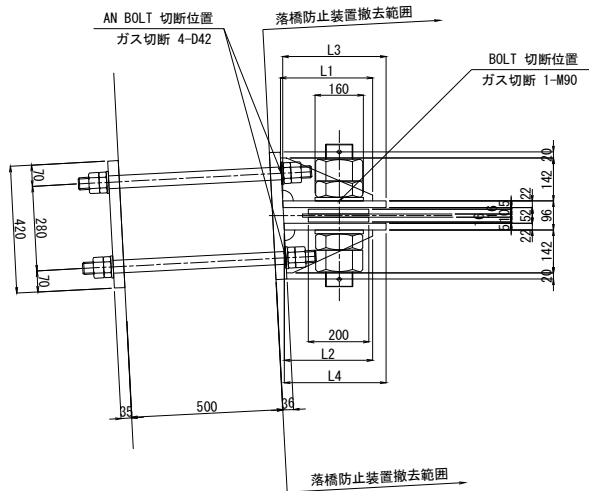


A - A S=1:25

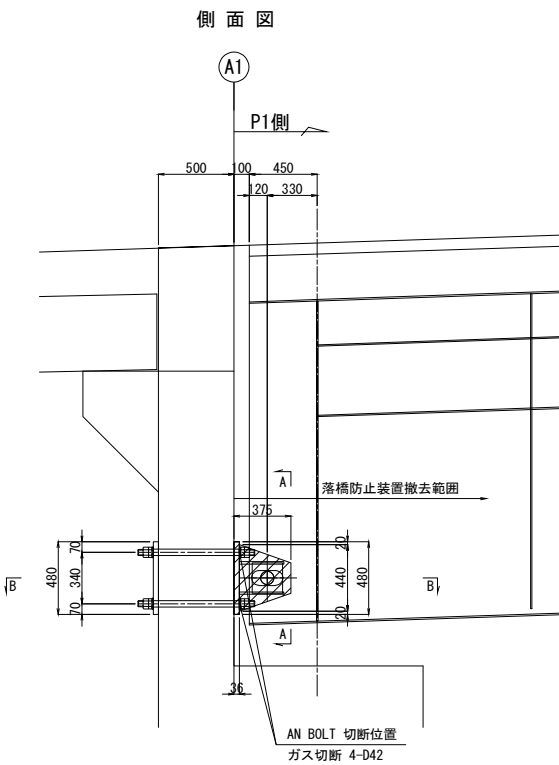


平面図 S=1:25

B - B



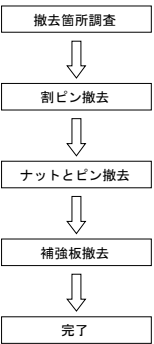
既設落橋防止装置撤去詳細図(G1W1～G2W2)



撤去数量:4箇所
1-PL 420x36x480 (SM520B)
2-PL 142x16xL1
2-PL 142x16xL2
1-PL 440x22xL3 (SM490YB)
1-PL 440x22xL4 (SM490YB)
1-ピン φ90x440 (S35CN)
2-NUT M90 (1種)
2-NUT M90 (3種)
2-座金 M90
2-割ピン φ13x180 (SWRM10)
2-PL 200x16x200 (SM490YA)
4-NUT M42 (1種)
4-NUT M42 (3種)
4-座金 M42

	L1	L2	L3	L4
G1W1	295	295	339	339
G1W2	295	295	339	339
G2W1	306	292	342	338
G2W2	306	292	342	338

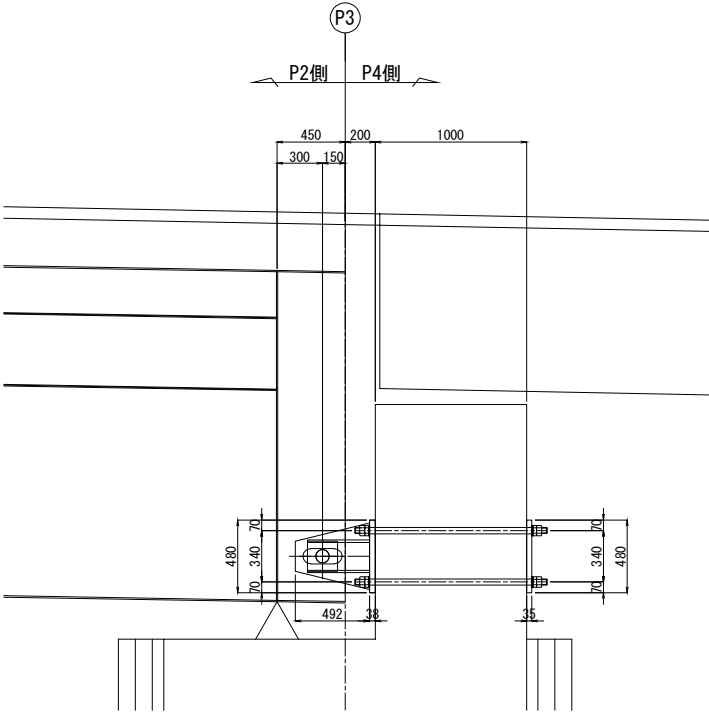
施工手順



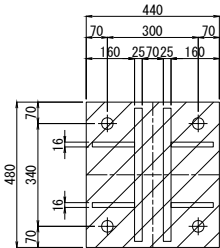
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去工 落橋防止装置（その1）（参考図）		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P3橋脚

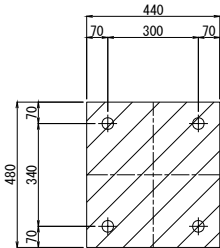
既設落橋防止装置現状図（G1W1～G2W2）
側面図



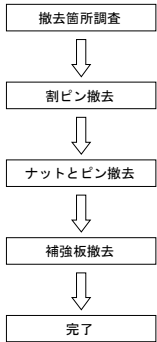
A - A S=1:25



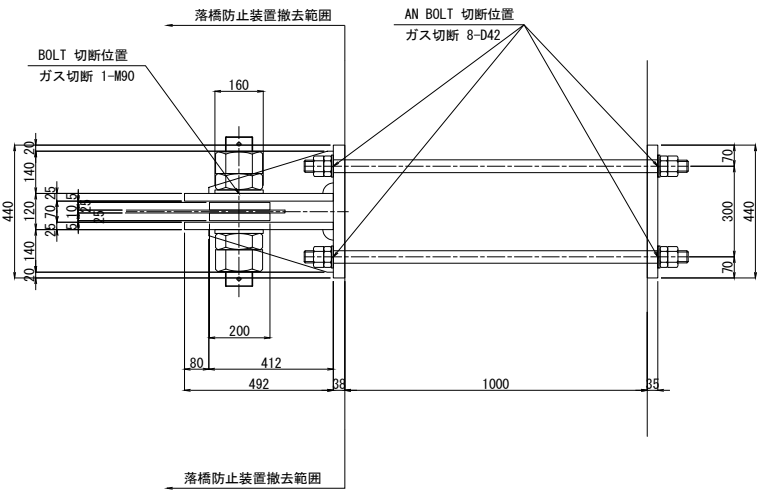
B - B S=1:25



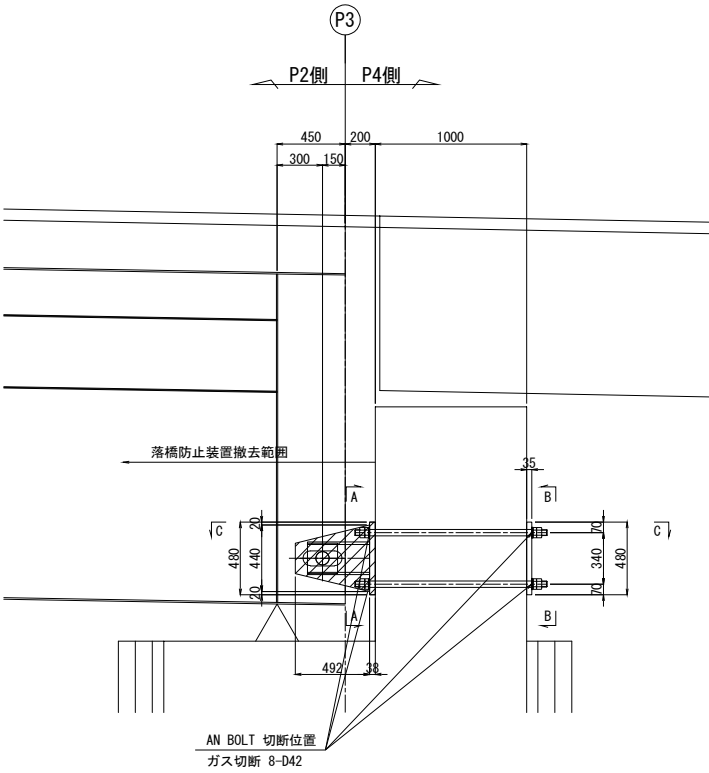
施工手順



平面図 S=1:25
C - C

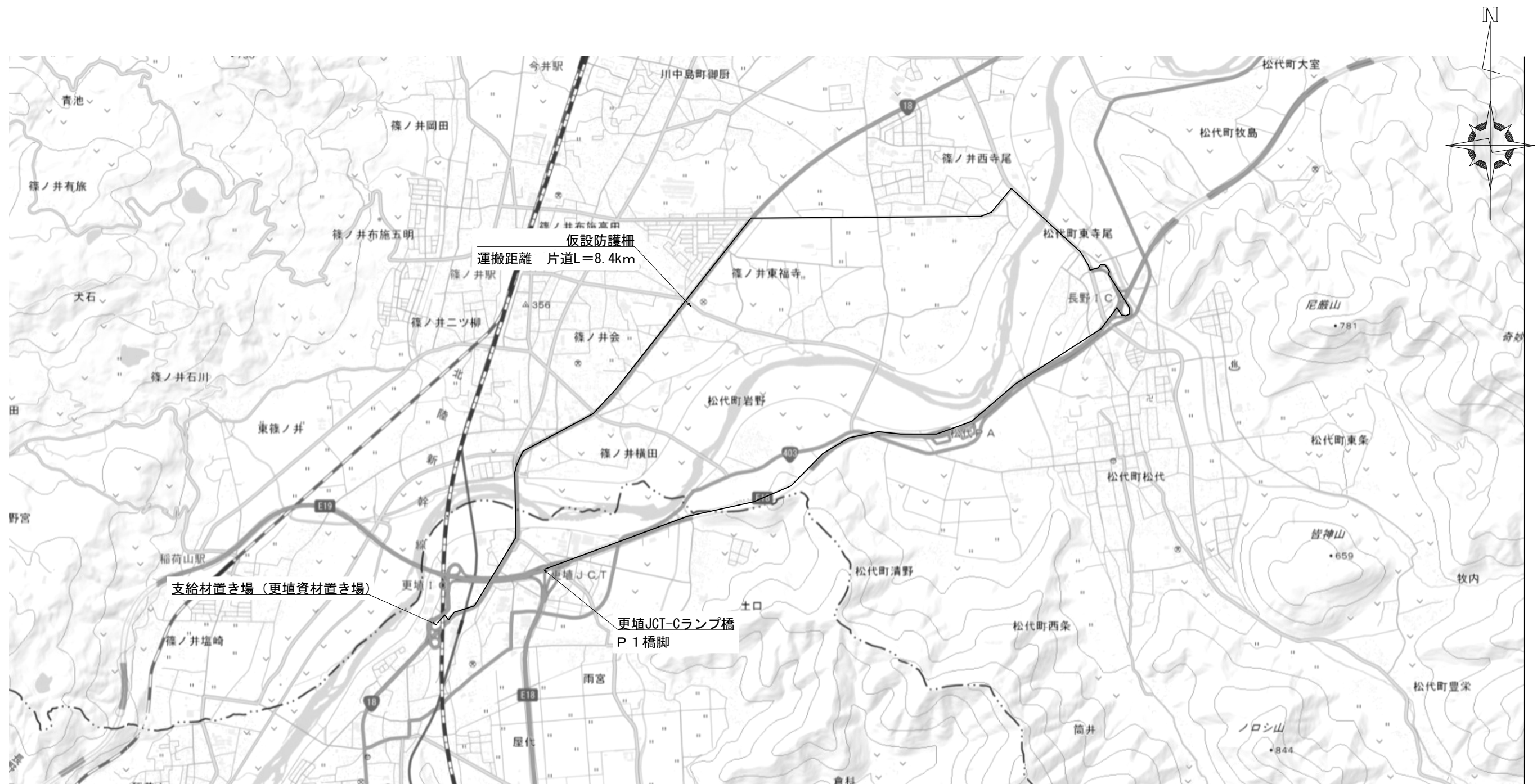


既設落橋防止装置撤去詳細図(G1W1～G2W2)
側面図



- 撤去数量・4箇所
1-PL 440x38x480 (SM520B)
1-PL 440x35x480 (SM520B)
4-PL 140x16x412
2-PL 440x25x492 (SM490YB)
1-ピン φ90x460 (S35CN)
2-NUT M90 (1種)
2-NUT M90 (3種)
2-座金 M90
2-割ピン φ13x180 (SWRM10)
2-PL 200x25x200 (SM490YB)
8-NUT M42 (1種)
8-NUT M42 (3種)
8-座金 M42

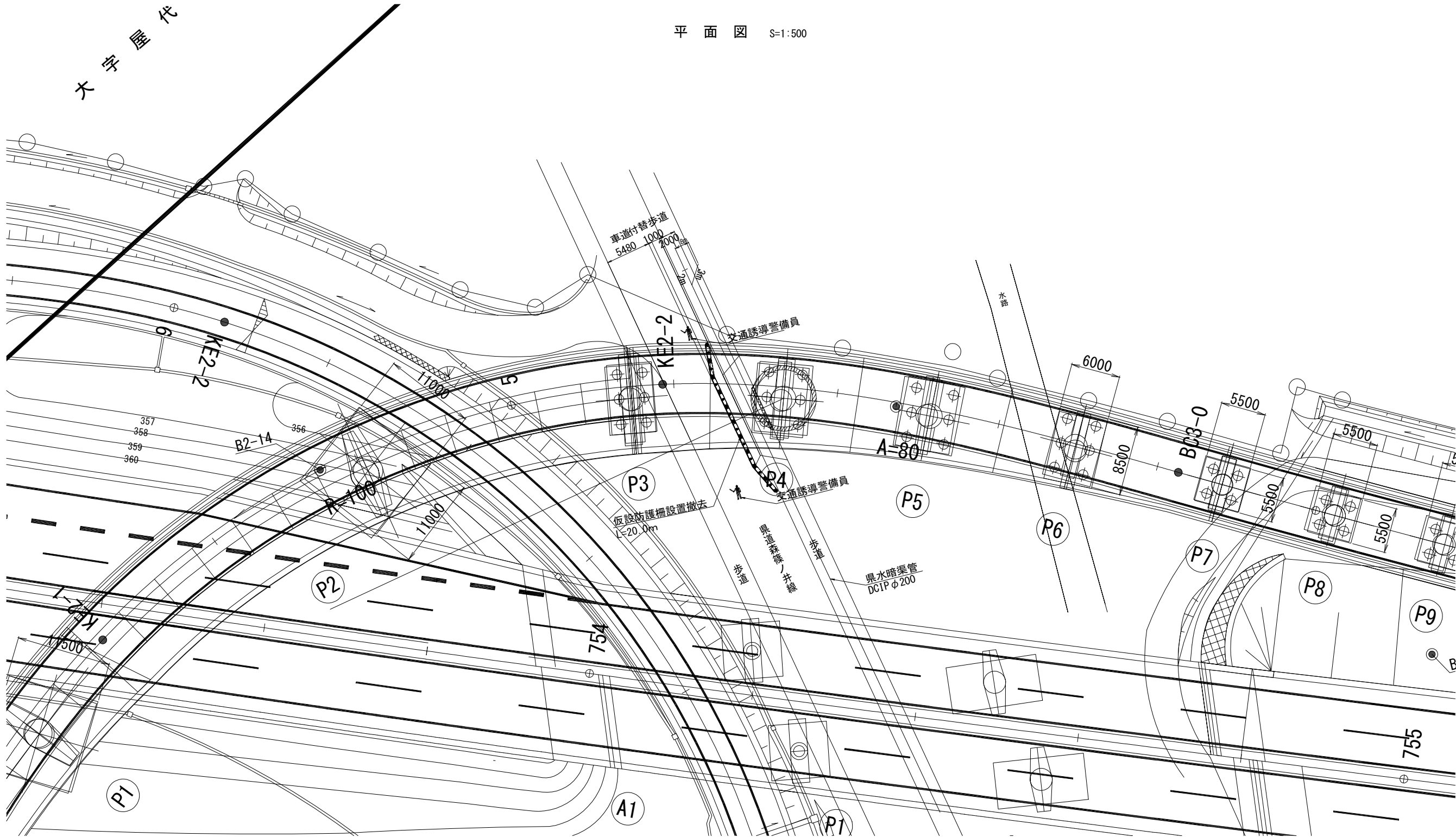
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 撤去工 落橋防止装置（その2）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



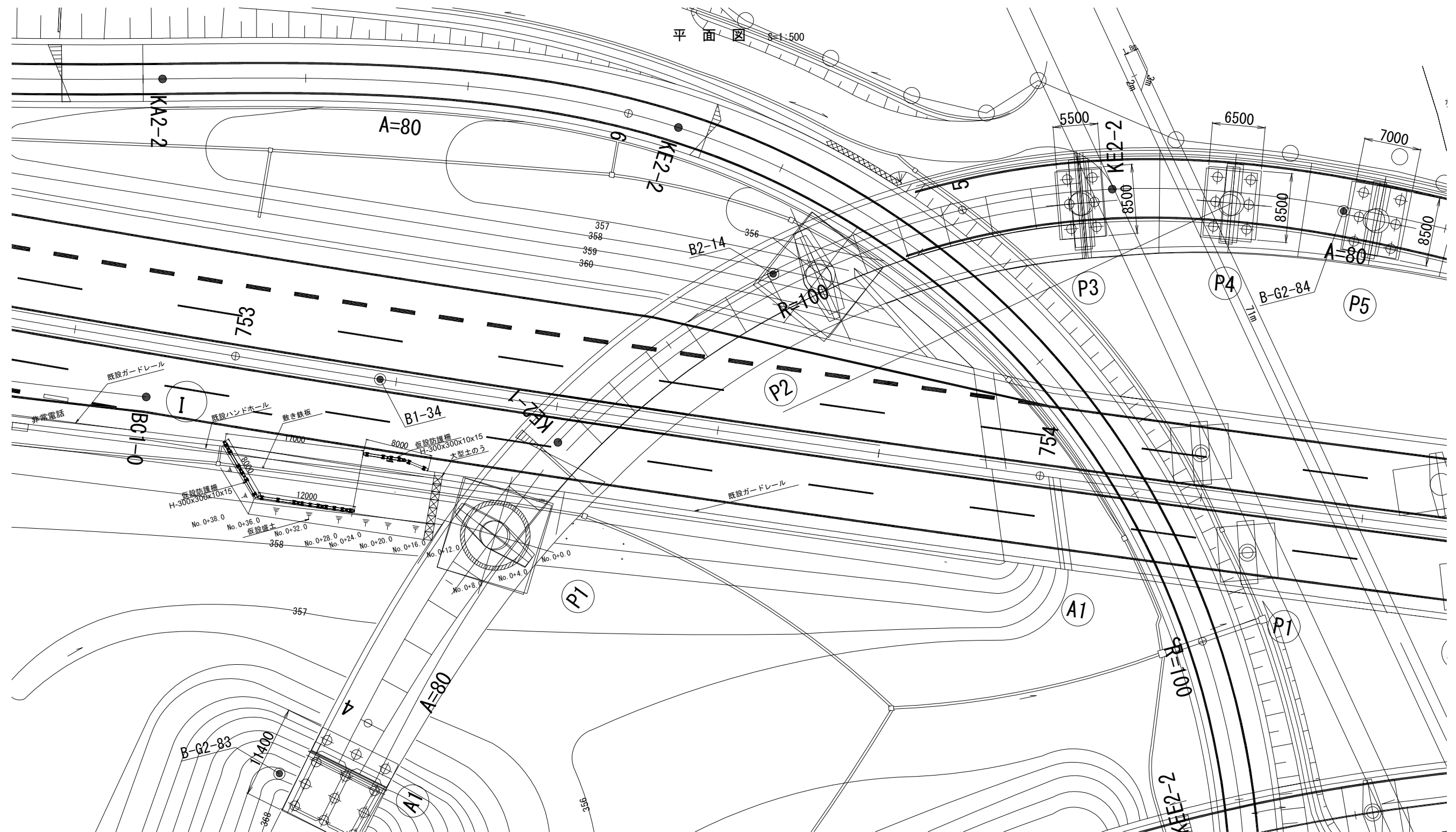
「出典：国土地理院ウェブサイト（<https://maps.gsi.go.jp/#14/36.560945/138.174620/&base=std&is=std&disp=1&vs=c0g1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>）」

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 支給材置き場位置図（参考図）		
縮尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面図 S=1:500



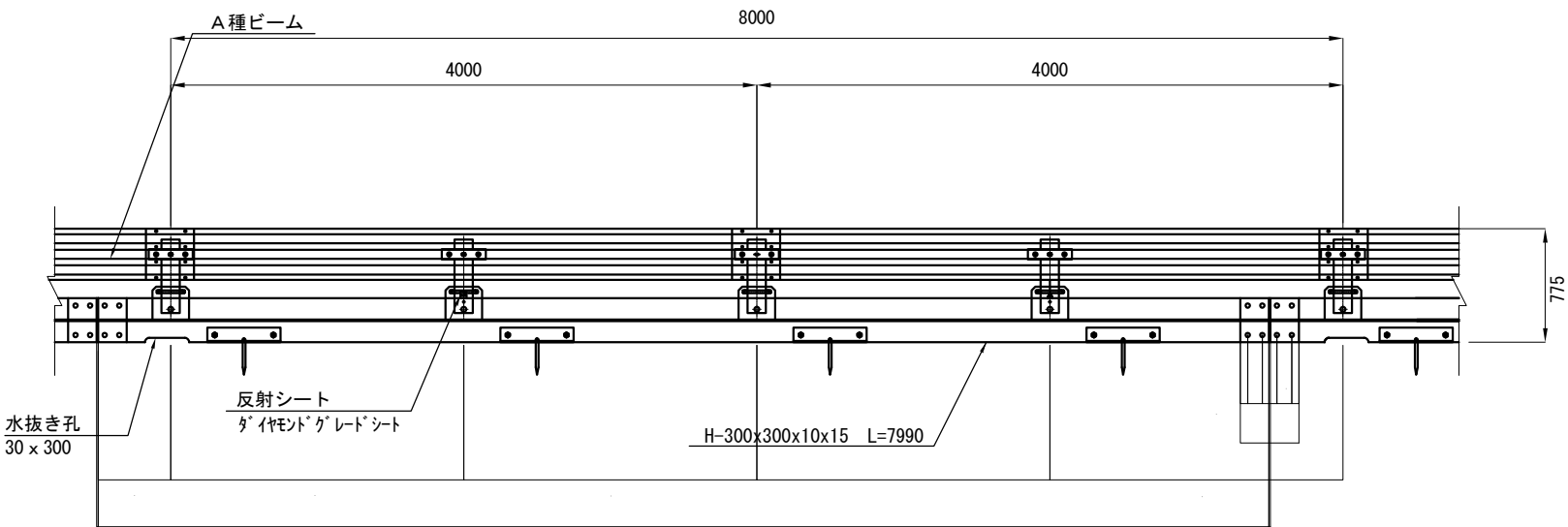
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋		
	仮設防護柵設置撤去図（その1）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



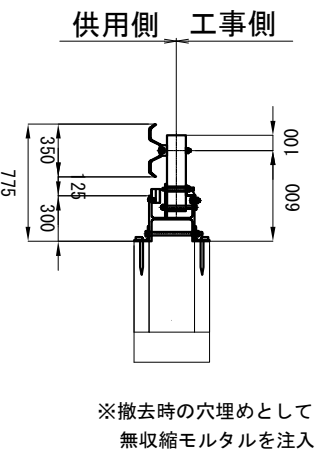
長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 仮設防護柵設置撤去図 (その2) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

仮設防護柵（H鋼基礎） S=1/50

側面図



断面図



仮設防護柵 材料表 (8 m当り)

名 称	部 材	数 量	単 位	摘 要
ガードレール	A種	2	枚	支給品
ガードレール支柱	□125x125xt4. 5x500	4	本	支給品
ガードレールブラケット	t 6 x 70 x 300	4	個	支給品
ブラケット取付ボルト	M20x160	4	本	支給品
ビーム継合用ボルト	M16x35	24	本	支給品
H型鋼	H300x300x10x15x7990	1	本	支給品
ジョイントプレート	t12x300x400	2	本	支給品
ジョイント用ボルト	M20x360	8	本	支給品
ポストベースプレート	t12x225x250	4	枚	支給品
ポスト固定プレート	t6x230x125x57	4	枚	支給品
ポスト固定ボルト	M20x190x160x190	4	本	支給品
ポスト固定プレート取付ボルト	M20x50	8	本	支給品
ポスト主軸ボルト	M20x220	4	本	支給品
アンカー用アングル	t10x100x100x500	8	本	支給品
アングル取付ボルト	M20x360	8	本	支給品
アンカーピン	φ19x250x50	8	本	購入品
無収縮モルタル		0.1	m ³	購入品

長野自動車道 犀川橋耐震補強工事			
図面の種類	更埴JCT-Cランプ橋 仮設防護柵設置撤去(その3) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		